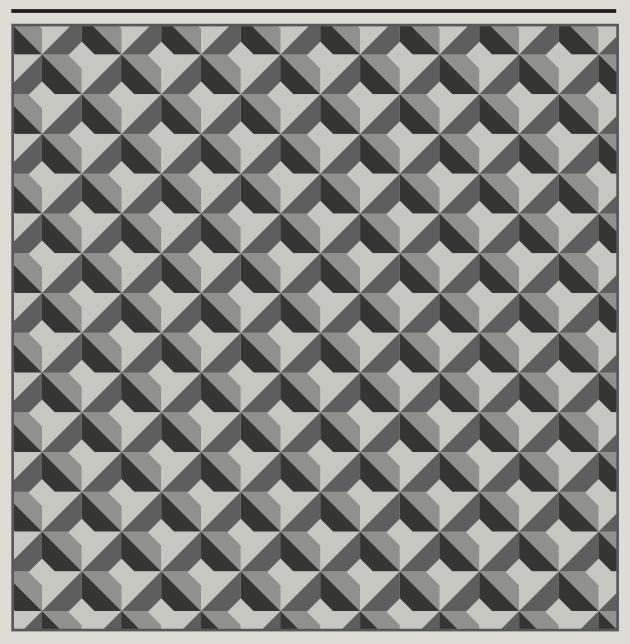
シラバス

全学共通授業科目



秋学期は配布しません。1年間必ず保管すること。

シラバスは、科目の担当教員が学期ごとの授業計画、講義概要、評価方法などを学生に周知することにより、受講する際の指針とし、授業の理解を深めることを目的に作成されたものです。

【シラバスの見方】

1. 目次について

①シラバスページの検索方法

ページ端にあるインデックスで自分の入学年度に該当する目次ページを探してください。

目次の科目は、授業科目表(学則別表)と同じ順序で掲載しています。

※入学年度によっては授業科目表とシラバスの順序が一致していない場合があります。ご注意ください。

②履修できない科目

「履修不可」の欄に入学年度・所属学部・学科名が記されている場合は、その科目を履修することができません。 〈略称説明〉

外: 外国語学部 養: 国際教養学部

独: ドイツ語学科 養(*1): 国際教養学部、スペイン語履修者 済: 経済学科 英: 英語学科 養(*2): 国際教養学部、中国語履修者 営: 経営学科

英: 英語学科 養(*2): 国際教養学部、中国語履修者 営: 経営学科 仏: フランス語学科 養(*3): 国際教養学部、韓国語履修者 環: 国際環境経済学科

交: 交流文化学科

14以降入学 : 2014年度以降入学者(全学部) 13以降入学 : 2013年度以降入学者(全学部)

13以降入学養: 2013年度以降入学者(国際教養学部) 13以降入学経: 2013年度以降入学者(経済学部)

12以前入学 : 2012年度以前入学者(全学部)

12以前入学養: 2012年度以前入学者(国際教養学部) 12以前入学経: 2012年度以前入学者(経済学部)

2. シラバスページの見方(右図参照)

①入学年度

08~14年度……2008~2014年度入学者 03~07年度……2003~2007年度入学者 07年度以前……2007年度以前入学者 08年度以降……2008年度以降入学者

- ②入学年度に対応した科目名
- ③授業の目的や講義全体の説明、学生への要望
- ④学期の授業計画

各回ごとの講義のテーマ、内容を記載しています。 授業計画回数と実際の回数は必ずしも一致しません。

- ⑤授業で使用するテキスト、参考文献
- ⑥評価方法
- ※「全学総合講座」および一部の科目は、記載方法が異なる場合があります。

3. 注意事項

①履修条件

担当教員が履修者に対して、その他の科目の履修や単位の修得などを条件としている科目があります。 必ず「講義目的、講義概要」の欄(上図③の部分)および『授業時間割表』を確認してください。

②定員

「全学共通授業科目」は定員を設けています。『授業時間割表』の「定員」の欄を参照してください。

③集中講義

集中講義を伴うスポーツ・レクリエーション科目は上・下両段に記載してあります。 開講学期に注意してください。



経: 経済学部

法: 法学部

律: 法律学科

国: 国際関係法学科

総: 総合政策学科



全学共通授業科目 目次(2008年度~2014年度入学者用)

			全学総合講座						
春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担	当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
全学総合講座 (芸術	術と社会-芸術が社会の中で果たす役割りについて)			阿部	明日香	木4	1	-	14
全学総合講座(社	t会を生き抜くセルフブランディング I)			有吉	秀樹	木2	1	-	15
		全学総合講座	(社会を生き抜くセルフブランディング Ⅱ)	有吉	秀樹	木2	1	-	16
		全学総合講座	(ジェンダーで眺めてみれば)	上野	直子	水3	1	-	17
全学総合講座(多	5文化社会のメディア・リテラシー)			岡村	圭子	火3	1	-	18
		全学総合講座	(メディア社会とロック)	岡村	圭子	火3	1	-	19
全学総合講座(経	怪営者が語る現代企業論1)			上坂	卓郎	火2	1	-	20
		全学総合講座	(経営者が語る現代企業論2)	上坂	卓郎	火2	1	-	21
全学総合講座 (教	対えるという仕事)			川村	肇	木3	1	-	22
全学総合講座 (NF	PO論 人を変える・地域を変える・世界を変える)			高松	和幸	金4	1	-	23
		全学総合講座	(地域活性化システム論―これからの「まちづくり」のヒントを探る)	高松	和幸	金4	1	-	24
		全学総合講座	(情報社会とルール)	夛賀:	谷 一照	水3	1	-	25
全学総合講座 (環	環境学1)(環境基礎学−自然を見つめる)			中村	健治	火4	1	-	26
		全学総合講座	(環境学2)(環境応用学-環境と社会)	中村	健治	火4	1	-	27
全学総合講座 (働	くための基礎知識-知って得する労働問題)			野村	容康	水2	1	-	28
全学総合講座(ポ	ポピュラ一文化と社会)			平田	由紀江	火2	1	-	29
全学総合講座(現	引代日本論)			本田	浩邦	月3	1	-	30
		全学総合講座	(現代社会論)	本田	浩邦	月3	1	-	31
全学総合講座(あ	らなたのキャリアデザインを考える)	全学総合講座	(あなたのキャリアデザインを考える)	町田	喜義	土2	1	-	32
		全学総合講座	(フィールドワークで知を鍛える)	松岡	格	金2	1	-	33
		全学総合講座	(童話(メルヒェン)の可能性をめぐって)	矢羽-	々 崇	金3	1	-	34
全学総合講座(キ	-ャンパスライフと仕事)	全学総合講座	(キャンパスライフと仕事)	山越	德	木2	1	-	35
		全学総合講座	(食文化と人間生活「気候と風土と食文化」)	和田	智	火4	1	-	36
		全学総合講座	(自由時間の達人)	和田	智	金4	1	-	37
		全	学共通講義科目部門	刂					
春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担	当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
ことばと思想1(英	に語学a)			安間	一雄	金1	1	養	38
		ことばと思想1	(言語学b)	安間	一雄	金2	1	*	38
ことばと思想1(日	日本語教育概説)							養	30
ことばと思想1(倫	電理の基本について考える)			石塚	京子	月4	1	養	39
ことばと思想1 (社	,	ことばと思想1	(環境と生命の倫理)		京子	月4 火3			
- レバリ・田 ヤュノナ			(環境と生命の倫理) (社会思想史2)(市民的社会像の確立期)	市川	達人		1	養	39
ことばと思想1(応	と会思想史1)(市民的社会像の黎明期)			市川市川	達人	火3	1	養養	39 40
ことばと思想1(ル	t会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5用言語学)			市川市川日井	達人	火3 火4	1 1 1	養 -	39 40 41
	t会思想史1X市民的社会像の黎明期) 5用言語学) 5二言語習得)		(社会思想史2)(市民的社会像の確立期)	市川市川日井	達人 達人 芳子 芳子	火3 火4 水1	1 1 1 2	養 養 - 養	39 40 41 42
ことばと思想1(第ことばと思想1(倫	t会思想史1X市民的社会像の黎明期) 5用言語学) 5二言語習得)	ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期)	市川市川日井日井	達人 達人 芳子 芳子 茂雄	火3 火4 水1 木2	1 1 1 2 2	養 養 - 養	39 40 41 42 43
ことばと思想1(第ことばと思想1(倫ことばと思想1(7	t会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5用言語学) 5二言語習得) 6年2年3	ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2)	市川 市川 臼井 臼井 川口 川口	達人 達人 芳子 芳子 茂雄	火3 火4 水1 木2 月4	1 1 1 2 2	養 養 - 養 養	39 40 41 42 43 44
ことばと思想1(倫ことばと思想1(一つとばと思想1(一つとばと思想1(つつことばと思想1(つ	社会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5二言語習得) 施理学a) 1ランス・ドイツ哲学入門1)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解)	市川 市川 臼井 臼井 川口 杉山	達人 達人 芳子 芳子 茂雄	火3 火4 水1 木2 月4 金4	1 1 1 2 2 1	養 養 - 養 養	39 40 41 42 43 44 45
ことばと思想1(倫ことばと思想1(一つとばと思想1(一つとばと思想1(つつことばと思想1(つ	社会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5月言語習得) 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解)	市川 日井 日井 川口 村山 杉山	達人達人芳子芳子茂雄茂雄憲司	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1	1 1 1 2 2 1 1	養 養 - 養 養	39 40 41 42 43 44 45 46
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (介 ことばと思想1 (力 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (こ	社会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5月言語習得) 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では 6円では	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解)	市川 市田 田井 川口 村 村山 村 村 山口 村 村 山口 村 村 山口 村 村 村 山口	達人 達人 芳子 芳雄 茂雄 憲司 憲司	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1	1 1 2 2 1 1 1	養養養 養	39 40 41 42 43 44 45 46
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (編 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (元	社会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5二言語習得) 6理学a) 7ランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解)	市川田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	達達芳芳茂茂憲憲雅	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 木2	1 1 2 2 1 1 1 1	養養養養養養	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (編 ことばと思想1 (7 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (こ ことばと思想1 (こ	社会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5用言語学) 第二言語習得) 南理学a) プランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) ころの世界) 3本語文法形態論) 該語圏の社会と思想a)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解)	市川市川田井川川口村山村田武田田村市	達達芳芳茂茂憲憲雅明	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 木2	1 1 2 2 1 1 1 1	養養養 養	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (イ ことばと思想1 (イ ことばと思想1 (小 ことばと思想1 (小 ことばと思想1 (こ ことばと思想1 (日 ことばと思想1 (日 ことばと思想1 (五 ことばと思想1 (英	上会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5二言語習得) 高理学a) プンス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) ころの世界) 日本語文法形態論) 5話圏の社会と思想a) 極訊・翻訳論)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解)	市川市川田井田川川村村田田田田田田田市市田田田市市田田田市市市田田田市市市田田田市市市田田市市市田田市市市田田田市市市田田田田	達達芳芳茂茂憲憲雅明 新教 新教 新教 新教 新教 一 新教 一 新教 一 一 新教 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 木2 火2	1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1	養養 養養養 - - - 養養 養・14以降入学	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (口 ことばと思想1 (耳 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英	上会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5二言語習得) 高理学a) プンス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) ころの世界) 日本語文法形態論) 5話圏の社会と思想a) 極訊・翻訳論)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b)	市田田川川杉杉田武田永松	達達芳芳茂茂憲憲雅明 新教 新教 新教 新教 新教 一 新教 一 新教 一 一 新教 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 木2 火2	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2	養養養 養 養 養・14以降入学 英	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48 49 50
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (ひ ことばと思想1 (口 ことばと思想1 (耳 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英	は会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 第二言語習得) 第理学a) 1ランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学(人間の行動・認知・動機の一般法則) にろの世界) 1本語文法形態論) 森語圏の社会と思想a) 額訳・翻訳論) 社会思想史1)(東洋古代から近世まで)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b)	市市日日川川杉杉田武田永松秋	達達芳芳茂茂憲憲雅明 大人子子雄雄司司德子 片版 // 公 本報 本報 本報 本報 本報 本報 本報 本報 本報 本報	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 木2 火2	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1	養養養養 養 養養 養・14以降入学 英 - 養	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48 49 50
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (加 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (こ ことばと思想1 (五 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英	は会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 第二言語習得) 第理学a) 1ランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学(人間の行動・認知・動機の一般法則) にろの世界) 1本語文法形態論) 森語圏の社会と思想a) 額訳・翻訳論) 社会思想史1)(東洋古代から近世まで)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 歴史と文化1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b) (社会思想史2)(東洋近世から現代まで) (ドイツ語圏のメディア文化b)	市市臼臼川川杉杉田武田永松秋浅	達 達 芳 芳 茂 茂 憲 憲 雅 明 w 小壽 有	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 大2 火2 配金3/木4 水2	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 2 2	養養 養 養 春 養 養 養 養 基	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48 49 50 51
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (加 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (こ ことばと思想1 (五 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英	社会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 5二言語習得) 高理学a) プランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) ころの世界) 日本語文法形態論) 該語圏の社会と思想a) 値訳・翻訳論) 社会思想史1)(東洋古代から近世まで) イツ語圏のメディア文化a)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 歴史と文化1 歴史と文化1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b) (社会思想史2)(東洋近世から現代まで) (ドイツ語圏のメディア文化b) (日本研究概論 II)	市市臼臼川川杉杉田武田永松秋浅新田山川田田市	達達芳芳茂茂憲憲雅明 小壽有佳	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 火2 七 金3/木4 月4 水2 木3	1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	養養養養養 - 養養養 養養 * *****************	39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (加 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (こ ことばと思想1 (五 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英	は会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 第二言語習得) 第理学a) プランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) にろの世界) 日本語文法形態論) 主語圏の社会と思想a) 種郎・翻訳論) 社会思想史1)(東洋古代から近世まで) イツ語圏のメディア文化a)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 歴史と文化1 歴史と文化1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b) (社会思想史2)(東洋近世から現代まで) (ドイツ語圏のメディア文化b) (日本研究概論 II) (歴史学2)(中世の「悪党」と民衆)	市市臼臼川川杉杉田武田永松秋浅新飯川川井井口口山山口田村田丸野山井島	達達芳芳茂茂憲憲雅明敬小壽有佳孝人人子子雄雄司司德子川絵雄紀郎重	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 大2 火2 配 金3/木4 月4 水2 木3 木1	1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	養養養 養養養 	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48 49 50 51 52 53
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (加 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (五 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (が 歴史と文化1 (が 歴史と文化1 (歴	は会思想史1)(市民的社会像の黎明期) 5月言語学) 第二言語習得) 第理学a) プランス・ドイツ哲学入門1) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) 理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則) にろの世界) 日本語文法形態論) 主語圏の社会と思想a) 種郎・翻訳論) 社会思想史1)(東洋古代から近世まで) イツ語圏のメディア文化a)	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 歴史と文化1 歴史と文化1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b) (社会思想史2)(東洋近世から現代まで) (ドイツ語圏のメディア文化b) (日本研究概論 II) (歴史学2)(中世の「悪党」と民衆)	市市臼臼川川杉杉田武田永松秋浅新飯上川川井井口口山山口田市和丸野山井島野	達達芳芳茂茂憲憲雅明 物小壽有佳孝一人人子子雄雄司司德子 片絵雄紀郎重彦	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 大2 火2 仓金3/木4 水2 木3 木1	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	養養養養養養 養	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48 49 50 51 52 53 54
ことばと思想1 (第 ことばと思想1 (加 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (心 ことばと思想1 (元 ことばと思想1 (五 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (英 ことばと思想1 (が 歴史と文化1 (歴	は会思想史1)(市民的社会像の黎明期) に用言語学) に言語習得) に対している。 に言語習得) に対している。 にはいるいる。 にはいるいるいる。 にはいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 ことばと思想1 歴史と文化1 歴史と文化1	(社会思想史2)(市民的社会像の確立期) (倫理学b) (フランス・ドイツ哲学入門2) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (心理学)(人間の個性・多様性理解) (日本語文法統語論) (英語圏の社会と思想b) (社会思想史2)(東洋近世から現代まで) (ドイツ語圏のメディア文化b) (日本研究概論 II) (歴史学2)(中世の「悪党」と民衆) (日本文学論・中世 II)	市市臼臼川川杉杉田武田永松秋浅新飯上上川川井井口口山山口田村田丸野山井島野村	達達芳芳茂茂憲憲雅明翰小壽有佳孝一直人人子子雄雄司司徳子片絵雄紀郎重彦子	火3 火4 水1 木2 月4 金4 木1 木2 大2 火2 電金3/木4 水2 木3 木1 木4	1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1	養養養 - 養養養 養養養 養養	39 40 41 42 43 44 45 46 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
歴史と文化1	(日本文学論·中世 I)			宇津木 言行	火4	1	13以降入学養	55
歴史と文化1	(英語圏の文学)	歴史と文化1	(英語圏の文学Ⅱ)	大熊 昭信	金2	1	養	59
	(教育の歴史1)			川村 肇	水3	2	 養	60
<u> </u>	(A)	歴史と文化1	(教育の歴史2)	川村肇	水3	2	 養	60
			(日韓交流史)	金 熙淑	月3	2	 養	61
歴中と文化1	(大衆文化論)	歴文と入化す		木本 玲一	月5	2	養	62
	(歴史学1)(イスラーム世界の成立と拡大)	麻中と文化1	(歴中学2)/イフラー / 世界の近代ルレその谷)		木3	1	- 英	63
	(東西の文化を結ぶもの)		(東西文化と近代化)	熊谷 哲也		2	_	64
歴史と又化り	(東西の文化を描ふもの)		(スペイン・ラテンアメリカの社会文化)	見島 峰	大4 火5	2	 養	65
田内 トナル1	(医九类4)(六四九环类)							
	(歴史学1)(文明史研究a)	歴史と又11.1	(歴史学2)(文明史研究b)	櫻井 悠美	月2	1	養 	66
	(韓国文化各論c)			佐藤 厚	木1	2	養	67
歴史と文化1	(韓国史)	田本 L 士 // ・4	/= - > - /!!	佐藤厚	金3	2	13以降入学養	68
		歴史と又化1	(ラテンアメリカ研究入門)	佐藤勘治	月5	1	養	69
歴史と文化1	(恐怖の日本文学)		4-1-1-W	佐藤 毅	木1	1	13以降入学養	70
			(日本文学現代)	佐藤 毅	木1	1	養 	70
	(歴史学2)(アメリカのエスニック・ヒストリー)				金3	1	-	71
	(文化人類学a)	歴史と文化1	(文化人類学b)	執行 一利	金4	1	養	72
	(韓国文学史)		No. 1 and the contract of the	沈元燮	水2	2	13以降入学養	73
	(都市と建築1)		(都市と建築2)	鈴木 隆	火2	1	-	74
歴史と文化1	(中国史a)	歴史と文化1	(中国史b)	張 士陽	木4	2	養	75
歴史と文化1	(スペイン・ラテンアメリカの文学)			中井 博康	月3	1	-	76
歴史と文化1	(スペイン研究入門)			二宮 哲	月5	1	<u>養</u>	69
歴史と文化1	(民俗学)			林 英一	木1	1	養	77
		歴史と文化1	(地域文化)	林 英一	木1	2	養·法	77
歴史と文化1	(日本文学古典)			福沢 健	月2	1	養	78
		歴史と文化1	(平安時代の文学を読む)	福沢 健	月2	1	13以降入学養	78
歴史と文化1	(歴史学1)(「15年戦争」をどうとらえるか)	歴史と文化1	(歴史学2)(戦後史の中の「15年戦争」)	丸浜 昭	水2	2	養	79
歴史と文化1	(移民・交易に見る文化変容)	歴史と文化1	(グローバル化と情報・通信の文化史)	水口 章	月4	1	-	80
歴史と文化1	(アラブ文化・芸術a)	歴史と文化1	(アラブ文化・芸術b)	師岡 カリーマ・エルサ	4二- 月2	2	養	81
歴史と文化1	(在外日本人研究)			山本 英政	月2	2	13以降入学養	82
		歴史と文化1	(異文化間コミュニケーションb)	山本 英政	月2	1	英·養	82
歴史と文化1	(英語圏の文化)	歴史と文化1	(英語圏事情)	山本 英政	木2	2	英·養	83
現代社会1	(ブラジル研究)			E. ウラノ	火2	2	養	84
現代社会1	(地理学1)(自然環境と文化)	現代社会1	(地理学2)(自然環境と文化)	秋本 弘章	水2	1	-	85
現代社会1	(地誌学1)(ヨーロッパ地域論)	現代社会1	(地誌学2)(ドイツ地域論)	飯嶋 曜子	木3	1	独•13以降入学経	86
現代社会1	(教育法1)	現代社会1	(教育法2)	市川 須美子	木2	2	法	87
現代社会1	(国際法1)(国際社会と私たち)	現代社会1	(国際法2)(国際紛争を考える)	一之瀬 高博	月1	1	-	88
現代社会1	(会社と社員の関係)	現代社会1	(非正規雇用を考える)	市原 博	木5	1	-	89
現代社会1	(国際関係の構造と展開)	現代社会1	(近現代の国際関係史)	伊藤 兵馬	月3	1	-	90
現代社会1	(東南アジアの開発と社会)			江藤 双恵	火1	2	13以降入学養	91
現代社会1	(韓国政治論)			呉 吉煥	金1	2	養	92
		現代社会1	(地域メディア論)	岡村 圭子	水2	2	養・13以降入学経	93
現代社会1	(社会学a)	現代社会1	(社会学b)	岡村 圭子	土1	1	養	94
現代社会1	(民法1)	現代社会1	(民法2)	小川 佳子	月2	1	法	95
現代社会1	(社会科学概論1)	現代社会1	(社会科学概論2)	堅田 剛	火2	1	法	96
現代社会1	(ジェンダーと生活世界)			片山 亜紀	木5	1	-	97
現代社会1	(日本国憲法)	現代社会1	(日本国憲法)	加藤 一彦	火2	1	法	98
現代社会1	(現代の企業経営)	現代社会1	(基礎から学ぶマネジメント)	上坂 卓郎/高松	和幸 水1	1	経	99
現代社会1	(地理学1)(世界の自然環境と文化)		(地理学2)(世界の自然環境と文化)	北﨑 幸之助		1	養	100
現代社会1	(経済学1)(はじめての経済学)	現代社会1	(経済学2)(はじめての経済学)	黒木 亮	月1	1	経	101
現代社会1	(日本国憲法)			古関 彰一	金3	1	法	102
	(歴史の中のメディア)	現代社会1	(メディアと現代社会)	柴崎 信三	水2	1	_	103
	(グローバリゼーションを巡って)		(日本の表象と世界)	柴崎 信三	木2	1	12以前入学経	104
		現代社会1		清水 俊弘	水4	1	養	105

春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
現代社会1	(コトバと社会)	現代社会1	(コトバと社会)	下川 浩	水4	1	-	106
		現代社会1	(韓国社会各論b)	全 載旭	木2	2	養	107
現代社会1	(政治思想と理論、制度)	現代社会1	(政策と政治過程)	中島 晶子	月2	1	-	108
		現代社会1	(ジェンダーとメディア表象)	西山 千恵子	水4	1	-	109
現代社会1	(経済学1)(ミクロの視点で考える)	現代社会1	(経済学2)(マクロの視点で考える)	浜本 光紹	火4	1	経	110
現代社会1	(中東の社会空間)	現代社会1	(中東政治と市民社会)	水口 章	月5	1	-	111
自然·環境·人間1	(数学a)	自然·環境·人間1	(数学b)	東 孝博	月2	1	養	112
自然·環境·人間1	(物理学Ⅰ)	自然·環境·人間1	(物理学Ⅱ)	東 孝博	月4	1	13以降入学養	113
自然·環境·人間1	(宇宙論a)	自然·環境·人間1	(宇宙論b)	東 孝博	火1	1	養	114
自然·環境·人間1	(天文学a)	自然·環境·人間1	(天文学b)	内田 俊郎	木4	1	養	115
自然·環境·人間1	(歴史における科学技術1:西洋近代科学技術の起源)	自然·環境·人間1	(歴史における科学技術2:日本の近代化と科学技術)	内田 正夫	木3	1	-	116
自然·環境·人間1	(地球環境の変化とその要因)	自然·環境·人間1	(地球環境問題と環境保全)	鈴木 滋	火2	1	-	117
自然·環境·人間1	(科学技術と倫理a)	自然·環境·人間1	(科学技術と倫理b)	野澤 聡	月2	1	-	118
自然·環境·人間1	(科学技術基礎論 I)	自然·環境·人間1	(科学技術基礎論Ⅱ)	野澤 聡	月4	1	養	119
		自然·環境·人間1	(科学技術と社会b)	野澤 聡	水1	1	養	120
自然·環境·人間1	(科学史a)	自然·環境·人間1	(科学史b)	野澤 聡	金4	1	養	121
		自然·環境·人間1	(スポーツ科学概論)	石渡 貴之	木4	1	13以降入学養	122
自然·環境·人間1	(私の自由時間設計)			和田 智	金4	1	13以降入学養	123

全学共通実践科目部門

春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
ことばと思想2 (意味	論)	ことばと思想2	(談話論)	浅山 佳郎	月1	2	養	124
		ことばと思想2	(碑文を読む)	飯島 一彦	木2	2	養	125
		ことばと思想2	(日本文学作品研究c)	宇津木 言行	火3	2	養	126
ことばと思想2(日本	文学作品研究a)			宇津木 言行	木3	2	養	126
		ことばと思想2	(日本文学作品研究e)	宇津木 言行	木3	2	13以降入学養	127
ことばと思想2(写本	を読む)			宇津木 言行	木4	2	養	127
ことばと思想2(日本	語音声表現のトレーニング基礎篇)	ことばと思想2	(日本語音声表現のトレーニング表現篇)	梅津 正樹	土2	1	-	128
ことばと思想2 (ラテン	ノ語 I a)	ことばと思想2	(ラテン語 I b)	小倉 博行	金3	1	-	129
ことばと思想2 (ラテン	៸ 語Ⅱa)	ことばと思想2	(ラテン語 II b)	小倉 博行	金2	2	-	130
ことばと思想2(古典:	ギリシア語 Ⅱ a)	ことばと思想2	(古典ギリシア語 Ⅱ b)	小倉 博行	金1	2	-	131
		ことばと思想2	(韓国の言語文化)	金 泰植	月3	2	養	132
ことばと思想2(古典:	ギリシア語 I a)	ことばと思想2	(古典ギリシア語 I b)	櫻井 悠美	月3	1	-	133
ことばと思想2(書き	言葉の問題)	ことばと思想2	(話し言葉の問題)	佐藤 毅	木2	1	-	134
ことばと思想2(ロマン	レス語研究入門1)	ことばと思想2	(ロマンス語研究入門2)	島津 寛	木1	2	-	135
ことばと思想2 (プレイ	ヹンテーション実習)	ことばと思想2	(プレゼンテーション実習)	清水 絹代	木2	1	-	136
ことばと思想2 (プレイ	ヹンテーション実習)	ことばと思想2	(プレゼンテーション実習)	清水 絹代	木3	1	-	136
ことばと思想2(生き力	ミコトバづかい・文章編)	ことばと思想2	(生きたコトバづかい・文章編)	下川 浩	金3	1	-	137
		ことばと思想2	(心理検査法と自己理解)	田口 雅徳	木4	2	養	138
ことばと思想2(英語	通訳(英語通訳の仕事)	ことばと思想2	(英語通訳)(英語通訳の仕事)	中島 直美	土2	1	-	139
ことばと思想2(生活	文化の発見)	ことばと思想2	(生活文化の記述)	林 英一	木2	1	-	140
ことばと思想2(論文	を書く)	ことばと思想2	(口頭発表を行なう)	福沢 健	月3	1	-	141
ことばと思想2(ラカン	/精神分析入門a)	ことばと思想2	(ラカン精神分析入門b)	若森 栄樹	水2	1	-	142
歴史と文化2 (Japanese	Legends, Tales and Myths as Expressed in the Arts: 1)	歴史と文化2	(Japanese Legends, Tales and Myths as Expressed in the Arts: 2)	A.ゾーリンジャー	月4	2	-	143
歴史と文化2(西洋	絵画の主題と様式1)	歴史と文化2	(西洋絵画の主題と様式2)	阿部明日香	月3	1	-	144
歴史と文化2(日本)	文化研究d)			飯島 一彦	木1	2	13以降入学養	145
歴史と文化2(日本:	文化研究a)			飯島 一彦	木2	2	養・法	146
		歴史と文化2	(日本文化研究b)	宇津木 言行	木4	2	13以降入学養	147
歴史と文化2(日韓	比較文化論b)	歴史と文化2	(日韓比較文化論a)	金 熙淑	火4	2	養	148
歴史と文化2(スペー	イン・ラテンアメリカの芸術文化)			倉田 量介	火3	2	養	149
-		歴史と文化2	(おもしろまじめな芝居のミカタb)	児嶋 一男	月3	2	英·養	150
		歴史と文化2	(韓国の宗教)	佐藤 厚	金3	2	養	151
歴史と文化2 (能楽	論)	歴史と文化2	(能楽における中世武士の諸像)	瀬尾 菊次	火2	2	-	152
歴史と文化2(イタリ	アの音楽史)	歴史と文化2	(イタリアの声楽曲)	園田 みどり	水3	1	-	153
歴史と文化2 (詩と音	音楽5)	歴史と文化2	(詩と音楽6)	園田 みどり	木2	1	-	154

春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題		担当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
歴史と文化2	(食の歴史と文化)	歴史と文化2	(海から見た歴史)	野澤	星 丈二	木2	1	-	155
		歴史と文化2	(アメリカ詩入門)	原	成吉	火1	2	英·養	156
歴史と文化2	(近代パリと文学1)	歴史と文化2	(近代パリと文学2)	福田	3 美雪	月3	1	-	157
歴史と文化2	(日本事情1)	歴史と文化2	(日本事情2)	守田	逸人	火3	1	13以降入学養	158
現代社会2	(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』)	現代社会2	(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』)	上标	対 敏郎	火3	1	独	159
現代社会2	(経理入門1)	現代社会2	(経理入門2)	大圢	平 史治	木3	1	経	160
現代社会2	(英文会計入門1)	現代社会2	(英文会計入門2)	大坏	平 史治	木4	1	-	161
現代社会2	(教育の現場:教師と語るa)			川木	寸 肇	水1	1	-	162
		現代社会2	(教育の現場:教師と語るb)	川木	寸 肇	金3	1	養	162
		現代社会2	(韓国研究情報収集法)	金	熙淑	月4	2	養	163
現代社会2	(生きたコトバづかい・話し合い編)	現代社会2	(生きたコトバづかい・話し合い編)	下川	浩	金4	1	-	164
		現代社会2	(ポストコロニアル研究入門)	平田	由紀江	火2	2	13以降入学養	165
現代社会2	(韓国社会論 I)	現代社会2	(韓国社会論)	平田	日 由紀江	水2	2	養	166
現代社会2	(新聞を読む1)	現代社会2	(新聞を読む2)	細里	予 徳治	金4	1	-	167
現代社会2	(インターンシップ)			森永	、 卓郎	木2	2	-	168
現代社会2	(コンピュータ入門a)	現代社会2	(コンピュータ入門b)	久東	彰典	火3	1	外·養·経	169
現代社会2	(コンピュータ入門a)	現代社会2	(コンピュータ入門b)	黄	海湘	金3	1	外·養·経	169
現代社会2	(コンピュータ入門a)	現代社会2	(コンピュータ入門b)	黄	海湘	金4	1	外•養•経	169
現代社会2	(コンピュータ入門a)	現代社会2	(コンピュータ入門b)	杉木	寸 和枝	金3	1	外·養·経	169
現代社会2	(ホームページ作成)	現代社会2	(ホームページ作成)	和身	艮 順子	金2	1	養	170
現代社会2	(ホームページ作成)	現代社会2	(ホームページ作成)	久東	彰典	火5	1	養	171
自然·環境·人間2	(サイエンスライティングa)	自然・環境・人間2	(サイエンスライティングb)	東	孝博	火4	2	13以降入学養	172
自然・環境・人間2	(統計と調査法)			安間	引 一雄	火2	2	養	173
自然·環境·人間2	(生物学 I)	自然・環境・人間2	(生物学Ⅱ)	飯身	表 恭一	水3	1	13以降入学養	174
自然·環境·人間2	(基礎生物学実験a)	自然·環境·人間2	(基礎生物学実験b)	飯身	表 恭一	水2	2	養	175
自然·環境·人間2	(スポーツコーチ学a)			石源	黄 貴之	木4	2	養	176
自然·環境·人間2	(生理学 I)	自然・環境・人間2	(生理学Ⅱ)	石源	隻 貴之	木5	1	13以降入学養	177
自然·環境·人間2	(観察と実験生物学a)	自然・環境・人間2	(観察と実験生物学b)	内田	王夫	木2	2	養	178
自然・環境・人間2	(体育経営スポーツマネージメント)			川킈	比 準人	月3	2	養	179
自然·環境·人間2	(コンピュータと言語)			呉	浩東	月2	1	外·養	180
		自然・環境・人間2	(コンピュータ構造論)	呉	浩東	月2	2	養	180
自然・環境・人間2	(データ構造とアルゴリズム論)			黄	海湘	水3	2	13以降入学養	181
自然・環境・人間2	(情報検索と加工)			黄	海湘	水4	2	養	182
自然·環境·人間2	(マルチメディア論)			田中	및 雅英	火4	2	養	183
		自然·環境·人間2	(人間活動の自然環境への影響のデータからの理解)	中村	付 健治	水1	1		184
		自然·環境·人間2	(スポーツコーチ学b)	松房	1 裕	木3	2	養	185
自然·環境·人間2	(リーダーシップ論)			和田	日智	金2	2	養	186

外国語科目群

英語部門(English)

外国語学部英語学科·交流文化学科、国際教養学部の学生は、英語部門「English」を履修することはできません。

■クラス指定科目(再履修クラス含む) 対象・コース等 科目名

対象・コース等	科目名		担当教員	曜時	履修不可	ページ
独・仏・経・法のみ	English(リーディングI a,b)	/(Academic Reading Strategies I a,b)	各担当教員		-	224
指定された者のみ	English(リーディングI a,b)	/(Academic Reading Strategies I a,b)	岡田 圭子	月 5 火 5	-	225
環・国・総のみ	English(ライティングI a,b)	/(Academic Writing I a,b: Paragraph)	各担当教員		-	226
経のみ	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	各担当教員		-	227
Sounds Good利用クラス	English(リスニング I a,b)	/(Academic Listening Strategies I a,b)	各担当教員		-	228
Quest Intro利用クラス	English(リスニング I a,b)	/(Academic Listening Strategies I a,b)	各担当教員		-	229
指定された者のみ	English (リスニング I a,b)	/(Academic Listening Strategies I a,b)	M. クロフォード	火 5 金 5	-	230
独・仏・経(13年度以降入 学者)・法のみ	English(リーディング II a,b)	/(Academic Reading Strategies II a,b)	各担当教員		-	231
指定された者のみ	English(リーディング II a,b)	/(Academic Reading Strategies II a,b)	辻田 麻里	火 5 木 5	-	232
環・国・総のみ	English(ライティング II a,b)	/(Academic Writing II a,b: Essay)	各担当教員		-	233
独・仏・経(13年度以降入 学者)・法のみ	English(リスニング II a,b)	/(Academic Listening Strategies II a,b)	各担当教員		-	234
指定された者のみ	English(リスニング II a,b)	/(Academic Listening Strategies II a,b)	J. ラシーン	火 5 木 5	-	235
独・仏のみ	English(リーディング III a,b)	/(Academic Reading and Writing Strategies III a,b)	各担当教員		-	236
指定された者のみ	English(リーディング III a,b)	/(Academic Reading and Writing Strategies III a,b)	宇野沢 和子	月 3	-	237
■対象者指定科目						
対象・コース等	科目名		担当教員	曜時	履修不可	ページ
外国人学生·帰国学生	English(留学生I a,b)	/(Basic English Skills for International Students I a,b)	本年度休講			
外国人学生·帰国学生	English(留学生II a,b)	/(Basic English Skills for International Students II a,b)	本年度休講			

■選択科目 科目の種類

■選択科日 科目の種類	科目名		担当教員	曜時	履修不可	ページ
Writing	English(ライティングI a,b)	/(Academic Writing I a,b: Paragraph)	松岡 昇	月 3	環・国・総	238
	English (ライティング I a,b)	/(Academic Writing I a,b: Paragraph)	a:林 千賀 b:飯島 優雅	火 4	環・国・総	239
	English(ライティングI a,b)	/(Academic Writing I a,b: Paragraph)	遠藤 朋之	木 2	環・国・総	240
	English(ライティングI a,b)	/(Academic Writing I a,b: Paragraph)	石月 正伸	金 3	環・国・総	241
	English(ライティングI a,b)	/(Academic Writing I a,b: Paragraph)	高畑 哲男	金 3	環・国・総	242
Speaking	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	W. へイ	月 2	経	243
	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	D. R. ギブソン	火 4	経	244
	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	M. H. ウィキンズ	木 1	経	245
	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	J. ハサウェイ	木 3	経	246
	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	S. フォー	金 3	経	247
	English(スピーキングI a,b)	/(Speaking in Academic Contexts I a,b)	S. A. フルトン	金 4	経	248
	English(スピーキングII a,b)	/(Speaking in Academic Contexts II a,b: Presentation)	S. フォー	月 3	-	249
	English(スピーキングII a,b)	/(Speaking in Academic Contexts II a,b: Presentation)	J. ハサウェイ	木 2	-	250
Reading	English(リーディング II a,b)	/(Academic Reading Strategies II a,b)	履修希望者は教務課 経済学部係窓口へ		独·仏·経(13年度 以降入学者)·法	231
	English(リーディング III a,b)	/(Academic Reading and Writing Strategies III a,b)	履修希望者は教務課 各学部係窓口へ		独·仏	236
Listening	English(リスニング II a,b)	/(Academic Listening Strategies II a,b)	履修希望者は教務課 経済学部係窓口へ		独·仏·経(13年度 以降入学者)·法	234
e-learning	English(e-ラーニング)	/(Computer Assisted English Learning (CAEL))	岡田 圭子	火 4	1年生	251
Content-based	English(コンテント ii)	/(English Explorations)	J. ラシーン	火 4	TOEIC450点 未満	252
	English(コンテントiii)	/(English Explorations)	飯島 優雅	木 1	TOEIC450点 未満	252

Test-taking	English(資格I)	/(Special Topics: Basic Test-taking Strategies)	河原 伸一	金 4	TOEIC400点 以上	253
	English(資格II)	/(Special Topics: Advanced Test-taking Strategies)	松岡 昇	月 4	TOEIC400点 未満	254
	English(資格III)	/(Special Topics: Advanced Test-taking Strategies)	飯島 優雅	木 2	TOEIC450点 未満	255
	English(資格IV)	/(Special Topics: Advanced Test-taking Strategies)	M.クロフォード	火 4	TOEIC450点 未満	255
Pronunciation	English(発音)	/(Special Topics: Pronunciation Workshop)	辻田 麻里	木 4	-	256
	English(発音)	/(Special Topics: Pronunciation Workshop)	三谷 裕美	金 4	-	256
Basic Grammar	English(基礎文法 a,b)	/(Special Topics: Grammar Refresher a,b)	垣下 圭子	火 4	-	257
	English(基礎文法 a,b)	/(Special Topics: Grammar Refresher a,b)	豊田 宣是	木 1	-	258
	English(基礎文法 a,b)	/(Special Topics: Grammar Refresher a,b)	菊池 武	金 4	-	259

外国語科目群

	外国語部門(英語以外	<u> </u>			
対象・コース等	科目名(副題)	担当教員	曜時	履修不可	^ <u>-:</u>
(基礎コース)	ドイツ語(Ia,b 基礎)	各担当教員		独	260
(総合コース)	ドイツ語(Ia,b 基礎)	各担当教員		独	261
- (総合コース)	ドイツ語(la,b 会話)	各担当教員		独	262
(基礎コース)	ドイツ語(Ⅱ a,b 基礎)	宮村 重徳	金 2	独	263
(総合コース)	ドイツ語(Ⅱ a,b 基礎)	各担当教員		独	264
- (総合コース)	ドイツ語(II a,b 会話)	各担当教員		独	265
	ドイツ語(IIIa,b 会話)	H.W.ラーデケ	木 1	独	266
(基礎コース)	フランス語(la,b 基礎)	各担当教員		14	267
(総合コース)	フランス語(Ia,b 総合J)	各担当教員		仏	268
~(総合コース)	フランス語(Ia,b 総合F)	各担当教員		仏	269
(基礎コース)	フランス語(I a,b 基礎)	C.ルメタ	金 2	仏	270
(総合コース)	フランス語(II a,b 総合J)	各担当教員		仏	271
- (総合コース)	フランス語(II a,b 総合F)	各担当教員	^ .	仏	272
/### = >\	フランス語(IIIa,b)	B.レウルス	金 1	仏	273
(基礎コース)	スペイン語(la,b 文法)	各担当教員		養(*1)	274
(総合コース)	スペイン語(la,b 文法)	各担当教員		養(*1)	275
- (総合コース) (基礎コース)	スペイン語(Ia,b 会話)	各担当教員		養(*1)	276
(基礎コース)	スペイン語(II a,b 文法)	各担当教員		養(*1)	277
(総合コース)(総合コース)	スペイン語(II a,b 文法) スペイン語(II a,b 会話)	各担当教員 各担当教員		養(*1) 養(*1)	278
(松口コー人)	スペイン語(IIIa,b 講読)	各担当教員		養(*1)	280
-	スペイン語(IIIa,b 会話)	各担当教員			281
(基礎コース)	中国語(Ia,b 会話)	各担当教員		養(*1) 養(*2)	282
(総合コース)	中国語(la,b 会話)	各担当教員		養(*2)	283
·(総合コース)	中国語(Ia,b 講読・文法)	各担当教員		養(*2)	284
(基礎コース)	中国語(II a,b 会話)	各担当教員		養(*2)	28
(総合コース)	中国語(II a,b 会話)	各担当教員		養(*2)	286
(総合コース)	中国語(II a,b 講読・文法)	各担当教員		養(*2)	28
- THO H = 277	中国語(IIIa,b 会話)	菊池 真純	水 2	養(*2)	288
	中国語(IIIa,b 講読·文法)	平野 佐和	火 1	養(*2)	289
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	柳蓮淑	月1	養(*3)	290
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	柳 蓮淑	火 1	養(*3)	291
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	金 熙淑	火 3	養(*3)	292
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	呉 吉煥	水 1	養(*3)	293
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	呉 吉煥	水 2	養(*3)	293
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	呉 吉煥	金 2	養(*3)	29
(基礎コース)	韓国語(Ia,b 基礎)	沈 民珪	金 3	養(*3)	29
(総合コース)	韓国語(Ia,b 総合1)	各担当教員		養(*3)	29
(総合コース)	韓国語(la,b 総合2)	各担当教員		養(*3)	29
(基礎コース)	韓国語(Ⅱ a,b 講読・会話)	沈 民珪	金 4	養(*3)	29
(総合コース)	韓国語(II a,b 総合1)	金 熙淑	月 2	養(*3)	29
(総合コース)	韓国語(II a,b 総合2)	金 熙淑	火 2	養(*3)	29
	外国語(イタリア語Ia,b 基礎)	園田 みどり	水 4	-	30
	外国語(イタリア語Ia,b 基礎)	園田 みどり	木 3	-	30
	外国語(イタリア語la,b 基礎)	島津 寛	± 1	-	30
	外国語(イタリア語 Ⅱ a,b 基礎)	島津 寛	土 2		30
	外国語(ポルトガル語Ia,b 総合)	牧野 真也	金 3	=	30
	外国語(ポルトガル語Ia,b 会話)	牧野 真也	金 4	-	30
	外国語(ロシア語Ia,b 総合)	齊藤 毅	水 2	-	30
	外国語(ロシア語la,b 会話)	小西 昌隆	月 4	=	30
	外国語(ロシア語 II a,b 総合)	齊藤 毅	水 3	=	30
	外国語(ロシア語 II a,b 会話)	小西 昌隆	月 3		30
	外国語(タイ語Ia,b 会話)	江藤 双恵	火 3		30
	外国語(タイ語 II a,b 文字の読み書き)	江藤 双恵	火 2	=	31
	外国語(アラビア語Ia,b 会話と文化)	師岡カリーマ・エルサムニー	月 3	=	31
	外国語(アラビア語 II a,b 読み書きと文法の基礎)	師岡カリーマ・エルサムニー	月 4	-	31
	外国語(現代ヘブライ語 I a,b 基礎)	阿部 望	金 2		31
	外国語(トルコ語 I a,b 総合)	M.加藤	木 2	-	31
	外国語(トルコ語 I a,b 会話)	M.加藤	木 3	=	31
	外国語(トルコ語 II a,b 応用)	M.加藤	木 4	-	31
	日本語部門				
対象・コース等	科目名(副題)	担当教員	曜時	履修不可	A°

	日本語	部門			
対象・コース等	科目名(副題)	担当教員	曜時	履修不可	ページ
(外国人·帰国学生)	日本語(総合IAa,b/総合IBa,b/総合ICa,b)	各担当教員		-	317
(外国人·帰国学生)	日本語(総合 II a,b)	石田 ゆり子/福田 紀子	月 4	-	318
(外国人・帰国学生)	日本語(総合 II a,b)	岩沢 正子/坂谷 佳子	水 1	-	319
(外国人·帰国学生)	日本語(総合 II a,b)	武田 明子/北村 淳子	水 4	-	320
(外国人·帰国学生)	日本語(総合 II a,b)	丸山 具子/福田 紀子	金 2	-	321

スポーツ・レクリエーション部門 / カテゴリーV 体育科目

科目名	(副題)	開講学期	担当教員	曜 時	開始学年	履修不可	ページ
スポーツ・レクリエーション						.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	(インラインスケートa,b)	春•秋	和田 智	火 1	1		188
	(インラインスケートb)	秋	和田 智	± 1	1		189
	(インラインホッケーb)	秋	松原 裕	火 3	1		190
	(エアロビックダンスa,b)	春∙秋	中村 恭子	± 1	1		191
	(エアロビックダンスa,b)	春∙秋	中村 恭子	土 2	1		191
	(硬式テニスa,b)	春∙秋	重藤 誠市郎	火 1	1		192
	(硬式テニスa,b)	春∙秋	重藤 誠市郎	火 2	1		192
	(硬式テニスa,b)	春∙秋	田中 茂宏	木 1	1		193
	(硬式テニスb)	秋	松原 裕	水 3	1		194
	(硬式テニスa,b)	春・秋	村山 光義	月 1	1		195
	(ゴルフa,b)	春・秋	小笠原 慶太	金 1	1		196
	(ゴルフa,b)	春・秋	小笠原 慶太	金 2	1		196
	(コンディショントレーニング)	秋	松原 裕	木 4	1		197
	(サッカーa,b)	春∙秋	大森 一伸	火 3	1		198
	(サッカーa,b)	春∙秋	西川 誠太	水 1	1		199
	(サッカーa,b)	春∙秋	西川 誠太	水 2	1		199
	(スポーツ型デトックスa,b)	春∙秋	齋藤 初恵	金 2	1		200
	(スポーツ型デトックスa,b)	春・秋	齋藤 初恵	金 3	1		200
	(ソフトボールa,b)	春・秋	萩野 元祐	木 1	1		201
	(ソフトボールa,b)	春・秋	萩野 元祐	木 2	1		201
	(卓球a,b)	春・秋	太田 朝博	金 2	1		202
	(卓球a,b)	春・秋	大森 一伸	火 2	1		203
	(卓球a,b)	春•秋	神宮司親治	金 1	1		204
	(卓球a,b)	春・秋	山口 知恵	月 2	1		205
	(トレーニング入門a,b)	春・秋	大森 一伸	火 4	1		206
	(トレーニング入門b)	秋	川北 準人	月 3	1		207
	(ニュースポーツa,b)	春・秋	村山 光義	月 3	1		208
	(バスケットボールa,b)	春・秋	川北 準人	月 1	1		209
	(バスケットボールa,b)	春・秋	川北 準人	月 2	1		209
	(バスケットボールa,b)	春・秋	田中茂宏	木 2	1		210
	(バドミントンa,b)	春・秋	田中 茂宏	木 3	1		211
	(バドミントンa,b)	春・秋	藤野 和樹	水 1	1		212
	(バドミントンa,b)	春・秋	藤野 和樹 藤野 和樹	水 2	1		212
	(バドミントンa,b)	春・秋		水 3	1		212
	(バドミントンa,b) (バレーボールa,b)	春·秋 	山口 知恵	月 3	1		213
			太田朝博	金 3	1		214
	(バレーボールa,b)	春•秋	横矢勇一	金 1	1		215
	(バレーボールa,b) (フットサルa,b)	春・秋	横矢勇一	金 2	1		215
		春·秋 	神宮司 親治 一	金 2	1		216
	(フットサルa,b) (フリスビーa,b)		村山 光義	金 3 月 2	1		216
	(フリスビーa,b)		和田 智	火 2	1		217
	(ボールルームダンスa,b)		内堀 祐子	水 1	1		218
	(ボールルームダンスa,b)		内堀 祐子	水 2	1		219
	「(アウトドアレクリエーション)	春	和田智	火 2	1		220
	(アウトドア海浜)		和田智	夏季集中	1		220
	「(アウトドアレクリエーション)	 春	和田智	水 2	1		221
	(ウィンドサーフィン)		和田智		1		221
	「(バランストレーニング)	 秋	松原裕	木 1	1		222
	(スキー&スノーボード)	 秋	松原裕		1		222
	「(スケートトレーニング)		和田智	± 2	1		223
	(アイススポーツ)	 秋	和田智	冬季集中	1		223
	(学生交流支援プログラム)	春	田中茂宏	± 1	1	外·経·法	*
	(学生交流支援プログラム)	春	田中 茂宏	± 2	1	外・経・法	*
	(学生交流支援プログラム)	春	山口知恵	± 1	1	外・経・法	*
	(学生交流支援プログラム)	春	山口知恵	± 2	1	外・経・法	*
-	(学生交流支援プログラム)	 春	和田智	± 1	1	外・経・法	*
	(学生交流支援プログラム)	春	和田智	± 2	1	外・経・法	*
		. E.	100 0		•	71 TT /A	-

全学共通授業科目 目次(2003年度~2007年度入学者用)

		カテニ	ブリー I 全学総合講	坐					
春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担	当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
全学総合講座	(芸術と社会-芸術が社会の中で果たす役割りについて)			阿部	明日香	木4	1	-	14
全学総合講座	(社会を生き抜くセルフブランディング I)			有告	秀樹	木2	1	-	15
		全学総合講座	〔(社会を生き抜くセルフブランディング Ⅱ)	有吉	秀樹	木2	1	-	16
		全学総合講座	5 (ジェンダーで眺めてみれば)	上野	直子	水3	1	-	17
全学総合講座	(多文化社会のメディア・リテラシー)			岡村	圭子	火3	1	-	18
		全学総合講座	(メディア社会とロック)	岡村	圭子	火3	1	-	19
全学総合講座	(経営者が語る現代企業論1)			上坂	卓郎	火2	1	-	20
		全学総合講座	②(経営者が語る現代企業論2)	上坂	卓郎	火2	1	-	21
全学総合講座	(教えるという仕事)			川村	肇	木3	1	-	22
全学総合講座	(NPO論 人を変える・地域を変える・世界を変える)			高松	和幸	金4	1	-	23
		全学総合講座	(地域活性化システム論―これからの「まちづくり」のヒントを探る)	高松	和幸	金4	1	-	24
		全学総合講座	(情報社会とルール)	夛賀:	谷 一照	水3	1	-	25
全学総合講座	(環境学1)(環境基礎学-自然を見つめる)			中村	健治	火4	1	_	26
		全学総合講座	③ (環境学2)(環境応用学-環境と社会)	中村	健治	火4	1	_	27
· 全学総合講座	(働くための基礎知識 - 知って得する労働問題)			野村	容康	7K2	1	_	28
	(ポピュラー文化と社会)				由紀江	火2	1	_	29
	(現代日本論)				浩邦	月3	1	_	30
_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	() or	全学総合講座			浩邦	月3	1	_	31
2学総会講座	(あなたのキャリアデザインを考える)		- (ジャンローム m) ・ (あなたのキャリアデザインを考える)		喜義	±2	1		32
드 구 씨이 더 바이프	(6)47207 (77 7 7 12 2 47207		(フィールドワークで知を鍛える)	松岡		金2	1		33
			(章話(メルヒェン)の可能性をめぐって)			金3	1		34
> △ ※ △ ※ △	 (キャンパスライフと仕事)			山越		木2	1		35
王子祁 口	(イヤンハヘフインと江事)		(キャンパスライフと仕事)						36
			(食文化と人間生活「気候と風土と食文化」)			火4	1		
			(自由時間の達人)	和田	省	金4	1		37
		カフ	テゴリーⅡ 概論科目						
春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担	当教員	曜時	開始学年	履修不可	~-
侖理学a	(倫理の基本について考える)		(環境と生命の倫理)						
侖理学a	= - =	倫理学b	(現境と主叩び冊座)	市川	達人	火3	1	養	40
	(倫理学と人間性)	倫理学b 倫理学b	(現代倫理学の諸問題)		達人 茂雄	火3 月4	1	養養	40 44
社会思想史a		倫理学b		ЛП					
	(倫理学と人間性)	倫理学b 社会思想史b	(現代倫理学の諸問題)	川口	茂雄	月4	1	養	44
	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期)	倫理学b 社会思想史b	(現代倫理学の諸問題) (市民的社会像の確立期)	川口 市川 松丸	茂雄	月4 火4	1	養 -	44 41
社会思想史a 心理学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b	(現代倫理学の諸問題) の(市民的社会像の確立期) の(東洋近世から現代まで)	川口 市川 松丸 杉山	茂雄 達人 壽雄	月4 火4 水2	1 1 1	養 -	44 41 51
社会思想史a 心理学a 心理学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) (市民的社会像の確立期) (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解)	川口 市川 松丸 杉山 杉山	茂雄 達人 壽雄 憲司	月4 火4 水2 木1	1 1 1 1	養 -	44 41 51 46
社会思想史a 心理学a 心理学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) (市民的社会像の確立期) (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解)	川口 市川 松丸 杉山 杉間	茂雄 達人 壽雄 憲司 憲司	月4 火4 水2 木1 木2	1 1 1 1 1	養 - 養 -	44 41 51 46 46
社会思想史a 心理学a 心理学a 言語学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) の(市民的社会像の確立期) の(東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解)	川 市 松 杉 安 安	茂雄 達人 壽雄 憲司 憲司 一雄	月4 火4 水2 木1 木2 金1	1 1 1 1 1 1	養 - 養 - - - -	44 41 51 46 46 38
土会思想史a 心理学a 心理学a 言語学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) の(市民的社会像の確立期) の(東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解)	川市松杉安安臼	茂雄 達人 壽雄 憲司 憲司 一雄	月4 火4 水2 木1 木2 金1	1 1 1 1 1 1 1	養 - 養 - 養 養	44 41 51 46 46 38 38
社会思想史a 心理学a 心理学a 言語学a 言語学a 言語学b	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) の(市民的社会像の確立期) の(東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解)	川市松杉安安臼	茂雄 達人 壽雄 憲司 一雄 一雄 芳子	月4 火4 水2 木1 木2 金1 金2 水1	1 1 1 1 1 1 1 1 2	養 - 養 - 養 養	44 41 51 46 46 38 38 42
社会思想史a 心理学a 心理学a 言語学a 言語学a 言語学b	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) の(市民的社会像の確立期) の(東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解)	川市松杉杉安安臼臼	茂雄 達人 壽憲司 一雄 芳子 毅	月4 火4 水2 木1 木2 金1 金2 水1	1 1 1 1 1 1 1 1 2	養 - 養 - 養 養	44 41 51 46 46 38 38 42 43
社会思想史a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学)	川市松杉杉安安臼臼佐	茂雄 達人 壽雄 憲司 一雄 芳子 教 毅	月4 火4 水2 木1 木2 金1 金2 水1 木2	1 1 1 1 1 1 1 2 2	養 - 養 養 養 養 養 - 養 -	44 41 51 46 46 38 38 42 43
社会思想史a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福川山川丸山山間間井井藤藤沢	茂雄 達人 壽惠司 一姓 一芳子 毅 發	月4 火4 水2 木1 木2 金1 金2 水1 木2	1 1 1 1 1 1 1 2 2	養 - 養 養 養 養	44 41 51 46 48 38 42 43 70
t会思想史a D理学a D理学a 言語学a 言語学b 文学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b 言語学b	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (由本文学-平安時代の文学を読む)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福口川丸山山間間井井藤藤沢沢	茂雄 達 壽 憲 憲 一 一 芳 芳 毅 毅 健 健	月4 火4 水2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 月2	1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1	養 - 養 養 養 養 養 養	44 41 51 46 46 38 38 42 43 70 70 78
t 会思想史a D 理学a D 理学a 言語学a 言語学b 文学a 文学a	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b 心理学b 言語学b 文学b	(現代倫理学の諸問題) (市民的社会像の確立期) (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新口川丸山山間間井井藤藤沢沢井	茂雄 達 壽 憲 憲 一 一 芳 芳 毅 毅 健 健 孝 重	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 木1 月2 月2	1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1	養 - 養 養 養 養	44 41 51 46 46 38 38 42 43 70 70 78 78 54
生会思想史a 主会思想字a 理理学a 言語学b 言語学b 文字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1)	倫理学b社会思想史b心理学b心理学b言語学b文学b変学b歴史学b	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ史2)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村	茂達人盡憲憲一一芳芳芳毅健健季敏郎	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 木1 月2 月2	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	養 - 養 養 養	444 41 51 46 38 38 42 43 70 70 78 78 54 57
生会思想史a 上会思想史a 上文里学a 上语言言言言文学a 言言文学a 生文文学a 生文文学a 生文文学a 生文文学。	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1) (イスラーム世界の成立と拡大)	倫理学b 社会思想史b 心理学b 心理学b 言語学b 文学b 文学 ウ 歴史学b	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ史2) (イスラーム世界の近代化とその後)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上熊口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村谷	茂達壽憲憲一一芳芳毅毅健健季敏哲	月4 火4 水2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 月2 月2 木4	1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1	養 - 養 養 養	444 41 51 46 46 38 38 42 43 70 70 78 78 54 57
生 会 思 要 学 a 言 言 言 き で と 文 と で と で と で と で で と で と で で と で で で で で で で で で で で で で	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1) (イスラーム世界の成立と拡大) (アメリカのエスニック・ヒストリー)	倫理学b 社会思想史b 社会思想史b 心理学b ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(現代倫理学の諸問題) (市民的社会像の確立期) (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ史2) (イスラーム世界の近代化とその後) (アメリカのエスニック・ヒストリー)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上熊佐口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村谷藤	茂達壽憲憲一一芳芳毅毅健健孝敏哲唯	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木1 1 月2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	養 - 養養 - 養養	444 411 511 466 388 388 422 433 700 707 788 544 577 633 711
せい 会理学a 会理学a 言言文文文 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴 歴	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1) (イスラーム世界の成立と拡大) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説-清朝国家の黄昏)	無理学b 社会思想史b 心理学b 心理学b 言語学b 文学b 文学 文学 と 歴史史学b 歴史史学 と 歴歴史史学 と	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ史2) (イスラーム世界の近代化とその後) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説ー近代国家創成の試み)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上熊佐張口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村谷藤	茂達壽憲憲一一芳芳毅毅健健孝敏哲唯陽	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木1 月2 月2 木4 月1 木3	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2 1 2	養 - 養 養 養 養	444 41 511 466 388 388 422 433 700 70 78 54 57 63 71 75
生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1) (イスラーム世界の成立と拡大) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説ー清朝国家の黄昏) (「15年戦争」をどうとらえるか)	無理学b 社社理学b 心心理学b 言語学b 文学 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学 ウ 学	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ史2) (イスラーム世界の近代化とその後) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説ー近代国家創成の試み) (戦後史の中の「15年戦争」)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上熊佐張丸口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村谷藤「浜	茂達壽憲憲一一芳芳毅毅健健孝敏哲唯陽昭	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 月2 月2 木4 月1 木3 金3 木4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 2	· 養 養 養 養	444 41 51 46 46 38 38 42 43 70 70 78 54 57 63 71 75 79
生 会理学。 会理学。 言言文文文歷史史史的 言言文文文歷史史史的 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1) (イスラーム世界の成立と拡大) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説一清朝国家の黄昏) (「15年戦争」をどうとらえるか) (未開文化の理解へ)	無社会、無理学りは社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(現代倫理学の諸問題) (市民的社会像の確立期) (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ・史2) (イスラーム世界の近代化とその後) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説ー近代国家創成の試み) (戦後史の中の「15年戦争」) (未開文化の理解へ)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上熊佐張丸執口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村谷藤「浜行	茂達壽憲憲一一芳芳毅毅健健孝敏哲唯陽昭一	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 月2 月4 月1 木3 金3 木4 水2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 1	· 養 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	444 41 51 46 46 38 38 42 43 70 70 78 54 57 63 71 75 79 72
生 会理学。 会理学。 言言文文文歷史史史的 言言文文文歷史史史的 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。 是一章文学。	(倫理学と人間性) (市民的社会像の黎明期) (東洋古代から近世まで) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (人間の行動・認知・動機の一般法則) (個別言語学-英語) (応用言語学) (第二言語習得) (恐怖の日本文学) (日本文学-奈良時代の文学を読む) (中世の仏教と社会) (ヨーロッパ史1) (イスラーム世界の成立と拡大) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説ー清朝国家の黄昏) (「15年戦争」をどうとらえるか)	無理学b 社会思想史b 社会思想史b 心心理学b 言語学b 文学 文	(現代倫理学の諸問題) の (市民的社会像の確立期) の (東洋近世から現代まで) (人間の個性・多様性理解) (人間の個性・多様性理解) (一般言語学) (癒しの日本文学) (日本文学ー平安時代の文学を読む) (中世の「悪党」と民衆) (ヨーロッパ史2) (イスラーム世界の近代化とその後) (アメリカのエスニック・ヒストリー) (中国近代史概説ー近代国家創成の試み) (戦後史の中の「15年戦争」)	川市松杉杉安安臼臼佐佐福福新上熊佐張丸執柴口川丸山山間間井井藤藤沢沢井村谷藤づ浜行崎	茂達壽憲憲一一芳芳毅毅健健孝敏哲唯陽昭	月4 火4 火2 木1 木2 金1 金2 水1 木2 木1 月2 月2 木4 月1 木3 金3 木4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 2	· 養 養 養 養	444 41 51 46 46 38 38 42 43 70 70 78 54 57 63 71 75 79

春 科目名	春 副題	秋 科目名	秋 副題	担当教員	曜時	開始学年	履修不可	ページ
比較文化論a	(東西の文化を結ぶもの)	比較文化論b	(東西文化と近代化)	熊谷 哲也	木4	2	-	64
経済学a	(はじめての経済学)	経済学b	(はじめての経済学)	黒木 亮	月1	1	経	101
経済学a	(ミクロの視点で考える)	経済学b	(マクロの視点で考える)	浜本 光紹	火4	1	経	110
日本国憲法	(憲法と私たち)	日本国憲法	(憲法と私たち)	加藤 一彦	火2	1	法	98
日本国憲法	(憲法と私たち)			古関 彰一	金3	1	法	102
国際法a	(国際社会と私たち)	国際法b	(国際紛争を考える)	一之瀬 高博	月1	1	-	88
政治学a	(政治思想と理論、制度)	政治学b	(政策と政治過程)	中島 晶子	月2	1	-	108
社会学a	(他者と自己)	社会学b	(現代社会の諸問題)	岡村 圭子	土1	1	養	94
地理学a	(自然環境と文化)	地理学b	(自然環境と文化)	秋本 弘章	水2	1	-	85
地理学a	(世界の自然環境と文化)	地理学b	(世界の自然環境と文化)	北﨑 幸之助	金4	1	養	100
女性学a	(ジェンダーと生活世界)			片山 亜紀	木5	1	-	97
		女性学b	(ジェンダーとメディア表象)	西山 千恵子	水4	1	_	109
スポーツ・レクリエーション学	ュ(自由時間とクオリティオブライフを考えよう)			和田 智	金4	1	-	123

カテゴリ-各論科目 - **Ⅲ** 春 科目名 春 副題 秋 科目名 担当教員 曜時 開始学年 履修不可 ことばと思想(III) (外国語としての日本語教育) 石塚 京子 月4 39 ことばと思想(皿)(日本語教材における学習項目の扱い) 小山 慎治 木4 養 187 ことばと思想(Ⅲ)(科学としての心理学とこころの世界) 田口 雅徳 47 木2 養 ことばと思想(III) (英語圏の社会と思想a) ことばと思想(Ⅲ) (英語圏の社会と思想b) 田村 斉敏/片山 亜紀 金3/木4 ことばと思想(皿)(通訳・翻訳論) 永田 小絵 月4 50 歴史と文化(II) (英語圏の小説a) 上野 直子 2 英•養 56 水₂ 歴史と文化(Ⅲ)(日本文化論) 宇津木 言行 火3 養・06以前入学 58 歴史と文化(Ⅲ)(日本事情とコミュニケーション教育) 宇津木 言行 58 歴史と文化(II) (英語圏の文学文化) 大熊 昭信 金2 養 59 歴史と文化(III) (教育の歴史b) 川村 肇 zk3 2 養 60 歴史と文化(III) (教育の歴史a) 川村 肇 水3 2 養 60 歴史と文化(皿)(日韓交流史) 金 熙淑 月3 61 木本 玲一 歴史と文化(皿)(大衆文化論) 月5 2 養 62 歴史と文化(皿)(スペイン・ラテンアメリカの社会文化) 兒島 峰 養 火5 65 歴史と文化(III) (韓国文化各論c) 佐藤 厚 木1 67 歴史と文化(Ⅲ) (ラテンアメリカ研究入門) 佐藤 勘治 月5 養・06以前入学 69 歴史と文化(皿)(都市と建築1) 歴史と文化(皿)(都市と建築2) 鈴木 隆 火2 74 歴史と文化(Ⅲ)(スペイン研究入門) 二宮 哲 月5 養・06以前入学 69 歴史と文化(皿)(民俗学) 林 英一 木1 養 77 歴史と文化(皿) (地域文化) 林 英一 木1 養・法 77 歴史と文化(Ⅲ)(移民・交易に見る文化変容) 歴史と文化(Ⅲ)(グローバル化と情報・通信の文化史) 水口 章 月4 80 歴史と文化(Ⅲ)(アラブ文化·芸術a) 歴史と文化(Ⅲ) (アラブ文化・芸術b) 師岡 カリーマ・エルサムニー 月2 2 養 81 歴史と文化(Ⅲ) (異人種共生の試練<アメリカ編>) 山本 英政 月2 英·養·06以前入学 82 歴史と文化(皿)(英語圏事情) 歴史と文化(皿) (英語圏の文化) 山本 英政 木2 2 英•養 83 現代社会(Ⅲ)(ブラジル研究) E. ウラノ 火2 2 養 84 現代社会(Ⅲ)(ヨーロッパ地域論) 現代社会(Ⅲ)(ドイツ地域論) 飯嶋 曜子 木3 86 現代社会(Ⅲ)(教育法a) 現代社会(Ⅲ)(教育法b) 市川 須美子 87 木2 2 法 現代社会(皿)(国際関係の構造と展開) 現代社会(皿)(近現代の国際関係史) 伊藤 兵馬 月3 90 現代社会(Ⅲ)(民法a) 現代社会(Ⅲ)(民法b) 小川 佳子 月2 95 現代社会(Ⅲ)(社会科学概論a) 現代社会(Ⅲ)(社会科学概論b) 堅田 剛 火2 96 現代社会(Ⅲ)(歴史の中のメディア) 現代社会(Ⅲ)(メディアと現代社会) 柴崎 信三 103 水2 現代社会(Ⅲ)(NGO論) 清水 俊弘 水4 養 105 現代社会(Ⅲ)(コトバと社会・言語文化概論) 現代社会(Ⅲ)(コトバと社会・言語文化概論) 下川 浩 06以前入学 106 **7**K4 現代社会(Ⅲ)(韓国社会各論b) 全 載旭 木2 107 現代社会(Ⅲ)(中東の社会空間) 現代社会(Ⅲ)(中東政治と市民社会) 水口 章 月5 111 ^{自然·環境·人間(Ⅲ)} (宇宙論a) 自然·環境·人間(Ⅲ) (宇宙論b) 東 孝博 火1 養 114 自然·環境·人間(皿)(地球環境の変化とその要因) 自然·環境·人間(皿) (地球環境問題と環境保全) 鈴木 滋 火2 117 自然·環境·人間(Ⅲ) (太陽系天文学a) 自然·環境·人間(Ⅲ) (太陽系天文学b) 内田 俊郎 115 木4 養・06以前入学

カテゴリーⅣ 実践実習科目 ページ 春 科目名 春 副題 秋 科目名 秋 副題 担当教員 曜時 開始学年 履修不可 ことばと思想(W) (破文を読む:) 飯島 一彦 125 木2 苯 ことばと思想(IV) (写本を読む) 宇津木 言行 木4 奉 127 ことばと思想(IV)(日本語音声表現のトレーニング基礎篇)ことばと思想(IV)(日本語音声表現のトレーニング表現篇)梅津 正樹 128 ことばと思想(IV) (書き言葉の問題) ことばと思想(IV) (話し言葉の問題) 佐藤 毅 木2 134 ことばと思想(Ⅳ) (ロマンス語研究入門1) ことばと思想(Ⅳ) (ロマンス語研究入門2) 島津 寛 木1 2 135 ことばと思想(N) (プレゼンテーション実習) ことばと思想(N) (プレゼンテーション実習) 清水 絹代 木2 136 ことばと思想(IV) (プレゼンテーション実習) ことばと思想(IV) (プレゼンテーション実習) 清水 絹代 木3 136 下川 浩 ことばと思想(IV)(生きたコトバづかい・文章編) ことばと思想(IV)(生きたコトバづかい・文章編) 余3 137 ことばと思想(Ⅳ) (心理検査法とこころの健康) 田口 雅徳 138 木4 2 養 ことばと思想(Ⅳ) (英語通訳の仕事) ことばと思想(IV) (英語通訳の仕事) 中島 直美 土2 _ 139 林 英一 ことばと思想(IV) (生活文化の発見) ことばと思想(IV) (生活文化の記述) 木っ 140 ことばと思想(IV) (論文を書く) ことばと思想(IV) (口頭発表を行う) 月3 141 福沢 健 歴史と文化(Ⅳ) (西洋絵画の主題と様式a) 歴史と文化(Ⅳ) (西洋絵画の主題と様式b) 阿部明日香 月3 144 歴史と文化(IV) (日韓比較文化論b) 歴史と文化(IV) (日韓比較文化論a) 金 熙淑 火4 養 148 歴史と文化(Ⅳ)(スペイン・ラテンアメリカの芸術文化) 倉田 量介 火3 2 養 149 歴史と文化(Ⅳ)(おもしろまじめな芝居のミカタb) 児嶋 一男 月3 2 英·養 150 歴史と文化(Ⅳ)(能楽論) 歴史と文化(Ⅳ)(能楽における中世武士の諸像) 瀬尾 菊次 火2 152 歴史と文化(Ⅳ)(イタリアの音楽史) 歴史と文化(Ⅳ)(イタリアの声楽曲) 園田 みどり *ж*3 153 歴史と文化(Ⅳ)(詩と音楽5) 歴史と文化(Ⅳ)(詩と音楽6) 園田 みどり 木2 154 歴史と文化(Ⅳ)(食の歴史と文化) 歴史と文化(Ⅳ)(海から見た歴史) 野澤 すニ 155 歴史と文化(Ⅳ)(アメリカ詩入門) 原 成吉 火1 英•養 2 156 歴史と文化(Ⅳ)(近代パリと文学1) 歴史と文化(Ⅳ)(近代パリと文学2) 福田 美雪 月3 157 現代社会(IV)(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』) 現代社会(IV)(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』) 上村 敏郎 火3 独 159 現代社会(Ⅳ)(英文会計入門a) 現代社会(Ⅳ)(英文会計入門b) 大坪 史治 木4 161 現代社会(Ⅳ)(経理入門a) 現代社会(Ⅳ)(経理入門b) 大坪 史治 木3 経 160 現代社会(Ⅳ)(教育の現場・教師と語るa) 川村 肇 162 7k 1 現代社会(IV)(教育の現場:教師と語るb) 川村 肇 金3 1 養 162 現代社会(Ⅳ)(生きたコトバづかい・話し合い編) 現代社会(Ⅳ)(生きたコトバづかい・話し合い編) 金4 下川 浩 164 現代社会(Ⅳ)(ポストコロニアル研究入門) 平田 由紀江 火2 2 165 平田 由紀江 現代社会(Ⅳ)(韓国社会論) 7k2 2 養 166 現代社会(Ⅳ)(新聞を読む1) 現代社会(Ⅳ) (新聞を読む2) 細野 徳治 余4 現代社会(Ⅳ)(インターンシップ) 森永 卓郎 木2 2 168 現代社会(IV) (コンピュータ入門a) 現代社会(IV) (コンピュータ入門b) 外•養•経 久東 義典 火3 169 現代社会(Ⅳ) (コンピュータ入門a) 現代社会(IV) (コンピュータ入門b) 外•養•経 黄 海湘 余3 169 現代社会(IV) (コンピュータ入門a) 現代社会(IV) (コンピュータ入門b) 黄 海湘 外•養•経 金4 169 現代社会(IV) (コンピュータ入門a) 現代社会(Ⅳ)(コンピュータ入門b) 杉村 和枝 全3 外•養•経 169 現代社会(Ⅳ) (ホームページ作成) 現代社会(Ⅳ)(ホームページ作成) 171 久東 義典 養 火5 現代社会(Ⅳ)(ホームページ作成) 現代社会(Ⅳ)(ホームページ作成) 和泉 順子 金2 養 170 自然·環境·人間(Ⅳ) (統計と調査法) 安間 一雄 火2 2 養 173 自然·環境·人間(Ⅳ) (身近な自然観察 春) 自然·環境·人間(Ⅳ) (身近な自然観察 秋) 内田 正夫 木2 2 養 178 自然·環境·人間(IV) (体育経営スポーツマネージメント) 川北 準人 月3 養 179 2 自然·環境·人間(Ⅳ) (コンピュータ構造論) 呉 浩東 180 月2 自然·環境·人間(IV) (情報検索と加工) 黄 海湘 水4 2 養 181 自然·環境·人間(IV) (マルチメディア論) 田中 雅革 火4 2 養 183 自然·環境·人間(Ⅳ) (スポーツコーチ学b) 松原 裕 木3 養 自然·環境·人間(Ⅳ) (リーダーシップ論) 和田 智 金2 2 養 186 自然·環境·人間(IV) (スポーツコーチ学a) 176 石渡 貴之 木4 2 養

外国語学部英語学科・国際教養学部の学生は、下記の英語科目を履修することはできません。

■クラス指定科目	(再履修クラス含む)
対象・コース等	科目名

再履修クラス	English 111-a b Pagis Pagding Streetsgies	6 15 W W B			
	English 111-a,b Basic Reading Strategies	各担当教員		-	224
再履修クラス(国のみ)	English 121-a,b Basic Composition	各担当教員		-	226
再履修クラス	English 141-a,b Basic Listening Comprehension	各担当教員		-	228
再履修クラス	English 211-a,b Basic Reading Strategies	各担当教員		-	231
再履修クラス(国のみ)	English 221-a,b Basic Composition	各担当教員		-	233
再履修クラス	English 241-a,b Basic Listening Comprehension	各担当教員		=	234
独・仏のみ	English 311-a,b Reading English for Specific Purposes	各担当教員		-	236
■対象者指定科目					
対象・コース等	科目名	担当教員	曜時	履修不可	ペーシ
外国人学生・帰国学生	English 110-a,b Introductory Reading Strategies	本年度休講			
外国人学生・帰国学生	English 211-a,b Basic Reading Strategies	本年度休講			
■選択科目					
科目の種類	科目名	担当教員	曜時	履修不可	ペーシ
Writing	English 121-a,b Basic Composition	松岡 昇	月 3	国	238
	English 121-a,b Basic Composition	a:林 千賀 b:飯島 優雅	火 4	国	239
	English 121-a,b Basic Composition	遠藤 朋之	木 2	玉	240
	English 121-a,b Basic Composition	石月 正伸	金 3	玉	241
	English 121-a,b Basic Composition	高畑 哲男	金 3	国	242
Speaking	English 131-a,b Basic Communicative English	W. ~1	月 2	-	243
	English 131-a,b Basic Communicative English	D. R. ギブソン	火 4	-	244
	English 131-a,b Basic Communicative English	M. H. ウィキンズ	木 1	-	245
	English 131-a,b Basic Communicative English	J. ハサウェイ	木 3	-	246
	English 131-a,b Basic Communicative English	S. フォー	金 3	-	247
	English 131-a,b Basic Communicative English	S. A. フルトン	金 4	-	248
	English 231-a,b Basic Communicative English	S. フォー	月 3	-	249
	English 231-a,b Basic Communicative English	J. ハサウェイ	木 2	-	250
Reading	English 211-a,b Basic Reading Strategies	履修希望者は教務課 経済学部係窓口へ		独•仏•法	231
	English 311-a,b Reading English for Specific Purposes	履修希望者は教務課 各学部係窓口へ		独•仏	236
Listening	English 241-a,b Basic Listening Comprehension	履修希望者は教務課 経済学部係窓口へ		独•仏•法	234
e-learning	English 351 Computer-Assisted English Learning	岡田 圭子	火 4	-	251
Basic Grammar	English 121-a,b Basic Composition (Grammar Refresher)	垣下 圭子	火 4	-	257
		曲巾 中日	+ 1	_	258
	English 121-a,b Basic Composition (Grammar Refresher)	豊田 宣是	木 1		200

外国語科目

	英語以外の外国語	 科目			
対象・コース等	科目名(副題)	担当教員	曜時	履修不可	ページ
(基礎コース)	ドイツ語 Ia,b (基礎)	各担当教員		独	260
(総合コース)	ドイツ語 Ia,b (基礎)	各担当教員		独	261
(総合コース)	ドイツ語 Ia,b (会話)	各担当教員		独	262
(基礎コース)	ドイツ語 II a,b (基礎)	宮村 重徳	金 2	独	263
(総合コース)	ドイツ語 Ⅱa,b (基礎)	各担当教員		独	264
(総合コース)	ドイツ語 Ⅱa,b (会話)	各担当教員		独	265
	ドイツ語皿a,b(会話)	H.W.ラーデケ	木 1	独	266
(基礎コース)	フランス語 Ia,b (基礎)	各担当教員		仏	267
(総合コース)	フランス語 Ia,b (総合J)	各担当教員		仏	268
(総合コース)	フランス語 Ia,b (総合F)	各担当教員		仏	269
(基礎コース)	フランス語 II a,b (基礎)	C.ルメタ	金 2	仏	270
(総合コース)	フランス語 II a,b (総合J)	各担当教員		仏	271
(総合コース)	フランス語 II a,b (総合F)	各担当教員		仏	272
	フランス語Ⅲa,b	B.レウルス	金 1	仏	273
(基礎コース)	スペイン語 I a,b (文法)	各担当教員		養(*1)	274
「 <u>(総合コース)</u>	スペイン語 I a,b (文法)	各担当教員		養(*1)	275
(総合コース)	スペイン語 I a,b (会話)	各担当教員		養(*1)	276
(基礎コース)	スペイン語 II a,b (文法)	各担当教員		養(*1)	277
「(総合コース)	スペイン語 II a,b (文法)	各担当教員		養(*1)	278
(総合コース)	スペイン語 II a,b (会話)	各担当教員		養(*1)	279
	スペイン語皿a,b (講読)	各担当教員		養(*1)	280
	スペイン語Ⅲa,b(会話)	各担当教員		養(*1)	281
(基礎コース)	中国語 I a,b(会話)	各担当教員		養(*2)	282
(総合コース)	中国語 I a,b(会話)	各担当教員		養(*2)	283
(総合コース)	中国語 I a,b(講読・文法)	各担当教員		養(*2)	284
(基礎コース)	中国語 II a,b(会話)	各担当教員		養(*2)	285
「 <u>(総合コース)</u>	中国語 II a,b(会話)	各担当教員		養(*2)	286
し(総合コース)	中国語 II a,b(講読・文法)	各担当教員		養(*2)	287
	中国語Ⅲa,b(会話)	菊池 真純	水 2	養(*2)	288
++ +++ -	中国語Ⅲa,b(講読·文法)	平野 佐和	火 1	養(*2)	289
<u>基礎コース</u> 基礎コース	朝鮮語(la,b 基礎) 朝鮮語(la,b 基礎)	柳 蓮淑 柳 蓮淑	<u>月1</u> 火1	養(*3)	290 291
基礎コース	朝鮮語(Ia,b 基礎)	金熙淑	火 3	養(*3)	292
基礎コース	朝鮮語(la,b 基礎)	<u> </u>	水 1	養(*3)	293
基礎コース	朝鮮語(la,b 基礎)	呉 吉煥	水 2	養(*3)	293
基礎コース	朝鮮語(la,b 基礎)	呉 吉煥	金 2	養(*3)	293
基礎コース	朝鮮語(Ia,b 基礎)	沈 民珪	金 3	養(*3)	294
┌ 総合コース	朝鮮語(Ia,b 総合1)	各担当教員		養(*3)	295
と 総合コース	朝鮮語(Ia,b 総合2)	各担当教員		養(*3)	296
基礎コース	朝鮮語(II a,b 講読・会話)	沈 民珪	金 4	養(*3)	297
「(総合コース)	朝鮮語(II a,b 総合1)	金 熙淑	月 2	養(*3)	298
(総合コース)	朝鮮語(II a,b 総合2)	金 熙淑	火 2	養(*3)	299
	イタリア語 I a,b	園田 みどり	水 4	-	300
	イタリア語 I a,b	園田みどり	木 3	-	300
	イタリア語 I a,b	島津寛	<u>±1</u>		301
	イタリア語 II a,b ポルトガル語 I a,b(総合)	島津 寛 牧野 真也	土 2 金 3	_	302
	ポルトガル語 I a,b(会話)	牧野 真也	金 4	-	303
	ロシア語 I a,b(総合)	齊藤 毅	水 2	_	305
	ロシア語 I a,b(会話)	小西 昌隆	月 4	-	306
	ロシア語 II a,b(総合)	齊藤 毅	水 3	-	307
	ロシア語 II a,b(会話)	小西 昌隆	月 3	_	308
	タイ語 I a,b(会話)	江藤 双恵	火 3		309
	タイ語 II a,b(文字の読み書き)	江藤 双恵	火 2	_	310
	アラビア語 I a,b(会話と文化)	師岡カリーマ・エルサムニー	月 3		311
	アラビア語 II a,b(読み書きと文法の基礎)	師岡カリーマ・エルサムニー	月 4		312
		阿部 望	金 2		313
	現代ヘブライ語 I a,b			=	100
	古典ギリシア語 I a,b	櫻井 悠美	月 3	=	133
				- - -	133 131 129

全学共通授業科目以外(外国人学生用科目) 対象・コース等 科目名(副題) 曜 時 履修不可 ページ (外国人·帰国学生) 日本語 I a,b 各担当教員 317 ____318__ (外国人·帰国学生) 日本語Ⅱa,b 石田 ゆり子/福田 紀子 月4 (外国人·帰国学生) 日本語Ⅱa,b 岩沢 正子/坂谷 佳子 水 1 319 (外国人·帰国学生) 日本語 II a,b 武田 明子/北村 淳子 水 4 320 (外国人•帰国学生) 日本語 II a,b 丸山 具子/福田 紀子 金2 321 守田 逸人 火 3 158 日本事情a,b

(春)	全学総合講座(芸術と社会-芸術が社会 割りについて)	の中で果たす役	担当者	阿部 明日香		
講義目標		授業計画				
芸術とは一体何だと思いますか?そもそも芸術は、私たち人間にとって、社会にとって必要なものなのでしょうか?この講義では、地球上のさまざまな時代や地域において、芸術がどのように誕生し、社会の中でどのように機能してきた (/いる) のかを学びます。そのダイナミズムを感じながら芸術(の本質) について一緒に考えていきましょう。		? 阿部明日香(本学助教) 【4/10】2 本のはなし 日下潤一(ブックデザイナー)【4/17】				
講義概要		8 近代絵画と社会 近藤學(西洋近				
講義概要 美術、映画、音楽、ファッションなど各分野の専門家が歴史的な観点をふまえ、さまざまな切り口から芸術と社会の多様なありかたについて講義します。 また、美術館や劇場で、あるいはデザインや批評活動をとおして、日々芸術と社会の接点に立つプロフェッショナルの方々にアクチュアルな主題についてお話いただきます。 皆さんが新しい発見をしたり、スリリングな出会いをする契機になればと思います。		【6/5】 10 メディアとして 米田尚輝(国立 11 美術鑑賞の未来 久永一郎(大日 ルーヴル-DNF 【6/19】 12 客席を背にして 大野はな恵(13 新聞社の文化事	ての美術館 五新美術館 研 そ:ルーヴル-D 日本印刷株式会 ウミュージアム て:私が見た世 プロンプター) 工業:展覧会を	NP ミュージアムラボ 社C & I 事業部 ラボ プロジェクトマネージャ) 界のオペラ劇場 【6/26】		
		14 旧石器時代洞窟壁画:芸術を創造するホモ・サピエンス 五十嵐ジャンヌ(東京芸術大学非常勤講師)【7/10】 15 まとめ 阿部明日香(本学助教)【7/17】				
2	多上の注意ならびに評価の方法を説明し 客してください。					
評価方法						

平常点(毎回のコメントペーパー)と学期末試験による。

テキスト、参考文献

プリント

講義目標

本講座の目的は、さまざまな業界の第一線で活躍する社会人の方々の週替わりの講話を聴く中で、将来求められる社会人像を探り、そのために限られたキャンパスライフをどのように過ごすかを考えることにある。大学生活は高校までの延長ではない。社会への入り口であり、自ら問題を発見する力を養成する場でもある。厳しい就職戦線の様子がマスコミ等で伝えられているが、自らの軸を持ち、目的意識を持って学生生活に臨むか否かは、その後の人生を大きく分けることとなろう。この講座が、大学生活をいかにして送るべきかを考えるきっかけになってくれれば、これに勝る喜びはない。

尚、本講座は春と秋で内容が異なるため、春に受講した学 生であっても、秋も登録することが可能である。

講義概要

講師には講座趣旨を踏まえ、社会人の目線から将来をにらんでどのような学生生活を送るべきか、その心構えを中心に説いてもらう。学生生活を始めたばかりの1年生を中心的な受講対象として想定しているが、現在の自らの生活に方向性を見失いかけているのであれば、2年生以上の受講も歓迎する。

受講生への要望

学外の方を迎えての講義である以上、出席は単位取得の前提である。また、講義開始 10 分以降の入退室は一切できないので注意すること。

本講座は各講師の多大なる尽力の成果もあり、真剣に学ぼうという学生から例年高い評価を得ているが、その一方で極めて受講態度の悪い者も多数散見される。また、講師サイドからも受講生の質の改善を求められている。そこで、今年度より出席回数を前提としたうえで、期末の確認テストにおいて理解度・習熟度をより入念にチェックする方式に切り換えるものとする。形ばかりの出席ではなく、主体的・能動的に講義に参加することを強く望む。

評価方法

評価は授業への参加度と期末の小テスト。3回欠席した時点で、単位取得は不可能となる。レポートや追試による救済は一切ない。欠席が2回以内の者に限り、期末の小テストの採点対象とする。出席カードにおいて不正を働いた者も単位を与えない。

テキスト、参考文献

有告秀樹編著 『自分の「軸」を作る セルフブランディング〜経験に学ぶ戦略的キャリアの形成』 中央経済社を使用する。受講決定者は必ず購入すること。

各回の講師によっては適宜プリントを配布することもある。

授業計画

- 1. ガイダンスと受講上の注意
- 2~13. 外部講師による講話
- 14. 内定者による就職活動体験談(予定)
- 15. 確認テスト

講義目標

本講座の目的は、さまざまな業界の第一線で活躍する社会人の方々の週替わりの講話を聴く中で、将来求められる社会人像を探り、そのために限られたキャンパスライフをどのように過ごすかを考えることにある。大学生活は高校までの延長ではない。社会への入り口であり、自ら問題を発見する力を養成する場でもある。厳しい就職戦線の様子がマスコミ等で伝えられているが、自らの軸を持ち、目的意識を持って学生生活に臨むか否かは、その後の人生を大きく分けることとなろう。この講座が、大学生活をいかにして送るべきかを考えるきっかけになってくれれば、これに勝る喜びはない。

尚、本講座は春と秋で内容が異なるため、春に受講した学 生であっても、秋も登録することが可能である。

講義概要

講師には講座趣旨を踏まえ、社会人の目線から将来をにらんでどのような学生生活を送るべきか、その心構えを中心に説いてもらう。学生生活を始めたばかりの1年生を中心的な受講対象として想定しているが、現在の自らの生活に方向性を見失いかけているのであれば、2年生以上の受講も歓迎する。

受講生への要望

学外の方を迎えての講義である以上、出席は単位取得の前提である。また、講義開始 10 分以降の入退室は一切できないので注意すること。

本講座は各講師の多大なる尽力の成果もあり、真剣に学ぼうという学生から例年高い評価を得ているが、その一方で極めて受講態度の悪い者も多数散見される。また、講師サイドからも受講生の質の改善を求められている。そこで、今年度より出席回数を前提としたうえで、期末の確認テストにおいて理解度・習熟度をより入念にチェックする方式に切り換えるものとする。形ばかりの出席ではなく、主体的・能動的に講義に参加することを強く望む。

評価方法

評価は授業への参加度と期末の小テスト。3回欠席した時点で、単位取得は不可能となる。レポートや追試による救済は一切ない。欠席が2回以内の者に限り、期末の小テストの採点対象とする。出席カードにおいて不正を働いた者も単位を与えない。

テキスト、参考文献

有告秀樹編著 『自分の「軸」を作る セルフブランディング〜経験に学ぶ戦略的キャリアの形成』 中央経済社を使用する。受講決定者は必ず購入すること。

各回の講師によっては適宜プリントを配布することもある。

授業計画

- 1. ガイダンスと受講上の注意
- 2~12. 外部講師による講話
- 13. インターンシップ体験者による報告
- 14. 内定者による就職活動体験談(予定)
- 15. 確認テスト

全学総合講座(ジェンダーで眺めてみれば)

担当者

上野 直子

講義目標

講義概要

わたしたちは、オギャアと生まれて死ぬ日までジェンダーまみれ。望むと望まざるにかかわらず、人を「男女」という性別に二分する社会・文化装置のなかで暮らしています。

この講義では、自分自身と自分が暮らす社会をジェンダーの視点から分析的に眺める態度を見につけてもらうのが狙いです。自分が身を置いているジェンダー装置の姿を見通す、アタマの視力を獲得してください。その視力が、受講生のみなさんが、個々人にあった、そして他者の自由を妨げない、人生のフットワークを選びとるのに役立つことを願っています。

授業計画

1. 導入 ――ジェンダーで眺めてみれば (上野直子・獨協大学教授)

ジェンダーで読むニッポンの家庭と職場

- 2. 家庭と職場(1) —(おとこ/おんな)は(つらい/たのしい)よ——サラリーマンと専業主婦の「豊かな」昭和 (天野和洋・電通プランニングディレクター+上野直子)
- 3. 家庭と職場(2)―昭和から西暦ジャパンへ・変わりゆく社会・経済・女と男

(天野和洋・電通プランニングディレクター+上野直子)

4. 家庭と職場がほころびたとき――法律の現場から (平沢郁子・弁護士)

男性学とは

講義は四つのセクションにわけられる。

まずはもっとも身近な話題、ニッポンの家庭と職場から見てみよう。第二次世界大戦後から現在までの流れを提示し、過去のうえにある現在を考える。その上で、男性学の入門、セクシャリティーについての考察と講義を展開する。ジェンダー問題とは、おもに女性の問題と思いがち、ジェンダーとは文化的・社会的性差であって、セックスはジェンダーの土台となるものと思いがち。しかしそうではないのだ、と講義が終わった後には納得がいくだろう。ニッポンの家庭と職場の考察から始まった講義の締めくくりには、グローバル化した世界における女性の問題を考えてみたい。

講義を通して、ジェンダーシステムとその中に生きる自 分自身を複数の視点から問い直していただきたい。

5-7. 男性学入門(1)--(3)

(加藤敦也・関東学院大学非常勤講師)

セクシュアリティーを考える

8-10. ジェンダーとセクシュアリティーを考える (1)-(3)

(中村美亜・東京芸術大学助教)

インタールード

11. 意識の檻の向こう側(西江雅之)

グローバリゼーションと女性

12. 大日本帝国と女たち (嶋田美子・アーティスト)

13. アジア女性のエンパワメント (タニア・ホサイン・早稲田大学准教授)

14. グローバル・ウーマン(1)(上野直子・獨協大学教授)

15. グローバル・ウーマン(2)(上野直子・獨協大学教授)

受講生への要望

- ・出席は大前提です。理由なく三分の一以上欠席した場合 は、単位は認定されません。また出席に値しない出席態 度の場合は欠席とみなします。
- 質問を歓迎します。

評価方法

秋学期開始に先立ち、講義支援システムに掲示する。

テキスト、参考文献

ハンドアウトを用意します。参考文献については、各講師 が紹介します。 *5 回-7 回の「男性学入門」、8 回-10 回の「セクシュアリティーを考える」の各回のタイトルは、秋学期登録に先立ち、授業支援システム等に掲示する。

*講義内容の大きな変更はありませんが、実施日は講師の都合により変わることがあります。

岡村 圭子

講義目標

現代社会は多メディア社会と言われている。なおかつ、 さまざまな文化が混在する社会 (多文化社会) でもある。 そこで生きる私たちは、つねに膨大な量の情報に囲まれて おり、そのなかから自分に必要な情報を取捨選択し、自分 なりにその情報を解釈していかなければならない。なおか つ、自分自身もまた情報の発信者であることも忘れてはな

そういった状況のなかで私たちがメディアに接すると き、絶えず考えておくべきことは何か? どのようにメデ ィアを使いこなせばよいのだろか? マスメディア業界 ではいまなにが問題になっているのか? なぜ、今メディ ア・リテラシーについて考えなくてはならないのか? これらの問いには明確な答えはないかもしれない。しか し、そう問いかける営みこそが、他者とともに生きる社会 をみつめ、大学生としての「知」のあり方を考える絶好の 機会となる。その機会を提供するのが本講義の大きな目標 である。

講義概要

本講義では、できるだけ多様な視点・論点からメディ ア・リテラシーについて考えてみたい。

それぞれまったく異なった経歴を持つ講師たちが、それ ぞれの立場・観点から、またそれぞれのご経験をもとに「多 文化社会におけるメディア・リテラシー」について講義す る。履修者は、講師の語ることのなかから、現代社会のメ ディアの姿をとらえ、それを使いこなすにはどうすればよ いのか、身近な問題として考えていってほしい。とくに、 かれらがどのように現代のメディアを、またその将来を考 えているのか、かれらにとっての「メディア・リテラシー」 とはなにか、学生になにを伝えようとしているのかについ て、しっかりと耳を傾けたい。

2~14回に関しては、講師の都合で順番や講師が入れ 替わることもあります。

受講生への要望

- 1) 自分なりの問題関心を持ち、受講マナーを守って 講義に参加できる学生を希望します。
- 2) 初回オリエンテーションには必ず参加すること。

評価方法

授業への積極性と期末テスト 授業中の質問・発言なども考慮する

テキスト、参考文献

第1回目のオリエンテーションでリストを配布する。 主要図書は右のとおりだが、随時、必読図書は指定する。 受講前に各自、読んでおくこと。

授業計画

1. オリエンテーション

岡村圭子

2. ヒューマンライツ=人権?

――世界の声を聴く/伝えるために アムネスティ・インターナショナル 若林秀樹

3. 生活情報とローカル・メディア(1)

---ある情報紙の軌跡から考える

『SKIP』編集部 加藤由美子

4. 生活情報とローカル・メディア(2)

同上

5.「累犯障害者」をめぐる社会的現実

ジャーナリスト 山本譲司

6. 犯罪報道の問題点

同上

7. メディア産業と表現の自由(1)

―飯館村の取材から見えたこと

ジャーナリスト 烏賀陽弘道

8. メディア産業と表現の自由(2)

---SLAPPとはなにか

同上

9. 震災の犠牲者と遺族を報じるということ

ノンフィクション作家 石井光太 10. 海外の戦争や物乞いや娼婦を描くということ

同上

11. ドキュメンタリーという手法

未定

12. 報道番組制作の現場から

フジテレビ情報制作局 松尾秀一

13. 死刑制度とマスメディア

朝日新聞 原 裕司

14. 未定

15. まとめ

――大学生にとってのメディア・リテラシー

!注意!上記の順番は、講師の都合により前後する ことがあります。

「必読図書〕

岡村圭子『ローカル・メディアと都市文化』(ミネルヴァ書房) 烏賀陽弘道『報道の脳死』(新潮新書) 烏賀陽弘道『飯館村の四季』(双葉社) 山本讓司『累犯障害者』(新潮文庫) 石井光太『蛍の森』(新潮社) 石井光太『地を這う祈り』(徳間書店) 石井光太『遺体』(新潮文庫) 原 裕司『なぜ「死刑」は隠されるのか?』(宝島新書) など

岡村 圭子

講義目標

「ロック」という文化をとおして、わたしたちが生きる 現代社会、メディア・音楽産業、グローバル化について考 えることが本講義の主なねらいである。

かならずしも音楽についての専門的な知識/経験を持っている必要はなく、それぞれの講師の話を聴くなかから、自分なりに(自分の問題関心に応じて)話題を展開していってほしい。

たとえば、ロックが生まれた背景や、ロックが日本の音楽 (J ポップやグループサウンズ) にどういったかたちで影響してきたのかを知ることによって、異文化受容のメカニズムや多文化共生を考える糸口が見つかるかもしれない。観光、ファッションとロック音楽の関連を知るなかから、文化変容の形態やメディアの影響力についての議論が展開できるかもしれない。あるいは、講師の方々のお仕事の内容をじかに聴くことによって、将来の方向性や、目指すべき職業があらたに見つかるかもしれない。いずれにせよ、貴重な経験を自分なりに活かしてほしい。

講義概要

初回のオリエンテーションでは、授業の進め方や評価方法についての説明、受講に当たっての注意、参考文献リストの配布など、受講にあたっての重要なインフォメーションがあるので必ず出席のこと。

講義の前半では、ロックについての基礎的な解説をし、 後半は、日本における大衆音楽とメディアとの関係につい て、さらに、ロックとの関連からそれぞれのテーマについ ての各論を展開する。

講師にお招きする方は、それぞれ音楽業界での業績が多くあり、経験・知識ともに豊富な方々ばかりである。なかなか聴く機会のない貴重な話や、専門的な話も出てくるかもしれない。ぜひとも、しっかりと予習をしたうえで、積極的に質問をしてほしい。

受講生への要望

- 1) 自分なりの問題関心を持ち、受講マナーを守って 講義に参加できる学生を希望します。
- 2) 初回オリエンテーションには必ず参加すること。

評価方法

授業への積極性と期末テスト 授業中の質問・発言なども考慮する

テキスト、参考文献

サエキけんぞう『ロックとメディア社会』新泉社 サエキけんぞう『ロックの闘い』シンコーミュージック

授業計画

- 1. オリエンテーション
- 2. メディアの発達とロックの進化1 ——ロック誕生の瞬間から現在まで プロデューサー・作詞家・ミュージ・シャン

サエキけんぞう

3. メディアの発達とロックの進化2 ——ロックの変革者たち

同上

- 4. アニメが飲み込むロック
 - ---世界を席巻するアニメ文化のグローバル性 音楽評論家 冨田明宏
- 5. Jポップ論

音楽評論家 青木 優

6. 日本のロック・海外進出史

サエキけんぞう

7. ロックフェスティバル考 ——ロックが生み出す消費の現場

同上

8. ロックカルチャーとファッション

同上

- 9. ワールドクラブカルチャー論 音楽評論家 サラーム海上
- 10. テクノ音楽と世界

音楽評論家 小暮秀夫

- 12. ロックとアイドル文化 ミュージシャン <u>掟ポルシェ</u>
- 13. ヒップホップ論

ミュージシャン 高木 完

14. 越境する音楽

音楽評論家 北中正和

15. まとめ

! 注意!

上記の順番は、講師の都合により前後することがあります。

上坂 卓郎

講義目標

この講義は、企業のトップマネジメント経験者が 業界事情や企業経営の実務をやさしく講義するもの である。広範な業種の企業に関する話題が取り上げ られる。

講義の受講を通じて、学生諸君が「企業とはなにか」を考え、本学で専門知識を深く学ぶ意義を発見したり、将来の職業選択のヒントを見つける契機となる授業である。

なお、本科目は全学学生を対象としているので、 企業や経営という言葉になじみの薄い外国語学部の 学生にもわかるような平易な内容となっているが、 専門用語も頻繁に使用される。

春と秋学期は講師陣、内容が異なるので、片方だけ受講しても支障ない。

講義概要

講師陣は、日本を代表する大企業の元経営者である。毎回多様な業種(製造業、非製造業)出身の講師がオムニバス形式で、企業の経営戦略や意思決定の実際について講義を行う。また社会に出て働くことについて、講師ご自身の豊富な経験から貴重なアドバイスも与えて下さる。

概ね1年生でも理解できるように平易な説明が行われる。講義と平行して企業について勉強し理解を深めることを期待する。

毎回の講義を一般の講演のように聞き流す学生がいるが、講演会ではないので毎回講義の中から自ら知識を掴み取る努力が必要である。

講師は実務経験豊富な慧眼の元企業経営者である。 学生諸君が社会人候補として見られていることも忘れないように。

受講生への要望

- ・遅刻・途中退出等は厳禁(事情がある場合は除く)。
- ・授業の性格上独習はできない。特に就職活動を行 う4年生は注意すること。
- ・ノートを必ずとること。試験に不可欠である。
- ・真摯な態度で受講すること。

評価方法

定期試験のみで行う。なお追試、レポートは行わないので注意すること。

テキスト、参考文献

講義の中でハンドアウトが配布される。

授業計画

- 第1回 ガイダンス 経営者から学ぶべきこと
- 第2回 会社の仕組みとグローバル経営
- 第3回 日本の繊維産業
- 第4回 地方銀行ビジネスの現状と課題
- 第5回 医薬品産業の難しさ・面白さ
- 第6回 花王の成長戦略
- 第7回 日本の自動車メーカーの強み
- 第8回 食品流通の課題
- 第9回 物流業界の現状と今後の進路
- 第10回 日本のバイオテクノロジー産業
- 第11回 保険ビジネスの現状と課題
- 第12回 総合商社は何を目指すのか
- 第13回 コンビニ業界の成長と今後の課題
- 第14回 リースと不動産ビジネスの概要
- 第15回 産業の移り変わりと職業選択

※開講日程、内容は若干変更の可能性がある。第1回 ガイダンスで進め方、評価など説明するので必ず出 席すること。

上坂 卓郎

講義目標

経営者が語る現代企業論1に続く講義である。講師陣は春学期と異なる。秋学期から受講しても支障ない。

この講義は、企業のトップマネジメント経験者が 業界事情や企業経営の実務をやさしく講義するもの である。広範な業種の企業に関する話題が取り上げ られる。

講義の受講を通じて、学生諸君が「企業とはなにか」を考え、本学で専門知識を深く学ぶ意義を発見したり、将来の職業選択のヒントを見つける契機となる授業である。

なお、本科目は全学学生を対象としているので、 企業や経営という言葉になじみの薄い外国語学部の 学生にもわかるような平易な内容となっているが、 専門用語は頻繁に使われる。

春と秋学期は講師陣、内容が異なるので、片方だけ受講しても支障ない。

講義概要

講師陣は、日本を代表する大企業の元経営者である。毎回多様な業種(製造業、非製造業)出身の講師がオムニバス形式で、企業の経営戦略や意思決定の実際について講義を行う。また社会に出て働くことについて、講師ご自身の豊富な経験から貴重なアドバイスも与えて下さる。

概ね1年生でも理解できるように平易な説明が行われる。講義と平行して企業について勉強し理解を深めることを期待する。

毎回の講義を一般の講演のように聞き流す学生がいるが、講演会ではないので毎回講義の中から自ら知識を掴み取る努力が必要である。

講師は実務経験豊富な慧眼の元企業経営者である。 学生諸君が社会人候補として見られていることも忘れないように。

受講生への要望

- ・ 遅刻・途中退出等は厳禁(事情がある場合は除く)。
- ・授業の性格上独習はできない。特に就職活動を行 う4年生は注意すること。
- ・ノートを必ずとること。試験に不可欠である。
- ・真摯な態度で受講すること。

評価方法

定期試験のみで行う。なお追試、レポートは行わないので注意すること。

テキスト、参考文献

講義の中でハンドアウトが配布される。

授業計画

第1回 ガイダンス、会社で働くことについて

第2回 世界の3強ブリヂストンの強さの秘密

第3回 倉庫業界の現状と課題

第4回 マスコミ業界の現状と課題

第5回 ツーリズムと航空ビジネスの課題

第6回 日本の映画産業とアメリカ発シネコン経営

第7回 不動産業界の最近の動向

第8回 非鉄金属業界の現状と課題

第9回 食品業界から見たコンビニ・量販店の動向

第10回 エコ時代における電力業界の戦略

第11回 ΙΤ業界 顧客の問題解決のために

第12回 広告業界の役割と今後の動向

第13回 リクルート その成長の仕組み

第14回 都市銀行ビジネスの現状と今後

第15回 講義のまとめ

※開講日程、内容は若干変更の可能性がある。第1回 ガイダンスには必ず出席すること。 (春)(秋)

全学総合講座(教えるという仕事)

担当者

川村 肇

講義目標

教えるということはどういうことか、子ども(あるいは 人間)というものをどう見るのか、学校とは何か、学校と いう職場にはどういう問題があるのか、など教育をめぐる 問題について様々な角度から考え、自分たちの受けてきた 教育を相対化する視点を得るとともに、教育に関しての見 方を深めていくことを目標にします。

また、これを通じて、広く社会の問題にも目を向け、考えていくきっかけを作ってほしいと思っています。

授業計画

- 1 ガイダンス テレビ東京制作「星空の中学生とともに」
- 2 松崎運之助 (元夜間中学教諭) 「学ぶとは何か――夜間中学校を中心に」
- 3 遠藤芳男 (元定時制高校教諭) 「定時制高校の国語――詩の授業と教師の守秘義務」
- 4 白鳥勲 (さいたま教育文化研究所) 「貧困社会の教育(1)子どもを支える」
- 5 窪岡文男 (テレビ・ディレクター) 「貧困社会の教育 (2) 奨学金を考える」
- 6 岩田彦太郎(中学校教諭) 「教師の仕事――職掌と労働実態」
- 7 宮下与兵衛(首都大学東京特任教授) 「生徒の学校参加――三者協議会の取り組み」
- 8 関口武 (小学校教諭) 「小学校の生活指導——一年間の実践構想」
- 9 嶋村純子(中学校教諭) 「中学校の教科指導(1)英語を教える」
- 10 小堀俊夫 (元中学校教諭) 「中学校の教科指導 (2) 社会科を教える」
- 11 中村悌一(さいたま教育文化研究所) 「中学校の生活指導(1)子どもの自治」
- 12 中村悌一(さいたま教育文化研究所) 「中学校の生活指導(2)いじめと不登校」
- 13 奈須恵子(立教大学教授) 「多文化教育と学校」
- 14 川村 「体罰を考える」
- 15 まとめ

講義概要

教えるという仕事を、学校現場の先生方に、その経験を 生かして語っていただきます。

お招きするのは、埼玉県の小中学校および高校の現役の 先生方、さいたま教育研究所の先生を予定しています。総 勢 10 名の先生方を予定しています。

それぞれ、右の授業計画にあるようなテーマ(仮題)でお話しいただく予定です。模擬授業や、ビデオ観賞なども予定しています(ただし、先生方の都合で、順番や内容が変わることがあります。ご了承ください)。

みなさんが教育や社会の問題を考える素材を提供する 科目にしたいと考えています。

受講生への要望

教えるということは、教師だけが行うことではありませんから、教職をめざしてはいない学生の参加も歓迎しますし、この授業はそういう諸君にも役立つと思います。 積極的、意欲的に参加してください。

評価方法

毎回の授業レポート(学んだこと、20 行程度)の提出をもって出席点とし、最終レポート(A4 判用紙で $3\sim4$ 枚)と併せて評価します。出席は6 割が必須です。

テキスト、参考文献

高橋陽一編『新しい生活指導と進路指導』(武蔵野美術大学出版部)

その他、配布プリント類によります。 参考文献は、授業中適宜紹介します (春)

全学総合講座(NPO論 人を変える・地域を変える・ 世界を変える)

担当者

高松 和幸

講義目標

講義では、NPO などを通じての企業の社会貢献や NPO 活動に関する、さまざまな取り組みについて、現実の臨場感あふれる模様を紹介することに主眼を置く。問題意識は、次のような視点もある。

解題:「疲弊した地域を取り巻く環境は厳しくなるばかりで、 その地域のために、今こそ、企業・行政・市民が共働して、課題 解決をしなければならない」

そこで企業独自の視点やNPO独自の展開などを、公共的な空間(場)に根ざしたものとして行政も含めて市民社会の一員として、地域に責任を持つ時代に入った。

講義概要

ドラッカーは『非営利組織の経営』の中で、市民社会を構成するセクターとしてNPOは経営学的にも注目される対象であるとして、NPOの運営において、ミッションの重要性を指摘すると共に、マーケティング戦略、人材育成、成果測定といった企業並みのマネジメントの必要性を主張した。

その背景には、もはや旧来の慈善寄付に頼っては財政的に成り立たないという、米国をはじめとする先進国のNPOが直面する危機があったが、NPOが生き残りをかけて事業展開に力を入れるにつれ、あらたなパートナーとして企業に働きかけ、企業と共に地域の問題解決に向けて進む動きが見られるようになった。

企業にとっても社会的な器として、その責任を果たすことが求められ、その流れの中で、NPOと共に活動に乗り出す事例が増えてきた。

もとよりNPOはその組織使命の遂行のために企業と協力するものであるが、NPOにとって不足しがちな経営資源(資金・人材など)を企業によって補えることから、企業への依存関係が発生するというリスクを抱えている。

企業への依存が強まると、資本拡大をめざす企業にとっては好都合で利用される可能性が増すことになるが、NPOは公共的な使命を遂行するために、NPOにとっての倫理的基盤が損なわれ得ることを覚悟した上で、協働することになる。

かくして、その真偽はいかにあるか。様々な活動を通しての社会との接点をみることで、これら諸問題に関して、本講義では正面から取り上げて展開する。

受講生への要望

- ・ 積極的に質問することと真摯な態度で挑むこと。
- 遅刻は認めない。

評価方法

質問・レポートなど総合評価

テキスト、参考文献

その都度、指示する。

授業計画

1. ガイダンス 高松和幸 テーマ:歴史に学ぶ「生き残り術」 NHK プロデューサー 現在 NHK エンタープライズ 菊池正浩

- 2. テーマ:企業連携のソーシャルプロジェクトを企画して東北復興を支援する 復興支援プロジェクト「道のカフェ」プロデューサーベルベット・アンド・カンパニーLLC 代表 谷中修吾
- テーマ:地域資源を活用!
 NPO 法人 a t a m i s t a 代表理事 市来広一郎
- テーマ: Stay alive
 ハンズオン! 埼玉 副代表理事・広報担当 吉田理映子
- 5. テーマ: 防災分野で社会に、そして世界に挑む NPO 法人プラス・アーツ 東京事務所 チーフ 小倉丈佳
- 6. テーマ:環境NPOとソーシャルビジネス 地球環境パートナーシッププラザ 平田裕之
- 7. テーマ: NPO と被災地の関係性 講師: 未定
- 8. テーマ: (仮) 人づくりと町づくり 小川町町長 笠原喜平
- 9. テーマ: ふじみの国際文化センターの活動 ふじみの国際交流センター 理事長 石井ナナエ
- 10. テーマ: ソーシャル・イノベーション (株コミュニティ・ディベロップメント・パートナーズ 代表取締役 長本 光
- 11. テーマ:地域観光におけるNPOのこれまで,これから 観光マーケティング研究所 副所長 岡 冬彦
- 12. テーマ:社会的起業紙製飲料容器「カートカン」 森を育む紙製飲料容器普及協議会 事務局長 世木田大介
- 13. テーマ: 社会的企業 NPO法人 とよあしはら 事務局長 山本裕隆
- 14. テーマ: 異彩を放つ小さな町からのメッセージ NPO 法人オペラ彩 理事長 和田タカ子
- 15. テーマ: アメリカのコミュニティ・ディベロップメント 合同会社コミュニティ・グロウス・カンパニー代表 仁科伸子

上記の授業計画は講師の都合などにより変更することがあります。

(秋)

全学総合講座(地域活性化システム論ーこれからの「まちづくり」のヒントを探る)

担当者

高松 和幸

講義目標

この講義は、地域活性化をキーワードに、地域の活性化とまちづくりなどを制度の面や人的な面、社会諸資源の面から取上げる。地域活性化システム論では、地域やまちの置かれている状況やそのまちが持っている潜在力とは何かについて考え、様々な取組事例を紹介する。また講義では分かりやすく行うとともに、各都道府県の市町村が、いずれも地域の創意工夫にあふれた取組みをしており、どのような取組みが地域特性となるかも垣間見ることになる。それを支援するという意味では共通しており、それぞれの地域が相対化されることで、支援枠組みを利用しての地域活性化をしようというのが期待されている。

本講義では、こうした取組みについて、講師を招いて開催する。わが国の地域活性化の方向が学ぶ唯一の授業である。

講義概要

この科目は内閣府の協力を得て実施している講義である。具体的な施策や事例など、例示しながら講義する。

個別テーマは授業計画(最初の授業時に配布する)のと おりであるが、わが国の地域活性化の最先端の問題を中心 に、テーマ設定を行っている。

この結果,地域の中で起きている様々な事例を通して,地域の実情が理解できると共に,地域の課題についての新たな認識と共に,自分が住んでいる地域や将来住むかもしれない地域の可能性に関して,示唆に富んだ内容が展開される。

この講義を通じて、地域で求められる人材に関する具体的な問題意識を得ることができるであろう。

受講生への要望

- 積極的に質問することと真摯な態度で挑むこと。
- 遅刻は認めない。

評価方法

質問・レポートなど総合評価

テキスト,参考文献

その都度,指示する。

授業計画

- 1. ガイダンス 高松和幸
- 2. 泉から見た地域活性 岡 冬彦 観光マーケティング研究所 副所長
- 3. 震災復興とまちづくり (仮題) 柴田いづみ SKM 設計計画事務所 共同代表
- 4. やる気を起こせば必ず奇跡は起きる 行政に頼らない村おこし 豊重哲郎 鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館館長
- 5. 地域活性化の動向 木村俊昭 元農林水産省大臣官房政策課 企画官
- 6. 世界の食料事情と環境の関係 末松広行 林野庁林政部長
- 7. 地域プロデューサーがつくる地域ブランド 廣川州伸 日本作家協会事務局長
- 8. 市町村合併と心の合併 映画づくりの過程が地域の人々の心をつなぐ 林 弘樹(映画監督) 有限会社 FireWorks
- 9. 観光と地域活性 綿石隆人 ㈱JTB 法人東京 本社マーケティング ** 部長
- 10. 持続可能な"手法としての共通ポイント"サービス 斉川 満 ㈱サイモンズ 代表取締役社長
- 11. 持続的に地域に関わり地域の持続性を高めるということ 竹本吉輝 株式会社トビムシ 代表取締役
- 12. ローカル線は心の栄養剤 鳥塚 亮 いすみ鉄道㈱ 代表取締役社長
- 13. 都市の超高齢者と地方の健康資源を結ぶ 介護旅行システム 篠塚恭一 NPO法人 日本トラベルヘルパー協会 理事長
- 14. 新しい公共(まとめ) 舘 逸志 内閣府大臣官房審議
- 15. 関東大震災の教訓 北原糸子 日本史学者 日本の災害研究家

上記授業計画は講師等の都合により変更することがあります。

講義目標

インターネットの普及、スマートフォンなどにより、今後 | の社会活動が物理的空間から情報空間に移っていく過程 において、対面関係を前提としてきた社会ルールがどう変 | 第3回 ウイキリークス、盗聴 容していくか、新たな情報空間上の社会関係をどう形作っ ていったらよいかについて、学生諸君に問題意識を持って もらうことを目標とする。

授業計画

- 第1回 総説
- 第2回情報社会と違法有害通信
- 第4回著作権と情報(1)
- 第5回 著作権と情報(2)
- 第6回 第7回 通信システムと情報社会 通信システムとその変容 インターネット、プロバイダ、クラウド サイバー空間のルール
- 第8回 特定秘密保護法
- 第9回 第10回 放送と情報社会 表現の自由

コンテンツ流通とそのルール

- 第11回 ビッグデータ
- 第12回 情報社会と共同規制
- 第13回 個人情報保護
- 第14回 情報セキュリティと暗号システム
- 第15回 まとめ

講義概要

情報社会、情報空間について、インターネットや光ファイ バーによるブロードバンドサービスによって、既存の通 信・放送にかかるルールがどう変容したか、暗号技術など により新たなルールをどう作っていくか。それぞれの分野 の専門家により、オムニバス方式で講義してもらう。(講 義の順番、内容について若干の変更の可能性がある)

受講生への要望

新聞やホームページなどに載っている最新動向にも注目 すること。

評価方法

講義全体の中で、3回程度レポート提出を求める。また、 諸君か授業を理解しているかを確認するための小テスト を行う可能性がある。これらに基づいて評価する。

テキスト、参考文献

各授業でレジメを配布する。

(春) 全学総合講座

(環境学1) (環境基礎学-自然を見つめる)

担当者

中村 健治

講義目標

20世紀中葉以降、地球の温暖化、オゾンホールの拡大、酸性雨、熱帯林の減少、大気や海洋の汚染など、多方面にわたる地球規模での環境破壊が深刻化した。さらに、都市・人口・食糧問題、南北格差の拡大、民族対立の激化など、政治・敬愛・社会問題も深刻の度を増しつつある。今ほど、雌雄環境を保全して人類の平和と安寧を促進し、われわれの子孫に負の財産を残さないための叡智の結集と努力が求められている時代はない。「環境共生研究所」は、そのような時代の要請に応えるべく、地域環境問題や地球環境問題の解決に向けて調査・研究を進め、社会や大学教育においてその成果を還元することを目的として設立されている。本講座は、「環境共生研究所」の設立趣旨に沿って提供するものである。

本講座を通じて学生諸君が環境共生社会の基盤となる 自然環境と社会のあり方についての基本概念を身につけ ることを目標とする。

講義概要

春学期は、環境問題を考える際の基礎となる「自然環境 の成り立ち」および「自然と人間社会のかかわり」につい て講義する。

本講座は、環境共生研究所研究員・経済学部教授中村健 治がコーディネーターとなり、環境共生研究所研究員ほか が担当する。

受講生への要望

環境は、学際的扱うべきテーマです。この講座を通じて広い視野を獲得することを望む。

評価方法

定期試験と授業参加度を総合的に評価する。また担当教員 からレポート等が課せられた場合はこれも加味する。

テキスト、参考文献

各担当教員より指示される。

授業計画

- 1. 環境とは何か
- 2. 古気候
- 3. 水循環と植生(1)
- 4. 水循環と植生(2)
- 5. エネルギーと物質循環
- 6. 海洋の環境変化
- 7. 大気の質
- 8. 地域の気候変化
- 9. 集中豪雨とリスク管理
- 10. 地球環境問題(1)
- 11. 地球環境問題(2)
- 12. 地球環境問題 (3)
- 13. 人類と環境(1)
- 14. 人類と環境(2)
- 15. まとめ

(秋) 全学総合講座 (環境学2)(環境応用学-環境と社会)

担当者

中村 健治

講義目標

20世紀中葉以降、地球の温暖化、オゾンホールの拡大、酸性雨、熱帯林の減少、大気や海洋の汚染など、多方面にわたる地球規模での環境破壊が深刻化した。さらに、都市・人口・食糧問題、南北格差の拡大、民族対立の激化など、政治・敬愛・社会問題も深刻の度を増しつつある。今ほど、雌雄環境を保全して人類の平和と安寧を促進し、われわれの子孫に負の財産を残さないための叡智の結集と努力が求められている時代はない。「環境共生研究所」は、そのような時代の要請に応えるべく、地域環境問題や地球環境問題の解決に向けて調査・研究を進め、社会や大学教育においてその成果を還元することを目的として設立されている。本講座は、「環境共生研究所」の設立趣旨に沿って提供するものである。

本講座を通じて学生諸君が環境共生社会の基盤となる 自然環境と社会のあり方についての基本概念を身につけ ることを目標とする。

講義概要

秋学期は「人間社会の環境問題への対応」を中心に講義 する。

本講座は、環境共生研究所研究員・経済学部教授中村健治がコーディネーターとなり、環境共生研究所研究員ほかが担当する。

受講生への要望

環境は、学際的扱うべきテーマです。この講座を通じて広い視野を獲得することを望む。

評価方法

定期試験と授業参加度を総合的に評価する。また担当教 員からレポート等が課せられた場合はこれも加味する。

テキスト、参考文献

各担当教員より指示される。

授業計画

- 1. オリエンテーション
- 2. 地球・地域環境問題の諸相(1) 環境と人間
- 3. 地球・地域環境問題の諸相(2) 人口と食糧問題
- 4. 地球・地域環境問題の諸相(3) エネルギー問題
- 5. 地球・地域環境問題の対応(4) 環境経済・政策(1)
- 6. 地球・地域環境問題の対応(5) 環境経済・政策(2)
- 7. 地球・地域環境問題への対応 環境と法(1)
- 8. 地球・地域環境問題への対応 環境と法(2)
- 9. 地球・地域環境問題への対応 環境教育(1)
- 10. 地球・地域環境問題への対応 環境教育(2)
- 11. 地球・地域環境問題への取り組み(1)
- 12. 地球・地域環境問題への取り組み(2)
- 13. 地球・地域環境問題への取り組み(3)
- 14. 地球・地域環境問題への取り組み (4)
- 15. まとめ

(春)

全学総合講座(働くための基礎知識―知って得する労働 問題)

担当者

野村 容康

講義目標

近年の金融危機は実体経済にも波及し、日本経済も低成長を余儀なくされている。このような経済状況およびグローバルゼーションの進展もあり、雇用をめぐる環境は厳しいものとなってきている。

大学生の就職状況も非常に厳しい状況が続いており、今年度においても大きな好転は望まない状況にある。ロスト・ジェネレーションといわれる世代の再出現が懸念されている。また、職場における労働環境も特に若年層において厳しいものがある。

本講義においては、「働くこと」をめぐる様々な問題について多様な切り口から接近し、私たちの暮らし・生き方と労働がどのように関わっているかについて考えていくことにする。

講義概要

講義は毎回ゲストスピーカーを招き行うことにする。労働組合関係者だけでなく、経営者団体・労働法学者・社会保障学者等の多様な一級の講師から「働くための基礎知識」を習得できるようにする。

受講生への要望

労働問題に関する新聞記事を読んだり、テレビニュースを 見て、現在何が問題になっているかを自分なりに把握して おくこと。私語は厳に慎み、講師の方に失礼のないように 真摯な態度で受講すること。

評価方法

原則としてレポートにより評価する。

テキスト、参考文献

各回の講義において紹介する。

授業計画

以下のようなスケジュールを予定しているが、論題や講義 の順番は変更する場合がある。

- 1. ガイダンス
- 2. 社会保障法の基礎知識
- 3. 日本の社会保障制度―超高齢社会を迎えて
- 4. 少子化対策を考える一共働き社会の課題
- 5. 労働法の基礎知識(1)
- 6. 労働法の基礎知識(2)
- 7. 政策制度への取り組み―政府に対する要求
- 8. 労使関係論(1)労働側からみて
- 9. 労使関係論(2)経営側からみて
- 10. ILO とディーセントワーク
- 11. 労働安全衛生―メンタルヘルスを含む
- 12. 公務員の世界
- 13. 協同組合の役割―労働金庫、全労済、生協など
- 14. 諸外国の社会保障制度
- 15. 労働者に対する税金

(春)	全学総合講座「ポピュラー文化と社会」		担当者	平田 由紀江		
講義目標		授業計画				
受講生にとって身近だと思われるポピュラー文化をまじめに考えていく講座である。今年度はアニメーションを主なテーマとする。 社会を見つめるさまざまな視点を知り、理解してもらうことが講義目標である。		2アニメの製作にみるグローバル化と労働環境変化				
	じ講師による講義を行う。ポピュラー文 様相を考えていく。	7 短編アニメーションの世界② 8 グローバリゼーションとアニメーション:インドの ウ グローバリゼーションとアニメーション:インド 1 0-1 1未定 1 2-1 3未定 1 4-1 5 まとめと課題提出		メーション:インドの場合① :メーション:インドの場合②		
受講生への要望						
初回講義には必ず	出席のこと。					
評価方法						
平常点 期末レポート テキスト、参考文	献					
適宜紹介する。						

(春) 全学総合講座(現代日本論) 担当者 本田 浩邦

講義目標

本講座では、現在の日本の諸問題を原発とメディア、歴史 認識、教育、貧困といったテーマに即してとらえます。そ れぞれの分野の最前線でご活躍されている方々を講師に お招きしました。

新聞や雑誌を読むときなど、与えられた報道だけで判断せず、自分なりに考えてそれらに接することができるようになりたいものです。そうした力を身につけることがこの講座の目的です。「政治や社会の問題はむずかしい」と考えている人も、学期をとおして聞いているうちに、問題を考えるヒントが見いだせるはずです。

講義概要

講師の先生方のご都合などで予定が変更になる可能性が ありますので、予定変更の掲示をよく見ておいて下さい。

受講生への要望

受講態度には気をつけて下さい。私語などないようにお願いします。

評価方法

毎回出欠確認を行い、感想文を書いて頂きます。学期末に レポートを課します。レポートの課題や形式は授業中に説明します。授業への参加度50%、レポート50%

テキスト、参考文献

授業計画

- 1. はじめに・評価方法の説明・諸注意
- 2. 現代日本論――政治とメディアのあり方を問う(北村 肇・元「週刊金曜日」編集長)
- 3. 原発問題——発生から現在まで(蓮池透・元東京電力 社員)
- 4. 日本史上最大の人災から子どもを守る市民型公共事業――ふくしま集団疎開裁判と松本子ども留学プロジェクト(柳原敏夫・弁護士)
- 5. 特定秘密保護法と調査報道(田中稔・ジャーナリスト)
- 6. 日本の戦争 歴史認識を問う(笠原十九司・都留文 科大学名誉教授)
- 7. 戦時下の性暴力を考える(西野留美子・ジャーナリスト、「女たちの戦争と平和資料館」館長)
- 8. 子どもの成長(佐藤真一郎・NPO法人 文化学習協 同ネットワーク、練馬区生活困窮世帯支援事業統括責 任者)
- 9. いま学校はどうなっているか? (山本由美・和光大学教授)
- 10. 大阪桜宮高校体罰事件に思う――私の体罰(暴力)否 定論 (土肥信雄・元三鷹高校校長)
- 11. ファインダーをとおしてみる世界と日本——スラム に生きる(佐藤慧・フォトジャーナリスト)
- 12. ファインダーをとおしてみる世界と日本――大震災と日本(佐藤慧・フォトジャーナリスト)
- 13. ファインダーをとおしてみる世界と日本——世界の 子どもたち(安田菜津紀・フォトジャーナリスト)
- 14. 地方自治論入門(池上洋通·多摩住民自治研究所)
- 15. まとめ

講義目標

本講座は、春学期の「現代日本論」の直接の続編です。現在日本の政治や社会の現実的な問題をあつかった春学期の講座と比べて、秋学期は、原理的・理論的な話しが軸になっています。春学期同様、それぞれの研究分野の最先端でご活躍されている方々を講師でお招きしましたので、じっくり聴いて下さい。

講義概要

講師の先生方のご都合などで予定が変更になる可能性が ありますので、予定変更の掲示をよく見ておいて下さい。

受講生への要望

受講態度には気をつけて下さい。私語などないようにお願いします。

評価方法

毎回出欠確認を行い、感想文を書いて頂きます。学期末に レポートを課します。レポートの課題や形式は授業中に説 明します。授業への参加度50%、レポート50%

テキスト、参考文献

授業計画

- 1. イントロダクション(本田浩邦)
- 憲法入門――われわれは今どこにいるか? (小澤隆 一・東京慈恵医大教授)
- 3. 安全保障入門――「力によらない平和」の可能性(浅 井基文・元外交官/広島平和研究所元所長)
- 4. 哲学入門――環境・労働・コミュニケーション(尾関 周二・東京農工大学名誉教授)
- 5. 日本経済入門――税金と社会保障(武田知弘・ライター)
- 6. ブラック企業・非正規雇用問題(山田真吾・首都圏青 年ユニオン事務局長)
- 7. はじめてのフェミニズム――「わたし」を生きるということ (米田佐代子・「らいてうの家」館長・元山梨県立女子短期大学教授)
- 8. 中東問題とジェンダー (平井文子・獨協大学非常勤講師)
- 9. 拉致問題をどう考える――解決の枠組みを探る(蓮池 透・北朝鮮による拉致被害者家連絡会元事務局長)
- 10. 国際連帯税とは何か?――グローバルな所得再分配 の構想(田中徹二・オルタモンド事務局長)
- 11. ベーシックインカム――代替的社会保障への新たな 戦略 (岡野内正・法政大学社会学部教授)
- 12. 文学を考える――「ことばの力」に賭ける人々(神子島健・戦争文学研究家)
- 13. 新しい経済社会——雇用・社会保障とベーシックイン カム(本田浩邦・獨協大学経済学部教授)
- 14. 質疑
- 15. まとめ

(春)(秋)

全学総合講座(あなたのキャリアデザインを考える)

町田 喜義

講義目標

本講座は、2006年度に開講された本学卒業生による 毎回完結の連続講義です。講義内容は・・・

- ① 自分自身の内面を探索する:自己発見
- ② 異なった環境で如何に生きるか:適応力
- ③ 近未来を考える:職業選択
- ④ 人間関係を構築する:個と集団の均衡を図る
- ⑤ 自己の物差しの構築:理論と実践
- ⑥ 大学生活をどの様に過ごすか:今、ここで
- ⑦ 外国語学習にどう立ち向かうか:継続は力
- ⑧ その他、諸君の今後の学生生活に役立つ話題満載

なお、本講座は今年度を以て閉講となる予定です。

講義概要

実業界、学会、法曹界、教育界、官界、芸能界、政界など各分野・社会、地域(外国を含む)で活躍している卒業生が、後輩諸君へ語る熱きメッセージに傾聴し、同じキャンパスで過ごした学生生活を共有しながら、先輩達との絆を感じ取ってください。皆さんの今後のキャリアデザインに役立つ講義が満載です。

このシラバスでは2012年度(2013年度は担当者の海外出張で休講)の講義題目を掲載しておきますので参考にしてください。

受講生への要望

- ・全て出席する覚悟で登録すること。
- ・遅刻:開始後15分(11:00)以降の入場は欠席とする。
- ・初回から出欠を取る。
- ・ 教室内は脱帽
- ・(当然だが) 私語厳禁

評価方法

- ・各講師の課題レポートの中から3題選択。
- ・レポートの提出条件は、9/15回の出席を要する。

テキスト、参考文献

・各担当者の指示による。

(春学期)

授業計画

1. キャリアデザイン序章:講義概要説明

担当者

- 2. 人生の経営数学
- 3. 大学で学んだこと
- 4. グレーゾーンの美学: ムリに決めなくたっていい
- 5. 人生の転機で考えたこと
- 6. 今でも生きている学生時代の『志』
- 7. 東京ディズニーランドの歴史
- 8. 女性が仕事を続けるということ:仕事と家庭の両立とけ??
- 9. コームインの仕事: "住むまちに誇りを持つ"
- 10. 一華僑子弟として
- 11. 自分次第でどうにでも変われる: 若いって素晴らしい
- 12. 教員の仕事:やっぱり人間形成の場
- 13. 生きることと働くこと
- 14. テレビの仕事
- 15. キャリアデザイン終章: まとめ

(秋学期)

- 1. キャリアデザイン序章:講義概要説明
- 2. 文系出身でも何とかなるって・・・?:SEの話
- 3. やりたい仕事を見つけるために
- 4. 40代の目から見た世の中の実相
- 5. 経験の質と量
- 6. 客室乗務員の仕事
- 7. 出会いが人をつくる
- 8. 「本づくり」という仕事と、編集者の経験から考える後悔しない学生生活と就職
- 9. 経営革新から学ぶ激動の時代:変化への順応性
- 10. キャリア形成は、Planned Happenstance:計画され た偶発性
- 11. ホテル業界で働くこと
- 12. 私の学生時代
- 13. 自分らしい生き方をみつける
- 14. ステージを楽しむ人生
- 15. キャリアデザイン終章: まとめ

松岡 格

講義目標

我々が現在生きているこの世界について知識を深める にはさまざまな方法がある。その有力な方法の一つが現地 調査(フィールドワーク)である。その対象となる「現場」| 2 デジタル空間を調査する は遠く離れた異世界ともいうべき土地かもしれない。ある いは逆に自らの日常生活そのものが観察の対象になるか 4 漁業活動と人の移動 もしれない。

この授業を通して様々なフィールドワークの実践に触 6 農業実践——焼畑農耕を続けるという選択 れることで、フィールドワークの方法論について理解を深 7 アルゼンチンのボリビア人コミュニティ め、その知見とともに自らの知を鍛えることを目標とす 8 農民生活と切り絵 る。

授業計画

- 1 授業ガイダンス
- 3 植民地統治と人類学
- 5 先住民と生活空間

- 9 ディアスポラとユダヤ人
- 10 ハワイの中心地で生きる
- 11 南米高地の遊牧生活
- 12 環境 NGO の社会実践
- 13 災害に向き合って生きるための知識
- 14 国境地帯の宗教実践
- 15 まとめ

講義概要

本講義は、オムニバス形式で進める。13名のフィールド ワークの実践者に、講師として各自のフィールドワークの 経験とそこで得た知見について解説してもらう予定であ る。調査で得た様々な定量的データ、ビジュアル・データ、 モノなども紹介しつつ、具体的な調査で経験したことと踏 まえた分析を示し、必要に応じて理論的示唆についても触 れる。

毎回小課題を解き、提出してもらうことで、知識の定着 の確認と理解度を確かめる。

※各回の内容は、変更・前後する可能性があります。詳し くは初回の授業で説明します。

受講生への要望

初回の授業で授業の進め方、詳しいスケジュール、評価の 方法など、全般的な説明をする。欠席しないようにするこ

評価方法

平常点 (授業への参加度等) [20%]、小レポート課題 [80%] を評価対象とする。

テキスト、参考文献

授業内で指示する。

矢羽々 崇

講義目標

皆さんにとって、昔話・メルヒェンとはどういうものでしょうか? 子供時代に読み聞かせてもらっただけの過去のものでしょうか? これらの物語の形式は、その単純さのせいで軽視されたりもしますが、実は文学の根本にあるものです。文学ばかりではなく、テレビドラマや映画などの根底を支えているといっても過言ではありません。そしてそれ以上に、私たちの生活をも(私たちは意識していなくても)規定しているのです。女性であればシンデレラストーリーに自分を重ねてみたり、男性であれば自分の中の「おおかみ」を意識すること(?)もあるでしょう。そんなメルヒェン・民話の可能性をめぐって話を進めていきます。

講義概要

この講座が目標とするのは、皆さんに自分たちの中の昔話やメルヒェン、そして文学を意識し、できれば時代を「読む」可能性を見いだしてもらうことです。昔話・メルヒェンの中にある人間の原型的なもの。グリム童話ならその成立期である19世紀という時代の考え方。グリムが盛んに書き換えられた20世紀の様相。さらに今の私たちが生きる21世紀の価値観。こうしたさまざまなベクトルを対比しながら、21世紀初頭に日本で生きている自分たちを相対化できる視点を持ってもらえれば、この講座はその役割を果たすことになります。講座は基本的に約1時間の講師による講義、残りの時間を講師とコーディネーターとの対話・参加者との質疑応答にあてます。「対話」は学問の土台です。ぜひ積極的に質疑にも参加してください。

受講生への要望

積極的に参加してくれることを望みます。

私語や遅刻など、他の学生や講師の方々に迷惑をかける 行為は厳に慎むように。また、授業中の携帯使用は禁止と し、発見した場合には厳格に対処します。

評価方法

毎回の授業レポート (30%) および学期末定期試験の成績 (70%) によって決定します。欠席が 4 回以上の場合,評価の対象としません。遅刻・無断退出(出入り) も欠席とみなすことがあります。

テキスト、参考文献

第1回授業で指示します。参考文献はそれぞれの先生からも適宜指示があります。

授業計画

第1回授業時に各回の担当講師とともに決定版を提示します。

基本的な予定テーマは次のとおり。講師の日程調整などの 都合で前後したり、変更するすることがあります。

- 1 ガイダンス
- 2 メルヒェンとは何か
- 3 昔話の法則性
- 4 昔話のメッセージ
- 5 昔話を聞く
- 6 グリム・メルヒェンの舞台
- 7 グリム以前のヨーロッパのメルヒェン
- 8 グリム・メルヒェンの成立
- 9 メルヒェンの国際比較
- 10 グリム以後のメルヒェン1
- 11 グリム以後のメルヒェン2
- 12 20世紀のメルヒェン
- 13 メルヒェンの映像化1
- 14 メルヒェンの映像化2
- 15 パネル・ディスカッション (学生数名+矢羽々)

(春)(秋)

全学総合講座(キャンパスライフと仕事)

担当者

山越 德

講義目標

4年間の学生生活を通して、人間形成をどのように進めるか、何を学ぶか、何をどの程度まで達成できるかなどを確認するための糧となる話を各分野の専門家からしてもらう。それにより2年次以降の目標と将来のライフスタイル、自分の夢を実現するためのキャリアデザインを明確に意識させることにより、生き生きとした学生生活を送れるようにする。

右のスケジュールは暫定的に示したもので、ほぼ確定した段階でスケジュール表を配布する。予定では第1回目もしくは第2回目の授業にて配布する予定。

授業計画

(春)

- 1. さまざまな仕事(進路)を考える オリエンテーション
- 2. 企業で働く、企業が学生に求めるもの
- 3. 自己理解、自己表現
- 4. 公務員の仕事
- 5. 男女共同参画社会
- 6. ベンチャー企業を起業する
- 7. 社会の求める人材とは
- 8. 今後の食糧事情における食品企業の役割
- 9. 仕事と適性
- 10. 人間力を高める
- 11. 1年生の今、すべきこと
- 12. 活躍する OB
- 13. 仕事と私事
- 14. 内定者の体験談
- 15. まとめ

講義概要

選択するのは「入りたい企業」ではなくて「自分がやりたい仕事」である。「就社」ではなくて「就職」であることを意識させる。自分の選択した生き方によって職業選択も変わることが理解できるようにする。そのため多様な職業の実態を知る機会を提供し必要な知識、技能を理解させる。本講義では様々な業種の現役で活躍中の社会人を迎えて「ありのままの仕事の様子」を語ってもらう。また人事、採用に関わってきた方々には企業が求める人材についても話してもらう。毎回質問の時間を確保し、学生の疑問に応えられるようにする。なお講師の都合により、授業計画の順序が変更される場合があることを留意されたい。

スケジュールについては上記のとおり。

(秋)

春季の事業計画と内容は同じであるが順序は必ずしも同じではない。出来れば第1回目にスケジュール表を示す予定である。

上記授業計画は講師の都合により順序やテーマも変更することがある.

受講生への要望

外部の方の話を聞くことを第一とするため、とにかく出席 すること。礼儀正しく聴講すること。講義内容の更なる充 実を図るためと講師への還元のため、毎回の感想をレポー トすること。

評価方法

授業への参加度、レポート (期末、一部各回のものも含める)

テキスト、参考文献

必要な資料は授業で配布

(秋)

全学総合講座(食文化と人間生活「気候と風土と食文化」)

担当者

和田 智

講義目標

「食」の歴史と共に、近年失われつつある「食文化」の意義と認識をすることは意味のある事といえる。その地域に根ざした伝統食とその歴史的変遷は、世界の歴史の影を多く落としており、その国々の食にまつわる拘りがその国の食文化を大きく成長させ、生活その物にも変化と進歩を与えた。また食への欲が世界の流通をも引き起こし、戦争や貿易という結果も生んだといえる。また一方では、食にまつわる副産物として、食を楽しむ為の、酒やお茶、調味料といったものへの拘りと、食を楽しむ為の、容器や食べ方に至る拘りが、陶器やマナーを生んだ。

日本の食、世界の食について食の世界のスペシャリスト 達の話から食についての関心を高め、行動に移すことを目 標とする。

講義概要

人間は日々折々の食事から、時代や風土に即した多用な文 化を紡ぎだしている。食事は世界の各地で邂逅し、現在も 変容の過程といえる。食にまつわる歴史、地域とのかかわ りと文化として成長し継承されて現在に至っている。「食」 の文化を開拓した人類にとって、その地域の旬の食材をど う食べるかは単に栄養を摂取する為だけの問題ではなく、 食物の蓄積は富の象徴となり、味覚への拘泥は「食」の美 学生み、教養や宗教とあいまって現在では謎に満ちた「タ ブー」をもつくり、時空を超えた「食」への夢は際限なく 広がりを見せ、貴重な食材や調理法への旺盛な探求心はと どまることなく、人々を果てしない冒険へと駆り立てた。 「食」はかっては国家や民族間の争いの引き金として、ま た政治の道具に利用される事も歴史上の事実として観る 事が出来る。今日「食」を巡る問題は、国際化と科学技術 の進歩と人々の様々な欲望とによって、複雑怪奇な様相を 呈している。日々の食事の背景や、夢と欲望、謎と矛盾に 満ちた不可思議な世界を検証し、他の動物ではあり得ない 食文化とそれにまつわる生活文化を学びその世界的変容 に、知識としてだけでなく学び、体験する。

受講生への要望

講義支援システムを利用するので利用できるようにして おくこと。質問、アンケート等で携帯端末を利用します。 通信料が発生しますのでご理解の上協力願います。

評価方法

授業レポート (20%)、学期末レポート (30%)、授業への取り組み (50%) により評価する。

テキスト、参考文献

授業で紹介する。

授業計画

- 1 オリエンテーション 「食をめぐる話題」 和田 智 獨協大学教授
- 2 「食と茶の文化伝導」 磯淵 猛 ㈱ティー・イソブチカンパニー代表取締役 社長
- 3 「食事作法の背景にあるもの」 後藤加寿子 料理研究家 武者小路千家長女
- 4 「栄養としての食」 和田 智 獨協大学教授
- 5 「カナダネイティブから学ぶ食」 田中知恵 本学卒業生 ネイチャーライター
- 6 「人はズルなしで生きられるか」 服部 文祥 東京新聞出版局・岳人編集部 サバイバ ル登山家
- 7 「中国の食文化」 辻 康吾 元国際教養学部言語文化学科教授
- 8 「パティシエから見るスイーツブーム」 羽鳥武夫 シュルプリーズ パティシエ
- 9 「ケケタン先生の考える子どもと食」葛恵子(有)葛トータルフードプロデュース クッキングプロデューサー
- 10「The 日本食」 柳原尚之 江戸懐石近茶流・柳原料理教室副主宰
- 11 「食のトレンド」加藤真悟(本学卒業生)フードプロデューサー
- 12 「難民の食文化を守る」 国連機関 UNHCR 広報官
- 13 「有機農業と食」 金子美登 埼玉県小川町有機農業実践家 霜里農場代表・小川町町会議員
- 14 「食を資源とした地域おこし」金丸弘美 食環境ジャーナリスト
- 15 「私たちの食はこのままではいけない」 和田 智 獨協大学教授

講師の都合により、順番は変更されます。

担当者

和田 智

講義目標

自由時間の大切さに気づいていない人が多い。

私たちの生涯は70万時間、労働時間は7万時間、自由時間は20万時間。これまでのあなたの目標といえば7万時間のためのものが多かったのではないでしょうか。自由時間をいかに充実させることができるかについてもっと考えて見ましょう。この授業ではいろいろと考えてきた人たちを紹介します。

「レジャー」の真の意味を知ることにより、個々の学生 が現在を充実させ、将来の目標を立てる助けにすることを 目標にしています。

春学期の理論編としての「自由時間設計」とこの授業を 履修していただくと、より理解しやすく、あなたを行動へ と向かわせてくれると思います。

講義概要

第1回目の授業では、私たちの自由時間の現状について把握し、これからの授業を理解するための基礎的な理解をしていただきます。

第2回目の授業から、それぞれの講師がどのような考え 方、ライフスタイルを持ち、自由時間について実践してい るかについて知っていただきます。

最後の授業では、これまでの講義で聞いてきたお話が 「レジャー学」的にどのように理解できるのかを説明して いきます。

受講生への要望

講義支援システムを利用するので利用できるようにして おくこと。質問、アンケート等で携帯端末を利用します。 通信料が発生しますのでご理解の上協力願います。

評価方法

授業レポート (20%)、学期末レポート (30%)、授業への取り組み (50%) により評価する。

テキスト、参考文献

授業で紹介する。

授業計画

1オリエンテーション

「あなたの自由時間の現状」

和田 智 獨協大学教授

2 自由時間の達人①

「農業から新しいライフスタイルを求めて」

島野忠夫 楽遊舎代表

3自由時間の達人②

「自由時間の巨大な消費先"テレビ"」

杉町昌子 本学卒業生イーストエンタテインメント

4 自由時間の達人③

「私にとっての世界一周の旅」

下重健児 本学卒業生

5自由時間の達人④

「私がなぜ空を飛ぶようになったのか」

多胡光純 本学卒業生

エアーフォトグラファー

6自由時間の達人⑤

「生きることの証をもとめて」

服部 文祥 サバイバル登山家

7自由時間の達人⑥

「日本人の自由時間を貪るパチンコ産業」

若宮 健 ジャーナリスト

8自由時間の達人⑦

「バリアフリースクーバダイビングを推進する」

椎名克巳 株式会社東京ダイバーズ代表取締役

9自由時間の達人®

「高齢者のためのレジャー」

山崎律子(株)余暇問題研究所代表取締役

10自由時間の達人⑨

「好きなことを続けるということ」

山本幸治 プロボウラー

11自由時間の達人⑩

「新しい旅の動向」

福井 善朗 神戸夙川学院大学客員教授

12自由時間の達人⑪

「学生時代からつながる現在と未来」

田中勝之 本学卒業生

13自由時間の達人(2)

「好きなことを続けるということ」

指揮者 鈴木彰久

14自由時間の達人(3)

「好きなことを続けるということ」

講師交渉中

15自由時間を「自由時間をレジャーとするために」

和田 智 獨協大学教授

講師の都合により、予定が変わることがあります。

 08 年度以降 07 年度以前
 ことばと思想 1 (英語学 a) 言語学 a (個別言語学 - 英語)
 担当者
 安間 一雄

講義目的、講義概要

英語学の基礎的諸領域の広範な理解を目標とする.扱う領域としては発音・音声学・形態論・統語論・意味論・語用論・談話論・英語史などがある.それぞれのテーマについて基本的概念を解説し、実際の英語理解の支援を行う.分野によっては視聴覚資料を補助的に用いる.2015年度は休講の予定.

参考文献

朝尾幸次郎,『英語の演習 第3巻: 語彙・表現』(大修館書店) 宇賀治正朋,『英語史』(開拓社,2000; ISBN: 4 7589 0218 6) 高橋作太郎,『英語教師の文法研究』(大修館書店,1983; ISBN: 4469141526) 高橋作太郎,『続・英語教師の文法研究』(大修館書店,1985; ISBN: 4469141542) 高橋作太郎,『英語の演習 第2巻:文法』(大修館書店) 竹林滋・桜井雅人,『英語の演習 第1巻:音韻・形態』(大修館書店) 西光義弘他,『日英語対照による英語学概論』(くろしお出版,1999; ISBN: 4874241697) 橋内武,『ディスコース:談話の織りなす世界』(くろしお出版,1999; ISBN: 4-87424-172-7) David Crystal, The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 2nd ed. (Cambridge University Press, 2003; ISBN: 052182348 X / 0521530334) R. McCrum, W. Cran, & R. CacNeil, The Story of English: Special Complete Edition (マクミランランゲージハウス,1989; ISBN: 4895850242)

授業計画

- 1. 英語の文法理論 (6章)
- 2. 音声学 (7章)
- 3. 音韻論 (1):分節音韻論 (8章)
- 4. 音韻論 (2): 強勢・イントネーション (8章)
- 5. 形態論·語形成 (9章)
- 6. 統語論 (1): 構造主義の統語分析 (10章)
- 7. 統語論 (2): 生成文法の統語分析 (10章)
- 8. 意味論・語用論(11章)
- 9. 談話分析
- 10. 英語史 (1): 古英語 (4章)
- 11. 英語史 (2): 中英語 (4章)
- 12. 英語史 (3): 近代英語 (5章)
- 13. 英語史 (4): 現代英語 (5章)
- 14. 英語史 (5): 英語の多様性 (12章)
- 15. 英語の対象言語学的研究 (15章)・コーパス英語学

テキスト、参考文献

石黒昭博他,『現代英語学要説』(南雲堂, 1987; ISBN: 4-523-30047-X)

評価方法

定期試験 x 出席率 +平常授業における課題

08 年度以降ことばと思想1 (言語学 b)07 年度以前言語学 b(一般言語学)

担当者

安間 一雄

講義目的、講義概要

人間の言語は動物のそれと異りアナログ的要素と共に デジタル的要素がある.メッセージを単位記号(デジタル 信号)に置き換えることでコミュニケーションの媒体となり,文学ばかりでなく政治や科学などの社会を構成する要素が確立したのである.この授業では言語の基本的な構造を取り上げ,理論的枠組みを理解すると共に,ハンズオン的学習を通して言語資料の分析練習を行う.対象言語は英語を初め各国語にわたる.教材の事前予習を前提とする.

参考文献

Edward Finegan, Language: Its Structure and Use, 6th ed. (Wadsworth, 2011; ISBN: 978-0495900412)
David Crystal, The Cambridge Encyclopedia of Language (Cambridge University Press, 1987; ISBN: 0-521-42443-7)

授業計画

- 1. 形態論 (1) 形態素の同定 (ハンガリー語,スペイン語)
- 2. 形態論 (2) 形態素の同定 (現代ヘブライ語, マレー・インドネシア語, ペルシア語)
- 3. 形態論 (3) 形態素の同定 (ラテン語, ラコタ語)
- 4. 音声学・音韻論 (1) 発音記号,音素・異音(英語)
- 音声学・音韻論(2) 音韻の同定(ウィチタ語,古典ヘブライ語,ラコタ語)
- 6. 音声学・音韻論 (3) 音素の同定 (スペイン語, ヒンディー 語, 日本語)
- 7. 音声学・音韻論 (4) 超分節音素の同定 (中国語, アイスランド語・スワヒリ語・アラビア語・英語)
- 8. 音声学・音韻論 (5) 音韻現象, 生成音韻論 (トルコ語, 英語)
- 9. 統語論 (1) 直接構成素分析, 句構造規則 (英語)
- 10. 統語論 (2) 句構造規則 (英語, イタリア語・ギリシア語)
- 統語論 (3) 構造形成, 語順, 格(英語, 中国語, ドイツ語, クリンゴン語)
- 12. 意味論 上位概念・下位概念,同意語・反意語(英語,日本語,ペルシア語)
- 13. 語用論 新旧情報,言語行為,話題化(英語,中国語)
- 14. 書記法(英語,イタリア語,ギリシア語,ヘブライ語)
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

Paul R. Frommer & Edward Finegan, Looking at Languages: a Workbook in Elementary Linguistics, 5th ed. (Heinle, 2011; ISBN: 978-0495912316)

評価方法

定期試験 x 出席率 + 平常授業における課題

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 1 (日本語教育概説) ことばと思想(Ⅲ)(外国語としての日本語教育)		担当者	石塚 京子
講義目的、講義概要	E	授業計画		
のようなものか、とれている。このは、まのではものが、は、まなりまでは、のではと現るを持った。とれている。とれていないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	国語教授法を概観する。 吾として客観的に捉える。 O日本語の指導法を考える。	 日本日本日本語教語教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育教育	と育と育法法と学イくく活 のののの日習ンみみ動 を主とのののの日習ンみみ動 ののののおいまでは かいまで、 ののの日習ンみみ動 のののといるののの のののののののでは ののののののののののののののののののののののののの	ス ポイント(1)
テキスト、参考文献	状	評価方法		
	ノック日本語教育』ひつじ書房、 2007 日本語教授法』バベル出版	期末試験(70%)を総合的に評価		果題などの提出状況(30%)

			担当者	
講義目的、講義概要	- -	授業計画		
テキスト、参考文献	,	評価方法		

08年度以降 ことばと思想1(倫理の基本について考える) 担当者 市川 達人 07年度以前 倫理学 a(倫理の基本について考える) 講義目的、講義概要 授業計画 私たちの社会には「して善いこと」と「して悪いこと」 1)哲学と倫理学 がある。私たちは普段、この二つを良識のレベルで割り切 2)非倫理の時代か倫理の時代か っており、それに対して「なぜ」などと問うことはあまり 3)「倫理」という言葉 しない。しかし、この良識が揺らぎだしたり、この良識に 4)倫理と道徳の違い 対立する良識がでてきたりしたとき、この「なぜ」が、つ 5)規範としての倫理(1)……習俗と倫理 まり倫理に対する学問的問いかけが生まれるのである。 6)規範としての倫理(2)……法と倫理 近代という時代はこの倫理的問いかけを、敬(軽)して遠 7)価値としての倫理(1)……欲求から善へ 8)価値としての倫理(2)……「事実・価値」問題 ざけてきた。しかし、倫理への問いは最近再び脚光を浴び てきている。良識が揺らいでいるのである。 9)行為への問い(1)……行為の構造と近代的行為モデル 講義では、倫理における「なぜ」を扱いたい。私たちが 10)行為への問い(2)……他者からの問いかけ 倫理的な判断を下すとき、そこにいかなる思考のメカニズ 11)行為への問い(3)……動機主義と結果主義 ム、あるいは論理が働いているかを考えるということであ 12)功利主義の倫理(1)……ベンサム る。最後に、これをふまえて現代倫理を代表する自由主義 13)功利主義の倫理(2)……功利主義の今日的展開 と功利主義を批判的に検討したい。 14)自由主義の倫理(1)……カントとミル 15)自由主義の倫理(2)……リベラリズムと平等論

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 1 (環境と生命の倫理) 倫理学 b(環境と生命の倫理)		担当者	市川 達人
講義目的、講義概要	5	授業計画		
21 世紀は生命と環境の時代だといわれる。一方では人間		1)「倫理問題」とは?応用倫理について		
を好きなように誕生させ、生きさせ、あるいはやさしく殺		2)生命をめぐる状況(1)「医療化社会」批判		

評価方法

期末の試験による

21 世紀は生命と環境の時代だといわれる。一方では人間を好きなように誕生させ、生きさせ、あるいはやさしく殺す技術が生まれてきている。他方で、地球規模での環境汚染、資源の枯渇が懸念され、人類の存続が危ぶまれている。内的自然支配の深まりと外的自然支配の限界ともいうべきこの両者を見据えながら、伝統的な生命観や自然観を考え直していくこと、これが講義の課題である。生命倫理学とか環境倫理学という新しい学問分野が関心を集めているが、そこでの議論を踏まえて進めていく。

テキスト、参考文献

テキストは使わない。参考書は講義で指示。

3)生命をめぐる状況(2) ……所有的身体観と生命表象の微細・局在化 4)生命倫理の前線(1) 医療倫理から生命倫理へ 5)生命倫理の前線(2) 中絶、生殖医療の問題 6)生命倫理の前線(3) 安楽死問題 7)生命倫理の前線(4) 臓器移植の問題 8)ケアの倫理……人のケアから自然のケアへ 9)環境倫理の世界(1) 環境保護とはどういうことか 10)環境倫理の世界(2) 生態系価値を中心にする思想

11)環境倫理の世界(3) 自然物の権利を中心とする思想 12)環境倫理の世界(4) 地球レベルでの構造的不正義

13)環境倫理の世界(5) 環境的不正義に関する倫理的言説

14)環境倫理の世界(6) 持続可能性と世代間倫理

15)生命と環境とをつなぐ倫理的課題

テキスト、参考文献 評価方法

テキストは使わない。参考書は講義で指示。 期末の試験による

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 1 (社会思想史 1)(市民的社会像の黎明期) 社会思想史 a(市民的社会像の黎明期)		担当者	市川 達人
講義目的、講義概要	P	授業計画		
を支配している近代的にたどる。講義に前期では、最近!会」という観念をは「社会」を学問的にンスから宗教改革の対抗あるいとき方が模索された後期の講義へとつ	たちの政治や経済に関する見方・考え方代的社会観の形成を、西欧を舞台に歴史は通年で完結する形をとる。 リアリティを失ってきたかにみえる「社 なめて分析してみることから始め、その こ対象化する動きがはじまったルネッサ の時期を取り上げる。キリスト教的な世 いはその変革のなかで、新しい価値観や ら成される時代である。 ながる問題意識として、「国家というま というまとまり」への二重の視点が生ま を向けたい。	1)授業の狙いにつ 2)「社会」という 3)「市民社会」の 4)ルネッサンスに 5)マキャベリとら 6)マキャベリとら 7)ユートピアとい 8)トマス・モアとい 9)中世の教会改革 10)ルターの改革 11)ルターの職業 13)カルヴィニズ 14)カルヴィニズ 15)まとめー主権	う思想 またいと 革運 思想を 古論別と 古論別と 事運動 想想 いと 軍動 想想 宗 近 まま かん と で まま かん と で まま かん と で まま かん と で まま かん と ない かん	代文化 ア』 王国説、後期スコラ学派 トス
テキスト、参考文献		評価方法		
テキスト 『社会思 参考書 講義で指示	想の歴史』渋谷一郎 八千代出版	期末の試験による	3 	

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 1 (社会思想史 2)(市民的社会像の確立期) 社会思想史 b(市民的社会像の確立期)		担当者	市川	達人
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画			
作業がはじまる。依が自分の自然権を受を作るという社会。で、社会を担う「国家と区別される市民あたりの展開をホまでたどってみる。	紀から近代市民社会の見取り図を描く 伝統的な自然法思想を手がかりに、個人 好るため、契約という作為を通して国家 契約思想が生みだされる。これと並ん 国民」が経済的主体として自覚され、国 民社会という観念が生まれてくる。この ップズから初めて 19 世紀のマルクス ここでも「国家というまとまり」と「市 が隠れた主題となる。	 授業の狙いに 西数は思想の 自然法思想の 社会ををめらるころ 個人をといいに 文明、大きといいに 個人とと社会に 社会とは自批出 社会会的に生 	想の源泉 近代的転回 自然と作為(と(1)······ロ と(2)·····ロ と(2)·····ロ 課題····・フ コ) ···・モンテスコ の一体化(1)··・ の一体化(2)·・・ ご発生する(2) きる(1)····・を	2)ホッブスックの所有的値ックの政治的自ランス啓蒙思想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の国家観 人主義 由主義 (ヴォルテー 史認識 モクラシー)道徳感情論と
テキスト、参考文献	t	評価方法			
テキスト 『社会思 参考書 講義で指示	想の歴史』渋谷一郎 八千代出版	期末の試験による	3		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 1 (応用言語学) 言語学 a (応用言語学)		担当者	臼井 芳子
講義目的、講義概要 応用言語学は言語、言語習得そして言語運用に関する理論を応用し、言語に関わるあらゆる問題の解決策を模索する学問である(言語学の基礎・応用の応用ではなく、応用言語学という分野である)。本講義では、応用言語学にはどのような領域があるか、そしてそれぞれの領域が外国語教育に何を示唆するかを学ぶ。 言語習得、外国語教育、言語と社会、言語研究の4領域を中心に進めていく。各領域においてどのような研究がなされ、外国語教育に何を示唆しているかを中心にみていく。出席を前提とする。また、課題をしてきたことを前提とした講義である。		授業計画 第 1 週:概論 第 2~3 週:言語習得 一言語選得 一言語喪失 第 4~6 週: 言語と社会 一バイリンガリズム・マルチリンガリズム (個人・社会) 一マイノリティ言語 第 7 週:言語と脳 第 8~12 週:外国語教育 — Second language vs. Foreign language		
留意点:英語で書る。 テキスト、参考文献 配布資料等有り。	かれた文献を課題として出すこともあ	- 教室における - 言語政策(2 第 13~15 週 : 言 評価方法	る第2言語習公用語化、小言語研究	0 0

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	 評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 1 (第二言語習得) 言語学 b (第二言語習得)		担当者	臼井 芳子
講義目的、講義概要	5	授業計画		
るかということを が が が が が が が が が が が が が	唇習得がいかにダイナミックなものであ 様々な理論をもとに考える。また、この 問語を日英の両言語で認識し、これらの 言語教育に応用していくかを考える。 構読など)をしてきたことを前提とした かれた文献を課題として出すこともあ	第 8~13 週: 学習 -年齢 -動機・態度(諸 -学習ストラデー -適正 -不安 -多重知能理論。 第 14・15 週: 発表	アウトプット・ 者要因 (理論) ジー・学習スタ	インターアクション仮説他
テキスト、参考文献	*************************************	評価方法		
配布資料等有り。		期末レポート&計	課題(50%)、	期末テスト(50%)

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		
/ L/VI 、シウヘm/	ит шилла		

08年度以降 ことばと思想 1 (倫理学 a) 担当者 川口 茂雄 07年度以前 ことばと思想 1 (倫理学 b) 講義目的、講義概要 授業計画 西洋現代哲学においてどのような倫理学的問題がどの 導入 (プレゼン担当者の募集・日程調整を含む) ように取扱われ、思索されてきたかを、概説する。 2. プラトンの記憶論「記憶は足跡か、絵画か?」 教職科目でもあるため、哲学知識の網羅的取得と同時 3. アリストテレスの記憶論 に、社会や人生におけるベーシックでファンダメンタルな 4. ベルクソンの記憶論「イマージュ‐想い出」 事柄の考え方を、高校生などにも理解可能なしかたで言語 表現できる実践力の習得が、目標として設定される。 5. サルトルの記憶論「幻覚」 6. フッサールの記憶論「想像と記憶を区別する?」 この学期では現代の哲学的諸問題について扱っていく。 7. 個人的記憶と集合的記憶 もちろん古代~近代の哲学者たちの考察は参考にされる。 〈心性史〉の歴史記述 現代は画像・映像といったイメージがさまざまなメディア 8. で飛びかい、そうしたイメージによる記録/記憶が人々の 9. 〈表象史〉の歴史記述 心を苦しめる時代でもある。これを〈記憶〉と〈歴史〉の 10. 王の肖像 --- イマージュの魅惑 11. 裁判官と歴史家 — 公正な第三者とは? 問題として受けとめ、考察していきたい。 12. ナチスのユダヤ人虐殺をめぐって(1) 授業は教科書を中心にして進められる。教科書にまとめ 13. ナチスのユダヤ人虐殺をめぐって(2) られている内容を要約ないし発展的にふくらませる補足 14. 「困難な赦し」 説明を、毎回担当者にプレゼンしてもらう予定。 15. まとめ テキスト、参考文献 評価方法 川口茂雄『表象とアルシーヴの解釈学 ― 一 リクールと 学期末試験による。

	倫理学 a(倫理学と人間性) 倫理学 b(現代倫理学の諸問題)	担当者	川口 茂雄
--	------------------------------------	-----	-------

講義目的、講義概要

西洋哲学においてどのような倫理学的問題がどのように 取扱われ、思索されてきたかを、概説する。

「記憶、歴史、忘却」』(京都大学学術出版会)

教職科目でもあるため、哲学知識の網羅的取得と同時に、 社会や人生におけるベーシックでファンダメンタルな事 柄の考え方を、高校生などにも理解可能なしかたで言語表 現できる実践力の習得が、目標として設定される。

哲学の学習は「言葉を選ぶ」ことのできる社会人になるための訓練の場なのだ、というようにとらえてもいい。

哲学史の入門書をもとに授業を進行していく。 古代ギリシアから、近世のデカルト・パスカルなどを経て、 近代のニーチェまでをこの学期で広く見ていく。

教科書はかなりコンパクトに各哲学者の思想をまとめたものだが、その圧縮された内容を発展的にふくらませる補足説明を毎回担当者にプレゼンしてもらう予定。

授業計画

1. 導入 (プレゼン担当者の募集・日程調整を含む)

- 2. プラトン(1)「ソクラテスの死から」
- 3. プラトン(2)「イデアという理想」
- 4. アリストテレス「人間は知ることを欲する」
- 5. エピクロス派、ストア派
- 6. デカルト (1)「私は思考する、ゆえに私は在る」

ただし各授業回で教科書内容の要約・補足プレゼンを担当 してくれた学生には、試験点数に約20点を加点する予定。

- 7. デカルト(2)永遠真理創造説
- 8. デカルト(3)四つの暫定的道徳
- 9. パスカル「きみはどちらに賭ける?」
- 10. ルソー(1)「人づきあいが人間を不幸にする」
- 11. ルソー(2)「理想的な教育とは」
- 12. ニーチェ(1)「きみは永遠回帰に耐えられるか」
- 13. ニーチェ (2)「音楽と悲劇」
- 14. ニーチェ (3)「ニヒリズムに面して」

15. まとめ

テキスト、参考文献

ドミニク・フォルシェー

『西洋哲学史 パルメニデスからレヴィナスまで』 (白水社・文庫クセジュ)

評価方法

学期末試験による。

ただし、各授業回で教科書内容への補足プレゼンを担当してくれた学生には、試験点数に約20点を加点する予定。

08年度以降	全 ことばと思想 1 (フランス・ドイツ哲学入門 1)		担当者	川口 茂雄
講義目的、講義概要	5	授業計画		
フランスの芸術。『フランスの多い。』の表表のでは、『のではないのでは、のでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたのでは、でいたが、でいたが、でいたが、でいたが、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、できないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないではないでは、できないではないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないではないでは、できないではないではないでは、できないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	マス哲学を、概観していく。 ・政治・文化といえば、十九世紀に花開いていまずブル』等々でなじみ深いこの時代に、フランスではどのような哲いていたのかを、見ていく。 は思想〉を引き継いで、個々の人間は生の違いによって異なるのではなく、とするが異なるのではなとするよう。 まする。しかしそうした生物学や唯物論思は、本当の意味で人間存在をとらえてて、スピリチュアリスム〉や〈伝統主義〉こうした十九世紀フランス哲学の百花科書をもとにしながら、見ていきたい。 「ツ語の知識はとくに必要としない。 最初には、各哲学者の思想・人生等につい要約というかたちで、希望者に簡単なららう。	 十九世紀初野 イデオロジ ヴィクトル 〈伝統主義〉 サン=シモジ 七月王政期の コントの〈ジャート世紀中 プルードジ 	頭のファー・クラック ファー・クック ファー・クック ファー・クック ファー・ファー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	クレクティスム の社会思想 アリスム スについて 主義〉 一、ユゴーの詩作品
テキスト、参考文献	#	評価方法		

期末試験による。

15~30点を加算する予定。

ただし各授業回のプレゼン担当者には、期末試験の点数に

ジャン・ルフラン

『十九世紀フランス哲学』(白水社・文庫クセジュ)

08 年度以降	08年度以降 ことばと思想1(フランス・ドイツ哲学入門2)		担当者	川口 茂雄
講義目的、講義概要	E	授業計画		
 講義目的、講義概要 近現代のフランス哲学・ドイツ哲学を概観していく。 ひとはなにを目的として生き、存在しているのか。個人の「自己」とは。「自由」(内面的自由、政治的自由)とは。芸術の意味とは。物質的事物と人間精神との差異とは。etc. こうした概念・発想はどれも、近代フランス・ドイツの哲学者たちの思想から、現代へと引き継がれてきたものである。そのいわば私たちのものの考え方の源泉になっている哲学について、各重要思想家の主著の内容を中心に、見ていくことにしたい。 今学期はニーチェとハイデガーという十九世紀後半から二○世紀にかけての重要哲学者を中心に取り扱う。ニーチェの主要概念である「ニヒリズム」「超人」「ルサンチマン」「音楽」etc. ハイデガー哲学の主要概念である「道具」「世界・内・存在」「死への存在」「大地」「アレーテイア」「言葉は言葉する」etc.をめぐって、皆でいろいろ考えてみたい。 各授業回の最初には、哲学者ないしその著作の内容について、希望者に簡単なプレゼンを行ってもらう。 		2. ニーチェ① 3. ニーチェ② 4. ニーチェ③ 5. ニーチェ④ 6. ハイデガー(7. ハイデガー(8. ハイデガー(9. ハイデガー(10. ハイデガー(11. サルトル 12. カミュ 「 13. ヴィトゲ	音楽といいます。 『見いまれる 『見いまれる 『見いまれる 『見いまれる 『見いまれる 『はいまれる 『はいままる 『はいままる	E』 田識』 ウストラはこう言った』 時間』 道具と世界 時間』 頽落、おしゃべり 時間』 死への存在 品の根源』 への問い』 由の刑に処せられている」 抗」「幸福」
テキスト、参考文献		評価方法		
ドミニク・フォルシ 『西洋哲学史 パル	ノェー レメニデスからレヴィナスまで』	期末試験による。 ただし各授業回		当者には、期末試験の点数に

15~30 点を加算する予定。

(白水社・文庫クセジュ)

 08 年度以降 07 年度以前
 ことばと思想1(心理学)(人間の行動・認知・動機の一般法則)
 担当者
 杉山 憲司

 講義目的、講義概要
 授業計画

この授業は、現代の課題から、なるべく幅広いテーマを選び、 1) 心理学の研究成果、2) 研究方法、3) 日常生活との関わり について紹介します。

心理学者として学生をみていると、1)世界の今の問題認識、2)自分の個性・価値を相互に認め、効力感(コンピテンシー)を持つ、2)友人や異質な人と協働する、チーム学習を通じて相互理解・交流を深めて欲しいと考えています。

自己を知ることは、心理学の研究目標の1つですが、他者を知り社会を知ることも重要で、感情や行動の主張と制御、スキルの習得、学習態度の形成が課題です。

教科書は、7章構成で、執筆時点でのトピックスを扱っています。各章は、「○○研究の生活・仕事への展開」の節で結ばれていますが、その後の変化については、新しい教材・DVD・その他で補います。

この授業の到達目標は、

- 1. 自己の性格や対人関係について学び、日常使えるようになる。
- 2. 心理学の視点から、自己の専攻領域(所属する学科の学問)をとらえ直し、心理学の視点から、再検討する。
- 3. 卒業後の将来、27歳の自分を想定し、広い意味での力量、ワーク・ライフ・バランスを考え、将来設計を試みる。

春学期の「心理学 a 」では、教科書の前半に当たる、認知、行動、モティベーションの 3 側面から見た、人間に共通な法則を学ぶ予定です。

- 1. 導入:ヒューマン・サイエンスとしての心理学
- 2. 感じる/考える(感覚と知覚・認知):人間の感覚受容器と脳、 図地反転、多義図形、現象の解釈とは?
- 3. 感じる/考える:対象の意味づけ、原因帰属
- 4. 感じる/考える:記憶の情報処理モデル、潜在認知
- 5. 感じる/考える:アフォーダンス、都市のイメージ、ユニバーサル・デザインなど
- 6. 動く/変わる(行動と行動獲得・変容): 強化随伴性、モデル による観察学習
- 7. 動く/変わる: 進化と人間行動、利他行動や協力、知識の構造化、認知的学習
- 8. 動く/変わる: 教わることと学ぶことの違い。自律・協同学習、学習環境デザイン
- 9. 動く/変わる:大学における学びとは、アクティブラーニング、卒業時に必要な力量(学士力、社会人基礎力)とは?
- 10. 動く/変わる:知識基盤社会と学び、キー・コンピテンシー、学習アウトカムズとは?
- 11. もえる/動かす (モティベーション):動機づけの基礎
- 12. もえる/動かす:達成動機と対人社会性動機、対人行動、
- 13. もえる/動かす: 欲求不満、葛藤、ストレス、学習性無力 感とは?
- 14. もえる/動かす: 内発的動機づけ、自己原因性、有能感
- 15. 前記のまとめと課題

テキスト、参考文献

杉山憲司・青柳肇 (編) 『ヒューマン・サイエンスー心理学アプローチー』 ナカニシヤ出版

評価方法

出席とリフレクションペーパー (20%)、レポート (2テーマ各25%)、試験 (30%) で評価する予定です。

 08 年度以降
 ことばと思想 1 (心理学)(人間の個性・多様性理解)
 担当者

 07 年度以前
 心理学 b(人間の個性・多様性理解)
 担当者

講義目的、講義概要

この授業は、現代の課題から、なるべく幅広いテーマを選び、 1) 心理学の研究成果、2) 研究方法、3) 日常生活との関わり について紹介します。

心理学者として学生をみていると、1)世界の今の問題認識、2)自分の個性・価値を相互に認め、効力感(コンピテンシー)を持つ、3)友人や異質な人と協働する、チーム学習を通じて相互理解・交流を深めて欲しいと考えています。

自己を知ることは、心理学の研究目標の1つですが、他者を知り社会を知ることも重要で、感情や行動の主張と制御、スキルの習得、学習態度の形成が課題です。

教科書は、7章構成で、執筆時点でのトピックスを扱っています。各章は、「○○研究の生活・仕事への展開」の節で結ばれていますが、その後の変化については、新しい教材・DVD・その他で補います。

この授業の到達目標は、

- 1. 自己の性格や対人関係について学び、日常使えるようになる。 2. 心理学の視点から、自己の専攻領域 (所属する学科の学問) をとらえ直し、心理学の視点から、再検討する。
- 3. 卒業後の将来、27歳の自分を想定し、広い意味での力量、ワーク・ライフ・バランスを考え、将来設計を試みる。

秋学期の「心理学b」では、教科書の後半に当たる、パーソナリティ、発達、社会心理学から見た、人間の多様性・個人差について学ぶ予定です。

「心理学 a 」を学んでいない学生を想定して、ガイダンスおよび第 1 章 序:心理学とは何かの授業から入ります。

授業計画

- 1. 秋期の導入: 春期のまとめと秋期の導入、秋期授業のガイダンス、心理学とは何か?
- 2. きわだつ/できる (パーソナリティ): そぼく性格観、性格のファセット分析 性格の構造とは?
- 3. きわだつ/できる:パーソナリティ理論は多様な人間性のモデル、性格の統合的体系的把握とは?
- 4. きわだつ/できる: Big Five 性格検査、標準性格検査とは?
- 5. きわだつ/できる:知能とは? 創造性、課題解決、社会的スキルとは?
- 6. 育つ/育てる (発達): big name の発達理論、生涯発達視点
- 7. 育つ/育てる:生育初期、アタッチメント、気質、インター ナル・ワーキング・モデルとは?
- 8. 育つ/育てる:青年期のアイデンティティ・勤勉性、発達支援、世代間伝達とは?
- 9. 育つ/育てる: 高齢化社会、ライフスタイル、生き甲斐とは? 10. かかわる/競う(社会): 自己概念、現実自己と理想的自己、
- 自己制御 11. かかわる/競う:社会心理学的自己、自己開示/自己提示 (印象操作) とは?
- 12. かかわる/競う:集団圧力、権威者への服従、印象形成
- 13. かかわる/競う:態度と態度変容。説得的コミュニケーション、悪徳商法とは?
- 14. かかわる/競う:集団と個人、変革期のリーダーシップ
- 15. まとめ:各人の違いを認め、健康で、幸福なサクセスライフを生きる。今後の課題

テキスト、参考文献

杉山憲司・青柳肇 (編)『ヒューマン・サイエンスー心理学アプローチー』ナカニシヤ出版

評価方法

出席とリフレクションペーパー (20%)、レポート (2テーマ各 25%)、試験 (30%) で評価する予定です。

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想1(こころの世界) ことばと思想(Ⅲ)(科学としての心理学。	とこころの世界)	担当者	田口 雅徳
その後、性格の形成のテーマについて、ていく。本講義を通して、とらえようとしても理学の基本的知識を	ず、現代心理学の成立過程を概観する。 対、ストレス、生きがいと心の健康など さまざまなデータを示しながら説明し 心理学がいかにして人の心を科学的にきたかを理解してもらいたい。また、心 を習得し、同時に、社会の諸問題や人間 見点で捉える力を身につけてほしい。	 はじめに: 心理学のあり 心理学のあり 心理学のあり 心理学のあり 	科のかのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の心理学・心理学の誕生 コタルト心理学 主義の心理学 分析理論 理解 性格理論 と双生児研究 性格 コーピング 生理心理学
テキスト、参考文献テキストは使用した		授業における小	レポートと試	験により総合的に評価する。

			担当者	
講義目的、講義概要	- -	授業計画		
テキスト、参考文献	,	評価方法		

08 年度以降	ことばと思想1(日本語文法形態論)	L(日本語文法形態論)		担当者	武田	明子
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画				
本語教育の中で役割を を選がまた。 おきでははについる。 ではいる。 おきにはについる。 を外がいる。 ははいる。 を外がいいる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	語教育に役立つことを念頭においていいても詳細に述べる予定である。もちろが日本語教育を志しているわけではなな法で苦労した記憶のある者は、日本語ぶという観点から文法を眺めなおすこの日本語のより深い理解と興味につなが	2. 上前 2. 上前 4. 形派語動形副助助語文動形 10. 11. 12. 動脈 14. 14.	ト態主ド司容司司動構語同態の論形と 詞、 詞成表の論形と 詞、 詞成表の論を見るの論 用取り	要 と屈折形態論 词		
テキスト、参考文献	状	評価方法	ŧ.			
毎回プリントを酉	己布する	平常授第	美の実績	3 0 %		

期末試験の結果 70%

日本語学としての文法論を取り上げる。形態論と同様に 1. この論が日本語教育の中で役立つような観点から、必須と 2.		担当者	武田	明子
形態論が語を検討課題としているのに対し、文法論では 文そのものが検討課題となる。まずは単文内での文法分析 を行い、次いで、複文での分析を行う。春と同様に学生の すべてが日本語教育を志しているわけではないが、母語話 者であっても、日本語学の一端として日本語文法を垣間見 ることは、日本語のより深い理解と興味につながっていく はずである。 「記 講義は毎回資料を配布するので、特に学生が用意してく るものはないが、毎回出席することを期待している。原則 として欠席は3回までとするので、これを超えた者は評価	受業計画 1. 統語論の外籍 2. 文語 A	動 詞 一	の整理	
毎回プリントを配布する 平	評価方法 平常授業の実績 期末試験の結果			

08年度以降 ことばと思想1(英語圏の社会と思想a) 担当者 田村 斉敏 07年度以前 ことばと思想(Ⅲ)(英語圏の社会と思想 a) 講義目的、講義概要 授業計画 この講義では、戦争と詩人の関係を、とりわけ第一次大 1. イントロダクション:戦争と詩人 戦を中心として、考察していきます。いまや前世紀となっ 2. トマス・ハーディ た20世紀は戦争の世紀ともいわれますが、戦争のみなら 3. 戦争詩人 ルパート・ブルック ず戦争の表象自体も大きくそれ以前とは変化をしました。 4. 戦争詩人 シーグフリート・サスーン その痕跡は、いわゆる戦争詩と言われる作品にも、また一 5. 戦争詩人 ロバート・グレーヴズ 見戦争とは無関係に見える作品にもしばしば確認できま 6. 戦争詩人 アイザック・ローゼンバーグ す。 7. ウィリアム・バトラー・イエイツ1 戦争は外部からも、また内部からも、詩などの芸術作品 8. ウィリアム・バトラー・イエイツ2 を生み出す根底となる理性や感性等の枠組み自体をゆる 9. グレーヴズと「ドイツ人」問題 がせます。また戦争は人に影響を与える原因のみならず 10. 第二次世界大戦へ 人々の思想や行動の結果でもあるため、思わぬ形で詩人が 11. 間奏 クリストファー・イシャウッド 戦争にコミットしているということもまたありえます。 12. 間奏 カズオ・イシグロ イギリスの第一次世界大戦期に登場した戦争詩人たち 13. アメリカ詩人 ウォレス・スティーヴンス や彼らとは全く異なる出自をもつモダニストあるいはそ 14. 現代へ ヒル、ヒーニー、ボランド の流れに位置づけられる詩人たちを中心に扱いますが、一 15. まとめ 部小説や映画などを取り入れて、広い角度からこの問題を ※内容は一部変更される可能性があります 見ていこうと考えています。 テキスト、参考文献 評価方法

08 年度以降 07 年度以前 ことばと思想 1 (英語圏の社会と思想 b) ことばと思想(Ⅲ)(英語圏の社会と思想 b)	担当者	片山 亜紀
--	-----	-------

講義目的、講義概要

テキストはプリントを配布して使用。

参考文献は授業時に連絡する。

講義目的

イギリスのフェミニズム思想と運動の歴史をたどります。フェミニズムとは簡単に言えば女性の権利主張のこと。イギリスの

フェミニズムには、メアリ・ウルストンクラフト、J.S.ミル、ヴァージニア・ウルフなど、世界史レベルで著名な思想家がいます。また、参政権運動、アメリカの軍事施設占拠など、直接行動の歴史もユニークです。

今日の世界を理解するのに、階級や民族などと並んでジェンダー(性別)の視点は欠かせません。イギリスのフェミニズムを勉強することで、今日の世界の成り立ちについて、イギリスという具体的な場をとおして知識を得てほしいと思います。

講義概要

毎回、その時代の人々の生の声をいくつか引用してプリントにして、日本語に訳してきてもらいます。担当者(片山)はそれらの「声」の意味や背景について説明しつつ疑問点を提示します。

フェミニズムには正解のない問いがいっぱい。受講者の 性別を問わず、みんなでディスカッションして理解を深め ましょう。

授業計画

3 0 %

- 1. はじめに
- 2. 中世から近代初期(1):キリスト教と女性
- 3. 中世から近代初期(2): 世俗の場でのフェミニズム

評価方法:レポート70%。授業中に課す課題等の評価が

- 4.18世紀:メアリ・ウルストンクラフト
- 5. 19 世紀 (1):J.S.ミル
- 6.19世紀(2):.ナイチンゲール
- 7.19世紀 (3):個人から集団へ
- 8.19世紀から20世紀へ(1):女性参政権運動
- 9.19世紀から20世紀へ(2):参政権運動の過激化
- 10. 戦間期のフェミニズム(1): バースコントロール運動
- 11. 戦間期のフェミニズム (2): ヴァージニア・ウルフ
- 12.20世紀後半(1): 第二波フェミニズム運動
- 13.20世紀後半(2):グリーナム占拠
- 14.20世紀から21世紀へ:ブラック・フェミニズム
- 15. まとめ

(各回タイトル・内容は一部変更することがあります。)

テキスト、参考文献

Margaret Walters, Feminism: A Very Short Introduction (OUP: Oxford, 2005). 参考文献は授業で提示

評価方法

課題プリント約3割、学期末試験約7割。ただし授業回数の2/3を越えて欠席した場合、評価対象としない。

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想1(通訳・翻訳論) ことばと思想(Ⅲ)(通訳・翻訳論)			担当者	永田	小絵
講義目的、講義概要	E	授業計画				
学期前半では通訳と 国語学習に役立つ道 学期後半では翻訳・通じて、翻訳・通言 びます。 授業ではビデオやこ いようにしてくだる 大学ホームページに	ての知識を深めることを目的とします。 という職業について理解を深め、また外 通訳訓練法を紹介します。 と通訳の発展の歴史、翻訳の規範などを Rの社会における役割と貢献について学 DVDを多く利用しますので、欠席しな さい。 こアクセスし、教員紹介から授業資料ダ に飛んで参考資料をダウンロードして	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	通会司放ガ通学日日日翻翻通訳議法送イ訳期本本本訳訳訳	の通通通ド訓前こここととと実訳訳、練半おおお通通翻例の(と芸法のけけけお訳訳研察外コ能 まるるるののののいのでいいのののは、一個のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	ポーツの通訳 の原理 通訳の歴史(1 通訳の歴史(2 通訳の歴史(3 (1) (2)	大典) 2) 3)
テキスト、参考文献	状	評価方法				
鳥飼玖美子編著『。 ミネルヴァ書房	よくわかる翻訳通訳学』	期末試験に	より言	評価します。		

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
	評価方法		

08年度以降 ことばと思想1(社会思想史1)(東洋古代から近世まで) 担当者 松丸 壽雄 07年度以前 社会思想史 a (東洋古代から近世まで) 講義目的、講義概要 授業計画 二十一世紀の現代に生きている我々は、さまざまな文化 1. (インド)アーリア人とヴェーダの宗教 に触れながら、我々の日々の振る舞いの仕方を決定して 2. (インド)ウパニシャッド哲学の思想 いる。だが、それぞれの文化圏、それぞれの国、それぞ 3. (インド)ウパニシャッド哲学と原始仏教の思想 れの地域に特有の、身についた考え方に、知らぬ間に 4. (インド) 原始仏教 影響を受けながら、自らの行動決定をしている場合が多 5. (インド) 原始仏教 い。このように、自らの行動決定の基盤となる、固有の文 6. (インド)仏教とヒンドゥー教の思想 化圏、固有の地域の伝統的考え方と現在の考え方を反 7. (中国)孔子と論語 省的に捉えて顕在化し、行動決定に際して、自分が育ま 8. (中国)孔子と論語の思想と墨子の兼愛 れてきた文化圏の思想を捉え、実地に使える行動決定 9. (中国)老荘思想 の原理として、古代から現代に至る東洋思想を自覚化す る。その範囲は主として日本、中国、インドにおける諸思 10. (中国)儒教と老荘思想 想と諸宗教を扱うことになる。なお、東洋に中近東までを 11. (中国)儒教の意味 含めるのか否かはきわめて問題となるところではある。し 12. (日本)無常思想 かし東洋思想史aでは、古代インド、中国思想を中心に、 13. (日本)無常思想 日本における神道ならびに仏教思想をも含めながら、お 14. 中世の東洋思想のまとめ およその区分として十三世紀までを視野に入れることに 15. 中世の東洋思想のまとめと質問 なる。

7 Transit District	
適宜指示	授業貢献度(20%)とレポート(80%)による評価

 08 年度以降
 ことばと思想1(社会思想史2)(東洋近世から現代まで)
 担当者
 松丸 壽雄

 07 年度以前
 社会思想史b(東洋近世から現代まで)
 担当者

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

二十一世紀の現代に生きている我々は、さまざまな文化 に触れながら、我々の日々の振る舞いの仕方を決定して いる。だが、それぞれの文化圏、それぞれの国、それぞ れの地域に特有の、身についた考え方に、知らぬ間に 影響を受けながら、自らの行動決定をしている場合が多 い。このように、自らの行動決定の基盤となる、固有の文 化圏、固有の地域の伝統的考え方と現在の考え方を反 省的に捉えて顕在化し、行動決定に際して、自分が育ま れてきた文化圏の思想を捉え、実地に使える行動決定 の原理として、古代から現代に至る東洋思想を自覚化す る。その範囲は主として日本、中国、インドにおける諸思 想と諸宗教を扱うことになる。なお、東洋に中近東までを 含めるのか否かはきわめて問題となるところではある。し かし東洋思想史bでは、インド、中国、さらには両者に影 響を与えた、回教の伝来に伴う思想的変化をも考慮に 入れた近現代の思想、そして日本の近現代思想を扱う。

授業計画

| 評価方法

- 1. (インド) 仏教哲学
- 2. (インド) 仏教哲学
- 3. (インド) 仏教哲学
- 4. (インド)ガンジー非暴力思想と現代
- 5. (中国)宋学 I
- 6. (中国)宋学 II
- 7. (中国)宋学 III
- 8. (中国)宋学 IV
- 9. (中国)宋学 V
- 10. (日本)本居宣長の思想
- 11. (日本)本居宣長の思想
- 12. (日本)京都学派の哲学
- 13. (日本)京都学派の哲学Ⅱ
- 14. (日本)京都学派の哲学 III
- 15. 東洋思想史の現代的意義と質問

テキスト、参考文献評価方法適宜指示授業貢献度 (20%) とレポート (80%) による評価

担当者

秋野 有紀

講義目的、講義概要

この講義では、<想像力×歴史・社会×制度>をテーマ とします。映画を通して、ドイツ社会の歴史的事象がどの ように描き出されているのかを分析するのが目的です。た とえば歴史を扱った映画作品は、<歴史>そのものではな いし、芸術家の<想像力>のみの賜物でもありません。制 作された時代の<制度>=思想、経済、政策の枠組みの中 で作り出されるものです。それゆえに、作品の背景を知る ことは、その作品を生み出したドイツの社会を読み解くひ とつの手がかりとなります。講義でとりあげる作品には、 比較的よく知られたドイツの歴史的事象や社会事情が描 かれています。映画作品をメインに考察しつつも、文献資 料などで情報を補っていくので、作品に描かれている美学 化された「歴史」や「現代社会」を"疑って"みてくださ い。そして作者が歴史や社会をそう描いた「意図」を理解 し、受けとってあげて下さい。作品には必ず、制作者の意 図・社会の影響・制度や技術・資金の限界からくる制約が あります。作品を楽しみつつも、映像メディアを通してド イツ社会を「読む」ための方法を考えていきましょう。

授業計画

<映画を通してドイツ社会を「読む」>

- 1. 講義の概要と評価、参考文献について
- 2. ドイツに関する様々な「イメージ」―イメージの政治
- 3. 対外文化政策とパブリック・ディプロマシー (AKP①)
- 4. ゲーテ・インスティトゥートの機能と役割 (AKP②)
- 5. 好ましいナチス?―「表現の自由」と歴史認識
- **6**. 「ブラックブック」①
- 「ブラックブック」②
- 8. ヒトラーを"娯楽"にしても良いですか?
- 9. 学生運動からテロへ一現代ドイツの若者の主張?
- 10. 「バーダー・マインホフ 理想の果てに」
- 11. 戦後西ドイツの文化政策の転換
- 12. 監視国家―東西ドイツの心の壁
- 13. 「善き人のためのソナタ」①
- 14. 「善き人のためのソナタ」②
- 15. ドイツのメディア文化政策と対外文化政策の課題

テキスト、参考文献

プリントを配布します。

参考文献:山口裕之『映画に学ぶドイツ語』東洋書店、2012年、伊 藤裕夫・藤井慎太郎(編)『芸術と環境―劇場制度・国際交流・文 化政策』論創社、2012年。

評価方法

学期末のレポート (80%) により評価しますが、平常授業におけ るレスポンスペーパーなどの実績(20%)も評価対象となります。

08年度以降

歴史と文化1(ドイツ語圏のメディア文化b)

担当者

秋野 有紀

講義目的、講義概要

今学期は<想像力×近代国家×制度>をテーマに、ドイ ツ語圏を中心として、ヨーロッパの成立事情を「読む」こ とを試みます。ドイツ語学科の授業をとってみようかな、 と思ってシラバスをめくっている皆さんは、きっと「ドイ ツ」や「ヨーロッパ」について知りたいな、と思っている ことでしょう。でも、その「ドイツ」や「ヨーロッパ」が、 実は自明の存在ではなかったとしたら……?

この講義では、現代の欧州やドイツの政治事情と映画の 世界とを「行ったり来たり」します。映画では、政治的権 力を持ち、人々の「視線」を集める使命を与えられた人物 たちに焦点を当てます。そもそも「視線」を集める、とい うことには、どのような政治的効果があるのでしょう?

文化や芸術は、極めて政治的な領域です。近代国家ドイ ツの成立史をおさえた上で、現代の欧州の政治を見てみる ならば、日本では「お手本」のように言及されることの多 い欧州の国々が経験してきた/している動揺、そしてそこ に住む普通の人々の政治への地道な関与こそが、「歴史」 を作っており、現在もその試行錯誤の途上にあることが分 かってきます。正解のない政治の世界は、真面目な話のみ で構成されているわけではありません。偶然・欲望・笑い・ 失言が溢れる、ツッコミどころの多い世界だったりしま す。その面白さを味わいながらも、その先に、周りの世界 を自分で「批判」する為の立脚点を築いていって下さい。

授業計画

<映画を通してヨーロッパ成立事情を「読む」>

- 1. 講義の概要と評価、参考文献について
- 2. 現代欧州の政治とドイツの課題 I
- 3. 現代欧州の政治とドイツの課題Ⅱ
- 4. 領邦国家から近代国家へ
- 5. 「プリンセス・シシー」①
- 6. 「プリンセス・シシー」②
- 「ルートヴィヒ」① 7. 「ルートヴィヒ」②
- 8.
- 9. 視線の操作とポリティクス―文化施設の制度化
- 10. 「文化国家」とナチスの繋がり
- 11. 記憶の政治①
- 12. 記憶の政治②
- 13. 「演出」される「ヨーロッパ」
- 14. 欧州文化首都―制度の概要とその意図・戦略
- 15. 講義のまとめ

※ 一年を通して、映画を素材としつつ、作品の背景となる歴史や 政治制度をすべて解説しながら進めていきますので、ドイツ語や ドイツについてはまったく知らないけれど、ちょっと興味がある、 というような学生の受講を歓迎します。

テキスト、参考文献

プリントを配布します。

参考文献:山口裕之『映画に学ぶドイツ語』東洋書店、2012年, 伊 藤裕夫・藤井慎太郎(編)『芸術と環境―劇場制度・国際交流・文 化政策』論創社、2012年。

評価方法

学期末のレポート (80%) により評価しますが、平常授業におけ るレスポンスペーパーなどの実績(20%)も評価対象となります。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降	歴史と文化1(日本研究概論Ⅱ)	本研究概論Ⅱ)		浅山 佳郎		
講義目的、講義概要	E C	授業計画				
〔講義目的〕		1. 導論				
日本語という言語	とその文化を,現代という限定された時間	2. 古代中国語の	世界			
における単体の言語	として把握するのではなく,東部アジアに	3. 訓読文の位置				
おける他言語との関	係の中の歴史的な存在としてみることによ	4. 近代語と訓読	文の普遍性			
って、日本という言語	子文化への視点を獲得することを目的とす	5. 共通する漢語	語彙			
る。		6. 漢字のひろがり	9			
	7. 日本語と漢字					
〔講義概要〕	〔講義概要〕 8. 言語接触					
授業は, 教員の用	意する資料を使用してすすめられる。毎	9. 言語分布				
回の授業は,資料に	もとづいた課題が提示されるので, 履修者	10. 言語類型地理論				
はそれに対して,解行	答を作成すること,またはグループで討議	11. 高句麗語と日本語				
することが要求される	ら。そのなかで日本語の言語文化または東	12. モンスーンアジア仮説				
部アジアの言語文化	をとらえる各自なりの視点を形成していき	13. アイヌ語と琉球語				
たい。		14. 日本語の諸方言				
		15. まとめ				
テキスト、参考文献 評価方法						
特定のテキストは使用	用しない。参考文献は開講後指示する。	試験(50%)とレポ	ート(50%)を調	引し, その結果で評価する。		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (歴史学 1)(中世の仏教と社歴史学 a(中世の仏教と社会)			担当者	新井	孝重		
講義目的、講義概要	E C	授業	授業計画					
時代であったとい の源平争乱で焼い	手建した男 た			るか か 運ぶか 群勢へ 黒て余 黒ん 大 黒ん 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	らだのしょう) う)と飢餓・疫	癘(えきれい)		
テキスト、参考文献			評価方法					
(教科書を必ず携え	だたちの中世史』(NHK ブックス) とて授業にのぞむこと) 南木正成』(吉川弘文館)	試験	求績(100%)	による。				

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (歴史学 2)(中世の「悪党」 歴史学 b(中世の「悪党」と民衆)	と民衆)	担当者	新井	孝重
では伊賀国の 生活を地域を歴 (1) 戦乱の中 (2) 自戦国のコ (3) 戦国のコ	時代であるとも言われている。本講座 黒田荘に展開した中世後期の村の自治 する戦国大名の動きとの関係で観察す とは何か、という問題を通じて民主主 史的に考えたい。 の伊賀 村 ンミューン	④⑤⑥⑦⑧⑩⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪⑪๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗๗	一侍戦出 向起ヨミと、国石共 一の行動 一の行動 一の記 一の記 一の記 一の記 一の一 一の一 一でで での 一の一 での 一の一 での 一ので での 一ので での 一ので での 一ので での での 一ので での での での での での での での での での	女	
(教科書を必ず携え	K どたちの中世史』(NHK ブックス) とて授業にのぞむこと) 南木正成』(吉川弘文館)	評価方法 試験成績(100%)	による。		

08 年度以降	歴史と文化1(日本文学論・中世 I)			担当者	宇津木	言行
講義目的、講義概要	E	授業	計画			
この講義では、まして区分することが各期を代表する歌が大妻中が集にあるが、女房とから和歌文学を眺めから和歌文学を眺めから新古今集までの近代短歌とは異な	本房文学から隠者文学への交代を指標といできる、古代より中世への和歌史を、人の和歌作品を取り上げて検討します。 いは、天皇の命によって編纂された勅撰と隠者の和歌についてみることは、周縁の渡すことになります。 式部・西行の和歌作品を通して、古今集の和歌史を展望することにします。 なる古典和歌の表現の性格と、その読み的な理解も得られるようにしたいと考	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12,	講義 小小小和和和和女西西の小小小式式式部部 でいていていている。 では、一次ののでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	(1) (2) 一移ろひ (3) 一夢 (1) (2) 一帥宮挽 (3) 一帥宮挽 (4) 一帥宮挽	歌 1 歌 2 歌 3	
テキストは用いず、毎回プリントを配布する。 評価 って			講義のまと 講義のまと 方法: 期末記 評価するが、	:め	レポートの結果加度、課題提出	

08年度以降	歴史と文化1(日本文学論・中世Ⅱ)		担当者	飯島 一彦
講義目的、講義概要	E .	授業計画	1	
とで現代日本文化の 鎌倉時代以降、日 的に様々な「お話」 総称して「お伽草子 現在「昔話」とし 伽草子」に淵源して れは、現代日本人の にあるということで 今期は渋川清右衛 る「和泉式部」と、い	日本人の庶民の想像力が解放されて爆発が記録されるようになった。それらを子」と呼ぶ。 て語られる「お話」のほとんどは、「おこいると言って過言ではない。つまりそり発想の根源の大きな一つが「お伽草子」である。 町版『御伽草子』の中の異色作品であいかにも中世らしい雰囲気を匂わす『諏三郎の冒険譚)を読み解いていくこと	2. 概説(日3. 概説(日3. 概説(日4. 「和泉式音5. 「和泉式音6. 「和泉式音7. 「和泉式音8. 「諏訪明本9. 「諏訪明本10. 「諏訪明本11. 「諏訪明本11. 「諏訪明本11. 「諏訪明本11. 「諏訪明本13. 「諏訪明本13. 「諏訪明本13. 「諏訪明本	テーション・ 本の「子」で 下子」で 下子」で 下子」で 下子」で できた。 できたで。 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたで、 できたでをできたでをできたでをできたでをできたでをできたででをできたでをできた	の歴史) は何か?) P① P② P③ P④ P⑤
テキスト、参考文献	#	評価方法		
プリントを配布する	5.	学期末試験の	成績による。	
	_			

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (英語圏の小説 a) 歴史と文化(Ⅲ)(英語圏の小説 a)		担当者	上野 直子		
講義目的、講義概要	· 要	授業計画				
講義目的:次の三点	点を焦点に、world literature を視野に	1. 新奇なるもの	、小説?(1))		
おきながら英語圏の	り小説について考えます。	2. 新奇なるもの	、小説? (2))		
1. 小説というメデ	ィアが、異なる時代、異なる文化のなか	3. 英語圏の拡大	(1)			
でどのように産出る	され、受容されてきたか。	4. English Best	sellers of a	all time (1)		
2. 英語圏拡大の歴	史とポストコロニアルの文学地図。(言	5. English Best	sellers of a	all time (2)		
語についても考察し	します)	6. 英語圏の拡大	(2)			
3. 歴史と世界のひ	ろがりのなかで、テキスト同士が、ある	7. 国民文学と政	治的無意識			
いはテキストと現実	実とがいかに響きあっているか。	8. 小説の新たな挑戦 (1)				
		9. 小説の新たな挑戦 (2)				
講義概要:小説と	いう表現媒体が確立しはじめた17世紀	10. 語り返す言葉たちの登場、ポストコロニアルの文学地				
末、18世紀はじめた	いら現代まで、ほぼ時間軸にそって講義	図(1)				
を進めますが、必要	要に応じて時代を行きつ戻りつすること	11. ポストコロニ	ニアルの文学	地図 (2)		
があります。講義で	で使用するテキストは、事前に配布しま	12. ポストコロニ	ニアルの文学	地図 (3)		
すので、必ずあらな	かじめ読んでおいてください。	13. ポストコロニ	ニアルの文学	地図 (4)		
		14. テキストの思	思わぬ旅路	(1)		
注意事項:TOEIC6	00 点程度かそれ以上の英語力を前提と	15. テキストの思わぬ旅路 (2)				
しています。						
テキスト、参考文献		評価方法	1			
	用します。参考文献については、授業内	授業内活動参加 安期試験	度 40%			
で紹介します。		定期試験 60%				

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (歴史学 1)(ヨーロッパ史 1 歴史学 a(ヨーロッパ史 1)				上村	敏郎
講義目的、講義概要	5	授業計画				
本講義は「歴史学	とはどのような学問なのか」について、	第1回	授業ガ	イダンス「な+	ぜ歴史を学ぶのか	?]
ヨーロッパ史を例に	こして概観し、歴史学の方法と対象、叙	第2回	歴史学	の歴史(I)歴	史学の誕生	
述スタイルについて	て理解を深めるとともに、現代において	第3回	歴史学	の歴史(II)乳	ミ証史学への挑戦	
なぜ歴史を学ぶ必要	見があるのかについて考えていく。	第4回	歴史学	の歴史(III)	新しい歴史学:対	て化史の台頭
最初に、古代ギリ	リシアの歴史家ヘロドトスから実証史学	第5回	歴史学	の方法と対象	(I) 総論	
の立役者ランケを総	怪て、社会史を唱えたアナール学派、20	第6回	歴史学	の方法と対象	(II) マイクロヒ	ストリー
世紀後半以来歷史	学の中心を占めるようになった文化史	第7回	歴史学	の方法と対象	(III) グローバル	レヒストリー
に至るまでの歴史学	学の歴史を簡単に紹介する。そして、い	第8回	8回 歴史学の方法と対象 (IV) 歴史人類学			
くつかの代表的な歴	歴史研究の事例を挙げながら、歴史学の	第9回	回 歴史学の方法と対象 (V) 記憶の歴史			
方法と対象について	ご理解を深める。	第10回	歴史学の方法と対象 (VI) 書物の歴史			1
受講生には、講義を	を通じて歴史学における思考方法を学ん	第11回	回 歴史学の方法と対象 (VII) ジェンダー史			一史
でほしい。		第12回	歴史学	の方法と対象	(VIII) 語りえぬ	ものの歴史
		第13回	歴史学	の方法と対象	(IX) ナショナリ	ズム
		第14回	まとめ			
		第15回	まとめ			
テキスト、参考文献	,	評価方法				
講義の中で適宜指示	示する				る予定であるか	び、平常授業に
		おける課題	夏など(の実績も評価	対象とする。	

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (歴史学 2)(ヨーロッパ史 2 歴史学 b(ヨーロッパ史 2)	2)		担当者	上村	敏郎
で、現在にるというで、現在ないので、をで、をで、アンスでで、のでで、で、でで、でで、できるのでは、アンスでは、アージ	マブルク君主国の歴史を通史的に把握するまでのヨーロッパの歴史と文化につとともに、歴史の眺め方を学ぶことを目主国は中世から第一次世界大戦の終わた存在した国家である。ここでは便宜上三国」と呼んでいるが、実は 19 世紀にそれな国家であった。その支配領域 スペースを国家に加え、現在のチェコア等成も民族構成も多様であった。このようまない国家がいかにして成立し、どのようまながらも800年近く存在しえたハプスしていく。	第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第10回 第11回 第11回 第13回 第14回	ハハハハハハハハハハハハハハ	ブルク君主歴ででは、ブルクのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	(I) 婚姻政策に。 (II) オーストリ (III) 三十年戦争 (IV) ヴェストラ (V) 第二次ウィー (VI) 国事詔書と一 (VII) ヨーゼフ (VIII) ウィーン (IX) 1848 年革命 (X) アウスグラー (XI) 第一次世界	よる拡大 ア家 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
大津留厚・水野博子・ 入門』昭和堂、2013 2	A 河野淳・岩崎周一編『ハプスブルク史研究 年; ロビン・オーキー『ハプスブルク君主国 坂、2010年 そのほか講義の中で適宜指示す	期末レポー		よって評価す 西対象とする	るが、平常授業 。	における課題

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(日本文化論) 歴史と文化(Ⅲ)(日本文化論)			担当者	宇津木	言行
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業	計画			
分野からトピックとす。 具体的には、歴5 ンガについて取り」 ておきたい知識・考	本研究の入門を目的とし、日本文化の各 となるような研究業績・課題を紹介しま と、民俗・宗教・美術・芸能・映画・マ とげ、日本文化に関心を持つ学生が備え 改養を幅広くかつ興味深く概観します。 日本文化の豊かさを様々な切り口から窺 ます。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14,	網柳柳折仏仏絵能黒民マ戦番国国信一と物・関語のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	歴史学(1) 歴史学(2) 歴史学(1) 民俗学(2) 民俗学 選 管 選 管 管 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学		
テキスト、参考文献	#	評価	方法			
テキストは用いず、	毎回プリントを配布。	評価方法:期末試験もしくはレポートの結果(80%)によって評価するが、授業への参加度、課題提出などの平常点(20%)も評価対象とする。				

08 年度以降 07 年度以前		歴史と文化1(日本事情とコミュニケーション教育) 歴史と文化(Ⅲ)(日本事情とコミュニケーション教育)		宇津木 言行
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
日本語教師にとって理解し、修得したい授業します。 常に異文化コミが、日本語教育の現かを考え、異文化理	ト国人の日本語学習者に日本語を教える て必要なコミュニケーションスキルを 小学生の要望に応じることを目的として ユニケーションの中にある日本語教師 乱場でどのように対応してゆけばよいの 理解と様々なコミュニケーションスキル がにつけるためのエクササイズを行いま	5、コミュニク 6、自分をふり 7、自分をふり 8、言語コミュ 9、言語コミュ 10、非言語コミ	Rとは(1) Rとは(2) ーションスクールを表示していません。	ンの違い (2) ヨンの違い (1) ヨンの違い (2) ヨンスキル (1)
テキスト、参考文献	#	評価方法		

象とする。

評価方法:期末試験の結果(80%)によって評価するが、

授業への参加度、課題提出などの平常点 (20%) も評価対

テキストは八代京子・世良時子『日本語教師のための異文

化理解とコミュニケーションスキル』(三修社)。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(英語圏の文学) 歴史と文化(Ⅲ)(英語圏の文学文化)			担当者	大熊 昭信
講義目的、講義概要	₹	授業計画			
事態からる。やはいのイギルはしいアメースを超えている。とればいる。それはないではないである。それはないである。それはないである。というでは、これは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	会と言われ、英語が世界語となっているるように英語で作品を発表する作家が ここうした事態はすでに植民地主義以後 リカの植民地で始まっていたことであ イギリス文学、アメリカ文学といった範 とうした英米人ならぬ作家たちの作品を というのである。この授業ではそうした 創作活動を網羅的に紹介することを目 作家や英米の作家の植民地に取材した トダのアトウッドの『サバイバル』の紹 ノール・ベローや日系のジョイ・コガワ、 メール・リード、キャリル・フィリップ メリカ人作家の植民地体験としてロレン どを紹介する。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第 11 13 週週週週週週週週週週週週	サモアコヤガカ アイアアン サース アーガー アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・ア	トラリア、ニ メリア、ニ メリケッカ メリケッカ 大 大 ナ 田 お カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ 大 作 家 カ カ 大 は い お い お い た い た り た り た り た り た り た り た り た り た	直民地体験 直民地体験 え
テキスト、参考文献		評価方法			
テキストは使用した 献は授業中に適宜約	ない。授業概要を毎回配信する。参考文 紹介する。		,		6)によって評価するが、平常 どの実績(20%)も評価対象と

08 年度以降	歴史と文化 1 (英語圏の文学 Ⅱ)			担当者	大熊	昭信
講義目的、講義概要	2	授業計画				
講義目的		第1週	講義	の概要		
現代は異文化が混	在する多文化社会と言われている。だ	第2週	多文	化社会の形成		
が、いったい多文化	と社会とはどのような社会なのか。どの	第3週	多文	化社会のあり	かた (1)	
ように形成されたの	つか。その中で文化はどのような形をと	第4週	多文	化社会のあり	かた (2)	
るのか。異文化間の)交流にはどのような形態があるのか。	第5週	多文	化社会のなか	の文学の在り方	î
そうした疑問に答え	えつつ、そこにみられるさまざまな文化	第6週	植民	地の作家の場	合(1)	
交流や変容の在りた	5を、文化変容、異種混合といったター	第7週	植民地の作家の場合(2)			
ムを導入しながら、	英語圏文学に具体例をとって検討した	第8週	宗主	国の作家(1)	
V'o		第9週	宗主国の作家 (2)			
講義概要		第10週	エク	ソフォニー		
多文化社会から誕生	Eし、現在生産され消費されている今日	第11週	クレ	オール:ハワ	イピジン	
の英語圏文学の作家	マや作品をとりあげ、それらの国家間民	第12週	翻訳			
族間の移動に焦点を	あてて批評的に検討する。	第13週	在日	と移民		
		第14週	世界	文学のほうへ		
		第15週	まと	め		
テキスト、参考文献	决	評価方法				
テキストは使用した 参考文献は授業中に	ない。次回の授業概要を毎回配信する。 こ適宜紹介する。				%)によって評価 こどの実績(20%)	

08年度以降 歴史と文化1(教育の歴史1) 川村 肇 担当者 07年度以前 歴史と文化(Ⅲ)(教育の歴史 a) 講義目的、講義概要 授業計画 教育を歴史的に振り返ることで、今日の教育や社会を相 1 ガイダンス 対化する視点を得ることを第一の目的とします。また、前 2 日本の前近代(江戸という時代とその民衆) 近代の教育の歴史の概略を理解することを第二の目的と 3 子育ての習俗 4 江戸時代の二つの知 します。 本講義では日本の前近代の教育史を担当しますが(2で 5~7 江戸時代の教育諸機関とその研究 は近代以降になります)、具体的には江戸時代とそれを前 8 キリスト教伝来と日本人の対応 後する時期の、教育の実際の姿(手習塾や藩校、子育て習 9~10 朱子学と日本の儒学 俗等)および教育思想(貝原益軒等)を扱います。 11 江戸時代の思想の流れ 江戸時代には、現代とは全く異なった枠組みで教育的営 12 貝原益軒の儒学と教育思想 為が行なわれていました。そのため、初学者にも分かりや 13 民衆の儒学と民衆の教育 すいよう、画像を含めた資料を用いながら丁寧に講義した 14 「学制」による知の統合 いと考えています。 15 まとめ テキスト、参考文献 評価方法 授業レポートシステムを利用して、毎回学んだことを記述しても 木村政伸『資料にみる近世教育の発展と展開』(東京法令 らう。その参加度と中間レポート提出とを6割以上クリアすれば、 最高でB評価とする。さらに最終レポートを提出すれば、最高AA 出版) 評価とする。

08 年度以降 歴史と文化 1 (教育の歴史 2) 07 年度以前 歴史と文化(Ⅲ)(教育の歴史 b)	担当者	川村 肇
--	-----	------

講義目的、講義概要

教育を歴史的に振り返ることで、今日の教育や社会を相対 化する視点を得ることを第一の目的とします。また、近代 以降の教育の歴史の概略を理解することを第二の目的と します。

本講義では日本の近代の教育史を担当しますが(1は前近代)、具体的には幕末以降、1990年代までの、教育の制度や実際の姿および教育思想を扱います。

できるだけ初学者にも分かりやすいよう、画像を含めた資料を用いながら丁寧に講義しようと考えています。

授業計画

- 1 開講の辞/講義の進め方の説明
- 2 近現代 (第二次大戦以前) の教育史概略
- 3 学制と明治期の教育
- 4 教育勅語とその扱い
- 5 大正自由主義教育
- 6 生活綴方教育
- 7 戦争と教育(ビデオ観賞)
- 8 近現代(第二次大戦以後)の教育史概略
- 9 憲法と教育基本法体制
- 10 コア・カリキュラム運動
- 11 「逆コース」と教育
- 12 能力主義教育の導入
- 13 教育の規制緩和と競争
- 14 教育政策の揺れ
- 15 まとめ

テキスト、参考文献

講義支援システムを利用して配布するプリント類による /参考文献は、適宜紹介する。

評価方法

授業レポートシステムを利用して、毎回学んだことを記述しても らう。その参加度と中間レポート提出とを6割以上クリアすれば、 最高でB評価とする。さらに最終レポートを提出すれば、最高 AA 評価とする。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		
) イヘト、参与人制	計		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(日韓交流史) 歴史と文化(Ⅲ)(日韓交流史)		担当者	^{きむ}	^{ひいすく} 熙淑(김	희숙)
流が行われてきてまなく、社会・文化的座では、古代から流の歴史を概観するよう、具体的な「とである。また、その	の間では、古くからさまざまな面での交 の	授業計画 1. ガイヌ 2. 韓 1. ガイヌ 2. 韓 1. ガイヌ 2. 韓 1. 本韓 1. 本韓 1. 本韓 1. 本東 1. 本	英百社 文 文 文 文 次 大 大 に に に に に に に に に に に に に	事』		
テキスト、参考文献 レジュメを配布する 参考文献:授業時	5.	評価方法 評価方法:授業・日韓の交流と ・日韓の交流と たか。	歴史を理解し	たか。		·

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(大衆文化論) 歴史と文化(Ⅲ)(大衆文化論)		担当者	木本 玲一
講義目的、講義概要	ξ	授業計画		
いて理解を深めるこ 関連した産業の成長 化させてきた。講 を題材とし、サブガ にIT技術の進展に 向け、そうした環境	時に20世紀以降のサブカルチャーにつことを目指す。複製技術の発展、それにとな、文化、社会のありかたを大きく変していまず20世紀のポピュラー音楽のルチャーの社会的な意味を探る。さら伴う現在の複合メディア環境にも目を気が導く文化、社会の動態について考察体的な事例を中心に話を進めるが、講義	3 20世紀のサン 4 20世紀のサン 5 サブカルチャック(流入期 6 サブカルチャック(その後 7 サブカルチャップホップ・	ブカルチャー ブカルチャー ブカルチャー ブカルチャー ブカルグ ロー/ (~) グリクロー/ (流と後 タクカー/ (~) 文イ ごとオタとサブ	匕2 カルチャー1
テキスト、参考文献	†	評価方法		

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (歴史学 1)(イスラーム世界 歴史学 a(イスラーム世界の成立と拡大)	と文化 1 (歴史学 1)(イスラーム世界の成立と拡大) 学 a(イスラーム世界の成立と拡大)		担当者	熊谷	哲也
史を知ることによりき、何を理想として(講義概要)7世紀における預たる歴史を概観し、	こついて講述する。イスラーム世界の歴)、人々が何を規範とし、何に価値を置 ご求めてきたかを考えてみたい。 言者ムハンマドの出現から16世紀にい 広大なイスラーム世界が形成されるま 女、社会、文化についての基本的な知識	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	預最かのででである。 では、 こう の の の の の の で の の で の の で の の で の の で の の で の の で の の で の の で の の で の で の の で の で の の で の で の の で で の で で の で の で の で の で の で の で で の で の で で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で で の で で の で の で	生生で力歴国の行為によるというができます。 かいない かいかい かいかい かいいい かいいい かいいいい かいいいい かいいいいい かいいいいいい	アジア世界にででででです。 アジア・)のでは、カリファン・ファット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と時代背景。 代について。 典理論におけ っ「イスラーム スと解釈。 科学と、中世 現した軍事政 -制が西欧の封
テキスト、参考文 献 とくにさだめない。		学期献四	度も評価対象	(30%) とな	70%)が中心だる。 配布するので注	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

08 年度以降 07 年度以前		歴史と文化1(歴史学2)(イスラーム世界の近代化とその後) 歴史学b(イスラーム世界の近代化とその後)		熊谷	哲也
ワードであるが、そ 解することはとても とを目標とする。 (講義概要) 後期はイスラーム 別に考察する。今日	日の国際情勢を読むための主要なキーたの鍵を解くためにも、彼らの歴史を理っ大切である。皆さんの視野が広がることは界の近代化の歴史を地域別・テーマはイスラームがかかわるさまざまな国際理解が深められるようにしたい。	まな関係 (でないないでは、 (でないないでは、 (ではいかないがないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないでは、 (ではいかないではないではいがないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	の定るいようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	トる。 ス	:界とのさまざ 部にあらわれ スーフィズム 考える。 ルコナ 信仰におよぼ であるワクフ える。
テキスト、参考文献 とくにさだめない。		評価方法 学期末レポートは 献度も評価対象 なおレポートの記	(30%) とな	る。	

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (東西の文化を結ぶもの) 比較文化論 a(東西の文化を結ぶもの)			担当者	熊谷	哲也
講義目的、講義概要	5	授業	計画			
(講義の目的) 西アジア地域	くにイスラーム勃興以降の時代につい	1	A ; ユダヤ その 1	・教世界とキ!	リスト教のひろ	がり。
	き察しながら,「西洋」と「東洋」のつ	2	同その	2		
ながりに目を向けた	- ·	3	同 その	_		
7 . 71.11 2 -	いう概念は、西洋側の主観が生み出し	4			ぶり。イスラー	ム世界におけ
↓た産物だが,ひとま ↓である。	ミずそこに気付いていただくことが目的		るさまざま その 1	な文化の融合	合のあり方。	
		5	同その	2		
(講義概要)		6	同 その	3		
授業計画に示した	こように4つのテーマを設定し、それぞ	7 C;キリスト教の歴史とその展開				
	ら。そのなかで必要に応じて、テーマの	その1				
11771 = 0 = 1 = 1 = 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		8 同 その2				
*	かとつを選んで知識を深め、レポートに	9	同 その	_		a let
■ して提出していただ ■ えることがある。	ごく。なお、必要に応じて順序を入れ替	10		゙エルの歴史』 スラーム教。	からみた, ユダ その1	ヤ教・キリス
		11	同その			
		12	同 その	3		
		13	宗教の考え	方 神秘語	主義	
		14	仏教とヒン	⁄ズー教		
		15	まとめ			
テキスト、参考文献	†	評価	方法			
	『物語イスラエルの歴史――		•	トによる評価		
アブラハムから中東	頁戦争まで──』(中公新書)	なお	レポートの	長紙を授業で	配布するので注	注意すること。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(東西文化と近代化) 比較文化論 b(東西文化と近代化)			担当者	熊谷	哲也
講義目的、講義概要	ξ.	授業	計画			
ける近代化であったを検討していくこと (講義概要) 授業計画に示したれ3回ずつ講義するの背景となる歴史, なさんには,どれか	大学期ではとくに「西洋化」が東洋にお 点、それが生み出すさまざまな問題点 が目的である。 こように4つのテーマを設定し、それぞ ら。そのなかでは必要に応じて、テーマ 宗教、文化への説明を加えてゆく。み ひとつを選んで知識を深め、レポート ごだく。なお、必要に応じて順序を入れ	2 3	パそ同同 Fそ同同 Gる同同 Hスそ同同イのそ同同 ;の	2 3 1 2 3 2 3 3 3 とイスラー 2 3 0 7 3 0 7 8 8 8 8 8 8 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		ラエルにおけ
テキスト、参考文献	*	評価	方法			
** * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	引『物語イスラエルの歴史── 『戦争まで──』(中公新書)		-	トによる評価 表紙を授業で	(100%) 配布するので注	意すること。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前		と1(スペイン・ラテンアメリカの社会文化) と(Ⅲ)(スペイン・ラテンアメリカの社会文化)		兒島 峰
歴史的な形成過程とるラテンアメリカにある。 ラテンアメリカとにある。ラテンアメリカとにがある。 ジランアメリカとにがいないではれる地域の相当する。 (講義概要)ラテンアけて、地域のファスに分けて、地域のよどの具質などの具体などの具体などの具体などの具体などの具体などの具体などの具体などの具体	議目的、講義概要 義目的) の講義の目標は、ラテンアメリカの社会と文化の特徴を 史的な形成過程と地理的状況とともに学び、現在におけ ラテンアメリカ文化と社会との関係について理解する とにある。 テンアメリカとは何か、今日のラテンアメリカの特徴は のように形成されてきたのか、また、ラテンアメリカと ばれる地域の相違について理解を深めることを目標と る。 義概要) テンアメリカの社会と文化について、いくつかのトピッ		カの全体的特力の社会構造力の社会構造力におけるりかにおけるりかにおけるりかにおけるりかにおけるりかにおけるりかにおけるしたと社会的地	基礎知識 アメリカの位置づけ 持徴 き その 1 き その 2 "人種"概念 男と女 男女観と"人種"概念 男女観と"人種"、および社 位 の文化と社会的地位 識
テキスト、参考文献 参考文献についてに	は授業中にその都度指示する。		を書くだけの ましい。初回	心に評価する。 受動的な学生には不向きであ のオリエンテーションには必

08年度以降 歴史と文化1(歴史学1)(文明史研究a) 担当者 櫻井 悠美 授業計画 講義目的、講義概要 <講義目的> はじめに (講義の目的、概要、その他) 人間の諸活動の総体としての文明は、世界中に多様な形 1. 2, クレタ文明 で存在しました。サミュエル・ハンチントンは、冷戦後の 数々の国際紛争を文明の衝突としてとらえたのです。 3、 ミケーネ文明 トロイア戦争 しかし、本当に世界は文明単位で対立する状況なのでし 4 ギリシア文明 ょうか。現在ではむしろニーアル・ファーガソンが指摘す ギリシア文明 るように、文明間で争われるよりもむしろ紛争の多くは同 6、 7、 じ民族間同士での争いの様相を呈しています。こうした文 ペルシア文明 ペルシア戦争 明の概念の有効性を問い、これまでの研究史にふれなが 8. ペロポネソス戦争 ら、具体的な事例としてヨーロッパ文明の源流となったギ 9. リシア・ローマ文明に焦点を当て、政治的対立を超えた文 10、マケドニアとアレクサンドロス 明の交流について考察を深めることを目的とします。 11、ヘレニズム文明 12、ローマの対内外戦争

<講義概要>

古代にみられたそれぞれの文明について、戦争などの対立を契機に、また自然災害や気候変動といった要素が、それぞれの文明にどのように影響を与えたのかを論じます。特に民主主義発祥の地、ギリシアの経済危機がヨーロッパ全体に影響を及ぼしている現状を踏まえ、今後の民主主義の在り方についても考察します。また、図像資料やビデオ映像も使用し理解を深めます。

13、口一マ文明

14、ローマ文明 2

15、講義のまとめ

テキスト、参考文献

テキストは使わずプリントを配布します。また授業時に参 考文献も紹介します。

評価方法

学期末のレポート及び中間での小レポートさらに平常点 を加えて総合的に評価します。

08年度以降 歴史と文化1(歴史学2)(文明史研究 b) 担当者 櫻井 悠美

講義目的、講義概要

<講義目的>

現代社会はヨーロッパにおけるEUの統合や多文化の 共存、さらには経済活動のグローバル化とあいまって、これまでの歴史像を大きく変えてきました。本講義ではシュペングラーやトインビーの文明論を概観し、文明の世代交代としての範型として、ヨーロッパ文明について考察します。ギリシア・ローマ時代に体現された古典文明がその後どのように伝播されていったのかを辿りつつ、文明の崩壊を学ぶことによって今後私たちが歩もうとしている方向性を見直すヒントを考察したいと思います。

<講義概要>

文明論の一環としてのヨーロッパの歴史をとりあげたいと思います。 エウロペ神話からはじめ、ヨーロッパとは何かを論じます。ヨーロッパ文明が思想的にも物質的にもどのような形で世界の他地域へ伝播され、受容されていったかを検証します。特にアジアやアフリカ、そしてまた新大陸といわれた北米、南米からの視点からもヨーロッパがどのような存在であったかを検討し、第一次世界大戦が起こって100年を迎える今日、平和的共存のためにヨーロッパに求められていることは何かについても考察します。また、図像資料やビデオ映像も使用し理解を深めます。

授業計画

- 1、 はじめに (講義の目的、概要、その他)
- 2、 ヨーロッパとは何か
- 3、 ヨーロッパ文明の源、ギリシア文明
- 4、 アレクサンドロス大王とヘレニズム文明
- 5、 ローマ帝国の意味
- 6、 中世フランク王国
- 7、 イタリア・ルネサンス
- 8、 大航海時代
- 9、 植民地を求めて
- 10、植民地の争奪
- 11、第一次世界大戦
- 12、大戦後のヨーロッパ
- 13、ヨーロッパ統合の思想
- 14、講義のまとめ 1
- 15、講義のまとめ 2

テキスト、参考文献

テキストは使わずプリントを配布します。また授業時に参 考文献も紹介します。

評価方法

学期末レポートと中間での小レポート、さらに平常点を加 えて総合的に評価します。

08 年度以降 歴史と文化 1 (韓国文化各論 c) 歴史と文化(Ⅲ)(韓国文化各論 c)		担当者	佐藤 厚	
講義目的、講義概要	授業計画			
韓国を理解するためには、その歴史を知る必要がある。	第1回: ガイダ			
とくに日本の植民地になる以前の韓国の歴史は、現在の韓 国文化の背景となっていると同時に、韓国人の習慣や考え	第2回:朝鮮時代第3回:朝鮮時代	, ,		
国文化の有京となっていると向時に、韓国人の首頂や考え 方の基礎となっている。本講義では韓国の前近代史、とく	第4回:朝鮮時代	, ,		
プの基礎とようでいる。 本講義では韓国の削近代文、と に朝鮮時代を講義することにより、その知識を得、韓国の	第5回:朝鮮時代			
歴史、文化に対する理解を深めることを目標とする。	第6回:言語	(文(4)		
講義ではガイダンスのあと、4回にわたり朝鮮時代の流	第7回:宗教			
れを概観し、その後に各論として、言語、宗教、美術、音	第8回:美術			
楽、世界遺産、服飾、食、女性、日本との関係を取り上げ				
る。講義の方法はプリントを配布し、それに基づいて話を				
する。	第11回:服飾			
また講義に関連した映像教材もたくさん紹介する予定	第12回:食			
である。なお知識を定着させるため、授業の最後の15分を	第13回:女性			
小レポート作成に充て、さらに翌週の冒頭には小テストを	第14回:日本との関係			
行う。	第15回:まとめ			
なお人数によっては課題レポートの作成と発表を行う				
こともある。				
ニャット 会本立計	□ /			
テキスト、参考文献	評価方法	- 1 1 /	0.00() 1 2 10 1 (0.00() 11.7	
参考書・参考資料等		り小アスト(30%)、小レポート(20%)、期	
授業時に指示する。	末試験 (50%) ※ただし、期末試験が 50 点未満の場合は単位を与えない。			

			担当者	
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
テキスト、参考文南	#	評価方法		
, (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,	11 mm/2/24		

08 年度以降	歴史と文化 1 (韓国史)	化1(韓国史)		佐藤 厚
講義目的、講義概要	要	授業計画		
触れやすくなった。いては知らないことを知ることは、同野互理解にとってふまた。講義する。講義を講義で話をする。なお知識を定着る。	はにより、私たちは韓国に関する情報にしかし残念なことに、韓国の歴史につとが多いと思いと思われる。韓国の歴史寺に日本の歴史を知ることでもあり、相ても大事なことである。 は、本講義では韓国(朝鮮半島)の通史の進め方は、プリントを配布し、それにさせるため、授業の最後の15分を小レポこれも成績評価の対象とするので、テきちんと授業を聴くこと。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	ら統一新羅へ ら統一新羅へ 代(1) 代(2) 代(1) 代(2) (1) 1945 年か (2) 1960 年か (3) 1980 年か (4) 2000 年か	へら 1960 年 いら 1980 年 から 2000 年
テキスト、参考文献	就	評価方法		
	平著『韓国の歴史』(河出書房新社、2007 5文献は授業時に指示する。	ついての基本的知	識を得ることか	至る韓国(朝鮮半島)の歴史に 「できたか。2・韓国(朝鮮半島) 別の現代的課題を見出すことが

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (スペイン研究入門) 歴史と文化(Ⅲ)(スペイン研究入門)		担当者	二宮 哲
でである。 では、		授業計画 1. 世界のスペイン語 2. イベリア半島の地理・言語状況 3. カタルーニャの言語文化 1 4. カタルーニャの言語文化 2 5. バスク、ガリシアの言語文化 6. アンダルシーアの言語文化 7. イスラム・スペイン 8. 1492 9. フラメンコ・闘牛		
		9. フラメンコ・闘牛 10. スペイン黄金世紀 11. 18、19世紀のスペイン 12. 18、19世紀のスペイン 13. スペイン内戦とフランコ体制 14. スペインの民主化とヨーロッパ統合 15. 春学期のまとめ		
テキスト、参考文献	la de la companya de	評価方法		
適宜プリントを配布	П _о	授業への参加度、定期試験によって評価する。		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(ラテンアメリカ研究入門) 歴史と文化(Ⅲ)(ラテンアメリカ研究入門)			担当者	佐藤	勘治
		授業計画				
人は必須である。	T究を研究課題としたいと考えている *** ** ** ** ** ** **	11 歴史④ 米国と対峙する 20 世紀のラテンアメリカキューバ革命を中心に 12 経済と社会① 開発主義と独裁政権 13 経済と社会② ラテンアメリカの挑戦新サパティスタ運動(メキシコ)ボリバル革命 (ベネズエラ) 14 米国ラティーノ:新しい民族集団の形成 15 まとめ 評価方法 数回の小テストおよび期末テスト				

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(恐怖の日本文学) 文学 a(恐怖の日本文学)		担当者	佐藤 毅
ことで、で、現代人がでは、現代人がでは、で、でで、でで、でのででで、でのできます。 こう でんり	ベストセラーの傾向と特色を分析する でのような世界に住み、どのような世界 とする。テーマに応じて日本の古典文学 く言及する。 とラーを詳細に分析する。春学期は「恐 見して、恐怖や苦悩を扱った作品をブッ の本質に迫る。また、現代人と先人との は、できるだけ読破してほしい。読書 とではなく、読書の楽しみを伝えて行く とにかく興味関心を持ち、楽しんでほ	第2回回 ①② ③ 第3回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	「帝都物語」 彦「魍魎の匣」 砂子「死国」 象の題材からの造 文「二重螺旋の悪は では、アリングリートイ 題材からの造形 介「黒い家」 生「OUT」 テリーからの造形 からの造形 な「軽極者Xの献 像で見る	形 魔」 tん」 ヴ」
テキスト、参考文献		評価方法	/ A#4-5	
その都度、紹介する	0.	レポート(定期記	江 <i>际)</i>	

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (日本文学現代) 文学 b(癒しの日本文学)		担当者	佐藤 毅	
講義目的、講義概要	5	授業計画			
ことで、現代人がと	ベストセラーの傾向と特色を分析する ごのような世界に住み、どのような世界 終する。テーマに応じて日本の古典文学 なく言及する。	浅田 恩田	の癒し 清「ビタミンF」 次郎「鉄道員」 陸「夜のビクニッ: 多佳子「一瞬の風! 他		
講義概要 現代文学のベストセラーを詳細に分析する。秋学期は「癒しの現代文学」と題して、癒しややさしさを扱った作品をブックレビューし、その本質に迫る。また、現代人と先人との相違まで考察する。 受講生への要望 講義で紹介した作品は、できるだけ読破してほしい。読書の必要性とか重要性ではなく、読書の楽しみを伝えて行くことが目的なので、とにかく興味関心を持ち、楽しんでほしい。		他 第5回 ①時間からの教い 第6回 ② 同上 第7回 ③ 同上 浅田次郎「地下鉄に乗って」 北村薫「スキップ」「ターン」 佐藤正午「Y」 他 第8回 ①笑いの持つ教い 第9回 ② 同上 奥田英朗「インザプール」 「空中プランコ」			
テキスト、参考文献	#	評価方法			
その都度、紹介する	5.	レポート(定期	試験)		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1 (歴史学1) (アメリカのエスニック・ヒストリー) 歴史学 a (アメリカのエスニック・ヒストリー)		担当者	佐藤 唯行	
講義目的、講義概要		授業	計画		
紛争。最新の現場が	1の見えないパレスチナ・イスラエルのいら説きおこし、問題の根源となる中世 ア人差別までさかのぼる。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 11. 12. 13.	アメリカは、イステリカルに イス 強分 ア 中 隠 年 エ ス 強分 ア 世 れ 王 王 名 と エ エ 王 王 ま 世 れ 王 王 ま 世 れ 王 ま 世 に 大 大 ま ま た よ ま か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	国防軍をシーストーンでは、大学ののログラスをある。 アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	介者となりえないのか する宗教シオニスト ニスト 付表 一とは ロビー 弱なのか 290~1656
テキスト、参考文献			i方法		
か』(仮題) 日新報	カがイスラエルを見捨てる日は来るの 道、14 年 3 月刊行予定、1500 円位 ジヤ人』講談社選書、1600 円	20 🏗	閉8択の Q ui	z形式の試験	、教科書持ち込み可

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (歴史学 2) (アメリカのエスニック・ヒストリー) 歴史学 b (アメリカのエスニック・ヒストリー)		担当者	佐藤 唯行	
講義目的、講義概要		授業	計画		
リカを舞台に、その 各人種・民族集団間 ムを解明し、対立を る様々な努力を紹介 こうしたアメリス の道を模索せねばに 唆を与えるはずであ	7社会の努力は「外国人たちとの共生」ならぬ我々日本人にとっても有益な示	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	ホワイト・・ アメリカマイス サイス 大 マイス 大 で 大 で で で で で で で で で で か い ス ト ス ア ス ア ス ア ス ア ス ア ス ア ス チャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ース ス 黒黒ダ 派 エ 治 リムのクシナ ス 人 人 ア ニ ユ イ 徒 核 会 ニ 人 で ク ヤ 政 政 キ 対 ト え こ え こ り が り り り り り り り り り り り り り り り り り	、民主党との同盟成立 力 スト教福音派 る福音派の宣教運動 圧力団体
テキスト、参考文献	t	評価	方法		
書 1600 円) 佐藤唯行『アメリカか	ぶエスニックアメリカ』(2008 年 NTT 選 ぶイスラエルを見捨てる日は来るのか』(仮 - 3 月刊行予定、1500 円位	20 🏗	月8択の Qui	z形式の試験	、教科書持ち込み可

 08 年度以降 07 年度以前
 歴史と文化1(文化人類学 a) 文化人類学 a (未開文化の理解へ)
 担当者
 執行 一利

 講義目的、講義概要
 授業計画

日本とは異質の文化や社会を「知る」ための考え方を学ぶ。我々は無意識のうちに自己の文化の尺度を基準にして 異文化を理解することが多い。そこで、「人間の単一性、 文化の多様性」を標榜する文化人類学的視覚から人間の文 化を考察し、異文化理解の視点を養うことを目的とした い。

主として婚姻の問題をとりあげて講述する。近代西欧社会の理想とする一夫一婦婚は世界的に見れば決して普遍的ではなく、亡霊婚や女性婚など、それ以外のタイプの婚姻の形態が様々な社会に存在することを具体的に民族誌のなかから紹介する。また、インセスト・タブーの意味を考えた上で、レヴィ=ストロースをはじめとして人類学者の婚姻理論について検討する。また、今日の日本の社会で理想とされる恋愛婚についても取り上げる予定。

- 1. 講義の概要
- 2. 異文化理解
- 3. 亡霊婚1
- 4. 亡霊婚 2
- 5. 女性婚
- 6. 一妻多夫婚1
- 7. 一妻多夫婚2
- 8. 婚姻の定義
- 9. インセストタブーの意味1
- 10. インセストタブーの意味 2
- 11. 恋愛婚
- 12. 交叉イトコ婚の意味1
- 13. 交叉イトコ婚の意味 2
- 14. まとめ
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキストは用いないが、参考書は授業の進行に合わせて多数紹介する。

評価方法

定期試験の成績を主とし(60%)、小レポート(25%)、授業への参加度(15%)などを勘案して総合評価の予定。

 08 年度以降
 歴史と文化1(文化人類学b)

 07 年度以前
 文化人類学b(未開文化の理解へ)

担当者
執行 一利

講義目的、講義概要

「最後の秘境ニッポン」と呼ばれるほど日本人は異文化 理解がへただと言われている。そこで本講義では、異文化 理解を主目的とする文化人類学的視覚から人間の文化や 社会を考察し、異文化理解の視点を養うことを目的とした い。

家族、親族と政治組織をテーマとして講述する。我々の知っている家族形態といえば、せいぜい「核家族」や二世代同居の「直系家族」程度であるが、実際の家族はどのような構造を持っているのかを比較検討する。特に日本の家族については詳しく取り上げたい。一方、裁判所や警察組織の存在しない「未開社会」における政治組織の仕組みはどのようになっているのだろうか。授業では、具体的に民族誌の中からいくつかの社会の実例を紹介し、親族の役割の重要性を指摘する。

授業計画

- 1. 講義の概要
- 2. 異文化理解
- 3. 家族の定義
- 4. 核家族普遍説
- 5. 核家族普遍説の検証1
- 6. 核家族普遍説の検証2
- 7. 日本の家族1
- 8. 日本の家族 2
- 9. 日本の家族3
- 10. 親族
- 11. 親族と政治組織
- 12. バンド社会1
- 13. バンド社会 2
- 14. 部族制社会
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

ーテキストは用いないが、参考書は授業の進行に合わせて多 数紹介する。

計

定期試験の成績を主とし(60%)、小レポート(25%)、授業への参加度(15%)などを勘案して総合評価の予定。

08 年度以降	歴史と文化 1 (韓国文学史)	歴史と文化 1 (韓国文学史)		沈 元燮
講義目的、講義概要	要	授業計画		
ルなど、その国の る。本は、「でな作しる。 本まてとをつって、「でない。本は、「でなりでである。本では、「でない。」 である。 である。 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「でない。」 では、「では、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいで	とは、歴史、思想、芸術、ライフスタイ文化のすべてを集約した言語芸術であり宝石」とよばれている理由がここにあ古代から現代に至るまで、韓国の心」へ近づこうとする韓国研究「韓国の心」へ近づこうとする韓国研究「韓国の心」へ近づこうとする韓国研究は話を始め、三国時代や高麗、朝鮮時代は病である「パンソリ」文学を、愛情映画とともに勉強する。2)近現代:近代国とともに進行されざるをえなかっ時殊性を把握した上で、独立、朝鮮戦争、運動時代を生き抜く韓国文学の流れを代する。最近の文学としては、インターネで、映画版として韓流ブームの1原因とな彼女」を鑑賞・討論する。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	と 世 一 古代 と 後 1 2 3 看 5 1 2 3 看 5 2 3 本 5 2 3 本 5 2 3 土 5 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3	(神話と説話の世界 ソリ映画「春香伝」鑑賞 : 日本のラブストーリ の中の近代朝鮮 と小市民:「誤発弾」 :「広場」
テキスト、参考文献	就	評価方法		
参考:金東旭 『朝	読む韓国文学テキスト』プリント配布 鮮文学史』(日本放送出版協会、1974) :「韓国文学を味わう」報告書』(国際交	感想文(A4,1 頁 他(10%)	、約3-4回	: 70%)、討論 (20%)、その

流基金アジアセンター、1997) など

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	*	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(都市と建築1) 歴史と文化(Ⅲ)(都市と建築1)		担当者	鈴木 隆
講義目的、講義概要	5	授業計画		
は我国の木造建築してきた。本講義に面を知ることを目的西洋の建築の歴5のみでなく、現に存見ることもできる。西洋の建築の変遷を辿ってゆく。なお、スクリーンに	で石の文化とも言われるように、西洋でとは異なる石造建築の文化が広く発達は、建築の歴史を通して西洋の文化の一切とする。 とは、過去の文化として記録されている。 存在する数多くの建築遺産を通して直接 本講義では、古代、中世および近世の を、それぞれの建築の意味を考えながら に図面資料などを写しながら講義を進め との定員を150名とする。	1. 講義概要の記 2. 古代エジプ 4. 古代イオリエス 5. 古代イオリリエス 6. エー間ギリリン・ 7. 中間代ギリリシ・ 10. 古代代ギロローマの 11. 古代ロローマの 12. 古代ロローマの 13. 古代リン・ 14. 初期とめ 以上の授業計画の	トの建築 2 トの建築 2 トのの建築 2 トトトの建建 2 年 3 トヤヤのの建築 第 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 4 4 7 7 7 7 8 8 9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	更もありうる。
テキスト、参考文献	•	評価方法		
	\。講義内容に関する資料を配布する。 ≲じて講義の中で紹介する。	試験の結果によっ	って評価する 	0

08 年度以降 07 年度以前			担当者	鈴木 隆	
講義目的、講義概要	5	授業	計画		
	て石の文化とも言われるように、西洋で		講義概要の		
	とは異なる石造建築の文化が広く発達		ビザンチン		
	は、建築の歴史を通して西洋の文化の一		イスラム建筑		
面を知ることを目的	りとする。		プレ・ロマ		
西洋の建築の歴史	には、過去の文化として記録されている	5.	ロマネスクタ	建築 1	
のみでなく、現に有	在する数多くの建築遺産を通して直接	6.	ロマネスクタ	建築 2	
見ることもできる。	本講義では、古代、中世および近世の	7.	ロマネスク	建築 3	
西洋の建築の変遷を	と、それぞれの建築の意味を考えながら	8.	中間のまと	め	
辿ってゆく。		9.	ゴシック建	築 1	
なお、スクリーンに	図面資料などを写しながら講義を進め	10.	ゴシック建	築 2	
る必要から、受講生	Eの定員を 150 名とする。	11.	ゴシック建	築 3	
		12.	ゴシック建	築 4	
		13.	ルネサンス	建築 1	
		14.	ルネサンス	建築 2	
		15.	まとめ		
		以上	この授業計画	こは多少の変	更もありうる。
テキスト、参考文献	*	評価	i 方法		
	。講義内容に関する資料を配布する。	試影	食の結果によ.	って評価する	0
参考文献は必要に応	いて講義の中で紹介する。				

 08 年度以降 07 年度以前
 歴史と文化1(中国史 a) 歴史学 a(中国近代史概説・清朝国家の黄昏)
 担当者

 張 士陽

講義目的、講義概要

この講義では現代の中国及び東アジアの国際関係をより深く理解するために、その成立の背景となる中国近代史について講義します。

19世紀前半,中国は内外の諸要因から激動の時代を迎えます。2000年間,王朝交替を繰り返しながら存続してきた皇帝支配体制は最大の危機に直面します。

清朝国家は体制存続にために様々な改革を実施します。 講義ではこの時期の社会秩序や経済活動の変動に対して、 当時の人々がどのように対応したかを中心に考えていき たいと思います。

中国近代史では政治経済の短期的変動に関心が向きが ちですが、伝統中国社会の特質の変容と再編という点も視 野に入れる予定です。

授業計画

第1回:講義の概要

第2回:清朝体制下の国家 第3回:清朝体制下の社会

第4回:アヘン戦争と冊封・朝貢体制の動揺

第5回: 太平天国 第6回: 体制の反撃

第7回:洋務運動 第8回:中体西用の諸相

第9回: 開港場の社会と経済

第 10 回:周辺地域宗主権の喪失1 第 11 回:周辺地域宗主権の喪失2

第12回:琉球問題と台湾出兵

第 13 回:朝鮮をめぐる日中対立1 第 14 回:朝鮮をめぐる日中対立2

第15回:講義のまとめ

テキスト、参考文献

教科書:並木頼寿・井上裕正『世界の歴史 19 中華帝国の 危機』(中公文庫 S 22-19) 中央公論新社, 2008 年。

評価方法

平常点 10%, 授業への参加度 10%, 期末試験 80%

08 年度以降歴史と文化 1 (中国史 b)07 年度以前歴史学 b(中国近代史概詞

歴史学 b(中国近代史概説・近代国家創成の試み)

担当者

張 士陽

講義目的、講義概要

この講義では現代の中国及び東アジアの国際関係をより深く理解するために、その成立の背景となる中国近代史について講義します。

日清戦争の敗北によって清朝体制の存続は危機的状況に陥ります。この時代に伝統の創造により中国の変革を目指した人々、さらなる変革を求めて「革命」を選んだ人々などの思想と行動を検討し、また地方自治改革と地域社会の対応の軌跡をたどりながら、中華民国初期の近代国家建設の試みとその挫折を検証します。

中国近代史では政治経済の短期的変動に関心が向きが ちですが、伝統中国社会の特質の変容と再編という点も視 野に入れる予定です。

授業計画

第1回:講義の概要 第2回:_{日清戦争}

第3回:台湾の割譲と台湾住民の抵抗

第4回:変法改革 第5回:戊戌の政変

第6回:キリスト教布教と仇教運動

第7回:義和団の蜂起1 第8回:義和団の蜂起1

第 9 回:纏足問題と天足運動 1 第 10 回:纏足問題と天足運動 2

第 11 回:革命派の台頭

第12回:光諸新政と地方自治の試み

第13回: 王朝体制の崩壊と中華民国の成立

第14回:第二革命と袁世凱政権の成立

第15回:講義のまとめ

テキスト、参考文献

教科書:並木頼寿・井上裕正『世界の歴史 19 中華帝国の 危機』(中公文庫 S 22-19)中央公論新社,2008 年。

評価方法

平常点 10%, 授業への参加度 10%, 期末試験 80%

08 年度以降	歴史と文化1(スペイン・ラテンアメリカの文学)		担当者	中井 博康	
講義目的、講義概要	2	授業	計画		
取り上げながら、追 知識を身につけるこ きるだけ多くの文学	れた文学について、主要な作家や作品を 通時的に概説します。文学史や文化史の ことも大切ですが、受講生にはむしろで 学テクストを実際に読んでもらい、新た ☆う機会にしたいと思っています。	02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13	17世紀の散 17世紀の復 18世紀 19世紀(1) 19世紀(2) 19世紀(3) 20世紀(1) 20世紀(2)	に向けて コニカ 申秘主義,ピッ 文と詩 「劇」 : 写実主義,	自然主義 ペモ, 98 年の世代など 代など パリカ (1)
テキスト、参考文献	#	評価	ī方法		
特定のテキストは依介します。	走用しません。参考文献は授業で随時紹			ンスカード (総合的に評価	平常点 40%)と書評(課題点 します。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08年度以降 歴史と文化1(民俗学) 担当者 林 英一 07年度以前 歴史と文化(Ⅲ)(民俗学) 講義目的、講義概要 授業計画 私たちの生活は、先祖から受け継がれることで成り立っ ガイダンス 民俗学の研究対象(具体的に) ている。その受け継がれてきた心意や価値観を解明するの 2 が民俗学である。そのため民俗学は過去の問題を研究する 国学から民俗学へ(民俗学の成立) 3 日本の祭り1 (祭りの映像記録を見る) ものではなく、継承されてきたものが、現在にどのように 4 つながり、現在の我々の生活の意味を探ることを目的とす 日本の祭り2 5 る。この研究は我々の現在の「存在」の在り方を探求する 異界の問題1 (妖怪・幽霊とは何か) 6 上でとても大事なことである。特にグローバル化された世 異界の問題2 (日本の幽霊観) 7 異界の問題3 (妖怪と神の関係) 界の中で、自分は何者であるのかを知ることが、相手を知 8 ることに繋がるためである。 昔話にみる「日本」 10 日本の災害伝承とその意味 本講義では民俗学が研究対象とするものの概説、学問の 11 年中行事1 (とくに正月をめぐって) 誕生のいきさつから始め、具体的にいくつかの問題を取り 12 年中行事2 (とくに盆をめぐって) 出して、これまでの研究成果を学ぶ。本講義により自分た 13 人生儀礼1 (人の一生における様々な儀礼) ちの現在の生活世界の土台がどのようなものであり、それ 14 人生儀礼 2 (とくに葬儀をめぐって) が現在にどのように受け継がれてきているのかというこ 15 日本人の死生観 とを理解してもらいたいと思っている。 テキスト、参考文献 評価方法 授業中にプリントを配布 試験による。ただし、4回以上の欠席は評価の対象としな い。また出席表配布後の入室は遅刻として扱い、遅刻2回 で欠席1回とする。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (地域文化) 歴史と文化(Ⅲ)(地域文化)	担当者	林 英一
--------------------	----------------------------------	-----	------

講義目的、講義概要

本講座では、「地域文化」の在り方と現在の実態を中心に話しを進める。「地域」とはどのようなものであり、そこにどのような「文化」を捉えることができるのであろうか。また「文化」とはどのようなものであるのか。

これらを理解した上で都市化と過疎化、そして高齢化やITの発達がどのように我々の地域文化に影響を及ぼしているか、伝統的社会での「地域文化」の在り方から、現代の「地域文化」の様相を考えて行きたい。

「地域文化」は、生活そのものであるが、「伝統」という価値を付加することで、自己アイデンティティの形成のために用いられることもあり、また他者に対してアピールすることで、町おこしにも利用される。「地域文化」は単なる現象ではなく、我々が価値づけすることによって、成り立つ側面もある。「価値づけ」の意味についても本講座では問うてみたい。

「地域文化」を学ぶことは、自己存在を学ぶことでもある。

授業計画

- ガイダンス
 地名の成り立ちと地域
- 3 地域形成と生活構造
- 4 白川郷の「結」(ビデオと解説)
- 5 地域認識の問題(地名と地域の関係)
- 6 地域文化としての祭り1
- 7 地域文化としての祭り2
- 8 地域の重層的構成
- 9 内的他者とその機能
- 10 伝統的祭りの方向性1(過疎地域の問題、具体例を通 して)
- 11 伝統的祭りの方向性 2 (都市地域の問題、具体例を通 して)
- 12 文化圏としての地域文化 (ビデオと解説)
- 13 地域文化とフォークロリズムの問題
- 14 地域文化と新興の祭り(伝統的「地域」を離れた祭り。 ビデオと解説)
- 15 ボーダレス社会の中の地域文化(現在にとって地域文化とは何か)

テキスト、参考文献

授業中にプリント配布

評価方法

試験による。ただし、4回以上の欠席は評価の対象としない。また出席表配布後の入室は遅刻として扱い、遅刻2回で欠席1回とする。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(日本文学古典) 文学 a(日本文学-奈良時代の文学を読			福沢 健
講義目的、講義概要	5	授業計画		
室町)・近世(江戸)の間の中でこの全ての可能なので、春学期義である。 講義概要 奈良・風土記で、古事的 おとして、といったにとして、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田として、宮崎田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	は、上代(奈良)・中古(平安)・中世(鎌倉・の五つの時代に区分される。限られた時の時代のテクストを取り扱うことは不明は奈良時代の文学テクストについて講っている中で、興味が持てそうなストーリ己・風土記に載せられている神話伝説をには、古事記のヤマタノヲロチ神話を題記代の人々の自然観の違いについて話をいに際して、同一のテーマを扱った現代誘致の「もののけ姫」や「水爆大怪獣ゴば…)についても扱うことを予定してい	3 ヤマタノヲロラ 4 ヤマタノヲロラ 6 日本人遙かなな 7 日本人遙かなな 8 宮崎駿 「ものの 10 宮崎駿 「ものの 11 宮崎駿 「ものの 12 宮崎駿 「ものの 13 「水爆大怪獣 14 「水爆大 15 まとめ 授業時に配布して http://www.geoc	F神語を表 神神語を表 神神語ををけけけけけけれた ををけばを がいい。 でででである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でい。 でいる。	2 3 4 4 5 1 5 2 1 3 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5
テキスト、参考文献		評価方法		
テキスト なし 参考文献 授業時に	 ニ指示する	試験(持ち込み <u>不</u>	可)	

08 年度以降 07 年度以降	歴史と文化1(平安時代の文学を読む) 文学 b(日本文学-平安時代の文学を読む	<u>ታ</u> ያ)	担当者	福沢 健
室町)・近世(江戸)の間の中でこの全ての可能なので、秋学期義する。講義概要平安時代の文学テク義では「異郷訪問語物語』『源氏物語』の構造を持つ現代の語」を取り扱うこと	は、上代(奈良)・中古(平安)・中世(鎌倉・ の五つの時代に区分される。限られた時 の時代のテクストを取り扱うことは不 別は平安時代の文学テクストについて講 アストは数多く残されているが、この講 覃」というキーワードのもとに、『伊勢 を取り扱う。また、同じ「異郷訪問譚」 のファンタジーである「千と千尋の物 によって、上代・中古と現代の人々と いについて話をしていきたい。	授業計画 1 異郷動 問題 には と に は と に は と に は と に は と に は と に は と に む は 3 伊 夢 氏 氏 崎 崎 駿 駿 下 「 「 「 「 「 「 「 下 「 下 下 下 下 下 下 下 下	は何か② はの② は② は② で で で で で で で で で で で で で で で で	」を見る② 」を見る③ レ」を見る④ 、
テキスト、参考文献 テキスト なし 参考文献 授業時に		評価方法 試験(持ち込み <u>不</u>	<u>可</u>)	

08年度以降 歴史と文化1(歴史学1)(「15年戦争」をどうとらえるか) 担当者 丸浜 昭 07年度以前 歴史学 a(「15年戦争」をどうとらえるか) 講義目的、講義概要 授業計画 1945年に終わった戦争は普通には太平洋戦争と呼ばれ、相 1945年に終わった戦争の相手・呼称をめぐって 手はアメリカだったととらえられがちであるが、これを見 1941 年 12 月 8 日―真珠湾からかコタバルからか 直してみたい。対米開戦前に泥沼の日中戦争が続いてお 3 被害の問題①―空襲は何を示すか り、さかのぼれば1931年の満州事変にいきつく。足かけ15 被害の問題②-原爆投下をどうとらえるか 4 年の戦争で、日本が一番長く戦った国は中国である。 日中戦争をとらえる①―満州事変から日中戦争へ 5 中高でのこの戦争の学習では、原爆や空襲などの被害を重 6 日中戦争ととらえる②一対米英戦争とのかかわり 点に学ぶことが多いようだが、被害面だけでなく、戦争全 7 加害の問題①-731 部隊とは何か 加害の問題②-南京事件をどうとらえるか 体の中での加害面にもしっかり目を向けたい。見るのがつ 8 らいところもあるかもしれないが、ビデオをかなり使う。 加害の問題③―三光作戦をめぐって そして、当時の教育や社会の状況、経済との関わりなども 10 兵士と民衆①―日本軍隊の特徴をみる 含めて、戦争の全体像を考えたい。中国や韓国をはじめア 11 兵士と民衆②―教育でどう兵士が育てられたか ジア諸国との関わりがますます強まる中で、「対立」がつ 12 戦時下の社会―天皇制と国家神道・戦争への動員 くられている。この戦争はどういうものだったかの事実は 13 戦争と経済の関わりを考える しっかり知っておきたい。 14 この戦争の原因をどうとらえるか① 15 この戦争の原因をどうとらえるか② また、戦争の原因を日清・日露戦争にさかのぼって世界の 中、アジアの中での日本の歩みを概観し、考察してみたい。 なお、なるべく秋学期とあわせて受講して欲しい。 テキスト、参考文献 評価方法 授業の中で紹介する 定期試験の時間の中で、事前出題による論述形式で試験を 実施する。

08 年度以降 07 年度以前歴史と文化 1 (歴史学 2)(戦後史の中の「15 年戦争」)歴史学 b(戦後史の中の「15 年戦争」)	担当者	丸浜 昭
--	-----	------

講義目的、講義概要

沖縄のたくさんの米軍基地は、どうつくられ、どう維持されてきたのか。沖縄をしっかり視野に入れて日本とアメリカの関わりを学ばなければ、今日の日本の問題をとらえることはできない。1945年8月15日に敗戦を迎えた戦争は、戦後60年を越えた今日でも、政治家の戦争認識にも象徴されるようにさまざまな課題を残す。アメリカとの関係が、講和や賠償問題等をとおしての今日の日本の在り方、また日本人の戦争認識にも大きな影響を与えてきた事実に目を向けたい。

中国や韓国をはじめとするアジアの国々は、この 2、30 年間で大きく変わってきた。民衆の声がそれぞれの国を動かすようになり、かつては不可能だった民衆同士の交流が大きく進んできた。戦後補償や戦争の認識をめぐる論議が今もおこることを、やっとそういう論議ができるようになったと捉えたい。きちんと論議ができる知識をもつ若者でいて欲しい。

2011年の3·11を経て、原発がどのように導入されてきたかを知ることの不可欠になった。取り上げていきたい。なお、なるべく春学期とあわせて受講して欲しい。

授業計画

- 1 本土決戦と日本の戦争の終わり方
- 2 沖縄戦が私たちに投げかけたこと
- 3 日本国憲法はどう生まれたか
- 4 東京裁判をめぐって
- 5 サンフランシスコ講和のもった問題
- 6 原発の導入をめぐって①―ビキニ被曝の直後に
- 7 原発の導入をめぐって②―原子力共同体と安全神話
- 8 日本の国内での補償をめぐって
- 9 日本のアジアへの補償をめぐって
- 10 日韓条約はなぜ 1965 年に結ばれたか
- 11 日中国交回復を考える
- 12 沖縄の復帰が「日本」に問いかけていること
- 13 アジアの民衆からの戦後補償要求
- 14 「731 部隊展」の取り組みが意味したこと
- 15 戦後50年の国会決議から政治家の戦争認識を考える

テキスト、参考文献

授業の中で紹介する

評価方法

定期試験の時間の中で、事前出題による論述形式で試験を 実施する。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (移民・交易に見る文化変容) 歴史と文化(Ⅲ)(移民・交易に見る文化変容)			担当者	水口 章
講義目的、講義概要	2	授業記	画		
化を形成してきた。 圏のあり方を確認 ることである。特に 目し、文化変容に その上で、国際移民 り合いについて考 する。 授業の進め方は講	主や交易を通し、物や情報を交換し、文本講義の目的は、歴史的な交易と文化しながら国際移動について理解を深めて、商人ネットワークや商業ルートに注いての理解を深める。 民・交易と国民国家の経済発展のかかわ察できる能力を養うことを到達目標とといてで、授業を3つに区分する。各区程度を確認するためのグループ討議(ブブ)を行う。	1 3 1 4	朝市香小ヨ大環産小移第戦グ貿経ととロ海西革と過次の一個のでは、大学は、大学は、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学の	ととと、パ代世と:と界度ルア中洋文のと界物国工大成化ア神交別間と外物国工大成化の家の間と人・の家っでの動物と、人の家のでの動物がある。	圏 易と文化圏 人・商品 移動 の移動 動
テキスト、参考文献	#	評価方法			
	ラー『国際移民の時代』名古屋大学出版会 スタイン『華麗なる交易』日本経済新聞出		態度(10%) かに評価す ^り		6)、最終レポート (70%) で

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(グローバル化と情報・通信の文化史) 歴史と文化(Ⅲ)(グローバル化と情報・通信の文化史)			担当者	水口 章	
講義目的、講義概要	Ę	授業計	画			
情報通信の発達は、	交通の発達と合わせて、社会変化に重	1	ガイダン	ス(情報化時	代について考える)	
要な役割を果たして	てきた。歴史的には、狼煙にはじまり、	2	情報伝送	方法		
駅制、飛脚、郵便馬	『車、電信、電話、そしてインターネッ	3	古代王国。	と駅制		
トなどの手段が挙げ	ずられる。	4	帝国の通信	言ネットワー	ク	
そこで、古代からの	つ通信技術の発達史を振り返り、人類が	5	小まとめ	: 一対一の通	信と社会変化	
どのような工夫を	して情報を伝達してきたかについて学	6	6 新聞の創業			
<i>Š</i> °.		7	通信社の記	延生		
また、情報を取り扱	吸うメディアについて概観することで、	8	ラジオ・テレビ時代			
現代の経済活動や	国民生活と情報がどのように関係して	9	グローバル	レメディア誕	生	
いるのかについて、	理解を深めることを目的とする。	1 0	小まとめ	: 一対多の通	信と社会変化	
到達目標は、グロー	-バル化社会において情報をより活用で	1 1	双方向・同	司時通信の社	会	
きる能力を養成する	うことである。	1 2	情報資料の	の収集と分析		
授業の進め方は講義	養形式で、授業を3つに区分する。各区	1 3	情報とビジ	ジネス		
分の終了時には理解	解度を確認するためのグループ討議(ブ	1 4	情報と国家	家		
レインストーミング	ブ)を行う。	1 5	まとめ:	グローバル化	と情報の活用	
テキスト、参考文献	#	評価方法				
<参考文献>						

総合的に評価する。

星名定雄『情報と通信の文化史』法政大学出版局

柏倉康夫『情報化社会研究』放送大学大学院教材

学習態度 (10%)、課題 (20%)、最終レポート (70%) で

08年度以降 歴史と文化1(アラブ文化・芸術 a) 担当者 師岡カリーマ・エルサムニー 歴史と文化(Ⅲ)(アラブ文化・芸術 a) 07年度以前 講義目的、講義概要 授業計画 1. イントロダクション:アラブ人とは? アラブと聞いて、多くの人はまず何を思い浮かべるでしょうか?テレ ビのニュースで見る戦場やテロの報道、戒律が厳しいと言われるイス 2. 「イスラム」と「イスラーム」 ラーム教や女性の抑圧、混乱を招いた「アラブの春」、そしてトンネル 3. ムスリムにとって「クルアーン」とは の先が見えないパレスチナ問題など、「怖い」「暗い」「分かりにくい」 4. アラブ人の生活文化 1) 食生活と祭 といったネガティブなイメージが強いのではないでしょうか。 5. アラブ人の生活文化 2) 家族・女性 しかし、テレビで報道されるアラブ像は、アラブ世界のほんの小さな 6. アラブ音楽入門 I 一面でしかなく、しかも中には歪曲されたイメージも少なからず紛れ 7. アラブ音楽入門 II 込んでいます。そういったイメージの蓄積によって作り上げられるス 8. パレスチナ問題と芸術 1)演劇 テレオタイプを打破しようというのがこの講座の目的です。 「アライブ・フロム・パレスチナ」鑑賞 アラブの芸術、芸能、文学、そして生活文化を通してアラブ人の心と 9. 演劇鑑賞レポート提出・ディスカッション 表現世界に親しみ、皆さん独自のアラブ像を形成してもらいたいと思 10. パレスチナ問題と芸術 2) 記録映画 アラブの芸術といえば、世界一有名なファンタジー、そして SF の原 11. パレスチナ問題と芸術 3) 小説 作家ガッサーン・カナファーニの世界 点とも言われる「千夜一夜物語」がまず浮びますが、同時にアラブの 中編「太陽の男たち」「ハイファに戻って」 文化は詩人の文化であり、また非常に洗練された音楽芸術を育んでき ました。近年ではノーベル文学賞に輝いたナギーブ・マハフーズやカ 読後レポート提出・ディスカッション ンヌ映画祭で表彰された映画監督ヨーセフ・シャヒーンなど、国際的 12. パレスチナ問題と芸術 4) 詩人 な評価を得ている芸術家も少なくありません。この講座ではまず誤解 「パレスチナの声」マハムード・ダルウィーシュ の多いイスラームの解説から始まり、宗教が今も深く根付いている生 13. パレスチナ問題と芸術 5)映画 活文化を知ると同時に、音楽、映画、演劇、文学作品を味わいながら、 14. イスラーム報道・アラブ報道を考える 楽しく真剣にアラブ人の社会やメンタリティーを探っていきます。 15. まとめ ディスカッションには積極的に参加し、反対意見を恐れずにどんどん 自己主張してください。 テキスト、参考文献 評価方法

08 年度以降 歴史と文化 1 (アラブ文化・芸術 b) 担当者 師岡カリーマ・エルサムニー 歴史と文化(Ⅲ)(アラブ文化・芸術 b)

講義目的、講義概要

夫編・河出書房新書) など。

アラブと聞いて、多くの人はまず何を思い浮かべるでしょうか?テレビのニュースで見る戦場やテロの報道、戒律が厳しいと言われるイスラーム教や女性の抑圧、混乱を招いた「アラブの春」、そしてトンネルの先が見えないパレスチナ問題など、「怖い」「暗い」「分かりにくい」といったネガティブなイメージが強いのではないでしょうか。

参考文献: 『恋するアラブ人』 『イスラームから考える』 (師岡カリーマ・エルサムニー著、白水社) 『アジア読本・アラブ』 (大塚和

スライドを使用するか、プリントを配布します。

しかし、テレビで報道されるアラブ像は、アラブ世界のほんの小さな一面でしかなく、しかも中には歪曲されたイメージも少なからず紛れ込んでいます。そういったイメージの蓄積によって作り上げられるステレオタイプを打破しようというのがこの講座の目的です。

アラブの芸術、芸能、文学、そして生活文化を通してアラブ人の心と 表現世界に親しみ、皆さん独自のアラブ像を形成してもらいたいと思います。

アラブの芸術といえば、世界一有名なファンタジー、そして SF の原 点とも言われる「千夜一夜物語」がまず浮びますが、同時にアラブの 文化は詩人の文化であり、また非常に洗練された音楽芸術を育んできました。近年ではノーベル文学賞に輝いたナギーブ・マハフーズやカンヌ映画祭で表彰された映画監督ヨーセフ・シャヒーンなど、国際的 な評価を得ている芸術家も少なくありません。この講座ではまず誤解の多いイスラームの解説から始まり、宗教が今も深く根付いている生活文化を知ると同時に、音楽、映画、演劇、文学作品を味わいながら、楽しく真剣にアラブ人の社会やメンタリティーを探っていきます。ディスカッションには積極的に参加し、反対意見を恐れずにどんどん自己主張してください。

授業計画

- 1. 後期イントロダクション―アラブの日常
- 2. アラビアンナイトは逆輸入?「千夜一夜物語」

レポート、平常点(ディスカッション参加や発言の頻度)

- 3. レバノン映画「キャラメル」とアラブ女性
- 4. 映画鑑賞レポート提出・ディスカッション
- 5. アラブの芸能界と歌謡曲
- 6. ハリウッド映画になったアラブ旅行文学
- 7. マルコ・ポーロよりすごいアラブの旅行家
- 8. 「アラブ革命の春」を考える
- 9. アラブ文化は詩の文化(1): 詩人変人今昔
- 10. アラブ文化は詩の文化(2):中世ヒップホップ
- 11. アラブ文化は詩の文化(3):現代のアイドル
- 12. ノーベル賞作家ナギーブ・マハフーズの世界
- 13. 小説「バイナルカスライン」(新訳:「張り出し窓の街」レポート提出
- 14. 続き (ディスカッション)
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

スライドを使用するか、プリントを配布します。

参考文献:『恋するアラブ人』『イスラームから考える』(師岡カリーマ・エルサムニー著、白水社)『アジア読本・アラブ』(大塚和夫編・河出書房新書)など。

評価方法

レポート、平常点 (ディスカッション参加や発言の頻度)

08 年度以降	歴史と文化1(在外日本人研究)	歴史と文化 1 (在外日本人研究)		山本 英政
講義目的、講義概要		授業計画		
なのか」のでは、これでは、これでは、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	千金を夢みて太平洋を越えた日本人たメリカ本土へ、あるいは南米へと渡って、びとの子孫の数はいまや270万人にの寺滞在のつもりで日本を離れた彼らが帰形成し異国で骨を埋める覚悟をもつよう30白人からの差別を受け、④それに忍従たる彼らの堅牢な地位を確立していく、このようにダイジェストすると美点だ日本人の狡猾で日和見的な姿もとり上いでは、⑥占領期の日本人を取り上げる。6年以上にわたって、独立を奪われた影響下に置かれた。占領という、いわばリカという異世界にいた日本人はいっち生きたのかを紹介する。一バルの「特殊研究」といって、講義のして指定した文献を読み講義の補足でとなる。	5. 日米戦争と 6. アメリカへ 7. 戦後の人へ 8. 中南米への日 10. ハワイの日 11. 外戦とする日 13. 豹変する日 14. アメリカ化 15. まとめ	でアメリカ にまり に 排斥一触と に 排斥一誠と で 表して に で 表して に 本人一差別 に 本人一差人 に 本人 に 本人 に 本人 に 本人 に また に で よ に で か に で が に で か に で が に で が と で か に で が に で が	メカニズム- 立ち退き- :軍-二世部隊- 返上 事件 1 事件 2 事件 3 日本が外国に- リカの黄金化
テキスト、参考文献	伏	評価方法		

学期末試験

受講希望者は初回のガイダンスに必ず出席してください

受講希望者は初回のガイダンスに必ず出席してください

レポート

テキスト:『ハワイの日本人移民』山本英政 明石書店

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(異文化間コミュニケーションb) 歴史と文化(Ⅲ)(異人種共生の試練<アメリカ編>)		担当者	山本	英政	
講義目的、講義概要	E	授業計画				
の作は対しているというでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	白人との修復されない不仲は犯罪	 コス隷 女奴自バ公非 おまり がはまり がはまり がはまり がはまり がまり が	, イ暴制解とボ権力る派ナメのク動と放平イ運不北ブムッ人	国こは?等コ助最ポラマドアる一実のト共 黒クとアメ共 は戦事生ガ人・黒クとアリカー・黒リー・黒リー・ カー・ カー・ カー・ カー・ カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	り現実 りはじまり な ジーとキング り フーとは	
テキスト、参考文献		評価方法	^			
2 02 1101 2 1	カ黒人の歴史』本田創造 岩波新書 レコム X』上坂昇 講談社現代新書	学期末試験レポート		同のガイダン	スに必ず出席し	てください

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化1(英語圏の文化) 歴史と文化(Ⅲ)(英語圏の文化)		担当者	山本 英政	
講義目的、講義概要	₹	授業計画			
, , , , ,	人もの移民を受け入れているアメリ 削合は減る一方で、今世紀の半ばに	 ガイダンス ワスプ主義。 	とは		
は5割を切るとい	いう。	 新しい白人和 多民族社会の 			
国家の黎明期、	アメリカはイギリス文化を模した	5. 異文化と差別	到		
	White Anglo-Saxon Protestant>)	6. メルティン:			
	しれたアメリカは多民族国家へと急 なが、ロスプネルは佐姓は1.734				
速に変化している 会の根幹をなして	ったが、ワスプ文化は依然として社	9. カウンターカルチャー I 10. カウンターカルチャー II			
五の成れてなり、	. • 1/00	10. パックラ 11. ロックミュ			
冷戦下のベトナ	一ム戦争は既存の文化に対抗するカ	12. 文化多元論	-	WC	
ウンターカルチャ	マーを生み、それまでのアメリカ的	13. アファーマティブアクション			
	音らぎをもたらした。	14. 多文化主義			
	いれる多文化主義にいたるアメリカ	15. まとめ			
	±会の変化を捉えながらたどり、こ				
の国の文化の特徴	(を明らかにする。				
テキスト、参考文献	t	評価方法			
参考文献:授業で約		学期末試験			
		レポート 受講希望者はガ <i>⁄</i>	イダンスに必	ず出席してください	

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 1 (英語圏事情) 歴史と文化(III)(英語圏事情)	担当者	山本 英政
--------------------	--------------------------------------	-----	-------

講義目的、講義概要

グローバル化の理想は、世界の共生である。しかし、現状は欧米、とくに経済と軍事の強大な力をもつアメリカの影響力に圧倒されている。他方、世界はアメリカがつくるポップカルチャーの魅力の虜となっている。硬軟両方のアメリカのパワーを認識し、世界のあるべき姿を考える。

イスラム世界に対する軍事力の行使は、「力」を 信望するアメリカの姿をわたしたちに再認識させ た。アメリカはその歴史において自国の要求を受け 入れない国に対し、ときに容赦なく武力を用いてき たのである。

反面、大衆文化という柔らかなイメージで世界に向け「アメリカ的なるもの」を発信しつづけ、それは「文化帝国主義」との非難を誘起するほどに、人びとの生活様式を単一化させている。

アメリカのハードとソフトの両面パワーを明らかにし、グローバル化がすすむ世界に与える影響を考える。

授業計画

- 1. ガイダンス
- 2. 銃社会アメリカ
- 3. なぜ、銃が必要か
- 4. 日本の中のアメリカ、米軍基地を考える
- 5. 米兵事件の実相
- 6. アメリカと戦争、9.11
- 7. ベトナム戦争
- 8. 湾岸戦争
- 9. イラク戦争
- 10. もう一つの 9.11
- 11. 映像
- 12. ソフト・パワー
- 13. アメリカンポップカルチャーの力
- 14.
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

評価方法

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (ブラジル研究) 現代社会(III)(ブラジル研究)	担当者	E. ウラノ	
講義目的、講義概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	授業計画		
リンピック開催を設めている。「国際の一つで業で、政なを、「国際の一つで、大きな、「国際ので、政なを、は、「国際ので、政ななが、は、「国際ので、政なを、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	14年にワールドカップ、2016年にはオ空えており、世界で注目されている新興未来の大国」ブラジルがもつ可能性を、iから解説する。例えば、最近の経済成テクターが支えているのか。これから持し遂げるためには、どのような改革や政ニれらの課題について、特に1960年代で言及しながら、ブラジルのグローバルの可能性について解説し、講義をすすめずとして、BRICsやG20などを通じたな長、格差の是正による新中間層の形成、国籍化、油田開発などがあげられる。こような基盤により実現されているのだなとブラジルは、今後、経済・文化・外関係を強化していけるのか。受講生が積極的にこれらの内容についていうテーマについて独自の視点を開発す	2. 政治経済:「9 3. 政治経済: 90 4. 政治経済: 20 5. 格差社会の5. 格差社会の見見たから能能がいい。 7. 映像が可可能ない。 10. 持続業開発、前11. 産業開発、前13. 日本の中がカッデ 14. ワワ13 年: 「未 2013 年: 「未 15. とめ、「未	た)年の00 下ででは、1000 下ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 ででは、1000 では、1	フレーション、経済安定化 済成長への道 Bolsa Família 新中間層 教育・インフラ整備 :世界情勢 発、代替エネルギー 恋的外交の展開 日ブラジル人移住者
テキスト、参考文献	武	評価方法		
テキストブック 堀坂浩太郎 (2012)) 『ブラジル―跳躍の軌跡』、岩波新書。	基本的には学期末の筆記試験による評価を行う(70% 他、授業内ペーパー・レポートを加味した評価とする (30%)。		

			担当者	
講義目的、講義概要	E	授業計画		
テキスト、参考文献	就	評価方法		

08年度以降 現代社会1(地理学1)(自然環境と文化) 担当者 秋本 弘章 07年度以前 地理学 a(自然環境と文化) 講義目的、講義概要 授業計画 地理学の扱う内容は多岐にわたるが、本講義では、人間 1 オリエンテーション の居住環境が人間にとってどのような意義をもっている 2 自然と人間とのかかわり のかという視点から、世界の地理を概観し、地理的な知識 3 環境の諸要素(1) 地球の特質 と地理的見方・考え方を身につけることを目的とする。ま 4 環境の諸要素(2) 地形環境 ず、地理学における主要な概念や方法を説明する。その上 で、人間の活動の舞台である自然環境について学習する。 5 環境の諸要素(3) 気候環境 自然環境にもとづいて地域区分を行い、地域ごとに自然的 6 環境の諸要素(4) 植生と土壌 生態系 基盤とそこで繰り広げられている人々の生活様式を説明 7 熱帯地域(1) 一自然的特質と伝統的農業 する。まとめとして、世界の環境問題について、具体的な 8 熱帯地域(2) - アジアの稲作 問題をとりあげ、地球的視点から検討する。 9 熱帯地域 (3) --熱帯の開発と問題 (1) 10 熱帯地域(4) --熱帯の開発と問題(2) 11 砂漠地域(1) 一自然的特質と伝統的生業 12 砂漠地域 (2) — イスラムの世界 13 砂漠地域(3) —石油資源と近代化 14 砂漠地域 (4) - アラブとイスラエル 15 まとめ テキスト、参考文献 評価方法 山本正三(他)著『自然環境と文化』原書房 定期試験 参考文献は授業中に示す

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (地理学 2)(自然環境と文化) 地理学 b(自然環境と文化)			担当者	秋本 弘章	
講義目的、講義概要 地理学の扱う内容 の居住環境が人間 のかという視点から と地理的見方・考え ず、地理学における で、人間の活動の舞 自然環境にもとづい 基盤とそこで繰り する。まとめとして		13	温温温温温温冷冷山世世世帯帯帯帯帯帯帯帯帯帯地界界界	或(3)温帯 或(4) 混構 或(5) 北次 或(6) 北米 或(7) 帯間題題 環境問問題 (1) (2)	P海森林地域 混交林地域(ヨーロック 記で林地域(アジア) その温帯地域(1) その温帯地域(2) のほかの温帯地域(3)	パ)
テキスト、参考文献		15 評価方	まとめ 法			
山本正三(他)著参考文献は授業中に	『自然環境と文化』原書房 こ示す	定期試	験			

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (地誌学 1)(ヨーロッパ地域計現代社会(Ⅲ)(ヨーロッパ地域論)	à)	担当者	飯嶋 曜子
状を把握することを EUの制度をEUの うえで、特に EU うえで、格当 に焦点各地域との *注意 本講義は、ドイツ ※注意 本講うによる 資料を イツ語による 資料を	展するヨーロッパにおける各地域の現と目的とする。まず、ヨーロッパ地誌や 関する基礎的な知識を習得する。その 共通農業政策と、地域政策(構造政策) がヨーロッパの地域に与える影響や、 関係について考察していく。 一番学科の専門講義科目と、全学共通カリ 合科目との合併科目です。そのため、ド と利用する場合もあります。	授業計画1. ヨーロッパ域2. EU の地域3. EU の機能5. EUの形成6. EUの形成8. EUの形成9. EUの乗方抗10. EUの農業等12. EUの農業等13. EUの構造14. EUの構造15. まとめ	・発展過程(1) ・発展過程(2) ・発展過程(3) 拡大(1) な大(2) 女策(1) 女策(2) 女策(1))
テキスト、参考文献 地図帳を毎回持参す テキストは指定した	つること	評価方法 レポートもしく <i>l</i>	は試験により	評価

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (地誌学 2)(ドイツ地域論) 現代社会(Ⅲ)(ドイツ地域論)			担当者	飯嶋	曜子
ることを目的とする 合の深化と拡大、対 を当てて具体的な事 *注意 本講義は、ドイツ記 キュラムの全学総合	歴の地域や都市の構造とその変容を把握する。特に、ドイツ再統一、ヨーロッパ統地方分権型国家、という三つの側面に光事例をもとに明らかにしていく。 哲学科の専門講義科目と、全学共通カリ会科目との合併科目です。そのため、ドを利用する場合もあります。	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	ドドドドドドヨヨヨヨ地地大イイイイイイイイイイーーーカ方分のカールカラの大学では、アイル・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	- (2): 社会 - (3): 東「 - (4): 冷戦 - (5): プレ - (6): ポッ 統合 (1): E 統合 (2): 統	レリンの地球では ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市 ツ都市 ・ベルク 差 、都市政策
テキスト、参考文献 地図帳を毎回持参う テキストは指定した	けること		i方法 ペートもしく <i>i</i>	は試験により	評価	

08年度以降 現代社会1(教育法1) 担当者 市川 須美子 07年度以前 現代社会(Ⅲ)(教育法 a) 講義目的、講義概要 授業計画 教育法は、教育の場で生じるさまざまな問題を、法的視 学校における子どもの人権侵害――問題化の経緯と 点から、つまり、権利・義務関係の視点から整理して、教 分類 育問題の分析・解決を提起してゆく法分野です。例えば、 学校事故裁判と学校教育裁判 いじめを素材にする場合、いじめをなくす方法の考察、あ 体罰裁判とその特徴――体罰裁判の判例動向 るいは、いじめの構造分析をするのではなく、いじめ裁判 体罰裁判の新しい展開 の分析を通じて、学校・教師のいじめに対応する最低限の 生活指導とその法的限界 法的義務を明らかにするというアプローチです。現在、学 6 いじめと裁判――中野富士見中事件といわき小川中 校でも、家庭でも、子どもに対する人権侵害が多発してい 事件 ます。教師の体罰で子どもが心身に重大な被害を受ける事 7 いじめ自殺と予見可能性-例もあとを絶たないし、統計的には減少しているとされて 8 いじめ調査・報告義務訴訟 いたいじめも、むしろ、学校では常態化しており、いじめ 9 丸刈り校則裁判 裁判は増加しています。この講義では、学校での子どもの 10 修徳高校パーマ校則裁判 人権侵害についての具体的な裁判事例を、体罰、いじめ、 11 都立高校原級留置き訴訟 生活指導、校則、学校教育措置、教育情報に分類して、法 12 信教の自由と学校教育--エホバの証人退学事件 的に分析し、教育法の考え方と現時点での理論的到達点を 13 内申書·指導要録開示訴訟 14 教育情報公開訴訟―学力テスト結果公開請求事件 入門的に解説します。 15 まとめ

テキスト、参考文献	評価方法

テキストは指定しませんが、講義時に教育関係の小六法 を携行してください。 試験

講義目的、講義概要

教育法の現代的問題状況の把握(教育法 a)を前提に、教育法のより体系的な理解のために、自主性擁護的教育裁判を通じての教育法学形成と教育と国家との基本的な関係のあり方を検討します。次に、教育法の基礎概念である教育人権、子どもの学習権、親の教育権、教師の教育の自由、住民の教育権を、教育裁判を素材に解説します。最後に、2006 年教育基本法改正とその後の教育法状況を分析します。

授業計画

- 1 戦後教育改革と憲法・教育基本法法制
- 2 逆コースの教育改革
- 3 教科書裁判(1)
- 4 教科書裁判(2)
- 5 最高裁学テ判決
- 6 障害児の学習権――特殊学級入級処分取消訴訟
- 7 子どもの市民的自由――内申書裁判
- 8 親の教育権---日曜日訴訟
- 9 親の教育権――七尾養護学校事件
- 10 教師の教育の自由――伝習館高校事件
- 11 教師の教育の自由と日の丸・君が代最高裁判決
- 12 新任教師と分限処分
- 13 住民の教育権――教育委員会制度と教育
- 14 教育基本法改正と教育法制
- 15 まとめ

テキスト、参考文献

テキストは指定しませんが、講義時に教育関係の小六法 を携行してください

評価方法

試験

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (国際法 1)(国際社会と私たち 国際法 a(国際社会と私たち)	5)	担当者	一之瀬	高博
講義目的、講義概要 「講義目的」 国際法の基礎的知識を学ぶとともに、国際社会において法がどのように機能しているかを考察する。 「講義概要〕 国際社会における法の規律のしかたとその特徴を、国際法上の主たる行為主体である国家を中心とした観点から学ぶ。具体的には、国際法規範の構造、国際法主体としての国家、国家責任、外交関係法、		授業計画 1 講義際 機のの 3 国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国国	成在みびけ政成追発態の国承要している所立及というでは、	規範	
海洋法などをとり		11 外交特権免 12 国家領域と 13 沿岸国の海 14 国際公立まと 15 講義のまと	しての海洋 洋管轄権の しての海洋	拡大	
テキスト、参考文献	t	評価方法			
テキスト: 横田洋三編『国	国際社会と法』有斐閣 2010 年	期末試験の成での課題レポー 評価対象にする	- ト・小テス	により評価し、 、トなどの成果	

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (国際法 2)(国際紛争を考える) 国際法 b(国際紛争を考える)		担当者	一之瀬	高博	
講義目的、講義概要 「講義目的」 国際法の基礎的 おいて法がどのよ 「講義概要」 国際法が、国際 なかたちで発展 に、そこに生じる	 義目的、講義概要 講義目的〕 国際法の基礎的知識を学ぶとともに、国際社会にいて法がどのように機能しているかを考察する。 講義概要〕 国際法が、国際社会のさまざまな分野にどのようかたちで発展しつつあるのかを概観するととも、そこに生じる紛争が、集団安全保障や裁判を通てどのように解決が図られているかについて考察 		日 講義の概要 2 国際法と戦争の違法化国連の集団安全保障 3 国連の集団安全保障 4 国連のもとでの武力行使に関する諸問題 5 平和的紛争解決と仲裁裁判 6 国際司法裁判所 7 国際機構・国際連合 8 国際機構の構造 9 国籍・外国人 10 難民・国際犯罪 11 国連による人権保障 12 人権条約 13 国際環境保全の諸原則と条約 14 講義のまとめ 15 講義のまとめ			
テキスト、参考文献 テキスト: 横田洋三編『国	関際社会と法』有斐閣 2010 年		-ト・小テス	により評価し、		

08 年度以降 現

現代社会1(会社と社員の関係)

担当者

市原 博

講義目的、講義概要

我々の人生にとって仕事は、ある意味でもっとも重要なものです。その人がどのような人であるかが、どのような仕事をしているかで決められることもごく普通に見られます。みなさんの多くは、その大事な仕事を企業の中に求めることになると思います。この授業では、日本企業とそこで働く社員(従業員)との関係がどのように変化してきて、現在どのようになっているのか、そこにどのような問題が生じているのかを、いくつかの側面から考察します。

具体的な内容は、①従業員は会社の中でどのような仕組みの下で働いているのか、また、どのような方法で評価されているのか、②従業員(特に大卒サラリーマン)の昇進はどのように行われてきたのか、③彼らの仕事の能力はどのように育成されてきたのか、④それらが最近どのように変化しているのか、といった事柄です。最近注目されている「ブラック企業」も取り上げます。

授業計画

- 1、イントロダクション-日本企業の人事制度と評価制度
- 2、キャリア展開の理論
- 3、日本企業の伝統的昇進選抜の実態1
- 4、日本企業の伝統的昇進選抜の実態2
- 5、映像資料(能力主義・成果主義人事制度)
- 6、成果主義人事制度の生成
- 7、成果主義人事制度の仕組み
- 8、成果主義人事制度の問題点と対策
- 9、日本企業の能力開発の仕組み
- 10、営業職の能力開発の事例
- 11、幹部候補生の早期選抜・育成の取り組み
- 12、専門的能力の育成策
- 13、映像資料(能力開発)
- 14、「ブラック企業」の実態
- 15、「ブラック企業」に負けない方法

テキスト、参考文献

テキストは特に指定せず、資料をプリントして配ります。 参考文献はたくさんありますので、項目ごとに授業中に指示しま す。包括的な文献としては、小池和男『仕事の経済学 第3版』 東洋経済新報社が挙げられます。

評価方法

おおよそ、授業への参加度 10%、小テスト・レポート 10%、 定期試験 80%で評価します。

08年度以降

現代社会1(非正規雇用を考える)

担当者

市原 博

講義目的、講義概要

近年仕事にかかわる問題としてもっとも注目を集めているのは、非正規で働く人々、特に若者が増えていることです。バブル崩壊偽の長期不況の中で、コスト削減のために非正規社員による正社員のの高校のために非正規社員による正社員のの高校の大力をできました。この実態はどのようなとのように生じたのか、その実態はどのように使用しているのか、また、非正規雇用に対する法的規制はどのようになっており、どのような改正が求められているのか、また、非正規雇用に対する法的規制はどのようになっており、どのような改正が求められているのか、また、非正規雇用として取り上げるのは、①ています。また、非正規雇用につきやすい女性社員の働き方、働かせ方についても取り上げます。

非正規雇用をめぐる問題を正しく理解し、自らの働き方を考え直す機会を提供するのはこの授業の目的です。

授業計画

- 1. イントロダクション-正社員と非正規とは何か
- 2. パート労働の増大と基幹パートの出現
- 3. 映像資料(基幹パート)
- 4. パート従業員の活用策とその問題点
- 5. パート労働法による規制とその変化
- 6. フリーターの増大
- 7. 映像資料 (フリーター)
- 8. フリーターの実態
- 9. フリーターから正社員への移行の条件
- 10. 派遣労働の仕組みと法的規制の変化
- 11. 映像資料 (派遣切り)
- 12. 派遣労働の実態
- 13. 女子社員の職務配分と均等処遇
- 14. 女子社員雇用への法的規制
- 15. ブラック企業の見分け方

テキスト、参考文献

テキストは特に指定せず、資料をプリントして配ります。 参考文献はたくさんありますので、項目ごとに授業中に指示しま す。

評価方法

おおよそ、授業への参加度 10%、小テスト・レポート 10%、 定期試験 80%で評価します。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (国際関係の構造と展開) 現代社会(III)(国際関係の構造と展開)			担当者	伊藤	兵馬
講義目的、講義概要	要	授業計画				
によって、国際関係現在の国際情勢への 講義の内容として る分析・解説を行いされたかを、現代の ていきます。	国際関係の構造と展開を検討すること系に関する知識を身につけるとともに、の認識と理解を深めることにあります。 では、はじめに、現在の国際情勢に関すい、そのような状況が如何にしてもたらの国際関係を紐解くことによって解明し	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	ア多多令や中中令朝ヨ中ベ南メ元極戦戦間間戦鮮一東トアリ化化後ののテの戦ロにナシ	カオオン 大は で か に で の に の に の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の	国 会 と とする世界 国際社会	
テキスト、参考文献 特定のテキストは他	▼ 吏用しません。参考文献を適宜紹介しま	評価方法 中間テスト	(309	%) および学	期末試験(70%)の成績に基
す。		づいて評価	iしまっ	す。		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (近現代の国際関係史) 現代社会(III)(近現代の国際関係史)			担当者	伊藤	兵馬
講義目的、講義概要	5	授業計画				
によって、国際関係 現在の国際情勢への 講義の内容として 現した 16 世紀から て発生した代表的	国際関係の構造と展開を検討することに関する知識を身につけるとともに、 の認識と理解を深めることにあります。 には、主権国家の理念がヨーロッパで出っ第二次世界大戦終結までの期間においな出来事や問題を時系列に沿って分こよって、現在の国際情勢に内包される目していきます。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	主各パ帝帝中中第第平第第戦権国ク国国間間一一和二二争	家お・義義まス世世安世界に大力の大大の大大の大大大の大大大の大大とり、戦戦回戦戦を後後をある。	司盟関係の成立 かぐる国際政治 の国際社会 かぐる国際政治 かぞと経過	の勢力拡大 の確立 の展開
テキスト、参考文献		評価方法				
参考文献: 有賀貞 『国際関係 大学出版会、2010	系史 16 世紀から 1945 年まで』(東京 年)	中間テストづいて評価		, · - · ·	期末試験(70%	ら) の成績に基

08 年度以降	現代社会1(東南アジアの開発と社会)		担当者	江藤 双恵		
講義目的、講義概要 講義目的 さまざまな発展状況にある地域の特徴を理解し、自らの 生活との関連づけて考察する。東南アジアの開発/発展と 社会の変化について、また文化的な影響について、グロー バルな視点とローカルな視点の両面から批判的に検討す る。 講義概要 東南アジア社会が直面する課題について、さまざまな視角から 紹介し、その解決のあり方について考える。また主としてタイを 事例に、開発/発展に関わる政府の政策、NGOsなどによるオル タナティブなアプローチについて紹介し、望ましい発展とは何か を考える。		第1回: 導入 地域研究的な思考方法について第2回: 東南アジアの地域的特徴第3回: 東南アジア地域研究の課題第4回: 東南アジア社会の多様性第5回: 東南アジア社会の多様性第5回: 東南アジアにおける都市と農村第7回: 東南アジアにおける開発政策第8回: オルタナティブな開発/発展観/思想第9回: 東南アジアにおける開発/発展と宗教第10回: 東南アジアにおける開発/発展と環境第11回: 東南アジアにおける開発/発展と労働力第12回: 東南アジアにおける開発/発展と家族・子ども第13回: 東南アジアにおける開発/発展と女性第14回: 東南アジアにおける開発/発展と女性第14回: 東南アジアにおける開発/発展と女性第15回: まとめ定期試験				
テキスト、参考文献 『地域研究』(JCAS Review) Vol.7 No.1 (2005年6月発行) 北川隆吉監修『地域研究の課題と方法 アジアアフリカ社 会研究入門』 文化書房博文社 (2006年) 大泉啓一郎 著 『老いてゆくアジア』中公新書 (2007年)		評価方法 定期試験が 60 パーセント、授業中に提出された課題を パーセントとして総合的に判断する。				

			担当者	
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
テキスト、参考文献	*	評価方法		
, , , , , , , , , ,		11 IM/2 /		

08 年度以降	現代社会 1 (韓国政治論)		担当者	呉 吉煥(オー・キルハン)
めることが目的では 韓国現代政・展開 文化の形成・展開 文化とは、政治のが 観念、である。朝鮮 したとされていたのでは 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	半島の政治や政治文化に対する理解を深 ある。 理解には、とりわけ朝鮮半島における政 引過程に対する検討が重要である。政治 あり方を規定するイデオロギー、伝統、 いなどの政治過程に関わる一切の文化の 半島の政治文化は近代以後に大きく変貌 その根幹となるものはすでに前近代に形 ある。 前近代の朝鮮史を、政治の展開過程を中 そこで形成された政治文化とその特徴 として近代以降については、政治の展開	2回 朝鮮半島(3回 古代統一] 4回 高麗王朝(5回 朝鮮王朝(6回 儒教の植] 8回 米軍政と同 9回 第1共年 9回 第1 11回 軍事独記	こ国国の子民有国命一哉とけお家と建学地北ととデと明知と配断鮮2一4分明第2一4とに、政朝期 戦共と共とに、政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・政・	王朝の政治文化 政治 国の政治 3 共和国の政治 国の政治 5 共和国の政治
	ば をしない。毎回プリントを配布して授業 状については、授業中に紹介する。	評価方法 授業への参加度	: 50%、期	末試験:50%

		_	担当者	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
テキスト、参考文献	*	評価方法		

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	#	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (地域メディア論) 比較文化論 b(地域メディア論)	担当者	岡村 圭子
--------------------	--------------------------------------	-----	-------

講義目的、講義概要

Think Globally, Act locally というフレーズを一度は耳にしたことがあるだろう。そこに示されているように、多文化共生やグローバル化、さらには環境問題や福祉の問題を考えるうえで、「地域」もしくは「ローカル」は重要なキーワードのひとつである。それを頭に置いたうえで、本講義を受講してほしい。

本講義で扱うローカル・メディア(地域メディア)は、ある特定のエリアにおける情報を伝える媒体、すなわち『Tokyo Walker』や『散歩の達人』などの地域情報誌や、各地域・地方で発行されているミニコミ誌、クーポン付きのフリーペーパーなどの紙媒体、さらに FM、CATV、ウェブサイトも含む。さらに、各地のエスニック・コミュニティで発行されているエスニック・メディアもここではローカル・メディアとしてとりあげたい。それらが、多文化が共生する社会においてどのような役割を果たしてきた/いる/いくのか、またどういった機能がそこに要求されているのかについて、受講者とともに考えてゆきたい。

学期の後半は、受講者自身が制作したローカル・メディアを提出・発表してもらう。

授業計画

- 1. イントロダクション
- 2. グローバル化とローカルコミュニティ
- 3. 地域・地方文化の復権とメディア
- 4. 各地のローカル・メディア(1)
- 5. 各地のローカル・メディア (2)
- 6. 各地のローカル・メディア (3)
- 7. メディアによる地域文化の創造(1)
- 8. メディアによる地域文化の創造(2)
- 9. 多文化共生とローカル・メディア(1)
- 10. 多文化共生とローカル・メディア(2)11. 災害時におけるローカル・メディアの役割
- 12. 受講者による発表(1)
- 13. 受講者による発表(2)
- 14. 受講者による発表(3)
- 15. まとめ

評価方法

テキスト、参考文献

岡村圭子『ローカル・メディアと都市文化』ミネルヴァ書 房

レポート (50%) と授業内での作品発表 (50%) 【履修者多数の場合は期末テストを行う】

08年度以降 現代社会1(社会学a) 担当者 岡村 圭子 07年度以前 社会学a(他者と自己) 講義目的、講義概要 授業計画 1. イントロダクション 私たちのまわりには、さまざまな他者がいる。電 2. 社会学的視座とは 車で隣に座った人も他者であり、家族や親しい友人 3. 社会学の歴史(1)—A.コント、H.スペンサー も、ある意味では他者である。たいていの場合、他 者は自分の思い通りに動いてはくれない。しかし、 4. 社会学の歴史 (2) — E.デュルケム 多少なりともそういった他者と社会的関係を持たな 5. 社会学の歴史 (3) — M.ウェーバー くては、私たちは生活できない。社会は、他者とと 6. 社会の類型(1) ― コミュニティとアソシエーション もに生きる世界である。それゆえ、社会を扱う学問 7. 社会の類型(2) - ゲマインシャフトとゲゼルシャフト である社会学では「他者 other(s)」が重要なキー概念 となっている。さらに、他者について考えることは、 8. 社会の類型(3) ---第一次集団 「自己(わたし)」について考えることでもある。 9. Identity形成と社会(1)—鏡に映った自己 本講義では、社会学の基礎知識をふまえたうえで、 10. Identity形成と社会(2)——重要な他者 先行研究を現代的な文脈で考えてみたい。本講義の 11. Identity形成と社会 (3) — マージナル・マン ねらいは、社会学という学問が、どういった経緯で 成立したか、また社会学的視点とはどういったもの 12. Identity形成と社会(4) — 未定 か、さらに社会集団の類型やアイデンティティ形成 13. 補完的アイデンティティについて のメカニズムについて学び、それをとおして社会の 14. 他者と自己の社会学 なかに生きる「他者と自己」の関係を考えることで 15. まとめ テキスト、参考文献 評価方法 G.ジンメル『社会学の根本問題 (個人と社会)』世界思想社 E.デュルケム『自殺論』中央公論社 授業への積極性(50%)と授業内/期末レポート(50%)

講義目的、講義概要

G.H.ミード『社会的自我』恒星社厚生閣

わたしたちが日常的に行っていることや考えていることを、あるいは、他者とともに過ごすときに生じる様々な問題を、社会学的な見方から分析してみるとどうだろうか。それまで見えていなかったことが見えてくるかもしれない。それまで気づいてさえいなかったことが、突然気になりだすかもしれない。

M.ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

本講義では、近代の都市社会が抱えてきた問題を めぐる社会学の研究業績を学び、それを手がかりに しながら、わたしたちにとっての身近な出来事を社 会学的に考えてみたい。おもに「都市」「移民」「地 域」「大量消費」といった概念を中心に扱う。

受講者には、グローバリゼーションのもとで日本 社会がこれから直面する課題とはなにか、そこから どのようなネットワークがあらたに生まれるか/必 要とされてくるのかについても同時に意識してもら いたい。

授業計画

- 1. イントロダクション
- 2. 社会的性格と「自由からの逃走」——E.フロム

【履修者多数の場合、期末試験を行う】

- 3. 同調様式の3類型——D.リースマン
- 4. 都市化と移民---W.I.トマスとF.W.ズナニエツキ
- 5. 同心円地帯説——E.バージェス
- 6. シカゴ学派と都市問題——R.パーク
- 7. 予言の自己成就——R.K.マートン
- 8. 誇示的消費——T.ヴェブレン
- 9. 認知的不協和の理論——L.フェスティンガー
- 10. 文化的再生産——P.ブルデュー
- 11. コンフルエント・ラブ—A.ギデンズ
- 12. 現代社会と社会学(1)情報技術とメディア
- 13. 現代社会と社会学(2) グローバル化
- 14. 現代社会と社会学(3) ローカル化
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

E.フロム『自由からの逃走』東京創元社 D.リースマン『孤独な群集』みすず書房 W.I.トマス、F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房 A.ギデンズ『親密性の変容』而立書房 ほか

評価方法

授業への積極性 (50%) と授業内/期末レポート (50%) 【履修者多数の場合、期末試験を行う】

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (民法 1) 現代社会(Ⅲ)(民法 a)		担当者	小川	佳子
なかかわりを持ちたか、何のためにした後にし、今日のたりので解説した後は、今日の折な民事である。	たは、あらゆる法に囲まれ、法と密接ながら生きているが、そもそも法とは何るのか。さらに、裁判とは何か。これら後、民法についての講義を行う。後半で事件について説明を行う。なお、講義を法制度や民法にかかわるニュースについまである。	授業計画 1 2 法と関係 と で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ような法律だ な法律だ ような法律 と 送り は 当 が は り は り は り は り は り は り は り ば り ば り ば り	(2) (3) (1) (2) 1) (2) 1) (2)	
テキスト、参考文献 最新版の六法	Χ	評価方法 原則として期末記 場合はその他の			

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (民法 2) 現代社会(Ⅲ)(民法 b)		担当者	小川 佳子
民事紛争の解決は	民法についての解説を行う。秋学期ではどのように行われるのかについてまず が期で触れられなかった類型の民事事件		深決方法とは、 表 素 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料 料	* * /
テキスト、参考文献 春学期に同じ	犬			る。ただし特段の事情のある 行うことがある。

 08 年度以降
 現代社会1(社会科学概論1)

 07 年度以前
 現代社会(Ⅲ)(社会科学概論 a)

 担当者

 堅田 剛

講義目的、講義概要

「社会科学」は法学・政治学・経済学等の総称ですが、 実は人間社会についての総合的・学際的な学問という性格 を有しています。この意味での社会科学には人文科学も含 まれます。法や政治や経済を、完成した制度としてではな く、生きた人間関係に引き戻して見直してみましょう。こ の授業をつうじて、学生諸君が主体的に考えるヒントを提 示できればと思います。

春学期は、テキストとして松元雅和氏の『平和主義とは何か』を用います。同氏は、政治哲学の観点から平和について論理的に考察しています。また逆説的ながら、「戦争」について真面目に考えることによって、「平和」に内在する諸問題を冷静に論じているように思えます。数ある平和論の中でも優れた研究であり、とくに義務論や正戦論や人道主義論は法哲学にも多くの示唆を与えてくれます。

講義では、テキストに即しながら、社会科学的諸問題を一人ひとりの生き方の問題として、批判的に捉え返してみます。単にテキストを解説するのではなく、私の考えを積極的に織り込むつもりです。学生諸君も、この授業では「覚える」よりも「考える」ことを目指してください。

授業計画

- 1. 授業の概要
- 2. 愛する人が襲われたら――平和主義の輪郭
- 3. 同上(続き)
- 4. 戦争の介入は許されるか――義務論との対話
- 5. 同上(続き)
- 6. 戦争はコストに見合うか――帰結主義との対話
- 7. 同上(続き)
- 8. 正しい戦争はありうるか---正戦論との対話
- 9. 同上(続き)
- 10. 平和主義は非現実的か――現実主義との対話
- 11. 同上(続き)
- 12. 救命の武力行使は正当か――人道介入主義との対話
- 13. 同上(続き)
- 14. 結論と展望
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

松元雅和『平和主義とは何か――政治哲学で考える戦争と 平和――』(中公新書、2013年) ※参考文献は、必要に応じて授業の中で紹介します。

評価方法

「レポート点」50%+「期末試験点」50%。 レポートについては、「中間レポート」としますが、添削 したうえで、再提出の機会を設けます。

08 年度以降 現代社会 1 (社会科学概論 2) 07 年度以前 現代社会(Ⅲ)(社会科学概論 b)

担当者

堅田 剛

講義目的、講義概要

「社会科学」は法学・政治学・経済学等の総称ですが、 実は人間社会についての総合的・学際的な学問という性格 を有しています。この意味での社会科学には人文科学も含 まれます。法や政治や経済を、完成した制度としてではな く、生きた人間関係に引き戻して見直してみましょう。こ の授業をつうじて、学生諸君が主体的に考えるヒントを提 示できればと思います。

秋学期は、テキストとして先崎彰容氏の『ナショナリズムの復権』を用います。ナショナリズムの諸問題は反民主主義的なものとして、とかく社会科学から疎外されがちですが、日本思想史の観点からは看過するわけにはいきません。我が国の戦後民主主義は、ひたすら西洋的近代を追求するあまり、足下のナショナリズムを否定して宙ぶらりんな民主主義に幻惑され続けてきたといえるでしょう。

講義では、テキストに即しながら、社会科学的諸問題を一人ひとりの生き方の問題として、批判的に捉え返してみます。単にテキストを解説するのではなく、私の考えを積極的に織り込むつもりです。学生諸君も、この授業では「覚える」よりも「考える」ことを目指してください。

授業計画

- 1. 授業の概要
- 2. ナショナリズムへの誤解を解く
- 3. 同上(続き)
- 4. 私の存在は、「無」である――ハナ・アーレント『全体主義の起原』
- 5. 同上(続き)
- 6. 独裁者の登場――吉本隆明『共同幻想論』
- 7. 同上(続き)
- 8. 「家」を見守るということ――柳田国男『先祖の話』
- 9. 同上(続き)
- 10. ナショナリズムは必要である――江藤淳『近代以前』
- 11. 同上(続き)
- 12. 戦後民主主義とは何か――丸山眞男『日本政治思想史研究』
- 13. 同上(続き)
- 14. 戦後思想と死の不在――ナショナリズムの「復権」
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

先﨑彰容『ナショナリズムの復権』(ちくま新書、2013年) ※参考文献は、必要に応じて授業の中で紹介します。

評価方法

「レポート点」50%+「期末試験点」50%。 レポートについては、「中間レポート」としますが、添削 したうえで、再提出の機会を設けます。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (ジェンダーと生活世界) 女性学 a(ジェンダーと生活世界)		担当者	片山 亜紀
講義目的、講義概要	5	授業計画		
の主な社会システス はこうという考えた 日本を中心としなた 場面に浸透してい を、日常生活はと思い 〈講義概要〉ほぼこ を使いながら解説し 現ないし性暴力表明 おきください。また てもらうことがあり *2010-12年度に「	こ回で1トピックを扱い、データや映像 します。講義の内容上、映像には性的表 見が含まれることがありますが、ご承知 と、不定期に授業内でレポートを作成し	5~6. 労働と 7. 教育とジェン 8~9. 日常生 10~11. 国 12~13. 身付 14~15. フ	とらえなおす ジェンダー ジェンダー 大きジェンダ まとジェンダ 本とジェンダ エミニズムと	
テキスト、参考文献	†	評価方法		
参考文献は授業中に	と提示します。	***************************************		期末試験約7割。ただし欠席 合、評価対象としない

			担当者	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
テキスト、参考文献	*	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (日本国憲法) 日本国憲法(憲法と私たち)		担当者	加藤 一彦
講義目的、講義概要	5	授業計画		
センスを磨くため、 あてる。 問題意識を持って <講義概要> 憲法概念からはし 人権侵犯事件(憲法 勉強する。 最初の講義で「当 <受講生への要望 ン	を行う。「教師」にとって不可欠な人権 講義の多くを人権に関する判例分析に ご講義に参加されたい。 ごめ、憲法 26 条までを講義範囲とする。 法の判例)をもとに、日本の人権状況を 予定表」を配布する。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.	・リスを ・リスを ・大人を ・大と ・大と ・大と ・大と ・大と ・大と ・大と ・大と	法概念 教の自由 教分離 問の自由 現の自由(1) 現の自由(2)
テキスト、参考文献		評価方法	,	
	€憲法 15 話 [改訂 2 版]』(北樹出版) 所憲法判例特選』(敬文堂) 仕は問わない)	定期試験に。	よる。	

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (日本国憲法) 日本国憲法(憲法と私たち)			担当者	ţ	加藤 一彦
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画				
センスを磨くため、 あてる。 問題意識を持って *講義概要 トらはし 大権強する。 最初の講義で「当 *受講生への要望 『六法』は、必ず	ド毎回もってくること。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 0. 11. 12. 13. 15. 15. 15.	六人憲去请请请请人生生法権法の神神神神神身会会の総制下的的的的的の権権	元 定略史 の由由権/官 自由権 (政 自由権 (学 自由権/表 1 自由権/表	生概念 数の自 動 動 動 動 動 の 自 自 由 し 見 の 自 自 由 し し し し し し し し し し し し し	
	養憲法 15 話 [改訂 2 版]』(北樹出版) 所憲法判例特選』(敬文堂)	定期試験による。				

08年度以降	現代社会 1 (現代の企業経営)		担当者	上坂 卓郎
講義目的、講義概要	E	授業計画		
となる「企業経営習得をめざす。 さや見方を形成する 図している。講義 スにして進める。 やニュース等でんる。	全企業人として仕事をする上で必要 宮」に関する経営学の基礎的知識の また諸君の企業に対する関心の惹起 るための契機になるような講義を意 遠はテキスト、ハンドアウトをベー なお講義と並行して日頃より新聞 企業の動向に関心を持つことを勧め 会や途中退出は原則として認めませ	1 変 会 会 会 経 経 マ 人 財 財 コ 経 ま す 10 と の の 11 財 コ 経 ま す 13 2 2 3 2 3 4 3 4 3 5 6 6 7 8 8 2 9 7 10 り	企業経済(1) (2) (2) (2) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	ī (2)
テキスト、参考文献	X	評価方法		
テキスト: 高橋宏幸 また参考資料を適宜	E他『現代経営入門』有斐閣を使用する。 I配布する	定期試験による。	追試、レポート	トは行わない(4年生は注意する

08 年度以降	現代社会1 (基礎から学ぶマネジメン	h)	担当者	高松 和幸
とする。概念。概念 。概念 。概念 。概念 。概念 。概念 。概念 。概念 。 を組織な事く に考え を一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ジメントの基礎概念を理解するこ レベルとしての企業や経営、で や性や事業有効性等についるこので を性やさしてが明する。そこかかい。 そのようなものかいではいからかい。 そのなどはどのようながい。 を基本を関を取り上げる。からなどは、マネ関を関がでとがする。とはどのようがといるがはないがではないがでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないないでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないないでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	2. マネジンの 4. マネジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ト仕トグと るョョし調えギト たと組・ル生 人ンンて達スフの 知何とバプシ 行 仕雇 「ロ はか組ナ 差ス 動 組用 を コロは なか 強った きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょうき	カスス 本 音 本 本 音 中 毛 市民」としての企業 ティア・・この領域でこれまで 営利組織をはじめ、より広い組 分析用具として活用されてい
テキスト、参考文献 適宜、プリント配名 拙著『経営組織論の	ਜ਼	評価方法 レポート重視(打	受業中,クイ	ズ等も行う)

08年度以降 現代社会1(地理学1)(世界の自然環境と文化) 担当者 北﨑 幸之助 07年度以前 地理学 a(世界の自然環境と文化) 講義目的、講義概要 授業計画 1. オリエンテーション―地理学とは 地理学の扱う内容は多岐にわたる。本講義では、居住環境 が人間にとって、どのような意義をもっているのかという 2. 環境の諸要素(1)気候環境 視点から、世界の諸地域を概観し、地理的な知識と地理的 3. 環境の諸要素(2)緯度帯別降水量・蒸発量・気温 見方・考え方を身につけることを目的とする。まず、環境 4. 環境の諸要素(3)地形・植生 の諸要素を概観し、熱帯地域、沙漠地域、地中海森林地域 5. 熱帯地域(1)熱帯林と伝統的生活様式 を取り上げ、人間の活動の舞台である自然環境と、そこで 6. 熱帯地域(2)熱帯林の開発と環境問題 繰り広げられている人々の生活様式を説明する。なお、履 7. 熱帯地域 (3) 熱帯林の保全 修に際しては、地球環境問題に対して高い関心のある、意 8. 沙漠地域(1)自然的・文化的特色と伝統的経済活動 欲的な学生を希望する。 9. 沙漠地域(2)石油資源と近代化、沙漠の開発 10. 地中海森林地域の特性 11. 地中海地域の生活様式-西欧文化の原点 12. 地球環境問題に対する視点(1) 13. 地球環境問題に対する視点(2) 14. まとめ(1) 15. まとめ(2) テキスト、参考文献 評価方法

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (地理学 2)(世界の自然環境と文化) 地理学 b(世界の自然環境と文化)	担当者	北﨑 幸之助
--------------------	---	-----	--------

講義目的、講義概要

未定

地理学の扱う内容は多岐にわたる。本講義では、居住環境が人間にとって、どのような意義をもっているのかという視点から、世界の諸地域を概観し、地理的な知識と地理的見方・考え方を身につけることを目的とする。秋学期の講義は、まず地形環境を概観し、温帯草原地域、温帯混合林地域、亜寒帯森林地域、山地地域を取り上げ、人間の活動の舞台である自然環境と、そこで繰り広げられている人々の生活様式を説明する。そして最後に、深刻化する地球環境問題を取り上げ、今後の人間生活と自然環境との共生方法について理解を深める。なお、履修に際しては、地球環境問題に対して高い関心のある、意欲的な学生を希望する。

授業計画

- 1. 環境の諸要素―地形環境
- 2. 温帯草原地域の自然特性
- 3. 温帯草原地域の開発と環境問題

等を加味して、総合的に評価する。

4. 温帯混合林地域(1)高密度都市化地域の特性

期末定期試験の結果 (75%) に、授業への参加度 (25%)

- 5. 温帯混合林地域(2)産業革命と都市域の拡大
- 6. 亜寒帯森林地域(1) タイガの中の生活
- 7. 亜寒帯森林地域(2) タイガの開発と保全
- 8. 山地地域(1)山地の自然環境と高度帯の利用
- 9. 山地地域(2)山地資源の開発と観光化
- 10. 地球環境問題(1)生態系と人間活動
- 11. 地球環境問題(2)自然環境の破壊
- 12. 地球環境問題(3)環境問題解決にむけた取り組み
- 13. 地球環境問題 (4) 私たちにできること
- 14. まとめ(1)
- 15. まとめ(2)

テキスト、参考文献

未定

評価方法

期末定期試験の結果 (75%) に、授業への参加度 (25%) 等を加味して、総合的に評価する。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (経済学 1)(はじめての経済学) 経済学 a (はじめての経済学)		担当者	黒木 亮
講義目的、講義概要	5	授業計画		
にある。具体的な経 ら、複雑な経済現象 わち経済学の基本を 講義の概要 テキストである。 I. ミクロム経済 III. マクロ 経済 IV. 日本の経済	・ ウラスカ 学の基本 をマクロの視点でとらえる マとその順番は、下記のテキスト上巻の	2. 民営化・規 3. 市場はこう II. 5. ゲーム理論 6. 囚人のジレ 7. コミットメ 8. 出店戦略分 III. 9. GDPを中小 10. 需要と供約 11. マクロ経約 IV. 12. 日本経済の	は制緩和の経済であると、 はいことにでいる。 はいことにいる。 はいる。 はい	する る ス 済を考える ール――財政金融政策の役割 ―石油ショックと変動相場制 化――プラザ合意前後
テキスト、参考文献	t	評価方法		
伊藤元重『はじ》	りての経済学(上)』日本経済新聞社.	レポート・期ま	 末試験のいず	れか、ないし両方。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (経済学 2)(はじめての経済学) 経済学 b (はじめての経済学)		担当者	黒木 亮	
講義目的、講義概要	Ę	授業計画			
解に即してマスター 企業や産業、ビジネ 具体的な事例や経済	議の目的 I. 講義の目的は、春季に習得した経済学の基本を、現実理 1. ガミに即してマスターしてもらうことにある。財政や金融、 2. 公業や産業、ビジネスや労働、国際経済や為替の動き等々、 3. 財 4. 自磨きをかけてもらいたい。 5. 景 6. ブ		 ガイダンス 経済学とはどのような学問か 公共部門の三つの機能 財政支出と累進課税 自然独占と公共財 景気対策と日本の財政状況 プライマリーバランス 財政の未来を考える 		
講義の概要 テキストに沿って である。	下記のテーマに関する講義を行う予定	II. 7. 貨幣のもつ 8. マネースト 9. 信用乗数と 10. バブルの	・ックと金融呼 資産市場の会	24214	
I. 公共部門の II. 金融システ III. 国際経済を (なお以上のテーマ 第VI・VII・IX章に対	ムを理解する 見る目を養う マとその順番は、下記のテキスト下巻の	12. 為替相場 13. 企業の戦	国際収支表の基本 為替相場の仕組みとその動向 注業の戦略および収益と為替の関係 上較優位——国際的な自由貿易の恩恵 ミとめ		
テキスト、参考文献	t	評価方法			
伊藤元重『はじ&	かての経済学(下)』日本経済新聞社.	レポート・期ぇ	 末試験のいず	れか、ないし両方。	

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (日本国憲法) 日本国憲法(憲法と私たち)		担当者	古関	彰一	
従って、日本国憲法 15回という制約かな論点を講義するこ 春学期だけで憲法 ことですが、以下の	生全般を講義することになります。 法の人権と統治機構全般に及びますが、 がありますので、人権と統治機構の主要 ことになります。 全般を講ずることはかなりむつかしい のような計画案で行います。	2 3 4 5 6 7 8 9 1 0 1 1 2 1 3 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4	対象のでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、これでは、「ないでは、「ないでは、」には、「ないでは、「ないでは、」には、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、」」には、「ないでは、「ないでは、」」には、「ないでは、」」には、「ないでは、」は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	権の歴史 の構造 と憲法9条 条約の構造 条適用と公共 生的性格と選	一 挙定数 ライバシー 例	2)
芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法・第五版』(岩波書店、春堂				試験期間中に	論述試験を行い	、それにより

			担当者	
講義目的 講義概要	Ę C	授業計画		
テキスト 参考文献	#	評価の方法		

08年度以降 現代社会1(歴史の中のメディア) 担当者 柴崎 信三 07年度以前 現代社会(Ⅲ)(歴史の中のメディア) 授業計画 講義目的、講義概要 人間の歴史の中でメディアは、人の声による意思の伝達 から活字印刷の発明、電信、映像、電波、コンピューター 1 はじめに と情報技術の進化に伴い大きく姿を変えた。同時にそれは 2 グーテンベルクの革命 ピュリツァーと<新聞戦争> 人の思考や行動、個人と国家や社会のかかわりに大きな影 3 4 ロイターと大英帝国の覇権 響をもたらした。この授業では個人と社会かかわりの変化 5 視覚の二○世紀 をメディアの歴史のなかに探りながら、社会と人間のあり 6 メディアとプロパガンダ ようを考える。活字印刷の発明で大量の情報が同時に広く 7 戦争・国益・メディア 人々に行き渡るようになり、新聞や雑誌という活字メディ 8 グローバリゼーションと情報 アの勃興が民主主義の発展を促した。 9 メディア複合体のゆくえ 19世紀後半から20世紀にかけては、電信などの通信技 10 テレビとネット 術の開発と写真や映画、ラジオやテレビといった映像と音 11 エンターテインメントとメディア 声による情報伝達が広がると、人々を取り巻く情報環境は 12 民主主義とメディアモデルの揺らぎ -変して人間の感覚と社会を密接につないだ。さらにイン ターネットが切り開いた 21 世紀の空間は、グローバルな 13 情報の価値―著作権と無償の情報 ネットワークと伝達のスピードや個人の自在な情報のや 1 4 メディアのなかの人間 15 まとめ りとりを可能にし、社会の価値観や規範まで揺るがせてい る。この授業ではこうしたメディアの変遷をたどりなが ら、個人と国家や社会との関係や、民主主義と市場経済と いうシステムとのかかわりなどこれからの人間とメディ アの姿を見つめたい。

命という仲苗』(相書房) を参	考又厭とする。	長顔(20%)	を勘案して評価す	ఏ 。

07 年度以前 現代社会(Ⅲ)(メティアと現代社会)	08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (メディアと現代社会) 現代社会(III)(メディアと現代社会)	担当者	柴崎 信三
------------------------------	--------------------	--	-----	-------

評価方法

授業計画

講義目的、講義概要

各回、資料を配布する。ジョアンナ・ヌーマン『情報革

インターネットの情報空間は、活字や映像、電波などご れまでのメディア社会のモデルを揺るがせている。個人が 世界へ自在に情報をやりとりできるインターネットと新 たな情報端末の普及は、人々の生活様式や価値観をさまざ まな領域から変えつつある。これまでマスメディアが依拠 してきた社会モデルと、新たなメディアの急成長がもたら す問題を通して、民主主義と市場社会における「公共性」 の行方を考えたい。

マスメディアは個人と民主主義や市場を支えるシステ ムを結んで情報を伝達し、社会が共有する「公共財」を生 み出してきた。世論や政策の形成、市場における消費や文 化的な価値の創造に大きな影響力をもたらすこの機能は、 - 方で立法や司法、行政の三権になぞられて「第4の権力」 と呼ばれてきた。

民主主義の下の国民の要求を代行するという立場で既 存メディアが情報を独占してきたのは、「公益性」の追求 という使命がそこに認められてきたからだ。電子メディア という新たな競争者の台頭で、旧メディアはその社会的機 能や影響力の翳りが問われる。報道を巡る「表現の自由」 と個人の「プライバシー」の権利の対立、「知る権利」と いうメディア報道の法的基盤の揺らぎなど、具体的な争点 を通して新旧メディアを考える。

- 1 はじめに ジャーナリズムの誕生
- 調査報道と「知る権利」 3
- 4 「表現の自由」と社会
- 5 誤報と虚報はなぜ生まれるのか

定期試験の成績(80%)に、通常の授業なかで課すリポ

- 6 「世論」とメディア
- 7 情報操作はなぜ行われるのか
- 8 公共性とメディアの倫理
- 9 テレビー放送と通信の融合
- 10 外交と情報摩擦
- メディアの再編と市場 1 1
- 12 国家機密と情報漏洩
- 13 メディアと文化
- 14 ネット社会と「公共圏」の行方
- 15 まとめ

テキスト、参考文献

テキスト、参考文献

各回、資料を配布する。佐藤卓巳『メディア社会』(岩 波新書)を参考文献とする。

評価方法

定期試験の成績(80%)に、通常の授業のなかで課すリ ポートの実績(20%)を勘案して評価する。

08年度以降 現代社会1(グローバリゼーションを巡って) 担当者 柴崎 信三 現代文化論 a(グローバリゼーションを巡って) 07年度以前 講義目的、講義概要 授業計画 古来、文明史はグローバリゼーションの歴史の集積でも 1 はじめに あるが、米国がこの百年ほどの間に世界に及ぼしたものは きわめて大きい。9/11、リーマンショックなどの直近の大 文明のかたち 3 「帝国」と覇権 きな出来事から振り返って、とくに20世紀の世界に米国 フランクリン型人間像 4 文化がもたらしたものの意味を考える。 トクヴィルが見た米国 言語、宗教、生活習慣、社会システム、人々の価値観な 5 ど「文化」がかかわる領域は幅広い。20世紀の社会はそれ 6 WASPと移民国家 7 ロックフェラーと石油の世紀 ぞれの国や地域の固有性に根ざしながら、民主主義という 8 大量生産・大量消費の文化 統治の仕組みから市場経済システムのありかたや大量消 9 冷戦と「豊かな時代」 費の文化など、米国というモデルの強い影響力の下で統合 されてきたとみることができる。 10 「信頼」と社会

21世紀の今日、その米国の文化的な覇権が揺らいでいることは、9/11から金融危機や国際秩序の混乱を見るまでもない。日本や欧州諸国に比べれば、米国の歴史は浅く、その若い人工的な国家が超大国となって20世紀の覇権を世界にもたらしてきた文化的な影響力の由来とその限界を、歴史にさかのぼって考える。国家や民族、地域の文化が持つ固有性と、それを飲み込む普遍性を通してグローバリゼーションの意味を学びたい。

- 11 「大きな政府」から「小さな政府」へ
- 12 米国標準とソフトパワー
- 13 アメリカンシステムと金融危機
- 14 主役はどこへ-文化の覇権の行方
- 15 まとめ

テキスト、参考文献

各回、資料を配布する。渡辺靖『文化と外交』(岩波新書)を参考文献とする。

評価方法

定期試験の成績 (80%) に加えて、通常の授業で課する リポートの実績 (20%) を勘案して評価する。

 08 年度以降
 現代社会1(日本の表象と世界)

 07 年度以前
 現代文化論b(日本の表象と世界)

担当者

講義目的、講義概要

「日本」とは何だろう。われわれの生きている場は、それぞれの言語や風土、民族や宗教、伝統と文化の下に置かれている。現代社会はこうした固有の環境がグローバリズムという大きなうねりと衝突し、あるいは融合して変化しながら、新たな文化のかたちとなった。

中国文明の強い影響と極東の島国という地理的な条件の下で、日本は古来独特の文化を育んできた。外来の知識や技術の積極的な受け容れとその固有の風土への融合による、ハイブリッド(混合)型の文化がその特徴といわれる。明治維新以降の日本は近代化を進めた結果、アジアの先頭を切って西欧列強へ仲間入りした。近隣諸国の植民地化と敗戦という負の遺産を超えて、戦後に果たした復興と経済大国への道には、そうした日本の文化的な特質が少なからず寄与している。

近代の日本というモデルを通して、文芸や美術などの表象から社会システムや技術のありかたなど、その「文化」のさまざまな現れ方を探り、グローバリズムと伝統や固有の価値とのかかわりを考える。グローバル化の波に異文化がどのように向き合ってきたかを問うとともに、普遍的な価値と固有の価値のダイナミックな交渉とその葛藤のプロセスをそこで学んでゆきたい。

授業計画

- 1 はじめに
- 2 脱亜入欧とジャポニスム
- 3 「蝶々夫人」と武士道
- 4 日本型システムの起源
- 5 天皇制という仕組み
- 6 敗戦とアメリカの影
- 7 1955 年体制と戦後日本
- 8 MADE IN JAPAN
- 9 高度成長と中流社会
- 10 ブランドと消費社会
- 11 日本礼賛と日本たたき
- 12 表象としての日本
- 13 <日本>という価値
- 14 グローバリズムと文化
- 15 まとめ

テキスト、参考文献

各回、資料を配布する。夏目漱石『三四郎』(岩波文庫)、 ロナルド・ドーア『働くということ』(中公新書)を参考 文献とする。

評価方法

定期試験の成績 (80%) に加えて、通常の授業で課する リポートの実績 (20%) を勘案して評価する。

			担当者	
講義目的、講義概要	授業計画			
テキスト、参考文献		評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (N G O 論) 現代社会(Ⅲ)(N G O 論)	担当者	清水 俊弘
--------------------	--------------------------------------	-----	-------

講義目的、講義概要

紛争解決や平和の実現、人権、環境、開発(貧困)問題など、国境を越える地球規模の公共的な課題に自発的、積極的に取り組む市民を主体とした活動が注目されている。

この講座では非政府組織、NGOの活動に着目し、具体例を元に、問題の捉え方、関わり方に関する多様な視点を養うことを目標とする。

この講座では、紛争問題では、イラク、アフガニスタン、パレスチナなどの現地における活動を題材にしながら、考える視点や安全対策など具体的な事例をもとに活動のあり方を考える。また、開発問題では復興から開発期に入ったカンボジアやラオスを事例に、開発のプロセスで起こる様々な人権侵害、自然破壊などについて考える。また、復興、開発期における政府開発援助(ODA)の諸問題についても具体的な事例をもとに検証する。

また、こうした紛争地等で活動するNGOが、力を合わせることで、世界を動かす力を発揮する事例として、対人地雷全面禁止条約の成立過程(オタワプロセス)やクラスター爆弾禁止条約の成立過程における市民社会の役割についても詳しく説明する。

授業計画

- ①NGO 論オリエンテーション
- ②~③「対テロ戦争」と市民社会 I/アフガニスタンの現 状と NGO の活動
- ④~⑤「対テロ戦争」と市民社会 II/イラクの現状と NGO の活動
- ⑥パレスチナ問題とNGOの取り組み
- ⑦東アジアの平和と市民交流
- ⑧NGOによる復興・開発協力の事例 (カンボジア)
- ⑨ミレニアム開発目標 (MDGs) とラオスにおける森林保全
- ⑩アフリカにおける HIV/AIDS の原状と NGO の取り組み ⑪政府開発援助と NGO
- ⑩~⑬非人道兵器の禁止と市民社会Ⅰ対人地雷の廃絶キャンペーンに学ぶNGOのネットワーク
- ⑭非人道兵器の禁止と市民社会 II クラスター爆弾禁止条約の成立過程に学ぶ市民社会の役割
- ¹³NGOの組織運営と資金

テキスト、参考文献

テキスト:日本国際ボランティアセンター著『NGO の選択』めこん 2005 年

参考文献:清水俊弘著 『クラスター爆弾なんてもういらない』合同出版 2008 年

評価方法

平常点、授業への参加度、課題提出などの実績 (30%) 及び期末考査 (小論文またはリポート) の結果 (70%) を評価対象とする。

08 年度以降 07 年度以前 現代社会1(コトバと社会)

現代社会(Ⅲ)(コトバと社会・言語文化概論)

担当者

下川 浩

講義目的、講義概要

異なる言語を話す民族は、違ったものの見方・考え方を し、違った行動のしかた・生活のしかたをします。

文化とは、ある集団に共通のものの見かた・考えかた、 行動のしかた・生活のしかた、およびそれらを表すもので あり、言語は、その集団に共通の行動のしかた方の一種で あるとともに、この共通性をささえるものでもありますか ら、言語・文化と民族・社会は相互依存の関係にあります。 言語と文化の相互関係と、それらをになう民族と社会と の関連について考えることがこの講義の目的です。

遠い昔、人類の発祥地とされるアフリカから人類が拡散 するにつれて人種の違いが生まれ、食べ物とすみかを求め て移動するうちにさまざまの民族に分かれ、言語も異なっ てきました。

コロンブスのアメリカ大陸「発見」以来、奴隷の売買と 植民地の争奪戦などのように、民族どうしの関わりかたが 根本的に異なり、文化の摩擦・言語の衝突が起きるように なりました。

多くの文化・言語が滅ぼされましたし、今も失われつつあります。こうした伝統的文化を保存し、方言をも含めて言語の死滅を防ぐために、世界平和をどのようにして確立すればよいのかをさぐっていきます。

授業計画

- 1. 人と人とが出会えば、伝え合いをしないわけにはいかない。伝え合いとはどういうものか?
- 2. 動物の伝え合い
- 3. コトバによる伝え合いとよらない伝え合い
- 4. 伝え合いの手段・産物である言語とは?
- 5. 世界にはどのような言語があるのか?
- 6. 民族の形成
- 7. 文化の形成・変化
- 8. 民族と宗教
- 9. 民族と国家
- 10. 少数民族問題と民族・地域紛争
- 11. はたらきかけ合いと伝え合いの原則とは?
- 12. ウソとコトバの魔術
- 13. つづき
- 14. 話し合いによる平和で豊かな世界の建設
- 15. つづきとまとめ

毎回パワーポイントを使い、話しの要点を示し、それをあらかじめ WEB 上に公開しておきますが、ビデオを織りまぜ、資料を配布するときもあるので、出席していないと、講義の内容全体を把握することはできません。最終レポートはポータルサイトから提出してもらいます。

テキスト、参考文献

教科書:下川 浩『いつまでダマされつづけるの?政府・ 大企業・マスメディアのウソとコトバの魔術』(えむ出版 企画)

評価方法

授業レポートシステムを使い、毎回短いレポートを、最後に左記教科書についてのレポート (5000 字程度) を提出し、自己評価をしてもらい、これにもとづき評価します。

08 年度以降 07 年度以前 現代社会1(コトバと社会) 現代社会(Ⅲ)(コトバと社会・言語文化概論)

担当者

下川 浩

講義目的、講義概要

異なる言語を話す民族は、違ったものの見方・考え方を し、違った行動のしかた・生活のしかたをします。

文化とは、ある集団に共通のものの見かた・考えかた、 行動のしかた・生活のしかた、およびそれらを表すもので あり、言語は、その集団に共通の行動のしかた方の一種で あるとともに、この共通性をささえるものでもありますか ら、言語・文化と民族・社会は相互依存の関係にあります。 言語と文化の相互関係と、それらをになう民族と社会と の関連について考えることがこの講義の目的です。

遠い昔、人類の発祥地とされるアフリカから人類が拡散 するにつれて人種の違いが生まれ、食べ物とすみかを求め て移動するうちにさまざまの民族に分かれ、言語も異なっ てきました。

コロンブスのアメリカ大陸「発見」以来、奴隷の売買と 植民地の争奪戦などのように、民族どうしの関わりかたが 根本的に異なり、文化の摩擦・言語の衝突が起きるように なりました。

多くの文化・言語が滅ぼされましたし、今も失われつつあります。こうした伝統的文化を保存し、方言をも含めて言語の死滅を防ぐために、世界平和をどのようにして確立すればよいのかをさぐっていきます。

授業計画

- 1. 人と人とが出会えば、伝え合いをしないわけにはいかない。 伝え合いとはどういうものか?
- 2. 動物の伝え合い
- 3. コトバによる伝え合いとよらない伝え合い
- 4. 伝え合いの手段・産物である言語とは?
- 5. 世界にはどのような言語があるのか?
- 6. 民族の形成
- 7. 文化の形成・変化
- 8. 民族と宗教
- 9. 民族と国家
- 10. 少数民族問題と民族・地域紛争
- 11. はたらきかけ合いと伝え合いの原則とは?
- 12. ウソとコトバの魔術
- 13. つづき
- 14. 話し合いによる平和で豊かな世界の建設
- 15. つづきとまとめ

毎回パワーポイントを使い、話しの要点を示し、それをあらかじめ WEB 上に公開しておきますが、ビデオを織りまぜ、資料を配布するときもあるので、出席していないと、講義の内容全体を把握することはできません。最終レポートはポータルサイトから提出してもらいます。

テキスト、参考文献

教科書:下川 浩『いつまでダマされつづけるの?政府・大企業・マスメディアのウソとコトバの魔術』(えむ出版 企画)

評価方法

授業レポートシステムを使い、毎回短いレポートを、最後に左記教科書についてのレポート(5000字程度)を提出し、自己評価をしてもらい、これにもとづき評価します。

			担当者	
講義目的、講義概要	;	授業計画		
テキスト、参考文献		評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (韓国社会各論 b) 現代社会(Ⅲ)(韓国社会各論 b)			担当者	全 載旭
講義目的、講義概要	5	授業計	 画		
年ばか、	しい国の一つであった韓国が、40 国に変貌し、経済的に成功した。 の成功は韓国社会に大きな社会変いる。この講義は、この40年間に 民選において変を担ったのとが 民選が、1000年間に 民選が、2000年間に 日本のは、2000年間に 日本のは、2000年間に 日本のは 日本のは 日本のは 日本のは 日本のは 日本のは 日本のの 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	韓家社経経二経韓韓工ののの成成構発のの化成成構発のの化	間関係ネッ を を を と を と き と 後 と 後 と 後 と 後 た と 後 た と 後 ろ え ら え り れ い た り れ し れ し れ し れ し れ し れ し れ し れ し れ し れ	(2) ハトワーク 内考察 つか ンイス・モデル) 川益)
テキスト、参考文献	₿ †	評価力	5法		
第一回目の授業にで 必要に応じて資料を	でデキスト、参考文献を紹介する。 と配布する。	試験	こよって記	評価する。	

08年度以降 現代社会1 (政治思想と理論、制度) 担当者 中島 晶子 07年度以前 政治学 a (政治思想と理論、制度) 講義目的、講義概要 授業計画 1. イントロダクション この講義では、政治学の考え方と制度について基本的知 識を得ることを目的とします。 2. 政治とは何か 3. 政治学の歴史 政治学の対象となる「政治」は、多様な意味を含む概念 4. 政治と権力 です。たとえば、政治目標とする理想や共通利益の実現、 5. 権力構造とリーダーシップ 政治手段となる権力や資源の配分、政治機能として争いの 6. 政治思想とイデオロギー 調停や秩序の形成といった面を持っています。政治の営み 7. デモクラシー はいわば社会生活を送る人間の営みそのものであり、政治 8. 現代社会における国家 学の対象は広範にわたっています。 9. 近代国家と議会政治 学問としての政治学は、歴史学、哲学、社会学など、近 10. 近代国家の政治原理 接する他の学問領域と密接に関係して発展してきました。 11. 政治制度 今日の行政国家・福祉国家においては、日常生活のあらゆ 12. 行政国家と官僚制 る領域に政治が関わり、政治の果たす役割が広がり、重要 13. 議会と立法過程 性が増しています。 14. 選挙制度 この講義では、①政治思想や理論の歴史、②権力とこれ 15. まとめ をめぐる関係、③現代社会を運営するしくみとしての政府 の形態、④政策の形成・決定・執行のしくみとしての議会 や行政組織をとりあげます。

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

現代社会1(政治思想と理論、制度)に続いて、この講義は、政治が機能する過程、主な現代政治の課題についての基礎知識を身につけることを目的とします。

中村昭雄『基礎からわかる政治学〔補新装版〕』芦書房、

2012年)をテキストとし、参考文献は適宜紹介します。

まず、政策の実現プロセスや多様な政治現象について、 基本的な知識を提供します。とりあげる領域は、①政策の 形成・決定・実施の過程、②そこにかかわる多様な行為主 体、③人々の政治行動や意識などです。

つぎに、国際関係論への橋渡しを意識し、政治と経済の 関係、政治世界の広がりや国家を超えた課題をとりあげま す。特に、福祉国家や地域統合、国際政治経済に関連して、 EU (欧州連合) の事例を検討します。

授業計画

評価方法

より評価します。

- 1. イントロダクション
- 2. 政策と政策過程
- 3. 現代政治と政党
- 4. 政治社会と政党制
- 5. 圧力団体と住民運動
- 6. 政治意識と投票行動
- 7. 政治的コミュニケーションと大衆社会の政治

期末試験(70%)とコメントカードなど平常点(30%)に

- 8. 日本の政治
- 9. 国際政治
- 10. 政治、経済、福祉
- 11. 集権と分権
- 12. グローバル化時代の国際政治経済
- 13. 地域統合
- 14. 地球規模課題
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

中村昭雄『基礎からわかる政治学〔増補新装版〕』(芦書房、2012年)をテキストとし、参考文献は適宜紹介します。

評価方法

期末試験(70%)とコメントカードなど平常点(30%)により評価します。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (ジェンダーとメディア表象 女性学 b(ジェンダーとメディア表象))	担当者	西山 千恵子
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画	- 12 to 3	7月八月十四日/10分刊
た女観い完 一をが見対念く 講 メなけていない。 は、をいには授会し身とも関作した自業的で近と表しぐ 要はアイメント 大に上思由で性いなも現、く エリ・トン・アント は、 ないにが かったり とり まず、 でいている がっとったり とり まず、 しょか がっとったり は、 ないには別きメににジむ エリ・トン・アント は、 ないには別きメににジむ アン・アント は、 ないにいいない。	ラジオ、雑誌、インターネットなど、私 アを通じて膨大な情報に接し、そこから この知識を得て、男女のイメージ、 されます。「自分はメディアの影響力から います。「も分はメディアの影響力から います。「もなメディアの影響力から はメディアについて、特にジェンを は差)のるいまがありまさいでものいたおけるのではである。 が上ののいたがではながでである。 ででも考している。 がよれたのでは、 ででも表している。 がよれたのです。 では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででいて、 をといるが、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいる。 がよいです。 がよいでは、 でいての をでいて、 でいての をでいて、 でいての をでいて、 でいての をでいて、 でいて、 でいて、 でいての をでいて、 でいて、 でいて、 でいて、 でいて、 でいて、 でいて、 でいて、	2.「男女子」3.日本別なき5.6.7.セセクシンを8.ジ広映ポル画術と10.は、ポート11.は、ポート12.は、ポート13.は、よっのありま2.なのありま2.なのありま2.なのありま2.なのありま3.なのありま3.なのありま3.なのありま3.なのありま3.なのありま4.なのありま4.なのありま5.なのありま6.なのありま7.なのよ7.なのよ7.なのよ7.なのよ7.なのよ7.ないま	平句別が兼ユュダおおメセメ 事ま表等のとの性アアーけけデクデ 間す現のサンの ・・点性をイシィ 題。をの共ン辺 ママの表性とファ にまくけ同ダ概 イイメ現・ジル じ、む	参画政策とジェンダー 一 念 ノリティの主張・運動 ノリティとメディア表現 ディア・リテラシー !とジェンダー 男性
それを受けてさらに テキスト、参考文献	• ***			
プリントを配布しる 参考文献は授業中に	,	学期末試験10 特にすぐれたコ	- /-	を加点要素とする。

08年度以降 現代社会1(経済学1)(ミクロの視点で考える) 担当者 浜本 光紹 07年度以前 経済学a (ミクロの視点で考える) 講義目的、講義概要 授業計画 ガイダンス 1. 経済学とはどのような学問か 本講義は、様々な経済現象を理論的に考察するた 2. 3. 分業の利益 めの分析道具であるミクロ経済学の基礎を習得し, 消費者行動と財の需要(1) 経済理論に基づいて現実の経済問題を検討する力を 5. 消費者行動と財の需要(2) 養うことを目標とする。 企業行動と財の供給(1) 6. 講義では、まず経済学という学問が考察対象とす 7. 企業行動と財の供給(2) る課題について解説しつつ, 基本的概念の説明を行 余剰分析(1) 8. なう。続いて、経済主体の行動と経済の効率性に関 余剰分析(2) 9. する理解に必要な基礎知識の習得を図る。そのうえ 完全競争と経済の効率性 10. で、余剰分析について解説し、市場構造のあり方が 11. 不完全競争 経済厚生にどのような影響をもたらすかを考察す 12. 外部効果 13. 公共財 る。また、「市場の失敗」とその諸要因について理解 14. ミクロ経済学の応用 を深めながら、政府の役割と市場の役割のあり方を 15. まとめ 考える能力を身につける。 テキスト、参考文献 評価方法

定期試験による。

講義中に配布する資料など

斐閣

ī				1		
08 年度以降 07 年度以前	現代社会1(経済学2)(マクロの視点 経済学b(マクロの視点で考える)	で考える)		担当者	浜本	光紹
講義目的、講義概要	5	授業計画				
大道浴で 大道浴で 大道浴で でしえ 、る義ロつ政の済で考 、る義ロつ政の済で考 、に解 、に解 、に解 、に解 、に 、に 、に 、に 、に 、に 、に 、に 、に 、に	「国民所得の決定メカニズムおよびける家計・企業・政府の各部門の関する。これを踏まえて、財政政策・ ・現実について検討し、マクロ経済でる理解を深める。また、開放マクスを習得し、グローバル化が進展する。まま、場象が日本にもたらす影響につ	4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	家企企直間中ケ財財財労労会会会会の対策では、日本ののののでは、日本ののののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本の	ない。 ない、 経済費資金 とは、 を会して、 をのいて、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、 をのいで、	中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
テキスト、参考文献	*	評価方法				

福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』(第4版),有 | 定期試験による。

-						
08 年度以降 07 年度以前				担当者	水口 章	
講義目的、講義概要	2	授業計画				
グローバル人材は、	国際教養の一つとして中東地域の諸問	1	ガイダン	ス(社会空間	とは)	
題を理解しておく必	必要があるといわれている。しかし、日	2	人間行動。	と空間の特性		
本では中東地域に関	見して体系的に学ぶ機会が少ない。	3	イスラムの	の基礎知識		
そこで、本授業は次	マの3つのテーマについて講義形式で学	4	信仰と日常	常生活		
ぶ。(1) 中東地域と	とは、(2) 中東の人々と規範、(3) 中東	5	小まとめ	: イスラムと	と公共空間	
地域の社会構造。		6	自由と公	平		
本授業での学びを通	通し、中東地域の人々の行動、思考と社	7	制度と慣	II H		
会構造の関係性につ	ついて理解を深めてもらいたい。そのこ	8	イスラム	去と統治		
とは、一神教に生き	さる人々の生活、社会意識を知ることに	9	イスラム経済論			
もつながる。		1 0	小まとめ	: 中東の社会	会空間にある檻	
本授業の到達目標は	は、中東地域に関する時事問題について	1 1	イスラム	と科学・技術		
自らの意見を述べ	られるようになるための基礎知識の修	1 2	教育・ジ	ェンダー問題	と中東社会	
得である。したがっ	って、授業に出席するに当たっては、国	1 3	都市化と	苦者に見る社 かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	会変化	
際ニュースについて	て関心を持ち、事前学習をすることが望	1 4	経済・産業	業から見る中	東と国際社会	
ましい。		1 5	まとめ:「	中東と世界空	間の変化との関係	
テキスト、参考文献	犬	評価方	法			
<テキスト> 水口章『中東を理角 評論社	军する―社会空間論敵アプローチ』日本		態度(10%) な評価する		%)、最終レポート(70%)で	

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 1 (中東政治と市民社会) 現代社会(III)(中東政治と市民社会)			担当者	水口 章
講義目的、講義概要	5	授業計画			
近年、国際社会で	は政権に対する抗議運動が多発してい	1	ガイダン	ス(市民社会	における統治とは)
る。日本でも、これ	いらの政治運動の原因や広がりについて	2	今日の中国	東と国際関係	
の研究は行われはし	じめているが、各国の出来事、地域全体	3	イラン革命	命と市民運動	
の動き、そして世界	・潮流の関係について更に考察を深める	4	湾岸戦争	とイラク戦争	
必要がある。そこで	で、本授業では、今日の市民の政治運動	5	小まとめ	: イスラムの	の台頭
を理解することを目	目的とする。	6	チュニジ	アの政変と市	·E
具体的には、2011 年	平1月にチュニジアに端を発し、エジプ	7	エジプト	の政変と市民	i
ト、リビア、イエフ	ソン、シリアと続く「アラブの春」と呼	8	リビアのエ	政変と市民	
ばれる政変における	る市民の政治活動について分析する。そ	9	シリアの	政変と市民	
の上で、中東地域と	東欧、アジア諸国の市民の政治活動の	1 0	小まとめ	: 「アラブの看	歩 」とは
比較を行う。		1 1	冷戦直後の	の東欧との比	較
本授業での学びを通	通し、冷戦後の国際政治、経済の変動期	1 2	アジア地域	或での政変と	の比較
における国際社会:	が抱える他の諸課題へも意識を広げて	1 3	人口動態	と市民の抗議	運動
もらいたい。		1 4	ソーシャ	レネットワー	クと市民の抗議活動
到達目標は、今日の	つ市民社会における統治のあり方につい	1 5	まとめ:5	地球市民とし	ての政治・社会運動のあり方
て、自分なりの論か	ぶ展開できるようになることである。				
授業に出席するに当	áたっては、市民の政治運動に関するニ				
ュースに関心を持っ	って見ておいてほしい。				
テキスト、参考文献	戊	評価力	法		
<テキスト> 水口章『中東を理角 評論社	曜する―社会空間論敵アプローチ』日本	. , ,	態度(10%) かに評価す <i>。</i>		%)、最終レポート(70%)で

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

数学とは、数量および空間に関して研究する学問であり、古代文明以来人類が持ち続ける教養の一つです。また、これらの研究から得られた公理と推論からなる論理と理論の体系全体を指すとも言えます。数学を学ぶということは、数量や空間を扱う考え方を身につけるだけでなく、論理的に考え、正確に判断し、的確に類推する能力を養うことにもつながります。

本講義では、数学を支えてきた論理である「数理論理」について学びます。論理において重要なものは文と文の接続関係ですが、「数理論理」では、文を「命題」として扱い、接続関係を「論理演算子」で表します。授業では、まず、文の真偽に対応する「命題」の「真理値」と、「論理演算子」により合成された「合成命題」の「真理値」と、「論理演算子」により合成された「合成命題」の「真理値」の関係を調べ、「同値」な「命題」について考察します。つづいて、論証を構成する接続関係である「条件文」を導入し、「条件文」と「同値」な「命題」についても考察します。さらに、論証の中でも最も厳格に前提から結論を演繹的に導く「推論」を取り上げ、「推論」の妥当性について検討します。また、論理と代数、論理と集合との関係についても学びます。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 命題と論理式
- 3. 真理表と命題の同値
- 4. 条件文1
- 5. 条件文2
- 6. 推論と証明
- 7. 論理式と代数1
- 8. 論理式と代数2
- 9. 論理と集合1
- 10. 論理と集合2
- 11. 推論の応用1
- 12. 推論の応用2
- 13. 推論の応用3
- 14. 問題演習
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキスト:授業最初にプリント配布

参考文献:小島寛之『文系のための数学教室』(講談社現

代新書 2004 年)

評価方法

授業中の問題解答、授業最後の課題、学期最後の問題演習 により評価

08年度以降

自然・環境・人間 1 (数学 b)

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

数学とは、数量および空間に関して研究する学問であり、古代文明以来人類が持ち続ける教養の一つです。また、これらの研究から得られた公理と推論からなる論理と理論の体系全体を指すとも言えます。数学を学ぶということは、数量や空間を扱う考え方を身につけるだけでなく、論理的に考え、正確に判断し、的確に類推する能力を養うことにもつながります。

本講義では、自然や社会において偶然に支配されているとみなされる現象を解析する数学の一分野である「確率論」については、高等学校数学で扱われていますが、ここでは、その内容を復習しつつ、実際に様々な分野で応用されている、「確率」を基にした「統計」の基本的な考え方につなげることを目標に授業を進めていきます。内容は、まず、「確率」の学習に必要な「集合」と「順列」「組合せ」、そして「確率」と「条件付確率」の考え方を学習します。つぎに、「確率変数」を導入し、「確率分布」とその「平均」や「分散」を学びます。さらに、「確率分布」の実例として「二項分布」や「正規分布」を取り上げます。これらの内容は、「推定」や「検定」といった「推測統計」の理解や利用につながります。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 場合の数と集合
- 3. 順列・組合せ
- 4. 標本空間と事象
- 5. 確率1
- 6. 確率2
- 7. 条件付確率と事象の独立
- 8. 確率変数と確率分布1
- 9. 確率変数と確率分布2
- 10. 確率分布の平均
- 11. 確率分布の分散
- 12. 二項分布
- 13. 正規分布
- 14. 問題演習
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキスト:授業最初にプリント配布

参考文献:石村園子『すぐわかる確率・統計』(東京図書

2001年)

評価方法

授業中の問題解答、授業最後の課題、学期最後の問題演習 により評価

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

私たちの身の回りの様々な自然現象は、多くの要素が入り混じって起き、複雑なものとなっています。しかし、それらの現象の中に、主要でない要素を取り除くことによって、ある普遍的な法則に支配されている基本的なものを見つけられることがあります。物理学は、そのような法則を発見し、そこから導かれた結果を研究して体系化する学問です。自然を深く認識することに寄与するばかりでなく、その応用への道も開きます。

本講義では、物理学の中でも20世紀までに確立され、すでに様々な場面で応用されている分野を扱います。これらは、高等学校までの理科や物理で学んでいる内容ですが、もう一度、私たちの身の回りの生活との関係という視点で見直すことを目標として、学習を進めていきます。内容は、①物体に働く力と物体の運動との関係を考察する「力と運動」、②熱の現象とその実態である分子運動を扱う「熱」、③波の一般的性質とその実例としての音波・光波を扱う「波動」、④電気と磁気に関する現象や電気と磁気との関係、さらに電磁波について考察する「電磁気」からなります。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 力と運動1-物体の運動
- 3. 力と運動2-物体に働く力
- 4. 力と運動3-運動の法則
- 5. 力と運動4-万有引力
- 6. 熱1-温度と熱
- 7. 熱2-熱と分子運動
- 8. 波動1-媒質の振動と波
- 9. 波動2-音波と光波
- 10. 電磁気1-電気と磁気
- 11. 電磁気2-電流と磁場
- 12. 電磁気3-電磁誘導
- 13. 電磁気4-電磁波
- 14. 問題演習
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキスト:なし

参考文献:授業中に紹介

評価方法

毎回の授業における「授業レポート」とまとめの問題演習 により評価する予定

08年度以降

自然・環境・人間1(物理学Ⅱ)

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

私たちの身の回りの様々な自然現象は、多くの要素が入り混じって起き、複雑なものとなっています。しかし、それらの現象の中に、主要でない要素を取り除くことによって、ある普遍的な法則に支配されている基本的なものを見つけられることがあります。物理学は、そのような法則を発見し、そこから導かれた結果を研究して体系化する学問です。自然を深く認識することに寄与するばかりでなく、その応用への道も開きます。

本講義では、20世紀以降物理学の分野で得られた新しい知見について紹介します。一つは「時間と空間」に関するもの、もう一つは「物質の究極像」に関するものです。時間と空間は、以前は自然の基本法則が登場する舞台でです。時間と空間は、以前は自然の基本法則が登場する舞台ででが、20世紀以降「相対性理論」により物理学の研究ので極像を探る研究は、原子・素粒子の発見やその従う法則である「量子力学」の成立により大きく進展しました。これら人類の得た新しい知見を題材にして、自然に対する認識を深めることを目標に授業を進めていきます。内容は、前半が「時間と空間」で、相対性原理・光速一定原理と特殊相対性理論、等価原理・一般相対性原理と一般相対性理論について、後半が「物質の究極像」で、元素・原子と原子の構造、前期量子論と量子力学、素粒子論と統一理論について。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 時間と空間1-電磁気学と相対性原理
- 3. 時間と空間2-ローレンツ変換
- 4. 時間と空間3-4次元不変量
- 5. 時間と空間4-等価原理
- 6. 時間と空間5-時空の歪み
- 7. 時間と空間6-ブラックホール
- 8. 物質の究極像1-元素と原子
- 9. 物質の究極像2-原子の構造
- 10. 物質の究極像3-前期量子論
- 11. 物質の究極像4-量子力学 12. 物質の究極像5-素粒子論
- 12. 物員の九極隊3 希極「冊
- 13. 物質の究極像6-統一理論
- 14. 問題演習
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキスト:なし

参考文献:授業中に紹介

評価方法

毎回の授業における「授業レポート」とまとめの問題演習 により評価する予定

08年度以降 自然・環境・人間1(宇宙論 a) 担当者 東 孝博 07年度以前 自然・環境・人間(Ⅲ)(宇宙論 a)

講義目的、講義概要

「宇宙論」とは、宇宙の全体としての構造や進化を研究 する学問です。人類は古代から、自分たちを取り囲む宇宙 やその起源について思索してきました。かつて、それらは 哲学や宗教の言葉で語られてきましたが、近代科学が成立 して以降、科学的な研究の対象となりました。現代では、 観測機器や技術の発達により、より精密に検証のできる科 学分野となっています。一方で、宇宙の全体としての姿は、 人間が生きる時間や空間をはるかに超えており、その探求 には、哲学的視点や人間の価値観が入り込む余地がありま す。人間の豊かな知的活動の場である「宇宙論」に触れ、 自然と人間とのかかわりについての理解を深めることを 目標に、講義を進めていきます。

「宇宙論a」では、まず、近代科学以前の宇宙論を概観 し、次に、様々な天体現象の観察による近代的宇宙観の成 立と、相対性理論による現代的宇宙観の成立を見ていきま す。そして、現代宇宙論で確立されたビッグバン宇宙につ いて解説します。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 近代科学以前の宇宙論
- 3. 天体の運行法則の発見と新たな宇宙像の誕生
- 4. ガリレイによる動力学の発見と相対性原理
- 5. ニュートン力学とニュートン的宇宙観
- 6. ニュートン的宇宙観の発展と電磁気学の成立
- 7. ニュートン的宇宙観への批判と特殊相対性理論の成立
- 8. 同時概念・時間概念の相対性
- 9. 空間概念の相対性と新しい時間空間概念の成立
- 10. 等価原理と一般相対性理論の成立
- 11. アインシュタイン方程式と時空の歪み
- 12. 宇宙の時間的・空間的広がりと宇宙の一様性・等方性
- 13. 膨張宇宙論
- 14. ビッグバン宇宙論
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキスト:なし

参考文献:佐藤勝彦『宇宙論入門』(岩波新書 2008年)

評価方法

毎回の授業における「授業レポート」により評価する予定

08年度以降 07年度以前 自然・環境・人間1(宇宙論b) 自然・環境・人間(Ⅲ)(宇宙論b)

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

「宇宙論」とは、宇宙の全体としての構造や進化を研究 する学問です。人類は古代から、自分たちを取り囲む宇宙 やその起源について思索してきました。かつて、それらは 哲学や宗教の言葉で語られてきましたが、近代科学が成立 して以降、科学的な研究の対象となりました。現代では、 観測機器や技術の発達により、より精密に検証のできる科 学分野となっています。一方で、宇宙の全体としての姿は、 人間が生きる時間や空間をはるかに超えており、その探求 には、哲学的視点や人間の価値観が入り込む余地がありま す。人間の豊かな知的活動の場である「宇宙論」に触れ、 自然と人間とのかかわりについての理解を深めることを 目標に、講義を進めていきます。

「宇宙論b」では、現代宇宙論において近年得られた知 見による宇宙膨張の観測と理論、宇宙における構造の形 成、宇宙における物質の形成について解説します。また、 まだ確立していない最新の話題についても取り上げます。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 宇宙論が対象とする宇宙
- 3. 膨張宇宙の観測
- 4. 膨張宇宙の理論
- 5. ビッグバン理論
- 6. 宇宙の階層構造
- 7. 宇宙の構造形成 8. 物質の階層構造
- 9. 宇宙の進化
- 10. ビッグバン理論の問題点
- 11. インフレーション宇宙
- 12. 宇宙の特異点と量子宇宙論
- 13. 超ひも理論と高次元宇宙
- 14. 膜宇宙とパラレルワールド
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

テキスト:なし

参考文献:佐藤勝彦『宇宙論入門』(岩波新書 2008年)

評価方法

毎回の授業における「授業レポート」により評価する予定

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 1 (天文学 a) 自然・環境・人間Ⅲ(太陽系天文学 a)			担当者	内田	俊郎
講義目的、講義概要	5	授業	禁計画			
陽系の現在の姿とそ 中学校で一部、駅 め、次いで、惑星の	かを理解する。惑星の運動の法則や、太 その形成過程を理解する。 程習の天体のみかけの運動の説明から始 運動を表すケプラーの法則を説明する。 な天体を紹介し、太陽系の形成過程や ざを学んでいく。	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	万有引力と 太陽と太陽 太陽系の姿	重動 すの則則 3 年 が まままこれの まままる。 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	去則 去則 力学 星	
テキスト、参考文献	*	評価	ī方法			
テキストは指定した 参考文献は講義で紹	ない。プリントを配布する予定。 紹介する。	試懸)			

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 1 (天文学 b) 自然・環境・人間Ⅲ(太陽系天文学 b)		担当者	内田	俊郎
な終末を迎えるのか 天文学が他の自然 は、対象を直接調へ 義では恒星の表面に のように恒星の物理	よもので、どのように誕生し、どのよう	授業計画1講義見の2星まのの4星のの5星図7星星のの8星のの9星のの10星の11高密ッ星12ブ新素の13超大表と14まとめ	の明るさ 継 対 り り も り を も り を 表 し に の が 列 と と 裏 源 の 系 系 数 も り と ま の の 系 の 系 り の の 系 り の の の の の の の の の り と り と り と り と り と	ら主系列星へ の星の進化	
テキスト、参考文 献 テキストは指定した 参考文献は講義で新	よい。プリントを配布する予定。	評価方法 試験			

08年度以降

自然・環境・人間1(歴史における科学技術1:西洋近代 科学技術の起源)

担当者

内田 正夫

講義目的、講義概要

~ルネサンスから啓蒙主義時代まで~

私たちは科学技術に取り囲まれた現代社会に生きてい る。物の生産や消費はもちろん、科学技術は人々の考え方 や倫理観にまで大きな影響を与えており、日常生活から将 来の政策決定にいたるまで、科学技術に関わる知識や判断 力は専門家だけでなく私たちすべてに求められる。そのた めに最も基本的な、科学技術とはなにかということについ て、歴史から学び、考察する学問分野が科学史・技術史で あろ

春学期は、西洋のルネサンスから近代社会の形成と、そ の中で近代科学が生み出されてきた過程を概観し、それが 人々の自然世界に対する近代的な認識を形づくった道筋 を考察する。私たちが幼時から目にし耳にして育つ、宇宙 ら原子までの自然世界の姿、それが現代とはまったく違う ものであった時代から、私たちはどのようにして近代的な 自然の見方を獲得してきたのか。その起源を考察すること を通して現代科学に基づく私たちの世界観をあらためて 振り返ってみよう。授業は講義形式でおこなう。

授業計画

ほぼ教科書の内容に沿って、補足の史料等を読みつつ授業

- 1. イントロダクション"科学革命"の時代
- 2. 旧世界と新世界 (1) 中世からの流れルネサンス
 - (2) 印刷術大航海
- 4. 繋がりあった世界(1) 世界の連関・学問の連関
- 5. " (2) 自然魔術
- 6. 天上世界 (1) 惑星の見かけの運動地動説
- (2) 宇宙の調和望遠鏡地球の運動
- 8. 地上世界 (1) 地球地上の物体の運動水と空気
- (2) 錬金術原子とメカニズム 9. "
- 10. 生き物の世界 (1) 医学解剖
- (2) 新しい医薬動植物
- 12. 新しい科学と技術の体制 (1)建築・鉱山冶金・時計
- (2) 科学技術情報の流通システム 13.
- 14. 啓蒙主義(Enlightenment)と科学・技術
- 15. 講義のまとめ

テキスト、参考文献

プリンシーペ著『科学革命』(担当者による日本語訳を配布) 原書は Lawrence M. Principe, The Scientific Revolution: A Very Short Introduction, Oxford University Press, 2011.

評価方法

定期試験(60%)、授業で指示する提出物(40%)

08年度以降

自然・環境・人間1(歴史における科学技術2:日本の近 代化と科学技術)

担当者

内田 正夫

講義目的、講義概要

~西欧科学技術の導入から現代の諸問題まで~

私たちは科学技術に取り囲まれた現代社会に生きてい る。物の生産や消費はもちろん、科学技術は人々の考え方 や倫理観にまで大きな影響を与えており、日常生活から将 来の政策決定にいたるまで、科学技術に関わる知識や判断 力は専門家だけでなく私たちすべてに求められる。そのた めに最も基本的な、科学技術とはなにかということについ て、歴史から学び、考察する学問分野が科学史・技術史で ある。

西洋において近代科学が生み出されてきた 17 世紀初め から 19 世紀半ば過ぎまで、日本はいわゆる鎖国体制によ って西洋近代科学技術から隔絶されてきた。とはいえ、そ の間にも蘭学という形でそれを取り入れる過程を持ち、や がて明治維新以後、急速にそれを導入し、消化し、我がも のとしていった。このような歴史は日本の科学技術に特殊 な性格を刻印し、さらに戦争の時代と戦後の高度成長を経 て、現代に到る科学技術のありようを形成してきた。この 過程を振り返ることを通して、現代の科学技術をめぐる諸 問題を考える土台としたい。授業は講義形式でおこなう。

授業計画

- 1. 洋学の時代(1)伝統技術と伝統的自然観
- (2)蘭学の興り
- 3. IJ (3)幕末の洋学

IJ

- 4. 明治維新から帝国大学まで(1)殖産興業と科学技術政策
- (2)社会インフラの整備、帝国大学の設立
- 6. "自立"から敗戦まで (1)理化学研究所の設立
- 7. (2)大正~昭和初期の科学 IJ
- 8. (3)戦争と科学技術
- 9. 戦後復興と高度成長 (1)産業と科学の戦後復興 (2)技術革新と高度成長
- 11. 現代科学技術の諸問題 (1)先端科学技術の特性
- 12. (2)公害・環境問題の歴史①
- 13. (3)公害・環境問題の歴史② 14. IJ (4)核エネルギー利用の歴史(I)
- (5)核エネルギー利用の歴史② 15.

テキスト、参考文献

テキストなし。必要に応じてプリントを配布する。 参考文献は授業の中で示す。

評価方法

10.

定期試験(60%)、授業で指示する提出物(40%)

08年度以降 自然・環境・人間1(地球環境の変化とその要因) 担当者 鈴木 滋 07年度以前 自然・環境・人間 (Ⅲ)(地球環境の変化とその要因) 講義目的、講義概要 授業計画 人類が直面し、避けて通ることの出来ない地球環境問題 1 オリエンテーション:授業概要等の説明 は自然・環境・人間の相互関係の上で発生している。 2 地球環境とは何か? 今、何が起っているのか? この講義の目的は、地球科学・環境資源科学・一般科学 3 地球環境の歴史(I) 技術の立場からその内容を把握すると共に、自然科学の持 地球環境の歴史 (II) つ客観的な物の見方を養うことである。 5 地球環境の構造等:地球という惑星について 地球環境と地球システム (I):物質圏の相互関係 我々の環境は目まぐるしく変化している。その状況を地 7 地球環境と地球システム (II): 炭素循環など 球規模で、タイムリーに的確に理解するためには、地球環 8 地球環境と資源 (I): 資源の特性 境を自然科学的側面から捉えることが必要である。 9 地球環境と資源 (II):エネルギー この講義では、地球環境の変化とその要因として、地球 10 地球環境と材料:地球材料学(ジオマテリアル・ 誕生後の地球環境の変遷とその自然的および人為的要因 サイエンス)とは について検討する。また、地球環境問題に対する地球環境 11 地球環境と科学技術:科学技術は地球環境に何を の位置づけや地球規模の問題として環境と資源がどのよ もたらしたか? うな因果関係にあるのか考察する。 12 環境:地球環境と広域・地域環境との比較 13 環境と共生:人間活動・物質循環との関係 14 地球環境問題概論 15 まとめ 備考:授業の進度により若干の変更がある テキスト、参考文献 評価方法 基本的には定期試験の結果(100%)による。 テキスト:特に指定しない。必要に応じてプリント を配布する。

08 年度以降 07 年度以前 自然・環境・人間 1 (地球環境問題と環境保全) 自然・環境・人間(Ⅲ)(地球環境問題と環境保全)	担当者	鈴木 滋
--	-----	------

講義目的、講義概要

人類が直面し、避けて通ることの出来ない地球環境問題 は自然・環境・人間の相互関係の上で発生している。

参考文献:講義内容によって、適時指示する。

この講義の目的は、地球科学・環境資源科学・一般科学 技術の立場からその内容を把握すると共に、自然科学の持 つ客観的な物の見方を養うことである。

地球環境問題は国際的な文化・経済・社会等に大きな影響を与えている。この問題を理解し、把握することは、グローバルなものの見方を養うと共に、地球環境の保全に欠かせないと思われる。

この講義では、地球環境問題と環境保全として、地球環境問題各論を中心に、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨などの地球環境に生じる具体的現象、その原因と影響ならびに対策について環境論および資源論を交えて検討する。

授業計画

- 1 オリエンテーション:授業概要等の説明
- 2 地球環境問題各論(I):地球温暖化(a)
- 3 地球環境問題各論(I):地球温暖化(b)
- 4 地球環境問題各論 (I): オゾン層破壊 (a)
- 5 地球環境問題各論(I):オゾン層破壊(b)
- 6 地球環境問題各論(II):酸性雨
- 7 地球環境問題各論(II):海洋汚染
- 8 地球環境問題各論 (II): 有害廃棄物の越境移動
- 9 地球環境問題各論 (III): 砂漠化
- 10 地球環境問題各論(III):森林減少
- 11 地球環境問題各論 (III): 野生生物 (種) の減少
- 12 地球環境問題各論 (III): 開発途上国等の環境

(公害) 問題など

- 13 地球環境の保全(I):環境と開発
- 14 地球環境の保全 (II): 文化・経済・社会等との関係
- 15 まとめ

備考:授業の進度により若干の変更がある

テキスト、参考文献

テキスト:特に指定しない。必要に応じてプリント

を配布する。

参考文献:講義内容によって、適時指示する。

評価方法

基本的には定期試験の結果(100%)による。

08年度以降 自然・環境・人間1(科学技術と倫理 a) 担当者 野澤 聡 講義目的、講義概要 授業計画 現在の科学・技術は、専門化・高度化の度合いをますま 1. 科学とは、技術とは、倫理とは す高めている。科学技術の急速な進展が社会に与える影響 -- 「デザイナー・ベビー」から考える について、深刻な懸念を抱いている人も増えている。地球 いつから生命か 温暖化や遺伝子組み換え技術、ナノテクノロジー、iPS細 ターム・ペーパーの書き方について 胞を用いた先端医療などが抱える問題は、その使い方が人 4 いつまで生命か 類に重大な影響を与える可能性があることを示している。 5. 脳と生命 とくに、2011年3月に発生した東日本大震災と東京電力福 6 環境問題とは何か 島第一原子力発電所の事故では、科学・技術と社会との間 7. 公害と科学・技術 に存在している未解決の諸問題が一挙に噴出することに 8. 公害問題をいかに解決するか なったと考えられる。 オゾン・ホール問題の発見と解決 9. この講義では、科学・術に関する倫理的な諸問題を具体 10. 環境の持続可能性と不確実性 的な事例を通じて検討することによって、科学・技術と倫 11. 環境問題の国際協力 理との望ましい関係について考えていく。 12. レギュラトリー・サイエンスと専門家の役割 春学期は、主として生命や環境に関する事例を取り上げ レギュラトリー・サイエンスと行政の役割 13. て、科学・技術と倫理との関係を考察する。 1 4 レギュラトリー・サイエンスと市民の役割 15. 生命と科学技術と行政

,	「ハド、シウス曲	пт іш
	数利(事)は使用しない。	カー

・教科書は使用しない

テキスト 参考文献

- ・毎回資料を配布する
- ・参考になる文献や Web 資料などを随時紹介する

ターム・ペーパー (レポート) (70%) と、出席カードの 記述 (30%) により評価する。

08 年度以降 自然・環境・人間 1 (科学技術と倫理 b) 担当者 野澤 聡

講義目的、講義概要

現在の科学・技術は、専門化・高度化の度合いをますます高めている。科学・技術の急速な進展が社会に与える影響について、深刻な懸念を抱いている人も増えている。地球温暖化や遺伝子組み換え技術、ナノテクノロジー、iPS細胞を用いた先端医療などが抱える問題は、その使い方が人類に重大な影響を与える可能性があることを示している。とくに、2011年3月に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故では、科学・技術と社会との間に存在している未解決の諸問題が一挙に噴出することになったと考えられる。

この講義では、科学・技術に関する倫理的な諸問題を具体的な事例を通じて検討することによって、科学・技術と 倫理との望ましい関係について考えていく。

秋学期は、主として物質や情報に関する事例を取り上げて、科学・技術と倫理との関係を考察する。

授業計画

- 1. 科学とは、技術とは、倫理とは 一地震予知から考える
- 2. 科学技術的予測の不確実性
- 3. ターム・ペーパーの書き方について
- 4. 科学技術の発達は人々の職を奪うか
- 5. インターネットの可能性と課題
- 6. プライバシーと科学技術
- 7. 情報公開と機密情報
- 8. デジタルディバイドを考える
- 9. 科学技術の研究を巡る不正
- 10. 組織の中の専門家
- 11. イノベーションと科学技術
- 12. 知的財産権と科学技術
- 13. 製造物責任と科学技術
- 14. 科学者の社会的責任を考える
- 15. 科学技術と公共性

テキスト、参考文献

- ・教科書は使用しない
- ・毎回資料を配布する
- ・参考になる文献や Web 資料などを随時紹介する

評価方法

ターム・ペーパー (レポート) (70%) と、出席カードの 記述 (30%) により評価する。

08年度以降 自然・環境・人間 1 (科学技術基礎論 I) 担当者 野澤 聡 講義目的、講義概要 授業計画 「科学技術」というと、専門家以外には分からないし関 1. ガイダンス、生命とは何か 係ないというイメージをもっている人が多いかもしれな 生きているとはどういうことか い。たしかに現在の科学技術は、高度化・専門化が進んだ ターム・ペーパーの書き方について 3. ため、科学技術の専門家でさえ、自分の専門分野以外のこ 遺伝とは何か 4 とは分からないことが増えている。その一方で、現在に生 5 品種改良と遺伝子 きる我々は、知らないうちに科学技術の成果を利用した 6. 病気とは何か り、科学技術的なものの見方や考え方の影響を受けたりし 7. 薬と副作用 ている。また、我々が直面する問題を解決するためには、 8. 感染と免疫 文系・理系という枠を超えて、幅広い分野の人々と協働す 9. がんから見た生命 ることがますます必要になっている。 10. 生命と食品 11. 食中毒 この講義では、我々とって身近な事例を取り上げて、そ の背後にある科学技術の考え方や、法律や経済など他の学 12. 食のリスクと安全 問分野との関わりを概観することによって、科学・技術へ 13. 進化とは何か の関心を高めるとともに、異分野の人との協働を可能にす 14. なぜ理系に進む女性は少ないのか るための方法を考える。 15. 生命から見た環境 春学期は、主として生命や環境に関する事例を取り上げ

・毎回資料を配布する ・参考になる文献や Web 資料などを随時紹介する	記述 (30%) により評価する。

08年度以降 自然・環境・人間1(科学技術基礎論Ⅱ) 担当者 野澤 聡

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

・教科書は使用しない

「科学技術」というと、専門家以外には分からないし関係ないというイメージをもっている人が多いかもしれない。たしかに現在の科学技術は、高度化・専門化が進んだため、科学技術の専門家でさえ、自分の専門分野以外のことは分からないことが増えている。その一方で、現在に生きる我々は、知らないうちに科学技術の成果を利用したり、科学技術的なものの見方や考え方の影響を受けたりしている。また、我々が直面する問題を解決するためには、文系・理系という枠を超えて、幅広い分野の人々と協働することがますます必要になっている。

この講義では、我々とって身近な事例を取り上げて、その背後にある科学技術の考え方や、法律や経済など他の学問分野との関わりを概観することによって、科学・技術への関心を高めるとともに、異分野の人との協働を可能にするための方法を考える。

秋学期は、主として物質や情報に関する事例を取り上げる。

授業計画

評価方法

- 1. ガイダンス、物質とは何か
- 2. 水素原子が存在するとはどういうことか

ターム・ペーパー (レポート) (70%) と、出席カードの

- 3. ターム・ペーパーの書き方について
- 4. 観測できるものと観測できないもの
- 5. 自然法則は存在するか
- 6. 自然の法則と人間社会の法律一二つの LAW
- 7. 数はどこにあるのか
- 8. ビッグ・データとは何か
- 9. 情報という考え方
- 10. 確率と科学・技術
- 11. 科学技術の研究開発 (R&D)
- 12. イノベーションと科学技術
- 13. 宇宙はどこにあるのか
- 14. 自然とは何か
- 15. 物質から見た環境

テキスト、参考文献

- ・教科書は使用しない
- ・毎回資料を配布する
- ・参考になる文献や Web 資料などを随時紹介する

評価方法

ターム・ペーパー (レポート) (70%) と、出席カードの 記述 (30%) により評価する。

授業計画		
評価方法		

08 年度以降	 自然・環境・人間 1 (科学技術と社会 b)		担当者	野澤 聡
講義目的、講義概要	5	授業計画		
田や生命の謎を解出し、 のをで乗り力をはいる。 を生手して、や生力で、 をで、や生力に、、ないで、 をで、や生力に、、ないで、 をで、と、といいで、 はいで、 は		2. 科学、 2. 2. 3. 4. 4. 4. 5. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	技術、科学技術	書き方について 学技術 社会
	*	評価方法		
・教科書は使用した ・毎回資料を配布す ・参考になる文献や			パー(レポート こより評価する	、) (70%) と、出席カードの

08 年度以降	自然・環境・人間 1 (科学史 a)			担当者	野澤	聡
講義目的、講義概要	2	授業計画	<u> </u>			
現在の我々の生活	5は、科学と切り離すことができない。	1.	ガイダン	ンス、科学と	はなにか?	
科学は宇宙や生命の	つ謎を解き明かしたり、画期的な治療薬	2.	科学的7	な考え方のは	じまり(古代)	
を開発する基礎とな	なったりして、我々の人生や生活を豊か	3.	ターム	・ペーパーの	書き方について	
にする一方、最新の)科学知識によって、我々の生命観や宇	4.	古代世界	界の宇宙観		
宙観は問い直しを辿	自られており、核兵器のような大量破壊	5.	地中海	世界からアラ	ビア世界へ	
兵器や環境破壊に	にって、人類の存続は危機に直面してい	6.	アラビア世界からヨーロッパ世界へ			
る。このような科学	学はどこから来てどこに向かおうとして	7.	コペル	ニクスと地動	説	
いるのだろうか。		8.	魔術と和	科学		
この講義では、私	4学が歴史の中で姿を変えていく様子を	9.	機械論的	的自然観と科	学	
大まかに見ることに	こよって、我々が社会の中で科学といか	10.	ニュー	トンと科学革	命	
に関わっていけば」	いかを考えるとともに、受講生が一般	11.	科学アカデミーの誕生と展開			
市民に科学を学ぶ	ことの意義や楽しさを伝えられるよう	12.	科学史は	こおける女性		
になることを目指す	.	13.	産業革命	命と科学		
春学期は、古代	から17世紀の科学革命を経て「科学者	14.	フラン	ス革命と科学		
(scientist)」とい	う言葉が登場した19世紀初めまでに、	15.	「科学	者(scientist))」の登場	
科学的なものの見	方や考え方がどのように移り変わって					
きたのかについて、	代表的な人物や事例に焦点を当てて概					
観する。						
テキスト、参考文献	伏	評価方法	ţ			
・教科書は使用した	27,	ターム・	ペーパ	ー (レポート) (70%) と、と	出席カードの

•			
08年度以降	自然・環境・人間 1 (科学史 b)	担当者	野澤・聡

講義目的、講義概要

・毎回資料を配布する

現在の我々の生活は、科学と切り離すことができない。 科学は宇宙や生命の謎を解き明かしたり、画期的な治療薬 を開発する基礎となったりして、我々の人生や生活を豊か にする一方、最新の科学知識によって、我々の生命観や宇 宙観は問い直しを迫られており、核兵器のような大量破壊 兵器や環境破壊によって、人類の存続は危機に直面してい る。このような科学はどこから来てどこに向かおうとして いるのだろうか。

・参考になる文献や Web 資料などを随時紹介する

この講義では、科学が歴史の中で姿を変えていく様子を 大まかに見ることによって、我々が社会の中で科学といか に関わっていけばよいかを考えるとともに、受講生が一般 市民に科学を学ぶことの意義や楽しさを伝えられるよう になることを目指す。

秋学期は、「科学者(scientist)」という言葉が登場した 19世紀の初めから現代までを扱い、科学が社会の中で大き な力を獲得していく様子について、具体的な事例に焦点を 当てて概観する。

授業計画

- 1. ガイダンス、「科学者(scientist)」とはだれか?
- 2. 蒸気機関と熱力学の誕生

記述 (30%) により評価する。

- 3. ターム・ペーパーの書き方について
- 4. 科学の制度化と専門職業化
- 5. 科学の産業化
- 6. 公害の発生と科学
- 7. 進化論と社会
- 8. 帝国主義と科学
- 9. 研究所の誕生と展開
- 10. 科学と国家
- 11. 現代科学の登場と自然観の転換
- 12. 科学と戦争
- 13. ビッグ・サイエンスの誕生
- 14. 環境科学の誕生と展開
- 15. 「科学者」の過去・現在・未来

テキスト、参考文献

- ・教科書は使用しない
- ・毎回資料を配布する
- ・参考になる文献や Web 資料などを随時紹介する

評価方法

ターム・ペーパー (レポート) (70%) と、出席カードの 記述 (30%) により評価する。

			担当者	
講義目的、講義概要	ξ	授業計画		
	h	== /= _		
テキスト、参考文献	Χ	評価方法		

08年度以降	自然・環境・人間 1 (スポーツ科学概論)	担当者	石渡 貴之
--------	-----------------------	-----	-------

授業計画

講義目的、講義概要

【講義目的】

スポーツ科学分野は近年目覚ましい発展を遂げている. 「スポーツ」を「科学」することによってトップアスリー トの身体機能やパフォーマンスの秘密が明らかに成り、効 果的なトレーニング方法が開発される. その基本となるの が「健康」, そして「コンディショニング」である. この 授業ではスポーツパフォーマンスに関与する生活リズム, 栄養摂取、休養などの理論と知識を幅広く学び、個々の受 講生がスポーツや健康に理解を深めることを目指す.

【講義概要】

「コンディショニング」とは心身の状態を好ましい方向 に整えることを意味する. 普段の生活の体調管理やスポー ツの試合に向けてベストな状態にもっていくための方法 として捉えられる. 本授業ではライフスタイル, 身体トレ ーニングや栄養摂取、疲労回復などを含めた総合的なコン ディショニングを考え, スポーツパフォーマンス向上の方 法を探る.

1. スポーツ科学とは

- 2. コンディショニングの考え方
- 3. 体調管理に重要な生体リズム
- 4. 睡眠とコンディショニング
- 5. 運動とコンディショニング
- 6. 栄養とコンディショニング
- 7. コンディショニングを高める方法
- 8. コンディショニングとスポーツパフォーマンス
- 9. コンディショニングと疲労
- 10. 暑さに負けないコンディショニング
- 11. ストレスとコンディショニング
- 12. トップアスリートの秘密を探る①
- 13. トップアスリートの秘密を探る②
- 14. 健康維持・増進のための身体運動
- 15. まとめ

*講義内容の順番は代わる可能性があります.

テキスト、参考文献

【テキスト】必要に応じて資料を配付する.

【参考文献】『これからの健康とスポーツの科学』,講談社 サイエンティフィク(¥2,400)

評価方法

学期末に行う筆記試験(70%)と授業内での課題レポート (30%) にて評価を行う.

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 1 (私の自由時間設計 スポーツ・レクリエーション学 a(自由時間とクオリティ		担当者	和田智
講義目的、講義概要	5	授業計画		
2 時れとよななもし したの 達ま履 し口ば 割割まにす気にない で値なるはにぜしま、作外でもよったない 業価業なにち、ほにでが間 業品できない はにどで、そひい義ブ成で で値なるはにぜし講、作外ですがします。 きてっらのそ旅識学」のしたでが間 では、にばしば、作外ではにどで、そひい義ブ成で はにがします。	議編として全学総合講座で「自由時間の 万々の実践、考え方をお話していただき の授業と「自由時間の達人」を継続して 思います。 受システムほか、インターネットを利用 7 ザを操作する、メールを送る、ワープ る等の知識が必要です。わからなけれ とますから気軽に質問に来てください。	6 自由時間「 7 2 8 古の 古の 古の 古の 中の では かった は かった は かった は は は は は は は は は は は は は は は は は は	は構権三三イか」力とオーケーを参めて、成移つつフらとを老ブートーー・ラ加に、現意意タイの名の、知は開入ラートーー・イは必以味味、リールジーで見り、知いですがある。発し、フートのアでです。	その 2 ヤー いますか る余暇享受能力 る獨協生の価値観と ライフスタイル ケート等に必要に応じて利 すが、大講義室での授業をよ ので、ぜひご協力をお願いし
テキスト、参考文南		評価方法		
講義支援システムに	- 授業資料をアップロードします。	授業への取り組 (50%) により		·ポート (50%)、学期末試験

講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降	ことばと思想 2 (意味論)		担当者	浅山 佳郎
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
に、日本語教育への 意味とは何かといいくつかの理論ととも 象を理解する。同様は 論と、その具体的なり (講義概要) 履修者は毎回の記してから出席すること れることもありうるので 員から議論の材料と るので、授業内で、ク	亥当箇所を予習し、わからない点を明確に とが要求される。教員から質問が「強制」さ で、よく準備をされたい。あわせて適宜、教 なる語彙・意味に関するデータが提供され 、ループなどによる討論もおこなわれうる。	1. 意味論語用論 2. 語彙論(1) 3. 語彙論(2) 4. 意味論(2) 6. 意味論(3) 7. 意味論(4) 8. 意味論(5) 9. 発話論 10. 語用論(1) 11. 語用論(2) 12. 語用論(3) 13. 語用論(4) 14. 語用論(5) 15. まとめ	概説	
テキスト、参考文献		評価方法		
テキストは, 担当者が 開講後指示する。	「用意するプリントを使用する。 参考文献は	試験をおこない,を課すこともある。	その結果で評	価する。必要に応じてレポート

08年度以降	ことばと思想 2 (談話論)		担当者	浅山	佳郎
講義目的、講義概要		授業計画			
る。談話分析は、前会学、心理学などのである。本講義では、同にもとめるという目標があり、どのような具体「講義概要」履修者は毎回の該てから出席することがあこともありうるので、から議論の材料となった。	の基本的な知識と方法の習得を目的とす 世紀の後半以降,文学,文化人類学,社 分野とも関連して発展してきた言語の学で 日本語教育の中上級の学習項目を談話論 のもとで,談話とはなにか,どのような理論 本的分析が可能なのかを学習していく。 当箇所を予習し,わからない点を明確にし ぶ要求される。教員から質問が「強制」され よく準備をされたい。あわせて適宜,教員 る談話に関するデータまたはテキスト内の が提供されるので,授業内で,グループな かわうる。	1. 概説 2. 指示 3. 省略 4. 論理的接続 5. 非論理的接続 6. 間投 7. 応順 9. 主題 10. モダリティ 11. 談話とデンス 13. 談話話構造 14. スタイル 15. まとめ	z		
テキスト、参考文南		評価方法			
	テキストは, 担当者が用意するプリントを使用する。参考文献は 試験をおこない, その結果で評価する。必要に応じてレ		だじてレポート		
開講後指示する。		を課すこともある。			

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	ŧ.	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (碑文を読む) ことばと思想(IV)(碑文を読む)		担当者	飯島 一彦	
現代の日常生墓部・と 常生墓部・と 常生墓部・と で が な と が な と が な と が な と が な と が な と が な と な ら で 変 体 仮 で と な ら と で 変 な と で 変 な と な ら と で 変 な と で 変 な と で 変 な と で 変 な と で 変 な ら と で 変 な ら と で 変 な ら と で 変 な ら と で 変 な ら と で ま と ら き か と で ま と ら き か と で ま と ら ら き か と で ま ら ら か と か ら と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か ら か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら ら か と か と で ま ら か と で ま ら か と で ま ら か と で ま ら か と か と で ま ら か と で ま ら か と か と か と か と か と で ま ら か と か と か と か と か と か と か と か と か と か	周辺にも気づかぬまま存在している石・歌碑・句碑・記念碑・供養碑等)を読さ理解の道筋を示して、身近に存在するこ対する意識を高めるのが目的の、実践の碑文のうち、典型的な例を写真などでジタル処理に関してある程度の知識があた解の基本の指導と作業を行って基礎力医各自が碑文の採集と解釈を行い、教室	2. 概説 (次元) (次元) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述	一、 ・類解読を確しますのの報報です。 ・類解読を確しますのの報報を開発を確します。 ・類解読ををととととととととととととととととととととととととととととととととととと	字の読解 ① ② ③ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ③ ⑧	
テキスト、参考文献 特にない。	 			・調査報告書を発表、授 最低4点提出してもらい	
-		の内容による。			

08 年度以降	 ことばと思想 2 (日本文学作品研究 a)			担当者	宇津木	言行
講義目的、講義概要	2	授業	計画			
この講義では、日本の古典芸能の中でも世界的に関心を持たれている謡曲(能)をテーマとします。とくに西行が登場する謡曲を数篇取り上げて検討し、題材と作劇の方法を探ってゆきます。そこから謡曲という古典芸能の性質を解明し、その日本文化の中に占める位置を理解するところにつなげてゆきたいと考えます。神霊が主役を演じる、世界的にみて特異な演劇である能は、後世の演劇だけでなく、文学や映画などに大きな影響を与えていますが、授業を通してその本質に触れてもらいたいと思います。		1、 授業の概要 2、 西行桜 (1) 3、 西行桜 (2) 4、 実方 5、 西行西住 6、 西行塚 7、 遊行柳 (1) 8、 遊行柳 (2) 9、 江口 (1) 10、 江口 (2)				
テキスト、参考文献 テキストは用いず、	ポ 毎回プリントを配布する。	10、江口(2) 11、雨月 12、その他の曲 13、その他の曲 14、講義のまとめ 15、講義のまとめ 評価方法 評価方法:期末試験もしくはレポートの結果(80%って評価するが、授業への参加度、課題提出などの				

08 年度以降	ことばと思想 2 (日本文学作品研究 c)			担当者	宇津木 言行
日本文学史だけにな分野に多大な影響のかを明らかにいいます。 様々に脱領域し、これでならばでなり、ます。 はでなく、求しいではではではでなり、あり、があり、があり、があり、があり、があり、があり、がはできる。	原の和歌を読解します。 に限らず、広く現在まで日本文化の様々響を及ぼし続けている西行とは何者ならために、その和歌作品を通して検討し 分野横断する西行和歌の魅力を、題材なます。四季や恋といった通常の題材だら題材に取材して和歌に詠んだ西行のこいことばの発見にも説き及んでゆきまが無限の可能性を秘めていることを知るの中に和歌が主要な位置を占め続けてらことにもなります。	5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13,	講花月山野河海恋仏修地民西講義ととととととととと教験獄俗行義の西西西西西西西と道絵と伝の概行行行行行行行行行行西とと西説ま要	: 行 行 : め	
テキスト、参考文 献 テキストは用いず、	大 毎回プリントを配布する。	評価方法 評価方法:期末試験もしくはレポートの結果(80%)によって評価するが、授業への参加度、課題提出などの平常点(20%)も評価対象とする。			

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (写本を読む) ことばと思想(IV)(写本を読む)			担当者	宇津木 言行
講義目的、講義概要	2	授業	計画		
し字を用いて書写 ようになることを目 教材として、西行 ことにします。 授業の最初では ゆきますが、要領が の学生にも課題を書	学本の読み方の基礎を手ほどきし、くずされた文献を初心者でも読みこなせる目的とします。 一の歌論『西行上人談抄』を取り上げる 読み解き方の見本を示しながら進めているがのできたところで途中から履修者 別り当てて読み解いてもらいます。 そわれてしまった和本リテラシーが、こ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9,	授読み方のののまで、これのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	后例(1) 后例(2) 后例(3) 后例(4) 居践(1) 居践(2) 居践(3)	
れからは改めて必要の入門編となれば著	要になってくるものと予想されます。そ をいです。	10, 11, 12, 13, 14, 15,	読み解き実読み解き実読み解き実講義のまと	E践 (6) E践 (7) E践 (8)	
テキスト、参考文献 テキストは用いず、	プリントを配布する。		<u>方法</u> :期末記	试験の結果()によって評	50%)と、授業中に割り当て 5価する。

08 年度以降	ことばと思想 2 (日本文学作品研究 e)			担当者	宇津木 言行
を講読します。 昔話・伝説の宝庫 育った賢治の童話に 品が多いが、中でも その集大成と目され 数篇を取り上げて討 論を用いた作品分析 口承された前近代	情話・伝説を素材とする宮澤賢治の童話 這といわれる東北・岩手県花巻に生まれ にはそれらを素材として取りこんだ作 が彼の代表作のひとつ『風の叉三郎』は れます。『風の叉三郎』生成に至る童話 構読しますが、ひとつの方法として異人	3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14,	 授業の概要 ざしき童子	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3) (1) (3) (2) (3) (3)	*
テキスト、参考文 育 テキストは用いず、	大 毎回プリントを配布する。	評価方法 評価方法: 期末試験もしくはレポートの結果 (80%) によって評価するが、授業への参加度、課題提出などの平常点(20%) も評価対象とする。			

08年度以降 ことばと思想2(日本語音声表現のトレーニング基礎篇) 担当者 梅津 正樹 07年度以前 ことばと思想(IV)(日本語音声表現のトレーニング基礎篇) 講義目的、講義概要 授業計画 日本語の音声表現によるコミュニケーション能力を高め 1 オリエンテーシン「日本人とことば」 るための基礎を学ぶ。 自然な発音・発声「発声トレーニング」 日本語(国語)教育では「読む」「書く」「聞く」「話す」 3 自然な発音・発声「発音トレーニング」 を柱としている。その中でも、今日の複雑な社会環境で社 4 実践スピーチ I 「自己紹介」 会人に必須とされるのは、コミュニケーション能力「話し 5 実践スピーチ I 「自己紹介」 て伝える」である。その基本となる「ことば」は口語言語 6 実践・説明 I 「抽象的な説明」 (話し言葉)であって、書記言語(書き言葉)ではない。 7 実践・説明Ⅱ「具象的な説明」 8 実践スピーチⅡ「テーマに即して話す」 近年「正しい話し方」などと言う指導があるが、そうした マニュアルはあり得ない。話し手・聞き手、それぞれ個性 9 実践スピーチⅡ「テーマに即して話す」 があり価値観が異なる。「ことば」に対する認識も異なる 10 若者言葉と曖昧表現 のである。正しいと言われる言葉で整然と話しても、正し 11 敬語の基本「用法と実践」 く伝わるとは限らないのである。 12 敬語の基本「用法と実践」 本講義では言葉の「力と空しさ」を体験しながら、理論で 13 実践スピーチⅢ「自分を語る」 はなく、実践からコミュニケーションの方法論を考える。 14 実践スピーチⅢ「自分を語る」 必ず毎時間、何らかの形でスピーチをし、説明をするなど、 15 気を付けたい表現と言葉 声を使った実践をするため、出席することが最低条件とな テキスト、参考文献 評価方法 平常授業における参加度と実践 70%

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (日本語音声表現のトレーニング表現篇) ことばと思想(IV)(日本語音声表現のトレーニング表現篇)	担当者	梅津 正樹

講義目的、講義概要

随時プリント配布

日本語の音声表現によるコミュニケーション能力を高めるための基礎を学ぶ。

日本語(国語)教育では「読む」「書く」「聞く」「話す」を柱としている。その中でも、今日の複雑な社会環境で社会人に必須とされるのは、コミュニケーション力「話して伝える力」である。その基本となる「ことば」は口語言語(話し言葉)であって、書記言語(書き言葉)ではない。ことばは時代と共に変わると言われるが、同時代であっても人それぞれ、言葉に対する認識・感覚は異なる。それは一人の価値観が異なり、個性があるからである。

本講義では言葉の「力と空しさ」を体験しながら、理論ではなく、実践からコミュニケーションの方法論を考える。 そのためには、実践を重ねることが重要である。秋学期は 春学期の延長上に位置づけるが、前半は春学期の基礎の復習もするので必ずしも、春学期受講を前提とはしない。 また「読んで伝える」ことも実践する。

なお、本講義では毎時間、何らかの形で声を使った実践を するため、出席することが最低条件となる。

授業計画

- 1 オリエンテーション「言葉と人間」
- 2 自然な発音・発声トレーニング

実践内容(理解力・応用力) 30%

- 3 実践スピーチ I 「自己 PR」
- 4 実践スピーチ I 「自己 PR」
- 5 実践・説明する I 「国語辞書を作る」
- 6 実践・説明するⅡ「図形の説明」
- 7 実践スピーチⅡ「テーマに即して話す」
- 8 実践スピーチⅡ「テーマに即して話す」
- 9 読んで伝える「意味通りに読む」
- 10 話すこと読むこと「イントネーション論」
- 11 実践スピーチⅢ「想いを伝える」
- 12 実践スピーチⅢ「想いを伝える」
- 13 敬語表現「基本と応用」
- 14 敬語表現「応用と実践」
- 15 面接で生きるコミュニケーション

テキスト、参考文献

随時プリント配布

評価方法

平常授業における参加度と実践 70% 実践内容(理解力・応用力) 30%

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (ラテン語 I a) ラテン語 Ia	ラテン語 I a)		小倉 博行		
講義目的、講義概要	ξ	授業計画				
ラテン語とは今から2,000年以上も前にイタリアのローマを中心に用いられていた言語です。ローマの支配圏が拡大するのに伴い、このラテン語も西ヨーロッパの全域に広まりました。現在のイタリア語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語などロマンス諸語と呼ばれる言語は、ラテン語が人々によって用いられる間に少しずつ変化し、成立したものなのです。したがって、ヨーロッパの社会・歴史・言語のどの分野であれ、深い理解を得ようとするにはラテン語(そしてギリシア語)の知識が不可欠です。本講座ではラテン語の読解力を身につけるべく、その初級文法を学びます。		1:第一課 文字と発音・音韻組織・音節 2:第一課 アクセント・母音の長音化と短音化 3:第一課 直説法現在能動相・接続詞の例 4:第二課 第一変化名詞・名詞の性と格・不規則動詞 sum,do,eo,fero 5:第二課 第二変化名詞・er で終わる第二変化男性名詞 6:第三課 第一・第二変化形容詞・前置詞・sum と eo の 合成動詞 7:第三課 人称代名詞・再帰代名詞 8:第四課 未完了過去・未来 9:第四課 第三変化名詞				
ごとに付されている	回文法事項を説明します。皆さんは課 5練習問題を解き、それを提出します。 ぶそれを添削し、返却および解説を行な	11:第五課 第三変化形容詞・場所の表現				
テキスト、参考文献評価方法			評価方法			
中山恒夫『標準ララ	・ン文法』(白水社)			を提出してもらい, 20 点満点 2点)を合格ラインとします.		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (ラテン語 I b) ラテン語 Ib		担当者	小倉	博行	
	ラテン語 Ib 授業計画 投業計画 です。ただし、秋学期から受講するという場 1:第八課 目的 受動相完了第 2:第八課 命令 詞・述語的に 3:第九課 不規 4:第九課 副詞 5:第十課 接合 7:第十一課 7:第十一課 7:第十一課 11:第十三課 11:第十三課 12:第十三課 12:第十三課 12:第十三課 13:第十三課 13:80 13:8		分詞・動詞の基本形・完了受動分詞・直説経 系三時称 法能動相・命令法受動相・形容詞からの副 司格 則動詞・形容詞の比較 の比較・部分を表す述語的同格 受動相動詞・分詞・絶対的奪格 定法 格+不定法 名詞型形容詞・不定代名詞・nemoと nihil 工重否定・動名詞・動形容詞 昨人称動詞・属格の用法 与格の用法 対格の用法・奪格の用法 安続法の活用			
テキスト、参考文献 春学期と同じです。	,	評価方法 春学期と同じで	7-t			
A TMCNOCY.			7 0			

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想2(ラテン語Ⅱa) ラテン語 IIa			小倉 博行		
講義目的、講義概要	Ę	授業計画				
ラテン語の原典を講	構読し、読解力の向上を目指します。従	左記のような方気	針なので、輪	読の形式をとることになりま		
って、この授業を受	受講するには、ラテン語の初級文法を学	す。『ガリア戦記	』の第1巻の	の冒頭(第1章)を読んだ後、		
び終えていることか	が前提です。	第3巻を読もう	と思っていま	す。		
ラテン語の文法を	学んだ人は「とにかく予習が大変だっ	I教材プリント酢	2布、ガイダン	ンス。		
た」あるいは「課題	夏をこなすのに一苦労だった」と言いま	II 第 1 巻第 1 章				
す。そこで、せった	かく「完走」しても、「あれをまたやる	III 第 3 巻第 1 章				
のは…」と、続ける	ことを断念してしまう人も少なからず	IV 第 3 巻第 2 章				
います。この授業に	はそうした心配には及びません。詳しい	V 第 3 巻第 3 章				
註や解説をあらかし	じめ用意することで、予習の段階でのい	VI 第 3 巻第 4 章				
わば「不必要な試行	う錯誤」を回避できるよう工夫してあり	VII 第 3 巻第 5 章				
ます。つまり、なる	るべく負担は少なく、なおかつ原文で読	VIII 第 3 巻第 6 章				
まなければ味わう	ことのできない醍醐味を知ってもらお	IX 第 3 巻第 7 章				
うという、欲張りた	は授業です。文法を学んだだけで終わら	X 第 3 巻第 8 章				
せてしまうのは、辛	さいところしか知らずにやめてしまうの	XI 第 3 巻第 9 章				
に等しいといえるでしょう。初級をクリアしたということ		XII 第 3 巻第 10 章				
は、古代世界を深く知る、それも特権的な資格を得たといX		XIII 第 3 巻第 11 章				
うことです。そうした自負を持って、ためらうことなくこ		XIV 第 3 巻第 12 章				
の授業に参加しても	ららいたいと思います。	XV 第 3 巻第 13	章			

評価方法

加を望みます。

平常点で評価します. 毎回の予習と, 授業への意欲的な参

テキスト、参考文献

プリントを配布します.辞書は『羅和辞典』(研究社)を

勧めますが、羅英、羅独、羅仏、羅伊など何でも構いませ

ん. また、初級のときに用いた教科書を参考書とします.

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (ラテン語 II b) ラテン語 IIb		担当者	小倉	博行	
講義目的、講義概	要	授業計画				
春学期と同じです。		春学期に引き続き	きカエサルの	『ガリア戦記』を	輪読します。	
		I 第 3 巻第 13 章				
		II 第 3 巻第 14 章	<u> </u>			
		III 第 3 巻第 15	章			
		IV 第 3 巻第 16 1	章			
		V 第 3 巻第 17 章	<u>1</u>			
		VI 第 3 巻第 18 1	章			
		VII 第 3 巻第 19	章			
		VIII 第 3 巻第 20 章				
		IX 第 3 巻第 21 章				
		X 第 3 巻第 22 章	Ī			
		XI 第 3 巻第 23 章				
		XII 第 3 巻第 24 章				
		XIII 第 3 巻第 25 章				
		XIV 第 3 巻第 26 章				
		XV 第 3 巻第 29 章				
テキスト、参考文	献	評価方法				
春学期と同じです。		春学期と同じです。				

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (古典ギリシア語 II a) 古典ギリシア語 II a		担当者	小倉 博行
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
す。従れて、この終れでは、この終れでは、この終れで、この終れでは、ではないでは、ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	原典を講読し、読解力の向上を目指しま 受業を受講するには、古典ギリシア語の をていることが前提です。 した人は「とにかく予習が大変だった」 こなすのに一苦労だった」と言います。 完走」しても、「あれをまたやるのは…」 活念してしまう人も少なからずいます。 さい配には及びません。詳しい註や解説 することで、予習の段階でのいわば「不 を回避できるよう工夫してあります。 と回避できるよう工夫してあります。 とは少なく、なおかつ原文で読まなけれ を知ってもおらせてしまう しない難酬味を知ってもおうせてしまう しないを対けで終わらせてしまう しなか知らずにやめてしまうのに等しい のといます。 のとないを対して終わらせてしまう のとないを対していることは、古とと にはないます。		初期対話篇の	読の形式をとることになりま ひとつ『クリトーン』を採り ンス。
テキスト、参考文献	;	評価方法		
勧めますが、羅英,	ます.辞書は『羅和辞典』(研究社)を 羅独,羅仏,羅伊など何でも構いませ さきに用いた教科書を参考書とします.	平常点で評価しる 加を望みます。	ます. 毎回の	予習と、授業への意欲的な参

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (古典ギリシア語 II b) 古典ギリシア語 II b		担当者	小倉	博行
講義目的、講義概要	E	授業計画			
春学期と同じです。		春学期に引き続: ン』を読みます. I 49 a, b II 49 c, d, e III 50 a, b, c IV 50 d, e V51 a, b, c VI 51 d, e VII 52 a, b, c VIII 52 d, e IX53 a, b, c X 53 d, e XI 54 a XII 54 b XIII 54 c XIV54 d XV 54 e		対話篇の中から	· 『クリトー
テキスト、参考文献	t	評価方法	_		
春学期と同じです。		春学期と同じで	す。 -		

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		
ノてヘド、ジ布ス部	可顺刀压		
T T			

08 年度以降	ことばと思想2(韓国の言語文化)		担当者	金泰植	
て学ぶ。 K-POP の歌詞や ニュース記事や、短 た書籍や論文などを ら特に間違いやすい 化についても理解を 翻訳の難しさと理解を 受講者は、韓国記 められる。また課是	で書かれた文章を翻訳する方法につい、 化粧品の説明文、インターネット上の豆い文学作品、韓国社会についてかかれたテキストとする。それらを翻訳しながい日本語と韓国語について学び、韓国文と深める。また、翻訳と和訳の違いや、ハについて学ぶこととする。 唇初級までの学習を終えていることが求題やグループワークも課す。 ダンス時に行うアンケートをもとに多	授業計画 1. ガインススの3. インスの3. インスの3. インスの3. インスの前期である。 インスの前期である。 インスの前期である。 インスの前期である。 インスの前期である。 インスの前期である。 インスを書きませる。 インスをより、インスをはいる。 インスをはいる。 インスを	すつ すつ すつ すつ ですつ ですつ ですつ ですつ に ですつ に ですつ に でする で で で で で で で の に で の に で の に の に の に の		
テキスト、参考文献 初回講義時に提示す ※韓国語の辞書を必	- る。	評価方法 課題などの平常が を総合して評価		と期末レポートの成績	(40%)

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (古典ギリシア語 I a) 古典ギリシア語 I a		担当者	桜井 悠美		
講義目的、講義概要	5	授業計画				
を着実に読み、書きとを第一の目標とし問題を確実にこなし手法をとっていきまして、古代ギリシアの社会や文化にも触	受業を通して、基礎的な古典ギリシア語 を、理解することができるようになるこ します。そのためには、テキストの練習して、一つ一つステップアップしていく にす。また、古典ギリシア語の学習を通 の歴史や文化、さらには現代ギリシア はれていきたいと思います。	2 音節・アクー (この時の時点で、 3 動詞の時点のの時点で、 4 名のの時点で、 5 動詞の時点で、 (この時点で、 (この時点で、 (この時点で、	古典ギリラン 古典ギー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ が ・ が に の が の が の が の が の が り が り が り が り が り が	ア語で自分の名前が書ける) 点 ア語の単語が読める) 相現在 できる) 変化が理解できる) 相未来 章が読める)		
ますが、途中10分ギリシアの情勢を助ホームな雰囲気で行授業は予習と復習でいくことになるの	元1~2つずつ学習するペースで進み 計間ほどの中休みを入れ、古代や現代の 快像などを交えて紹介しながら、アト・ けいたいと考えています。なお、各回の をきちんとしていることを前提に進め つで、出席は必ず毎回するように心がけ 貴重な古典ギリシア語を知的遺産として ませんか。	8 形容詞の変化(第一・第二変化) 9 前置詞 10 動詞の変化・直説法能動相アオリスト 11 動詞の変化・現在完了と過去完了 12 指示代名詞と強意代名詞(新約聖書が読める) 13 直説法能動相本時称の人称語尾 14 直説法能動相副時称の人称語尾 15 春学期まとめ		(この時点で、動詞の三時制がマスターできる) 4 名詞の第二変化 8 形容詞の変化(第一・第二変化) 9 前置詞 回の 10 動詞の変化・直説法能動相アオリスト 進め 11 動詞の変化・現在完了と過去完了 ばけ 12 指示代名詞と強意代名詞(新約聖書が読める) 13 直説法能動相本時称の人称語尾 14 直説法能動相副時称の人称語尾		制がマスターできる) 二変化) 動相アオリスト と過去完了 詞 (新約聖書が読める) 人称語尾 人称語尾
新装版』(岩波書店	大 毛知太郎・松平千秋著『ギリシア語入門 、2012)(2200円+消費税) 時々、プリントを配布します。	評価方法 出席者による。 トや試験はしま		答を繰り返して行ない、テス 、平常点評価)。		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (古典ギリシア語 I b) 古典ギリシア語 I b		担当者	桜井 悠美
講義目的、講義概要 <講義概要> 同上		2	とが・・・(が、なス・変三動第1の動不変直中中微こ多相がト直化変詞三))一般の説動動妙の用互りの説(化と変いの代名こ中独の文点れ名理法受)2年化が詞と動特各章でる詞解(動))動	変化の基本形が理解できる)(この時点で、アクセントのが理解できる)。相の各時制(1)の用法が理解できる)時制(2)。表現が理解できる)、人称代名詞を使わずに、そことが理解できる)、所有代名詞(この時点で、こしやすくなる)で、規則変化が理解できる)相
テキスト、参考文献 同上	;	評価方法 同上		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想2(書き言葉の問題) ことばと思想(IV)(書き言葉の問題)		担当者	佐藤 毅
講義目的、講義概要	E C	授業計画		
えに日本語の持つ金 義では、暗号のよう 心を打つ手紙をトレ に考える。 講義概要 手紙文の定型。先力 イテムとした小説の 受講生への要望	生から一般化されてきた。その簡便性ゆ 収情性や心配りが失われつつある。本講 のなメールのやり取りから抜け出して、 レーニングして、心を打つ文章を徹底的 、の書簡の分析、鑑賞。手紙を重要なア の鑑賞。美しいメール作法。 つで、やむを得ず休んだ場合は、必ずノ こください。	第1回回 第3回 第4回回 第5回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	約束① 約束② 約束② 終済を持ち、 があれる。 はいれる。 はいれる。	(2)(2)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(7)(8)(9)(9)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)
テキスト、参考文南	*	評価方法		
随時指示する。		添削指導歴。レ	ポート。	

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想2 (話し言葉の問題) ことばと思想 (IV) (話し言葉の問題)		担当者	佐藤 毅
講義目的、講義概要	2	授業計画		
に代表されるようにケーションの断絶を る話し言葉を学び、心 講義概要 流行語と世相の相関 プを埋める話し言葉 題だけでなく、就耶 のコミュニケーショ葉について考える。 受講生への要望	ギャル語、若者言葉、おやじ言葉などこ、それぞれの世代で区分されコミュニと生んでいる。世代を越えて理解しあえながら、そこに込められた日本人の知恵いに届くことばの本質を考える。 関関係を見ながら、現代の世代間ギャッとを模索する。学生生活でのことばの問題試験の面接に代表されるような世代間コンに役立つ自己表現としての話し言いて、やむを得ず休んだ場合は、必ずノてください。	第6回 若者言葉	変変変 ののの ドボ できます がかれる ととと ととと ととと ととと ととと とと とと とと とと とと とと	(賞の分析)②(賞の分析)③(書についての考察)①(またついての考察)②(またついての考察)③(またったの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表)②(またましたの表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表
テキスト、参考文献	#	評価方法		
随時指示する。		添削指導歴。レ	ポート	

08 年度以降 07 年度以前			担当者	島津 寛
講義目的、講義概要	편	授業計画		
ます)のい言語では、できます。のい言語では、これができます。のの言語では、これができます。のできまれるでは、これができまれる。これができまればいる。これができまない。これができない。これができない。これができない。これができない。これができない。これができない。これができない。これができない。これができない。これができないができない。これができないができないができないができないができないができないができないができない	伊語(以下「主要ロマンス語」と呼び一つ以上について一年以上学んだ方(以厚攻ロマンス語」と呼びます)を対象と知識を最大限活用しながら非専攻ロマンン知識を身につけると共に、非専攻ロマンとの特徴を非専攻ロマンス語との特徴を非専攻ロマンス語との特徴を非専攻ロマンス語と伝統的な文法項目毎に並行ノス語比較文法表(ノート)の作成をします。 ス語文法を伝統的な文法項目毎に並行ノス語比較文法表(ノート)の作成をして、ストク析のための基礎の授業に備えます。	1) ガイダンス 2) 発音 3) 発音 4) 名詞、形容詞、形容詞、 5) 所有詞形形記 7) 現在形(2) 8) 過去形(1) 9) 過去形(2) 10) 過去形(3) 11) 再詞形、、 12) 分未来続法(1) 15) 接続法(2)	指示形容詞、 在形(1) 代名(再帰) 了形、進行形	動詞、受動形
テキスト、参考文献	tt .	評価方法		
参考書はガイダンス	スの際に案内します.	平常点(発表を ます.	含む)、課題	提出をもとに総合的に判断し

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (ロマンス語研究入門 2 ことばと思想(IV)(ロマンス語研究入門		担当者	島津	寛	
講義目的、講義概要 (概要) コナン・ドイル『バスカヴィル家の犬』の主要ロマンス語版を並行して精読しながら、各テクストの対応部分を主に文法的な観点から比較検討し、観察結果、問題点を発表、レポートに仕上げます.						
		8) テクスト分析 9) テクスト分析 10) テクスト分析 11) テクスト分析 12) テクスト分析 13) テクスト分析 14) テクスト分析 15) テクスト分析				
テキスト、参考文献	#	評価方法				
参考書はガイダンス	スの際に案内します.	平常点(発表を含に判断します.	さむ)、課題提	出、レポートを	もとに総合的	

08 年度以降 07 年度以前			担当者	清水 絹代		
講義目的、講義概要	5	授業計画				
毎回の講義で、履修者たちはチームに別れ、与えられたテーマを元にディスカッションを行い、そこで得られた結論をパワーポイントにまとめて発表します。発表後には、質疑・応答の時間も作ります。ディスカッションやプレゼンテーションを行うプロセスの中から、自身が考えていることを他者に言語を用いて的確に伝える能力を磨きます。またチームのメンバーそれぞれが持つ才能を生かす方法も学びます。		ディスカッション・テーマ:「幸せ」の定義① 第6回目: レクチャー: 草稿の作成 テキスト: 第3章 ディスカッション・テーマ:「幸せ」の定義②				
 第1回目:イントロダクション 第2回目:レクチャー:センスのよい表現テキスト:第1章ディスカッション・テーマ:大学で勉強する目的① 第3回目:レクチャー:アウトラインの作成方法テキスト:第2章ディスカッション・テーマ:大学で勉強する目的② 第4回目:レクチャー:他者との対話テキスト:第9章ディスカッション・テーマ:大学で勉強する目的③ 						
テキスト、参考文献	†	評価方法				
資料を配布します		平常点(20%)、授	業への参加月	度(20%)、最終レポート(60%)		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (プレゼンテーション実 ことばと思想(IV)(プレゼンテーション)		担当者	清水 絹代
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
にディスカッションを行いめて発表します。発表スカッションやプレゼンでいることを他者に言語またチームのメンバーです。 授業計画 第1回目: イントロダケ第2回目: レクチャー: ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ティスカッション・ディーにディスカ・第9章	センスのよい表現 -マ:大学で勉強する目的① アウトラインの作成方法 -マ:大学で勉強する目的②	ディスカッション・ 第 9 回目:レクチャ テキスト:第 6 ³ ディスカッション・	章・テー章・テーラー・マニー・章・テーニー・章・テーニー・テーニー・マニー・マニー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	の定義① : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
テキスト、参考文献	#	評価方法		
資料を配布します		平常点(20%)、授	業への参加月	度(20%)、最終レポート(60%)

08年度以降 ことばと思想2(生きたコトバづかい・文章編) 担当者 下川 浩 07年度以前 ことばと思想(IV)(生きたコトバづかい・文章編) 講義目的、講義概要 授業計画 近頃「日本語ブーム」とかで、テレビ番組でやたら漢字 1. 生きたコトバづかいの4原則説明、ビデオについて の読み方や書き方などのクイズ番組が放映されています。 のレポート提出 けれども、いくら難しい漢字が書けたり・読めたりしても、 2. 原稿用への文章の書き方・書きなれノートの書き方 説明、ビデオについてのレポート提出 日本語がじょうずだと言えるのでしょうか? 私が会長をつとめている「日本コトバの会」は民間研究 3. ビデオについてのレポート提出 団体で、学者・研究者が難しい専門用語を使い研究するの 4. 以下同様 ではなく、小・中学校や日本語学校の教師、主婦、定年退 5. 職後の方々が、純粋に自分たちの日本語能力を高めようと 6 して、文章の書きかた・文学作品のよみかた・話し合いの 7. しかた (話しかた・聞きかた) などを、定期的に集まって 8. 勉強する団体です。 この会の研究の中で見いだされた「生きたコトバの四原 10. 則」というのは、私の亡き恩師の定式化によれば、「正し 11. く・わかりやすく・切れ味よく・感じよく」です。 12. 私は、この4番目の「感じよく」は適用範囲が狭いので、 13.

場面に「ふさわしく」と改訂しました。それにしたがって、 原則そのものの名称もあらため、「生きたコトバづかいの 4原則」としたいと思っています。

この授業では、生きたコトバづかいの4原則にのっとった文章の書きかたができるようになるように、実習にもとづく勉強します。

毎回重要問題についてのビデオを見せて、そのまとめとそれについての考えを書いてもらいます。

テキスト、参考文献

教科書:下川 浩著『いつまでダマされつづけるの?政府・大企業・マスメディアのウソとコトバの魔術』(えむ 出版企画)

評価方法

14.

毎時間ビデオについてのレポートを提出してもらうとともに、左記教科書の「事項索引」を作成し、その業績を自己評価してもらい、これをもとに評価を決定します。

08 年度以降
07 年度以前ことばと思想 2 (生きたコトバづかい・文章編)
ことばと思想(IV)(生きたコトバづかい・文章編)担当者

講義目的、講義概要

近頃「日本語ブーム」とかで、テレビ番組でやたら漢字の読み方や書き方などのクイズ番組が放映されています。 けれども、いくら難しい漢字が書けたり・読めたりしても、 日本語がじょうずだと言えるのでしょうか?

私が会長をつとめている「日本コトバの会」は民間研究 団体で、学者・研究者が難しい専門用語を使い研究するの ではなく、小・中学校や日本語学校の教師、主婦、定年退 職後の方々が、純粋に自分たちの日本語能力を高めようと して、文章の書きかた・文学作品のよみかた・話し合いの しかた(話しかた・聞きかた)などを、定期的に集まって 勉強する団体です。

この会の研究の中で見いだされた「生きたコトバの四原 則」というのは、私の亡き恩師の定式化によれば、「正し く・わかりやすく・切れ味よく・感じよく」です。

私は、この4番目の「感じよく」は適用範囲が狭いので、 場面に「ふさわしく」と改訂しました。それにしたがって、 原則そのものの名称もあらため、「生きたコトバづかいの 4原則」としたいと思っています。

この授業では、生きたコトバづかいの4原則にのっとった文章の書きかたができるようになるように、実習にもとづく勉強します。

授業計画

- 1. 生きたコトバづかいの4原則説明、ビデオについて のレポート提出
- 2. 原稿用への文章の書き方・書きなれノートの書き方 説明、ビデオについてのレポート提出
- 3. ビデオについてのレポート提出
- 4. 以下同様
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.
- 11.
- 12.
- 13. 14.
- 1.5

毎回重要問題についてのビデオを見せて、そのまとめとそれについての考えを書いてもらいます。

テキスト、参考文献

教科書:下川 浩著『いつまでダマされつづけるの?政府・大企業・マスメディアのウソとコトバの魔術』(えむ 出版企画)

評価方法

毎時間ビデオについてのレポートを提出してもらうとともに、左記教科書の「事項索引」を作成し、その業績を自己評価してもらい、これをもとに評価を決定します。

			担当者	
講義目的、講義概要	ξ	授業計画		
テキスト、参考文献	*	評価方法		
テキスト、参考文南	*************************************	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (心理検査法と自己理解) ことばと思想(IV)(心理検査法とこころの健康)	担当者	田口 雅徳

講義目的、講義概要

受講者にさまざまな心理検査やグループ・ワークなどを実践してもらう。これらの学習を通して、心理学の基本的知見を習得してほしい。また、心理検査の結果を分析して自己理解を深めてもらうことも本講義の目的である。心理検査やグループワークを実践した後には、結果をレポートにまとめてもらう。関連するビデオを視聴し、レポートを書いてもらうこともありうる。

※履修者には授業で使用する心理検査用紙の実費 (2000 円程度)を負担してもらう。履修が決定した ら自動発行機で申請書を購入すること。授業時に申 請書と引き換えに検査用紙を配布する。初回の授業 にて履修制限や検査用紙代納入方法について説明す るので欠席しないこと。

授業計画

授業計画は以下のとおりである。

- 1. 心理検査とは?
- 2. 心理検査の種類と理論
- 3. 質問紙による性格検査①
- 4. 質問紙による性格検査②
- 5. ストレス・コーピング
- 6. 絵からみる家族像
- 7. 知能検査
- 8. 感情指数
- 9. 職業興味
- 10. グループ・ワークによる自己理解①
- 11. グループ・ワークによる自己理解②
- 12. グループ・ワークによる自己理解③
- 13. グループ・ワークによる自己理解④
- 14. グループ・ワークによる自己理解⑤
- 15. 心理検査による自己理解のまとめ

テキスト、参考文献

各種の心理検査用紙は一括で購入する。検査用紙購入にか かる費用を履修登録時に負担してもらう。

評価方法

実施した心理検査の結果をレポートにまとめて提出して もらう。また、最終レポートを課す。これらのレポート内 容を総合し、最終の評価を決定する。

08 年度以降 07 年度以降	ことばと思想 2 (英語通訳)(英語通訳の付ことばと思想(IV)(英語通訳の仕事)	とばと思想 2 (英語通訳)(英語通訳の仕事) とばと思想(IV)(英語通訳の仕事)		中島 直美	
講義目的、講義概要		授業計画			
通訳という行為に関を伝えることを目的 通訳者の実際の仕事を伝えることを明めたない。 はいまれなどを探いっなどを聞いるからない。 かられなどを聞いるが、 はいまなどを聞いますが、 おいますが、 おいますが、 おいますが、 で詳しい。 からい。	者になりたいと考えている、もしくは、 関心がある人に、仕事の現状と訓練方法 力としています。 事内容を紹介するとともに、通訳に何が と考えながら、市場の現状やキャリアパ きます。通訳者の方などをお招きし、現 あります。また、どんな勉強をすれば いというヒントも提供します。 ベルが様々で人数も多いため、集中的な が、基本的な訓練方法を紹介し、授業内 す。なお、演習については主に日本語で い説明をしますので、必ず出席してくだ の都合により、授業の内容は前後する	03 語彙力増強力 04 ディクテーシ 05 通訳訓練方法 06 通訳訓練方法 07 通訳訓練方法	・リアパス /庭 デ法 (1) シャドロ (2) リイイッ (3) サイイット (4) クーテ漢明 (1) 逐時通訳 (2) 同時通訳	通訳者に求められるスキル ウイング ダクション トランスレーション クレスポンスなど ング	
テキスト、参考文献	5文献 評価方法		平価方法		
随時プリントなどを配布する。		授業中に実施する確認テストによって評価する。 なお出席は前提条件であり、遅刻2回を1欠席と見なし、 欠席4回以上は評価の対象外とする。			

08 年度以降 07 年度以降	ことばと思想 2 (英語通訳)(英語通訳の仕事) ことばと思想(W)(英語通訳の仕事)		担当者	中島 直美
講義目的、講義概要	5	授業計画		
通訳という行為に関することを明られて、 を伝えるの実にいって、 では、まずれななでは、 では、まずれななでは、 では、ないますが、は、 をは、ないますが、は、 をは、まずれなながられるが、 では、まずれなが、は、まずれなが、 をは、まずれなが、まずれなが、 では、まずれなが、で、まずれない。 では、まずれないない。 では、まずれないない。 では、まずれないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	事内容を紹介するとともに、通訳に何がと考えながら、市場の現状やキャリアパまます。通訳者の方などをお招きし、現らあります。また、どんな勉強をすればいというヒントも提供します。 ベルが様々で人数も多いため、集中的ない、基本的な訓練方法を紹介し、授業内は、なお、演習については主に日本語でいいます。 い説明をしますので、必ず出席してくだるの都合により、授業の内容は前後する	03 語彙力増強力 04 ディクテーシ 05 通訳訓練方法 06 通訳訓練方法 07 通訳訓練方法	・リアパス が法 ション を (1) シャプト を (2) リイイ を (3) ク カート で (1) 逐時 近 (2) 同時 近 (2) 同時 (2) 同時 近 (3) の の の の の の の の の の の の の の	面訳者に求められるスキル ウイング ダクション トランスレーション クレスポンスなど ング

評価方法

授業中に実施する確認テストによって評価する。

欠席4回以上は評価の対象外とする。

なお出席は前提条件であり、遅刻2回を1欠席と見なし、

テキスト、参考文献

随時プリントなどを配布する。

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (生活文化の発見) ことばと思想(IV)(生活文化の発見)			担当者	林 英一
た社会は文化を形成れ、文化の影響のもことになる。本講義では、とくどのような意識をいる。 現在の生活の中に先た「過去」を学ぶので現在の生活がどのようなでは、とくどのようなでは、とくどのようなでは、とくどのようなでは、でいるのからいるのかというのかというのかというのかというのかというのかというのかというのかという	社会の中で生きるということであり、ま成する。つまり生活は文化の中で営まっとで人間は成長し、人生を送るというにた人たちがどのような生活を送り、もっていたのかを学ぶことは、決してではなく、現在にも通じるものである。また」へとどのように生活文化が変化し、うなものであったのか明らかにするこ」の生活文化を見つめたい。さらに、たる深層の部分(観念)がどのようになら点を理解しようとするものである。また的問題も扱う。将来の我々の生活を見	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	地地地域域活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活活	見る生活文化と見るとと、	、生活を見つめる眼差し) 1 (周圏論を中心に) 2 (具体的要因から) 3 (具体的要因から)を中心に) 会システムの形成と生活) 会システムとその機能) 会システムとその機能) (会システムとをの機能)が (会システムとをの機能)が (会システムとをの機能)が (本新による生活変化)が (本新による生活変化)が、 (本本の、現代の様相)が、 (本本の、現代の様相)が、 (本の心意的問題)
テキスト、参考文献 授業時にプリントを	•	試験ない			以上の者は評価の対象とはし 遅刻とし、遅刻2回で欠席1

講義目的、	講義概要

08年度以降

07年度以前

古来さまざまな記録が残されてきているが、「当たり前」 の生活を記録したものはあまりない。それがみられるよう になるのは江戸時代後期からである。

ことばと思想2(生活文化の記述)

ことばと思想(IV)(生活文化の記述)

生活を記録したものとしては、旅行記や日記という個人的なものがあり、また主に自治体が編纂する民俗誌というものがある。これらがどのような理由で記述され、またそれにどのような意味があるのか、さらに民俗誌には文書化されたものと映像化されたものがある。本講義では、人々が自分のために書き残したメモを始め、さまざまな意味を持つ日記、そして文書化された記録や映像記録を見ることにより、記録することの意味や問題点を考える。そしてこのような記録の究極は伝統文化の保存である。最後には保存とは何かその意味と問題点について考えていきたいと思っている。

授業計画

- 1 ガイダンス
- 2 生活を記述すること1 (日記)
- 3 生活を記述すること2 (嫁・養子として)

担当者

林 英一

- 4 生活を記述すること2 (備忘録)
- 5 情報としての記録1 (文化の発信)
- 6 情報としての記録2 (地震記録を中心に)
- 7 記録のための記録(民俗誌)
- 8 民俗誌に記録されたもの1
- 9 民俗誌に記録されたもの2
- 10 民俗誌の意義と問題点
- 11 映像記録を見る1 (ビデオと解説)
- 12 映像記録を見る2 (ビデオと解説)
- 13 映像記録を見る3 (ビデオと解説)
- 14 映像記録の意義と問題点
- 15 民俗文化財の保護の意義と問題点

テキスト、参考文献 評価方法

授業時にプリントを配布

試験を行う。但し、欠席4回以上の者は評価の対象とはしない。出席表配布後の入室は遅刻とし、遅刻2回で欠席1回とする。

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2 (論文を書く) ことばと思想(IV)(論文を書く)		担当者	福沢 健
講義目的、講義概要		授業計画		
できるかくてにしててにしてて作りできますもを書いるをられてにこれて作りで、、まの行信要がでいる。 ここでは、、では、ここででは、、では、ここででは、、では、ここででは、、では、ここででは、、では、ここででは、できるともののあったができる。 こうでは、	求される学生の能力とは、自分で調べ 考え、それをまとめて、その内容を相手 というものである。その発信した結果と 「論文」ということになろう。したが 」という作業は、ただ論文の形式を覚 で書けばいいというものではなく、上記 る。そこで、この講義では、「ディベー 重して、その内容を最終的に「論文」と うことを目的とする。 対としては、「企業は社会貢献活動に取 という論題を設定する。これに関して、 活動」の概念を明確にしつつ、自らの がうこととする。また、授業の進捗度に ば学生同士によるディベートの試合も行 る。最後に、その内容を基に、「論文」 こととする。 この受講が多いが、1・2年生を対象とし 2年生が受講することが望ましい。	3 ディベート② 4 ディベート③ 5 ディベート④ 6 ディベート⑤ 7 ディベート⑥	(で、) (で、) (で、) (で、) (で、) (で、) (で、) (で、)	- の説明、論題の説明) とめる、リサーチ) ンモデル) ードの集約) プの作成)
テキスト、参考文献		評価方法		
テキスト 特になし 参考文献 授業時に				トによって決める。 べく欠席しないようにするこ

08 年度以降 07 年度以前	ことばと思想 2(口頭発表を行う) ことばと思想(IV)(口頭発表を行う)		担当者	福沢 健
のような技術が必要な対抗では、、必要な話したらいでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできるができるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、でき	自分の意見を相手に伝えるためには、ど 要かを考えながら、話す能力の向上を目 ただ講義を聴いていただけでは向上し 前に出たりしてもらって、実際に発表 5授業を行っていく予定である。 は、さまざまな場面が想定されるが、特 見を述べるプレゼンテーションに意見を ができる能力の育成を行う。 レゼンテーションの技術について考えな 明読、い。最後に、その成果を踏まえた してもらう予定である。 にの受講が多いが、1~3年生を対象とし 3年生が受講することが望ましい。	授業計画 1 はプレビンテー・3 プレののの構成のであるのでは、アー・2 日内容のの構成のです。 7 視点では、 7 視点では、 9 ボボディィー・ラング 11 ボボデス・12 ボス・13 発表をとり 15 まとめ	ションの三要 聴衆分析 成 ゲージ①(声 ゲージ③(声 ゲージ④(アイ	- - 滑舌) 一朗読 1) 三 コンタクト)
テキスト、参考文献 テキスト 特になし 参考文献 授業時に	·			トによって決める。 べく欠席しないようにするこ

08 年度以降	ことばと思想 2 (ラカン精神分析入門 a)	担当者	若森 栄樹
---------	------------------------	-----	-------

講義目的、講義概要

皆さんは「精神分析」という言葉を聞いたことがあると 思いますが、それがどのようなものなのかは日本ではほと んど知られていません。しかしフランスではおよそ4百万 人の人が何らかの形で精神分析に関わっていると言われ ています。それほど精神分析がフランスで盛んになった要 因の一つは、やはりジャック・ラカンという分析家にして 理論家である人物の存在です。

日本で精神分析がまったく顧みられないのは日本人に とって大きな損失です。この講座ではフロイトからラカン へと、どのように精神分析が変貌を遂げて行ったかを知 り、舵を失った船のように漂い続ける我々自身を振り返り たいと考えています。

言葉がどれほど人間の思考を規定しているか、どれほど 我々の生に深く作用しているかを知り、人間が誰でも奥底 に秘めている可能性を明らかにすること、これがこの講座 の主題です。

一見難しそうですが、できる限りわかりやすく話すつも りです。

授業計画

- 1) 講義内容の全体的な説明
- 2) フロイトにおける精神分析の発見
- 3) 夢と失語行為と無意識
- 4) 分析とはどのような行為か? (1)
- 5) 分析とはどのような行為か? (2)
- 6) 「トーテムとタブー」の問題
- 7) 集団の心理学と精神分析
- 8) エス・自我・超自我
- 9)「死の欲動」の問題
- 10) 晩年のフロイトの問題意識
- 11) フロイトからラカンへ
- 12) 分析以前のラカン
- 13) ナルシシズムと鏡(鏡像段階について1)
- 14) ナルシシズムと鏡(鏡像段階について2)
- 15) まとめ

テキスト、参考文献

追って指示します。

評価方法

期末レポートと平常点。積極的な授業参加が求められます。

08 年度以降 ことばと思想 2 (ラカン精神分析入門 b) 担当者 若森 栄樹

講義目的、講義概要

秋学期は春学期で述べたことを前提にして、ジャック・ラカンの理論を詳細に検討します。

具体的にはまずナルシシズム論をふまえて「攻撃性」(これにはいわゆる「いじめ」やヘイトスピーチのような言葉の暴力も含まれます)がどのような起源をもつのかを検討し、次に「では分析は何をめざしているのか」という問題をラカンのテクストを追いながら扱い、次に有名な「シニフィアン」の理論を概観します。ポーの「盗まれた手紙」のラカンの読解がその中心になります。そして「不安」(フランス語で angoisse、ドイツ語で Angst といい、日本語の「不安」とは異なるのですが、さしあたり「不安」としておきます)が分析において果たす根本的な役割について述べます。

精神分析というと普通、すぐにセックスが思い浮かびますが、この点に関してラカンは非常に興味深いことを言っています。彼によれば「性的関係というものはない」というのです。また、彼は「『女性』というものは存在しない」とも言っています。この講座では最後にこの問題を取り上げ、それと関連して「日本」あるいは「日本人」が精神分析に対してもつ特別な意味を考察することで講座の締めくくりとします。

授業計画

- 1) 精神分析は人間に内在する攻撃性をどのように捉えるか?(1)
- 2) 同(2)
- 3) ラカンにとって分析とはどのような行為か(1)
- 4) 同(2)
- 5) ソシュールからラカンへ(1)
- 6) 同(2)
- 7) 想像界、象徵界、現実界(1)
- 8) 同(2)
- 9) 不安について(1)
- 10) 同(2)
- 11)「性的関係は存在しない」ということ(1)
- 12) 同(2)
- 13) 日本をラカンはどのように捉えたか(1)
- 14) 同(2)
- 15) まとめ

テキスト、参考文献

追って指示します。

評価方法

期末レポートと平常点。積極的な授業参加が求められます。

08 年度以降	歴史と文化2(Japanese Legends, Tales and Myths as Expressed in the Arts: 1)		担当者	A. ゾーリンジャー
講義目的、講義概要	2	授業計画		
語力を必要とします This course is designed aspects of Japanese legends, tales and introduced through and will include a lefor the study of one make an excursic performance. Course Objectives: To learn and digapanese legends To learn and diwhich these legenthey were mainta To learn and legends/tales/myt jōruri, kabuki), risculpture) To learn and legends/tales/myt	FL(IBT) 71、英検準一級程度以上の英一。 gned to acquaint students with various culture through the study of traditional myths. Each focus story or topic will be a associated imagery and/or artworks exture, readings and related discussions. It is select topic in particular, the class will on to a corresponding exhibition or discuss a broad variety of traditional at the same myths are selected and myths are selected and in which the discuss the expression of these this in the context of performance (noh, trual (kagura), and art (painting, prints, selected and sequence of the	will focus on a s Animal/Cr Superstitic Drago (paint Demons ar Oni Praye Aman Vengeful S Dojojo Tenjir Oiwa: Heroes and Benko	election from eature Tales ons on, Tiger, Ca cing, prints) ad Tricksters o Nenbutsu: ers (Otsu-e fo iojaku (sculp pirits and G f (noh, noh m i Sugawara a Yotsuya Ka	Demon Reciting Buddhist olk painting) oture) hosts nasks, painting) no Michizane (painting) widan (kabuki, prints)
テキスト、参考文献	状	評価方法		
Printouts of requirements by the instructor.	red reading materials will be provided	discussions (2	5%), the	n participation in classroom completion of homework hievement on a final essay

08年度以降	歴史と文化 2 (Japanese Legends, Tale Expressed in the Arts: 2)	s and Myths as	担当者	A. ゾーリンジャー
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
語力を必要とします This course is d various aspects of traditional legends topic will be intra and/or artworks ar related discussion particular, the cl corresponding exh Course Objectives: To learn and di Japanese legend To learn and di which these le which they were To learn and legends/tales/my (noh, jōruri, h (painting, prints) To learn and legends/tales/my mores, world-vi people	recomplete to acquaint students with Japanese culture through the study of stales and myths. Each focus story or reduced through associated imagery and will include a lecture, readings and stales. For the study of one select topic in lass will make an excursion to a libition or performance. In the second variety of traditional is, tales and myths scuss the socio-cultural context from regends/tales/myths emerged and in a maintained discuss the expression of these of the in the context of performance cabuki), ritual (kagura), and art stales, sculpture) discuss how this selection of of the reflect the history, traditions, ew and character of the Japanese	will focus on a s Benevolent - Amat (kagu - Shōki (paint) - Hell and S - Enma Hell (- Datsu Cloth - Jizō F Conde - Tormented - Kaget - Fujite - Tama	election from t Spirits and erasu Ōmika ra) : Demon Que ting, prints, a alvation a DarŌ: Juda painting, scu te-ba: The Ol es (painting, Bosatsu: Defe emned (paint , Suffering S kiyo (noh, nob o (noh, noh m	ami: The Sun Goddess eller and Protector of Boys sculpture) ge of the Dead and Ruler of alpture) Id Hag who Strips off sculpture) ender and Savior of the ting, sculpture) Gouls h masks)
テキスト、参考文献		評価方法	1111	
Printouts of required by the instructor.	red reading materials will be provided	discussions (2	5%), the	n participation in classroom completion of homework hievement on a final essay

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (西洋絵画の主題と様式 1) 歴史と文化(IV)(西洋絵画の主題と様式:		担当者	阿部	明日香
講義目的、講義概要	-	授業計画			
作家や作品の特徴、ことを目標としまるまた西洋絵画に繰りを見る上で必要なまく講義概要>毎回一人の画家を見るかな作品については毎回コメントペー	世紀前半までの西洋絵画史を概観し、様式、時代背景について理解を深めるけ。)返し現われる主題について学び、絵画 基礎知識を身につけます。 中心に取り上げ、画像や映像を用いて代 に解説していきます。受講生の皆さんに ーパーを書いて提出してもらいます。コ 回の授業で取り上げ、さらに解説を加え	 イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イ	リ 覧会から:/	ジルテュス >	
テキスト、参考文献	t l	評価方法			
プリントを配布しる 参考文献は授業中に		コメントペーパ・ 学期末レポート			, , ,

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (西洋絵画の主題と様式 2) 歴史と文化(IV)(西洋絵画の主題と様式 b)		担当者	阿部 明日香
講義目的、講義概要	ξ	授業計画		
代表的な作家と作品 術の動向と、それらことを目的とします <講義概要> 毎回一人の画家を与表的な作品については毎回コメントペー	記初頭の西洋美術の展開を概観します。品について知るとともに、さまざまな美が提起する問題について理解を深める。 中心に取り上げ、画像や映像を用いて代で解説していきます。受講生の皆さんに一パーを書いて提出してもらいます。コロの授業で取り上げ、さらに解説を加え	1. インアク 2. アングル 3. ドラクロワ 4. ミノールベ 6. マネ 7. 印印象派・1 8. 印象派・2 9. ポポストト印印の 11. ま美術とと (1) 13. 美美とめ (2) 15. まとめ (2)	·-1 哌-2 展覧会から: クション	ジョルジョ・デ・キリコ>
テキスト、参考文献	*	評価方法		
プリントを配布しる 参考文献は授業中に				してもらいます。) って書いてもらいます。)

08 年度以降	歴史と文化 2 (日本文化研究 d)		担当者	飯島 一彦
講義目的、講義概要	문	授業計画		
日本文化には「この差異を示す境界がは実はかなりの幅ができるがこの境が表した。」ところがこの境が表している。 関域の認識は無意解しにくい。 日本に存在する。	成論から見る日本文化研究 この世とあの世」や「異質と同質」など 頂域の空間認識がある。この境界領域に があり、その中における位置取りによっ 内評価が決まってしまう場合も多い。 界は目に見えないし、非常に可変的で境 意識に行われていることが多いので、理 様々な場面を例として境界領域の存在 とを続けて、どのような場面にいても明 ようにする。	1. ガイダンス 2. 境界領域と 3. 境界領域と 4. 日本の祭り 5. 日本の祭り 6. 日本と舞台 8. 芸能と舞台 9. 文芸に見ら 11. 日常生活と 12. 日常生活と 14. 日常生活と 15. まとめ	は(概説①)は(概説②)に見る境界でに見る境界でに見る境界では見る境界ではある境界ではある境界ではある境界では、これる境界では、これる境界では、これる境界では、これる境界では、これる境界では、これる場合に、は、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、ないのではないのではないのでは、ないのではないでは、ないのではないではないでは、ないではないではないではないではないではないでは、ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	i域② i域③ i域① i域② i(① i域② (家庭と社会) (友人と親友)
テキスト、参考文献	t	評価方法		
特にない。必要な参	参考文献は授業中に示す。	学期末試験(論)	述式)の成績	による。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降	歴史と文化 2 (日本文化研究 a)		担当者	飯島 一彦
講義目的、講義概要	골	授業計画		
必「みやあさ」とは、 をというののの点に、 をというののの点に、 というののの点に、 というののの点に、 というののの点に、 といるというのでした。 にいる地は、 はいは、 はいでもは、 はいは、 にいる地は、 はいのでは、 はいでは、	集団が生活をし、それを維持するために動きが形として表れたもの」の総体を決して優れた美術作品や代表的な建築のい。無意識の行動である日常の振る舞い里に存在する価値観もすべて「文化」で民俗芸能は、民衆生活との結びつきの深特徴的な「文化」である。は世界にもまれに見る濃厚さで民衆生ご残存している。いわゆる先進国に属すと言って良い。 これている、日本の文化の基盤を形ちの」との対峙の仕方を、年中行事義して「異人の出現」「稲作の習俗と芸能」「年点を「境界領域の存在」という地平からの様々な民俗芸能・行事を取り上げ、フトラン様とづく映像資料を用いて、概念や価値どう機能しているかに留意する。	3.神の来訪とま 4.神の出現とま 5.異人の出現と 6.異人の出現と 7.稲作の習俗と 8.稲作の習俗と 9.稲作の習俗と 10.稲作の習俗と 11.年齢階梯と 13.年齢階梯と	复芸芸ととととときままた。	「見えないもの」 若宮のおん祭 山の祭と芸能 本全国の祭と芸能 手県の鹿踊・剣舞 国地方の花田植 北の田植踊り I 北の田植踊り II を登のアエノコト 冷階梯制とは何か? 島県の成人儀礼「幡祭」
テキスト、参考文献	t	評価方法		
特にない。		学期末試験(論)	述式)の成績	による。

			担当者	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
テキスト、参考文献	*	評価方法		
ノイハド、少芍 ス開	A.	正 川山 八 八 山		

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降	歴史と文化 2 (日本文化研究 b)		担当者	宇津木 言行
文化と外来文化とは 明することややとや 鬼ごっこやを しんだ鬼にもを が抱いてもるす。 と考えらに来 おります。 日本の歴史に に応じる授業になり	日本文化史の中で鬼の源流を探り、基層 から成る日本文化の重層性の一例を解	11、タマの去す 12、タマの去す	(1) (2) (2) (2) (3) (3) (2) (3) (2) (3) (4) (2) (4) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	2) 3) (1)
テキスト、参考文献 テキストは萩原秀。 る。	ば 三郎『鬼の復権』(吉川弘文館)を用い	1.1 11-12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	、授業への参	レポートの結果(80%)によ 加度、課題提出などの平常点

08年度以降 歴史と文化 2 (日韓比較文化論 b) 担当者 金 熙淑(김 희숙) 07年度以前 歴史と文化(IV)(日韓比較文化論 b) 講義目的、講義概要 授業計画 本講座では、韓国と日本の「教育」にテーマを絞って文 1. 講義の概要 化比較を行い、その共通点と相違点について理解を深める 2. 書堂と寺子屋 とともに、「異文化比較」の具体的な方法を模索し、それ 3. 三国時代の教育と文化 を身につけていくことを目的とする。主に「教育政策」、「教 4. 高麗前期の教育と文化 育と文化」、「高等教育のあり方」、「教育と人間関係」、「生 5. 高麗後期の教育と文化 涯教育と社会」、「教育とジェンダー」などのテーマで日韓 6. 朝鮮前期の教育と文化 両国(両地域)の比較を行っていく予定である。身近なテ 7. 朝鮮後期の教育と文化 8. 植民地支配の教育政策 ーマであるため、履修者には積極的な授業参加が期待され 9. 植民地支配の国語教育 る。 10. 日韓生涯教育と社会 11. 日韓ジェンダー教育 12. 日韓女性の教育 13. 韓国における日本語教育の歴史 14. 日本における韓国語教育の歴史 15. 講義のまとめ テキスト、参考文献 評価方法

08 年度以降	歴史と文化 2 (日韓比較文化論 a)	担当者	*to Out(
07 年度以前	歴史と文化(IV)(日韓比較文化論 a)		金 熙淑(김 희숙)

講義目的、講義概要

レジュメを配布する。

参考書:授業時に紹介する。

私達は、異文化を語る際、無意識のうちに、自分の属している社会や文化を念頭において同質性と異質性を語っている。しかしながら、とりわけ韓国の文化を語る際、表面的な同質性にとらわれがちになってしまい、「文化比較」がきちんと行われない場合が多い。本講座ではこのような点をふまえ、日韓の文化比較を行う際の基本的な事項を学んでいく。具体的には、家族、村落、祭儀、信仰、食文化などに関する日韓比較の理解を目標とし、授業の最後に各自で身近なテーマを決めて「日韓文化比較」を行うことを課題とする。積極的に取組むことを期待したい。

●参加型授業による人数制限をする。(50 名まで) ◎注意:テーマごとにグループ分けして話し合う場を設け 発表する形式を取る。極力1回目の授業から出席すること。

授業計画

1. 日韓比較文化講義の概要

評価方法:授業への参加度40%、課題レポート60%、

・韓国と日本の教育について各自の問題設定ができたか。

・日韓の教育政策や教育文化を理解したか。

- 2. 韓日の建国神話
- 3. 韓日の国土構造
- 4. 韓日の村落
- 5. 韓日の産育習俗
- 6. 韓日の歳時風俗
- 7. 韓日の祭祀風習
- 8. 韓日の民俗信仰
- 9. 韓日の家族
- 10. 韓日の食文化
- 11. 韓日の食事の作法
- 12. 韓日の住生活
- 13. 韓日の服飾
- 14. 韓日の伝統遊び
- 15. 講義のまとめ

テキスト、参考文献

適宣プリントを配布する。

参考文献:講義においてその都度紹介する。

評価方法

評価方法:授業への参加度40%、課題レポート60%

- ・日本と韓国の異なる文化を理解したか。
- ・具体的な日韓文化の比較ができるようになったか。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (スペイン・ラテンアメリ 歴史と文化(IV)(スペイン・ラテンアメリ		担当者	倉田 量介
リカのパフォーミングアー 欧米や日本の事情と比較 にます。 この地域ので 強れます。 この地域でで が 技法に 回 の で を が で が で が で が で が で が で が で が で が で	・ンとその旧植民地という位置づけにあるラテンアメーツ(音楽、ダンス、演劇)ならびに映画を扱います。	3. スペイン系弦数 4. アフリカ系太鼓 5. フォルクローレ 6. 世界を巻き込む 7 北米移民ラティ 8. カット&ミックス 9. クラブカルチャ 10. 音楽大国ブラ 11. ラテンアメリカ 12. 大陸(ペルー, 13. 民俗芸能(音)	ニューバの音音 いる。 は民まみるポリリン は民まれた ・ジャラカー・ジの映画 アーク ・ボック アーク ボック アーク ボック アーク から ボック アーク アーク アーク アーク アーク アーク アーク アーク アーク アー	はためずンスにみる文化混淆 質伝承的な弾き語り ズムとコール&リスポンス 所楽と世界で渦巻く対抗文化 いらの日常生活とサルサ他 スカ・レゲエ・ダブ… ら里帰カリアや農民音楽 リーミング等のメディア概製 ルゼンチン…)と島々の無劇へ に「ラテン歌謡」や J ポップ
講義内容に準ずる論	状 進捗に応じた参考文献を紹介する。 前集として以下をあげておく。石橋純編『中 出版, 2010, 978-4490206678)	評価方法 平常授業の感想 ポート(70%)	紙におけるコン	メントなどの実績(30%)と期末レ

		担当者	
	授業計画		
	評価方法		
			授業計画

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	*************************************	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (おもしろまじめな芝居のミカタ b) 歴史と文化(IV)(おもしろまじめな芝居のミカタ b)	担当者	児嶋 一男
--------------------	--	-----	-------

講義目的、講義概要

英米の劇作品の台本(抜粋英文プリント)を読みながら、 現代の英米文化や作品の時代の社会風潮が、どういうふう に演劇に示されているかについて考えてみましょう。

テキスト(英文プリント)を毎回配布します。よく読んでから、出席してください。日本語に翻訳した台本を本読みするパフォーマンスを、順番に実施してもらう場合があります。

なるべく実際の上演を観られるものをとりあげます。また、英米や時代にかかわらず、有名な作品や話題の作品、歌舞伎などもとりあげます。実際に劇場に観に行って、芝居は楽しいライヴ・パフォーマンスであることを知って下さい。

遅刻はすべて欠席扱いとします。公欠扱いはありません。授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位を認めません。

授業計画

毎回授業開始時に英語の語彙 quiz を、終了前に内容把握 quiz を行います。教室で読むテキストは、第 1~15 回まで、 実際の上演舞台が観られる戯曲作品をなるべく選ぶよう にして、その上演スケジュールに合わせて授業を進めていく予定です。

指定する演劇の観劇レポート(700字以上800字以内)に関することなど、詳細は教室にて説明します。

* 第1回の授業の資料は中央棟5階504研究室前に用意しておきます。事前に準備してから出席すること。

注意事項

全学共通授業科目「おもしろまじめな芝居のミカタ」は、英語学科生は「英語圏の演劇 b (06~12 年度)」「英語圏の文学・文化・批評 b (13 年度以降)」、言語文化学科生は「多言語間交流研究各論 (06~12 年度)」「英語圏の文学・文化・批評 II (13 年度以降)」として登録ください。テキストの英文は TOEIC650 点程度かそれ以上の英語力が前提です。650 点以下でも受講できますが、その分、時間をかけて課題に取り組んでください。

テキスト、参考文献

英米の現代演劇の台本抜粋をプリントで配布します。 参考文献は授業中に言及する予定です。

評価方法

授業時 2 つの quiz で 50%。観劇レポート 2 編(必修) で 50%、未提出者には単位を認めません。学期末定期試験 はしません。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降	歴史と文化 2 (韓国の宗教)		担当者	佐藤 厚	
講義目的、講義概要	<u>`</u>	授業計画			
くあります。宗教者の関係なた韓国の宗をはないによりではよりではます。 本後、講義・論を行をするとは、しつ。 本後、講をできる。 はとしているといる。 はとしている。 はという。 はんけん はんがっちん はんがっちん はんがっちん はんがっちん はん	国で似ている点も多いが異なる点も多らその一つで、宗教分布や宗教と人々と大きく異なっています。本講義を理解は、教状況とそれに関する問題点ととを目れた。本語として韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して韓国宗教の構造を提示して時代の方法はプリント映像教材もたく授書また講義に関連した映像教材といる。		数のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	中での仏教 の中の仏教 中の儒教 国の中の儒教	
テキスト、参考文献	 	評価方法			
	。プリントを配布して授業を進め 受業中に紹介する。	授業冒頭に行 期末試験(50%		(30%)、小レポート(20%)、	

08年度以降 歴史と文化2 (能楽論) 担当者 瀬尾 菊次 07年度以前 歴史と文化(IV)(能楽論) 講義目的、講義概要 授業計画 ① 能楽の紹介 古典芸能「能楽」は、舞台芸術として鎌倉室町時代から ② 能楽の概説 各時代に受け継がれ、現代では世界遺産に指定され、日本 ③ 能楽の流れ や世界各地で上演されています。とはいえ、一般には難し ④ 能を演じる各役 いものとして捉えられがちです。外国に留学し、その国の ⑤ 能舞台について I 人に日本文化として質問され、答えに窮した経験談も聞き ⑥ 能の実技についてⅡ (実演・能の見方) ⑦ 能の演目 I ます。この能楽の全体像を、現役能楽師の視点から、ビデ ⑧ 能の演目Ⅱ (実演・神男女狂鬼) オ鑑賞と併せてミニ舞台を設定し実技・実演を交えなが ⑨ 夢幻能と現在能 ら、解りやすく解説していきます。 ⑩ 現在能「橋弁慶」の作品解読 現場の臨場感を味わっていただくため、能楽堂での鑑賞 ⑪ 現在能「橋弁慶」のビデオ鑑賞 ② 伊勢物語と能(在原業平と井筒の女) をし、レポート課題の一つとします。(チッケット代自己 ③ 夢幻能「井筒」の作品鑑賞 負担・2000~3000円) ⑭ 夢幻能「井筒」のビデオ鑑賞 秋期と併せて受講も可能。 ⑤ 能装束着付実演・まとめ テキスト、参考文献 評価方法 関連資料のコピーを配布 課題レポート50%・能楽鑑賞レポート30% 平常講義関連事項レポート

08年度以降 歴史と文化2 (能楽における中世武士の諸像) 歴史と文化(IV)(能楽における中世武士の諸像)	担当者	瀬尾 菊次
--	-----	-------

講義目的、講義概要

源平合戦の花形・「源義経」は、貴種流離譚の主人公として数奇な人生をおくり、日本人には悲劇のヒーローとして、平家物語・義経記など物語・伝説に登場し、人口に膾炙してきました。そのエピソードは、いろいろな芸能にも作品化されています。鎌倉室町時代に誕生した「能」ではどのように描かれているか、その生涯を辿りながら、能「八島」の曲を題材にして、「義経」像を解き明かしていくとともに、世界遺産に指定された日本の古典芸能「能楽」についても、ビデ鑑賞、ミニ舞台による実演などを取り入れ、現役能楽師としての視点から解説していきます。

春期からの通年受講も可能です。

能楽の理解度を深めていただくため、能楽堂での鑑賞レポートを課題といたします。(チッケット代各自負担2000~3000)

授業計画

- ① 古典芸能について(能・歌舞伎・文楽)
- ② 能「八島」の詞章を読む(能の全体像)
- ③ 能「八島」の作品解読 I (登場人物・能を演じる役)
- ④ 能「八島」の作品解読Ⅱ(扇の的・那須与一の話)
- ⑤ 能「八島」」の作品解読Ⅲ (弓流し)
- ⑥ 能「八島」」のビデオ鑑賞
- ⑦ 能「船弁慶」の構成
- ⑧ 実演による能「船弁慶」の構成
- ⑨ 夢幻能と現在能
- ⑩ 義経の生涯
- ⑪ 能が描く義経像
- ⑫ 能と歌舞伎のあゆみ
- ③ 歌舞伎「船弁慶」のビデオ鑑賞
- ⑭ 能の衣装(能装束の着付実演)
- 15 まとめ

テキスト、参考文献

関連資料のコピーを配布。

参考書

「能と義経」櫻間金記著・光芒社(平成 12 年刊) 「旅と文学」第 24 回獨協大学公開講座(平成 6 年刊)

評価方法

課題レポート50%・能楽鑑賞レポート30% 平常講義関連事項レポート20%

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (イタリアの音楽史) 歴史と文化(IV)(イタリアの音楽史)			担当者	園田	みどり
講義目的、講義概要		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	グググ「メニュー ガー グルーゴ ゴタイン アイガー グルルガー でんか アイヴェール ガール ガール アーニー アーコールーニー イー イー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	とア聖聖音の音楽ンデジとととア聖歌・大音 成」の後 生生が楽技りのの イの超イオー を 後継援 と と エ の とととと と と エ の 生活 器ネ 国タ	洋音楽 西洋音楽の発 動 楽の発展 ツィア 家統一運動	展
テキスト、参考文献 参考文献として: 藤沢道郎『物語 イ	试 タリアの歴史』(中公新書 1045)	授業				可)の結果によ 受業中に指示す

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (イタリアの声楽曲) 歴史と文化(IV)(イタリアの声楽曲)			担当者	園田	みどり
講義目的、講義概要イタリアの声楽曲の	の歴史をオペラに焦点を絞って概観す	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	オペイロロペイン バイング イロロペーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ェにおける初 オペラの台楽 リアとオペラ オペラと劇場 オペラと カ世界	期の試み 的特徴:カス ・ブッファ 化(1)	トラートの魅力
テキスト、参考文 献 プリントを配布する		授業				可)の結果によ 受業中に指示す

 08 年度以降 07 年度以前
 歴史と文化 2 (詩と音楽 5) 歴史と文化(IV)(詩と音楽 5)
 担当者
 園田 みどり

講義目的、講義概要

ジュゼッペ・ヴェルディ(1813~1901)は、19世紀のイタリア音楽界を代表する作曲家で、数々の名作オペラを残した。本講義では、その中でもシェイクスピアの同名の戯曲に基づき、独特の輝きを放つ初期の傑作《マクベス》を採り上げる。授業期間の前半では、まず《マクベス》を注意深く鑑賞し、話の筋と聞きどころを学ぶ。また、オペラ台本と、シェイクスピアによる原作との違いも確認する。授業期間の後半では、ヴェルディがシェイクスピアの原作から何を理解し、オペラとしてどのように表現しようとしたのかを、先行するドイツやフランスの楽曲も視野に入れながら検討する。

なおオペラとは直接関係ないが、シェイクスピアの『マクベス』は、黒澤明が日本の戦国時代に時と場所を移し、『蜘蛛巣城』(1957) として映画化している。授業では、日本人の目で見たマクベスの物語も、併せて確認したい。

なお、本講義は「詩と音楽5」であるので、授業開始まで に「詩と音楽1」「詩と音楽2」「詩と音楽3」「詩と音楽4」 「詩と音楽6」の単位を取得した学生も履修できる。

授業計画

- 1 ガイダンスと導入
- 2 《マクベス》第1幕の聞きどころ(1)
- 3 《マクベス》第1幕の聞きどころ(2)
- 4 《マクベス》第2幕の聞きどころ
- 5 《マクベス》第3幕の聞きどころ
- 6 《マクベス》第4幕の聞きどころ(1)
- 7 《マクベス》第4幕の聞きどころ(2)
- 8 オペラ台本と原作
- 9 19世紀における「異界」と音楽
- 10 ベルリオーズの《幻想交響曲》
- 11 ウェーバーのオペラ《魔弾の射手》
- 12 マイヤーベーアのオペラ《悪魔のロベール》
- 13 モーツァルトのオペラ《ドン・ジョヴァンニ》
- 14 黒澤明『蜘蛛巣城』(1)
- 15 黒澤明『蜘蛛巣城』(2)

テキスト、参考文献

原作であるシェイクスピアの『マクベス』は、日本語訳が書店で容易に入手できるので、必ず購入すること。小田島訳(白水社)あるいは河合訳(角川文庫)を推奨するが、手持ちの他の翻訳でも構わない。オペラ台本については、プリントを配布する。

評価方法

終幕まで鑑賞したところで、オペラ台本と原作との違いを論じるレポートを課す(50 点)。その他、毎回授業終了時に提出してもらう「まとめ」(各5 点)を集計して評価する。

 08 年度以降
 歴史

 07 年度以前
 歴史

歴史と文化 2 (詩と音楽 6) 歴史と文化(IV)(詩と音楽 6)

担当者

園田 みどり

講義目的、講義概要

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813~1901) は、19 世紀の イタリア音楽界を代表する作曲家で、数々の名作オペラを 残した。本講義では、その中でも最も愛されているオペラ 《トラヴィアータ》(1853) を採り上げる。

このオペラは、『モンテ・クリスト伯』などで有名なアレクサンドル・デュマの同名の息子、アレクサンドル・デュマ・フィスが処女作として発表した小説『椿姫』(1848)を、デュマ・フィス本人が舞台化した戯曲『椿姫』(1852 初演)に基づいて制作されたものである。

授業では、まずオペラ《トラヴィアータ》を注意深く鑑賞した上で、ヴェルディが当時最も信頼していた台本作家ピアーヴェによるオペラ台本と、デュマ・フィスの戯曲『椿姫』との比較を試みる。また、小説および戯曲『椿姫』の中で重要な役割を果たしているアベ・プレヴォの小説『マノン・レスコー』についても学ぶこととする。

なおオペラとは直接関係ないが、デュマ・フィスの小説『椿姫』は、20世紀にノイマイヤーというクラシック・バレエの振付家がバレエに翻案している。授業ではそれも採り上げ、『椿姫』の物語の広がりも併せて確認したい。

なお、本講義は「詩と音楽 6」であるので、授業開始まで に「詩と音楽 1」「詩と音楽 2」「詩と音楽 3」「詩と音楽 4」 「詩と音楽 5」の単位を取得した学生も履修できる。

授業計画

- ガイダンスと導入
 《トラヴィアータ》第1幕の聞きどころ
- 3 戯曲『椿姫』と《トラヴィアータ》第1幕の違い
- 4 《トラヴィアータ》第2幕前半の聞きどころ
- 5 戯曲『椿姫』と《トラヴィアータ》第2幕前半の違い
- 6 《トラヴィアータ》第2幕後半の聞きどころ
- 7 戯曲『椿姫』と《トラヴィアータ》第2幕後半の違い
- 8 《トラヴィアータ》第3幕の聞きどころ
- 9 戯曲『椿姫』と《トラヴィアータ》第3幕の違い
- 10 『椿姫』とアベ・プレヴォ『マノン・レスコー』(1)
- 11 『椿姫』とアベ・プレヴォ『マノン・レスコー』(2)
- 12 小説『椿姫』との比較/ノイマイヤー振付によるバレエ『椿姫』(1)
- 13 ノイマイヤー振付によるバレエ『椿姫』(2)
- 14 ヴェルディの《トラヴィアータ》(作曲の舞台裏と「色合い」について)
- 15 ヴェルディの《トラヴィアータ》(1853 年稿と 1854 年稿について)

テキスト、参考文献

デュマ・フィスの小説『椿姫』は、日本語訳が書店で容易に入手できるので、必ず購入すること。 戯曲『椿姫』およびピアーヴェによるオペラ台本については、プリントを配布する。

評価方法

アベ・プレヴォの『マノン・レスコー』まで学んだところで、オペラ台本と、デュマ・フィスの小説『椿姫』との違いを論じるレポートを課す(50点)。その他、毎回授業終了時に提出してもらう「まとめ」(各5点)を集計して評価する。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (食の歴史と文化) 歴史と文化(IV)(食の歴史と文化)		担当者	野澤 丈二
講義目的、講義概要	5	授業計画		
する関心は近年ます 食をテーマとした。 紹介しながら、人間	世界遺産化、TPPへの参加など、食に対けます高まっています。この講義では、 具体的な研究事例などをわかりやすく 間にとって欠かすことのできない営みで について、さまざまな角度から考えて	1 : 講義の概要 2 : 歴史学の歴 3 : コロンビア 4 : フランスの 5 : 日本の食文 6 : 日本の食文 7 : ワインのグ	ン·エクスチョ 食文化:美食 化①:東アジ 化②:西洋の	術の大衆化 アとのつながり 影響
【講義概要】		8:食の世界遺 9:食と鉄道:		
	レ学派が開拓した「食」の歴史学をひと	10:食と外交:	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
つの手がかりとして学、文化人類学、月 など)で領域横断的す。「食べる」こと 題(資本主義、環境ションなど)につい 随時取り上げる予算	12: 食とメディア: グルメ漫画とグルメ映画 13: 原産地呼称制度 (AOC) 14: 食の安全保障 15: 講義のまとめ			
テキスト、参考文南		評価方法		

平常授業における提出物・小テストなど(50%)

期末試験 (50%)

参考文献は授業の際に指示します。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (海から見た歴史) 歴史と文化(IV)(海から見た歴史)			野澤 丈二
講義目的、講義概要	E	授業計画		
って隔でられてきた 互いに連関しながら だのような過程を終 とのような過程を終 【講義概要】 フランスの歴史家で が邦訳として刊行わけ 1990 年代以降 じられてきました。 れてきた歴史を海に しょうか。主に、「 そして近世の海域で	本史・東洋史・西洋史という枠組みによた歴史を、海という視点から捉え直し、 ら動いてきた世界の諸地域を、よりグロ 考えてみます。現代の一体化した世界は 蚤で形成されてきたのでしょうか。 フェルナン・ブローデルの大著『地中海』 されたことをひとつの契機として、とり 降、海から見た歴史が日本でも盛んに論 従来、陸地の視点から国ごとに考えら 洋から眺めるとはどういうことなので 中世の地中海世界から北西ヨーロッパ、 アジアへと視点を移しながら、最終的に 毎の視点から改めて考えてみます。	1:講義の概要 2:歴史シルキーの 4:ヴァルキール 5:中世海と海ョ洋ンアー 6:北大西西インデーが、 8:大東ゴンアアられる 11:ア域か都の 12:海海か都の 12:海海か都の 14:講義のテー	ログ 世界 と リンプ 神 上 神 か 神 神 本 め め	
テキスト、参考文献	状	評価方法	C / 民田 13 及 义	
参考文献は授業の関	祭に指示します。	平常授業における 期末レポート (テストなど(50%)

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (アメリカ詩入門) 歴史と文化(IV)(アメリカ詩入門)			原成吉	
講義目的、講義概要	2	授業計画			
講義目的 まず第一に詩を楽し	しむこと。詩の言葉をとおしてアメリカ			ve American のうた Dylan と Paul Simon	
の文化とその時代料	青神を理解し、異文化という鏡を使いな	3.デモクラシーを	を歌う『草の	葉』の詩人—Walt Whitman	
がら「いまのわたし	したち」を考える。	4.ミクロコスモの Emily Dickins	*****	ロコスモ—女性詩人	
講義概要		5.モダニズムの起	湿源を探る—	(1)Ezra Pound がみた東洋	
	コ承詩 (うた)、ロック・ミュージック 、の作品、そして同時代の詩人の作品を	6.(2) T. S. Eliot の "The Love Song of J. Alfred Prufrok" に描かれた現代人の苦悩			
紹介する。文学史的	的なアプローチではなく、「ここそして	7. (3) William Carlos Williams がみたアメリカの美学			
いま」の視点から記	命じる。	8. (4) e. e. cummings の "typography"が創る「感じる」詩			
		9.ポストモダンの詩を読む (1)Allen Ginsberg の			
		"A Supermarket in California"			
		10.(2)Gary Snyo	-	•	
		11.(3) Sylvia Pla		•	
		12. (4) Robert Bly O "Snowfall in the Afternoon"			
		13. (5) Adrienne Rich O "Onion"			
		14. (6) Frank O'	Hara Ø "Th	e Day Lady Died"	
		15. (7) Sandra Cisneros Ø "My Wicked Wicked Ways"			
テキスト、参考文献	テキスト、参考文献 評価方法				
Text: The Penguin A Ed. Rita Dove. New Y 2013.(ISBN: 978-0-1- 参考文献、『アメリカ	4-312148-0)	4,000 程度の作品論 (原ゼミ HP の「MLA 論文の書き方」を参照) とその詩の日本語訳をつけたレポートによって評価する。ただし、 欠席が授業回数の 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。			

 08 年度以降 07 年度以前
 歴史と文化 2 (近代パリと文学 1) 歴史と文化(IV)(近代パリと文学 1)
 担当者

福田 美雪

講義目的、講義概要

この講義では、革命から第一次大戦までにパリという都 市がたどった近代化の歩みを、文学や芸術作品を通して読 みときます。名前だけは聞き覚えがありながら、意外に触 れる機会のすくない映像や音楽もとりあげていきます。

春学期は、「オペラとパリ」をテーマに、オペラ座という空間や、観劇という行為の意味について学びます。パリではどんな作曲家が活躍し、どんな人がオペラ座に出かけたのでしょうか。音楽の良しあしは誰が決め、なにが流行ったのでしょうか。バレエとオペラにはどんな違いがあり、いまのような観劇スタイルが確立したのはいつでしょうか。これらの疑問に答えることで、ヨーロッパにおける「芸術の創造と受容」の歴史が浮かび上がってきます。

19世紀にかたちづくられた芸術的な価値観は、遠く離れたフランスの歴史にとどまらず、私たちが生きる現代社会の基盤となっています。講義での学びは、いつか本物に触れる体験を経て、各々の中でより深められるでしょう。

(履修希望者数によっては抽選になる場合があります)

授業計画

(以下は授業計画であり、進行に応じてテーマや順番が変

動する可能性があります。)

第1回:イントロダクション

第2回:太陽王の劇場

第3回:フランス対イタリア

第4回:オペラファンの哲学者たち

第5回:アンチ・オペラ座?

第6回:グランド・オペラの世紀

第7回:ロッシーニ、ヴェルディ、マイアベーア

第8回:1875年、オペラ・ガルニエ完成

第9回: ビゼー『カルメン』 第10回: ワーグナーの歌劇

第11回:ロシア・バレエ旋風(1)ストラヴィンスキー

第12回:ロシア・バレエ旋風(2)ニジンスキー

第 13 回:ラヴェル『ボレロ』

第14回:「ベジャール、バレエ、リュミエール」

第15回:まとめ

テキスト、参考文献

澤田肇『フランス・オペラの魅惑』、上智大学出版、2013

評価方法

授業ごとのコメントと、期末の筆記試験 (論述式)。

08 年度以降歴史と文化 2 (近代パリと文学 2)07 年度以前歴史と文化(IV)(近代パリと文学 2)

担当者

福田 美雪

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

この講義では、革命から第一次大戦までにパリという都市がたどった近代化の歩みを、文学や芸術作品を通して読みときます。名前だけは聞き覚えがありながら、意外に触れる機会のすくない文学テクストや絵画もとりあげます。

秋学期は、「イマージュとパリ」をテーマに、美術館という空間や、街中にあふれるイラスト、風刺画、ポスターがもたらした芸術観の変遷をたどります。ルーヴルにはどんな人が集い、なにを観ていたのでしょう。傑作と駄作はどうやって見分けていたのでしょうか。本講義では、画家や作品以上に、それをとりまく美術の受容の背景を学び、当時の人々に起こった「まなざしの革命」を追います。

19世紀のパリで生まれた数々の傑作は、じつはその多くが古典を下敷きにした模倣やパロディでした。「型」を知りながら、あえてそれを突き崩す人間の自由な想像力は、いまも私たちの「アート」に対する価値観を新たにしつづけています。講義での学びは、いつか本物に触れる体験を経て、各々の中でより深められるでしょう。

(履修希望者数によっては抽選になる場合があります)

授業計画

(以下は授業計画であり、進行に応じてテーマや順番が変

動する可能性があります。)

第1回:イントロダクション

第2回:ピラミッドの三角形

第3回:彫刻に見る美のカノン

第4回:美術批評の誕生

第5回:コレクターの部屋

第6回:画家の狂気(1)バルザック『知られざる傑作』

第7回:画家の狂気(2)ゾラ『制作』

第8回:本とその挿絵

第9回:写真の発明

第10回:万国博覧会

第11回:マネ、一本のアスパラガス

第12回:浮世絵のインパクト

第 13 回:画商とアーティスト 第 14 回:ミュシャのポスター

第15回:まとめ

評価方法

三浦篤・高階秀爾編『西洋美術史ハンドブック』、新書館、 1997 授業ごとのコメントと、期末の筆記試験 (論述式)。

08 年度以降 07 年度以前	歴史と文化 2 (日本事情 1) 日本事情 a		担当者	守田 逸人		
講義目的、講義概要	Ę	授業計画				
講義目的、講義概要 【講義目的】 原始~中世の日本列島を対象に、「日本」という世界のなかの一つの国家や、日本列島の社会・文化がどのように形成されていったのか、大陸との関係に留意しつつ最新の研究成果を基に学び、国家とは何か、また地域とは何か、考える能力を身につける。 【講義概要】 ③原始~中世の日本通史である。 ③学界での通説と、中学校の歴史教科書の記述を比較しつつ、授業を進める。 ③近年の日本の歴史学界のなかで、どのような点が注目されているのか、講義の中で適宜触れていく。 ③現代の価値観から過去を評価するのではなく、当時の価値観を復元しながら、歴史を認識することを心がける。		1:なぜ、歴史学は必要なのか? 2:原始社会論 -稲作のはじまりと富の蓄積- 3:邪馬台国からヤマト政権へ -邪馬台国はどこにあったか?- 4:倭国と東アジア -4・5世紀の「倭」の存立基盤- 5:倭国から「日本」へ - 「天皇」・「日本」の成立- 6:律令国家の展開と土地政策 -律令国家はどの程度日本列島を把握していたか?- 7:平安時代前期の国家と社会 -王臣家の地域進出- 8:摂関政治の成立 -ミウチ政治の成立・受領の台頭- 9:院政の成立と中世の胎動 -荘園制社会へ- 10:鎌倉幕府の形成と展開 -公家・武家・寺社の相互補完関係- 11:元寇から鎌倉幕府の滅亡へ -元寇の影響と徳政観念の展開- 12:日本列島史の転換期としての南北朝内乱 -なぜ内乱を通じて武家優位の社会になるのか?- 13:室町幕府論 -公武統一政権・地域社会・一揆- 14:室町幕府の対外交渉 -日明勘合貿易と「倭窓」-				
テキスト、参考文献	状	評価方法				
講義中に指摘する。		期末テスト(70 ^c 30%)による。	%)、および訳	果題レポート(3 回程度実施:		

歴史と文化2(日本事情 2) 日本事情 b 担当者 守田 逸人	_				
【講義目的】 おもに戦国時代〜太平洋戦争までの日本列島を対象に、世界の秩序編成の動きに留意しつつ、社会の変遷のあり方を学び、現在の日本・世界の成り立ちと、これからの日本列島と世界について考える能力を身につける。 【講義概要】 ②戦国時代〜太平洋戦争終結までの日本通史である。 ③学界での通説と、中学校の歴史教科書の記述を比較しつつ、授業を進める。 ③近年の日本の歴史学界のなかで、どのような点が注目されているのか、講義の中で適宜触れていく。 ③現代の価値観から過去を評価するのではなく、当時の価値観を復元しながら、歴史を認識することを心がける。 ③20世紀にはいると、多くの映像資料も残されている。それらをできるだけ利用する。 ※前後期ともにいえるが、歴史を学ぶ意義は、知識を積み重ねることではなく、社会や人間の生き方、その変化について、できるだけ正確な情報をもとに考える力を身につけることである。歴史を様々な視野から見つめることによって、驚きを感じ、その重要さを学んで欲しい。 1:世界システムとは何か? 一16世紀における世界秩序の展開と日本- 2:なぜ戦国大名はあらわれたのか? 一排21時の形成と東アジア 一徳川政権の諸政策と「倭寇的状況」の展開- 4:元禄の政治と社会一戦時文化からの脱却- 5:江戸中期の幕政改革 - 「鎖国」とは何か?- 7:幕末の動乱 - 不平等条約・尊皇攘夷運動から大政奉還へ- 8:明治新政府の樹立と国政 - 明治政府は何を目指したのか?- 9:明治新政府の樹立と思想 - 自由民権運動の意義- 10:大日本帝国憲法と議会の成立 - 憲法・議会の成立 - 憲法・議会の成立 - 憲法・議会はなぜ必要だったのか?- 11:日清・日露戦争と韓国併合 - 帝国主義とは何か?- 12:映像にみる 20世紀前半の世界と日本 13:大正デモクラシーと第1次世界大戦 - 大東亜共栄圏構想へ- 14:第2次世界大戦 - 日中戦争は誰が支持したのか?- 15:総括 - 日本列島の過去と未来をめぐって-				担当者	守田 逸人
おもに戦国時代〜太平洋戦争までの日本列島を対象に、世界の秩序編成の動きに留意しつつ、社会の変遷のあり方を学び、現在の日本・世界の成り立ちと、これからの日本列島と世界について考える能力を身につける。 【講義概要】 ③戦国時代〜太平洋戦争終結までの日本通史である。 ③学界での通説と、中学校の歴史教科書の記述を比較しつっ、授業を進める。 ③近年の日本の歴史学界のなかで、どのような点が注目されているのか、講義の中で適宜触れていく。 ③現代の価値観から過去を評価するのではなく、当時の価値観を復元しながら、歴史を認識することを心がける。 ③20世紀にはいると、多くの映像資料も残されている。それらをできるだけ利用する。 ※前後期ともにいえるが、歴史を学ぶ意義は、知識を積み重ねることではなく、社会や人間の生き方、その変化について、できるだけ正確な情報をもとに考える力を身につけることである。歴史を様々な視野から見つめることによって、驚きを感じ、その重要さを学んで欲しい。 - 16世紀における世界秩序の展開と日本・18 世紀における世界秩序の展開と日本・18 世紀における世界秩序の展開と日本・18 世紀における世界秩序の展開と日本・18 世紀における世界秩序の展開と日本・18 世紀における世界秩序の展開と日本・18 世界秩序の展開と日本・19 世界秩序の展開と日本・19 世界秩序の展開と日本・19 世界大覧の書き、・ 神経を歌がより、一様における世界秩序の展開と日本・18 世界秩序の展開と日本・19 世紀における世界秩序の展開と日本・19 世紀を、・ 東野がと、「大原本の形成と東アジア・一徳川政権の諸政策と「倭寇的状況」の展開・4 元禄の形成と東アジア・一徳川政権の諸政策と「保護的大政権・朝鮮と下の形成と東アジア・一徳川政権の諸政策と「保護的大政権・利益における世界秩序の展開と日本・3 に対したのがより、「対しておける世界秩序の展開と日本・14 世紀における世界秩序の展開と日本・15 世紀割拠の時代から織豊政権・朝鮮といらの形成と東アジア・一徳川政権の諸政策と「保護的大政権・利益的大政権・利益を関すると関係を表現しておけると思える。 14 世紀における世界秩序の展開と日本・2 は本語製力の形成と東アジア・一徳川政権・対象と表現を表現しておける世界秩序の展開と日本・2 は本語製力の形成と東アジア・一徳川政権の諸政策を表現しておける。 15 世紀における世界秩序の展開とは、中国における世界を表現しておけると表現を表現しておけると表現を表現しておけると表現を表現を表現しておけると思います。 15 世紀における世界を表現を表現を表現しておけると思います。 16 世紀における世界を表現を表現しておけると思います。 16 世紀における世界を表現を表現しておけると思います。 16 世紀における世界を表現しております。 16 世紀における世界を表現を表現しておりがよります。 16 世紀における世界を表現を表現を表現されている。 16 世紀における世界を表現を表現を表現しております。 16 世紀における世界を表現しております。 16 世紀における世界を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現されている。 16 世紀における世界を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献 評価方法	おいて おいて 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	をに留意しつつ、社会の変遷のあり方を 世界の成り立ちと、これからの日本列 きえる能力を身につける。 作戦争終結までの日本通史である。 中学校の歴史教科書の記述を比較しつる。 中学界のなかで、どのような点が注目さ 構義の中で評価するのではなく、当時の価 いら、歴史を認識することを心がいる。 と、多くの映像資料も残されている。 と、またの映像資料も残されている。 と、またの映像資料も残されている。 と、またの映像資料も残されている。 と、またの映像資料も残されている。 と、またの映像資料も残されている。 と、またの映像資料も残されている。 と、また、 は、たの変化につけ と、社会や人間の生き方、人の変化につけ とな情報をもとに考える力を身につけ とを様々な視野から見つめることによっ	-16世紀国大のの 3: 本世報期拠のの 3: 本世報期期府権の 4: 本世報期期府権の 4: 元川の中危の中危の中危の等本平新政の市危の等政期機動条本平新政の市・目の 10: 一日映大一日映正東次 11: 日映正東次 12: 大大第 13: 大大第 14: 第	36名時形諸と幕天 しの何会憲会戦20元優大けな代成政社政保 尊樹をと法は争世シ構・世らら東、革立 皇立目想議ぜ卑紀とは一想・一段の後、東と、戦・革 攘国指、震必国前第へ中秩の機ジで時道・ 夷政し自の要併で1 戦	字の展開と日本- 沈たのか? 豊政権・朝鮮侵略へ- 『天変的状況』の展開- 「変変的状況」の展開- 「変化からの脱却- りくる危機- 「鎖国」とは何か?- 重動から大政奉還へ- このか?- 由民在運動の意義- につたのか?- は何か?- と中民を担対できるとは何か?- の世界と日本 次世界大戦 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	テキスト、参考文献	,	評価方法		

30%) による。

期末テスト (70%)、および課題レポート (3回程度実施:

講義中に指摘する。

 08 年度以降 07 年度以前
 現代社会2(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』) 現代社会(IV)(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』)
 担当者
 上村 敏郎

講義目的、講義概要

本講義は、ドイツ語圏の国々に関連する書籍をテーマにして、受講生による「ビブリオバトル」を行ない、書籍の紹介を通して、ドイツ語圏に関する知識、関心を深めるとともに、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を培うことを目的とします。

ビブリオバトルでは、受講生自身が紹介する本を選択し、プレゼンを行い、受講生全員がプレゼンターのプレゼンを評価します。毎回、6名程度の受講生にそれぞれ5分程度プレゼンをしてもらう予定です。最終的にビブリオバトルを公開して開催することを目標としています。ビブリオバトルについては第1回のオリエンテーションで説明しますので、受講希望者は必ず出席して下さい。

また、受講生の人数に応じて、複数回発表してもらうことも考えられるので、本をたくさん読むことは覚悟して下さい。

授業計画

第1回 オリエンテーション

第2回 ドイツ語圏に関する書物紹介

第3回 本の探し方

第4回~第14回 ビブリオバトル

第15回 まとめ

テキスト、参考文献

授業中、適宜指示します。

評価方法

授業への主体的な参加、発表

 08 年度以降
 現代社会 2 (ヨーロッパ地 現代社会(IV)(ヨーロッパ地)

現代社会 2(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』) 現代社会(IV)(ヨーロッパ地域研究『ドイツ語圏への招待』)

担当者

上村 敏郎

講義目的、講義概要

本講義は、ドイツ語圏の国々に関連する書籍をテーマにして、受講生による「ビブリオバトル」を行ない、書籍の紹介を通して、ドイツ語圏に関する知識、関心を深めるとともに、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を培うことを目的とします。

ビブリオバトルでは、受講生自身が紹介する本を選択し、プレゼンを行い、受講生全員がプレゼンターのプレゼンを評価します。毎回、6名程度の受講生にそれぞれ5分程度プレゼンをしてもらう予定です。最終的にビブリオバトルを公開して開催することを目標としています。

ビブリオバトルについては第1回のオリエンテーションで 説明しますので、受講希望者は必ず出席して下さい。 また、受講生の人数に応じて、複数回発表してもらうこと も考えられるので、本をたくさん読むことは覚悟して下さい。

授業計画

第1回 オリエンテーション

第2回 ドイツ語圏に関する書物紹介

第3回 本の探し方

第4回~第14回 ビブリオバトル

第15回 まとめ

テキスト、参考文献

授業中、適宜指示します。

評価方法

授業への主体的な参加、発表

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (経理入門 1) 現代社会(IV)(経理入門 a)		担当者	大坪 史治
講義目的、講義概要	2	授業計画		
得することを見める 集記は、会社とと感動を な技術・ビジ、面にはらまれる を表社とな感動を な技術・ビジ、面にはらまれる 受講生ながでは、 ではいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。	既要 授業計画 記の初学者を対象に、簿記の基本原理を習的としている。簿記は、日々の取引を記録的的に成果と実態を集約する技術である。の規模や業種、職種に関わらず必要不可欠され、学習することで、実社会に出た時に感覚と実践的基礎力を養うことができる。試験、内定後、入社後研修、昇格試験とあ記の知識が求められている。等来必ず役に立つ知識・技術であることを義を受講してもらいたい。簿記の一連の流れと計算原理の習得を目指的かりやすい説明を心がけ、反復練習と解 ②貸借対照表と		損益計算書の 1) 2) 作成	
テキスト、参考文献	t e	評価方法		
湯田雅夫,渋谷武寺 社,2010年	に編著『ベーシック簿記教室』中央経済	小テスト (30%)	と試験(709	%)により総合的に評価する。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (経理入門 2) 現代社会 (IV) (経理入門 b)		担当者	大坪 史治	
講義目的、講義概要	2	授業計画			
得することにを、会社とを、会社との表記を、会社との表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	の初学者を対象に、簿記の基本原理を習されている。簿記は、日々の取引を記録れている。簿記は、日々の取引を記録れて成果と実態を集約する技術である。規模や業種、職種に関わらず必要不時に覚と実践的基礎力を養うことが異格式験とあり知識が求められるようになってあることを受講してもらいたい。 ななケースの取引を処理することをつう技術をより一層磨くことを目標とする。 さよび損益計算書についての深い理解をまたはある程度の簿記の基礎知識を有い。	①講義習 ②復選 ③売子の 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部	- ・債務取引 見越し・繰延 表 (1)		
テキスト、参考文献		評価方法			
湯田雅夫, 渋谷武寺 社, 2010年	に編著『ベーシック簿記教室』中央経済	小テスト(30%)	と試験(709	%)により総合的に評価する	5。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (英文会計入門 1) 現代社会(IV)(英文会計入門 a)			大坪	史治
講義目的、講義概要	E	授業計画			
作成された決算書業績などを分析できる取引からはじまり握し、お金の流れる業種や職種を問わて、なる。したがでする。と技術を習得する講義は、前半に講義は、前半に記	進む現代の企業経営を鑑みれば、英文で頂を読み解き、企業の財政状態や経営成ることは、大きなスキルとなる。また、決算書類が作成されるまでの流れを把さ利益をイメージできることは、会社のげ将来大いに役立つ。 英語と簿記会計の知識・技術が必要と本講義は、英語を駆使して簿記会計の知らまなる。 、	①オリエンテーで ②会計とに Bookkeeping ③勘定科目(Acd ④仕訳(Journa ⑤各種取引と仕言 ⑥各種取引とと仕言 ③各種取明引と仕言 ③性に ⑩元帳(Ledger・ ⑪武算表(Work ⑬貨借対計算 個損益計算 個別 個別 個別 個別 個別 の の の の の の の の の の の の	unts) l entries) l entries) 訳 1 (Transa 訳 2 (Transa 訳 3 (Transa 訳 4 (Transa (Journals a) s) Balance) ssheet) Balance shee	ections and Jou ections and Jou ections and Jou ections and Jou nd Ledgers)	rnal Entries) rnal Entries) rnal Entries)
テキスト、参考文献		評価方法			
プリントを配布しる	ます。	小テスト(20%)	と試験 (809	%)により総合	的に評価する。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (英文会計入門 2) 現代社会(IV)(英文会計入門 b)		担当者	大坪 史治	
講義目的、講義概要	5	授業計画			
作成された決算書類 績などを分析できる 取引からはじまりる 握し、お金の流れと 業種や職種を問わす。 その前提として、 なる。したが習得する 識と技術を習得する 講義は、前半に認	を記現代の企業経営を鑑みれば、英文で質を読み解き、企業の財政状態や経営成ることは、大きなスキルとなる。また、 大算書類が作成されるまでの流れを把い利益をイメージできることは、会社のが将来大いに役立つ。 英語と簿記会計の知識・技術が必要とな講義は、英語を駆使して簿記会計の知いとなる。 位明、後半に演習問題・質問時間の流れます。わかりやすい説明を心がけます。	⑧売上原価の計算⑨棚卸資産の評価	1(Adjusting 2(Adjusting 計算(Depred 算表(Adjust 算(Cost of Co 面(Evaluati osing books p Sinancial Sta Counting co accounting co	g Entries) ciation) ced Trial Balance) Goods Sold) on of Inventory) process and discloser) tements) tements) procepts)	
テキスト、参考文献	・キスト、参考文献 評価方法		西方法		
プリントを配布しま	ミす。	小テスト (20%)	と試験 (809	%)により総合的に評価する。	

08年度以降 現代社会 2 (教育の現場: 教師と語る a) 川村 肇 担当者 07年度以前 現代社会(IV)(教育の現場:教師と語る a) 講義目的、講義概要 授業計画 1. 目的:教育の実際の姿を、実践記録を読みあい、教育 1 講義の進め方等の説明/参加者自己紹介 現場の小中学校の教師との討論を通じてつかみます。その 2~3 生活指導とは何か (テキスト使用) なかで、特に生活指導についての理解を深めます。 4~7 実践記録を読む 2. 概要: 教室での講義・討論と、埼玉県の教師の研究会 (懇親会を含む) への参加とで構成します。そのため、右

きません。 3. 研究会で7コマ相当の実践的学修をするため、教室で の講義は 8 回程度とします。2 回目以降の日程は相談の 上、決定するため、**初回の授業には必ず参加して下さい**。 参加できなかった場合には、メールで問い合わせるか、研 究室 (720) を訪れてください。メールアドレスは、 hkawamur@dokkyo.ac.jp です。

記の研究会に必ず参加して下さい(参加費は 1500 円、宿 泊の場合には8000円程度)。研究会に終日参加できない場

合には、この授業を受講しても、単位を認定することはで

- 4. 教職課程に登録している必要はありません。
- 5. 履修登録の上限を30名とします。

8 研究会参加のまとめ

研究会は、6月7日、8日(土・日)、またはその前後の土 日、場所は浦和の予定です。

テキスト、参考文献 評価方法 高橋陽一編『新しい生活指導論と進路指導』 研究会と講義への参加度と最終レポートによります。研究 (武蔵野美術大学出版局) 会に終日参加しない場合には、不可とします。

08年度以降 現代社会 2 (教育の現場: 教師と語る b) 川村 肇 担当者 07年度以前 現代社会(IV)(教育の現場:教師と語るb)

講義目的、講義概要

- 1. 目的:教育の実際の姿を、実践記録を読みあい、教育 現場の小中学校の教師との討論を通じてつかみます。その なかで、特に生活指導についての理解を深めます。
- 2. 概要: 教室での講義・討論と、埼玉県の教師の研究会 合宿(懇親会を含む)への参加とで構成します。そのため、 右記の研究会合宿に必ず参加して下さい(参加費は 9000 円程度)。研究会合宿に参加できない場合には、この授業 を受講しても、単位を認定することはできません。
- 3. 研究会合宿で7コマ相当の実践的学修をするため、教 室での講義は8回程度とします。2回目以降の日程は相談 の上、決定するため、初回の授業には必ず参加して下さい。 参加できなかった場合には、メールで問い合わせるか、研 究室(720)を訪れてください。メールアドレスは、 hkawamur@dokkyo.ac.jp です。
- 4. 教職課程に登録している必要はありません。
- 5. 履修登録の上限を30名とします。

授業計画

- 1 講義の進め方等の説明/参加者自己紹介 2~7 実践記録を読む
- 8 研究会合宿参加のまとめ

研究会は、12月6日・7日(土・日)、またはその前後の 土日、場所は埼玉県西部にある森林公園近くのホテルの予 定です。

テキスト、参考文献

高橋陽一編『新しい生活指導論と進路指導』 (武蔵野美術大学出版局)

評価方法

研究会と講義への参加度と最終レポートによります。研究 会に終日参加しない場合には、不可とします。

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	₿ †	評価方法		

08年度以降	現代社会 2 (韓国研究情報収集法)		担当者	*** ひいすく 金 熙淑(김 희숙)
講義目的、講義概要	· e	授業計画		
か、その方法論を理 講義である。韓国 ら、資料収集法、理 そして研究成果の 4名のグループを て研究を行い、最終 修者にはグループ。 も質疑応答の積極的 *韓国語を理解で 注意:はじめの授業	で返習のグループ分け、発表担当者と で必ず出席すること。欠席は遠慮し極力	3. ハングルの 4. ハングルの 5. ハングルの 6. ハングルの 7. インタネネ 8. インタ発表型 10. 調査発表型 11. 調査発表で 12. 現地調査発 14. 現地調査発 15. まとめ	タイピングタイピングクタイピングを換索 かくりょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はいかい かんしょう かんしょう おいかい かんしょう かんしょう おいかい かんしょう ままし ままし ままり はいかい しょう はいかい しょう はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	집 [집] [집]
テキスト、参考文献	状	評価方法		
適宜プリントを配る	行する。	・韓国の情報収算	集方法につい	40%、課題レポート 60% て理解したか。 表することができるように

08年度以降 現代社会2(生きたコトバづかい・話し合い編) 担当者 下川 浩 07年度以前 現代社会(IV)(生きたコトバづかい・話し合い編) 講義目的、講義概要 授業計画 近頃「日本語ブーム」とかで、テレビ番組でやたら漢字 1. 導入・じょうずな聞きかた・メモのとりかた説明 の読み方や書き方などのクイズ番組が放映されています。 2. 生きたコトバづかいの4原則説明 けれども、いくら難しい漢字が書けたり・読めたりしても、 3. ウソとコトバの魔術説明 日本語がじょうずだと言えるのでしょうか? 4. ビデオについての討論(1回目から) 私が会長をつとめている「日本コトバの会」は民間研究 5. 以下同様 団体で、学者・研究者が難しい専門用語を使い研究するの 6 ではなく、小・中学校や日本語学校の教師、主婦、定年退 7. 職後の方々が、純粋に自分たちの日本語能力を高めようと 8 して、文章の書きかた・文学作品のよみかた・話し合いの 9. しかた(話しかた・聞きかた)などを、定期的に集まって 10. 勉強する団体です。 11. この会の研究の中で見いだされた「生きたコトバの四原 12. 則」というのは、私の亡き恩師の定式化によれば、「正し 13. く・わかりやすく・切れ味よく・感じよく」です。 14. 私は、この4番目の「感じよく」は適用範囲が狭いので、 15. まとめの議論 場面に「ふさわしく」と改訂しました。それにしたがって、 原則そのものの名称もあらため、「生きたコトバづかいの 4原則」としたいと思っています。 この授業では、現代社会のさまざまの問題をテーマにし たビデオを見て、役割分担をしたうえで、それに関する話 し合いをしながら、生きたコトバづかいの4原則が身につ くように勉強をします。

08 年度以降 現代社会 2 (生きたコトバづかい・話し合い編) 担当者 下川 浩 現代社会(IV)(生きたコトバづかい・話し合い編)

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

出版企画)

近頃「日本語ブーム」とかで、テレビ番組でやたら漢字の読み方や書き方などのクイズ番組が放映されています。 けれども、いくら難しい漢字が書けたり・読めたりしても、 日本語がじょうずだと言えるのでしょうか?

教科書:下川 浩著『いつまでダマされつづけるの?政

府・大企業・マスメディアのウソとコトバの魔術』(えむ

私が会長をつとめている「日本コトバの会」は民間研究団体で、学者・研究者が難しい専門用語を使い研究するのではなく、小・中学校や日本語学校の教師、主婦、定年退職後の方々が、純粋に自分たちの日本語能力を高めようとして、文章の書きかた・文学作品のよみかた・話し合いのしかた(話しかた・聞きかた)などを、定期的に集まって勉強する団体です。

この会の研究の中で見いだされた「生きたコトバの四原 則」というのは、私の亡き恩師の定式化によれば、「正し く・わかりやすく・切れ味よく・感じよく」です。

私は、この4番目の「感じよく」は適用範囲が狭いので、 場面に「ふさわしく」と改訂しました。それにしたがって、 原則そのものの名称もあらため、「生きたコトバづかいの 4原則」としたいと思っています。

この授業では、現代社会のさまざまの問題をテーマにしたビデオを見て、役割分担をしたうえで、それに関する話し合いをしながら、生きたコトバづかいの4原則が身につくように勉強をします。

授業計画

評価方法

価を決定します。

1. 導入・じょうずな聞きかた・メモのとりかた説明

時事問題についてのビデオを見て、それについての話し合いをし

ます。意見発表に積極的に参加し、左記教科書の「事項索引」を

作成・提出し、その業績を自己評価してもらい、これをもとに評

- 2. 生きたコトバづかいの4原則説明
- 3. ウソとコトバの魔術説明
- 4. ビデオについての討論(1回目から)
- 5. 以下同様
- 6.
- 7.
- 8.
- 9. 10.
- 11.
- 1 2.
- 13.
- 14.
- 1 4.
- 15. まとめの議論

テキスト、参考文献

教科書:下川 浩著『いつまでダマされつづけるの?政府・大企業・マスメディアのウソとコトバの魔術』(えむ 出版企画)

評価方法

時事問題についてのビデオを見て、それについての話し合いをします。 意見発表に積極的に参加し、左記教科書の「事項索引」を 作成・提出し、その業績を自己評価してもらい、これをもとに評価を決定します。

			担当者	
講義目的、講義	概要	授業計画		
テキスト、参考	文献	評価方法		
08 年度以降	現代社会 2(ポストコロニアル研究入	目目		
07年度以前	現代社会(IV)(ポストコロニアル研究		担当者	平田 由紀江

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (ポストコロニアル研究入門) 現代社会(IV)(ポストコロニアル研究入門)		担当者	平田	由紀江
講義目的、講義概要	要	授業計画			
ざに残存する植民 め、「自己」と「他 支配」と「被支配え していくことを試み	ポストコロニアル文学作品などを取り上	1 イントロダクショントロダクション 2 帝国主義のもの 3 帝国主義のもの 4 ポストコロニション 5 ポストコロニション 6 ~14 討論 - コロニション 15 まとめ	のがたり① のがたり② アリズムとは アリズムはな	なにか① にか②	
テキスト、参考文献	tt —	評価方法			
適宜紹介していく。		期末レポート			

08年度以降	現代社会 2 (韓国社会論 I)		担当者	平田 由紀江
講義目的、講義概要	5	授業計画		
本講義は、韓国ポピ歴史を考察している 見していってほしい	。 プュラー文化を通じて韓国の文化、社会、 、日本との類似点、相違点等を自ら発	1 イントロ① は イントロ② は は スティア は 韓国メディア は 韓国メディア は 韓国映画の世 は 韓国映画の世 8 韓流とは① 9 韓流とは② 10 韓国ポップの11 韓国ポップの12 韓国ポップの13 韓国ポップの14 Kpop と日本	ポピュラー文 論① 論② は界② は界② とよりととと とととと ととと と と り歴史と と り を り と り り り り り り り り り り り り り り	1960 年代 1970 年代
テキスト、参考文献 初回講義時に提示。		15 まとめ 評価方法 期末テスト		

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (韓国社会論) 現代社会(IV)(韓国社会論)		担当者	平田 由紀江
講義目的、講義概要	E	授業計画		
読み解いていく。 とりわけ講義の前当 ざまな変化に焦点を	の著しい韓国社会をジェンダーの視点で ドでは韓国社会の「家族」をめぐるさま ら当てて論じ、後半には、徴兵制度や、 歴史問題などに焦点を当てていく。	4 韓国社会の女 5 韓国社会の女 6 ジェンダーと 7 ジェンダーと 8 変わりゆく「 9 変わりゆく「 10 変わりゆく」 11 軍隊とジェン	は さりの - 家分 でと男② - 家分 でと男③ -マネ ・制度② - 少 「家族」① - い 「家族」② - で 「家族」③ - グー② - 「 がグー② - 「 シグー①	父長制のはなし(1) 父長制のはなし(2) ージメントマムとは と制度の変遷 子高齢化社会・韓国 ンングル女性をめぐって ひとり親世帯の現状 「多文化」家族について
テキスト、参考文献	· 状	評価方法		
適宜紹介していく。		期末テスト		

08 年度以降 07 年度以前 現代社会 2 (新聞を読む 1) 現代社会(IV)(新聞を読む 1)

担当者

細野 徳治

講義目的、講義概要

若者の「新聞離れ」が進んでいるといわれて久しい。新聞を読まない理由として「つまらない」「分かりにくい」という声をよく聞く。なぜだろうか。その大きな原因は、ニュースを理解するうえで必要な背景的知識が不足しているからではないか。

そこでこの授業では、その時々の国内外の重要ニュースを伝える新聞記事を教材に取り上げ、そのニュースの意味を深く掘り下げるとともに、そのニュースの背景を詳しく解説する。「新聞に関する基礎知識」についても学習する。ニュースのキーワードを読み解き、新聞を読みこなす術を習得することを授業の目標とする。受講生には、旺盛なる好奇心をもって国内外のニュースに多大の関心を払い、新聞を読む習慣を身につけてもらいたい。

授業計画

国内外の重要ニュースをできる限りリアルタイムで取り上げる。1授業で1ニュースを原則とするが、どんなニュースが飛び込んで来るか予測不能のため、実際にどのような授業内容となるかは未知数だ。過去の授業で取り上げた項目を参考にしてほしい。

2013 年春学期には、共通番号制度 (マイナンバー):2016 年から制度化、ネット選挙:7月の参院選挙から解禁、安 倍首相がロシアを訪問しプーチン大統領と日露首脳会談、 橋下徹大阪市長が「従軍慰安婦が当時は必要だった」と発 言、国際結婚が破綻した際の子供の扱いを定めるハーグ条 約加盟を国会が承認、選択的夫婦別姓、東京五輪招致問題、 G8 サミット、富士山が世界文化遺産に登録、米連邦最高 裁が同性婚を容認、などを取り上げた。

テキスト、参考文献

教材として取り上げる新聞記事のコピーなど、プリントを 配布。参考文献は必要に応じて授業で提示する。

評価方法

日ごろの受講態度、テスト(記事についての感想文)などに基づく平常成績と期末試験の成績を総合的に評価する。

08 年度以降 07 年度以前 現代社会 2 (新聞を読む 2) 現代社会(IV)(新聞を読む 2)

担当者

細野 徳治

講義目的、講義概要

若者の「新聞離れ」が進んでいるといわれて久しい。新聞を読まない理由として「つまらない」「分かりにくい」という声をよく聞く。なぜだろうか。その大きな原因は、ニュースを理解するうえで必要な背景的知識が不足しているからではないか。

そこでこの授業では、その時々の国内外の重要ニュースを伝える新聞記事を教材に取り上げ、そのニュースの意味を深く掘り下げるとともに、ニュースの背景を詳しく解説する。「新聞に関する基礎知識」についても学習する。

ニュースのキーワードを読み解き、新聞を読みこなす術を習得することを授業の目標とする。 受講生には、旺盛なる好奇心をもって国内外のニュースに多大の関心を払い、新聞を読む習慣を身につけてもらいたい。

授業計画

国内外の重要ニュースをできる限りリアルタイムで取り上げる。1授業で1ニュースを原則とするが、どんなニュースが飛び込んで来るか予測不能のため、実際にどのような授業内容となるかは未知数だ。過去の授業で取り上げた項目を参考にしてほしい。

2013 年秋学期には、消費増税:14 年 4 月から 8%に引き上げ、エスカレートするヘイトスピーチ、化学兵器禁止機関 (OPCW) にノーベル平和賞、安倍首相が靖国神社の秋の例大祭で参拝を見送る、「和食 日本人の伝統的な食文化」が無形文化遺産に登録、小泉純一郎元首相が「原発即ゼロ」発言、地球温暖化と COP19 (国連気候変動枠組み条約締約国会議)、中国が東シナ海上空に防空識別圏を設定、特定秘密保護法成立、などを取り上げた。

テキスト、参考文献

教材として取り上げる新聞記事のコピーなど、プリントを 配布。参考文献は必要に応じて授業で提示する。

評価方法

日ごろの受講態度、テスト(記事についての感想文)など に基づく平常成績と期末試験の成績を総合的に評価する。

08 年度以降 現代社会2(インターンシップ) 担当者 森永 卓郎 07 年度以前 現代社会(IV)(インターンシップ) 講義目的、講義概要 授業計画 本講座は、春学期に開講する講義と夏休みに実施するイン 第1回 オリエンテーション: ターンシップ実習を通して、自分自身を正確に理解し、進 本講座の目的、授業内容、進め方などについて詳しく説明 路を真剣に考え、適職を発見する機会を得ることを目的と します。また、インターンシップと就職活動の関係、実習 します。あわせて、コミュニケーション能力や対人関係の 先の探し方、R-CAP などについて、キャリアセンターと スキル、職場でのマナー、時事に関する感性など、社会人 教務課のスタッフから説明していただきます。 に求められる資質も涵養します。 第2回 働くということは何か(講義) インターンシップを単に「プレ就活」ととらえる傾向があ 第3回 セカンドベストの選択と職業能力開発 (講義) りますが、本講座の真のねらいは、断じて小手先の就活対 第4回 コミュニケーションと面接の技術(講義) 第5回 R-CAP の講評・分析: 策やノウハウを学ぶことではありません。履修者の皆さん が、狭義のキャリア (=職業) をどのように獲得し、広義 Web 上で受験した R-CAP の結果について講評と分析を のキャリア (=人生) をどのように設計していくかを、色々 行い、自分の適職や自分に向いた職場環境を確認します。 な角度から模索する場になることを目指します。 (R-CAP の担当者から) 本講座の内容は、事前指導(春学期の授業)、夏休みに実 第6回 外部講師によるマナー講座① 施する約2週間のインターンシップ実習、および実習後の インターンシップに参加するにあたって必要とされるマナ ーを身につけます。 報告書作成から構成されています。事前指導の内容はさら に、オリエンテーション (第1回)、自己理解・自己分析 第7回 人事担当者によるパネルディスカッション (第2~5回)、実習に臨むにあたっての準備(第6回以 パネルディスカッションの形で、インターンシップ受入れ 降)の3段階に分かれています。(下欄に続く) 先である企業や官公庁の人事担当者から、インターンシッ プの意義、メリット、心構えなどについてお話します。

(上欄の続き)	担当者	

(下欄に続く)

講義目的、講義概要

注意事項

- 1. 4月4日(金) $14:00\sim15:00$ に E-102 教室で開催されるインターンシップガイダンスに必ず出席し、その後に履修登録会場にて各自オンライン登録して下さい。履修者の定員は150名です。
- 2. R-CAP (Recruit Career Assessment Program) 実施費用 (3,200 円) が必要です。履修決定者は自動発行機にて納付書を購入し、第 2 回目の授業に必ず持参して下さい。
- 3. インターンシップの実習先は、キャリアセンターで支援はしますが、履修者自身が見つけることが原則です。また大学仲介の企業に多数応募があった場合は、授業での貢献度を踏まえ、キャリアセンターで選考を行います。
- 4. インターシップ実習に参加しなかった場合、所定の研修プログラムを修了しなかった場合は、たとえ授業(事前指導)に出席したとしても単位は認定されません。
- 5.インターンシップを予約した場合は、企業との約束になりますので、よほどの理由がない限り解約はできません。 6.実習の条件:マナー講座受講、保険加入、事前説明会の
- 7. 実習は 10 日以上、かつ 1 企業・団体で 5 日以上。親族の経営する企業等は不可。

出席、実習日誌+報告書の提出、出勤簿の提出

授業計画

第8・9回 時事問題研究:

新聞を教材として、グループ単位で時事問題や業界最新事情に関するディスカッションとプレゼンテーションを行い、時事に対する感性を涵養します。

第10回 インターンシップ経験者による体験談:

パネルディスカッションの形で、インターンシップ経験者 である先輩から貴重な体験談を話していただきます。

第 11・12 回 グループディスカッションの練習:

グループディスカッションを行い、コミュニケーションス キルの向上を図ります。

第13回 外部講師によるマナー講座②:

インターンシップに参加するにあたって必要とされるマナーを身につけます。

第14回 プレゼンテーションの技術のブラッシュアップ 特定のテーマに関して、全員の前で発表してもらいます。 第15回 直前指導

インターンシップへの参加に先立ち、キャリアセンターと 教務課のスタッフから、重要事項 (インターンシップ保険、 実習後の提出書類等) について説明していただきます。

※授業内容と日程は都合により変更する場合があります。

テキスト、参考文献

必要に応じてプリントを配布します

評価方法

実習先からの勤務評定、実習日誌、報告書などを総合的に 判断して、評価を決定します。

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (コンピュータ入門 a) 現代社会 (IV) (コンピュータ入門 a)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	授業計画			
において必要となる 算ソフト、プレゼン を、実習を通しても 的な知識を身につい コンピュータの単れ 要となるコンピュー 識および技能を身い 毎回のレポート提出 なお、各テーマが明	でのレポート作成や、ゼミでの調査研究 5、情報検索、ワードプロセッサ、表計シテーションソフトの実際的な利用方法 またつけることと、コンピュータの基本けることを目的とする。なるスキルではなく、社会に出てから必一タおよびネットワークの基礎的な知こつけることが目的である。出は、ポータルサイトを利用する。なり扱われる順序や、時間配分についてって異なることがある。	5. ワードプロ1 6. レポート作品 7. 表計算ソフラ 8. 関数を使った 照と絶対参照 9. 関数を使った 10. 関数を使った わせ) 11. データの再集 12. データの並び クロ) 13. プレゼンテー	か 準備 は が は な な な な な な な な な な な な な	利用(ドメイン、情報検索) と応用(表、図) 入力とグラフ作成 計、平均、標準偏差、相対参 関数、AND、OR) OOKUP、IF 関数との組み合 トテーブル) データの抽出、操作の記録(マ
テキスト、参考文献		評価方法		
社	美他『大学で必要な情報基礎』日経BP 也『日経パソコン Edu で学ぶ』、日経B	レポート-50%、	試験-50%	

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (コンピュータ入門 b) 現代社会 (IV) (コンピュータ入門 b)	担当者	各担当教員
--------------------	---	-----	-------

講義目的、講義概要

この講義では、経済学部で学ぶ上で役に立つ表計算の関数 について学ぶとともに、プログラミングの基本についても 学ぶ。

表計算ソフトは、数式や関数により計算を行うことや得られたデータをグラフ化するだけではなく、より複雑なデータ分析や処理に利用することが可能である。またコンピュータを利用することで、複雑な数式を記述することなく処理を行い、結果をグラフィカルに確認することが可能となる。本講義ではさまざまな例題を用いて、表計算ソフトによりデータ分析を行う方法を学ぶ。

大量のデータに対して同様の処理をくり返す際には、表計算ソフトでの操作を記録して利用するマクロ機能が有効となる。この講義では操作を記録するだけでなく、操作内容を追加して記述し、データ処理を効率的に行う方法についても学ぶ。

授業計画

- 1. 講義の進め方について
- 2. 複利計算とローン返済計画
- 3. 利子率の計算 (ソルバー、What-if 分析の使い方)
- 4. データの変化量の計算(微分)
- 5. データの特徴を抽出する(移動平均、ヒストグラム、 回帰分析)
- 6. 効率的な作業配分(0-1整数計画問題)
- 7. 限られた資源の有効活用 (線形計画法)
- 8. 使用言語の特徴とプログラムの作成方法
- 9. 簡単な処理とプログラム
- 10. 簡単なアルゴリズムと場合分けプログラム
- 11. アルゴリズムとプログラム
- 12. 繰り返し処理とプログラム
- 13. 場合分けと繰り返し処理のプログラム
- 14. ンタラクティブなプログラム
- 15. 課題の作成(担当教員が指定した問題を、数回の講義に分けて作成する)

テキスト、参考文献

各担当教員指定の教科書または印刷物

評価方法

レポート-50%、試験-50%

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (ホームページ作成) 現代社会(IV)(ホームページ作成)			担当者	和泉	順子
なる WWW 上の対 知識の習得と実習を となる HTML の所 ートを学ぶだけで Dynamic HTMLを ホームページ作品を を学ぶ。 1) ホームペー 2) ホームペー 3) ホームメペー 4) マルチメデ 5) WWW での また、、、WWW 解し、不用意な情報	記代社会における情報発信手段の一つと スームページ作成に必要となる基本的な 注目的とする。ホームページ作成の基礎 ジ式とデザイン定義のためのスタイルシ なく、マルチメディアコンテンツや ・用いたホームページ作成を目指す。 戊に際し、大まかに 以下の知識や技能	3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	コースの説 WWW よっ ホージントン・スター スター・スター・スター・スター・スター・スター・スター・スター・スター・スター・	ベージャで ・ジ作成の基本 ・ジの作集 サザイン ・ジののでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ト、リンク イアウト ィッの取り扱い	
テキスト、参考文献 授業内で適宜紹介し			点(20%)、	作品(ホーム こよる総合評	ページ)(40% 価)、および学期

08 年度以降 07 年度以前	現代社会 2 (ホームページ作成) 現代社会(IV)(ホームページ作成)	担当者	和泉 順子
--------------------	---	-----	-------

講義目的、講義概要

この講義では、現代社会における情報発信手段の一つとなる WWW 上のホームページ作成に必要となる基本的な知識の習得と実習を目的とする。ホームページ作成の基礎となる HTML の形式とデザイン定義のためのスタイルシートを学ぶだけでなく、マルチメディアコンテンツやDynamic HTML を用いたホームページ作成を目指す。

ホームページ作成に際し、大まかに 以下の知識や技能を学ぶ。

- 1) ホームページの仕組み
- 2) ホームページの作成(HTML 文書作成)
- 3) ホームページのデザイン設計
- 4) マルチメディアコンテンツの取り扱い
- 5) WWW での情報発信と情報倫理

また、ホームページ作成に必要な知識と技能を修得するだけでなく、WWWやインターネットの仕組みの概要を理解し、不用意な情報発信によるトラブルを避けるための知識や知的所有権(著作権)等についても学習する。

授業計画

- 1. コースの説明、インターネットの仕組み
- 2. WWW とホームページ
- 3. ホームページ作成の基本
- 4. ページ構成、編集方法
- 5. ホームページのデザイン
- 6. 画像、背景、色の作成
- 7. テキスト処理、フォント、リンク
- 8. テーブル、ページのレイアウト
- 9. スタイルシートの基本
- 10. HTML と CSS の実践
- 11. Dynamic HTML
- 12. マルチメディアコンテンツの取り扱い
- 13. 情報発信と情報倫理
- 14. 知的所有権
- 15. 学期末テストと講義のまとめ

テキスト、参考文献

授業内で適宜紹介します。

評価方法

平常点 (20%)、作品 (ホームページ) (40%)、および学期 末テスト (40%)による総合評価

08年度以降 現代社会2(ホームページ作成) 担当者 久東 義典 現代社会(IV)(ホームページ作成) 07年度以前 講義目的、講義概要 授業計画 PC 上で閲覧するホームページの基礎を学習する授業で 1. ホームページと HTML ある。ホームページは、HTML 形式のテキストファイル 2. HTML ファイルとファイルサーバ (Windowsに同梱されているプログラム[メモ帳]で内容を 3. ホームページの運用・管理 確認できるファイル)で書かれている。この HTML 形式 4. ホームページの仕組みと公開 の規則の骨組を学習して PC による情報発信する仕組みの 理解を高めることを目的にする。 5. ブログの開設と運用 本校サイト内からホームページを発信できる環境が整備 6. ホームページの公開とネチケット されているので、これを利用してホームページをアップロ 7. HTML の基本 ードする知識やインターネットを利用した情報発信に必 8. CSS の基本 要な知識や倫理を学習する。より実戦的な情報発信を目指 9. HTML と CSS の実践 すためにブログ開設・運用まで学習する。 他方、PC上のドキュメントと呼ばれる電子文書も様変わ 10. Dynamic HTML サンプル りしてきた。ワープロ文書のような動きのないものではな 11. Java Script 入門 く、また、説明者主体によるプレゼンテーション資料文書 12. Dynamic HTML 入門 でもない、リンク機能を中心とした読者主体の電子文書と 13. 音楽や動画再生の基礎知識 してホームページ文書が見直され拡張されてきている。エ クセルと同じくらい(エンド・ユーザー・コンピューティ 14. マルチメディア・ドキュメントの利用 ング)の仕事に役立つ道具としてホームページ文書を作り 15. ホームページとインターネット利用 こむ方法を学習する。この分野は、PerlやPHPといったさ らに高度なレベルのプログラミングの授業へ発展できる 知識が得られる。 テキスト、参考文献 評価方法

Ē			
	現代社会 2 (ホームページ作成) 現代社会(IV)(ホームページ作成)	担当者	久東 義典

講義目的、講義概要

授業内で適宜紹介する。

PC 上で閲覧するホームページの基礎を学習する授業である。ホームページは、HTML 形式のテキストファイル (Windowsに同梱されているプログラム[メモ帳]で内容を確認できるファイル) で書かれている。この HTML 形式の規則の骨組を学習して PC による情報発信する仕組みの理解を高めることを目的にする。

本校サイト内からホームページを発信できる環境が整備されているので、これを利用してホームページをアップロードする知識やインターネットを利用した情報発信に必要な知識や倫理を学習する。より実戦的な情報発信を目指すためにブログ開設・運用まで学習する。

他方、PC上のドキュメントと呼ばれる電子文書も様変わりしてきた。ワープロ文書のような動きのないものではなく、また、説明者主体によるプレゼンテーション資料文書でもない、リンク機能を中心とした読者主体の電子文書としてホームページ文書が見直され拡張されてきている。エクセルと同じくらい(エンド・ユーザー・コンピューティング)の仕事に役立つ道具としてホームページ文書を作りこむ方法を学習する。この分野は、PerlやPHPといったさらに高度なレベルのプログラミングの授業へ発展できる知識が得られる。

授業計画

- 1. ホームページと HTML
- 2. HTML ファイルとファイルサーバ

レポート、小テスト、作品、学期末テストによる総合評価

- 3. ホームページの運用・管理
- 4. ホームページの仕組みと公開
- 5. ブログの開設と運用
- 6. ホームページの公開とネチケット
- 7. HTML の基本
- 8. CSS の基本
- 9. HTML と CSS の実践
- 10. Dynamic HTML サンプル
- 11. Java Script 入門
- 12. Dynamic HTML 入門
- 13. 音楽や動画再生の基礎知識
- 14. マルチメディア・ドキュメントの利用
- 15. ホームページとインターネット利用

テキスト、参考文献

授業内で適宜紹介する。

評価方法

レポート、小テスト、作品、学期末テストによる総合評価

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

「サイエンスライティング」とは「科学について書く」ということです。広くとらえれば科学論文も含みますが、科学に関する一般向け解説や新聞・雑誌の記事、科学読み物・エッセイ等を書くことで、サイエンスコミュニケーションの一つといえます。近年では、科学の専門家は専門の内容について社会の理解を得るため、サイエンスコミュニケーション能力を身につけることが求められていますが、記者やライター、さらにはそのような職業についていない人も含めて、専門外の人々が科学の成果や影響を正しく理解し、その内容をより広く社会に伝えていくことが大切になってきています。

専門外の人々が科学について書くには、まずは科学についての 理解力を身につけなければなりませんが、普段あまり馴染みのないことや初めて聞くことについて自ら情報を収集する能力も必要 となります。また、対象がどのような人々で何を伝えたいかを明 らかにし、それらに応じて内容を構成したり解説の方法を工夫し たりすることが必要です。さらには、解説の正確さや論理性を踏 まえたうえで、読んで面白いと感じさせる文章力も必要でしょう。 このように、サイエンスライティングは科学についての知識・理 解を教養として高めるだけでなく、文章を通して考えていること を人々に伝える実践ともなるのです。

「サイエンスライティング a 」では、科学に関する一般向けの 講義、ビデオ、書物の内容の一部を文章にまとめるという作業を 通して、科学について書く能力を高めていきます。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 科学に関する講義の内容の一部をまとめる1
- 3. 科学に関する講義の内容の一部をまとめる2
- 4. 科学に関する講義の内容の一部をまとめる3
- 5. 科学に関する講義の内容の一部をまとめる4
- 6. まとめ文の講評とディスカッション1
- 7. 科学に関するビデオの内容の一部をまとめる1
- 8. 科学に関するビデオの内容の一部をまとめる2
- 9. 科学に関するビデオの内容の一部をまとめる3
- 10. 科学に関するビデオの内容の一部をまとめる4
- 11. まとめ文の講評とディスカッション2
- 12. 科学に関する本の内容の一部をまとめる1
- 13. 科学に関する本の内容の一部をまとめる2
- 14. 科学に関する本の内容の一部をまとめる3
- 15. まとめ文の講評とディスカッション3

テキスト、参考文献

テキスト:なし

参考文献:授業中に紹介

評価方法

各テーマにおける「まとめ文」の完成度を総合的に評価す

08年度以降

自然・環境・人間 2(サイエンスライティング b)

担当者

東 孝博

講義目的、講義概要

「サイエンスライティング」とは「科学について書く」ということです。広くとらえれば科学論文も含みますが、科学に関する一般向け解説や新聞・雑誌の記事、科学読み物・エッセイ等を書くことで、サイエンスコミュニケーションの一つといえます。近年では、科学の専門家は専門の内容について社会の理解を得るため、サイエンスコミュニケーション能力を身につけることが求められていますが、記者やライター、さらにはそのような職業についていない人も含めて、専門外の人々が科学の成果や影響を正しく理解し、その内容をより広く社会に伝えていくことが大切になってきています。

専門外の人々が科学について書くには、まずは科学についての理解力を身につけなければなりませんが、普段あまり馴染みのないことや初めて聞くことについて自ら情報を収集する能力も必要となります。また、対象がどのような人々で何を伝えたいかを明らかにし、それらに応じて内容を構成したり解説の方法を工夫したりすることが必要です。さらには、解説の正確さや論理性を踏まえたうえで、読んで面白いと感じさせる文章力も必要でしょう。このように、サイエンスライティングは科学についての知識・理解を教養として高めるだけでなく、文章を通して考えていることを人々に伝える実践ともなるのです。

「サイエンスライティング b」では、科学に関する一般向けの 講義、ビデオ、書物の解説文を実際に書くという作業を通して文 章力をさらに高め、最終的に短い科学エッセイの創作をします。

授業計画

- 1. はじめに
- 2. 科学に関する講義の解説文を書く1
- 3. 科学に関する講義の解説文を書く2
- 4. 科学に関する講義の解説文を書く3
- 5. 解説文の講評とディスカッション1
- 6. 科学に関するビデオの解説文を書く1
- 7. 科学に関するビデオの解説文を書く2
- 8. 解説文の講評とディスカッション2
- 9. 科学に関する本の解説文を書く1
- 10. 科学に関する本の解説文を書く2
- 11. 解説文の講評とディスカッション3
- 12. 科学エッセイを読む
- 13. 科学エッセイを書く1
- 14. 科学エッセイを書く2
- 15. 科学エッセイを書く3

テキスト、参考文献

テキスト:なし

参考文献:授業中に紹介

評価方法

各テーマにおける「解説文」と「科学エッセイ」の完成度 を総合的に評価する

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (統計と調査法) 自然・環境・人間 (IV) (統計と調査法)		担当者	安間 一雄
講義目的、講義概要	판	授業計画		
の理解を通して科学 授業概要 ・1 世帯当たりの平 のはなぜ? ・この店のとよ」といいであるさいがあった。 ・「確率が常にながるがらとないできる。 ・「を率が常になるがががら生活をといい。 ・「なるをするをはいる。」 ・「なるをするをはいる。」 ・「なるをするをはいる。」 ・「なるをするをはいる。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「な。」 ・「、」 ・「、 ・「、 ・」 ・「、 ・」 ・「、 ・」 ・「、 ・」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の学習とその背景にあるデータの性質学的なものの考え方を身につける. Z均年間所得は約 600 万円→実感と違う あの店の料理はどっちがおいしい?→違 人力したら次に最も来やすい文字は何? ながデータに囲まれており、それを巧み話している.「大まかな感覚」は大切なあるとができる.この授業では日常的なデースの性質を記述し、現象の本質を推測学的な分析方法を使うことを学ぶ.基礎ぶことで身の回りの世界を客観的に理さする.授業期間の後半は、自分たちで	変量,順位変 2.アンケー 相 3.度数分変値(トの1 3.度数分変値(との1 4.量的変値(との1 5.代スト分値と布 偏差に変更がである。 6.正規差値では、 4.信がであるがであるがであるがであるがであるがであるがであるがであるがであるがである	量取対ラ直度布 答項則相 合合 力 名	イズ問題作成説明 :分布表 :的変数のグラフ表現 最頻値),値の広がり,能力 :差),歪度,尖度,標準得点, :送),歪度,尖度,標準得点, ジスティック回帰分析 :(帰無仮説,対立仮説) 回帰直線,欠損値の推定,相 分散分析 プリテスト・ポストテスト,
収集したクイズ問題 前半で学んだ理論の	析 15. 多変量解析(2) 要因計画法・重回帰分析・対応分析			
テキスト、参考文献		評価方法		
内田治『数量化理論とテキストマイニング』(日科技連, 2010) ISBN 978-4-8171-9292-9		(定期試験 (80%) 席率の平方根	+平常授業(こおけるまとめ (20%)) x 出

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		
/ コハ I'、 が			

1			
講義目的、講義概要 授業計画 【講義の目的】 生命科学の著しい進歩は我々の生活に様々な恩恵を与 1. 生命の誕生 一生命誕生の謎ー			
【講義の目的】 生命科学の著しい進歩は我々の生活に様々な恩恵を与 1. 生命の誕生 - 生命誕生の謎-			
生命科学の著しい進歩は我々の生活に様々な恩恵を与 1. 生命の誕生 - 生命誕生の謎-			
ラアキェート しかしその反面 これまで老うる心亜のか 9 細胞の構造 一様々か細胞小盟宮二			
【 へくさました。 しかしてツ区山、こ40よく与んの必女ツは 4. 神心ツ悟坦 塚々は神心小谷目			
かった新たな問題を生じさせています。クローン人間は許 3. 細胞を構成する物質 - 細胞の生存に必須な物質・	_		
されるのか?疾病の治療以外で遺伝子操作は許されるの 4. 細胞膜の構造と働き 一細胞が細胞であるために・	_		
か?近い将来、我々は様々な判断を迫られるでしょう。こ 5. 細胞の分裂 - 細胞が増えるしくみ-			
れらを的確に判断するためには幅広い教養と生物学の知 6. 遺伝と遺伝子 -子はなぜ親に似る?-			
識が不可欠です。限られた講義数ですが、新聞やニュース 7. DNA と RNA ー細胞内での役割分担ー	7. DNA と RNA 一細胞内での役割分担一		
で報道される生命科学の話題に関し、十分に理解できる知 8. DNA の複製 - 間違いのない複製のために-	8. DNA の複製 -間違いのない複製のために-		
識を身につけることを目指します。 9. 転写と翻訳 一転写と翻訳とは何か? -	9. 転写と翻訳 -転写と翻訳とは何か?-		
【講義の概要】 10. 酵素 - 生体内の化学反応を進める立役者-	10. 酵素 - 生体内の化学反応を進める立役者-		
本講義では細胞レベルの生物学を概説します。さらに、 11. バイオテクノロジー(1) -遺伝情報を解読する	11. バイオテクノロジー(1) -遺伝情報を解読する技術-		
近年利用されているバイオテクノロジーについても解説 12. バイオテクノロジー(2)-遺伝子組換え技術-	_		
します。 13. ES 細胞と iPS 細胞 一有用性と問題点—			
14. 生物の進化 - 生物の進化と遺伝子の変異-			
教科書は指定しませんが、高校生物の教科書があると理 15. まとめ	ļ		
解が深まります。			
テキスト、参考文献 評価方法			
プリントを配布します。	きす		

08年度以降	自然・環境・人間 2 (生物学Ⅱ)		担当者	飯泉 恭一
講義目的、講義概要	ور د	授業計画		
【講義の目的】 「生物学 I」と同様に、最新の生命科学に関する知識を身につけます。そして、友人たちとの議論(プレゼンテーションと質疑応答)を通して、さらに深い理解を目指します。 【講義の概要】 前半は「生物学 I」の知識を基に、細胞レベルの生物学をさらに深く理解します。細胞がどのようにエネルギー(ATP)を作るのか。作られた ATP は何に利用されるの		1. ATP の産生 (1) ー細胞質での ATP 産生ー 2. ATP の産生 (2) ーミトコンドリアでの ATP 産生ー 3. ATP を産生する目的 ー細胞が生きるとはー 4. 刺激を受容する細胞 ー目や耳の細胞とその働きー 5. 神経細胞 ー体内で最も長い細胞とは?ー 6. 筋収縮 ー体を動かすしくみー 7. 病原体から体を守るしくみ (1) ー免疫細胞ー 8. 病原体から体を守るしくみ (2) ー抗体の働きー 9. 感染症 ーまだまだ多い寄生虫、寄生原虫の感染ー		
かを学習します。後半は医学との関連項目を学習します。 本講義は皆さんが「生物学 I 」の知識を持っていることを 前提に実施します。履修していない方は注意して下さい。		11. 疾病の予防12. バイオテク。13. プレゼンテー	ーサプリメン ノロジーと医 ーション(1)	
教科書は指定しま解が深まります。	14. プレゼンテー 15. まとめ	-ション(2)		
テキスト、参考文献		評価方法		
プリントを配布します。		期末試験の結果 ーション(10%)		ポート(20%)とプレゼンテ す。

08 年度以降	自然・環境・人間 2 (基礎生物学実験 a)		担当者	飯泉 恭一
講義目的、講義概要	5 5	授業計画		
【目的】				
科学の基本は比較	交し観察することです。本講座では様々	1. はじめに -	レポートの書	き方・顕微鏡の使い方-
な実験と観察を通し	て科学的な物の見方を学びます。前半	2. 原生生物の観	察(1)-身	Y近な原生生物の観察ー
は顕微鏡を用いて生	と物の観察を行います。そしてスケッチ	3. 原生生物の観	察(2)ーツ	[*] ウリムシの走性-
を通してその差異を	と明確に認識する目を養います。後半は	4. 細胞の観察(1) ータマネ	ギの根の細胞を観察ー
実験により、講義用	ど式では理解しにくい様々な生命現象を	5. 細胞の観察(2) ーウニの	発生を観察ー
理解することを目指	旨します。	6. 酵母、細菌の観察 - 酵母と発光細菌の観察-		
【概要】		7. 動物組織の観察(1) - 煮干しの解剖 -		
身近な生物と材料を	と用いて実験を行います。 <u>初回に注意事</u>	8. 動物組織の観察(2) - 魚の脳の観察-		
項を説明しますので	で、受講する意思のある学生は 必ず出席	9. 動物組織の観察(3) —イカの解剖—		
して下さい。実験の	性質上、衣服が汚れることがあります。	10. 植物組織の観察 - 気孔、根毛の観察-		
汚れてもよい服を	着用するかエプロン等を用意されるこ	1 2 2 2 7 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
とをお勧めします。		12. タンパク質の性質 -牛乳からバターを作る-		
		13. タンパク質の性質 - 豆腐作りでタンパク質を知る-		
※本講座を受講する	6学生は実習費(¥2,000)を支払う必要	14. プレゼンテーション(1)		
があります。		15. プレゼンテー	ーション(2))
テキスト、参考文献	*************************************	評価方法		
		H I There's A tend		
プリントを配布しま	きす。	レポート (60%) ーション (10%)	_ //** / / / / /	の結果(30%)とプレゼンテ す。

08年度以降	三以降 自然・環境・人間 2 (基礎生物学実験 b)		担当者	飯泉 恭一
講義目的、講義概要	5	授業計画		
【目的】				
実験と観察により)、講義形式では理解しにくい様々な生	1. はじめに -	レポートの書	き方・諸注意-
命現象を理解するこ	ことを目指します。後半ではヒト(自分	2. 酵素の性質	-生パイナッ	プルでゼリーができるか?-
自身)を対象とした	上実験も行い、ヒトの感覚の特性を学び	3. 酵素の性質	ーウミホタル	の発光は pH で変わるか? -
ます。		4. 脂質 一水と	油の共存マ	ヨネーズを作って考える—
		5. 呼吸・発酵	-酵母を使っ	て呼吸と発酵の観察ー
【概要】		6. DNA の抽出	ーレバーから	5 DNA を抽出ー
身近な生物と材料を	と用いて実験を行います。 <u>初回に注意事</u>	7. DNA の増幅 -手動で PCR を体験-		
項を説明しますので	で、受講する意思のある学生は 必ず出席	8. 白血球の食作用 ーイナゴの白血球を観察ー		
して下さい。 実験の	性質上、衣服が汚れることがあります。	9. 寄生生物の観察 一食べたら痛い!?イカやサバの寄生虫ー		
汚れてもよい服を表	着用するかエプロン等を用意されるこ	10. プラナリアの再生 - 身近な幹細胞-		
とをお勧めします。		11. ヒトの感覚 重量感覚 ーウェーバーの法則-		
		12. ヒトの感覚 皮膚感覚 -2 点識別閾を測定する-		
※本講座を受講する	5学生は実習費(¥2,000)を支払う必要	13. ヒトの感覚 盲斑 一盲斑の位置を測定する一		
があります。		14. プレゼンテーション(1)		
		15. プレゼンテーション(2)		
テキスト、参考文献		評価方法		
プリントを配布しま	レポート (60%) ーション (10%)	_ //**	の結果(30%)とプレゼンテ す。	

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (スポーツコーチ学 a) 自然・環境・人間(IV)(スポーツコーチ学 a)		担当者	石渡 貴之		
講義目的、講義概要		授業計画				
【講義目的】		1. ガイダンス				
1) 運動やトレーニ	1) 運動やトレーニングに伴う生理機能や構造の変化につ		2. 演習(血圧の測定方法)			
いて知識を深める		3. 演習(体温の測定方法)				
2) 運動を生理学的側面から理解するために必要な計測機		4. 演習(心拍数の測定方法)				
器の使用方法を学ぶ	3	5. 実験 (寒冷血管拡張反応① 冷え性の確認)				
3) 学んだ知識と技	術を駆使してグループ毎にオリジナル	6. 実験(寒冷血管拡張反応② 再現性の確認)				
の実験を行う		7. 統計学 (データのまとめ方① t 検定)				
4) 実験結果をまと	4) 実験結果をまとめ、発表する		8.統計学(データのまとめ方② 相関)			
		9. グラフ作成	方法			
【講義概要】		10. 実験内容検討				
身体運動に伴うな	生体の生理機能の変化とそのメカニズ	11.スポーツ科学実験①				
ムを理解するため、簡単な運動を用い、基本的なスポーツ		12. スポーツ科学実験②				
科学の実習を行う. 本実習を通して実験機器の取り扱い		13.スポーツ科学実験③				
方, 測定の原理・方法, 結果の解析方法等の基礎的知識と		14. プレゼンテーション				
その手法を習得する. 更に、興味ある課題を取り上げて、		15. まとめ				
ヒトが動いている時の生理現象を明らかにして,研究の視						
点, 方法, 解決の糸口となるものについて学習する.		*講義内容の順番は代わる可能性があります.				
テキスト、参考文献	t	評価方法				
【テキスト】必要に応じて資料を配付する.		最終レポートの内容(70%)で評価を行うが、平常授業に				
【参考文献】『生理:	おける発表や授業態度、(30%) なども評価対象とし、総					
出版株式会社(¥2	合的に判断する.					

講義目的、講義概要	講義概要 授業計画				
テキスト、参考文献	評価方法				

08年度以降 自然・環境・人間 2 (生理学 I) 担当者 石渡 貴之

講義目的、講義概要

【講義目的】

生理学はその名の意味するように「生きる」ことの「理 (ことわり)」を考える学問である. 私たちの身体は60兆 個の様々な細胞がそれぞれに役割を担い、協調しながら生 命活動を行っている. この講義では、生命現象や生体機能 の仕組みを学び、ヒトの身体の機能系統の期間と働きを理 解することを目指す.

【講義概要】

取り入れる.

講義内容は身体の仕組みや機能について概説し、実際に 実験測定を行い理解の促進を図る. ここでは, 呼吸, 循環, 消化・吸収、排泄、代謝といった生命現象、血液、体液、 神経, 内分泌, 筋, 骨といった機能系統について講義する. また、各自が興味を持った「からだ」に関する情報を受 講生同士で発表・討論することで、情報を共有する形式も

授業計画

- 1. 生理学の基礎
- 2. 循環(心拍数, 血圧の測定方法)
- 3. 心電図の基礎と記録法(安静時心電図の読み方)
- 4. 代謝, 体温(体温の測定方法, 寒冷血管拡張反応)
- 5. 呼吸(ウォーキング演習)
- 6. 血液・体液 (健診結果の読み方及び効果判定)
- 7. 筋•骨(体組成測定)
- 8. 消化・吸収 (ストレス測定)
- 9. 神経(反応時間)
- 10. 感覚 (バランス計測)
- 11. 内分泌
- 12. プレゼンテーション①
- 13. プレゼンテーション②
- 14. プレゼンテーション③
- 15. まとめ

*講義内容の順番は代わる可能性があります.

テキスト、参考文献

【テキスト】必要に応じて資料を配付する.

【参考文献】『やさしい生理学(改訂第6版)』,彼末一之・ 能勢博編, 南江堂 (¥2,520)

評価方法

最終試験 (30%), レポートの内容 (40%) で評価を行う が、平常授業における発表や授業態度、(30%) なども評 価対象とし、総合的に判断する.

08年度以降

自然・環境・人間 2 (生理学Ⅱ)

担当者

石渡 貴之

講義目的、講義概要

【講義目的】

「脳」は身体の機能の司令塔であり、また心の源でもあ る. そして、まだまだ未知な領域として多くの研究者がそ の機能の解明に取り組んでいる. この講義では、ヒトの身 体の制御機構である脳に注目し、特に発育・発達・加齢に 伴う様々な生理機能との関連や障害との関連を理解する ことを目指す.

【講義概要】

春学期の生理学Iで学んだ身体の仕組みや機能の基礎 をもとに, 秋学期は私たちの身体の中枢である脳機能に焦 点を当てて,睡眠,情動,言語,学習,記憶,運動などと 関連する事象について扱う. また, 発育, 発達, そして老 化に代表される成熟期以後の変化を捉えた加齢という3 つの視点から、各期の身体的特徴及び心理的特徴、更には 障害の特徴と脳機能との関連ついても学習する.

各自が興味を持った「脳機能」に関する情報を受講生同 士で発表・討論することで、情報を共有する形式も取り入

授業計画

- 1. 神経科学の基礎
- 2. 発育・発達の概念
- 3. 神経の発達, 脳の構造変化
- 4. 運動機能の発達と脳内ネットワークの変化
- 5. 心の発達と健康
- 6. 身体機能の発達と運動,子供の生活習慣の必要性
- 7. 思春期の心と身体の変化
- 8. 障害の理解, 捉え方
- 9. 発達障害の理解と支援①
- 10. 発達障害の理解と支援②
- 11. 老化の現象,変化について
- 12. プレゼンテーション①
- 13. プレゼンテーション②
- 14. プレゼンテーション③
- 15. まとめ

*講義内容の順番は代わる可能性があります.

テキスト、参考文献

【テキスト】必要に応じて資料を配付する.

【参考文献】『ぜんぶわかる脳の事典』,坂井建雄,久光正 | が,平常授業における発表や授業態度,(30%) なども評 監修, 成美堂出版(1,890)

評価方法

最終試験 (30%), レポートの内容 (40%) で評価を行う 価対象とし、総合的に判断する.

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (観察と実験生物学 自然・環境・人間(IV)(身近な自然観察		担当者	内田 正夫		
講義目的、講義概要		授業計画				
登録するに先立っての注意事項		1 はじめに 授業内容の説明				
・講義の性質上、受講生は年間を通じて履修することが望		2 「はかる」科学① はかるとは				
ましい。		3 「はかる」科学② 長さ、重さ				
・一クラスの受講者を抽選によって48 名に限定する。抽		4 「はかる」科学③ 有効数字 単位				
選に受かった学生	は実習費(¥2,000-)を納めること。	5 「はかる」科学④ 精密にはかる方法				
・詳細は1 回目の講	義で説明する。	6 「はかる」科学⑤ はかる工夫、推計				
		7 光と色の科学(なぜ色 	が見えるのか		
講義の目的		8 光と色の科学(② 光の性	質と色		
・身近な自然現象の	・身近な自然現象の観察・実験を通して自然科学の方法を		9 光と色の科学③ 分光器を作る			
理解することを目標とする。		10 光と色の科学④ 分光器を使う				
		11 生物の形① なぜ生きものは形がきまっているのか				
履修資格		12 生物の形② 動物・植物の形				
・私たちを取りまく自然界の様々な現象に興味を持ち、自		13 生物の形③ 花の形				
らの手と五感を通してそれを探求することに興味を持		14 生物の形④ 果実の形				
っこと。		15 まとめ				
テキスト、参考文献		評価方法				
テキストなし。プ	リント配布。	毎回の実験レポー	ートで評価す	る。		

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (観察と実験生物学 自然・環境・人間(IV)(身近な自然観察		担当者	内田	正夫
ましい。 ・ファン・ ・選細 目的 ・選細 目的 自然 では ・ 理解 を を と で な で で で で で で で で で で で で で で で で で	ての注意事項 定講生は年間を通じて履修することが望 者を抽選によって 48 名に限定する。抽 には実習費(¥2,000-)を納めること。 構義で説明する。 の観察・実験を通して自然科学の方法を 目標とする。 自然界の様々な現象に興味を持ち、自 通してそれを探求することに興味を持	授業計画 1 はどとのの科学(4 物質のの変変化化② 5 物質のの変変化化③ 7 物質質のの変変化化④ 8 物質質ののの機能② 10 生物の機能能② 12 生物の機機能③ 13 生物の機機能⑥ 15 まとめ	⑤物原精モモ対理変でとをを光化合ロ液が展精モモが原精・モーが度・え成くく化呼、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、がら、<li< td=""><td>まな色 と顕微鏡 化学変化 る る(1) る(2) 学変化 呼吸 ・グラフィ</td><td></td></li<>	まな色 と顕微鏡 化学変化 る る(1) る(2) 学変化 呼吸 ・グラフィ	
テキスト、参考文 献 テキストなし。 フ		評価方法 毎回の実験レポー	ートで評価す	る。 	

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (体育経営スポーツ 自然・環境・人間(IV)(体育経営スポーツ		担当者	川北 準人
講義目的、講義概要	E	授業計画		
[目的] マネジメント	は成果によって定義されるといわれている。	〔授業計画〕		
スポーツ・マネジメン	トを定義するためには、「成果を得るために	1.オリエンテーシ	ョン	
は何が必要か」を追す	はしなければならない。諸外国からの輸入文	2.スポーツ・マネ	ジメントの概要	要
化として広がったスオ	ーツの発展・普及における過程を理解し、現	3.我が国における	スポーツ・体	育の歴史的背景
代社会におけるスポー	ツの可能性を模索する。そして"今何が求め	4.体育とスポーツ	教育学	
られているか"を問う	。身近なスポーツ活動からトップ・プロの動	5.我が国における	健康教育のマ	ネジメント
向など幅広く題材とし	、て扱い、スポーツの普及とは如何にあるべき	6.北米における学	生スポーツの	発展
かを考える。		7.プロスポーツとアマチュアスポーツ		
〔講義概要〕1980年	から 1990 年は、メディアの発達、各種企業	8.我が国における学生スポーツのマネジメント		
のグローバル化によっ	ってスポーツ・マーケティングの時代といわ	9.ディスカッション		
れている。このように	こスポーツは、社会情勢の影響を受けながら	10.プロスポーツの	マネジメント	
人々の期待に応えてき	きた。そこで、我が国における体育とスポー	11.メンタル・マネジメント		
ツの関わりを歴史的書	背景から理解し、その発展過程から現代社会	12.高度競技スポーツにおけるマネジメント		
における体育・スポー	-ツの問題を考えていく。特に組織論観点か	13.スポーツ・マーケティング		
らマネジメントを捉え	え、我が国における現状のみならず、諸外国	14.これからのスポーツ・マネジメント		
の事例なども扱ってス	スポーツ・マネジメントの理解を深めていく。	15.総括		
〔受講生への要望〕適宜資料を配布するので、ファイル等を用意				
することが望ましい。				
テキスト、参考文献	tt	評価方法		
適宜資料を配布する	5.	〔評価方法〕平常	常点、授業態	度、課題提出状況、そして期
		末試験の結果を終	総合的に評価	する。

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
(目的)	[授業計画]		
テキスト、参考文献	評価方法		

08年度以降 自然・環境・人間2(コンピュータと言語) 担当者 呉 浩東 授業計画 講義目的、講義概要 高度化情報社会に生きる個人として、情報とそのシステ 講義の概要と目標、情報科学とは 1. ムに関する基本的な素養を修得することは、必要不可欠に 2. データ表現、基数変換、論理演算 なっています。とくに、コンピュータを使用する多言語情 コンピュータの構成要素 3. 報処理の重要性がますます増大しています。 ソフトウェアの役割、体系と種類 4. 本講義では、(1) コンピュータと情報処理に関する基 オペレーティングシステム (0S) 5. 礎知識(2) コンピュータのハードウェアとソフトウェア 6. プログラム言語 の仕組み(3) コンピュータによる多言語処理の技術と応 データ構造-リスト、スタック、キュー、2分木 用法などについて知識の形成と応用力の育成を目標とし 7. ます。 アルゴリズムの表現法、アルゴリズムの例 8. 本講義はまず、人間とコンピュータとの関わり、コンピ 9. コンピュータによる言語情報処理技術(1) ュータシステム、コンピュータのハードウェアとソフトウ コンピュータによる言語情報処理技術(2) ェアについて学びます。そのうえに、コンピュータとイン 11. 機械翻訳システムの演習 ターネット技術を利用した多言語情報処理の仕組みにつ 12. 情報検索と質問応答システム いて学びます。さらに、実習を通じて、多言語情報の活用 13. インターネット上の多言語処理技術 法などの理解を深めます。 14. 授業のまとめ 15. 授業のまとめ

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

高度化情報社会に生きる個人として、情報とそのシステムに関する基本的な素養を修得することは、必要不可欠になっています。単にコンピュータの操作技術を習熟するということではなく、その基礎となる原理を理解することにより、情報やそのシステムをより有用な道具として使いこなす能力を身に付けることができます。

授業中指示するテキスト・参考文献を使用します。

本講義では、(1)情報に関する基本的な概念、(2)コミュニケーションにおける情報とその処理に関する基礎的な素養、(3)情報システムに関する基礎的な素養、(4)情報社会に関する基礎的な理解などの修得を目標とします。

本講義では、近年急速に発展しているインターネット、 データ通信、データベース技術などに重点を置き、コンピュータ活用技術に関するさまざまな知識を概説し、数回の 演習も実施します。

授業計画

評価方法

- 1. 授業のガイダンス
- 2. ファイル編成とデータベース
- 3. データベース管理システム (DBMS)

レポートの完成度と筆記試験の結果を併せて評価します。

- 4. SQL 言語
- 5. コンピュータ・ネットワーク
- 6. インターネットの仕組み
- 7. インターネットサービス
- 8. セキュリティ、暗号システム、電子認証
- 9. コンピュータのハードウェア構造
- 10. 情報検索
- 11. 情報システムを支える技術
- 12. ソフトウェア開発手順
- 13. 総合演習
- 14. 授業のまとめ
- 15. 授業のまとめ

テキスト、参考文献

最初の講義で指示します。 毎回の講義で必要な教材は配布します。

評価方法

レポートの完成度と筆記試験の結果を併せて評価します。

08 年度以降	自然・環境・人間2(データ構造とアル	ゴリズム論)	担当者	黄	海湘
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画			
検索の技術を駆使し 見つける能力は不解説し、実習を通し 解説し、実習を通し 目的とする。 【概要】情報検索 て、講義形文文系の気 を実、情報検索で説明 を関する。	講義と実習を織り交ぜて授業を進める	1. 講義の概要と 2. リスト 3. スタックとキ 4. 再帰 5. 計解析 6. 解析分探索木 7. 二分保索 10. 二分探索 11. 平衡シコ 12. バラフ 14. 動動業のまとと 15. 授業のあるとと			
テキスト、参考文献	#	評価方法			
_	bkb.org/portal/doc_579.html Fスト・参考文献を使用します。	授業の参加態度 (60%) により			及び筆記試験

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	H1 IIM757A		

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (情報検索と加工) 自然・環境・人間(IV)(情報検索と加工)		担当者	黄	海湘
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画			
【目的】情報爆発といわれている現代社会において、情報 検索の技術を駆使し、いかに必要な情報を素早く、的確に 見つける能力は不可欠である.本講義は情報検索の仕組を 解説し、実習を通して「情報検索力」を身に付けることを 目的とする.					
講義内容は,文系 索の歴史,情報検索 情報評価の順番で記	系の学生でも理解できるように,情報検 まための情報収集,情報整理,情報抽出, 説明する. 講義と実習を織り交ぜて授業を進める	10. 情報の抽出 (1) 11. 情報の抽出 (2) 12. 情報の検索と評価			
参考文献:原田,江	成 なじて資料を配布する エ草,小山,澤井共著『情報検索演習』 -ズ 6, 2007(樹村房)	評価方法 授業の参加態度 (60%) により			及び筆記試験

			担当者	
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
テキスト、参考文南	₿ †	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (マルチメディア論 自然・環境・人間(IV)(マルチメディア論)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	担当者	田中 雅英
になってきている。 指定通りに貼り付け している人は少ない パラ漫画でのある標準 て自分のサメデュン 音声なども含まれる。 基本的にはは ら始める。	ターネットの世界では常識的なことしかしそれは、ブログなどでただ単にけるだけであり、その原理を理解・認識い。その基本的原理は、最近話題のパラその処理などを理解し、インターネッともいえるソフトのフラッシュを用いトロールできるようになることを目指でという内容は動画だけにとどまらず、が、ここでは動画に的を絞る。もちろり使いこなしだけを目指すのではない。面し、それを動かせるようにすることか	7. シンボルの制 8. トゥイーンア 9. シェイプトゥ 10. シェイプトゥ 11. 作品の制作の 12. 作品の制作の 13. 作品の制作の 14. 作品の制作の 15. 作品の制作の	が 成 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記	
デキスト、参考文献 授業中に適宜指示・	•	評価方法 制作した作品で記 中の課題も成績に		業への参加度は重視し、授業

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	ŧ.	評価方法		

08 年度以降	自然・環境・人間 2 (人間活動の自然環境への影響のデータ	自然・環境・人間2 (人間活動の自然環境への影響のデータからの理解)		中村 健治
講義目的、講義概要		授業計画		
地球の自然状態を認 の上での人間活動と そのような実態のラ について主に大気野 様々な結データをま てもらいたいと思い	をより深めますが、必ずしも「環境学」	1. 講義概要 2. 地球環境の別 4. 地球環境の別 4. 地球環境の別 5. 地球球の構造、のででででででででででででででででででででででででででででででででででで	が が が が で で で で で で で で で で で で で	ト 球規模の環境問題 て)
テキスト、参考文献	#	評価方法	_	
なし		2回程度行う小 (40%) で評価 l		6)、参加状況(30%)と試験

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

08 年度以降 07 年度以前	自然・環境・人間 2 (スポーツコーチ学 b) 自然・環境・人間(IV)(スポーツコーチ学 b)		担当者	松原裕
講義目的、講義概要	.	授業計画		
て、実践・実習をす	学のなかで特にコーチング方法につい けることを目的とする。 できる学内の施設を利用して、コーチン すう。	生の人類 (1) (2) (3) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	更第 スコンノレレー・シンテテググが第 ーググココルルホホニニ方方法的 リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時に提示します。 念と写真付受講票作成 用法① 用法② ① ② グ① グ① グ② ーチング① ーチング② ーチング② ング② ング② ング② (① ② ②
テキスト、参考文献	#	評価方法		
必要により紹介し、	プリントを配布する。	コーチング方? る。	去の理解、最	終レポートを総合して評価す

08 年度以降 07 年度以前	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		担当者	和田智
考えてもらいないます。それでしているというではしてできます。では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	と に に に に に に に に に に に に に	4 イニシアティ 5 イニシアティ 6 グループ内で 7 リーダーシッ 8 イベント企画	イクブブのプ作コ案プラー はない でんか でいま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	頭解決活動と発表 はる問題解決活動 1 はる問題解決活動 2 いての討論と発表 こ向けてのグループ討論
テキスト、参考文献 必要に応じて資料を				f (60%)、小レポート・期末 テスト (+α) を評価します。

			担当者	
講義目的、講義概要	. 2	授業計画		
テキスト、参考文献	*************************************	評価方法		
ノイハド、少芍又 間		TIMI/J/A		

07年度以前	ことばと思想(Ⅲ)(日本語教材における気	とばと思想(Ⅲ)(日本語教材における学習項目の扱い)		担当者	小山	慎治
講義目的、講義概要	5	授業	計画			
この授業の目的に	は、日本語教育の教材作成の実践を通じ	1	オリエンテー	ーションと教	材開発の概観	
て、言語コミュニケ	アーションの能力の習得について考える	2	言語コミュ	ニケーション	と日本語教育	
ことである。		3	初級教材の何	乍成:教科書	の分析	
授業では、日本語	唇の授業における副教材の作成について	4	初級教材の何	作成:会話教	材作成	
学ぶ。この課題のた	とめに、教科書の分析、教材作成に関わ	5	初級教材の何	乍成:漢字教	材作成	
る文献の講読を行う		6	初級教材の何	作成:日本事	情教材の作成	
受講生には、初級	吸レベルの会話教材、読解教材、漢字教	7	初級教材作品	成過程と授業	案の発表	
材の作成、それらを	と用いた授業案の作成を課す。また、中	8 初級授業における教材の可能性				
級、上級レベルの搭	受業を視野に入れ、ビデオ、新聞記事、	9 中上級教材の作成:教科書の分析				
小説などを教材と	して使用する方法について検討しても	10	中上級教材の	の作成:会話	教材の作成	
らう。		11	中上級教材の	の作成:生の	素材を用いた説	 虎解教材作成
受講生による文献	犬発表、教材の作成、作成過程および授	12	中上級教材の	の作成:ビデ	オを用いた教材	才作成
業案の発表を軸に摂	受業を進めることになるので、積極的に	13	中上級教材の	の作成:日本	事情教材の作品	戈
活動に参加し、クラ	スを活性化してくれる学生を特に歓迎	14	中上級教材	作成過程と授	業案の発表	
する。		15	まとめ			
テキスト、参考文南	戊	評価	方法			
テキスト:特に指定し	ない				ラス参加(30%)、最終課題
■ 参考文献: ■ 野田尚志(編)『コミ:	ュニケーションのための日本語文法』くろし	(4	0%)の割合	で評価する。		
お出版						
	話教材を作る』スリーエーネットワーク 字教材を作る』スリーエーネットワーク					
D-4	する物を作る』ハッ エー ホッドッ ッ 材を作る』スリーエーネットワーク					

			担当者	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
テキスト、参考文献	*	評価方法		

(春) スポーツ・レクリエーション(インラインスケート a)_火1

担当者

和田 智

講義目的、講義概要

[講義の目標]

インラインスケートについての知識、技術の習得によって、各個人の自由時間をインラインスケートを用いて豊かにすることを目標にします。初めは慣れない道具で不自由さに戸惑うかもしれませんが、これを使った時に体が自由に動く感覚を経験することで、自分の新たな可能性に気づくことでしょう。インラインスケートは、舗装された平面があればどこでも楽しめます。自転車と同じような感覚で楽しめれば良いと思います。そのためには安全能力とモラルが大切になるでしょう。前後方滑走、カーブ、方向転換までの技術習得を目標にします。

[講義概要]

実施場所は室内アリーナです。インラインスケートについての知識、技術の習得を毎回の授業の中で行います。内容は、安全知識、危険回避、基本テクニック、応用テクニック、メンテナンスについてです。学生の進歩状況によって、授業計画は変えていきます。大学では、22センチから28センチまでの靴とリストガード、エルボーパッド、ニーパッドを準備してあります。必要に応じてヘルメットも貸すことができます。初心者から受講して下さい。足首上までのソックスを必ず着用すること。

授業計画

第1回:オリエンテーション インラインスケート

とは(ビデオ視聴)と用具あわせ

立ち方・歩き方・とまり方

第2回:前進ひょうたん型

第3回:後進ひょうたん型

第4回:前進ツイスト

第5回:後進ツイスト

第6回:カーブと体のコントロール

第7回:片足で長く滑る

第8回:インラインホッケーの基本

第9回:インラインホッケーを楽しもう

第10回:「後ろ向きになれよう」足の使い方 第11回:「後ろ向きになれよう」ボディの使い方

第12回:「後ろ向きになれよう」バックストローク

のバリエーション

第13回: 「方向転換」カーブの練習

第14回:「方向転換」スリーターン

第15回:総合滑走

テキスト、参考文献

特に指定しないが自身でインターネット他のメディアを利用してインラインスケートに関する情報を調べること。

評価方法

授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度 (20%) で評価します。

和田 智

講義目的、講義概要

[講義の目標]

[講義概要]

(秋)

春学期から継続して受講する学生のためのクラスです。 インラインスケートの技術のバリエーションを習得す ることを目標とします。

秋学期からの履修者は、春学期の基本動作および技術を 学習します。 授業計画

スポーツ·レクリエーション(インラインスケートb) 火1

第1回:インラインホッケーの楽しみ方

担当者

第2回:パイロンテクニックその1 大きな動き

第3回:パイロンテクニックその2 小さな動き

第4回:ターン スリーターン

第5回:ターン モホークターン

第6回:基本的なストップ

第7回:ストップのバリエーション

第8回:ジャンプ

第9回:フォワードクロッシング 足運びの練習

第10回:フォワードクロッシング

第11回:バックワードクロッシングの初歩

第12回: インラインホッケーリーグ戦 第1回

第13回:インラインホッケーリーグ戦 第2回

第14回: インラインホッケーリーグ戦 第3回

第15回: インラインホッケーリーグ戦 第4回 インラインホッケーは、毎回授業時間後半で行いま

す。

インラインスケートの技術の応用技術であるステップ、ストップ、ジャンプ等を取り入れて授業を進めます。また、インラインホッケーを積極的に行います。学生の技術達成度によって、授業計画は変えていきます。

テキスト、参考文献

特に指定しない

評価方法

授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度 (20%) で評価します。

授業計画		
評価方法		

(秋)	スポーツ・レクリエーション(インラインスケート b)_土1		担当者	和田 智
講義目的、講義概要 授業計画				
では、 をいるといる。 をいるといるでは、 をいるでは、 をいるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ートについての知識、技術の習得によっき間をインラインスケートを用いて悪かこします。初めは慣れない道具で不が真具でが、これを使ったで明に体が気であることで、自分の新たな可能性に気で、自分の下は、間じな全が、結まようなが、間になった。のます。そのでは、カーブ、応援しいます。前後方滑走、カーブ、応援です。が表します。インラインスケートは、カーででででは、カーでです。インラインスケートであります。インラインスケートであります。です。グートでは、カーででは、カーでは、カーでは、カーに、カーに、カーに、カーに、カーに、カーに、カーに、カーに、カーに、カーに	ます。 第3回:「「からら由ではた」」。 第3回:「「からら由ではた」」。 第4回回:「を自使ンンではた」。 第5回回:「を自使ンンではできる。 第9回回にできる。 第11回回ににできる。 第11回ににてきる。 第12回ににてきる。 第12回ににてきる。 第12回ににてきる。 第12回ににてきる。 第12回ににてきる。 第12回ににてきる。 第2回ににてきる。 第3回ににてきる。 第4回ににてきる。 第5回ににてきる。 第6回ににてきる。 第7回ににてきる。 第6回ににてきる。 第7回ににていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	で・ととををかたかたイイル向向リ転転が歩にに動動ら響ら習ホホにににしいがとりです。 かいにににしり、 のいとよくて動し、 かったいないののでは、 できるが、 かったいないでは、 できるが、 かったいいいでは、 できるが、 かったいいいいが、 かったいいいが、 かったいいいいが、 かったいいいいいが、 かったいが、 かったいがいが、 かったいがいが、 かったいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	う」ステップ う」ズテップ う」グライド みよう」腕の使い方 みよう」ボディの使い方 いしてみよう」パイロン いしてみよう」ストック の基本 を楽しもう こう」ボディの使い方 こう」バックストローク での練習
	ックスを必ず着用すること。	評価方法		
特になし		A. 1)、態度(10%)目標達成度

			担当者	
講義目的、講義概要		授業計画		
テキスト、参考文献		評価方法		
) イヘト、参与人制		計		

(秋)	スポーツ・レクリエーション(インラインホッケーb)		担当者	松原 裕
講義目的、講義概要	要	授業計画		
ョン能力の向上とで受講者は、原則と を条件とし、顔写真 色々な組み合わせ 20名を定員とする	アーのゲームを通じて、コミュニケーシャネージメント能力の向上を図る。としてインラインスケートが出来ることは1枚を貼った受講票を作成する。とによりゲームを行う。男子20名、女子どの様子により授業内容が変更される	8. 固定した	構票の作成と シホッケース シバーでゲー シバーでゲー メンバーでゲ メンバーでゲ メンバーでゲ ボゲーム② ・ゲーム③ 東習②	キル練習 ム練習① ム練習②
テキスト、参考文献	t	評価方法		
必要に応じて紹介す	する。	受講態度、スキ	ルテストを総	合して評価する。

(44)				I may be also	
(春)	スポーツ・レクリエーション(エアロ l	ごック	ダンス a)	担当者	中村 恭子
講義目的、講義概要	Ę.	授業	計画		
[講義目標]		1.	オリエンテ	ーション、エ	アロビックダンスの特性
音楽のリズムにつ	合わせて楽しく有酸素運動を行うこと	2.	エアロビッ	クダンスの基	礎、ステップ名称の理解
で新陳代謝を高める	るとともに、全身持久力、筋力、調整力	3.	ローインパ	クトのエクサ	サイズ①
(リズム感、協応性	生、巧緻性、平衡性、柔軟性など)を高	4.	ローインパ	クトのエクサ	サイズ②
めます。また、運動	かの効果を実感し、安全で効果的な動き	5.	ローインパ	クトのエクサ	サイズ③
方・運動への取り組	且み方を理解して、生涯にわたって運動	6. ローインパクトのエクササイズ④			サイズ④
に親しむ資質を身に	こ付けます。	7.	ハイインパ	クトのエクサ	サイズ①
		8.	ハイインパ	クトのエクサ	サイズ②
[講義概要]		9.	ハイインパ	クトのエクサ	サイズ③
エアロビックダン	ノスの基礎から始め、受講者の理解度に		, ,	クトのエクサ	,
合わせて、毎回新し	い動きを加え、徐々に運動強度・難度	11. コンビネーション・エクササイズ①			
を上げていきます。	複雑な動きの組み合わせにも挑戦し、	12. コンビネーション・エクササイズ②			
元気に、力強く、器	岩用に動ける体を作ります。	_	•	ション・エク	, ,
			•	ション・エク	, , , ,
[準備物]		15.	コンビネー	ション・エク	ササイス(5)
動きやすい服装、	体育館シューズ、タオル、	\•/ <i>b</i> 7	日の中央は	☑=# 仏 ☎ T田 Á辺	広に入上ルマ本田上フゴ化
水分補給用の水す	またはお茶 (蓋のできる容器)		·回の内容は? :があります。		度に合わせて変更する可能
テキスト、参考文南	#	評価	i方法		
		42 42 1	への参加態 総合的に評値		成度、学習カードの記述内容

(秋)	スポーツ・レクリエーション(エアロビックダンス b)		担当者	中村 恭子		
講義目的、講義概要	ξ	授業	計画			
[講義目標]		1.	エアロビッ	クダンスの基	礎	
音楽のリズムにイ	合わせて楽しく有酸素運動を行うこと	2.	ローインパ	クトのエクサ	サイズ①	
で新陳代謝を高める	らとともに、全身持久力、筋力、調整力	3.	ローインパ	クトのエクサ	サイズ②	
(リズム感、協応性	生、巧緻性、平衡性、柔軟性など) を高	4.	ハイインパ	クトのエクサ	サイズ①	
めます。また、運動	かの効果を実感し、安全で効果的な動き	5.	ハイインパ	クトのエクサ	サイズ②	
方・運動への取り組	且み方を理解して、生涯にわたって運動	6.	ステップ台	を用いたエク	ササイズ①	
に親しむ資質を身に	こ付けます。	7.	ステップ台	を用いたエク	ササイズ②	
		8.	ステップ台	を用いたエク	ササイズ③	
[講義概要]		9.	ステップ台	を用いたエク	ササイズ④	
エアロビックダン	/スの基本から始め、受講者の理解度に	10.	ステップ台	を用いたエク	ササイズ⑤	
合わせて、ステップ	² 台を用いたエクササイズやヒップホッ	11.	ステップ台	を用いたエク	ササイズ⑥	
プ系のダンスムー	ブメントを取り入れたエクササイズへ	12.	ヒップホッ	プ系のエクサ	サイズ①	
と展開していきます	r。エアロビックダンスの応用プログラ	13.	ヒップホッ	プ系のエクサ	サイズ②	
ムを体験し、多様な	は動きを楽しみます。	14. ヒップホップ系のエクササイズ③				
		15.	ヒップホッ	プ系のエクサ	サイズ④	
[準備物]						
***************************************	体育館シューズ、タオル、				度に合わせて変更する可能	2
	これはお茶 (蓋のできる容器)	性があります。				
テキスト、参考文献	テキスト、参考文献 評価方法					
		42 42 1	·		成度、学習カードの記述内	J容
		1115	総合的に評価	叫しより。		

(春) スポーツ・レクリエーション(硬式テニ	-ツ・レクリエーション(硬式テニス a)		重藤 誠市郎
講義目的、講義概要	授業計画		
【講義目的】 生涯スポーツとして硬式テニスを楽しむための技術と知識を身につける。また、授業内で学生間のコミュニケーションを充実させ、社会性、協調性を養うことを目的とする。 【授業内容】 基本的な技術の練習を行い、全体のスキルアップを目指す。初心者から中上級者までレベルに差がある場合は、上級者が初心者をサポートする形をとる場合もある。 授業前半に基本的なスキルやルールを身につけ、後半はダブルスのゲームを中心とした授業展開をしていく。ただ	5.バックハンド 6.バックハンド 7.サービス&レ 8.ボレー&スマ 9.サーブ&ボレ 10.ダブルスチャ 11.ダブルスチャ 12.ダブルスゲー	ストロークの ストロークの ストロークの ストローク シーブ ッシュ ー ンピオンシッ ンピオンシッ ム (3 ゲーム)基本 (ドライブ、スライス))基本 (ドライブ、スライス) ,プゲーム (5 分ローテ) ,プゲーム (5 分ローテ)
し、毎回の授業の最後にはゲーム形式のメニューを行う。 実技テストを行う。 **		ダブルスゲー	・マッナ) -ム(1 セットマッチ) ルスゲーム(1 セットマッチ)

評価する。

平常点 60%、実技テスト 20%、受講態度 20%を総合して

必要に応じて紹介する。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(硬式テニス b)		担当者	重藤 誠市郎
知識を身につける。 ションを充実させ、 る。 【授業内容】 春学期からの継ばになるため、秋学其 未経験者ではないる 試合を有利に進め ルス、ダブルスのな	して硬式テニスを楽しむための技術とまた、授業内で学生間のコミュニケー社会性、協調性を養うことを目的とす 続履修者と秋学期からの履修者の混合明からの履修者には原則として、全くのことが条件となる。 かるための戦術やスキルを学び、シングデームを数多く行う。 あるための、ルールやマナーの理解を深	10.ダブルスチャ 11.ダブルス(リ 12.ダブルス(リ 13.ダブルス(リ 14.実技テスト	の作成とアイ アハト ボス リ リンピオンシーグ戦(2) ーグ戦(3) ーグガルス (トラブルス (トラブルス (トラブルス (トラブルス (トラブルス (トラブルス (トラブルス (トラブス (トラ	・サービス ・プゲーム(3 ゲームマッチ) ・プゲーム(5 ゲームマッチ)
テキスト、参考文献 必要に応じて紹介す		評価方法 平常点 60%、実 評価する。	技テスト 20 %	%、受講態度 20%を総合して

	_		1	
(春)	スポーツ・レクリエーション (硬式テニス a)		担当者	田中 茂宏
講義目的、講義概要	要	授業計画		
しない。 はない はない はない はない はない はない はい	がお互いについて、自分自身について考る。 3」という姿勢、チャレンジについて考 ゲームができる。 ーニングをおこなう。 いて理解を深める。 こめの工夫や配慮、特に態度を重視して	7. " 8. " 9. " 10. 技術練習。 11. " 12. " 13. シングルス、	トローク等の 。 ダブルスのケ	デーム。技能テスト
テキスト、参考文献	式	評価方法		
		授業への取り組織 価する。	む姿勢、レポ	ートの内容、技能の向上で評

(秋)	スポーツ・レクリエーション(硬式テニス b)		担当者	田中 茂宏
しむ技術、 を を を を を を を を を	はでいるために、競技スポーツとして楽ますに、競技未経験者に焦点を当て、基準習の仕方を学習する。けるtrial & error を通じて課題設定と践する。 はお互いについて、自分自身について考え。 はいう姿勢、チャレンジについて考がしよができる。 ーニングをおこなう。 って理解を深める。 こめの工夫や配慮、特に態度を重視して	7. " 8. " 9. " 10. 技術練習。 11. " 12. " 13. シングルス、	トローク等の。 ダブルスのク ダブルスの	デーム。技能テスト
テキスト、参考文献	大	評価方法 授業への取り組 価する。	む姿勢、レポ	ートの内容、技能の向上で評

講義目的、講義概要	授業計画		
テキスト、参考文献	評価方法		

(秋)	スポーツ・レクリエーション (硬式テニス b)		担当者	松原 裕
講義目的、講義概要		授業計画		
ミュニケーション能上を図る。受講者は、原則と出来ることを条件とする。色々な組み合わせり	グルス・ダブルスゲームを通じて、コカの向上とマネージメント能力の向して硬式テニスのダブルスのゲームがし、顔写真1枚を貼った受講票を作成によりダブルスゲームを行う。 の様子により授業内容が変更される	1. ガイダン 2. 写真付受記 3. シングル 4. シングル 5. ダブルス 6. ダブルス 7. ダブルス 8. ダブルス 9. ダブルス 11. ダブルス 12. ダブルス 13. ダブルス 14. ダブルス 15. スキルス	r まででは、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	位決め) 位決め) グルス順位で組合せ) 決め) グ戦①) グ戦②) グ戦③) ントハンデ付) ルハンデ付) ナメント①) ナメント②)
テキスト、参考文献		評価方法		
必要に応じて紹介する	పె.	受講態度、スキノ	レテストを総	合して評価する。

(春)	スポーツ・レクリエーション(硬式テン	ニス a)	担当者	村山 光義
講義目的、講義概要	2	授業計画		
[講義の目的] 生涯スポーツである 体的には以下の育成 1.技術的基礎の独 2.ルール・マナー 3.コミュニケーシ [講義概要] 基礎的な技術として サーブの練習を展別 にする。全体練習と	る硬式テニスの実践力を身につける。具 対を目指す。 護得	1. イントロ 2. ボレー・ 3. ボレー・ 4. ボレー・ 5. ボレー・ 6. ダブルス 7. ダブルス 8. ストロー 9. ストロー	ンョートラリー	・ 一ブ練習 1 ・ の理解 1 ・ の理解 2 ・ ルゲーム 1 ・ ルゲーム 2
やルール等の解説 練習をすることも [受講者への要望] テニス経験に関わる ーションをトレーニ を実践できるように	構義を行うこともある。アリーナで基礎 ある。 らず、基礎技術とクラス内のコミュニケニングし、生涯にわたり社会的にテニス こなることが必要です。経験者も初級者 は経験者を見本にし、積極的に交流する	13. ダブルス 14. ダブルス	スマッシュの改 ゲーム 1	, z善・ダブルスゲーム

評価方法

評価します。

技術、態度で評価します。技術はスキルテストの結果や向 上具合、態度については取り組みの積極性を観察によって

テキスト、参考文献

必要に応じて印刷物を配布します。

(秋)	スポーツ・レクリエーション (硬式テニス b)		担当者	村山 光義	
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要				
体的にはがいます。 1. 技術の犯 2. ルーニュニー 3. コミ概要 春学期にいる。 素学期にいる。 素学期にいる。 大人一、実践合所でいる。 でわけって、 でわけって、 でわけって、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	護得 一の理解 ション実践・社会的態度の獲得 秋学期からの履修者の合同クラスとしる。基礎的な技術として、ストローク、ユ・サーブの練習を展開し、ダブルスゲはうにする。全体練習と経験・技術別練展開する。授業内で適宜スキルテストも技術やルール等の解説講義を行うことも基礎練習をすることもある。 が、基礎技術とクラス内のコミュニケニングし、生涯にわたり社会的にテニスコンとが必要です。経験者も初級者は経験者を見本にし、積極的に交流する	 ボレー・シ ボレー・ス ボレー・ス ダブルスゲ ストローク サーブの改 ボレー・ス 	ョママーーのの善善ママーートラッシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーブ練習 1 の理解 1 の理解 2 ルゲーム 1 ルゲーム 2 ゲーム 1 ゲーム 2 善・ダブルスゲーム 1 善・ダブルスゲーム 2	
テキスト、参考文献	状	評価方法			
必要に応じて印刷物	勿を配布します。			術はスキルテストの結 組みの積極性を観察に	

評価します。

(春) スポー	ツ・レクリエーション(ゴルフ a)		担当者	小笠原 慶太
講義目的、講義概要		授業計画		
わたって楽しめるスポーツ 技術、ルールの理解、正しい 授業では、ショートアイア ます。また、ルールやマナ ゴルフというスポーツを正 他の競技に比べ初心者が多 方が違うため、個別指導中 【受講者へ】 ゴルフ練習場での授業に	いこと、また人それぞれ打ち 心の授業になります。 は、ボール購入にお金が掛かり 練習中はグローブ着用を義務付	*	マインショー・ファイン・インショー・ファインショー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	アイアン) ム・ルール学習) ム・ルール学習) 固別指導) (個別指導) (個別指導) (個別指導) (個別指導) (個別指導) (個別指導)

評価方法

60%で評価する。

授業態度及び貢献度 20%、実技テスト 20%、技能の向上度

テキスト、参考文献

(秋)	スポーツ・レクリエーション(ゴルフ b)	担当者	小笠原 慶太
わたって楽しめるご技術、ルールの理解授業では、ショートます。また、ルーバゴルフというスポー他の競技に比べ初心方が違うため、個別【受講者へ】ゴルフ練習場での	へ知識を身につけることによって生涯にスポーツです。そのためには基本となると、正しいマナーの習得が求められます。トアイアンを中心にスウィングをつくりレやマナーについても細かく説明をし、一ツを正しく理解してもらいます。 か者が多いこと、また人それぞれ打ち別指導中心の授業になります。 つ授業には、ボール購入にお金が掛かりたの為、練習中はグローブ着用を義務付	 学内にてスウ 学内にてスタ 学内にて実習場 ゴルフ練習場 ゴルフ練習場場 ゴルフ練習場場 ゴルフ練習場 ゴルフ練習場 ゴルフ練習場 	イン イン と と と と と に に に に に に に に に に に に に	アプローチ) フョートアイアン) ショートアイアン) ミドルアイアン) ミドルアイアン) フェアウェイ・ウッド) フェアウェイ・ウッド) ドライバー)
1		評価方法 授業態度及び貢 60%で評価する。	献度 20%、実	技テスト 20%、技能の向上度

			担当者	
講義目的、講義概要	2	授業計画		
テキスト、参考文献	#	評価方法		

(秋)	スポーツ・レクリエーション(コンディショ	コントレーニ	ング)	担当者	松原 裕
講義目的、講義概要	2	授業計画			
が自分の身体の状況 身体の良いコンディ 軽減すること、身体 良い姿勢とは何か。 色々な角度から考え 学生センター2階の 行い、受講は女子等 毎回、前半は二人紀	ウトレーニングルームを使用して授業を	1 3. 1 4.	写現二二二二二身身身骨骨真在人人人人人人体体体格格	租骨盤調整と 租骨盤調整と 租操体法①&f 租操体法②&f 取動きとコンラ の動きとコンラ の動きとコンラ の位置と動き の位置と動き	会学①&個別トレーニング 姿勢②&個別トレーニング 姿勢③&個別トレーニング とのでは、1000000000000000000000000000000000000
テキスト、参考文献	t	評価方法			
必要に応じて紹介す	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	受講態度、	、理解	 度などを総合	して評価する。

(+)	1° · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	len viz ek	1 - 14
(春)	スポーツ・レクリエーション (サッカーa)		担当者	大森 一伸
講義目的、講義概要	5	授業計画		
【講義の目的】		1. ガイダンス		
1. 好きなサッカー	-を定期的に楽しく実践することによっ	2.「楽しくプレ	⁄ーする」をネ	きえる①
て、運動習慣を身に	こ付けるきっけかにする。	3.「楽しくプレ	⁄ーする」をネ	きえる②
2. サッカーの戦徒	所を理解し、その戦術を自ら意図してプ	4.「シンプルに	プレーする」	を考える①
レーできるようにな	こる。	5.「シンプルに	プレーする」	を考える②
		6.「プレーへの	関わり」を増	曽やす①
【講義の概要】		7. 「プレーへの	関わり」を増	単やす②
授業では、サッカ	ローの攻撃についてテーマを設定してい	8. 攻撃に人数をかける①		
ます。各テーマに兆	合ったウォーミングアップ、技術戦術ト	9. 攻撃に人数をかける②		
レーニングを30分種	呈度行い、その後ゲームを実践します。	10. 動きながらボールを受ける①		
天候等によりグラ	ランドが使用できないときには、体育館	11. 動きながらボールを受ける②		
でミニサッカーを行	うか、サッカーの歴史・ルールやサッ	12.1つ2つ先のプレーを考える①		
カーサイエンスにつ	ついて講義します。	13.1つ2つ先のプレーを考える②		
【学生への要望】		14.一人で守備はできない①		
「どんなに忙しくて	ても、授業でサッカーはやりたい!」と	15.一人で守備はできない②		
いう皆さんが多く気	を講することを期待しています。	(ただし、講義のスケジュールは変更になる場合がありま		
		す。)		
テキスト、参考文献	評価方法			
特になし		に他者への思い	やりのある姿 します。総授	組む姿勢を重要視します。特勢・プレーを求めます。遅刻業回数の 1/3 以上欠席すると

(秋)	スポーツ・レクリエーション (サッカーb)		担当者	大森 一伸		
講義目的、講義概要		授業計画				
【講義の目的】		1. ガイダンス				
1. 好きなサッカー	-を定期的に楽しく実践することによっ	2.「楽しくプレ	/一する」をネ	きえる①		
て、運動習慣を身に	こ付けるきっけかにする。	3.「楽しくプレ	/一する」をネ	考える②		
2. サッカーの戦徒	所を理解し、その戦術を自ら意図してプ	4.「シンプルに	プレーする」	を考える①		
レーできるようにな	こ る。	5.「シンプルに	プレーする」	を考える②		
		6.「プレーへの	関わり」を地	単やす①		
【講義の概要】		7.「プレーへの関わり」を増やす②				
授業では、サッス	カーの攻撃についてテーマを設定してい	8. 攻撃に人数をかける①				
ます。各テーマに浴	合ったウォーミングアップ、技術戦術ト	9. 攻撃に人数をかける②				
レーニングを30分種	呈度行い、その後ゲームを実践します。	10. 動きながらボールを受ける①				
天候等によりグラ	ランドが使用できないときには、体育館	11. 動きながらボールを受ける②				
でミニサッカーを行	ううか、サッカーの歴史・ルールやサッ	12.1つ2つ先のプレーを考える①				
カーサイエンスにつ	ついて講義します。	13.1つ2つ先のプレーを考える②				
【学生への要望】		14.一人で守備はできない①				
	ても、授業でサッカーはやりたい!」と	15.一人で守備はできない②				
いっ皆さんが多く党	乏講することを期待しています。	(ただし、講義のスケジュールは変更になる場合がありま				
	す。)					
テキスト、参考文献	評価方法					
特になし		に他者への思いる	やりのある姿 します。総授	組む姿勢を重要視します。特勢・プレーを求めます。遅刻業回数の 1/3 以上欠席すると		

r					
(春)	スポーツ・レクリエーション (サッカーa)		担当者	西川 誠太	
	<u></u>	授業計画			
[講義目的]					
1. サッカーの実践	桟者(競技者や指導者など)として、あ	1. ガイダン	/ス		
るいは観戦者	としてより楽しく関われるための知識	2. ボールを	飛げ	ばす技術①、	スモールサイドゲーム
や技能の習得。		3. ボールを	飛げ	ばす技術②、	スモールサイドゲーム
2. サッカーという	5 チームスポーツを通して、人とのコミ	4. ボールを	:受り	ける技術①、	スモールサイドゲーム
ュニケーション	/の重要性を理解し、自主性や協調性を	5. ボールを	:受り	ける技術②、	スモールサイドゲーム
育む。		6. ボールを	/運	ぶ技術①、ス	モールサイドゲーム
		7. ボールを	/運	ぶ技術②、ス	モールサイドゲーム
[講義概要]		8. ボールを	:奪?	5技術①、ス	モールサイドゲーム
2 4 1.1 - 2 4 1.1 -	いに応じて課題を設定し、ゲームでの実	9. ボールを	奪	5技術②、ス	モールサイドゲーム
	。また、技術戦術に限らずサッカーの	10. 技術・単	战術	トレーニング	での理論と実践①
	なり扱うことで、サッカーを多角的に捉 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	11. 技術・単	钱術]	トレーニング	`の理論と実践②
えることに努めサッ	ッカーへの理解を深める。	12. サッカー	- の歴	を といしい	,
「巫謙仏。の亜坤〕		13. ゲーム第			
[受講生への要望]	(注意事項伝達) に必ず出席すること。	14. ゲーム第			
	をより楽しみたいと願っている学生の	15. ゲーム第	践	(リーグ戦)	
受講を希望します。					
テキスト、参考文献	状	評価方法			
		実践力(40% 献度(20%)			n度(40%)、グループへの貢 iする。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(サッカーb)		担当者	西川 誠太	
講義目的、講義概要	5	授業	計画		
[講義目的]					
1. サッカーの実践	践者 (競技者や指導者など) として、あ	1.	ガイダンス		
るいは観戦者。	としてより楽しく関われるための知識	2.	ボールフィ	ーリング、ス	モールサイドゲーム
や技能の習得。		3.	4つの技術駅	要素の確認①	、スモールサイドゲーム
2. サッカーという	チームスポーツを通して、人とのコミ	4.	4つの技術男	要素の確認②	、スモールサイドゲーム
ュニケーション	の重要性を理解し、自主性や協調性を	5.	技術・戦術	トレーニング	の理論と実践①
育む。		6.	技術・戦術	トレーニング	の理論と実践②
		7.	グループ・	チーム戦術①	
[講義概要]		8.	グループ・	チーム戦術②	
2 4 7 11	レに応じて課題を設定し、ゲームでの実	9.	グループ・	チーム戦術③	
践力を身につける。	また、技術戦術に限らずサッカーの	10.	サッカーの	歴史、ルール	,
様々なトピックを耳	り扱うことで、サッカーを多角的に捉	11.	ゲーム実践	(リーグ戦)	
えることに努めサッ	カーへの理解を深める。	12.	ゲーム実践	(リーグ戦)	
		13.	ゲーム実践	(リーグ戦)	
[受講生への要望]		14.	ゲーム実践	(リーグ戦)	
	(注意事項伝達) に必ず出席すること。	15.	ゲーム実践	(リーグ戦)	
, , ,	より楽しみたいと願っている学生の				
受講を希望します。					
テキスト、参考文献	*	評価	i方法		
				授業への参加 総合的に評価	『度(40%)、グループへの貢言する。

(春)	スポーツ・レクリエーション(スポーツ	型デ	トックス a)	担当者	齋藤	初恵
講義目的、講義概要	5	授業	美計画			
行もトックを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マ、タオル、水(真水のみ可)	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	スポポポポ骨骨骨骨ベベベベベツと&&を整整整整ツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツ	計画 アアアクククロヨヨヨー のックデアアアカクククヨヨヨヨンンササササー ガガ② イイイズズズズ がぶ (5)	ヨニング① ョニング② ョニング③ ョニング④	
テキスト、参考文南	*		新方法 たち (00%)	極業への名	tin 库 (100/) /=	トル並供しま
なし		平常	宮点(90 %)、	授業への参	加度(10%)に	より評価しま

す。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(スポーツ型デトックス b)			担当者	齋藤	初恵
講義目的、講義概要	5 7	授業計画				
体の調整を行い、作る の調整を排泄。 の一ばします。 の一ばしまか。 のでは、 できれていでする。 できれていている。 できれていている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 できれている。 によった。 によった。 によった。 によった。 には、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	を、各種のエクササイズを行うことで身代謝機能を高めるとともに、老廃物をスら(デトックスしやすい)身体づくりをレディショニング:ストレッチポールで姿勢へと身体を調整します。また、筋肉を鍛えすがでは体幹部(コア)の筋肉を鍛えませて行うことによりで、よりを関係とともに、よりを目指します。 深いを吸とポーズを組み合わせることではい呼吸とポーズを組み合わせることではいいます。 深いだを調和させるとともに、より、有酸素運動効します。	11 12 13 14	ポール&筋 ポール&筋 ポール&筋 ポール&筋 ポール&筋 骨盤調整工 骨盤調整工	#(1) #(2) #(3) #(4)	ニング① ニング② ニング③ ニング④ ニング⑤	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	マ、タオル、水(真水のみ可)	=u /a				
なし	Λ.	平常	-, -, -,	授業への参加	加度(10%)に	より評価しま
		す。				

(春)	スポーツ・レクリエーション(ソフトボール a)		担当者	萩野 元祐
り高いゲフト ム展開で、カる。 「講義概要」 初いがファットを 一人、ボール ある。 「講義概要」 初いがでいる。 集た、を高める。 「受講者へのの要望」 技術力はともかく	、個人的技能、集団的技能を高め、よができることを目指す。またそのなかを楽しむということも目標のひとつでに合わせる内容であり、個人的技能、内容は、基本練習中心で展開される。して、ソフトボールの特性や、技術、として、ソフトボールに興味がありそして楽しんでもらいたい。	2. ソフトボー 的技能練習 3. 前回の復習 ゲームの イ. バッティン スイング) 5. 前回の復習 6. リーグ戦	と授業内容の ルの特性、基 。ボールの握 施 が練習(握り リーグ戦 。リーグ戦	説明。個人資料の作成など。 本的ルールなどの説明。個人 り方、送球、捕球の基本練習 方、スタンス、位置、構え方、
テキスト、参考文献	*	評価方法 授業態度、取り着	組み、技術の向	句上などを総合して評価する。

欠席3回を越えた者については評価の対象としない。特別

な理由以外の遅刻は認めない。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(ソフトボ	ー/レ b)	担当者	萩野 元祐
講義目的、講義概要	5	授業計画		
り高いゲーム展開で、ソフトボールある。 「講義概要」 初心者から中級者 集団的技能練習のまた、ゲームを 戦術を高める。 「受講者への要望」 技術力はともかく	、個人的技能、集団的技能を高め、よができることを目指す。またそのなかを楽しむということも目標のひとつでに合わせる内容であり、個人的技能、内容は、基本練習中心で展開される。して、ソフトボールの特性や、技術、として、ソフトボールに興味がありそして楽しんでもらいたい。	 ソフトボーが的技能練習。 前回のよるののでは、バッティグが、スイングで、前回の復習。 リーグ戦 	と授業内容の ルの特性、基 ボールの基 を が練習(握戦 リーグ戦 リーグ戦	説明。個人資料の作成など。 本的ルールなどの説明。個人 り方、送球、捕球の基本練習 方、スタンス、位置、構え方、 (ゴロ、フライ)練習
テキスト、参考文献	t l	評価方法		
			た者について	可上などを総合して評価する。 は評価の対象としない。特別 。

(春)	スポーツ・レクリエー	スポーツ・レクリエーション (卓球 a)		太田	朝博
講義目的、講義	概要	授業計	画		
[講義の目標] 敏捷性・集	中力を養い、基本技術を習		リエンテーション 受業の登録確認と!	受業内容の説明、何	個人資料の作成

ルール、審判、ゲームの進め方などを学び、将来も卓球 を通じて、社会生活を豊かにし、健康の維持増進にも貢

献出来ること。

[講義概要]

基本的練習や簡易ゲームで能力別グループ編成をし て、シングルス、ダブルスゲームを通して、卓球の面白 さや、卓球についての知識も習得する。

[受講者への要望]

技術力のあるなしに関わらず、卓球に興味を持って、 真剣に取り組み、楽しんでもらいたい。服装は運動服、 体育館シューズを用意すること。

- 2. 実技授業の開始 用具の準備と片づけの仕方と基本知 識動作などについて
- 3. ボールの打ち方・スイングの基本
- 4. サーブ・レシーブの練習 簡易ゲーム
- 5. フォアーハンド・バックハンドの練習 簡易ゲーム
- 6. 上記の復習
- 7. カット・スマッシュ練習 シングルスゲーム
- 8. グループ内でのシングルスリーグ戦
- 9. 上記に同じ
- 10. 上記に同じ
- 11. 各グループ同順位リーグ戦
- 12. 上記に同じ
- 13. 技能テスト
- 14. 上記に同じ
- 15. 上記に同じ

テキスト、参考文献	評価方法
	平常点を中心に評価し授業にのぞむ態度、実技の達成度等 を加味する。欠席4回以上の者に対しては、評価の対象と しない。

(秋)	スポーツ・レクリエーション (卓球 b)	担当者	太田朝博
-----	----------------------	-----	------

講義目的、講義概要

[講義の目標]

敏捷性・集中力を養い、基本技術を習得して、簡単な ルール、審判、ゲームの進め方などを学び、将来も卓球 を通じて、社会生活を豊かにし、健康の維持増進にも貢 献出来ること。

[講義概要]

基本的練習や簡易ゲームで能力別グループ編成をして、 シングルス、ダブルスゲームを通して、卓球の面白さや、 卓球についての知識も習得する。

[受講者への要望]

技術力のあるなしに関わらず、卓球に興味を持って、 真剣に取り組み、楽しんでもらいたい。服装は運動服、 体育館シューズを用意すること。

授業計画

- 1. 基本的技術の春学期の復習
- 2. 上記と同じ ダブルスの動き
- 3. ダブルスの簡易ゲーム
- 4. 上記と同じ
- 5. 上記と同じ
- 6. 日替わりチーム編成をしチーム内でのダブルスリーグ
- 7. 上記と同じ
- 8. 上記と同じ
- 9. 固定チームを編成しチーム対抗戦1
- 10. チーム対抗戦 2
- 11. チーム対抗戦3
- 12. チーム対抗戦 4
- 13. 技能テスト
- 14. 上記に同じ
- 15. 上記に同じ

テキスト、参考文献 評価方法 平常点を中心に評価し授業にのぞむ態度、実技の達成度等 を加味する。欠席4回以上の者に対しては、評価の対象と しない。

講義目的、講義概要

【講義の目的】

スポーツは健康・体力の維持増進にとって欠かせないものです。健康・体力の維持増進を継続するためには、一生涯にわたって行うことのできるスポーツ種目を見つけることが一番です。また、スポーツを通してもっと自分のことをよく知り、さらにはさまざまな人とのコミュニケーション能力も養えるようになるでしょう。ここでは、卓球という種目を通して技術の習得や試合のルール、マナーを身に付けるだけでなく、コミュニケーション能力も涵養してもらいたいと思います。

【講義の概要】

リーグ戦形式でゲームを行っていきます。簡単な技術テストとルールテストも行います。

【学生への要望】

卓球の経験者と初心者がみんなで楽しくプレーできる ように工夫していきたいと考えています。

体育館用のシューズと運動に相応しいウエアを必ず用意 してください。特に裸足での参加は厳禁です。

スポーツ・レクリエーション(卓球 b)

授業計画

- 1. オリエンテーション
- 2. 卓球導入、ラケットとボールに慣れる (ボール遊び)
- 3. 構え、スイングの練習(フォアハンド、バックハンド)
- 4. サービスとサーブレシーブの練習
- 5. シングルスゲーム (ルールの習得)
- 6. シングルスゲーム
- 7. シングルスゲーム
- 8. ダブルスゲーム (ルールの習得)
- 9. ダブルスゲーム
- 10. ダブルスゲーム
- 11. ダブルスゲーム
- 12. チーム団体戦 (団体戦の形式を覚える)
- 13. チーム団体戦
- 14. チーム団体戦
- 15. チーム団体戦

(受講者の人数・経験等により内容は変更となる可能性 がある)

テキスト、参考文献

特になし

(秋)

評価方法

卓球の技術練習や試合に取り組む姿勢を重要視します。テストの結果も成績に加味します。遅刻は減点の対象とします。総授業回数の 1/3 以上欠席すると単位の取得はできません。

大森 一伸

講義目的、講義概要

【講義の目的】

スポーツは健康・体力の維持増進にとって欠かせないものです。健康・体力の維持増進を継続するためには、一生涯にわたって行うことのできるスポーツ種目を見つけることが一番です。また、スポーツを通してもっと自分のことをよく知り、さらにはさまざまな人とのコミュニケーション能力も養えるようになるでしょう。ここでは、卓球という種目を通して技術の習得や試合のルール、マナーを身に付けるだけでなく、コミュニケーション能力も涵養してもらいたいと思います。

【講義の概要】

リーグ戦形式でゲームを行っていきます。簡単な技術テストとルールテストも行います。

【学生への要望】

卓球の経験者と初心者がみんなで楽しくプレーできる ように工夫していきたいと考えています。

体育館用のシューズと運動に相応しいウエアを必ず用意 してください。特に裸足での参加は厳禁です。

授業計画

- 1. オリエンテーション
- 2. 卓球導入、ラケットとボールに慣れる(ボール遊び)

担当者

- 3. 構え、スイングの練習(フォアハンド、バックハンド)
- 4. サービスとサーブレシーブの練習
- 5. シングルスゲーム (ルールの習得)
- 6. シングルスゲーム
- 7. シングルスゲーム
- 8. ダブルスゲーム (ルールの習得)
- 9. ダブルスゲーム
- 10. ダブルスゲーム
- 11. ダブルスゲーム
- 12. チーム団体戦 (団体戦の形式を覚える)
- 13. チーム団体戦
- 14. チーム団体戦
- 15. チーム団体戦

(受講者の人数・経験等により内容は変更となる可能性 がある)

テキスト、参考文献

特になし

評価方法

卓球の技術練習や試合に取り組む姿勢を重要視します。テストの結果も成績に加味します。遅刻は減点の対象とします。総授業回数の 1/3 以上欠席すると単位の取得はできません

(春)	スポーツ・レクリエーション (卓球 a)	担当者	神宮司 親治
-----	----------------------	-----	--------

講義目的、講義概要

[講義の目標]

卓球というスポーツを楽しめるように、基本技術を習得し、ゲームを楽しみながら、ルール、審判法、ゲームの進め方などを学ぶ。将来も生涯スポーツとして卓球を通じて、社会生活を豊かにし、健康の保持増進に努めること。

[講義概要]

初心者から中級者に合わせる内容であり、基本的な練習や簡易ゲームにより、技術を習得し、シングルス、ダブルスゲームを通して、卓球の面白さや戦術を習得する。

[受講者への要望]

技術力のあるなしに関わらず、卓球に興味を持って、真 剣に取り組み、楽しんでもらいたい。服装は運動服、体育 館用シューズを用意すること。

授業計画

1. オリエンテーション

授業の登録確認と授業内容の説明、個人資料の作成

2. 用具の準備と片づけ方

基本知識(ラケットの種類・持ち方、基本姿勢)

- 3. ボールの打ち方・スイングの基本
- 4. フォアハンド・バックハンドの練習 簡易ゲーム
- 5. サービス・レシーブの練習 簡易ゲーム
- 6. これまでの復習
- 7. カット・スマッシュ
- 8. 審判法とゲームの進め方 シングルスゲーム
- 9. シングルスゲーム
- 10. シングルスゲーム
- 11. ダブルスゲームの進め方
- 12. ダブルスゲーム
- 13. ダブルスゲーム
- 14. まとめ① (シングルスゲーム)
- 15. まとめ② (ダブルスゲーム)

テキスト、参考文献	評価方法
	評価方法:平常点 80%、授業への参加姿勢 20%にて評価する。

講義目的、講義概要

[講義の目標]

卓球というスポーツを楽しめるように、基本技術を習得し、ゲームを楽しみながら、ルール、審判法、ゲームの進め方などを学ぶ。将来も生涯スポーツとして卓球を通じて、社会生活を豊かにし、健康の保持増進に努めること。

〔講義概要〕

初心者から中級者に合わせる内容であり、基本的な練習や簡易ゲームにより、技術を習得し、シングルス、ダブルスゲームを通して、卓球の面白さや戦術を習得する。

〔受講者への要望〕

技術力のあるなしに関わらず、卓球に興味を持って、真 剣に取り組み、楽しんでもらいたい。服装は運動服、体育 館用シューズを用意すること。

授業計画

- 1. 復習 基本練習
- 3. 復習 基本練習
- 3. シングルスゲーム
- 4. シングルスゲーム・リーグ戦
- 5. シングルスゲーム・リーグ戦
- 6. ダブルスゲーム
- 7. ダブルスゲーム・リーグ戦
- 8. ダブルスゲーム・リーグ戦
- 9. シングルス・トーナメント戦
- 10. ダブルス・トーナメント戦
- 11. ミックスダブルス
- 12. ミックスダブルス・リーグ戦
- 13. チーム対抗戦 (シングルスゲーム・ダブルスゲーム)
- 14. チーム対抗戦 (シングルスゲーム・ダブルスゲーム・ ミックスダブルス)
- 15. 総まとめ

テキスト、参考文献

評価方法

評価方法: 平常点 80%、授業への参加姿勢 20%にて評価 する。

(春)	スポーツ・レクリエーション(卓球 a)		担当者	山口 知恵
ものです。健康・体 涯にわたって行う。 ことが一番です。 また、スポーツを 周りをよく見ること ミュニケーション能 ここでは、卓球と	や体力の維持増進にとって欠かせない は力の維持増進を継続するためには一生 ことのできるスポーツ種目を見つける と通してもっと自分のことをよく知り、 こもでき、さらにはさまざまな人とのコ と力も養えるようになるでしょう。 という種目を通して技術の習得や試合の かに付けるだけでなく、上記のような目	, , , , , ,	・ケットとボークの練習(ファットをできる) ・・グの練習(ファック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ンの習得) か習得)
テキスト、参考文南	**	評価方法 授業への参加態 技術の向上度を約		装、自主性、協調性など)と ます。

(秋)	スポーツ・レクリエーション (卓球 b)		担当者	山口	知恵
ものです。健康・存涯にわたって行うことが一番です。 また、スポーツを ありをよく見ること ミュニケーション自 ここでは、卓球と	や体力の維持増進にとって欠かせない 本力の維持増進を継続するためには一生ことのできるスポーツ種目を見つける を通してもっと自分のことをよく知り、こもでき、さらにはさまざまな人とのコを力も養えるようになるでしょう。こいう種目を通して技術の習得や試合のまに付けるだけでなく、上記のような目	授業計画1. 基本的な打ち2. フォアント3. サービグルススク・4. シングルススク・6. シングルススター7. ダブブルスス・10. ダブブルススロ団11. ダブーム 団団13. チーム 団14. チーム 団15. チーム	:、シース リーグ リーグ リーグ 戦 リーグ 戦 リーグ が戦 リーグ が戦 サーム (団 が 戦 戦 世 が 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦 戦	ンド、スマッシ. 引 いの習得) O習得)	
テキスト、参考文献	式	評価方法 授業への参加態度 技術の向上度を約			弱調性など)と

(春)	スポーツ・レクリエーション (トレーニング入門 a)		担当者	大森 一伸
講義目的、講義概要	2	授業計画		
【講義の目的】本語	講義では週1回のトレーニングプログラ	1. ガイダンス	•	
ムで筋力アップ・シ	/ェイプアップにチャレンジします。	2. トレーニン	グ前計測・詩	構義①
【講義の概要】筋力	カトレーニング、体幹トレーニング、有	3. トレーニン	グ①	
酸素性トレーニン	グの代表的な種目を選びトレーニンを	4. トレーニン	グ②	
実践します。まず気	第2週目の授業でトレーニング前の身体	5. トレーニン	グ3	
組成を計測し、各自	目の目標を設定しトレーニングプログラ	6. トレーニン	グ4	
ムを作成します。そ	その後、毎週各自のプログラムに従って	7. トレーニン	グ⑤	
トレーニングを継続	売し、第15週目の授業でトレーニング後	8. トレーニン	グ⑥・講義②	
の身体組成を計測し	、トレーニングの成果を評価します。	9. トレーニング⑦		
各種トレーニング	ブの効果に関する科学的根拠を理解し、	10. トレーニ	ング⑧	
自身の健康つくり	に役に立ててもらいたいと考えていま	11. トレーニ	ング⑨	
す。そのために、核	受業中に小講義を数回おこないます。	12. トレーニング⑩		
【学生への要望】	トレーニングルーム用のシューズと運動	13. トレーニング⑪		
に相応しいウエアを	と必ず用意してください。トレーニング	14. トレーニ	ング①	
後は筋肉痛が生じる	ることがあることを承知してください。	15. トレーニ	ング後計測と	まとめ
		(ただし、講義の	のスケジュー	ルは変更になる場合がありま
		す。)		
テキスト、参考文献	 	評価方法		
特になし。講義のと	: きには資料を配布します。		す。総授業回	勢を重要視します。遅刻は減 数の 1/3 以上欠席すると単位

(秋)	スポーツ・レクリエーション(トレーコ	ニング入門 b)	担当者	大森 一伸
講義目的、講義概要	5	授業計画		
ムで筋力ででいる。 「講義の概要】筋力で、 大変をします。 大変をはまれる。 大変をはいる。 はながった。 はながながった。 はながながった。 はながながった。 はながながった。 はながながった。 はながながった。 はながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが	構義では週1回のトレーニングプログランエイプアップにチャレンジします。 コトレーニング、体幹トレーニング、有グの代表的な種目を選びトレーニング前の身体目の目標を設定しトレーニング前の身体目の目標を設定しトレーニングプログラでし、第15週目の授業でトレーニング後し、第15週目の授業でトレーニング後に、トレーニングの成果を評価します。 がの効果に関する科学的根拠を理解し、に役に立ててもらいたいと考えていまる業中に小講義を数回おこないます。 レーニングルーム用のシューズと運動と必ず用意してください。トレーニングのことを承知してください。	1. ガイダンス 2. トレーニン 3. トレーニン 4. トレーニン 5. トレーニン 6. トレーニン 7. トレーニン 8. トレーニン 10. トレーニ 11. トレーニ 12. トレーニ 13. トレーニ 14. トレーニ	グ前計測・記グ① グク② ググ③ ググ⑤・講義② ググの ングの ングの ングの	
テキスト、参考文南		す。) 評価方法 トレーニングへ(カスケジューカ取り組む姿す。総授業回	まとめ ルは変更になる場合がありま 勢を重要視します。遅刻は減 数の 1/3 以上欠席すると単位

			担当者	
講義目的、講義概要	ī	授業計画		
テキスト、参考文献	4	評価方法		
テイスト、参考文献		町川川ノル		

(秋)	スポーツ・レクリエーション(トレーニ	ング入門 b)	担当者	川北 準人	
講義目的、講義概要 「目的」トレーンングの目的は多岐にわたる。例えば、健康維持・増進のため、競技スポーツにおけるパフォーマンス向上のため、さらにはリハビリテーションとしてトレーニングは目的化される。この授業では、各個人の目標(目的)を達成するためのトレーニング理論と実践を学習する。 「講義概要〕授業最初に理論的な説明を行ってから、実技を中心に展開する。具体的にはウォーミングアップの理論から始まり、ストレングストレーニング、スタビライゼーショントレーニング、コーディネーショントレーニング、アジリティートレーニング、サーキットトレーニング、アジリティートレーニングで関する理論を紹介する。さらには、自らがトレーニングで関する理論を紹介する。さらには、自らがトレーニングであるとできる知識の獲得を狙う。 「受講生への要望」運動に適した服装、シューズを着用して授業に出席すること。トレーニング時にマシーン等に付着した汗を拭くためにタオル等は必ず持参すること。また、資料を整理するファイルを準備することが望ましい。		担当者 川北 準人 授業計画 「授業計画 「授業計画			
テキスト、参考文献 適宜資料を配布する	·	〔評価方法〕平行		> 34	

(春) スポーツ・レクリエーション(ニュース	スポーツ a)	担当者	村山 光義
講義目的、講義概要	授業計画		
 [講義の目標] 1. 世界の様々なスポーツ文化・人間の遊びの文化を体験し理解する。 2. 授業を通じたコミュニケーション能力の向上。 [講義概要] 手軽に楽しめるニュースポーツを紹介し、新たなスポーツ文化を体験するとともに、仲間とのコミュニケーションをはかります。ターゲットバードゴルフ、ペタンク、キンボール、フリスビーを使った競技など、幅広いニュースポーツ種目を数回ずつ体験していきます。雨天時にはニュースポーツの紹介・スポーツの歴史に関する講義を行うこともあります。なお、体験を重視し、技術の出来栄えは問いません。 [受講者への要望] スポーツは、金メダルや優勝を目指すチャンピオンスポーツばかりでなく、日常生活の気晴らし・Recreation としての「遊び」要素をもっています。世界のニュースポーツを体験しながら、人間と遊びの関係を考えてみましょう。 	2. Flying Disc 3. "個 4. "集	・(フリスビー 人種目 アキ 団ゲーム ア ィスクゴルフ バードゴルフ アカ ・サルホッケー	技術練習ラウンド

評価方法

理解、態度で評価します。理解は内省報告や簡単なレポート、態度は取り組みの積極性を観察によって評価します。

テキスト、参考文献

必要に応じて印刷物を配布します。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(ニュー	スポーツ b)	担当者	村山 光義
し理解する。 2. 授業を通じたコ [講義概要] 手軽にたなスポーツ文化をケーションをはかり ンク、キンボール、ニュースポーツ を行うこともません。 「受講者への要望」 スヤンピオンスポース Recreation として	を ボポーツ文化・人間の遊びの文化を体験 はミュニケーション能力の向上。 楽しめるニュースポーツを紹介し、新 と体験するとともに、仲間とのコミュニ ります。ターゲットバードゴルフ、ペタ フリスビーを使った競技など、幅広い目を数回ずつ体験していきます。雨天時 の紹介・スポーツの歴史に関する講義 ます。なお、体験を重視し、技術の出来 なポーツは、金メダルや優勝を目指すチャばかりでなく、日常生活の気晴らしい の「遊び」要素をもっています。世界の は験しながら、人間と遊びの関係を考え	2. Flying Disc 3. "個 4. "集	(フリスビー 人種目 アキ 団ゲーム ア ィスクゴルフ バードゴルフ アカ ・サルホッケー	技術練習 ラウンド
テキスト、参考文献 必要に応じて印刷物				解は内省報告や簡単なレポー を観察によって評価します。

(春)	スポーツ・レクリエーション(バスケットボール a)	担当者	川北 準人

講義目的、講義概要

[目的] バスケットボールは、我が国において競技人口の多いスポーツの一つでありプロリーグの発足などさらに人気が高まっている。そのバスケットボールの特性およびルールの理解を深め、基本的な個人技能、集団技能を習得することを目的とする。また、スポーツの原点"遊び"を踏まえながらチームスポーツとしての競技特性を体系的に理解しバスケットボールの楽しさを知る。

[講義概要] バスケットボールの技術・戦術の習得はもちろん、指導法、審判法などの習得も目指す。授業は初心者・初級者の基本的技術習得を中心に行うが、ゲームを通じての実践的な技術向上を目指すためにも早い段階からゲームを行っていく。具体的には、個人技能の習得に重点を置いたプログラムによって、その日の課題を明確にし、段階的に高度な集団技能へと発展していく。また、「する」「みる」「支える」「知る」のそれぞれの観点から、授業を展開することにより今日のバスケットボール競技の抱える諸問題、教育的可能性、さらには競技力向上にも言及していく。

〔受講生への要望〕 各自、バスケットボールシューズ(室内シューズ)及び運動にふさわしい服装を用意してください。腕時計、指輪、ピアス等は危険防止のために必ず外してください。

授業計画

- [授業計画]
- 1. オリエンテーション
- 2. ゲームの特性・ルールの理解
- オフェンス・ファンダメンタル① (ボールハンドリング)
- 4. オフェンス・ファンダメンタル②(シュート)
- 5. オフェンス・ファンダメンタル③ (ドリブル)
- 6. オフェンス・ファンダメンタル④ (パス)
- 7. チーム・オフェンス① (パス及びドリブルからの展開)
- 8. チーム・オフェンス② (ハーフコート 2 0N 2 、 3 0N 3 ブレイクダウン)
- 9. チーム・オフェンス③ (ファストブレイク)
- 10. ディフェンス・ファンダメンタル① (オンボールディフェンス)
- 11. ディフェンス・ファンダメンタル② (オフボールディフェンス)
- 12. チーム・ディフェンス① (シェル・ディフェンス)
- 13. リーグ編成とイベントマネジメント
- 14. リーグ戦
- 15. リーグ戦

テキスト、参考文献

評価方法

〔評価方法〕

平常点、授業への参加度・貢献度を担当者の観察によって 総合的に評価する。

(秋) スポーツ・レクリエーション(バスケットボールb) 担当者 川北 準人

講義目的、講義概要

[目的] バスケットボールは、我が国において競技人口の多いスポーツの一つであり、プロリーグの発足などさらに人気が高まっている。そのバスケットボールの特性およびルールの理解を深め、基本的な個人技能、集団技能を習得することを目的とする。また、スポーツの原点である"遊び"を踏まえながら、チームスポーツとしての競技特性を体系的に理解し、バスケットボールの楽しさを知る。

[講義概要] 授業は初級者以上の経験者を対象に展開する。毎回の授業において、基礎技術の確認を行い、高度な戦略・戦術の習得を目指す。授業はゲームを中心に行うが、コンピューターソフトを用いた情報戦略にも挑戦していく。また、「する」「みる」「支える」「知る」のそれぞれの観点から、授業を展開することにより今日のバスケットボール競技の抱える諸問題、教育的可能性、さらには競技力向上にも言及していく。

〔受講生への要望〕各自、バスケットボールシューズ(室内シューズ)及び運動にふさわしい服装を用意してください。腕時計、指輪、ピアス等は危険防止のために必ず外してください。

授業計画

[授業計画]

- 1. オリエンテーション
- 2. オフェンス/ディフェンス・ファンダメンタルの確認
- 3. オフェンス/ディフェンス・ファンダメンタルの確認②
- 4. パッシング・ゲーム①
- 5. パッシング・ゲーム②
- 6. アーリー・オフェンス①
- 7. アーリー・オフェンス②
- 8. モーション・オフェンス①
- 9. モーション・オフェンス②
- 10. チーム・ディフェンス①
- 11. チーム・ディフェンス②
- 12. リーグ編成とイベントマネジメント
- 13. リーグ戦 (ゲームプランの立案)
- 14. リーグ戦 (スカルセッションの実施)
- 15. リーグ戦 (総括)

テキスト、参考文献

評価方法

[評価方法]

平常点、授業への参加度・貢献度を担当者の観察によって 総合的に評価する。

(春)	スポーツ・レクリエーション(バスク	ケットボール a)	担当者	田中 茂宏
むけん はいます では はいます では はいます で 知 ム 、 ままで 知 ム 、 ままで 知 ム 、 ままで 知 ム 、 ままで 知 の 神 は で 知 の が い で 知 の が い で 知 の が い で 知 の が い で 知 は で 知 な で 知 な で 知 な で 知 な で 知 な で 知 な で 知 な で 知 が ままった ままます で 知 が まま で 知 が まま で まま で まま で い で まま で で 知 が まま で で で まま で で で で で で で で で で で で で で まま で	はけるために、競技スポーツとして楽しらに、競技未経験者に焦点を当て、基本習の仕方、ルールを学習する。 するtrial & error を通じて課題設定の意味る。 がお互いについて、自分自身について考る。 がは互いについて、自分自身について考める。 ケームができる。 ーニングをおこなう。 いて理解を深める。 レを楽しむための工夫や配慮、特に態度を進める。		を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	練習。 、パス、ドリブル。 スの出し手、受け手の練習。
テキスト、参考文献	*	評価方法 授業への取り組 価する。	む姿勢、レポ	ートの内容、技能の向上で評

(秋)	スポーツ・レクリエーション (バスケットボール b)		ボールb)	担当者	田中 茂宏
講義目的、講義概要	5	授業	計画		
おきない。 を放けて、 を放けて、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで	がお互いについて、自分自身について考る。 る」という姿勢、チャレンジについて考 ゲームができる。 ーニングをおこなう。 いて理解を深める。 レを楽しむための工夫や配慮、特に態度 を進める。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 11. 12. 13.	ルールの確認 シュート、 """ "" " " " " " " " " " " " " " " "	基本技術委の 認、シュート、 ドリブル。パ スト。 の方の学習。	練習。 、パス、ドリブル。 スの出し手、受け手の練習。
テキスト、参考文献	†	評価	5方法		
		授業 価す		な姿勢、レポ	ートの内容、技能の向上で評

(春)	スポーツ・レクリエーション (バドミントン a)		担当者	田中 茂宏
講義目的、講義概要	2	授業計画		
むける。 をは、はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	がお互いについて、自分自身について考る。 3」という姿勢、チャレンジについて考 ゲームができる。 ーニングをおこなう。 いて理解を深める。 終しむための工夫や配慮、特に態度を重 ある。	 5. ハイクリヤー 6. サービス、ス 7. 基礎技術の総 8. " 9. " 10. ゲーム形式の 11. " 12. " 13. シングルス、 	イング等の総、ドライブ、、ドライブ、、ドロップ等ででは、アロップ・マッシュ、レ合的な練習の練習	ヘアピン等の練習 学の練習 シーブ等の練習、技能テスト
テキスト、参考文献	it	評価方法		
		授業への取り組織	む姿勢、レポ	ートの内容、技能の向上で評

(秋)	スポーツ・レクリエーション(バドミ)	ントン b)	担当者	田中 茂宏		
講義目的、講義概要		授業計画				
おきる。 をは、 をは、 が、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 で、知一し、 者うっっ。 理目でするよや。 で、あい一方では、 で、知一にで、 で、知一にで、 で、知一にで、 で、知一にで、 で、知一にで、 で、知一にで、 で、知一にで、 で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	がお互いについて、自分自身について考る。 る」という姿勢、チャレンジについて考 ゲームができる。 ーニングをおこなう。 ついて理解を深める。 としむための工夫や配慮、特に態度を重 ある。	5. ハイクリヤー 6. サービス、ス 7. 基礎技術の総 8. " 9. " 10. ゲーム形式の 11. " 12. " 13. シングルス、	イング等の続い、ドライブ、 いいアイブ、 いいシュ、レマッシュ、 な合的な練習 の練習	ヘアピン等の練習 その練習 シーブ等の練習、技能テスト		
テキスト、参考文献		評価方法 授業への取り組む姿勢、レポートの内容、技能の向上で評				
		授業への取り組 価する。	び安勢、レホ	一下の内谷、坟胚の内上で評		

(春)	スポーツ・レクリエーション(バドミントン a)		担当者	藤野 和樹	
講義目的、講義概要	授業計画				
バドミントン競技を一生涯楽しむため、専門的な技能のマスターを主の目的とし、ルールの理解、バドミントンを通じてのコミュニケーション能力を向上させていく。 「講義概要」 技術練習の際には、個人の技能獲得のみならず、技術指導のポイントも理解し、バドミントンの技術において深い知識を得てもらう。 授業では技術練習とゲーム練習を組み合わせ、ゲームの中で獲得した技術を試すとともに、審判法もあわせて理解し、自立してゲームを進めていけるようにする。		 4 バックハンドロブの基本練習 5 各種フットワークの基本練習 6 フォアハンドドライブの基本練習 7 オーバーヘッドストロークの基本練習 8 様々なサーブの基本練習 9 ダブルスのゲーム(ルールの理解) 			
テキスト、参考文献	X	評価方法			
			調性(70%)を	ールの理解、コミュニケーシ 総合的に評価するが、授業へ する。	

(秋)	スポーツ・レクリエーション(バドミントン b)		担当者	藤野 和樹	
講義目的、講義概要	ξ.	授業計画			
[講義目的] バドミントン競技を一生涯楽しむため、専門的な技能のマスターを主の目的とし、ルールの理解、バドミントンを通じてのコミュニケーション能力を向上させていく。 「講義概要] 技術練習の際には、個人の技能獲得のみならず、技術指導のポイントも理解してもらい、バドミントンの技術において深い知識を得てもらう。 授業では技術練習とゲーム練習を組み合わせ、ゲームの中で獲得した技術を試すとともに、審判法もあわせて理解し、自立してゲームを進めていけるようにする。		 オリエンテーション バドミントン競技の概要解説 試しのゲーム バックハンドドライブの基本練習 各種フットワークの基本練習 フォアハンドドライブの基本練習 オーバーヘッドストロークの基本練習 様々なサーブの基本練習 ダブルスのゲーム(ルールの理解) シングルスのゲーム(ルールの理解) ダブルスの総合練習 シングルスの総合練習 シングルスの総合練習 対世戦の実施 技能テスト(サーブとバックハンドドライブ) 授業全体のまとめ 			
テキスト、参考文献	₿ †	評価方法			
			調性(70%)を	ールの理解、コミュニケーシ 総合的に評価するが、授業へ する。	

講義目的、講義概要 授業計画 スポーツは健康や体力の維持増進にとって欠かせないものです。健康・体力の維持増進を継続するためには一生涯にわたって行うことのできるスポーツ種目を見つけることが一番です。また、スポーツを通してもっと自分のことをよく知り、周りをよく見ることもでき、さらにはさまざまな人とのコミュニケーション能力も養えるようになるでしょう。ここでは、バドミントンという種目を通して技術の習得や試合のルール、マナーを身に付けるだけでなく、上記のような目標を達成したいと思います。 1. オリエンテーション 2. バドミントン導入、ラケットとシャトルに慣れる(シャトルの打ち上げ、シャトル拾い、トスノック) 3. ストロークの基本(オーバッド、サイド、アンダーハンド) 4. クリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン 5. 各ショットの復習 6. ロング&ショートサービスとサービスリターンの練習 7. ダブルスゲーム (基本フォーメーション) 9. ダブルス・リーグ戦 11. ダブルス・リーグ戦 12. ダブルス・リーグ戦 13. チーム団体戦 14. チーム団体戦 15. チーム団体戦 15. チーム団体戦 15. チーム団体戦 16. チーム団体戦 17. グラルス・リーグ戦 18. チーム団体戦 19. チーム・ビス・レージを表して決めます。	(春)	スポーツ・レクリエーション(バドミ)	ントン a)	担当者	山口 知恵
ものです。健康・体力の維持増進を継続するためには一生 涯にわたって行うことのできるスポーツ種目を見つける ことが一番です。 また、スポーツを通してもっと自分のことをよく知り、 周りをよく見ることもでき、さらにはさまざまな人とのコミュニケーション能力も養えるようになるでしょう。 ここでは、パドミントンという種目を通して技術の習得や試合のルール、マナーを身に付けるだけでなく、上記のような目標を達成したいと思います。 一を対したいと思います。 「オーバーヘッド、サイド、アンダーハンド) 4. クリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン 5. 各ショットの復習 6. ロング&ショートサービスとサービスリターンの練習 7. ダブルスゲームのルールとマナー、審判法を覚える 8. ダブルスゲーム(基本フォーメーション) 9. ダブルス・リーグ戦 11. ダブルス・リーグ戦 12. ダブルス・リーグ戦 13. チーム団体戦 14. チーム団体戦 15. チーム団体戦 15. チーム団体戦	講義目的、講義概要	Ę.	授業計画		
授業への参加態度(遅刻、服装、自主性、協調性など)と	涯にわたって行うことのできるスポーツ種目を見つけることが一番です。また、スポーツを通してもっと自分のことをよく知り、周りをよく見ることもでき、さらにはさまざまな人とのコミュニケーション能力も養えるようになるでしょう。ここでは、バドミントンという種目を通して技術の習得や試合のルール、マナーを身に付けるだけでなく、上記のような目標を達成したいと思います。		2. バドミントン (シャトルの) 3. ストロークの (オーバーへ) 4. クリア、ドロ 5. 各ショットの 6. ロング&ショ 7. ダブルスゲー 8. ダブルスゲー 9. ダブルス・11. ダブルス・11. ダブルス・11. ダブルス・11. ダブルスは 14. チーム団体 14. チーム団体	導入、ラケックを が、ラケックを が、デストルで、 が、アストルのででです。 では、アストルのででです。 では、アイン・カーンができます。 では、アイン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	ャトル拾い、トスノック) 、アンダーハンド) イブ、スマッシュ、ヘアピン スとサービスリターンの練習 ニマナー、審判法を覚える ナーメーション)
	ナギスト、参考文献 	X	授業への参加態		Z 1

(秋)	スポーツ・レクリエーション (バドミントンb)		担当者	山口 知恵
スポーツは健康や体力の維持増進にとって欠かせないものです。健康・体力の維持増進を継続するためには一生涯にわたって行うことのできるスポーツ種目を見つけることが一番です。また、スポーツを通してもっと自分のことをよく知り、周りをよく見ることもでき、さらにはさまざまな人とのコミュニケーション能力も養えるようになるでしょう。ここでは、バドミントンという種目を通して技術の習得や試合のルール、マナーを身に付けるだけでなく、上記のような目標を達成したいと思います。		 各ショットの (クリア、ドロ 3. 各ショットの 4. ロング&ショ ダブルスゲー 	ツ練ップを ツ練ップを すっと ででである。 でである。 ででは、 ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 で	、アンダーハンド) イブ、スマッシュ、ヘアピン) ス、サービスリターンの練習 とマナー、審判法の確認 メーションの確認)
テキスト、参考文献	.	評価方法 授業への参加態 技術の向上度を編	—	装、自主性、協調性など)とます。

(春)	スポーツ・レクリエーション (バレーボール a)		担当者	太田 朝博	
講義目的、講義概要	E	授業計画			
		1. オリエンテーション 授業の登録確認と授業内容の説明、個人資料の作成。 2. 基本技と動き (アンダー、オーバー)、パスゲーム 1 3. レシーブとトス (ボールのつなぎ)、パスゲーム 2。 4. レシーブとカバーリング (守りのフォーメーション)、パスゲーム 3。 5. 基本技と動き (アンダー フローターサーブ) サーブ			
テキスト、参考文献	t l	評価方法			
				のぞむ態度、実技の達成度等 者に対しては、評価の対象と	

しない。

(秋)	スポーツ・レクリエーション (バレーボール b)		担当者	太田	朝博
講義目的、講義概要	ξ	授業計画			
を高め、戦術を考えるようにする。 「講義概要」 バレーボールの能を習得するとし、ゲームの展開 「受講者への要望」 出席を重視する	バレーボールが楽しめるように、技能 えバレーボールの特性をゲームで味わ ルールを理解し、個人的及び集団的技 さもにそれらをもとにした戦術を習得 方法を学習する。 が、履修態度や運動服装等もチェック ューズを用意すること。	攻撃スパイ 6. 上記と同じ 7. 上記と同じ 7. 上記と(リ・ ブロンク同じ 9. 上記と(リ・ 7. エ記と(リ・ 7. エ記と(リー 7. エ記と同じ 7. 本語と同じ 7. 本語と同じ 7. 本語との攻 11. 上の攻	ン)。 ・ 一ブ。 ・ 一ブが、 ・ 一ブが、 ・ 一が、 ・ でが、 ・ でが、 ・ でが、 ・ こが、 ・ 、 こが、 ・ こが、 ・ こが、 ・ こが、 ・ こが、 ・ こが、 ・ こが、 ・ こが、 ・ こが、	撃の組立、ス/ ーメーション、 ーグ戦)記録、 、チーム(特に 、攻撃の組立能	ペイクを含んだ スパイクを含 チーム (特に 守りレシーブ、 ミ力、ゲームの ペトする。ルー
テキスト、参考文献	t	評価方法			
		平常点を中心に を加味する。欠 しない。	+> ->		

(春)	スポーツ・レクリエーション(バレース	ツ・レクリエーション (バレーボール a)		横矢 勇一
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
術を習得するととも ゲームの展開方法を また、様々な学部 ることによって、第 生涯にわたってバレ	レールを理解し、個人的および集団的技 もに、それらを基にした戦術を習得し、 を学習する。 部、学年の学生がコミュニケーションす 現睦を深め、協調性を高めると同時に、 レーボールが楽しめるように、バレーボ でゲームを通して味わえるようにする。	① オリエンテ・② 基本技術(② 基本技術(④ 基本技術ので ⑤ フォーメート ⑥ フォーメート ⑥ フォーメート ⑥ リーグ戦、 ⑨ リーグ戦、 ⑩ リーグ戦、 ⑪ リーグ戦、 ⑫ リーグ戦、 ⑫ リーグ戦、 ⑫ リーグ戦、	レシーブとかっている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ロック) ーム I 、ゲーム I 、ゲーム II 、ゲーム III 況の確認、チーム編成 練習課題 I 練習課題 II 練習課題 II 練習課題 II
テキスト、参考文献 評価方法				
吉田 清司 著『基礎	巻から戦術までバレーボール』日東書院	(20%)、技術習得	への努力度(し、チームメイトとの協調性 20%)を加味します。また、遅 (10%)もチェックします。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(バレーボールb)		担当者	横矢 勇一	
講義目的、講義概要	Ę	授業計画			
バレーボールのハ	レールを理解し、個人的および集団的技	① オリエンテー	ーション		
術を習得するととも	らに、それらを基にした戦術を習得し、	② 基本技術(レシーブとト	ス、サーブ)	
ゲームの展開方法を		③ 基本技術(スパイク、ブ	ロック)	
	羽、学年の学生がコミュニケーションすり 規睦を深め、協調性を高めると同時に、	④ 基本技術の	確認、ミニゲ	I A-	
	ノーボールが楽しめるように、バレーボ	⑤ フォーメージ	ションの基本	、ゲーム I	
ールの特性について	てゲームを通して味わえるようにする。	⑥ フォーメーションの組立、ゲームⅡ			
			⑦ フォーメーションの確立、ゲームⅢ		
		⑧ 技術および戦術の習得状況の確認、チーム編成			
		⑨ リーグ戦、ゲーム評価と練習課題 I			
		⑩ リーグ戦、ゲーム評価と練習課題Ⅱ			
		⑪ リーグ戦、ゲーム評価と練習課題Ⅲ			
		② リーグ戦、ゲーム評価と練習課題IV③ リーグ戦、ゲーム評価と練習課題V			
		④ ゲームを通して技能および戦術の習得状況の評価			
		⑤ 総括			
テキスト、参考文献		評価方法			
吉田 清司 著『基礎 	巻から戦術までバレーボール』日東書院	「おまでバレーボール」日東書院 学習意欲を中心に評価(50%)し、チームメイトとの協議 (20%)、技術習得への努力度(20%)を加味します。また、刻・服装・用意など、学習態度(10%)もチェックします。			

(春)	スポーツ・レクリエーション (フットサル a)		担当者	神宮司 親治
講義目的、講義概要		授業計画		
〔講義の目標〕		1. オリエンテ	ーション	

フットサルというスポーツを楽しめるように、基本技術 を習得し、ゲームを楽しみながら、ルール、審判法、ゲー ムの進め方などを学ぶ。フットサルというチームスポーツ を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、自主性 や協調性を養う。また生涯を通してスポーツに親しむ足が かりとする。

〔講義概要〕

フットサルの基本技術を習得し、ルールを理解したうえ で、楽しくゲームができるようにする。ゲームを中心に行 っていくがプレーヤーとしてだけでなく、審判法、ゲーム 運営なども学ぶ。

〔受講者への要望〕

- フットサルにふさわしいシューズと服装を準備する。
- ・授業はグラウンド (人工芝) で行う。雨天時もグラウン ドで実施することがある。
- ・ピアス・指輪などのアクセサリーは外すこと。

- - 授業の登録確認と授業内容の説明、個人資料の作成
- 2. ボールに親しむ 簡易ゲーム
- 3. ボールコントロール ボールタッチ・ドリブル
- 4. ボールコントロール パス
- 5. 1対1の攻防
- 6. GK トレーニング
- 7. 4対2①
- 8. 4対2②
- 9. 4対2③
- 10. ルールの理解とゲームの進め方
- 11. リーグ戦
- 12. リーグ戦
- 13. リーグ戦
- 14. リーグ戦
- 15. リーグ戦

テキスト、参考文献	評価方法
	評価方法:平常点80%、授業への参加姿勢20%にて評価する。

(秋) スポーツ・レクリエーション (フットサルb) 担当者 神宮司 親治 講義目的、講義概要 授業計画 1. 復習 「講義の目標〕

フットサルというスポーツを楽しめるように、基本技術 を習得し、ゲームを楽しみながら、ルール、審判法、ゲー ムの進め方などを学ぶ。フットサルというチームスポーツ を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、自主性

や協調性を養う。また生涯を通してスポーツに親しむ足が かりとする。

[講義概要]

フットサルの基本技術を習得し、ルールを理解したうえ で、楽しくゲームができるようにする。ゲームを中心に行 っていくがプレーヤーとしてだけでなく、審判法、ゲーム 運営なども学ぶ。

〔受講者への要望〕

- ・フットサルにふさわしいシューズと服装を準備する。
- ・授業はグラウンド (人工芝) で行う。雨天時もグラウン ドで実施することがある。
- ・ピアス・指輪などのアクセサリーは外すこと。

- 基本技術の確認
- 2. 攻撃のグループ戦術
- 3. 守備のグループ戦術
- 4. 攻守の切りかえ
- 5. 審判法ならびにゲーム運営
- 6. チーム練習①
- 7. リーグ戦
- 8. リーグ戦
- 9. チーム練習②
- 10. リーグ戦
- 11. リーグ戦
- 12. チーム練習③
- 13. リーグ戦
- 14. リーグ戦
- 15. リーグ戦

テキスト、参考文献 評価方法

評価方法:平常点80%、授業への参加姿勢20%にて評価する。

	L		
(秋)	スポーツ・レクリエーション(フリスビーb)	担当者	村山 光義

講義目的、講義概要

テキスト、参考文献

必要に応じて印刷物を配布します。

[講義の目標]

- 1. フリスビー (フライングディスク) 投法技術の習得。
- 2. フリスビー (フライングディスク) 競技・文化の理解。
- 3. 授業を通じたコミュニケーション能力の向上。

[講義概要] 通称「フリスビー」と呼ばれるフライングディスクには数多くの専門種目があります。ディスクの最大の特徴は世界記録で 250m を越す飛距離と円盤特性による曲進性・滞空性です。円盤を使ったスポーツの総称で、数多くの専門競技があります。ディスクを遠くへ、思う所へ投げることはとても難しく、投げ方も一通りではありません。本授業ではこの専門競技の紹介と投法技術の練習実践を通じ、新たなスポーツ文化を理解・吸収してもらいます。雨天時には技術や競技の解説講義を行うこともあります。

[受講者への要望] 「フリスビーなんてただの遊びでしょ」と思ったら大間違い。専門競技の中では、投げ方はもちろん、風の読みやディスク自体の選択など多くの要素による変化があります。また、集団ゲームのアルティメットは非常に激しいスポーツですし、ディスクゴルフは自己との戦いです。この新しいスポーツに是非挑戦してみてください.

授業計画

評価方法

価します。

- 1. 基礎投法の確認
- 2. 技能記録会 遠投 アキュラシー (的通し競技) セルフコートフライト (滞空時間・距離計測)

技術、態度で評価します。技術は記録会の結果や向上具合 を加味します。態度は取り組みの積極性を観察によって評

- 3. 集団ゲーム アルティメット 導入
- 4. 集団ゲーム アルティメット 基礎
- 5. 集団ゲーム アルティメット 基礎
- 6. 集団ゲーム ガッツ・ドッジビー
- 7. 個人種目 ディスクゴルフ 導入
- 8. 個人種目 ディスクゴルフ 展開 1
- 9. 個人種目 ディスクゴルフ 展開 2
- 10. アルティメット 発展 リーグ戦
- 11. アルティメット 発展 リーグ戦
- 12. アルティメット 発展 リーグ戦
- 13. アルティメット 発展 リーグ戦
- 14. 個人総合練習
- 15. 技能記録会 まとめ

テキスト、参考文献

必要に応じて印刷物を配布します。

評価方法

技術、態度で評価します。技術は記録会の結果や向上具合 を加味します。態度は取り組みの積極性を観察によって評 価します。

			担当者	
講義目的、講義概要	5	授業計画		
テキスト、参考文献	₿ †	評価方法		

(秋)	スポーツ・レクリエーション(フリスビ	担当者	和田	智	
す。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	を使用したスポーツの技術を習得し、アルグディスクでと使用したスポーツの技術を習得し、アルツ、ディスクゴルフなど特徴的な種園人が日常で友人や恋人に教えたり、の実力をつけることを目標とします。 アスローイングの基本テクニックから、でを習得します。またそれを利用したいと経験します。種目の中心は、アルティリカンフットボールのようなルールでです。身体接触はありませんから、安全ことがないでしょうが世界選手権大会トでは普及しているスポーツです。天候によって授業計画は変えていきまりの種目を行います。	2 バックハンドン 3 バックハンドン 4 バックハンドン 5 サイドアームン 6 サイドアームン 7 トリックショッ 8 他の競技種目の 9 他の競技種目の 10 アルティメッ 11 アルティメッ	スロウウのをなるスロウー かった まれて ロウー かった お紹ののの まった として はい かい はい かい	に投げよう へ投げよう 方 に遠くへ投げよう (ガッツ) (ディスクゴルフ :楽しみ方 チーム戦略を練る) ・戦	7) {Z)
テキスト、参考文献 必要に応じて印刷物	評価方法 授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度 (20%) で評価します。				

(春)	スポーツ・レクリエーション(ボールルームダンス a)			担当者	内堀 祐子
(-1-7)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		, , , , u ,	111111111111111111111111111111111111111	1 1.5m kt 1
講義目的、講義概要	安	授業	計画		
ンス)。日本でも、 齢者までものには、 目ので体を動いている。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	のコミュニケーションの取り方、音楽に 楽しさを学びながら、踊れるようになる います。 スを通じて、正しい姿勢及び、柔軟な体 音楽にのって楽しく踊るための、正しい	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11 12 13. 14.	正しいがのかける はいか はいか はいか はいか はいか はい はい かっこう ラテンン という ラテン ショラテン ショラテン ジャン ジャイブ はい	方使の学編編編編、、、①②、歩方いで習の、、、、、、、、、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基礎編② 基礎編③ 基礎編④ 基礎編⑤ ワルツ編① フルツ編②
テキスト、参考文献					
プリント配布			ス技術習得	要と、受講態 たででは、、	度によって評価します。

特に、受講態度を重要視します。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(ボールルームダンス b)			担当者	内堀 祐子
前学期より自然に らに高度なステップ [講義概要] ボールルームダンプ ていきます。10種 す。 [受講生への要望] 社交ダンスシュース	ームダンスの受講の続きになります。 通れることを目標とし、基本の復習、さ プを学んでいきます。 へを通じて、バランスのよい筋肉をつけ 重目のうち、6種目を踊れるようにしま	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	ジャイブ編パソドブレイパソドブレイパソドブレイパソドブレイパンドでをからからないが、サンバイブをからないがには、カーロー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	が、 (4) 編編 (5) (4) 編編 (7) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	③ フォックストロット編① フォックストロット編② フォックストロット編③ フォックストロット編③ て 表現方法について い方 アルツ編④
テキスト、参考文献 プリント配布	†	ダン		度と、受講態 を重要視しま	度によって評価します。 す。

担当者

和田 智

講義目的、講義概要

レクリエーション活動のうち、レクリエーショナルスポーツとして普及している種目を体験します。実施予定の種目はイニシアティブゲーム、アウトドアクッキングの計画と実践、ペタンク、フリスビー、ウォークラリーの計画と実践、ターゲットバードゴルフです。天候等の条件によって種目を変更する場合があります。また、グループワーク活動を重視し、クラスの中での良好な人間関係育成を図りたいと思います。ここで形成した人間関係を夏季合宿に生かしていきます。

この授業で紹介できる活動種目はほんのわずかですが、自分に与えられた能力と環境があなたの自由時間を充実させる活動へと導いてくれるはずです。この授業はそのきっかけをつくる授業です。この授業は就職のためには何も役立つことはないでしょうが、人生を充実させるためには役立つはずです。この点を重要だと思う学生に受講してほしいと思います。

授業計画

1.授業の内容と計画についての説明

2.アイスブレーキングゲーム

3.イニシアチブゲーム1

4.イニシアチブゲーム2

5.アウトドアクッキングの計画

6.アウトドアクッキングの実践

7.ペタンクの紹介と練習

8.ペタンクの試合

9.フリスビーの練習

10. アルティメット (フリスビーを使ったチームゲーム)

11. 地域資源を利用したウォークラリーの紹介と計画

12. ウォークラリーの実践

13. ターゲットバードゴルフの練習

14. ターゲットバードゴルフコンペ

15. まとめと夏季合宿についてのオリエンテーション

テキスト、参考文献

必要に応じ、プリントを配布します。

評価方法

授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度 (20%) で評価します。

(夏季集中)

スポーツ・レクリエーション (アウトドア海浜)

担当者

和田 智

講義目的、講義概要

海浜型アウトドアレクリエーションでは、新潟県佐渡島を舞台にスキンダイビング(ナイトダイビングも行います)、シーカヤック、星座観察、釣り、サバイバルクッキング、地域研究等、良好な自然環境と地域の環境を活かすプログラムを4泊5日の合宿生活の中で体験してもらいます。この授業の特徴はそのプログラムと実施場所にあります。わざわざ新潟県佐渡市という離島で合宿を行う理由は、その美しい自然環境とその中に住む人々がつくる地域社会を知って欲しいからです。また、この授業では特徴的なプログラムとして状況適応能力や判断力を養うためのサバイバルプログラムを取り入れています。

この合宿において、主に海浜で行う自然活動を体験し、活動を安全に楽しむことのできる知識技術を習得すること、及び合宿生活を送る上で必要な良好な人間関係を育成することがこの授業の目標となります。

[受講者への要望]

海での活動が中心になりますので、受講は心疾患、耳鼻 科系疾患、皮膚科系疾患のないことを条件とします。心配 な方は担当教員に活動内容を聞きに来た上で、医師に参加 可能かどうかご相談ください。

授業計画

[集中授業] 「海浜型アウトドアレクリエーション」 場所:新潟県佐渡市

期日 (予定): 2014年8月18日 (月) ~22日 (金)

4 泊 5 日

費用:32000 円(宿泊費、傷害保険料、プログラム費) (内30400 円を大学自動発行機で振込、1600円を現地徴収)

この他に現地までの交通費が別途かかります。

(青春18切符が利用できるスケジュールにしてあります。)

合宿日程

第1日目 現地集合・開講式

第2日目 スキンダイビング、シーカヤック

第3日目 スキンダイビング、地域研究

第4日目 サバイバルクッキング、海中清掃

第5日目 午前中解散

テキスト、参考文献

必要に応じ、プリントを配布します。

評価方法

授業への取り組み姿勢 (60%)、態度 (10%)、目標達成度 (20%) で評価します。

(春)	スポーツ・レクリエーション(アウトドアレクリエーション)

担当者

和田 智

講義目的、講義概要

レクリエーション活動のうち、レクリエーショナルスポーツとして普及している種目を体験します。実施予定の種目はイニシアティブゲーム、アウトドアクッキングの計画と実践、ペタンク、フリスビー、ウォークラリーの計画と実践、ターゲットバードゴルフです。天候等の条件によって種目を変更する場合があります。また、グループワーク活動を重視し、クラスの中での良好な人間関係育成を図りたいと思います。ここで形成した人間関係を夏季合宿に生かしていきます。

この授業で紹介できる活動種目はほんのわずかですが、自分に与えられた能力と環境があなたの自由時間を充実させる活動へと導いてくれるはずです。この授業はそのきっかけをつくる授業です。この授業は就職のためには何も役立つことはないでしょうが、人生を充実させるためには役立つはずです。この点を重要だと思う学生に受講してほしいと思います。

授業計画

1.授業の内容と計画についての説明

2.アイスブレーキングゲーム

3.イニシアチブゲーム1

4.イニシアチブゲーム2

5.アウトドアクッキングの計画

6.アウトドアクッキングの実践

7.ペタンクの紹介と練習

8.ペタンクの試合

9.フリスビーの練習

10. アルティメット (フリスビーを使ったチームゲーム)

11. 地域資源を利用したウォークラリーの紹介と計画

12. ウォークラリーの実践

13. ターゲットバードゴルフの練習

14. ターゲットバードゴルフコンペ

15. まとめと夏季合宿についてのオリエンテーション

テキスト、参考文献

必要に応じ、プリントを配布します。

評価方法

授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度 (20%) で評価します。

(夏季集中)

スポーツ・レクリエーション (ウィンドサーフィン)

担当者

和田 智

講義目的、講義概要

ウィンドサーフィンとは、ボードの上に立ちボードにつながれた帆を操作し、風の力を進行方向への力に変えて進む滑走艇のことで、波を使うサーフィンやヨットとは違うものです。オリンピック種目にもなっているスポーツです。

千葉県館山市の獨協学園海の家において、ウィンドサーフィン技術の習得を通して海浜環境で安全に楽しく過ごすための知識技術を習得することを目標とします。また、炊事や清掃など共同生活を円滑に進めていくための人間関係の育成も目標としています。

この合宿生活で培った人間関係を秋学期の授業を通してさらに深めていくこともこの授業のもう一つの大きな目標としていますので、合宿と春学期のアウトドアレクリエーションを合わせて受講して欲しいと思います。

[受講者への要望]

海での活動が中心になりますので、受講は心疾患、耳鼻 科系疾患、皮膚科系疾患のないことを条件とします。心配 な方は担当教員に活動内容を聞きに来た上で、医師に参加 可能かどうかご相談ください。

授業計画

[集中授業] 「ウインドサーフィン」

場所:千葉県館山市(現地集合現地解散)

期日 (予定): 2014年9月8日 (月)~12日 (金)

4 泊5 日

費用:16000 円(宿泊費、傷害保険料、食費、プログラム費)

(内 11000 円を大学自動発行機で振込、5000 円を現地で 徴収)

この他に現地までの交通費が別途かかります。

合宿日程

1日目 現地集合・開講式・組み立て・セイルトリム

2日目 セイルアップからセイリングポジション

3日目 方向転換

4日目 いろいろな方向へのセイリング

5日目 レース・午後解散

テキスト、参考文献

必要に応じプリントを配布します。

評価方法

授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度 (20%) で評価します。

(秋)	スポーツ・レクリエーション(バランストレーニング)		担当者	松原裕
講義目的、講義概要	要	授業計画		
	 	1. ガイダン		
運動能力と、スポー	-ツを楽しむ能力とを向上させることを	2. 写真付登録票の作成とスキー・スノボー経験調査		
目的とする。	目的とする。 3. インラインスケート(基本滑走)			基本滑走)
授業はグラウン	ドとアリーナで行う。トランポリン、イ	4. インライ	ンスケート(長距離滑走)
ンラインスケート、	インラインホッケー、バランスボール、	5. インライ	ンスケート(ストックワーク)
バランスボード、ス	ストックワーク、ボールゲームなど色々	6. トランポ	リン・バラン	スボール・バランスボード
な運動を行う予定で	7. フットサ	ル		
顔写真1枚を貼っ	った受講票を作成する。	8. ショート	テニス	

スキー&スノーボード合宿とのセット履修となっている。履修登録と同時に宿泊費予約分 18000 円を大学に納入すること。

9. バレーボール

10. バスケットボール

11. 卓球

12. フリスビー (アルティメット)

13. トランポリン・バランスボール・バランスボード

14.15.合宿ガイダンス

テキスト、参考文献	評価方法
必要に応じて紹介する。	受講態度、技術などを総合して評価する。

(冬季集中) スポーツ・レクリエーション(スキー&スノーボード) 担当者 松原 裕

講義目的、講義概要

スキーとスノーボードの基本から応用までを合宿を通じて指導し、ひとりひとりの能力の向上を図る。また、合宿を通じてコミュニケーション能力を高める。

アルペンスキーとスノーボードの班を編成し、各班に指導教員がつき実習を行う。

宿泊費予約分として18000円を履修登録と同時に大学に 納める。宿泊費以外の必要経費は現地で精算する。

学内のバランストレーニング授業とのセット履修が原 則となっている。合宿のみ履修登録する場合には担当教員 の許可が必要になる。

(注意) この授業のみを履修したい場合には、スポーツ・レクリエーション準備室にて担当者の許可を得てから履修登録と宿泊費予約分18000円を大学に納入すること。顔写真1枚を貼った受講票を作成する。この場合の合宿ガイダンスは、別途に行う。

授業計画

合宿期間:2015年2月4-7日を予定している。

合宿場所:秋田県田沢湖スキー場

宿泊場所:秋田県立田沢湖スポーツセンター

合宿費用:宿泊費18000円(3泊6食)予定

(大学に履修登録決定次第納入すること)

以下は現地精算 保険・雑費1000円

(注意) リフト代(約10000円)・昼食代・交通費・レンタル代は各自別途負担となる。また、秋学期履修登録時に、期間・場所・宿泊・費用について変更になる可能性もある。 秋学期履修登録期間の掲示等に十分注意し確認すること。

*リフト代については雪マジ 19 などが利用できる場合がある。

テキスト、参考文献

必要に応じて紹介する。

評価方法

受講熊度、技術の進歩などを総合して評価する。

(秋) スポーツ・レクリエーション(スケート	トレーニング)	担当者	和田智
講義目的、講義概要	授業計画		
アウトドアレクリエーション活動のうち、日常では体験できないアイススケート、カーリングについての知識、技術を学びます。秋学期の毎週の授業ではアイススケートを目的としたインラインスケートでの練習を行います。アイススケートはメディアにはたびたび登場する種目ですが、体験することは難しい種目となっています。カーリングは、長野オリンピックから正式種目となり、カーリングを題材とする映画もつくられましたが、まだまだマイナーなスポーツです。どちらのスポーツも、氷の上で行いますが、近年アイススケート場が次々と閉鎖され、体験のチャンスが少なくなっています。見るだけではなく体験すると、そのスポーツに対する見方が大きく変わります。これを機会に、新しいスポーツ種目にチャレンジしてあなたの可能性を広げてみませんか。アイススケート、カーリング初心者の方から受講できます。	5 フォアストロ 6 パイロクストロ 7 バックストロ 9 ボッケークロークロロック 10 フォアククロロロック 11 ブォッククーにコング 13 バックケーン 15 集中授業にストップ、ステ	基本動作 !一クしたという アンドー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	エーション その1 エーション その2 エーション その1 エーション その2 の1 1 2

評価方法

(20%) で評価します。

授業への取り組み姿勢 (70%)、態度 (10%) 目標達成度

テキスト、参考文献

必要に応じプリントを配布します。

(冬季集中)	スポーツ・レクリエーション(アイススポーツ)		担当者	和田 智
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
できないアは とかい アま 軽	カーリング は、アイススケートの基本的な滑走技術 け。技術の進歩度や天候によって内容を 式合を楽しめるまでの基本的な知識、技	プログラ1500 円 を	共い	集合解散 用 傷害保険料、入場料、貸靴代、 で振込、4500円を現地徴収) ト しみ方」 の基本」 ト
テキスト、参考文献	t	評価方法		
		授業への取り組。 (20%)で評価	, _ , , , , , , , , , , , , , , , , , ,)、態度(10%)目標達成度

08 年度以降(春) English(リーディング I a) / (Academic Reading Strategies I a) 担当者 各担当教員 07 年度以前(春) English 111-a Basic Reading Strategies 講義目的、講義概要 授業計画 ○ Academic Listening Strategies I とともに、全学共通カリキュラム英語 Lesson 1 科目の中核となる重要な科目です。原則として通年で履修すること。 コース紹介。 ○様々なリーディングストラテジーを訓練し、専攻分野の学びや社会人 各担当者から個別のシラバスが配布されるので、それを保管し、必要 に応じて参照すること。 としての知的活動に不可欠な、アカデミックな文章を効果的かつ批判 的に読む力をつけることを目的とします。この科目では大きく3つの活 Lesson 2-15 動を行います。 ・各担当者が指定した教科書による授業 ・毎回 Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List を範囲とした語彙小 1. 担当者が指示したリーディング教科書で積極的に学習。 テストを実施 2. 大学生にふさわしい語彙力を身につけるための統一語彙教材 Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List (大学HPのMyDOCから各自 ○教科書に関する授業計画については、各担当者から個別のシラバ ダウンロード)を学習。毎時間語彙テストがある。 スが配布されるので、それを参照すること。 3. 教室外で、コンピューターによる英語学習 (ALC Net Academy) を ○年度末(1月)に全員TOEIC を受験するので、計画的に学習するこ 行うことが義務づけられており、期末試験にも出題される。 ○オリエンテーションや授業で配布される資料に目を通し、連絡事項を 聞き漏らさないようにすること。 【重要】リーディング活動とは英文和訳のことではありません。 大学生らしい英語の読み方を学び、英語でのグループワークやデ ィスカッションにも積極的に参加してください。 テキスト、参考文献 評価方法 ○教科書は第1回目の授業の指示に従うこと。 ○各担当教員のシラバスに記載。 ○"Dokkyo 1964" (獨協大学全カリ英語語彙リスト):HPの MyDOC ペ ○原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注 ージから各自ダウンロード 意すること。 OALC NetAcademy Standard Reading Course (Units 1-25)

08 年度以降 (秋) English(リーディング I b) / (Academic Reading Strategies I b) 07 年度以前 (秋) English 111-b Basic Reading Strategies	担当者	各担当教員
--	-----	-------

講義目的、講義概要

- Academic Listening Strategies I とともに、全学共通カリキュラム英語 科目の中核となる重要な科目です。原則として通年で履修すること。
- ○春学期に引き続き、様々なリーディングストラテジーを訓練し、専攻 分野の学びや社会人としての知的活動に不可欠な、アカデミックな文 章を効果的かつ批判的に読む力をつけることを目的とします。この科 目では大きく3つの活動を行います。
- 1. 担当者が指示したリーディング教科書で積極的に学習。
- 2. 大学生にふさわしい語彙力を身につけるための統一語彙教材 Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List (大学HPのMyDOCから各自 ダウンロード)を学習。毎時間語彙テストがある。
- 3. 教室外で、コンピューターによる英語学習 (ALC Net Academy) を行うことが義務づけられており、期末試験にも出題される。
- ○オリエンテーションや授業で配布される資料に目を通し、連絡事項を 聞き漏らさないようにすること。

【重要】リーディング活動とは英文和訳のことではありません。 大学生らしい英語の読み方を学び、英語でのグループワークやディスカッションにも積極的に参加してください。

授業計画

Lesson 1

コース紹介。各担当者から個別のシラバスが配布されるので、それを 保管し、必要に応じて参照すること。

Lesson 2-15

- ・各担当者が指定した教科書による授業
- ・毎回 Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List を範囲とした語彙小 テストを実施
- ○教科書に関する授業計画については、各担当者から個別のシラバスが配布されるので、それを参照すること。

○年度末(1月)に全員 TOEIC を受験するので、計画的に学習すること。

テキスト、参考文献

- ○教科書は第1回目の授業の指示に従うこと。
- ○"Dokkyo 1964" (獨協大学全カリ英語語彙リスト):HP の MyDOC ページから各自ダウンロード
- OALC NetAcademy Standard Reading Course (Units 26-50)

評価方法

- ○各担当教員のシラバスに記載。
- ○原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注 章すること。

English(リーディング I a) 08 年度以降(春) 担当者 岡田 圭子 / (Academic Reading Strategies I a) 授業計画 講義目的、講義概要 ○ Academic Listening Strategies I とともに、1年生の英語科目の中 Class 1: オリエンテーション 核となる重要な科目である。原則として通年で履修すること。 ○ドイツ語、フランス語、経済、経営、国際環境経済、法律、国際 Classes 2-15 教科書を用いた授業活動。毎回、語彙小テス 関係法、総合政策の各学科1年生のうち、入学時に TOEIC で高得 トを行う。詳細は、クラス別シラバス、および教員の指示 点だった学生が受講する科目である。 に従って下さい。 ○様々なリーディングストラテジーを訓練し、専攻分野の学びや社 トピックの一部を紹介すると 会人としての知的活動に不可欠な、アカデミックな文章を効果的 What makes you want to buy something? かつ批判的に読む力をつけることを目的とする。 What important lessons do we learn as children? 大きく以下の3つの活動を行う。 How does the environment affect our health? 1. 担当者が指示したリーディング教科書。 2. 大学生にふさわしい語彙力を身につけるための統一語彙教材 【重要】第1回目の授業で、より詳しいシラバスを配布し、 (大学 HPの MyDOC から各自ダウンロード)を学習。毎時間語 春学期の授業の進め方などについて詳細に説明します。積 彙テストがある。 3. コンピューターによる英語学習。期末試験にも出題される。 極的な参加を期待しています。 【重要】リーディングは英文和訳ではありません。大学生らしい 英語の読み方を学び、グループワークやディスカッションを織り 1月末に TOEIC®を全員受験します。各自計画的に学習し 交ぜた活動を、英語で行います。 て下さい。 テキスト、参考文献 評価方法 · Q: Skills for Success (Oxford University Press) 4 積極的な授業参加 20% 語彙小テスト 15%

・英英辞書(電子辞書又は紙の辞書)を用意すること

08 年度以降(秋)	English(リーディング I b) / (Academic Reading Strategies I b)	担当者	岡田 圭子
------------	---	-----	-------

講義目的、講義概要 授業計画

 \circ Academic Listening Strategies I とともに、1 年生の英語科目の中核となる重要な科目である。春学期に引き続き、原則として通年で履修すること。

○ドイツ語、フランス語、経済、経営、国際環境経済、法律、国際 関係法、総合政策の各学科1年生のうち、入学時に TOEIC で高得 点だった学生が受講する科目である。

○春学期に引き続き、様々なリーディングストラテジーを訓練し、 専攻分野の学びや社会人としての知的活動に不可欠な、アカデミ ックな文章を効果的かつ批判的に読む力をつけることを目的とす る。

大きく以下の3つの活動を行う。

- 1. 担当者が指示したリーディング教科書。
- 2. 大学生にふさわしい語彙力を身につけるための統一語彙教材 (大学 HP の MyDOC から各自ダウンロード)を学習。毎時間語 彙テストがある。
- 3. コンピューターによる英語学習。期末試験にも出題される。

【重要】リーディングは英文和訳ではありません。大学生らしい 英語の読み方を学び、ディスカッションや、プレゼンテーション、 ライティングなども織り交ぜた活動を、英語で行います。

Class 1: オリエンテーション

Classes 2 - 15 教科書を用いた授業活動。毎回、語彙小テストを行う。詳細は、クラス別シラバス、および教員の指示に従って下さい。

トピックの一部を紹介すると

How important is art?

Should science influence what we eat?

Does school prepare you for work?

【重要】第1回目の授業で、より詳しいシラバスを配布し、 秋学期の授業の進め方などについて詳細に説明します。積 極的な参加を期待しています。

1 月末に TOEIC®を全員受験します。各自計画的に学習して下さい。

テキスト、参考文献

- ・Q: Skills for Success (Oxford University Press) 4 副教材として以下がある。
- ・"Dokkyo 1964" (獨協アカデミック語彙リスト): MyDOC から各自ダウンロード
- ALC NetAcademy Standard Reading Course (Units 26-50)
- ・英英辞書 (電子辞書又は紙の辞書) を用意すること

評価方法

積極的な授業参加 20% 語彙小テスト 15% 課題 15%

中間試験 20%

期末試験(ALC Reading 課題を含む)30%

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

225

English (ライティング Ia) 08 年度以降(春) / (Academic Writing Ia: Paragraph) 担当者 各担当教員 07 年度以前(春) English 121-a Basic Composition 講義目的、講義概要 授業計画 国際関係法学科、総合政策学科、国際環境経済学科のクラ 各担当者により具体的な授業計画が異なるため、第1回目 ス指定科目です。原則として春・秋学期通年で履修するこ の授業に出席しクラスシラバスを受け取ること。以下は授 業計画の一例です。 本科目の目的は、英語のアカデミック・ライティングの基 第1回 ガイダンス 礎であるパラグラフライティングのルールを学び、論理的 第2回 英文メールの書き方 でまとまりのある文章を書く力を伸ばすことです。パラグ 第3回 英文メールの書き方・タイピング練習 ラフ (段落) の基本構造を学び、トピック・センテンスや 第 4 回 Punctuation and Capitalization サポーティング・センテンス、効果的な接続語などを用い 第5回 Paragraph Organization て、情報や出来事の説明、自分の考えなどについて読みや 第6回 Unity and Coherence すい文章を書く練習をします。書く前の計画からアウトラ 第7回 Brainstorming & Outlining イン作成、文章作成、書き直し、校正までの「プロセス」 第8回 Descriptive Paragraphs を重視します。これまでに学んだ語彙や文法を基に、「和 第9回 Descriptive Paragraphs 文英訳」ではないライティング力を身につけてください。 第 10 回 Narrative Paragraphs 課題にはきちんと取り組み、クラスメートとの活発なフィ 第 11 回 Narrative Paragraphs - ドバックや意見交換が求められます。 第 12 回 Process Paragraphs 第 13 回 Process Paragraphs 第 14 回 Process Paragraphs 第 15 回 Wrap-up

テキスト、参考文献

担当教員の指示に従うこと

英文メールの書き方の教材は各自 My DOC よりダウンロードすること。

My DOC 上で、授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料配布、グループワークを行う場合もある。

評価方法

積極的な授業活動への参加、課題、期末テストなどによる 総合評価。

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注意すること。

08 年度以降 (秋)
07 年度以前 (秋)English (ライティング Ib)
/ (Academic Writing Ib: Paragraph)
English 121-b Basic Composition担当者各担当教員

講義目的、講義概要

国際関係法学科、総合政策学科、国際環境経済学科のクラス指定科目です。原則として春・秋学期通年で履修すること。

春学期同様、アカデミック・ライティングの基礎となるパラグラフの構造を学び、情報や出来事、自分の考えなどに関して論理的でまとまりのある文章を書く力を伸ばします。秋学期には、書き始める前の情報整理と計画、効果的な論展開の方法についてさらに理解を深め、より短い時間でパラグラフを完成させることを目指します。他の履修中の英語科目(リーディング、リスニングなど)で学ぶ語彙や表現も意識的に使ってみましょう。「和文英訳」ではないライティング力を習得する重要な科目です。計画から校正まで文章を完成させるプロセスを大切にしてください。課題にはきちんと取り組み、クラスメートとの活発なフィードバックや意見交換が求められます。

授業計画

第1回目の授業に出席し、担当者からクラスシラバスを受け取ること。以下は授業計画の一例です。

第1回 ガイダンス

第 2 回 Review of Paragraph Organization

第 3 回 Classification Paragraphs

第 4 回 Classification Paragraphs

第5回 Classification Paragraphs

第6回 Cause and Effect Paragraphs

第7回 Cause and Effect Paragraphs

第8回 Cause and Effect Paragraphs

第9回 Comparison / Contrast Paragraphs

第 10 回 Comparison / Contrast Paragraphs

第 11 回 Comparison / Contrast Paragraphs

第 12 回 Opinion Paragraphs

第 13 回 Opinion Paragraphs

第 14 回 Opinion Paragraphs

第 15 回 Wrap-up

テキスト、参考文献

担当教員の指示に従うこと。

My DOC 上で、授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料配布、グループワークを行う場合もある。

評価方法

積極的な授業活動への参加、課題、期末テストなどによる 総合評価。

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注意すること。

08 年度以降(春)	English (スピーキング Ia) / (Speaking in Academic Contexts Ia)		担当者	各担当教員	
講義目的、講義概要	P	授業計画			
	ll try to develop one of your most munication skills: speaking.				
you need to speak in	cus on the strategies and key expressions English in academic settings. University	Tentative schedu	ıle:		
	nclude speaking with your classmates and ol life, club activities, and study strategies.	Class 1 - Course	introduction	, etc.	
Class time will be spent on a variety of speaking activities to help you practice speaking so that you can build confidence as a speaker of English. The more you practice, the more you will be able to speak clearly and naturally. Your listening skills will		Classes 2, 3 - Meeting your classmates Classes 4, 5 - Talking to your teachers Classes 6, 7 - Personality: knowing yourself			
also improve.		Class 8 – Mid-term exam; Talking about school			
examination, and an grade will also be bas	Evaluation will be based on a mid-term test, a final examination, and an in-class speaking evaluation. Part of your grade will also be based on your participation in class, as well as homework assignments.		Class 9 - Talking about school Classes 10, 11 - Study strategies and learning goals Class 12, 13 - Club activities		
経済学部クラス指定科目です。この科目では、英語コミュニケーションの基本となるスピーキングを学びます。大学生として必要なコミュニケーションの方略(ス		Class 14 - Speaking practice; final exam review			
語彙も学びます。 練習を なります。また、リスニング	末テスト、スピーキングテスト、授業への積極的な参加	Class 15 In-class speaking evaluation			
テキスト、参考文献	ーキスト、参考文献 評価方法				
, ,	c Contexts I (A publication of the ntal English Program, Dokkyo University)		aluation 20% 欠席した学生は	30% 或績評価対象とならない。In principle, result in a grade of F or X.	

08年度以降(秋)	English (スピーキング Ib) /(Speaking in Acader	rlish (スピーキング Ib) / (Speaking in Academic Contexts Ib)		各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画		
important English course will for you need to speak in semester's themes w for job interviews in I Class time will be shelp you practice speaker of English. be able to speak clea also improve. Evaluation will be and a final examinati your participation in 経済学部クラス指定科目 ミュニケーションの基本 フミュニケーション 記話ができるように学び、ねることで、自信もつきスニングの力もつきます	Il try to develop one of your most mmunication skills: speaking. Sus on the strategies and key expressions English in academic settings. This ill include choosing your career, preparing English, and studying abroad. Spent on a variety of speaking activities to aking so that you can build confidence as a The more you practice, the more you will rly and naturally. Your listening skills will speaked on two in-class speaking evaluations on. Part of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments. **Cooker of your grade will also be based on class, as well as homework assignments.	Tentative schedule: Class 1 - Course introduction, etc. Classes 2, 3 - Travel Classes 4, 5 - Entertainment Classes 6, 7 - Part-time jobs Class 8 – Mid-term speaking evaluation Class 9, 10 - Choosing your career Classes 11, 12 - Job interviews Classes 13, 14 - Studying abroad Class 15 – Final in-class speaking evaluation		evaluation areer rs oad
テキスト、参考文献	*	評価方法		
	Contexts I (A publication of the nation of t		aluation 30% (2: 文席した学生は成	

08年度以降(春)	English (リスニング I a)			
07 年度以前(春)	/ (Academic Listening	a) 担当者	各担当教員	
07 平反以前(春)	English 141-a Basic Listening Compr	ehension		
講義目的、講義概要	2	授業計画		
関係法・総合政策学科 高校までに、状況や場 えるように、状況や場 なデーマに使力を を意きとるとの に聴きとるとの にでいる様を利用している様を利用している様を ストをなえて はなっている はなっている様を ストをなるとの になるとの はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている はなっている なっている はなっている とっている なっている とっている とっている なっとっている なっている なっている とっている なっている とっている とっとっている とっとっている なっとっている とっている とっている とっている とっている とっている とっている とっとっとっ とっている とっている とっている とっている とっとっ とっ とっ とっ とっ とっ とっ とっ とっ とっ とっ とっ と	語・経済・経営・国際環境経済・法律・国際の1年生を対象とする、クラス指定科目です。 基礎英語の知識を、大学での学びや仕事で使なリスニング能力に発展させることを目的と面にふさわしい英語表現を習得し、(2) 身近な会話を聴き、(3) リスニングストラテジー表的に聴き、(4) 話の主旨や大切な情報を正確けけます。また、英語は世界の共通語となっティブの英語だけでなく、(5) 世界中で話さきます。また、インターネットやポッドキャニングやTOEICの聴解問題練習を取り入れ、語を理解する訓練も行います。さらに、リス・シャドーイング練習やスピーキング練習もUSBメモリースティックを持参すること。rategies I とともに、原則として通年で履修す	Class 2 UClass 3 UClass 4 UClass 5 UClass 6 UClass 7 UClass 8 UClass 9 UClass 11 UClass 11 UClass 12 UClass 13 UClass 14 R	Init 1: Pleased to 1 Init 1 Test /Unit 2: Init 2: What's new Init 2 Test/Unit 3: Init 3: Where can Init 3 Test/Unit 4: Init 4: I need to re Init 4 Test/Unit 5: Init 5: Do you hav	What's new? Where can I catch a taxi? I catch a taxi? I need to reschedule schedule Do you have a hobby? You need a passport passport Unit 1-6 ercises
テキスト、参考文献		評価方法		
Student Book 2. Pe ※教科書購入時には、	, P. (2008). <i>Sounds Good,</i> arson Longman. 自分が使用する教科書を間違えないよう、 員名を必ず確認してください。	課題 10	% ユニットテ % 統一期末試 4回以上欠席した	

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English(リスニング I b) / (Academic Listening English 141-b Basic Listening Compr		I b)	担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画			
関係法・総合政策学科 春学期に引き続き、あたります。(1) 状況や様々 します。(1) 関東のにの場合では、状況の場合では、状況の場合では、 を意識さとるとなり、 に聴きとことなが、 にでいる様々を利用している。 はなっている様々を利用している。 はなっている様々を利用している。 はなるないでは、 はないでは、 とないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とない。 とないでは、 とない。 とないでは、 とないとない。 とないとな。 とないと、 とないと、 とないとない。 となとない。 となとなとな。 となとな。 となとなと、 となとなと、 となとなと、 となとなと、 となと、	語・経済・経営・国際環境経済・法律・国際の1年生を対象とする、クラス指定科目です。 基礎英語の知識を、大学での学びや仕事で使なリスニング能力に発展させることを目的と面にふさわしい英語表現を習得し、(2) 身近・な会話を聴き、(3) リスニングストラテジーと的に聴き、(4) 話の主旨や大切な情報を正確けけます。また、英語は世界の共通語となっティブの英語だけでなく、(5) 世界中で話さまます。さらに、インターネットやポッドキスニングやTOEICの聴解問題練習を取り入り英語を理解する訓練も行います。リスニン・ドーイング練習やスピーキング練習も行い USBメモリースティックを持参すること。 Tategies I とともに、原則として通年で履修す	Class 1 Class 2 Class 3 Class 4 Class 5 Class 6 Class 7 Class 8 Class 9 Class 10 Class 11 Class 12 Class 13 Class 14 Class 15	Unit Unit Unit Unit Unit Unit Unit Unit	7: May I see that Test /Unit 8: 8: Does it hurt 8: 8 Test/Unit 9: 9: How much 9 Test/Unit 10: What does 10 Test/Unit 11: Who won	Does it hurt? ?? How much is this watch? is this watch? : What does it do? It do? 1: Who won the match? the match? 2: You're very energetic y energetic w Unit 7-12 ercises
・1 月に全員 TOEIC II ること。	? を受験します。計画的に授業外でも学習す				
テキスト、参考文献	*	評価方法			
Student Book 2. Pe ※教科書購入時には、	P. (2008). <i>Sounds Good,</i> arson Longman. 自分が使用する教科書を間違えないよう、 人名を必ず確認してください。	課題	20% 10% て4回	統一期末試	スト 30% (5% x 6 回) 験 40% 学生は成績評価対象とならない。

08年度以降(春)	English(リスニングIa) / (Academic Listening	; Strategies I a) 担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画		
講義目的、講義概要 ドイツ語・フランス語・経済・経営・国際環境経済・法律・国際関係法・総合政策学科の1年生を対象とする、クラス指定科目です。 高校までに習得した日常会話を理解する能力を、大学での研究や仕事で使えるように、より高度なリスニング能力に発展させることを目的とします。リスニングストラテジーを意識的に使い、口頭発表の構成や頻出表現をヒントにしてより効果的に理解したり、講義を聴いてノートを取ったり、放送英語(インタビューなど)を聞いて要点を聴き取るなどの訓練をします。また、TOEICの聴解問題練習を取り入れ、自然なスピードの英語を理解する訓練も行います。さらに、聴解を支える発音・シャドーイング練習やスピーキング練習も行います。授業中はできるだけ英語を使い、実際に英語をコミュニケーションの道具として使うことで、リスニングの実践力を身に付けます。 ・毎授業、教科書と USB メモリースティックを持参すること。 ・Academic Reading Strategies I とともに、原則として通年で履修すること。		Week 1 Course Introduction Week 2 Chapter 1: Part 2 Social Language Week 3 Chapter 1: Part 3 & Part 4 Broadcast English Week 4 Chapter 1: Part 5 Academic English Week 5 Review/Chapter 1 Test Week 6 Chapter 2: Part 2 Social Language Week 7 Chapter 2: Part 3 Mechanics of Listening & Speaking Week 8 Chapter 2: Part 5 Academic English Week 9 Review/Chapter 2 Test Week 10 Chapter 3: Part 2 Social Language Week 11 Chapter 3: Part 3 Mechanics of Listening & Speaking Week 12 Chapter 3: Part 4 Broadcast English Week 13 Review/Chapter 3 Test Week 14 Review/TOEIC exercises Week 15 Review/TOEIC exercises		
テキスト、参考文南	*	評価方法		
Speaking. McGraw- ※教科書購入時には、	nn, P. (2007). <i>Quest Intro: Listening</i> & -Hill. 自分が使用する教科書を間違えないよう、 名を必ず確認してください。	授業参加 20 ⁰ 課題 10 ⁰ ※原則として	6 統一期末試験	

08 年度以降(秋)	English (リスニング I b) / (Academic Listening Strategies I b)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	E	授業計画	Ī		
関係法・総合政策学科 春学期に引き続き、に とを明に引き続うに、とを表します。! 頭発表の構成いて点を 頭発素養をでいる。! り、離園、 が、を聞います。! り、を聞いまなり、 が、を聞います。! り、を聞いまない。! り、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	語・経済・経営・国際環境経済・法律・国際の1年生を対象とする、クラス指定科目です。 日常会話を理解する能力を、大学での研究やより高度なリスニング能力に発展させるこり 表現をヒントにしてより効果的に理解した一トを取ったり、放送英語(インタビューな徳き取るなどの訓練をします。また、TOEICの入れ、自然なスピードの英語を理解する訓と、聴解を支える発音・シャドーイング練習ら行います。授業中はできるだけ英語を使い、ニケーションの道具として使うことで、リスに付けます。 JSBメモリースティックを持参すること。 rategies I とともに、原則として通年で履修す	Week 13 Week 14	Chapter Chapte	4: Part 5 Acad / Chapter 4 Te 5: Part 2 Soci 5: Part 3 Meel 5: Part 5 Acad / Chapter 5 Tes 6: Part 2 Soci 6: Part 3 Meel 6: Part 4 Broad 6: Part 4 Broad / Chapter 5 Tes 6: Part 4 Broad / Chapter 6: Part 5 Acad / Chapter 6: Part 6: Part 6: Part 7 Broad / Chapter 6: Part 7 Broad / Chapter 6: Part 8: Part 8: Part 8: Part 8: Part 9: Part	nanics of Listening & Speaking demic English st al Language nanics of Listening & Speaking demic English st al Language nanics of Listening & Speaking demic English st al Language nanics of Listening & Speaking ndcast English demic English st ises
テキスト、参考文献	X	評価方法	.		
Speaking. McGraw ※教科書購入時には、	nn, P. (2007). <i>Quest Intro: Listening &</i> -Hill. 自分が使用する教科書を間違えないよう、 員名を必ず確認してください。	授業参加 課題 ※原則と	10%	チャプターラ 統一期末試駅]以上欠席した	

08年度以降(春)	English (リスニング Ia) / (Academic Listen	ing Strategies Ia)	担当者	M. クロフォード
introductory-level ac to accomplish this vocabulary, practice about how lectures a critical thinking skill In addition to act post-listening acti presentations, and undertaken. All clas and students will be Main skill objectives By the end of the cou identify main a understand the understand lect take effective n think critically	to develop students' ability to comprehend ademic lectures in various fields. In order , students will build their academic effective note-taking strategies, learn are typically organized, and develop their	授業計画 1. Introduction 2. Chapter 1 3. Chapter 1 (co 4. Chapter 1 (co 5. Chapter 1 (co 6. Chapter 2 7. Chapter 2 (co 8. Chapter 2 (co 9. Chapter 3 11. Chapter 3 (co 12. Chapter 3 (co 13. Chapter 3 (co 14. Speaking / do 15. Review for for	ntinued) ntinued) ntinued) ntinued) ntinued) ntinued) ontinued) ontinued) ontinued) iscussion act	
テキスト、参考文献 初回の授業で指示す		評価方法	ion (20%), he	omework assignments /
		quizzes (30%), f	inal exam (50	

four or more absences will automatically result in a grade of ${\sf F}$ or ${\sf X}.$

08年度以降(秋)	English (リスニング Ib) / (Academic Listen	ing Strategies Ib)	担当者	M. クロフォード
講義目的、講義概要	문	授業計画		
introductory-level act to accomplish this vocabulary, practice about how lectures a critical thinking skil In addition to act post-listening acti presentations, and undertaken. All clas and students will be Main skill objectives By the end of the county of the county main a understand the understand lecture take effective methics.	ually listening to various lectures, pre- and vities such as discussions, short writing assignments will also be activities will be conducted in English, expected to participate actively.	1. Introduction 2. Chapter 4 3. Chapter 4 (co 4. Chapter 4 (co 5. Chapter 5 7. Chapter 5 (co 8. Chapter 5 (co 9. Chapter 6 11. Chapter 6 (co 12. Chapter 6 (co 13. Chapter 6 (co 14. Speaking / do 15. Review for for	ntinued) ntinued) ntinued) ntinued) ontinued) ontinued) ontinued) iscussion act	tivity
テキスト、参考文献		評価方法		
初回の授業で指示す	ける	quizzes (30%), f 原則として 4 回以上が	inal exam (5 欠席した学生は成	omework assignments / 0%) i績評価対象とならない。In principle, result in a grade of F or X.

English(リーディング II a)

/ (Academic Reading Strategies II a) English 211-a Basic Reading Strategies 担当者

各担当教員

講義目的、講義概要

この科目はAcademic Reading Strategies I (リーディングI) の上位科目です。原則として通年で履修してください。リーディングI で学んだ英語の読み方の基礎を踏まえて、アカデミックな英語を、的確に読み取り、まとめ、それについて考える訓練をします。

春学期には、大きく以下の2つの活動を行います。

- 1. 担当者が指示したリーディング教科書で積極的に学習。
- 2. 1年次に引き続いて、各自が、MyDOCからダウンロードした Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List を教室外で学習し、 毎週範囲を決めて語彙小テストを実施します。

大学2年生は、英語運用能力を伸ばすのに最もふさわしくまた 重要な1年間です。得意・不得意にかかわらず、現在の自分の 力を少しでも伸ばす積極的な姿勢を持って取り組みましょう。

授業計画

授業計画と評価方法の詳細は、第1回目の授業で各担当教員 から個別のシラバスが配布されるので、必ず確認してください。

Week 1 オリエンテーション

Week 2~14 各担当教員が指定した教科書の学習

Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List の指定

箇所を範囲とする語彙小テスト

Week 15 まとめ

○教科書に関する授業計画については、各担当者から個別の シラバスが配布されるので、それを保管し、必要に応じて参照 すること。

○年度末(1月)に全員 TOEIC® を受験するので、計画的に学習すること。

テキスト、参考文献

各担当教員指定の教科書

Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List (MyDOC) 辞書

評価方法

各担当教員から配布されるシラバスに記載。

原則として 4 回以上欠席した学生は評価の対象とならないので、欠席しないように注意すること。

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋) English(リーディング IIb)

/ (Academic Reading Strategies IIb) English 211-b Basic Reading Strategies 担当者

各担当教員

講義目的、講義概要

この科目はAcademic Reading Strategies I (リーディングI) の 上位科目です。原則として通年で履修してください。春学期に 引き続き、リーディングI で学んだ英語の読み方の基礎を踏ま えて、アカデミックな英語を、的確に読み取り、まとめ、それに ついて考える訓練をします。

秋学期には、大きく以下の3つの活動を行います。

- 1. 担当者が指示したリーディング教科書で積極的に学習。
- 2. 各自が、MyDOCからダウンロードした*Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List* を教室外で学習し、毎週範囲を決めて語彙小テストを実施します。
- 3. TOEIC対策の副教材を用いて、授業内に短時間の TOEIC対策を行う。(秋学期のみ実施)

秋学期は、学期末に TOEIC テストがひかえています。 積極的な姿勢で勉強を続けて下さい。

授業計画

授業計画と評価方法の詳細は、第1回目の授業で各担当教員から個別のシラバスが配布されるので、必ず確認してください。

Week 1 オリエンテーション

Week 2~14 各担当教員が指定した教科書の学習

Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List の指定

箇所を範囲とする語彙小テスト

共通の副教材を用いて、TOEIC®テスト対策

Week 15 まとめ

○教科書に関する授業計画については、各担当者から個別の シラバスが配布されるので、それを保管し、必要に応じて参照 すること。

○年度末 (1月) に全員 TOEIC® を受験するので、計画的に 学習すること。

テキスト、参考文献

各担当教員指定の教科書

5-Minute Quizzes for the TOEIC Test (マクミラン) Book 2: 第 1 回の授業までに必ず購入しておくこと。 Dokkyo 1964 Academic Vocabulary List (MyDOC)、辞書

評価方法

各担当教員から配布されるシラバスに記載。 原則として 4 回以上欠席した学生は評価の対象とならないので、欠席しないように注意すること。 08 年度以降(春)

English (リーディング II a)

/(Academic Reading Strategies II a)

担当者

辻田 麻里

講義目的、講義概要

ドイツ語・フランス語・経済・経営・国際環境経済・法律・国際 関係法・総合政策学科の 2 年次の学生を対象とする、クラス指定 科目です。

1年修了時の TOEIC テストスコアが高かった学生を集め、学部を超えたクラス編成になっています。各学部の必修科目と重ならないよう 5限目に入っています。他学部の学生と英語を勉強できる貴重な機会ですので、積極的に授業に参加してください。

ARS I に引き続き、リーディングを中心にアカデミックな総合的 英語運用力を身につけることを目的とします。各自の専門分野にも生かせるように、新聞・雑誌の記事や学術論文を使用したテキストを用いて多読・速読・精読を行い、効果的に読むためのストラテジーを使えるようにします。内容を的確に把握できるように、語彙力・文法力などの基礎的な側面を伸ばし、文章の主題を即時に捉えて、アウトラインや要約を書く練習をします。さらに、内容を批判的に吟味し、それに対する自分の考えを、口頭および文章で表現できるようにします。

- ・毎週授業の初めに Vocabulary Quiz を行うので準備しておくこと。
- ・原則として通年で履修すること。

授業計画

1回目 コースガイダンス (シラバス配布・教科書発表)

※履修希望者は必ず出席すること。

2~14回目 詳細は第1回目に配布のクラスシラバス参照。

15 回目 授業のまとめ

テキスト、参考文献

Hartmann, P. (2007). *Quest 2: Reading and Writing*. McGraw-Hill.

評価方法

授業計画

授業参加 20% 課題 15% 語彙テスト 15%

発表 20% 期末試験 30%

※原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

08年度以降(秋)

English (リーディング II b)

/(Academic Reading Strategies II b)

担当者

辻田 麻里

講義目的、講義概要

ドイツ語・フランス語・経済・経営・国際環境経済・法律・国際 関係法・総合政策学科の 2 年次の学生を対象とする、クラス指定 科目です。

春学期に引き続き、リーディングを中心にアカデミックな総合的 英語運用力をさらに磨くことを目的とします。各自の専門分野に も生かせるように、新聞・雑誌の記事や学術論文を使用したテキ ストを用いて多読・速読・精読を行い、効果的に読むためのスト ラテジーを使えるようにします。内容を的確に把握できるように、 語彙力・文法力などの基礎的な側面を伸ばし、文章の主題を即時 に捉えて、アウトラインや要約を書く練習をします。さらに、内 容を批判的に吟味し、それに対する自分の考えを、口頭および文 章で表現できるようにします。

- ・毎週授業の初めに Vocabulary Quiz を行うので準備しておくこと。
- ・原則として通年で履修すること。

1回目 コースガイダンス(シラバス配布・教科書発表)

※履修希望者は必ず出席すること。

2~14回目 詳細は第1回目に配布のクラスシラバス参照。

15 回目 授業のまとめ

テキスト、参考文献

Hartmann, P. (2007). *Quest 2: Reading and Writing*. McGraw-Hill.

評価方法

授業参加 20% 課題 15% 語彙テスト 15%

発表 20% 期末試験 30%

※原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

08年度以降(春) 07年度以前(春) English (ライティング IIa)

/ (Academic Writing IIa: Essay)

English 221-a Basic Composition

担当者

各担当教員

講義目的、講義概要

国際環境経済学科・国際関係法学科・総合政策学科では、 本科目がクラス指定科目となっている。原則として通年で 履修すること。

本科目の目標は、Academic Writing I で学んだパラグラフ の知識を基に、複数のパラグラフから成り立つアカデミッ クエッセイ(論文)を書けるようになることである。その ためには、英語論文の典型的な構成、書き始める前のプラ ニングやアウトライン作成、thesis statement、topic sentence などの役割、校正方法を理解し、ルールに基づ いてエッセイを完成させることが求められる。「和文英訳」 ではなく英語で論理的文章を書く力を習得する重要な科 目である。課題にはきちんと取り組み、添削指導を通し、 エッセイを完成させる「プロセス」を大切にする姿勢を学 んでほしい。モデル・エッセイを分析し、学ぶべきルール を習得する姿勢も大切である。他の英語科目のテキストや 英字新聞などで用いられている語彙や表現もエッセイを 書く時に使えるよう努力してほしい。

授業計画

各担当者により具体的な授業計画が異なるため、第1回目 の授業で担当者からシラバスを受け取ること。以下は授業 計画の一例である。

第1回 ガイダンス

Review of Paragraph Organization

- 第2回 Review of Paragraph Organization
- 第 3 回 Listing-Order Paragraphs
- 第4回 Listing-Order Paragraphs
- 第5回 Essay Organization
- 第6回 Essay Organization
- 第7回 Descriptive Essays
- 第8回 Descriptive Essays
- 第9回 Descriptive Essays
- 第 10 回 Descriptive Essays
- 第 11 回 Opinion Essays
- 第 12 回 Opinion Essays
- 第 13 回 Opinion Essays
- 第 14 回 Opinion Essays
- 第15回 Wrap-up

テキスト、参考文献

担当教員の指示に従うこと。

My DOC 上で、授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料 配布、グループワークを行う場合もある。

評価方法

積極的な授業活動への参加、課題、期末テストなどによる

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならな いので注意すること。

08年度以降(秋) 07年度以前(秋) English (ライティング IIb)

/ (Academic Writing IIb: Essay) English 221-b Basic Composition

担当者

各担当教員

講義目的、講義概要

国際環境経済学科・国際関係法学科・総合政策学科では、 本科目がクラス指定科目となっている。原則として通年で 履修すること。

本科目の目標は、Academic Writing I で学んだパラグラフ の知識を基に、複数のパラグラフから成り立つアカデミッ クエッセイ(論文)を書けるようになることである。その ためには、英語論文の典型的な構成、書き始める前のプラ ニングやアウトライン作成、thesis statement、topic sentence などの役割、引用の使い方、校正方法を学び、 ルールに基づいてエッセイを完成させることが求められ る。「和文英訳」ではないライティング力を習得する重要 な科目である。春学期同様、課題にはきちんと取り組み、 添削指導を通し、エッセイを完成させるプロセスを大切に する姿勢を学んでほしい。モデル・エッセイの分析や、他 の英語科目のテキストや英字新聞などで用いられている 語彙や表現を用いるスキルの習得にも更に努力して もらいたい。

授業計画

各担当者により具体的な授業計画が異なるため、第1回目 の授業で担当者からシラバスを受け取ること。以下は授業 計画の一例である。

第1回 ガイダンス

Review of Essay Organization

- 第2回 Review of Essay Organization
- 第 3 回 Definition Paragraphs
- 第4回 Definition Paragraphs
- 第5回 Definition Paragraphs
- 第6回 Argumentative Essays
- 第7回 Argumentative Essays
- 第8回 Argumentative Essays
- 第9回 Argumentative Essays
- 第 10 回 Argumentative Essays
- 第 11 回 Comparison / Contrast Essays 第 12 回 Comparison / Contrast Essays
- 第 13 回 Comparison / Contrast Essays
- 第 14 回 Comparison / Contrast Essays
- 第15回 Wrap-up

テキスト、参考文献

担当教員の指示に従うこと。

My DOC 上で、授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料 配布、グループワークを行う場合もある。

評価方法

積極的な授業活動への参加、課題、期末テストなどによる

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならな いので注意すること。

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)		English (リスニング IIa)/(Academic Listening Strategies IIa) English 241-a / Basic Listening Comprehension		各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画		
students acquired broadcasts, interv various topics and post-listening tas exercises, discussi assignments will a Main skill objectiv By the end of the company of the com	es ourse students should be able to: ne main ideas of news broadcasts, nd/or academic lectures ow supporting ideas are related to ectively as they listen on words from context	の授業で担当者: 計画の一例である。 1. Introduction 2. Preview of to 3. Topic 1 passa 4. Preview of to 5. Topic 2 passa 6. Preview of to 7. Topic 3 passa 8. Midterm exam 9. Preview of to 10. Topic 4 passa 11. Preview of to 12. Topic 5 passa 13. Preview of to 14. Topic 6 passa 15. Wrap-up and	to the course pic 1, pre-lisi ge(s), post-lisi ge(s), post-lisi ge(s), post-lisi ge(s), post-lisi ge(s), post-lisi age(s), post-lisi age(s), post-liopic 5, pre-lisi age(s), post-liopic 6, pre-liage(s), post-liage(s), post-liage(s)	tening tasks stening tasks tening tasks stening tasks tening tasks stening tasks tening tasks tening tasks listening tasks stening tasks stening tasks stening tasks listening tasks stening tasks
テキスト、参考文献		評価方法		
初回の授業で指示す	⁻ ්		欠席した学生は成	就績評価対象とならない。In principle, result in a grade of F or X.

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English (リスニング IIb)/(Academic Listening Strategies IIb) English 241-b / Basic Listening Comprehension		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	Ē	授業計画		
students acquired broadcasts, interv various topics and post-listening tas exercises, discussic assignments will a Main skill objective By the end of the counderstand the interviews, arounderstand he main ideas take notes effective and the state of the counterstand he main ideas		renension 授業計画 ies 各担当者により具体的な授業計画が異なるため、 の授業で担当者からシラバスを受け取ること。以 計画の一例である。 ing 1. Introduction		を受け取ること。以下は授業 teening tasks stening tasks tening tasks tening tasks tening tasks tening tasks stening tasks stening tasks istening tasks
テキスト、参考文献		評価方法		
初回の授業で指示す * TOEIC practice r My DOC (fall seme	naterials will be made available on		欠席した学生は成	:績評価対象とならない。In principle, result in a grade of F or X.

08 年度以降(春)	English (リスニング IIa) /(Academic Listening	English (リスニング IIa) / (Academic Listening Strategies IIa)		J. ラシーン
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
skills for acade be placed on the make you a bet note-taker, and English, but in your classes. While explose gender, diet, and learn to listen formation and will use informations. Evaluation	vill focus on practical listening mic purposes. Emphasis will e use of strategies that will eter listener, a better la better learner, not just in any language and in ALL of ring interesting topics (such as and the environment), we will for important lecture d to take notes effectively. We ation from real English l discussions and give will be based on class xaminations, and	Classes 5 to 7 - Marketing: Class 8 - Mid Classes 9 to 3 - Science: Did Classes 12 to	rse outling Gender ar Advertises Interm Example 11 et 14 e effects of	nd spending habits ments in everyday life amination f air pollution
テキスト、参考文献		評価方法		
•	ak, K. <i>Lecture Ready 2</i> . New York: versity Press.	Presentation 30 Final exam 30%	% Midterm r or more ab	ocabulary quiz 10% n exam 20% sences will automatically

08年度以降(秋)	English (リスニング IIb) / (Academic Listening	English (リスニング IIb) / (Academic Listening Strategies IIb)		J. ラシーン
講義目的、講義概要	E	授業計画		
skills for acade be placed on the make you a bet note-taker, and English, but in your classes. While explosion of English), we important lecture effectivel from real Engliand give present Evaluation	vill focus on practical listening mic purposes. Emphasis will e use of strategies that will eter listener, a better la better learner, not just in any language and in ALL of ring interesting topics (such as an, and the internationalization will learn to listen for the information and to take y. We will use information is hectures to hold discussions intations. will be based on class xaminations, and	Classes 5 to '	arse outline 4 ies: News 7 ies: Theme 10 Slang 13 Internation 15	and modern technology es on television onal English
テキスト、参考文献	忧	評価方法		
•	ak, K. <i>Lecture Ready 2</i> . New York: versity Press.	Class participat Presentation 30 Final exam 30% In principle, fou result in a grade	% Vocabula r or more ab	ary quizzes 30% sences will automatically

08年度以降(春) English(リーディング IIIa) / (Academic Reading and Writing Strategies IIIa) 担当者 各担当教員 07年度以前(春) English 311-a Reading English for Specific Purposes 授業計画 講義目的、講義概要 OAcademic Reading Strategies IabとIIab を履修した学生が、3年次に Lesson 1 履修する、全学共通カリキュラム英語科目のリーディングの重要な上位 コース紹介。 各担当者から個別のシラバスが配布されるので、それを保管し、必要 科目です。原則として通年で履修すること。

○様々なリーディングストラテジーを訓練し、専攻分野の学びや社会人 としての知的活動に不可欠な、アカデミックな文章を効果的かつ批判 的に読む力をつけ、さらに、それらの文章を参考にしながら、自分でも 書けるようにすることを目的とします。

○指定図書 "Writing to communicate" は、良い文章を読み、英語の 文章の構成を学び、自分でも書いてみる、という一連の活動を通して、 良い読み手・書き手を目指すものです。1,2年次とは一味違う授業内 容となります。積極的に学習してください。リーディング活動とは英 文和訳のことではなく、ライティング活動とは和文英訳のことで はありません。大学生らしい英語の読み方・書き方を学び、英語 でのグループワークやディスカッションにも積極的に参加してく ださい。

○オリエンテーションや授業で配布される資料に目を通し、連絡事項を 聞き漏らさないようにすること。

に応じて参照すること。

Lesson 2-15

- ・指定教科書による授業
- ・担当者が副教材を指定した場合には、それも並行して積極的に学 習する。

○教科書に関する授業計画については、各担当者から個別のシラバス が配布されるので、それを参照すること。

テキスト、参考文献

○指定教科書 Writing to communicate. (Pearson)

受講するクラスにより、Book 1, Book 2, Book 3 のどれかを使用するの で、書店で確認の上、購入すること。

○担当教員から副教材の指定があった場合には、これも購入すること。

評価方法

○各担当教員のシラバスに記載。

○原則として 4 回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注 意すること。

English(リーディング IIIb) / (Academic Reading and Writing Strategies IIIb) 08年度以降(秋) 担当者 各担当教員 07年度以前(秋) English 311-b Reading English for Specific Purposes

講義目的、講義概要

OAcademic Reading Strategies IabとIIab を履修した学生が、3年次に 履修する、全学共通カリキュラム英語科目のリーディングの重要な上位 科目です。春学期に引き続き、履修すること。

○様々なリーディングストラテジーを訓練し、専攻分野の学びや社会人 としての知的活動に不可欠な、アカデミックな文章を効果的かつ批判 的に読む力をつけ、さらに、それらの文章を参考にしながら、自分でも 書けるようにすることを目的とします。

○指定図書 "Writing to communicate" は、良い文章を読み、英語の 文章の構成を学び、自分でも書いてみる、という一連の活動を通して、 良い読み手・書き手を目指すものです。1,2年次とは一味違う授業内 容となります。積極的に学習してください。リーディング活動とは英 文和訳のことではなく、ライティング活動とは和文英訳のことで はありません。大学生らしい英語の読み方・書き方を学び、英語 でのグループワークやディスカッションにも積極的に参加してく ださい。

○オリエンテーションや授業で配布される資料に目を通し、連絡事項を 聞き漏らさないようにすること。

授業計画

Lesson 1

コース紹介。

各担当者から個別のシラバスが配布されるので、それを保管し、必要 に応じて参照すること。

Lesson 2-15

- 指定教科書による授業
- ・担当者が副教材を指定した場合には、それも並行して積極的に学 習する。

○教科書に関する授業計画については、各担当者から個別のシラバス が配布されるので、それを参照すること。

テキスト、参考文献

○指定教科書 Writing to communicate. (Pearson)

受講するクラスにより、Book 1, Book 2, Book 3 のどれかを使用するの で、書店で確認の上、購入すること。

○担当教員から副教材の指定があった場合には、これも購入すること

評価方法

○各担当教員のシラバスに記載。

○原則として 4 回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注 意すること

08 年度以降(春)

English(リーディング IIIa)

/ (Academic Reading and Writing Strategies IIIa)

担当者 宇野沢 和子

講義目的、講義概要

ドイツ語・フランス語学科3年次の学生を対象とするクラス指定科目です。2年終了時のTOEIC点数の高かった学生を対象に、より高度な英語運用能力と批判的思考能力を総合的に訓練することを目的とします。

Academic Reading Strategies I-II で習得した読解ストラテジーをさらに応用し、新聞記事やアカデミックエッセイなどのauthentic materialsのリーディングとライティング (要約、エッセイライティングなど)を中心に授業を進め、ディスカッションも練習します。具体的な授業活動は、分野やテーマ特有の文章、構成と言語的特徴の理解、語彙の強化、論拠分析、要約、論点に関する意見の発表などを行います。ライティングでは、エッセイの書き方の基本を取り上げ、社会問題の原因や解決策を論じるなどのエッセイの書き方を学ぶ。

教科書や補助教材のほか、学生は興味ある時事問題の新聞記事などを読み、ライティング、ディスカッションやミニ発表をし、学会末にポスターセッションを行なう。

授業活動はすべて英語で行います。 原則として通年で履修すること。

授業計画

第1回目の授業で教員がシラバスを配布し、授業計画について詳細を説明します。

Lesson 1: Course Introduction

Lesson 2~Lesson 13: Textbook Chapter 1~3

Lesson 14: Poster Session

Lesson 15: Wrap-up

テキスト、参考文献

Writing to Communicate 3. Cynthia A. Boardman Pearson.

補助教材は授業時に指示します。

評価方法

積極的な参加 20% 課題 20% 発表20% 期末テスト40% 原則として4 回以上欠席した学生は成績評価対象となりませんのでご注意ください。

08年度以降(秋)

English(リーディング IIIb)

/ (Academic Reading and Writing Strategies IIIb)

担当者

宇野沢 和子

講義目的、講義概要

ドイツ語・フランス語学科3年次の学生を対象とするクラス指定科目です。2年終了時のTOEIC点数の高かった学生を対象に、より高度な英語運用能力と批判的思考能力を総合的に訓練することを目的とします。

Academic Reading Strategies I-II で習得した読解ストラテジーをさらに応用し、新聞記事やアカデミックエッセイなどのauthentic materialsのリーディングとライティング (要約、エッセイライティングなど)を中心に授業を進め、ディスカッションも練習します。具体的な授業活動は、分野やテーマ特有の文章、構成と言語的特徴の理解、語彙の強化、論拠分析、要約、論点に関する意見の発表などを行います。ライティングでは、論点の明確なエッセイの書き方を取り上げ、新聞記事などの要約の仕方や、感想の書き方などを学ぶ。

教科書や補助教材のほか、学生は興味ある時事問題の新聞記事などを読み、ライティング、ディスカッションやミニ発表をし、学会末にポスターセッションを行なう。

授業活動はすべて英語で行います。

原則として通年で履修すること。

授業計画

第1回目の授業で教員がシラバスを配布し、授業計画について詳細を説明します。

Lesson 1: Course Introduction

Lesson $2\sim13$: Textbook Chapter $4\sim6$

Lesson 14: Poster Session

Lesson 15: Wrap-up

テキスト、参考文献

Writing to Communicate 3. Cynthia A. Boardman Pearson.

補助教材は授業時に指示します。

評価方法

積極的な参加 20% 課題 20% 発表 20% 期末テスト 40% 原則として 4 回以上欠席した学生は成績評価対象となりませんのでご注意ください。

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English (ライティング Ia) / (Academic Writing English 121-a Basic Composition	Ia: Paragraph)	担当者	松岡 昇 nbmatsuoka@ybb.ne.jp
講義目的、講義概要	5	授業計画		
global, more peopare needed. The mails every dapresentations to teleconferences outside Japan. In view of the codevelop your practices one is dogroups. You have prepare. You begitheme, then, writtmanner, make Porehearse agains	more businesses in Japan going ble with a good command of English ey write and answer dozens of y, have meetings in English, give clients from abroad, conduct with people at multi-locations dircumstances, this course aims to ctical English skills, especially, your and giving presentations. Throughouting semester), you will have three one by individuals; the other two by the three weeks for each project to in with getting your ideas on a given the them in an organized and logical owerPoint slides and handouts, and state clock. Each project is wing a formal presentation to the	 Project 1: I Descriptive Project 1: I Project 1: I Project 2: I Paragraph Project 2: I Project 3: I Project 3	ntroducing Ne/Listing Par Prep 2 Presentation News Diges:), Prep 1 Prep 2 Prep 3 Presentation Promoting Yocess/Listin Prep 2 Prep 3 Presentation	t (Group; Narrative n 2 four Summer Plans g Paragraph), Prep 1
テキスト、参考文献	†	評価方法		
Presentations to	Go (CENGAGE Learning)		e, four or mo	aper (10 x1 = 10 %) ore absences will ade of F or X.

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋) English (ライティング Ib) / (Academic Writing English 121-b Basic Composition	Ib: Paragraph) 担当者 松岡 昇 nbmatsuoka@ybb. ne. jp
講義目的、講義概要	授業計画
The components of international understanding are (1) understanding other cultures, (2) knowing the relationships between your country and others, and (3) making your own culture known to people from other cultures. We Japanese seem to have been working comparatively hard on (1) and (2) for centuries, but not quite on (3). Thus, Japan still remains as a mysterious country of the Orient to many people in the world. The fall semester of this course features "Talking about Yourself (Japan)", with the same objectives as those of the spring semester. Three projects are planned again, and you will learn to use English as another language of yours to let people of the world know more about Japan, the practice of Component (3) mentioned above. Through this practice, you will build up your self-confidence in speaking English in public as well as improve your writing and presentation skills further more.	 Intro: English and International Understanding; Review of Paragraph Writing / Presentation Project 1: Introducing Japan (Group; Descriptive/Comparison Paragraph), Prep 1 Project 1: Prep 2 Project 1: Presentation Project 2: Discussing Social Issues (Group; Cause-and –Effect/Opinion Paragraph), Prep 1 Project 2: Prep 2 Project 2: Prep 3 Project 2: Presentation Review Project 3: Talking about Your Future Plans (Individual; Classification/Dada-Illustration Paragraph), Prep 1 Project 3: Prep 2 Project 3: Prep 3 Project 3: Presentation 1 Project 3: Presentation 2 Review
テキスト、参考文献	評価方法
Presentations to Go (CENGAGE Learning)	Project (30 x 3 = 90 %), Paper (10 x1 = 10 %) NB: In principle, four or more absences will automatically result in a grade of F or X.

講義目的、講義概要

ドイツ語学科、フランス語学科、経済学科、経営学科、法 律学科の学生を対象とする選択科目です。原則として学期 完結科目ですが、春・秋学期通年で履修することも可能で す。

本科目の目的は、英語のアカデミック・ライティングの基礎であるパラグラフライティングのルールを学び、論理的でまとまりのある文章を書く力を伸ばすことです。パラグラフ(段落)の基本構造を学び、トピック・センテンスやサポーティング・センテンス、効果的な接続語などを用いて、情報や出来事の説明、自分の考えなどについて読みやすい文章を書く練習をします。書く前の計画からアウトライン作成、文章作成、書き直し、校正までの「プロセス」を重視します。これまでに学んだ語彙や文法を基に、「和文英訳」ではないライティング力を身につけてください。課題にはきちんと取り組み、クラスメートと活発にフィードバックや意見交換をすることが求められます。

授業計画

以下は授業計画の一例です。第1回目の授業に出席し、担当者からクラスシラバスを受け取ること。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 英文メールの書き方
- 第3回 英文メールの書き方・タイピング練習
- 第 4 回 Punctuation and Capitalization
- 第5回 Paragraph Organization
- 第6回 Unity and Coherence
- 第7回 Brainstorming & Outlining
- 第8回 Descriptive Paragraphs
- 第9回 Descriptive Paragraphs
- 第 10 回 Narrative Paragraphs
- 第 11 回 Narrative Paragraphs
- 第 12 回 Process Paragraphs
- 第 13 回 Process Paragraphs
- 第 14 回 Process Paragraphs
- 第 15 回 Wrap-up

テキスト、参考文献

第1回目の授業で担当教員の指示に従うこと。 My DOC 上で、授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料配布、グループワークを行います。週に1度必ず確認すること。

評価方法

積極的な授業活動への参加、課題、期末テストなどによる 総合評価。

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注意すること。

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋) English (ライティング Ib) / (Academic Writing Ib: Paragraph) 担当者 飯島 優雅 English 121-b Basic Composition

講義目的、講義概要

ドイツ語学科、フランス語学科、経済学科、経営学科、法 律学科の学生を対象とする選択科目です。原則として学期 完結科目ですが、春・秋学期通年で履修することも可能で す。

春学期同様、アカデミック・ライティングの基礎となるパラグラフの構造を学び、情報や出来事、自分の考えなどに関して論理的でまとまりのある文章を書く力を伸ばします。秋学期には、書き始める前の情報整理と計画、効果的な論展開の方法についてさらに理解を深め、より短い時間でパラグラフを完成させることを目指します。他の履修中の英語科目(リーディング、リスニングなど)で学ぶ語彙や表現も意識的に使ってみましょう。「和文英訳」ではないライティング力を習得する重要な科目です。計画から校正まで文章を完成させるプロセスを大切にしてください。課題にはきちんと取り組み、クラスメートと活発にフィードバックや意見交換をすることが求められます。

授業計画

以下は授業計画の一例です。第1回目の授業に出席し、担 当者からクラスシラバスを受け取ること。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 Review of Paragraph Organization
- 第3回 Classification Paragraphs
- 第 4 回 Classification Paragraphs
- 第5回 Classification Paragraphs
- 第6回 Cause and Effect Paragraphs
- 第7回 Cause and Effect Paragraphs 第8回 Cause and Effect Paragraphs
- 第9回 Comparison / Contrast Paragraphs
- 第 10 回 Comparison / Contrast Paragraphs
- 第 11 回 Comparison / Contrast Paragraphs
- 第 12 回 Opinion Paragraphs
- 第 13 回 Opinion Paragraphs
- 第 14 回 Opinion Paragraphs
- 第 15 回 Wrap-up

テキスト、参考文献

第1回目の授業で担当教員の指示に従うこと。 My DOC 上で、授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料配布、グループワークを行います。週に1度必ず確認すること。

評価方法

積極的な授業活動への参加、課題、期末テストなどによる 総合評価。

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならないので注意すること。

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English (ライティング Ia) / (Academic Writing English 121-a Basic Composition	Ia: Paragraph)	担当者	遠藤	朋之
講義目的、講義概要		授業計画			
"switch back and ズに行う練習をす クションがあり、そ わる英作文のセクシ	ストを使って、英語⇔日本語の forth(行ったり来たり)" をスムー る。テキストは、最初に reading のセ その練習問題、そして、その内容にまつ ション、という構成になっている。この を?コマかけてこなし、次の週に英作	1: introduction 2~3: Chapter 1 4~5: Chapter 2 6~7: Chapter 3 8~9: Chapter 4 10~11: Chapter 12~13: Chapter	5		
ひとつの chapter を2コマかけてこなし、次の週に英作文を提出してもらう、ということを繰り返す。つまり、半期に6~7通ていどの英作文を書いてもらうことになる。		14~15: Chapter			
ほとんどない。この 英語が「できる」。 「わかる」ものを他 に移行することを、	強してきて、さらに「学ぶ」ことなど、 の授業の目的は、簡単な英語を使って、 ようにすることだ。なので、テキストは もう。つまり、「わかる」から「できる」 この授業の目的とする。 けでは、単位は認定できない。「参加				
テキスト、参考文献		評価方法 テストと授業への	カ 条加度 チ	セプターが終わ	ったごとの苦
rreaving it 10get	1101 2 (Heiline Gengage Dearming)	作文。4回以上位 詳細は初回の授	木んだ場合は	、評価の対象と	

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English (ライティング Ib) / (Academic Writing English 121-b Basic Composition	Ib: Paragraph)	担当者	遠藤 朋之
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
から「できる」へ。	たことを、引き続き行う。「わかる」 授業の進め方、そして、6~7通の英 うことは変わらない。	1: 春学期末テス 2~3: Chapter 8 4~5: Chapter 9 6~7: Chapter 10 8~9: Chapter 11 10~11: Chapter 12~13: Chapter 14~15: Chapter) 12 13	構
テキスト、参考文献		評価方法		
春学期と同じ。 W	eaving It Together 2	これも春学期と[司じ。 -	

08 年度以降(春)	English (ライティング Ia)				
07 年度以前(春)	/ (Academic Writing Ia: Parag	raph)	担当者	石月 正伸	
07年及以前(春)	English 121-a Basic Composition				
講義目的、講義概要	2	授業計画			
この授業では、 </th <th>ペラグラフ・ライティング> (PW) と</th> <th>以下の内容は、</th> <th>基本的な進行</th> <th>予定です。</th>	ペラグラフ・ライティング> (PW) と	以下の内容は、	基本的な進行	予定です。	
いう目標に向かって	て、テキストに即して、センテンスの作	授業状況により	多少の変更の	<u>可能性</u> があります。	
成(基礎的な内容も	っ含む)からパラグラフの作成へと段階	【WA 提出】:	テキスト内の	宿題部(計6回)	
的に(通年で)スキ	Fル・アップを図ってゆきます。テキス	【PW 提出】	センテンス 10)程度の英文(計3回)	
トには Reading の)パートがあり、<メイン・アイデア>	【小テスト】	英作5題30	点	
	ょどの「理屈」を学ぶことができます。				
ただし春学期にも、	プリント教材を用いて、PWの基礎的		ンス(*履修		
	キストの Reading 教材を利用してPW	-		チャプターを終了予定)	
を実践してもらいま		3 Chap. 2 (WAを2回提出)			
	1アが320~30から450くらいま	4 続き			
	D対象として、想定しています》	5 PWの説明(プリント教材)			
【成績にかかわる作	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6 Chap. 3 【PW1 提出】* <u>ワープロ文字で提出</u>			
_	iting Assignment>の提出、6回	7 PW の解説+WA解の説			
_	ading> をもとにしたPW(センテンス	8 Chap. 4			
The state of the s	の英文)の提出、3回。	9 Chap. 5 10 結章 【PW 2提出】			
	<u>関して</u> は、成績評価の直接的な対象には	10 10 10			
	とり気にしなくて OK です。	11 PWの解説+WAの解説			
③授業時の発表(タ		12 Chap. 6			
④小テスト (英作な		13 Chap. 7L 6			
	総合ガイダンスで述べます】	14 続き	【PW3提出】		
【注】 <u>就職活動に</u>	よる欠席は一切認めません	15 【小テスト	PWの解	説+WAの解説	
テキスト、参考文献	.	評価方法			
Lynn Bonesteel, From Reading To Writing		WA(6回)30%+1	PW(3 回)30%	+発表 10%+小テスト 30%	
(Pearson)		.		た学生は成績評価対象とな	
		らない(遅刻は	0.5 回欠席)	就活の欠席は認めない】	

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English (ライティング Ib) / (Academic Writing Ib: Parage English 121-b Basic Composition	raph)	担当者	石月 正伸
講義目的、講義概要		授業計画		
授業の目的は、原則 【秋学期のみ履修を授業に必ず出てくた イティングの説明が 【注】 <u>就職活動に</u>	ティング I a」の続きです。 的に、「ライティング I a」と同じです。 全希望する学生は】 第1回か第2回の さい。授業の進め方とパラグラフ・ラ あります。 よる欠席は一切認めません 1回総合ガイダンスで述べます。】	【WA提出】 【PW提出】 【小テスト】 1 総合ガイダ 2 Chap. 8(3 3 Chap. 9 4 続き 5 PWの説明 6 Chap. 10 7 PWの解説 8 Chap. 11 9 Chap. 12 10 Chap. 13 11 PWの解説 12 Chap. 14 13 Chap. 15 14 Chap. 16	多少の変更の デキスの変更の ドキテン 10 大作 5 題 3 0 シスで 2 2 回 は、ア 2 2 回 は、ア 3 0 は、ア 4 で 2 で 2 で 2 で 3 で 4 で 2 で 3 で 4 で 3 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4	可能性があります。 宿題部(計6回))程度の英文(計3回) 点 学生未確定) チャプターを終了予定) 提出) 材) * ワープロ文字で提出 提出】
テキスト、参考文献 Lynn Bonesteel	From Reading To Writing	評価方法 WA(6 回)30%+1	PW(3 回)30%	+発表 10%+小テスト 30%
(Pearson)	Trom iveauing to mining	【原則として4	回以上欠席し	た学生は成績評価対象とな 就活の欠席は認めない】

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English (ライティング Ia) / (Academic Writing English 121-a Basic Composition	Ia: Paragraph)	担当者	髙畑 哲男
講義目的、講義概要	· E	授業計画		
Eメールの普及によ	こってライティングの重要性が高まって	1.ガイダンス(哲	受業内容と進	行計画、その他)
きた。この授業では	は、教科書とその他の実例を使ってエッ	2.Paragraph Str	ructure	
セイライティング	へのステップであるパラグラフライテ	3.Examples&Wi	riting	
ィングのスキルアジ	ップを図る。	4. Types of Supp	ort	
まず、パラグラフの	り構造を学び、さらにさまざまな角度か	5.Examples&Wi	riting	
らパラグラフを具体	本的に知り、自ら書くことによって「効	6.Brainstorming	g and Choosi	ng a Topic
果的な」英文を書く	く力をつけてもらいたい。	7.Examples&Writing		
「畳の上の水練」と	という言葉があるように、ライティング	8. Writing a Topic Sentence		
もその方法を理解す	するだけではなく、実際に書くことでは	9.Examples &Writing		
じめて技量が向上で	することをよく理解してもらいたい。	10. Making an Outline and Writing Support		
なお、授業では文章	章の要約、記事の見出しづけなども適宜	11. Writing a Concluding Sentence		
行う予定でいる。		12. Unity		
熱意のある受講者を	を期待しています。	13. Examples & Writing		
		14. Coherence		
		15.まとめと確認		
		== !== -		
テキスト、参考文献		評価方法	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
Kayoko Otani & K (Macmillan Langu	(ay Husky, <i>Points to Paragraphs</i>			5%),板書などの発表を含む授 平価する。原則として 4 回以
waciiiiiaii Dangu	age House/	果参加、貝畝(15 上欠席した学生/		

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English (ライティング Ib) / (Academic Writing Ib: Paragraph) English 121-b Basic Composition		担当者	髙畑 哲男
てエッセイライティライティングのスキさまざまな角度からことによって「効果い。 「畳の上の水練」とその方法を理解する	に続いて、教科書とその他の実例を使っ イングへのステップであるパラグラフ モルアップを図る。 っパラグラフを具体的に知り、自ら書く 長的な」英文を書く力をつけてもらいた という言葉があるように、パラグラフも らだけではなく、実際に書くことではじ らことをよく理解してもらいたい。 近の要約、記事の見出しづけなども頻繁	授業計画 1. ガイダンス(2. Subordination 3. Examples & V 4. Style 5. Examples & V 6. Descriptive P 7. Examples & V 8. Comparison/O 9. Examples & V 10. Classification 11. Examples & 12. Argumentati 13. Examples & 14. Examples & 15. まとめと確認	Writing Writing aragraph Writing Contrast Par Writing n Paragraph Writing ve Paragrap Writing Writing	
テキスト、参考文献 Kayoko Otani & K (Macmillan Langu	ay Husky, <i>Points to Paragraphs</i>		%)によって記	5%),板書などの発表を含む授 評価する。原則として 4 回以 象とならない。

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング I a) / (Speaking in Academic Contexts I a) English 131-a Basic Communicative English		担当者	W.∼イ
講義目的、講義概要		授業計画		
in the aim of this course is to build confidence in your conversation and discussion skills through exploring a variety of personal and social issues. By the end of this course, you will be able to: 1. Discuss and understand topics and themes, which relate to everyday life. 2. Share your point of view with other students and the teacher. 3. Feel an improvement in your skills in comprehension, critical thinking and self expression.		 Introduction and course orientation Unit 1: The Guy with Green Hair Unit 2: The Shoplifter Unit 3: I'm not Addicted Unit 4: Beauty Contest Unit 5: Who Pays? Group Presentations 1 Unit 6: Saying "I love you" Unit 7: Family Values Unit 8: Cyber Love Unit 9: A Letter from Grandma Unit 10: Fan Worship Group Presentations 2 Course Review Final Written Test 		Green Hair ed st 1 you" Grandma
テキスト、参考文献		評価方法		
	, a Pearson Longman Richard R. Day, Joseph Shaules anaka	2. Prepara 3. Present 4. Final W 原則として4回り	, four or mo	ork: 10% (2 x 20%) nation: 20% <i>学生は成績評価対象とならな</i> <i>re absences will</i>

08 年度以降(秋) English(スピーキング I b) / (Speaking in Acader 07 年度以前(秋) English 131-b Basic Communicative English	nic Contexts I b)	担当者	W.^≺
講義目的、講義概要	授業計画		
The aim of this course is to build confidence in your conversation and discussion skills through exploring a variety of personal and social issues. By the end of this course, you will be able to: 1. Discuss and understand topics and themes, which relate to everyday life. 2. Share your point of view with other students and the teacher. 3. Feel an improvement in your skills in comprehension, critical thinking and self expression.	1.Introduction 2. Unit 11: Pet 3. Unit 12: Clo 4. Unit 13: Wil 5. Unit 14: Ge 6. Unit 15: To 7. Group Pres 8. Unit 16: The 9. Unit 17: To 10. Unit 18: Ar 11. Unit 19: Cl 12. Unit 20: W 13. Group Pres 14. Course res 15. Final Writt	Peeve ose your Ey I Children Stands I Children Exentations View	es and See Save the Earth to Tell of to Have Smart? di inglish?
テキスト、参考文献	評価方法		
Impact Issues 1, a Pearson Longman Publication by Richard R. Day, Joseph Shaules and Junko Yamanaka	2. Prepari 3. Presen 4. Final W 原則として4回。	, four or mo	ork: 10% (2 x 20%) nation: 20% <i>学生は成績評価対象とならな</i> re absences will

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング I a)/(Speaking in Academic Contexts I a) English 131-a Basic Communicative English		担当者	D. R. ギブソン
講義目的、講義概要	5	授業計画		
students with the chave already acquired conversation activities students will learn that can contribute confidence in their Students will take have conversations the key language from core conversation process.	This is a speaking skills course intended to provide students with the opportunity to use the English they have already acquired in challenging and meaningful conversation activities. During the first semester, students will learn and practice conversation strategies that can contribute to their fluency and increase their confidence in their speaking abilities. Students will take part in small group discussions and have conversations in pairs in which they will practice the key language from the text and reinforce their use of core conversation patterns and strategies. Lesson 1 Ori Lesson 2 Uni Lesson 3 Uni Lesson 5 Uni Lesson 6 Uni Lesson 7 Uni Lesson 10 Uni Lesson 10 Uni Lesson 11 Uni Lesson 13 Uni Lesson 13 Uni Lesson 14 Ge		r week. ntation 1 Self Introd 1 Strategies 2 Family. Vo 2 Family. St 3 Shopping. 3 Shopping. 4 Food. Voca 4 Food. Stra t 5 Music. Voc t 5 Music. St t 6 Free Tim teral Review.	/Listening/Conversations ocabulary/Key Questions orategies/Conversations Vocabulary/Key Questions Strategies/Conversations abulary/Key Questions ocabulary/Key Questions
テキスト、参考文献 Nice Talking With Cambridge Univer	You: Tom Kenny and Linda Woo	Quizzes: 20%; F	Iomework: 2 <i>le, four or m</i> e	activities: 40%; Unit 0%; Final Speaking Test: ore absences will ade of F or X.

1			
08 年度以降(秋) English(スピーキング I b) / (Speaking in Acader 07 年度以前(秋) English 131-b Basic Communicative English	English(スピーキング I b) / (Speaking in Academic Contexts I b) English 131-b Basic Communicative English		D. R. ギブソン
講義目的、講義概要	授業計画		
This is a speaking course intended to provide students with the opportunity to add to the conversation strategies that were introduced in the first semester and use them in a variety of speaking activities. Students will take part in small group discussions and have conversations in pairs in which they will practice the key language from the text and reinforce their use of core conversation patterns and strategies.	Lesson 1 Cour Lesson 2 Unit Lesson 3 Unit Lesson 4 Unit Lesson 5 Unit Lesson 6 Unit Lesson 7 Unit Lesson 8 Unit Lesson 9 Unit Lesson 10 Unit Lesson 11 Unit Lesson 12 Unit Quest Lesson 13 Unit	r week. se Overview 7 Travel. Vo 7 Travel. Str. 8 Sports. Vo 8 Sports. Str. 9 Friends. V 9 Friends. S 10 Work. Vo 10 Work. Str. 11 Movies. S 12 Personal ions 12 Personal presental Review. U	
テキスト、参考文献	評価方法		
Nice Talking With You: Tom Kenny and Linda Woo Cambridge University Press: 2011	Quizzes: 20%; H	Iomework: 20 <i>le, four or m</i> e	activities: 40%; Unit 0%; Final Speaking Test: ore absences will ade of F or X.

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング I a) / (Speaking in Acaden English 131 a Basic Communicative English	English(スピーキング I a) / (Speaking in Academic Contexts I a) English 131-a Basic Communicative English		M.H.ウィキンズ
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画		
The goal of this course is for students to improve their English speaking skills. We will focus on conversation and everyday situations. The objective of this semester is for students to become more comfortable in English. We will have fun and learn English in an academic setting. The material will mainly come from the textbook, but other materials may be used. We will conduct all class activities in English.		Week1: Class Introductions (Unit 0) Week2: Meeting people (Unit 1 Week3: Personal Information (Unit 1) Week4: Describing People (Unit 2) Week5: Daily Activities and Routines (Unit 3) Week6: Finish Unit 3 Week7: Midterm Project Week8: Talking about locations (Unit 4) Week9: Finish Unit 4 Week10: Giving directions (Unit 5) Week11: Describing past events (Unit 6), Debate Week12: Talking about weekends (Unit 6) Week13: Talking about weekends (Unit 6) Week14: Practice for presentations Week 15: Final Presentation		
テキスト、参考文献	犬	評価方法		
English Firstha	nd 1 (Longman)	Midterm Proje 原則として 4 回以 principle, four or grade of F or X. ***If you are mo count as one abse	ect 30% Fi 上欠席した学生 more absence re than 15 m nce*** class, please	Plass participation 20% nal Project 30% 性は成績評価対象とならない。In s will automatically result in a inutes late three times, it will contact your classmate or the ssed.***

_					
08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English(スピーキング I b) / (Speaking in Acader English 131 b Basic Communicative English	nic Contexts I b)	担当者	M.H.ウィキンズ	
講義目的、講義概要	5	授業計画			
請義目的、講義概要 The goal of this course is for students to improve their English speaking skills. We will focus on conversation and everyday situations. The objective of this semester is for students to become more comfortable in English. We will have fun and learn English in an academic setting. The material will mainly come from the textbook, but other materials may be used. We will conduct all class activities in English.		Week 2: Jobs Week 3: Enter Week 4: Invit Week 5: Activ Week 6: Activ Week 7: Midt Week 8: Shop Week 9: More Week 10: Des Week 11: Fini Week 12: Mov Week 13: Mus Week 14: Mor	Week 1: Re-introduction Week 2: Jobs (Unit 7) Week 3: Entertainment (Unit 8) Week 4: Invitations (Unit 8) Week 5: Activities and making plans (Unit 9) Week 6: Activities and making plans (Unit 9) Week 7: Midterm Exam Week 8: Shopping (Unit 10) Week 9: More shopping (Unit 10) Week 10: Describing processes, cooking (Unit 11) Week 11: Finish processes and cooking (Unit 11) Week 12: Movie Scripts Week 13: Music (Unit 12) Week 14: More Music (Unit 12) Week 15: Final Project		
テキスト、参考文献	#	評価方法			
English Firstha	nd 1 (Longman)	Midterm Proje 原則として 4 回以 principle, four or grade of F or X. ***If you are mo count as one abse	ect 30% Fi 上欠席した学生 more absence re than 15 m nce*** class, please	Plass participation 20% inal Project 30% 性は成績評価対象とならない。In s will automatically result in a inutes late three times, it will contact your classmate or the ssed.***	

00 「及が1年(1)	I a) / (Speaking in Acaden	nic Contexts I a)	担当者	J.ハサウェイ
講義目的、講義概要		授業計画		
This class is about communication should be fun. Students will practice speaking, and with each other. Leaning a language takes praction must come to class. We use English every day in class Mistakes are OK. Sitting quietle Homework – please visit quizlet work on vocabulary	with the teacher, ee. To learn, you s. ly is not OK.	Week 1 Week 2,3 Week 3,4 Week 5,6 Week 7 Week 8,9 Week 10,11 Week 12,13 Week 14 Week 15	Chapter 1 impersonal info Chapter 2, powith the tea Chapter 3, powith 1 quiz Chapter 4, gidislikes Chapter 5, ogiving exan Chapter 6, on a scale Review	olite language, speaking cher ersonalities, suggestions ving reasons for likes, effective ways to study,
http://quizlet.com/jimhathaway				
Questions? e-mail sumipainting	ng@yahoo.com			
Questions? e-mail sumipainting	ng@yahoo.com			
テキスト、参考文献		評価方法		
Speaking in Academic Contexts	<u>s I</u>		lass participatio Final exam 30%	n: 30%, Quizzes 40%
Dokkyo University text				orinciple an automatic F

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)			担当者	J.ハサウェイ	
講義目的、講義概要	要	授業計画			
This class is abo should be fun. This is a speakir speaking, with the Leaning a langumust come to class We use English of Mistakes are OK Homework – ple work on vocabu	ut communication. Learning ng class. Students will practice he teacher, and with each other. age takes practice. To learn, you ass. every day in class. X. Sitting quietly is not OK. ase visit quizlet every week to alary	Week 1,2 Week 3, 4 Week 5, 6 Week 7 Week 8, 9 Week 10,1	qu Ch ge Un kee U Ch as 1 Ch in 3 Ch	nestions, propagate and the examples and the examples are also consisted and the examples are the examples a	ter 9: Part-time Jobs, aversation going Choosing Your Career,
http://quizlet.cor Questions? e-ma	ail <u>sumipainting@yahoo.com</u>	Week 14 Week 15 評価方法		nit 4 quiz	inal exam
	ademic Contexts I	Evaluation:	Clas	ss participatio	n: 30%, Quizzes 40%
Dokkyo Unive		Warning!	Fin	al exam 30%	orinciple an automatic F

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング I a) / (Speaking in Acaden English 131 a Basic Communicative English	nic Contexts I a)	担当者	S.フォー
講義目的、講義概要	₹	授業計画		
communicative Group Activities topics. Emphas vocabulary, fu expressions to h communication. students will be fluent and active unnecessary sile	接着目的、講義概要 授業計画 The objective of this course is to develop communicative competence through Pair and 2-3: Personal 4-5: Family 6-7: Shopping ocabulary, fun language activities and expressions to help learners develop interpersonal communication. By the end of the course, I hope to the course of		Tech	ini performances
テキスト、参考文献	状	評価方法		
Nice Talking with Cambridge Univer	You 1 by Tom Kenny and Linda Woo, sity Press	Homework: 20% In-Class Presen Class Participat In principle, four a grade of F or X.	tations: 60% tion: 20 %	ices will automatically result in

08 年度以降(秋) English(スピーキング I b) / (Speaking in Academ 07 年度以前(秋) English 131-b Basic Communicative English	nic Contexts I b)	担当者	S.フォー
講義目的、講義概要 授業計画			
The objective of this course is to develop communicative competence through Pair and Group Activities on a number of high interest topics. Emphasis will be placed on using vocabulary, fun language activities and expressions to help learners develop interpersonal communication. By the end of the course, I hope students will be able to have more meaningful, fluent and active conversations, void of long and unnecessary silences. In fact, that the students' conversations will be more attention-grabbing	接業計画 s course is to develop stence through Pair and number of high interest ll be placed on using nguage activities and end of the course, I hope to have more meaningful, ersations, void of long and In fact, that the students' 1: Welcome by 2-3: Free time 4-5: Travel 6-7: Sports 8-9: Friends 10-11: Work 12: Movies/Ref 13-15: Group 13-15: Group		ini performances
テキスト、参考文献	評価方法		
Nice Talking with You 1 by Tom Kenny and Linda Woo, Cambridge University Press	Homework: 20 9 In-Class Presen Class Participat In principle, four a grade of F or X.	tations: 60 %	ces will automatically result in

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング I a) / (Speaking in Academic Contexts I a) English 131-a Basic Communicative English		担当者	S.A.フルトン	
講義目的、講義概要		授業計画			
This English speaking course will be content based with current topics in the media; a new topic will be covered each week. Students have the opportunity to learn the language associated with current stories in the national and international news, and use it in informal discussion with the teacher and classmates. The main focus is understanding the vocabulary related to the topics and using it in an academic context. Students will also have the opportunity to practice pronunciation and listening skills.		Week 1 – Introduction Week 2 – Vocabulary in current news topics Week 3 – Using synonyms to summarize Week 4 – Explaining meanings Week 5 – Paraphrasing Week 6 – Asking good questions Week 7 – Discussion Week 8 – Role playing Week 9 – Listening points with teacher Week 10 – Listening points with peers Week 11 – Pronunciation Week 12 – Intonation, stress and meaning Week 13 – Speaking test part 1 Week 14 – Speaking test part 2 Week 15 - Review and feedback			
テキスト、参考文献	・キスト、参考文献 評価方法				
No textbook requir	textbook required – handouts will be provided. 50% - Group a 30% - Speakin 20% - One sho 4 or more abse		test (in pair assignment	s)	

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English(スピーキング I b) / (Speaking in Academic Contexts I b) English 131-b Basic Communicative English		担当者	S.A.フルトン	
講義目的、講義概要	2	授業計画			
This English speaking course will be content based with current topics in the media; a new topic will be covered each week. Students have the opportunity to learn the language associated with current stories in the national and international news, and use it in informal discussion with the teacher and classmates. The main focus is understanding the vocabulary related to the topics and using it in an academic context. Students will also have the opportunity to practice pronunciation and listening skills.		Week 1 – Introduction Week 2 – Vocabulary in current news topics Week 3 – Using synonyms to summarize Week 4 – Explaining meanings Week 5 – Paraphrasing Week 6 – Asking good questions Week 7 – Discussion Week 8 – Role playing Week 9 – Listening points with teacher Week 10 – Listening points with peers Week 11 – Pronunciation Week 12 – Intonation, stress and meaning Week 13 – Speaking test part 1 Week 14 – Speaking test part 2 Week 15 - Review and feedback			
		評価方法			
No textbook requi	No textbook required – handouts will be provided. 50% - Group a 30% - Speakir 20% - One sho 4 or more abs		assignment	s) ;	

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング II a) / (Speaking in Academic Contexts II a: Presentation) English 231-a Basic Communicative English		担当者	S.フォー	
講義目的、講義概要		授業計画			
The purpose of this course is to help students plan, write		1. Introduction			
and deliver in-cl	ass presentations on a variety of	2.	2. Course Overview		
stimulating and ti	imely topics. Students will be guided	3. Education:			
on how to express	their opinions on important ideas and		-Learni	ng with a pu	ırpose
issues and would	be encouraged to listen carefully to	4. Speaking Up in Class			
other students' pr	resentations as well as take part in	5. Information Everywhere			
active class discuss	sions	6. Travel And Culture			
		-Preparing for a Trip			
		7. Living in a New Culture			
		8. Cultural Stereotypes			
		9. Health and Environment			
		-You are what you eat			
		10. Living with water			
		11. Problems and Hope			
		12. Review			
		13-15: Presentations/Evaluation			
テキスト、参考文献	#	評価方法			
	nt Opinions, by Richard McMahon,	Homework: 20%.			
NAN'UN-DO		In-Class Presentations: 60%			
			Class Participation: 20 %. In principle, four or more absences will automatically result in		
		a grade of F or X.			

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English(スピーキング II b) /(Speaking in Academic Contexts II b: Presentation) English 231-b Basic Communicative English			担当者	S.フォー	
語義目的、講義概要 The purpose of this course is to help students plan, write and deliver in-class presentations on a variety of stimulating and timely topics. Students will be guided on how to express their opinions on important ideas and issues and would be encouraged to listen carefully to other students' presentations as well as take part in active class discussions		1. Welcome back 2. Society —Women's Rights 3. Buy this, Buy that 4. On the Job 5. Relationships —No Strings Attached 6. Who is Taking Care of the Children 7. Caring About Others 8. Media and Technology -Read all about It 9. Is TV Good for You 10. Taking Access for Granted 11-12: Review 13-15: Presentations/Evaluation				
テキスト、参考文献 Presenting Differe NAN'UN-DO	nt Opinions, by Richard McMahon,	評価方法 Homework: 20 %. In-Class Presentations: 60 % Class Participation: 20%. In principle, four or more absences will automatically result in a grade of F or X.				

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	English(スピーキング II a) / (Speaking in Academic Contexts II English 231-a Basic Communicative Engli	担当者	J.ハサウェイ			
講義目的、講義概要		授業計画				
Learning should be fun. We will do presentations. We will talk about presentations. We will watch presentations. We will use youtube, TED talks, etc. We will also study interviewing and debating skills Students will do 3 major presentations each semester. We will analyze 3 professional presentations each semester. There will be new vocabulary introduced and quizzed. Students use English every day in class, and work together in groups to help each other improve. Leaning a language takes practice. To learn, you must come to class. Questions? e-mail sumipainting@yahoo.com		1. Introduction 2. Create first presentation 3. Practice in groups 4. Present to the class 5. Analyze presentations 6. Create 2 nd presentation 7. Work in groups 8. Present in groups 9. Present to the class 10 Begin 3 rd presentation 11. Work on presentation 12. Present first draft in groups 13. Present to full class 14. Final analysis 15. Review				
テキスト、参考文献		評価方法				
No text Please save the pa	Class work (Formal Presentations): 60% Homework: 15% Quizzes and examinations: 25% 4 absences is in principle an automatic F					

	English(スピーキング II b) /(Speaking in Academic Contexts II b: Presentation) English 231-b Basic Communicative English		J.ハサウェイ			
講義目的、講義概要	授業計画	授業計画				
Learning should be fun. We will do presentations. We will talk abore presentations. We will watch presentations. We will use youtube, TED talks, etc. We was also study interviewing and debating skills. Students will do 3 major presentations eas semester. We will analyze 3 profession presentations each semester. There will new vocabulary introduced and quizzed. Students use English every day in class, ar work together in groups to help each oth improve. Leaning a language takes practice. To learn, you must come to class. Questions? e-mail sumipainting@yahoo.com	2. Create first 3. Practice in a 4. Present to t 5. Analyze pre 6. Create 2 nd p 7. Work in gro 8. Present to t 9. Analyze and 10. Begin mid 11. Practice de 12. Formal de 13. Present to	1. Introduction 2. Create first presentation 3. Practice in groups 4. Present to the class 5. Analyze presentations 6. Create 2 nd presentation 7. Work in groups, begin debate skills 8. Present to the class 9. Analyze and review 10. Begin midterm presentation 11. Practice debating 12. Formal debate 13. Present to full class 14. Interviewing				
テキスト、参考文献	評価方法					
No text. I will give you some papers.	Class work: 60% Homework: 15% Quizzes and exa 4 absences is in	6 aminations: 2				

English (e-ラーニング)/ 08年度以降(春) (Computer Assisted English Learning (CAEL)) 担当者 岡田 圭子 07年度以前(春) English 351 Computer-Assisted English Learning 講義目的、講義概要 授業計画 ぎゅっと e というコンピュータプログラムを用いて、集中 1. シラバスとプログラムの説明 的に英語を学習し、リスニング、リーディング、文法の総 2. リスニング実力診断テスト・学習プログラムの作成 合的英語力と TOEIC スコアの向上を目指します。 3. テキスト Days 1-2 模擬試験 (リスニング) 受講対象者:短期間でTOEICスコアを向上させたい方。教 4. テキスト Day 6 模擬試験 (リスニング) 室内のみではなく、教室外での集中的で継続的な自主学習 5. テキスト Days 9-10 模擬試験 (リスニング) が必要となりますので、真剣に英語力を向上させたい方だ 6. テキスト Day 11 模擬試験(リスニング) け、受講してください。 7. リスニング実力診断テスト 受講条件: 8. リーディング実力診断テスト ・現在の TOEIC スコアが 250 点~500 点くらい 9. テキスト Days 3-4 (リーディング) (現在のスコアが低い方はそれを向上させるためにより 10. テキスト Day 5 (リーディング) 大きな努力が必要となります) 11. テキスト Days 7-8 (リーディング) 重要事項: 12. テキスト Day 9 (リーディング) ・教室外で、春学期中に20時間以上ぎゅっとeを学習 13. テキスト Day 10 (リーディング) ・学習プランの作成と詳細な学習記録 (ジャーナル) 14. リーディング実力診断テスト ・学習自己評価(2回) 15. アンケート・自己評価レポートの説明 ・実力診断テスト・学習プランの作成 •期末テスト 本科目は、半期完結なので、通年受講はできません。 テキスト、参考文献 評価方法 1. 『新 TOEIC テスト 直前の技術: スコアが上がりやすい 積極的な授業参加 20%、詳細な学習記録(ジャーナル) 20% 順に学ぶ』 (アルク) 学習プラン、20時間以上の自習、自己評価レポート30%

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English (e-ラーニング) / (Computer Assisted English Learning (CAEL))	担当者	岡田 圭子
	English 351 Computer-Assisted English Learning		

講義目的、講義概要

2. ぎゅっと e プログラム

ぎゅっとeというコンピュータプログラムを用いて、集中的に英語を学習し、リスニング、リーディング、文法の総合的英語力と TOEIC スコアの向上を目指します。

(体験版は http://gyutto-e.jp)

受講対象者:短期間でTOEIC スコアを向上させたい方。教室内のみではなく、教室外での集中的で継続的な自主学習が必要となりますので、真剣に英語力を向上させたい方だけ、受講してください。

受講条件:

・現在の TOEIC スコアが 250 点~500 点くらい (現在のスコアが低い方はそれを向上させるためにより 大きな努力が必要となります)

重要事項:

- ・教室外で、春学期中に20時間以上ぎゅっとeを学習
- ・学習プランの作成と詳細な学習記録(ジャーナル)
- ・学習自己評価(2回)
- ・実力診断テスト・学習プランの作成
- 期末テスト

本科目は、半期完結なので、通年受講はできません。

授業計画

期末テスト 30%

- 1. シラバスとプログラムの説明
- 2. リスニング実力診断テスト・学習プログラムの作成

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

- 3. テキスト Days 1-2 模擬試験 (リスニング)
- 4. テキスト Day 6 模擬試験 (リスニング)
- 5. テキスト Days 9-10 模擬試験(リスニング)
- 6. テキスト Day 11 模擬試験 (リスニング)
- 7. リスニング実力診断テスト
- 8. リーディング実力診断テスト
- 9. テキスト Days 3-4 (リーディング)
- 10. テキスト Day 5 (リーディング)
- 11. テキスト Days 7-8 (リーディング)
- 1 2. テキスト Day 9 (リーディング)
- 13. テキスト Day 10 (リーディング)
- 14. リーディング実力診断テスト
- 15. アンケート・自己評価レポートの説明

テキスト、参考文献

- 1. 『新 TOEIC テスト 直前の技術: スコアが上がりやすい 順に学ぶ』 (アルク)
- 2. ぎゅっとeプログラム (体験版は http://gyutto-e.jp)

評価方法

積極的な授業参加 20%、詳細な学習記録(ジャーナル) 20% 学習プラン、20 時間以上の自習、自己評価レポート 30% 期末テスト 30%

原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

08年度以降(春)	English(コンテント ii) / (English Explorations)		担当者	J. ラシーン	
講義目的、講義概要	2	授業計画			
class, this class is This class is an ex the perspective of Through lecture and in-class activity number of question - What is Applied - What is a word? - How many Englicy - How many	sh words are there? ean to know a word? sh words do you know right now? sh words does a Japanese	Tentative Schedule: 1. Course introduction 2. Applied Linguistics 3. What is a word? 4. Vocabulary Testing (This is not a test. The lesson about how to measure the nume words someone knows.) 5. Types of words: Content and function words. Types of word knowledge 7. Counting words: Lemmas and lexemes 8. Corpus Linguistics 9. Semantic relations between words 10. Word association 11. Vocabulary learning strategies 12. Vocabulary acquisition			
テキスト、参考文献	t e	評価方法			
Materials will be p	rovided by the instructor.	Participation: 10% Vocabulary quizze (In principle, four a grade of F or X.)	s: 40% Fina	oroject: 20% al exam: 30% nces will automatically result in	

08 年度以降(秋) English (コンテント iii)/ (English Exp	English (コンテント iii)/ (English Explorations)		飯島	優雅
講義目的、講義概要 ドイツ語学科・フランス語学科・経済学部・法学部 1~4年生を対象とする全カリ英語部門の選択科目です。 この English Explorations という科目は、言語や社会に関するひとつのテーマについて 1 学期間「英語で」学ぶことにより、テーマについての理解を深めながら、英語力と思考力を伸ばすことを目的としています。授業活動はすべて英語です。TOEIC450点以上を受講生の英語力の目安としますが、積極的に英語を使い授業に参加する努力ができる学生であればその限りではありません。 コンテントiii クラスの主要テーマは「Critical Thinking」です。Critical thinking は毎日の生活や職業生活でも重要と考えられますが、特に大学での学びと研究には不可欠な思考法です。この科目では Critical thinking に関する基本用語と概念を理解し、身近な題材を使って、議論や主張とその論拠を批判的に分析し、大学での学びの中心的スキルであるリーディングとライティングへ応用する練習を行います。	### 接業計画 ### 第1回目の授業で具体的な授業内容についてクラーバスを配布しますので興味のある学生は出席してい。以下は授業計画の一例です。 ### 第1回 Introduction to the course 第2回 What is critical thinking? ### 第3回 Preparing to think critically 第4回 Taking a critical approach 第5回 Argument 第6回 Assessing arguments: Reading between 第7回 Assessing arguments: Reading between 第8回 Assessing arguments: Putting texts into 第9回 Reading critically 第10回 Reading critically 第11回 Writing ctitically 第12回 Writing critically 第13回 Critical thinking in the disciplines		soning ween the lines s into context	
テキスト、参考文献 授業で資料を配布します。学期中は MyDOC 上で授業に関する連絡、宿題・課題提示、資料配布、グループワークを行いますので、週に1度以上必ず確認してください。				

English(資格 I) 08年度以降(春) 担当者 河原 伸一 /(Special Topics: Basic Test-taking Strategies) 講義目的、講義概要 授業計画 この授業は、TOEIC 関連教材を素材として、単語を増 毎回、単語(W)、リスニング(L)、文法(G)、リーディング(R) やし、文法を復習しながら、英語運用力全般を高めること の問題に取り組みます。授業では、具体的な解法を説明し を目的としています。 ます。 1. W, L, G, R スコアアップにつながる効果的な学習方法として、カー 2. W, L, G, R 3. W, L, G, R ドを使用した単語学習、Part 5/6 を使用した文法の復習、 4. 確認問題 スラッシュリーディング、スラッシュリスニング、シャド 5. W, L, G, R ーイングなどを紹介します。 6. W, L, G, R 7. W, L, G, R この中から、受講者各自にあった学習方法を選び、楽し 8. 確認問題 9. W, L, G, R い効果的な学習を継続し、英語運用力の向上を目指しまし よう。 10. W, L, G, R 11. W, L, G, R ① この科目は目安として TOEIC 400 点未満の英語力を持 12. W, L, G, R つ学生を対象とします。 13. 確認問題 ② 半期完結。通年履修不可。 14. W, L, G, R 15. 模擬テスト テキスト、参考文献 評価方法 原則として、4回以上欠席した学生は成績評価対象となり 授業において指示します。 ません。毎回の授業参加度・小テスト 40%、期末テスト 60%の結果に基づき総合的に評価します。

08年度以降(秋)	English(資格 I) /(Special Topics: Basic Test-taking Strategies)		担当者	河原 伸一
講義目的、講義概要 この授業は、TO やし、文法を復習し を目的としています スコアアップにつ ドを使リシュとも スコアリーたリーイン 「アーイングなどを紹介 この中かな学習を紹 い効果的な学習を紹 よう。	FEIC 関連教材を素材として、単語を増しながら、英語運用力全般を高めることけ。 つながる効果的な学習方法として、カー学習、Part 5/6 を使用した文法の復習、イング、スラッシュリスニング、シャドトします。 は者各自にあった学習方法を選び、楽し継続し、英語運用力の向上を目指しましてとして TOEIC 400 点未満の英語力を持さします。	授業計画 毎回、単語(W)、	リスニング(I みます。授業	河原 伸一 (R) (R) では、具体的な解法を説明し

テキスト、参考文献 授業において指示します。 評価方法

原則として、4回以上欠席した学生は成績評価対象となりません。毎回の授業参加度・小テスト 40%、期末テスト

60%の結果に基づき総合的に評価します。

08 年度以降(春)	English(資格 II) /(Special Topics: Advanced Test-taking	g Strategies)	担当者	松岡 昇 nbmatsuoka@ybb.ne.jp	
講義目的、講義概要	5	授業計画			
要性はますます高語 要性はますで表示を のののののののののでは であるのでは であるのでは でもちらいでは では行うに では行うに では行うに では行うに では行うに では行うに では行うに ではれる。 では行うに ではれる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	D語彙力」の増強 n の演習 (Parts 1-4) と解説 の演習 (Parts 5-7) と解説 的な方法については教室で指示する。	2回目: Chaps 3回目: Chaps 4回目: Chaps 5回目: Chaps 6回目: Chaps Apartm 7回目: Review 8回目: Chaps Telepho 10回目: Chaps Presel 11回目: Chaps の3) 12回目: Chaps Trends 13回目: Chaps Trends 14回目: Chaps Trends	1, 2: At an Aii 3, 4: On the S Shopping / 「 6, 7: At a Bar 8, 9: Seeing S ent / 「英語独習 0: Sports / 「 11, 12: Job H one s 13, 14: App intation 15: Negotiation s 16, 17: Mee s 18, 19: Dea s 20: Parties / 「	アリカンと TOEIC」について rport / At a Hotel Street / At a Restaurant 機能表現(定型句)」(その 1) nk / Taking a Trip the Doctor / Renting an 法」機能表現(定型句)」(その 2) lunting / Talking on the ointments / Giving a on / 「機能表現(定型句)」(それでは fing / Business Performance ling with Complaints / Market 機能表現(定型句)」(その 4)	
テキスト、参考文献	T	評価方法	, 10 同一50 占	5) 史期試験 (50.4)	
Kick Off for the TOD 学習方法関連のプリ	EIC Test(松岡昇著、金星堂) リントを配布	小テスト(5 点 x 10 回=50 点)、定期試験(50 点) NB: In principle, four or more absences will automatically result in a grade of F or X.			

08 年度以降(秋)	English(資格 II) /(Special Topics: Advanced Test-taking	g Strategies)	担当者	松岡 昇 nbmatsuoka@ybb.ne.jp
講義目的、講義概要	£	授業計画		
要性はまった。 ますをを目れる。 ますであるのの対対であるのではできるのではできるのではできるのではできる。 でであるのではできるではできる。 ではできるではできるではできる。 ではできるではできるではできる。 ではできるではできる。 ではできるではできる。 ではできるではできる。 ではないではない。 ではなない。	D語彙力」の増強 n の演習 (Parts 1-4) と解説 の演習 (Parts 5-7) と解説 的な方法については教室で指示する。	2 回目: Chaps 3 3 回目: Chaps 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1, 2: At an Air 3, 4: On the S Shopping / 「 6, 7: At a Bar 8, 9: Seeing tent / 「英語独習: 0: Sports / 「 11, 12: Job H one 6: 13, 14: Appontation 5: Negotiation 6: 16, 17: Mee 6: 18, 19: Dea 6: 20: Parties / 「	Street / At a Restaurant 機能表現 (定型句)」(その 1) k / Taking a Trip he Doctor / Renting an
テキスト、参考文献	†	評価方法		
Kick Off for the TOB 学習方法関連のプリ		four or more	i)、定期試験(50 点) absences will automatically	

08年度以降(春)	English(資格IV) / (Special Topics: Advanced Test-takin	g Strategies)	担当者	M. クロフォード
講義目的、講義概要	5	授業計画		
IELTS (Internation System) exam. This now widely recogn. North America. Students will fit contents of the exalearn both study story for improving their have an opportunity practice questions (listening, reading a practice test. Although the construction of the exales of the exales of the example of the example. Although the example of the example	designed for students with TOEIC ove.	1. Introduction 2. Unit 1 3. Unit 1 (continue) 4. Unit 2 5. Unit 2 (continue) 6. Unit 3 7. Unit 3 (continue) 8. Unit 4 9. Unit 4 (continue) 10. Unit 5 11. Unit 5 (continue) 12. Unit 6 13. Unit 6 (continue) 14. Review 15. Final exam	nued) nued) nued) nued) nued)	e / IELTS exam
テキスト、参考文南	t .	評価方法		
To be announced or	n the first day of class.	exam: 50% 原則として 4 回以上が	欠席した学生は成	omework: 30%, Final 就績評価対象とならない。In principle, result in a grade of F or X.

08 年度以降(秋)	English(資格Ⅲ) / (Special Topics: Advanced Test-takin	g Strategies)	担当者	飯島	優雅	
講義目的、講義概要		授業計画				
生を対象とする全然 TOEFL iBT は、国 英語を使用・理解す スピーキング、ライ 学術的な課題を遂行 このクラスでは TO 基本の test-taking 返し行います。英語 学生に適したクラス 目安として、TOEI Academic Reading 既に履修済みか、当 学期中は MyDOC	アンス語学科・経済学部・法学部 1~4年のリ英語部門の選択科目です。 国際的な英語能力試験で、大学レベルのる能力と、リスニング、リーディング、ソティングの各スキルを組み合わせて、でする能力を測定・評価する試験です。 DEFL iBT テストの各パートに必要ないないです。を理解し、実践する練習を繰りを開大学・大学院への留学に関心のあるの知的活動で使える英語力を伸ばしたいくです。 C 450 点以上の英語力、全カリ英語のStrategies I と Academic Writing Iを定行履修していることが望ましいです。 上で授業に関する連絡、宿題・課題提示、プワークを行います。週に1度以上必ず	第1回目の授業 バスを配布し援業 い。以下は授業 第1回 Introduc 第2回 Practice 第3回 Speakin 第4回 Speakin 第5回 Writing 第7回 Writing 第9回 Reading 第10回 Reading 第10回 Reading 第11回 Readin 第12回 Listeni 第14回 Listeni 第14回 Listeni	すので興味の 計画の一例で ction to the c Test g g g g ing ing)ある学生は出 す。	席してくださ	
テキスト、参考文献		評価方法				
第1回目の授業の打	旨示に従うこと。	積極的な授業活動による総合評価。 評価対象とならな	原則として	4回以上欠席し		

08 年度以降(春) English(発音)/(Special Topics: Pronunc	08 年度以降(春) English(発音)/ (Special Topics: Pronunciation Workshop)		各担当教員
講義目的、講義概要	授業計画		
ドイツ語・フランス語・経済・経営・国際環境経済・法律・ 国際関係法・総合政策学科の学生を対象とする、半期完結 の選択科目です。春学期と秋学期の学習内容は同じですの で、いずれかの学期にのみ履修してください。 大学や仕事の様々な場面で英語が使えるよう、だれにでも 理解されやすい、明瞭でなめらかな英語発音を目指しま す。主に次の項目を、リスニングとスピーキングスキルを 統合したコミュニカティブな授業活動と、シャドーイング などの自律的学習を通して訓練します。 ・母音・子音の発音、音の短縮・脱落・同化・結合 ・イントネーション、リズム、発声、スピード、音量 ・発音記号と辞書の使い方 ・英語と日本語の発音の違い 学生には、授業内外で自発的に自らの発音に意識を向け、 改善に取り組む姿勢が求められます。	※履修希望者は、 2~14回目詳細は 15回目 授業の	必ず出席する	(シラバス配布・教科書発表) こと。 配布のクラスシラバス参照。
テキスト、参考文献	評価方法		

授業参加 30%

30%

課題

期末試験 30%

※原則として4回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

10%

Grant, L. (2010). Well Said, Third Edition. Cengage.

08 年度以降(秋) English (発音) / (Special Topics: Pronunc	iation Workshop)	担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	授業計画		
ドイツ語・フランス語・経済・経営・国際環境経済・法律・ 国際関係法・総合政策学科の学生を対象とする、半期完結 の選択科目です。春学期と秋学期の学習内容は同じですの で、いずれかの学期にのみ履修してください。 大学や仕事の様々な場面で英語が使えるよう、だれにでも 理解されやすい、明瞭でなめらかな英語発音を目指しま す。主に次の項目を、リスニングとスピーキングスキルを 統合したコミュニカティブな授業活動と、シャドーイング などの自律的学習を通して訓練します。 ・母音・子音の発音、音の短縮・脱落・同化・結合 ・イントネーション、リズム、発声、スピード、音量 ・発音記号と辞書の使い方 ・英語と日本語の発音の違い 学生には、授業内外で自発的に自らの発音に意識を向け、 改善に取り組む姿勢が求められます。	※履修希望者は、 2~14 回目 詳細(必ず出席する	(シラバス配布・教科書発表) こと。 配布のクラスシラバス参照。
テキスト、参考文献	評価方法		
Grant, L. (2010). Well Said, Third Edition. Cengage.	授業参加 30% 発表 30% ※原則として4回	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	10% 険 30% 学生は成績評価対象とならない。

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)	0 - 1 - 1 - 1	nglish (基礎文法 a)/(Special Topics: Grammar Refresher a) nglish 121-a Basic Composition (Grammar Refresher)		垣下 圭子	
講義目的、講義概要	· 要	授業計画			
高校までに学んだる	文法事項を、実用的に使いこなせるよう	1. オリエンテ	ーション、チ	現在形、現在進行形	
になることを目標と	とする。	2. 現在形・現る	在進行形		
		3. 過去形			
文法事項のなかで	も、英語力向上のために不可欠な項目	4. 過去形			
と、理解が不十分な	な項目に焦点をあてる。	5. 過去形			
単なるドリル形式の	の演習ではなく、リーディングやリスニ	6. 未来形			
ング、ライティンク	グの形式を取り入れながら、実際に活用	7. 未来形			
して、総合的な英語	悟力の向上につなげていく。	8. 名詞・冠詞・数詞			
		9. 名詞・冠詞・数詞			
授業では、テキスト	トを用いての練習問題に加え、学習した	10.現在完了形・過去完了形			
7 11 7 7 1 7 1 1 1 1	でどのように用いられているかを、雑				
	国などで確認する活動や、グループワー				
	で実際に使用する活動を行う。	13.疑問文・熟語			
更には、単元毎に、	小テストを実施し、知識の定着を図る。	14. 総復習			
		15. 総復習			
	300点台後半から400点台半ば程度				
の学生が受講するこ					
テキスト、参考文献	就	評価方法			
Grammar Form as	nd Function 2A (McGrawHill)		して、4回以	小テスト(30%)期末試験(40%) 上欠席した学生は、成績評価	

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋)	English (基礎文法 b)/(Special Topics: Gran English 121-b Basic Composition (Gramm		担当者	垣下 圭子
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
になることを目標と 文法事項のなかで と、理解が不十分な 単なるドリル形式の ング、ライティンク して、総合的な英語 授業では、テキスト 文法事項が実生活 誌・ニュース・映画 クやペアーワークで 更には、単元毎に、	も、英語力向上のために不可欠な項目な項目に焦点をあてる。 2項目に焦点をあてる。 2演習ではなく、リーディングやリスニ での形式を取り入れながら、実際に活用 医力の向上につなげていく。 ・を用いての練習問題に加え、学習したでどのように用いられているかを、雑 面などで確認する活動や、グループワーで実際に使用する活動を行う。 小テストを実施し、知識の定着を図る。 300点台後半から400点台半ば程度	1. オ動動比比受受接接	定定上と 詞詞・・・ 詞詞級級 節節副副仮 詞詞定法	名詞・不定詞
テキスト、参考文献	t l	評価方法		
Grammar Form an	nd Function 2B (McGrawHill)		して、4回以	小テスト(30%)期末試験(40%) 上欠席した学生は、成績評価

08 年度以降(春) 07 年度以前(春)

English (基礎文法 a)/(Special Topics: Grammar Refresher a) English 121-a Basic Composition (Grammar Refresher)

担当者

豊田 宣是 (木曜日・1 時限)

講義目的、講義概要

この授業の目的は、英文法を基礎から学び直し、日常レベルで使える英語力を鍛えることです。

英語習得の過程において、英文法を学ぶことは必須です。母語である日本語と外国語としての英語を比較・対照することで浮かび上がってくる英語独特の世界観や発想方法を理解せずには、インプットもアウトプットもできるようになりません。その土台となるものが文法です。授業では、補助教材も用いながら、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの能力の向上を図るための活動も臨機応変に行う予定です。

TOEICの得点が 300 点台後半までの学生が受講することが 望ましいです。

授業計画

Week 1 オリエンテーション

Week 2-4 Lesson 1-2:主語
Week 5-6 Lesson 3:時制
Week 7-9 Lesson 4-5:冠詞
Week 10-12 Lesson 6-7:名詞

Week 13-15 まとめ

テキスト、参考文献

Shukei Funada et al., *Communicative English Grammar for Speaking and Writing*, Eihosha, 2010.

評価方法

課題・小テスト 60% + 期末試験 40% 総合点で 60 点以上を合格とします。 原則として 4 回以上欠席した学生は成績評価対象とならな

08 年度以降(秋) 07 年度以前(秋) English (基礎文法 b)/(Special Topics: Grammar Refresher b) English 121-b Basic Composition (Grammar Refresher)

担当者

豊田 宣是 (木曜日・1 時限)

講義目的、講義概要

この授業の目的は、英文法を基礎から学び直し、日常レベルで使える英語力を鍛えることです。

英語習得の過程において、英文法を学ぶことは必須です。母語である日本語と外国語としての英語を比較・対照することで浮かび上がってくる英語独特の世界観や発想方法を理解せずには、インプットもアウトプットもできるようになりません。その土台となるものが文法です。授業では、補助教材も用いながら、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの能力の向上を図るための活動も臨機応変に行う予定です。

TOEICの得点が 300 点台後半までの学生が受講することが 望ましいです。

授業計画

Week 1 オリエンテーション

Week 2-4 Lesson 8-9: 助動詞、不定詞、動名詞

Week 5 Lesson 10: 否定 Week 6 Lesson 11: 受動態 Week 7 Lesson 12: 比較 Week 8 Lesson 13: 代名詞 It

Week 9-11 Lesson 14: 前置詞・副詞

Week 12 Lesson 15: 複文

Week 13-15 まとめ

テキスト、参考文献

Shukei Funada et al., *Communicative English Grammar for Speaking and Writing*, Eihosha, 2010.

評価方法

課題・小テスト 60% + 期末試験 40% 総合点で 60 点以上を合格とします。 原則として 4 回以上欠席した学生は成績評価対象とならない。

08 年度以降(春) English (基礎文法 a)/(Special Topics: Grammar Refresher a) 担当者 菊池 武 English 121-a Basic Composition (Grammar Refresher) 07 年度以前(春) 講義目的、講義概要 授業計画 この授業では、高等学校までに学んだ文法事項につい オリエンテーション、現在形・現在進行形 て、その内容をあらためて確認し、その上で実際に運用で 過去形·過去進行形 きるようになることを目標とする。 3. 現在完了形と現在完了進行形 文法事項の中には、規則として理解はしているものの、 4. 現在完了形と過去形 いざとなると実際には活用できないものが多いのではな いであろうか。これは、簡単と思われる文法事項でさえも、 5. 疑問文 現実にそれらを活用する機会や練習が不足してきたこと 6. 動名詞・so, neither の用法 が一つの原因と考えられる。この授業では、文法を自らの 7. 依頼の表現・不可算名詞 意思を表現するための一つの有効な手段として考え、目標 8. 使役動詞・間接話法(1) とする文法事項が自然に活用される機会を豊富に設定し、 9. 過去完了・過去完了進行形 グループワークやペアワーク等を含む様々な活動を行う。 その結果として、自然な形で文法事項に対する理解を深め 10. 目的語を2つ取る動詞・時を表す節 て定着させ、新たな視点で文法をとらえ、今後の英語学習 11. 間接話法(2) に有効に活用していくことを最終的な到達目標と考えて 12. 必要・義務の表現 いる。また、補助教材を活用し、応用力をつけることを目 13. 推量の表現・so, such の用法 指す。学部学科の枠を超えた学生が切磋琢磨し、積極的に 授業に参加することを求める。 14. both, neither; all, none の用法 TOEIC の得点が 400 点台半ば以上の学生が受講するこ 15. 総復習 とが望ましい。

•	授業への参加の姿勢、課題の提出、期末テスト等の結果を
	ふまえ、総合的に評価する。原則として4回以上欠席した 学生は成績評価対象とならない。

08 年度以降 (秋)
07 年度以前 (秋)English (基礎文法 b)/(Special Topics: Grammar Refresher b)
English 121-b Basic Composition (Grammar Refresher)担当者

講義目的、講義概要

テキスト 参孝文献

この授業では、高等学校までに学んだ文法事項について、その内容をあらためて確認し、その上で実際に運用できるようになることを目標とする。

文法事項の中には、規則として理解はしているものの、いざとなると実際には活用できないものが多いのではないであろうか。これは、簡単と思われる文法事項でさえも、現実にそれらを活用する機会や練習が不足してきたことが一つの原因と考えられる。この授業では、文法を自らの意思を表現するための一つの有効な手段として考え、目標とする文法事項が自然に活用される機会を豊富に設定し、グループワークやペアワーク等を含む様々な活動を行う。その結果として、自然な形で文法事項に対する理解を深めて定着させ、新たな視点で文法をとらえ、今後の英語学習に有効に活用していくことを最終的な到達目標と考えている。また、補助教材を活用し、応用力をつけることを目指す。学部学科の枠を超えた学生が切磋琢磨し、積極的に授業に参加することを求める。

TOEIC の得点が 400 点台半ば以上の学生が受講することが望ましい。

授業計画

郵価七法

- 1. オリエンテーション、仮定法(1)
- 2. 関係詞
- 3. need+-ing; have/get something done の用法
- 4. 間接疑問文
- 5. 義務の表現・動詞句
- 6. 付加疑問・願望の表現(1)・可算名詞
- 7. 受動態(1)
- 8. 受動態(2)
- 9. 不定詞
- 10. 仮定法(2)
- 11. 副詞・願望の表現(2)
- 12. 不定詞(2)・動名詞(2)
- 13. 未来完了
- 14. 時制のまとめ
- 15. 総復習

テキスト、参考文献

Grammar three (Oxford University Press)

評価方法

授業への参加の姿勢、課題の提出、期末テスト等の結果を ふまえ、総合的に評価する。原則として4回以上欠席した 学生は成績評価対象とならない。

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース ドイツ語 (Ia 基礎) ドイツ語 Ia (基礎)	担当者	各担当教員	
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業計画		
春学期+秋学期の学 4級に合格学習を通 関する(できるだけ 講義概要 ドインきまるを けでは、 使用れい語まなおおい、 がです。イン・ がです。イン・ がでするに付属の を がでするが、 がでするが、 がでするが、 がでするが、 がでするが、 がでするが、 で がでするが、 で がで が、 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	語の基本的能力の習得です。具体的には、 学習で「ドイツ語技能検定試験(独検)」 べル達成を目指します。 して、同時にドイツ語圏の生活や文化に アクチュアルな)情報獲得を図ります。 的能力を、実際的な練習を通して身につ ドイツ語の基礎を総合的に学べるよう また使われている表現や語彙も、実際に したり滞在するときに役立つものばか り DVD によって、映像を通してドイツ 学ぶことができますし、さらに付属の や発音の練習にも役立ちます。 員のもとで行われます。この授業を通し 本的な仕組みや語彙を、そしてドイツ事 本系的に学びましよう。	1. ドイツ語学習 2. Lektion 1 (1 3. Lektion 2 (1 4. Lektion 2 (2 6. Lektion 3 (1 7. Lektion 3 (2 8. Lektion 4 (1 9. Lektion 4 (2 10. Lektion 5 (11. Lektion 5 (12. Lektion 6 (13. Lektion 6 (14. ポイントの約15. まとめ) (1) (2) (1) (2)	
テキスト、参考文献	#	評価方法		
ルリン>DVD 付き	イツ語の時間<ビデオ教材 恋するべ (Meine Deutschstunde mit DVD rlin!)』(朝日出版社)2007 年	学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 基礎コース ドイツ語 (Ib 基礎) 07 年度以前 ドイツ語 Ib (基礎)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要 講義目的 1) 目的は、ドイツ語の基本的能力の習得です。具体的には、春学期+秋学期の学習で「ドイツ語技能検定試験(独検)」4級に合格できるレベル達成を目指します。 2) 言語の学習を通して、同時にドイツ語圏の生活や文化に関する(できるだけアクチュアルな)情報獲得を図ります。 講義概要 ドイツ語の基本的能力を、実際的な練習を通して身につけていきます。 使用する教材は、ドイツ語の基礎を総合的に学べるよう考えられており、また使われている表現や語彙も、実際にドイツ語圏に旅行したり滞在するときに役立つものばかりです。また付属の DVD によって、映像を通してドイツ語/ドイツ事情を学ぶことができますし、さらに付属のCDは、リスニングや発音の練習にも役立ちます。 授業は日本人教員のもとで行われます。この授業を通して、ドイツ語の基本的な仕組みや語彙を、そしてドイツ事情を、楽しくかつ体系的に学びましょう。	1. 既習事項の行 2. Lektion 7 (1 3. Lektion 7 (2 4. Lektion 8 (1 5. Lektion 8 (2 6. Lektion 9 (2 8. Lektion 10 (9 9. Lektion 11 11. Lektion 11 12. Lektion 12 13. Lektion 12 14. ポイントの 15. まとめ	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2)	への導入
テキスト、参考文献	評価方法		
清野 智昭:『ドイツ語の時間<ビデオ教材 恋するベルリン>DVD 付き(Meine Deutschstunde mit DVD Auf geht's nach Berlin!)』(朝日出版社)2007 年	学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 07 年度以前	総合コース ドイツ語 (Ia 基礎) ドイツ語 Ia (基礎)	担当者	各担当教員	
講義目的、講義概要	. 2	授業計画		
春学期+秋学期の4 4級に語ので習るだ 調する(ご言語のできるができるができるができるができるができるができるができるができまるである。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	語の基本的能力の習得です。具体的には、 学習で「ドイツ語技能検定試験(独検)」 べル達成を目指します。 して、同時にドイツ語圏の生活や文化に アクチュアルな)情報獲得を図ります。 的能力を、実際的な練習を通して身につ ドイツ語の基礎を総合的に学べるよう また使われている表現や語彙も、実際に したり滞在するときに役立つものばか り DVD によって、映像を通してドイツ 学ぶことができますし、さらに付属の や発音の練習にも役立ちます。 員のもとで行われます。この授業を通し 本的な仕組みや語彙を、そしてドイツ事 本系的に学びましょう。	1. ドイツ語学習 2. Lektion 1 (1 3. Lektion 1 (2 4. Lektion 2 (1 5. Lektion 3 (1 7. Lektion 3 (2 8. Lektion 4 (1 9. Lektion 4 (2 10. Lektion 5 (1) 11. Lektion 5 (1) 12. Lektion 6 (1) 13. Lektion 6 (1) 14. ポイントの 15. まとめ) (1) (2) (2)	
テキスト、参考文献	.	評価方法		
ルリン>DVD 付き	イツ語の時間<ビデオ教材 恋するべ (Meine Deutschstunde mit DVD rlin!)』(朝日出版社)2007 年	学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 総合コース ドイツ語 (Ib 基礎) 07 年度以前 ドイツ語 Ib (基礎)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要 講義目的 1) 目的は、ドイツ語の基本的能力の習得です。具体的には、春学期+秋学期の学習で「ドイツ語技能検定試験(独検)」4級に合格できるレベル達成を目指します。 2) 言語の学習を通して、同時にドイツ語圏の生活や文化に関する(できるだけアクチュアルな)情報獲得を図ります。 講義概要 ドイツ語の基本的能力を、実際的な練習を通して身につけていきます。 使用する教材は、ドイツ語の基礎を総合的に学べるよう考えられており、また使われている表現や語彙も、実際にドイツ語圏に旅行したり滞在するときに役立つものばかりです。また付属のDVDによって、映像を通してドイツ語/ドイツ事情を学ぶことができますし、さらに付属のCDは、リスニングや発音の練習にも役立ちます。 授業は日本人教員のもとで行われます。この授業を通して、ドイツ語の基本的な仕組みや語彙を、そしてドイツ事情を、楽しくかつ体系的に学びましょう。	1. 既習事項の行 2. Lektion 7 (1 3. Lektion 8 (1 5. Lektion 8 (2 6. Lektion 9 (2 8. Lektion 10 (2 9. Lektion 10 (2) 10. Lektion 11 11. Lektion 11 12. Lektion 12 13. Lektion 12 14. ポイントの 15. まとめ	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (1) (2) (2) (2) (2)	への導入
清野 智昭:『ドイツ語の時間<ビデオ教材 恋するベルリン>DVD 付き(Meine Deutschstunde mit DVD Auf geht's nach Berlin!)』(朝日出版社)2007年			び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	ドイツ語(Ia 会 ドイツ語 Ia(st			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	更			授業計画		
講義目的 ネイティすすること は ボ生活ように 講義概要 インに関いなること は で、関いないで、 で、関いないで、 で、関いて、 でもはを はいで、 でい。	まざま さまま まな まな と まと まに と に に に に に に に に に に に に に	らが、ドイツ語で 。 な場面で使われる を通して身につい すが、そこで何。 で覚えること。	で表現で あ典 型 い 重 授 に の の き 要 業 に の の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に に に に に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。	1. ドイツ語学習 2. Lektion 1 (1 3. Lektion 1 (2 4. Lektion 2 (1 5. Lektion 3 (1 7. Lektion 3 (2 8. Lektion 4 (1 9. Lektion 4 (2 10. Lektion 5 (1) 11. Lektion 5 (1) 12. Lektion 6 (1) 13. Lektion 6 (1) 14. ポイントの 15. まとめ	(1) (2) (1) (2) (1) (2)	
テキスト、参考文献				評価方法	_	
佐藤+下田+Paper ーネン1 場面で学 修社)2006年				学期末テスト、「評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

講義目的	授業計画 1. 既習事項の復		
きるようになることを目指します。 講義概要 ネイティヴ教員のもと、日常的な場面で使われる典型的な表現を、さまざまな実際的練習を通して身につけていきます。練習は段階的に進められますが、そこで何より重要なのは、声を出して練習し、身体で覚えること。この授業で、ぜひ「ドイツ語を使う楽しさ」を味わってみてください。	2. Lektion 7 (1 3. Lektion 7 (2 4. Lektion 8 (1 5. Lektion 8 (2 6. Lektion 9 (1 7. Lektion 10 (1 9. Lektion 10 (1 10. Lektion 11 11. Lektion 11 12. Lektion 12 13. Lektion 12 14. ポイントの 15. まとめ)))))) (1) (2) (1) (2) (1) (2)	への導入
佐藤+下田+Papenthin+Oldehaver : 『CD 付き スツェーネン1 場面で学ぶドイツ語 (Szenen 1 integriert)』(三	評価方法 学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 基礎コース ドイツ語 (IIa 基礎) 07 年度以前 ドイツ語 IIa (基礎)		担当者	宮村 重徳
講義目的、講義概要	授業計画		
講義目的 1) 1 年次に学習したことを復習し、さらにそれを発展させながら、一層のドイツ語能力向上を図ります。具体的には、2 年次春学期+秋学期の学習を終えた段階で「ドイツ語技能検定試験(独検)」3級に合格できるレベル達成を目指します。 2) 1 年次に続き、言語の学習を通して、同時にドイツ語圏の生活や文化に関する(できるだけアクチュアルな)情報の獲得を図ります。 講義概要 1 年次に学習したことを土台に、とりわけ読解を中心とした練習を通して、ドイツ語の応用能力を発展させていきます。 使用する教材は、ドイツ語を読む楽しさを味わうことを目指しており、さまざまな練習を通して主体的にテクストとかかわることで、ドイツ語の仕組みを体得できるよう考えられています。 授業は日本人教員のもとで行われます。この授業を通して、ドイツ語の仕組みをより深く理解し、さらにドイツ語/ドイツ文化の世界を広げていきましょう。	1. 既習事項の和 2. Lektion 1 (1 3. Lektion 1 (2 4. Lektion 2 (1 5. Lektion 3 (1 7. Lektion 3 (2 8. Lektion 4 (1 9. Lektion 4 (2 10. Lektion 5 (1 11. Lektion 5 (1 12. Lektion 6 (1 13. Lektion 6 (1 14. ポイントの 15. まとめ))))))))))) (1) (2) (1)	への導入
テキスト、参考文献	評価方法		
清野+須藤+會田: 『ドイツ語の時間―読解編<読めると楽しい!>(Meine Deutschstunde – Lesen mit Strategie)』(朝日出版社)2011年	学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

F								
08 年度以降 07 年度以前	基礎コース		(IIb 基礎) IIb (基礎)			担当者	宮村	重徳
講義目的、講義概要	要			授業	計画			
講義日の 1)1 なが 2 年 検 1)1 なが 2 年 検 1)1 なが 2 年 検 1 を 1)1 なが 2 年 検 1 を 2)1 年 活 を 3 ま で 2)1 年 活 を 3 ま で 4 ま で 4 ま で 4 ま で 4 ま で 4 ま で 5 ま で 5 ま で 6 ま で 6 ま で 6 ま で 6 ま で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 8 を 7 で 8 を 7 で 7 で 8 を	マ 学 期 部 の 学 引 る の に で を で を で を で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で も も も も も も も も も も も も も	をえき しけ 、用 む通組 れ理図たる てア と能 楽しみ ま解り段レ 、ク り力 してを すしま階べ 同チ わを さ主体 。、すてル 時っ	で、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	既習事項のる Lektion 7 (2 Lektion 8 (1 Lektion 8 (2 Lektion 9 (2 Lektion 10 (2 Lektion 10 (2 Lektion 11 Lektion 11 Lektion 12 Lektion 12 よとないからない。 まとめ	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (1) (2) (2) (2)	への導入	
テキスト、参考文献				評価	方法			
清野+須藤+會田	: 『ドイツ語 <i>0</i>	り時間―読	解編<読める	<u> </u>	十二ヵ l = i	可告と おと	7次年 のかも	四声に甘 ざいて

評価を行います。

学期末テスト、平常点、および授業への参加度に基づいて

と楽しい!> (Meine Deutschstunde – Lesen mit Strategie)』(朝日出版社)2011年

08 年度以降 07 年度以前		ドイツ語(IIa 基礎) ドイツ語 IIa(基礎)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	<u> </u>		授業計画		
な 2 作 () () () () () () () () () (ツ語能学に 対調の 対調の 対調の 対調の がででででででできる。 をツッカなツッなツッなツッなツッなツッとよりででです。 を当時でででできる。 大部ででできる。 大部ででできる。 大部ででででいる。 大部ででででいる。 はいましている。 は	さらにそれを発展には技とさいます。具体的に悪情には大きを発展には苦いで、「ドイツ」を含むしてアクチュアルなりでは、ためでは、では、大きをは、大力のでは、では、大力のではないかいかいのではないないかいかいのではないかのではないかいかいのではないかいかいのではないかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいのではないかいかいかいかいかいかいかいかいかり	1. 既習事項の研 2. Lektion 1 (1 3. Lektion 2 (1 4. Lektion 2 (2 6. Lektion 3 (1 7. Lektion 3 (2 8. Lektion 4 (1 9. Lektion 4 (2 10. Lektion 5 (1) 11. Lektion 5 (1) 12. Lektion 6 (1) 13. Lektion 6 (1) 14. ポイントの 15. まとめ) (1) (2) (1) (2)	への導入
テキスト、参考文献	状		評価方法		
清野+須藤+會田: と楽しい!>(Mei Strategie)』(朝日日	ine Deutschstu		学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	ドイツ語(IIb 基礎) ドイツ語 IIb(基礎)			担当者	各担当教員	
講義目的、講義概要			授	授業計画			
講義目的							
1)1 年次に学習したことを復習し、さらにそれを発展させ			1.				
ながら、一層のドイツ語能力向上を図ります。具体的には、			_	Lektion 7 (1			

1)1 年次に学習したことを復習し、さらにそれを発展させながら、一層のドイツ語能力向上を図ります。具体的には、2 年次春学期+秋学期の学習を終えた段階で「ドイツ語技能検定試験(独検)」3級に合格できるレベル達成を目指します。

2) 1 年次に続き、言語の学習を通して、同時にドイツ語圏の生活や文化に関する(できるだけアクチュアルな)情報の獲得を図ります。

講義概要

1年次に学習したことを土台に、とりわけ読解を中心とした練習を通して、ドイツ語の応用能力を発展させていきます。

使用する教材は、ドイツ語を読む楽しさを味わうことを目指しており、さまざまな練習を通して主体的にテクストとかかわることで、ドイツ語の仕組みを体得できるよう考えられています。

授業は日本人教員のもとで行われます。この授業を通して、ドイツ語の仕組みをより深く理解し、さらにドイツ語 / ドイツ文化の世界を広げていきましょう。

- 3. Lektion 7 (2)
- 4. Lektion 8 (1)
- 5. Lektion 8 (2)
- 6. Lektion 9 (1)
- 7. Lektion 9 (2)
- 8. Lektion 10 (1)
- 9. Lektion 10 (2)
- 10. Lektion 11 (1)
- 11. Lektion 11 (2)
- 12. Lektion 12 (1)
- 13. Lektion 12 (2)
- 14. ポイントの総復習
- 15. まとめ

評価方法

評価を行います。

テキスト、参考文献

清野+須藤+會田: 『ドイツ語の時間―読解編<読めると楽しい!>(Meine Deutschstunde – Lesen mit Strategie)』(朝日出版社)2011年

学期末テスト、平常点、および授業への参加度に基づいて

264

08年度以降 総合コース ドイツ語 (IIa 会話) 担当者 各担当教員 07年度以前 ドイツ語 IIa (会話) 講義目的、講義概要 授業計画 講義目的 1. 既習事項の復習と新学期への導入 ネイティヴ教員のもと、1 年次に学習したことを土台に 2. Lektion 1 (1) して、身近なことがらに関するドイツ語圏の事情を学び、 3. Lektion 1 (2) さらにそれに対応する日本事情をドイツ語で表現できる 4. Lektion 2 (1) ようになることを目指します。 5. Lektion 2 (2) 6. Lektion 3 (1) 講義概要 7. Lektion 3 (2) ネイティヴ教員のもと、さまざまな日常的テーマを扱い 8. Lektion 4 (1) ながら「話す、聞く、読む、書く」という4技能の一層の 9. Lektion 4 (2) 向上を図ります。 10. Lektion 5 (1) 対話、聞き取り、読み物、作文等、いろいろ変化に富ん 11. Lektion 5 (2) だ練習を行いますが、それによって実際的な言語応用能力 12. Lektion 6 (1) を養成していきます。この授業で、ぜひ「ドイツ語で表現 13. Lektion 6 (2) する楽しさ」を味わってみてください。 14. ポイントの総復習 15. まとめ テキスト、参考文献 評価方法 佐藤+下田+Papenthin+Oldehaver: 『CD 付き スツェ 学期末テスト、平常点、および授業への参加度に基づいて ーネン 2 場面で学ぶドイツ語 (Szenen 2 integriert)』(三 修社) 2007年 評価を行います。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	ドイツ語(IIb 会詞 ドイツ語 IIb(会			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	要			授業計画		
して、まなことが、身近なことを下して、にないます。 まんだい とを は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ぶらに関す事情 に関す事情 に関す事情 目指しまます。 に関す事情 と記しまます。 に関す事情 と記しまます。 に関す事情 と記しまます。 に関す事情 と記しまます。 に関する情 に関する情 に関する情 に関する情 に関する情 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 にまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	をドイツ語で表現でまな日常的テーマをよいう 4 技能のでいる変化にで実際的な言語によって実際的な言語によってまない「ドイツ語ではない」	学で を一 に用 なか なか かか と かか	1. 既習事項の役 2. Lektion 7 (1 3. Lektion 7 (2 4. Lektion 8 (1 5. Lektion 9 (1 7. Lektion 9 (2 8. Lektion 10 (9) 10. Lektion 11 11. Lektion 11 12. Lektion 12 13. Lektion 12 14. ポイントの 15. まとめ	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2)	への導入
テキスト、参考文献				評価方法		
佐藤+下田+Paper ーネン2 場面で学		-		学期末テスト、	平常点、およ	び授業への参加度に基づいて

評価を行います。

修社) 2007年

08 年度以降 07 年度以前	ドイツ語(IIIa 会話) ドイツ語 IIIa(会話)		担当者	H. W. ラーデケ
講義目的、講義概要	E	授業計画		
さらに中級レベル す。具体的には、 Goethe-Institutの 級合格レベルに到達 講義概要 ドイツの若者た Treffpunkt Berlin 役割練習など様々な	」で修得したドイツ語の基本的能力を、 ヘステップアップさせることが目的で 「ドイツ語 III」を終えた時点で OZD (Zertifikat Deutsch)および独検 2 達できることを目標とします。 ちの日常をテーマにした DVD 教材 < >を用い、言葉遊び、パートナー練習、 な練習を行います。豊富で実際的な練習 語による表現能力の向上を図りましょ	1. 既習事項の行 2. Abschnitt 1 3. Abschnitt 1 4. Abschnitt 2 5. Abschnitt 3 7. Abschnitt 4 9. Abschnitt 4 10. Abschnitt 4 11. Abschnitt 1 12. Abschnitt 1 13. Abschnitt 1 14. ポイントの 15. まとめ	(1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (5) (1) (5) (2) (6) (1) (6) (2)	への導入
テキスト、参考文献	状	評価方法		
Treffpunkt Berlin プリントを配布し		学期末テスト、 ³ 評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 07 年度以前	ドイツ語(IIIb 会話) ドイツ語 IIIb(会話)		担当者	H.W.ラーデケ
講義目的、講義概要講義目的	·	授業計画 1. 既習事項の行 2. Abschnitt 7		~の導入
さらに中級レベル す。具体的には、 Goethe-Institutの 級合格レベルに到達 講義概要 ドイツの若者た Treffpunkt Berlin 役割練習など様々な	「で修得したドイツ語の基本的能力を、 へステップアップさせることが目的で 「ドイツ語 III」を終えた時点で OZD (Zertifikat Deutsch)および独検 2 達できることを目標とします。 ちの日常をテーマにした DVD 教材 < >を用い、言葉遊び、パートナー練習、 は練習を行います。豊富で実際的な練習 語による表現能力の向上を図りましょ	2. Abschnitt 7 3. Abschnitt 7 4. Abschnitt 8 5. Abschnitt 9 7. Abschnitt 9 8. Abschnitt 10 9. Abschnitt 11 10. Abschnitt 11 11. Abschnitt 11 12. Abschnitt 11 13. Abschnitt 14 14. ポイントの 15. まとめ	(2) (1) (2) (1) (2) (0) (1) (0) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	
テキスト、参考文献	#	評価方法		
Treffpunkt Berlin プリントを配布し		学期末テスト、予評価を行います。		び授業への参加度に基づいて

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース	フランス語(Ia 基礎) フランス語 Ia(基礎)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	Ę		授業	計画		
ることを目的とした 学ぶのではなく、 うになることを目指 右におおよその進度	た講義である。 実際に身につけ 旨す。 度を示すが、実 る。春学期には	ランス語の初歩を習得す フランス語を知識として 、簡単な会話ができるよ 際の進度は各担当者によ 、 <i>Tome 1</i> の第 5 課まで とがある。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.		、発音と綴り字の読み方	字の読み方
テキスト、参考文献			評価	方法		
教科書: Tome 1 (を辞書・参考書につい		より指示がある。	各担	当者より指	示・説明があ	 పె.

08 年度以降 07 年度以前基礎コース フランス語 (Ib 基礎) フランス語 Ib (基礎)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	授業計画		
週1回の授業で2年間かけてフランス語の初歩を習得することを目的とした講義である。フランス語を知識として学ぶのではなく、実際に身につけ、簡単な会話ができるようになることを目指す。 右におおよその進度を示すが、実際の進度は各担当者により異なることがある。秋学期には、 <i>Tome 1</i> の第6課から第10課まで進む予定。授業ではCDを使うことがある。	1. 第6 課 第6 第7 8. 第7 8. 第第 9. 第 10. annexe 12. は 13. は 14. は 15. は 16. で 17. は 18. は 19.	(bilan)	
テキスト、参考文献	評価方法		
教科書: Tome 1 (第三書房) 辞書・参考書については各担当者より指示がある。	各担当者より指示・説明がある。		

08 年度以降 07 年度以前	総合コース フランス語 (Ia 総合 J) フランス語 Ia (総合 J)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要 週2回の授業でフランス語の初歩を習得することを目的とした講義である。基本文法を学び、語彙を身につけて、簡単な会話ができるレベルに達することを目指す。 教科書は Conversation et Grammaire で、(Ia 総合 J) は日本人講師、(Ia 総合 F) はフランス人講師が担当する(再履修クラスを除く)。なお、この講義はフランス語(Ia 総合 F) とのペアでしか受講できない。 この(Ia 総合 J)では特に文法と語彙の習得が中心になり、文法や語彙に関する練習を数多く行う。実際に使えるフラ		授業計画 1. ガイダンス、1a 2. 1a, 1b 3. 2a, 2b 4. 2a, 2b 5. 3a, 3b 6. 3a, 3b 7. révision bilan 8. 4a, 4b 9. 4a, 4b 10. 5a, 5b 11. 5a, 5b 12. 6a, 6b 13. 6a, 6b			
ンス語を学びたい学生諸君にはぜひ受講してもらいたい 授業である。 右におおよその進度を示すが、実際の進度は各担当者により異なることがある。				lan	
テキスト、参考文献教科書: Conversation et Grammaire (Alma)辞書・参考書については各担当者より指示がある。				示・説明があ	る。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース フランス語 (Ib 総合 J) フランス語 Ib (総合 J)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画		
とした講義である。 簡単な会話ができる 教科書は <i>Conversa</i> 日本人講師、(Ib 総 履修クラスを除く) 合F) とのペアでし この(Ib 総合 J)で 文法や語彙に関する ンス語を学びたい。 授業である。	は特に文法と語彙の習得が中心になり、 る練習を数多く行う。実際に使えるフラ 学生諸君にはぜひ受講してもらいたい 度を示すが、実際の進度は各担当者によ	1. révision le 2. 7b 3. 8a, 8b 4. 8a, 8b 5. révision le 6. 9a, 9b 7. 9a, 9b 8. 10a, 10b 9. 10a, 10b 10. révision le 11. 11a, 11b 12. 11a, 11b 13. 12a, 12b 14. 12a, 12b 15. révision le 15.	ilan	
テキスト、参考文献	,	評価方法		
*****	tion et Grammaire (Alma) いては各担当者より指示がある。	各担当者より指	示・説明があ	る。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	フランス語(Ia 総合 フランス語 Ia(総合			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	Ę		授	業計画		
とした講義である。 い回しを学び、実際 とを目指す。 フランス語(Ia 総 業で、フランス人 除く)。なお、この アでしか受講できた この(Ia 総合F) 実際に使えるフラニ 講してもらいたい想	フランス語のフランフランフランフランフランフランフランフランフランフラン 日担フフランド は は ス で ス で ス で ス で で で で で で で で で で で	歩を習得することを目の会話の基礎と決まった。語の実力を身に付ける。 講師担当)とペアになる (ただし再履修クラス語(Ia 総合 J)との表現の習得が中心になったい学生諸君にはぜひと際の進度は各担当者に	言 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 10. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11	2a, 2b 3a, 3b 3a, 3b révision bi 4a, 4b	lan	
テキスト、参考文献			評価	西方法		
教科書: Conversat 辞書・参考書につい		,	各	担当者より指	示・説明があ	ప 。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	フランス語(Ib 総合F) フランス語 Ib (総合F)			担当者	各担当教員
とした講義である。 い回した講義である。 い回しを書情で、 とを目指す。 フランス語(Ib 総合 業で、フランスお、この なお、この でしかを書いて この(Ib 総合 F)で 実際にもらいたい 選問してもいる。 は、これで と、これで は、これで は、これで は、これで は、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで は、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も、これで も は、これで と、これで も、これで と、これで と、これで は、これで と、これで と、これで と に も に と は と に と は と は と と と と と は と と と と と	フランス語のス	歩を習得することを目的 会話の基礎と決まった言語の実力を身に付けるこ 師担当)とペアになる授 (ただし再履修クラスを ス語(Ib総合J)とのペ 表現の習得が中心になる。 たい学生諸君にはぜひ受 際の進度は各担当者によ	11. 12. 13. 14. 15.	révision bil 7b 8a, 8b 8a, 8b révision bil 9a, 9b 9a, 9b 10a, 10b 10a, 10b révision bil 11a, 11b 12a, 12b 12a, 12b révision bil	an	
テキスト、参考文献		(A1)	評価	方法		
教科書: Conversation 辞書・参考書につい		,,	各担	当者より指売	示・説明があ	ప 。

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース	フランス語(IIa 基礎) フランス語 IIa(基礎)		担当者	C. ルメタ
講義目的、講義概要	Ę		授業計画		
ることを目的とした 展させて行く講義でではなく、実際に身 ることを目指す。	と講義の2年目である。フラットである。フラットである。フラットである。 フラッド 第につけ、 第につけ、 第にですが、 まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	プランス語の初歩を習得す の 1年間学んだことを発 の 2 不語を知識として学ぶの がな会話ができるようにな 医際の進度は異なることが	1. ガイダン 2. 1課 3. 1課 4. 2課 5. 2課 6. 3課 7. 3課 8. 4課 10. 5課 11. 5課 12. 6課 13. 6まま 14. ま 15. ま	ス、0 課	
教科書: Salut! ()	平常点とテスト	で評価する。	

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース フランス語 (IIb 基礎) フランス語 IIb (基礎)			担当者	C. ルメタ	
ることを目的とした 展させて行く講義で	2年間かけてフランス語の初歩を習得す に講義の2年目。1年間学んだことを発 である。フランス語を知識として学ぶの	授業 1. 2. 3. 4.	ガイダンス 7課 7課			
ることを目指す。	展させて行く講義である。フランス語を知識として学ぶのではなく、実際に身につけ、簡単な会話ができるようになることを目指す。 右におおよその進度を示すが、実際の進度は異なることが		8 8 9 9 9 10 11 11 11 12 まま 12 まま 2 とと 2 12 まま 2 2 とと 3 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12			
テキスト、参考文献	#	評価	方法			
教科書: Salut! (教科書: Salut! (駿河台出版社)		平常点とテストで評価する。			

08 年度以降 07 年度以前	総合コース フランス語 (IIa 総合 J) フランス語 IIa (総合 J)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画			
とする。フランス語文法を学び、語彙を 文法を学び、語彙を ルに達することを目 教科書は Conversa は日本人講師、(IIa (再履修クラスを修 総合F) とのペアで この(IIa 総合 J) り、文法や語彙に関 フランス語を学びこ たい授業である。	tion et Grammaireで、(IIa 総合 J) 総合 F)はフランス人講師が担当する 徐く)。なお、この講義はフランス語(IIa ごしか受講できない。 では特に文法と語彙の習得が中心にな 関する練習を数多く行う。実際に使える たい学生諸君にはぜひ受講してもらい 度を示すが、実際の進度は各担当者によ	1. révisie 2. 13a, 1 3. 13a, 1 4. 14a, 1 5. 14a, 1 6. 15a, 1 7. 15a, 1 8. révisie 9. 16a, 1 10. 16a, 1 11. 16a, 1 12. 17a, 1 13. 17a, 1 14. 17a, 1 15. révisi	3b 3b 4b 4b 5b 5b 6b 6b 17b 17b	an	
テキスト、参考文献	#	評価方法			
教科書: Conversa	tion et Grammaire (Alma)	各担当者よ	り指示	・説明があ	る。

1.20	ンス語(IIb 総合 J) ンス語 IIb(総合 J)			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要 週2回の授業でフランス語の初歩を習とする。フランス語(Ia/b 総合)に続文法を学び、語彙を身につけて、簡単に定することを目指す。 教科書は Conversation et Grammaireは日本人講師、(IIb 総合F)はフラン(再履修クラスを除く)。なお、この講総合F)とのペアでしか受講できない。この(IIb 総合 J)では特に文法と語り、文法や語彙に関する練習を数多くジフランス語を学びたい学生諸君にはたい授業である。 右におおよその進度を示すが、実際のジリ異なることがある。	く講義であり、基本な会話ができるレベロで、(IIb 総合J) ス人講師が担当する 入はフランス語(IIb をなける) はないできる。	11. 12. 13. 14.	révision bil 18a, 18b 18a, 18b 18a, 18b 19a, 19b 19a, 19b, r 20a, 20b 20a, 20b 21a, 21b 21a, 21b, r 22a, 22b 22a, 22b révision bil	évision bilan évision bilan	
テキスト、参考文献 教科書: Conversation et Grammaire (Alma)				示・説明があ	る。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース フランス語 (IIa 総合F) フランス語 IIa (総合F)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画		
とする。フランス言文法を学び、語彙を 文法を学び、語彙を ルに達することを目 教科書は Conversa は日本人講師、(IIa (再履修クラスを除 総合 J)とのペアで この (IIb 総合 F) 実際に使えるフラ 講してもらいたい表	tion et Grammaireで、(IIa 総合 J) 総合 F)はフランス人講師が担当する 徐く)。なお、この講義はフランス語 (IIa ごしか受講できない。 では特に会話表現の習得が中心になる。 シス語を学びたい学生諸君にはぜひ受 受業である。	1. révision 2. 13a, 13 3. 13a, 13 4. 14a, 14 5. 14a, 14 6. 15a, 15 7. 15a, 15 8. révision 9. 16a, 16 11. 16a, 16 12. 17a, 17 13. 17a, 17 14. 17a, 17 15. révision	ob ob ob ob ob ob ob ob ob ob	
テキスト、参考文献	‡	評価方法		
教科書: Conversa	tion et Grammaire (Alma)	各担当者より) 指示・説明があ	- నం

08 年度以降 07 年度以前	コース フランス語(IIb 総合F) フランス語 IIb(総合F)		担当者	各担当教員
とする。フランス語(Ia/le 文法を学び、語彙を身に ルに達することを目指す。 教科書は Conversation e は日本人講師、(IIb 総合: (再履修クラスを除く)。 総合 J)とのペアでしか。 この (IIb 総合F) では特 実際に使えるフランス語 講してもらいたい授業であ	に会話表現の習得が中心になる。 を学びたい学生諸君にはぜひ受	1. révision bii 2. 18a, 18b 3. 18a, 18b 4. 18a, 18b 5. 19a, 19b, r 7. 20a. 20b 8. 20a, 20b 9. 20a, 20b 10. 21a, 21b 11. 21a, 21b, r 12. 22a, 22b 13. 22a, 22b 14. 22a, 22b 15. révision bi	évision bilan évision bilan	
テキスト、参考文献 教科書: Conversation et	Grammaire (Alma)	評価方法 各担当者より指え	示・説明があ	ర ం

08 年度以降 07 年度以前	フランス語 (IIIa) フランス語 IIIa		担当者	B. レウルス
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
現代のフランス社会が	いら、仕事に対するフランス人の考え方、フ	1・ガイダンス・	イントロダクシ	/ョン
ランスの家族構成、信	Eんでいる場所・環境、離婚が多い理由等の	2・食卓の楽しみ	: 朝市と食文化	Ź
疑問に答えていく授業	さです。家族・仕事・教育・休暇といったテ	3・初めての料理は	に挑戦する: 郷	『 土料理
ーマを、フランス語の)広告ポスター、チラシ、テレビの CM、ウ	4・交通機関と旅行	行:旅行計画	
ェブサイト、雑誌の記	2事等を通して取り上げていきます。	5・地下鉄とバス	でパリ発見!	
専門用語と重要事項を	と学習した後、フランスと日本の社会や価値	6・フランス生活	朁:年中行事・	祭り・イベント
観の相違点を討論しま	ます。 こうしゅうしゅう こうしゅう	7・美と健康生活	: スポーツ	
Notre cours présente	ra des scènes variées de la vie quotidienne	8・美と健康生活:フランスTV・CM		
en France. Une prer	nière partie sera consacrée à l'étude et à	9・バラ色の人生:5週間の vacances		
l'appropriation du	lexique; ensuite les activités de	10・Vacances って何をするの?		
communication (dial	logues, présentations, jeux de rôle, etc.)	11・フランス留学のメリット		
seront accompagnées	de documents sonores et visuels.	12・パリが「世界最高の留学先都市」		
		13・フランスはイノベーション世界トップ3		
		14・フランスは世界一の観光大国		
		15・まとめと評価		
テキスト、参考文献	#	評価方法		
テキスト:『場面で学ぶフ 4 384 23206 6	授業への参加と積極性の有無(20%)、毎授業中の小練習の評価(25%)、ならびに、前期の筆記試験の累積評			
参考文献:『もっと知りた	たいフランス』駿河台出版社 ISBN 4-41-00384-8	価 (55%) に。	よって評価す	る。
		1		

	フランス語 (IIIb) フランス語 IIIb	担当者	B. レウルス
--	----------------------------	-----	---------

講義目的、講義概要

『今どんなことが話題になっているか知りたい!だけどフランス語で新聞を読んだりテレビ番組を見たりするには vocabulary が足りない。語彙力を高めるだけではなく、話せるようになりたい、ちょっと書いてみたい、聞く練習もしたい・・・そんな授業があれば・・・』

授業は、フランス語の広告、ポスター、テレビの $C \cdot M$ 、website、雑誌の記事などを材料に進めていく。この授業では documents authentiques を使って、読解力・書く力・コミュニケーション能力を伸ばしていく。

Dans ce cours nous étudierons une série de documents authentiques (presse, médias, publicités, articles de magazines, sites internet, etc.). La compréhension est progressive : observation générale du document, exercices de compréhension, activités d'expression et enfin entraînement grammatical.

授業計画

- 1 ・ フランス生活暦: 年中行事・祭り・イベント (ハロウィーンとケルト文化・ボジョレーヌーヴォー・ノエル)
- 2 ・ フランスにおける日本文化:和食(スシ・ワカメ・シイタケ)アニメ・ブランド
- 3・ 食べるたのしみ:美食の国とスローフード
- 4 ・ 東京にある小さなフランス:カフェ・グルメ・イベント
- 5 ・ バカンスの過ごし方
- 6 · 恋愛観と結婚観:結婚とは過去のもの? (離婚・婚外の増加・片親家族)
- 7 ・ ブルタニュー地方とケルト文化。ブルタニュー地方とそば 文化 (クレープ&ガレット)
- 8 ・ 世界最大の映画祭:カンヌ国際映画祭
- 9・ フランス教育制度:大衆化&エリート主義
- 10・びっくり先進国フランス! French paradox(1)
- 11 · びっくり先進国フランス! French paradox(2)
- 12・画家たちの愛したコート・ダジュール
- 13・カトリックの伝統と社会の変化
- 14・パリ Japan Expo リヨン Japan Touch.
- 15・まとめと評価

テキスト、参考文献

テキスト: 『場面で学ぶフランス語 II』 « En scène II » 三修社 ISBN 9784 384 23206 6

参考文献:『もっと知りたいフランス』 駿河台出版社 ISBN 4-41-00384-8

評価方法

授業への参加と積極性の有無 (20%)、毎授業中の小練習の評価 (25%)、ならびに、前期の筆記試験の累積評価 (55%)によって評価する。

08 年度以降 基礎コース スペイン語 (Ia 文法) 07 年度以前 スペイン語 Ia (文法)			担当者	各担当教員	
スペイン語 Ia (文法) 講義目的、講義概要 基本的に週1コマのスペイン語を学習する学生を対象としている。スペイン語を初めて学ぶ学生のために、スペイン語文法の基礎と基礎的会話力の習得を目的とする。動詞の直説法現在形までの基礎的文法事項をまなび、また簡単な文を作り、自ら積極的に話し、聞き取る能力を獲得することを目ざす。		伊業計画 ① 発音・アクセント ② 発音・アクセント ③ 名詞の性・数、冠詞 ④ 名詞の性・数、冠詞 ⑤ 形容詞 ⑥ 形容詞 ⑦ ser, estar 動詞の用法 ⑧ 動詞の活用直説法現在規則活用 ⑩ 動詞の活用直説法現在規則活用 ⑪ 動詞の活用直説法現在規則活用 ⑪ 代名詞の用法 ③ gustar 型動詞の用法 ④ gustar 型動詞の用法 ⑤ ずない項目ができる。			
テキスト、参考文献	*	評価方法			
スペイン語ー日本語	枚科書(授業開始時に指示する)。また、 語辞書を用意してもらう。辞書について 説明するので、その後に購入のこと。	授業への参加しよっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。	

<u> </u>	•				
08 年度以降 07 年度以前			担当者	各担当教員	
講義目的、講義概要	Ę		授業計画		
議義目的、講義概要 基本的に週1コマのスペイン語を学習する学生を対象 としている。スペイン語を初めて学ぶ学生のために、スペイン語文法の基礎と基礎的会話力の習得を目的とする。再 帰動詞や現在完了形・現在進行形までの基礎的文法事項を まなび、また簡単な文を作り、自ら積極的に話し、聞き取 る能力を獲得することを目ざす。		④ 動動調詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞	「生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不規則活用 不規則活用 現在進行形 現在進行形	
テキスト、参考文献	‡		評価方法		
担当者が指定する勢	枚科書(授業開	始時に指示する)	授業への参加しよっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。

08年度以降 総合コース スペイン語(Ia 文法) 担当者 各担当教員 07年度以前 スペイン語 Ia (文法) 講義目的、講義概要 授業計画 ① 発音・アクセント 基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象 ② 発音・アクセント ③ 名詞の性・数、冠詞 としている。スペイン語を初めて学ぶ学生のために、スペ ④ 名詞の性・数、冠詞 イン語文法の基礎と基礎的会話力の習得を目的とする。動 ⑤ 形容詞 ⑥ 形容詞 詞の直説法現在形までの基礎的文法事項をまなび、また簡 ⑦ ser, estar 動詞の用法 単な文を作り、自ら積極的に話し、聞き取る能力を獲得す ® ser, estar 動詞の用法 ⑨ 動詞の活用---直説法現在規則活用 ることを目ざす。 ⑩ 動詞の活用…直説法現在規則活用 原則としてスペイン語 (Ia 会話)、Ia (会話) とペア ① 動詞の活用---直説法現在規則活用 ② 代名詞の使い方 で履修することとなる。 ¹³ gustar 型動詞の用法 ⑭ gustar 型動詞の用法 ⑤ 今学期の復習 基本的に採用教科書に沿って上記の文法項目を学習す るが、学習状況を考慮しつつ、多く時間を割く項目と、そ うでない項目ができる。 テキスト、参考文献 評価方法 テキスト:柳沼孝一郎 他 著 "Plaza Mayor I ソフト版(改

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に

よっては小テストをおこなう場合がある。

よっては小テストをおこなう場合がある。

訂版) (ピンクの表紙)"朝日出版社

また、スペイン語-日本語辞書を用意してもらう。辞書について

テキスト:柳沼孝一郎 他 著 "Plaza Mayor I ソフト版(改

訂版) (ピンクの表紙)"朝日出版社

は、最初の授業で説明するので、その後に購入のこと。

08 年度以降 07 年度以前				担当者	各担当教員
講義目的、講義概要			授業計画		
としている。スペイイン語文法の基礎と 帰動詞や現在完了形まなび、また簡単なる能力を獲得するこ	ン語を初めて : 基礎的会話力 ジ・現在進行形 (文を作り、自 とを目ざす。 (ン語 (Ib	語を学習する学生を対象 学ぶ学生のために、スペ の習得を目的とする。再 までの基礎的文法事項を ら積極的に話し、聞き取 会話)、Ib(会話)とペ	④ 動調詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞	「生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不規則活用 不規則活用 現在進行形 現在進行形
テキスト、参考文献	t		評価方法		

08年度以降 総合コース スペイン語(Ia会話) 担当者 各担当教員 07年度以前 スペイン語 Ia (会話) 講義目的、講義概要 授業計画 基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象 学習目標となる文法項目は、スペイン語(Ia文法)、Ia としている。スペイン語を初めて学ぶ学生のために、文法 (文法) の項目と同じであるが、スペイン語 (Ia会話)、 学習に基づいて、基本的な日常会話ができるようにするこ Ia (会話) ではそれを用いた練習・運用に重きが置かれ とを目的にする会話中心のクラスである。担当者は、基本 的にスペイン語を母語としている。スペイン語で積極的に 学習項目に関してはスペイン語 (Ia 文法)、Ia (文法) の「授業計画」を参照のこと。 意思疎通する姿勢も同時にやしなう。 原則としてスペイン語 (Ia文法)、Ia(文法)とペア で履修することとなる。

テキスト、参考文献

評価方法

アキスト: 柳沼孝一郎 他 著 "Plaza Mayor I ソフト版(改 訂版) (ピンクの表紙)"朝日出版社、およびプリント。また、スペイン語-日本語辞書を用意してもらう。辞書については、最初の授業で説明するので、その後に購入のこと。

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に よっては小テストをおこなう場合がある。

講義目的、講義概要

授業計画

基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象 としている。スペイン語を初めて学ぶ学生のために、文法 学習に基づいて、基本的な日常会話ができるようにするこ とを目的にする会話中心のクラスである。担当者は、基本 的にスペイン語を母語としている。スペイン語で積極的に 意思疎通する姿勢も同時にやしなう。

<u>原則としてスペイン語(Ib 文法)、Ib (文法) とペア</u>で履修することとなる。

学習目標となる文法項目は、スペイン語(Ib文法)、Ib (文法)の項目と同じであるが、スペイン語(Ib会話)、 Ib(会話)ではそれを用いた練習・運用に重きが置かれる。

学習項目に関してはスペイン語(Ib文法)、Ib(文法)の「授業計画」を参照のこと。

テキスト、参考文献

評価方法

<u>テキスト: 柳沼孝一郎 他 著 "Plaza Mayor I ソフト版(改</u> 訂版) (ピンクの表紙)"朝日出版社、およびプリント。 授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に よっては小テストをおこなう場合がある。

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース スペイン語 (Ⅱa 文法) スペイン語 Ⅱa (文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
基本的に週1コマのスペイン語を学習する学生を対象とした、スペイン語(Ib 文法)、Ib (文法)の継続の授業である。現在形の復習のあと、過去形を中心に、比較表現・完了形などの基礎的文法事項をまなび、日常生活に支障のない文を作る能力、簡単な文の読解力、自ら積極的に話し、聞き取る能力の一層の獲得を目ざす。		③ ④ 動動詞詞詞のののののののののののののののののののののののののののののののの		
テキスト、参考文献	t	評価方法		
担当者が指定する着 トを引き継ぐ)	枚科書(基本的にスペイン語Ⅰのテキス	授業への参加! よっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース スペイン語 (Ⅱb 文法) スペイン語 Ⅱb (文法)		担当者	各担当教員
る。 基本的に週1コ としている。接続法 をまなび、日常生活 の読解力、自ら積極	文法)、II a (文法)の継続の授業であ マのスペイン語を学習する学生を対象 法現在・命令表現までの基礎的文法事項 話に支障のない文を作る能力、簡単な文 趣的に話し、聞き取る能力の一層の獲得 ペイン語文法の学習を終える。	③ ④ 動動動動動詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞詞	「の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	形 在規則活用
テキスト、参考文献		評価方法		
担当者が指定する参 トを引き継ぐ)	枚科書(基本的にスペイン語 I のテキス	授業への参加! よっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。

08 年度以降 07 年度以前	122		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	. 2	授業計画		
基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象とした、スペイン語(Ib 文法)およびIb (文法)の継続の授業である。現在形の復習のあと、過去形を中心に、比較表現・完了形などの基礎的文法事項をまなび、日常生活に支障のない文を作る能力、簡単な文の読解力、自ら積極的に話し、聞き取る能力の一層の獲得を目ざす。 原則としてスペイン語(II a 会話)、II a (会話)とペアで履修することを要望する。		③ ④ 動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動動	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
テキスト、参考文献	·····································	評価方法		
担当者が指定する着トを引き継ぐ)	枚科書(基本的にスペイン語Ⅰのテキス	授業への参加! よっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	スペイン語 (IIb 文法) スペイン語 IIb (文法)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要				
講義目的、講義概要 スペイン語 (II a 文法)、II a (文法)の継続の授業である。 基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象 としている。接続法現在・命令表現までの基礎的文法事項をまなび、日常生活に支障のない文を作る能力、簡単な文の読解力、自ら積極的に話し、聞き取る能力の一層の獲得を目ざす。初級スペイン語文法の学習を終える。 原則としてスペイン語 (II b会話)、II b (会話)とペアで履修することを要望する。		(6) 動詞ののの表表法法法別ののの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表法法法別のの表表表表表表表表	「の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	形 形 在規則活用	
テキスト、参考文献	‡		評価方法		
担当者が指定する勢 トを引き継ぐ)	女科書 (基本的]にスペイン語 I のテキス	授業への参加。よっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。

 08 年度以降 07 年度以前
 総合コース スペイン語 (Ⅱ a 会話) スペイン語 Ⅱ a (会話)
 担当者
 各担当教員

 講義目的、講義概要
 授業計画

基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象 としている。過去形を中心に、比較表現・完了形などの基礎的文法事項をまなび、基本的な日常会話ができるようにすることを目的とする会話中心の授業である。語学力だけではなく、スペイン語で積極的に意思疎通する姿勢も同時にやしなう。

原則としてスペイン語 (Ⅱa 文法)、Ⅱa (文法) とペア で履修することを要望する。 学習目標となる文法項目は、スペイン語(IIa文法)、IIa(文法)の項目と同じであるが、スペイン語(IIa会話)、IIa(会話)ではそれを用いた練習・運用に重きが置かれる。

学習項目に関してはスペイン語(Πa 文法)、 Πa (文法)の「授業計画」を参照のこと。

テキスト、参考文献 評価方法

担当者が指定する教科書(基本的にスペイン語 I のテキストを引き継ぐ)、およびプリント

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に よっては小テストをおこなう場合がある。

 08 年度以降 07 年度以前
 総合コース スペイン語 (II b 会話) スペイン語 II b (会話)
 担当者
 各担当教員

スペイン語(Π a 会話)、 Π a (会話)の継続の授業である。

基本的に週2コマのスペイン語を学習する学生を対象 としている。接続法現在・命令表現までの基礎的文法事項 をまなび、基本的な日常会話ができるようにすることを目 的とする会話中心の授業である。語学力だけではなく、ス ペイン語で積極的に意思疎通する姿勢も同時にやしなう。

原則としてスペイン語 (Ⅱa文法)、Ⅱa(文法)とペアで履修することを要望する。

学習目標となる文法項目は、スペイン語(IIb文法)、IIb(文法)の項目と同じであるが、スペイン語(IIb会話)、IIb(会話)ではそれを用いた練習・運用に重きが置かれる。

学習項目に関してはスペイン語 (IIb 文法)、IIb (文法) の「授業計画」を参照のこと。

テキスト、参考文献

担当者が指定する教科書(基本的にスペイン語 I のテキストを引き継ぐ)、およびプリント

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者によっては小テストをおこなう場合がある。

評価方法

講義目的、講義概要

スペイン語 I, II を既に履修し、スペイン語の文法をひととおり習得した学生を対象とする。

さらに進んで、スペイン語の講読の能力を獲得することを目標とする。具体的には、スペイン語圏の社会・歴史・文化に関する文章の一部や新聞記事などを読む。ある程度の長さのスペイン語を読むことに慣れ、スペイン語圏の文化に関する知識を深めることがこの授業の目的である。

なお、スペイン語Ⅱまでに必ずしも十分に学習できていない文法事項がある場合は、その学習にも重きをおき、中級文法を終了する。

この授業ではとくに予習が不可欠である。

授業計画

クラスの状況、語学の習得具合から判断して、15回分の 授業構成について、各担当者が初回の授業で説明する。

テキスト、参考文献

担当者が指定する教科書、または、随時プリントを配布

評価方法

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に よっては小テストをおこなう場合がある。

08 年度以降 スペイン語 (Ⅲb 講読) 07 年度以前 スペイン語 Ⅲb (講読)

担当者

各担当教員

講義目的、講義概要

スペイン語(Ⅲa 講読)スペイン語Ⅲa(講読)の継続の授業である。

スペイン語 I, II を既に履修し、スペイン語の文法をひととおり習得した学生を対象とする。

さらに進んで、スペイン語の講読の能力を獲得することを目標とする。具体的には、スペイン語圏の社会・歴史・文化に関する文章の一部や新聞記事などを読む。ある程度の長さのスペイン語を読むことに慣れ、スペイン語圏の文化に関する知識を深めることがこの授業の目的である。

この授業ではとくに予習が不可欠である。

授業計画

クラスの状況、語学の習得具合から判断して、15回分の 授業構成について、各担当者が初回の授業で説明する。

テキスト、参考文献

担当者が指定する教科書、または、随時プリントを配布

評価方法

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者によっては小テストをおこなう場合がある。

08 年度以降 07 年度以前	スペイン語 (Ⅲa 会話) スペイン語 Ⅲa (会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画		
スペイン語 I, II を	を既に履修し、スペイン語の文法をひと	クラスの状況、	語学の習得	具合から判断して、15回分の
とおり習得した学生	Eを対象とする。	授業構成について	て、各担当者	が初回の授業で説明する。
さらに進んで、よ	り高度な聞き取り能力と表現力を身に			
つけることを目的と	:する。スペイン語に特有のリズムや表			
現に慣れて、スペイ	ン語らしい発音ができるように繰り返			
し練習する。また、	ジェスチャーやその他の身体表現など			
についても学ぶ。				

評価方法

授業への参加度、定期試験によって評価する。担当者に

よっては小テストをおこなう場合がある。

テキスト、参考文献

担当者が指定する教科書、または、随時プリントを配布

08 年度以降 07 年度以前	スペイン語 (Ⅲb 会話) スペイン語 Ⅲb (会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	ξ	授業計画		
講義目的、講義概要 スペイン語 (Ⅲa 会話) スペイン語Ⅲa (会話) の継続の授業である。 スペイン語 I, II を既に履修し、スペイン語の文法をひととおり習得した学生を対象とする。 さらに進んで、より高度な聞き取り能力と表現力を身につけることを目的とする。スペイン語に特有のリズムや表現に慣れて、スペイン語らしい発音ができるように繰り返し練習する。また、ジェスチャーやその他の身体表現などについても学ぶ。				具合から判断して、15 回分のが初回の授業で説明する。
テキスト、参考文献	*	評価方法		
担当者が指定する著	対書、または、随時プリントを配布	授業への参加」よっては小テス		によって評価する。担当者に 場合がある。

08年度以降 基礎コース 中国語(Ia 会話) 担当者 各担当教員 07年度以前 中国語 I a (会話) 講義目的、講義概要 授業計画 第1~2回 発音 (1) 【講義目標】 ○声調 ○単母音 ○複母音 ○子音 この授業では、中国語を初めて学ぶ学生を対象に、発音の基礎 第3~4回 発音(2) 及びその表記法、簡体字(中国で現在使われている漢字)の書き方、 ○鼻母音 ○半3声 ○声調の変化 ○軽声 ○儿化 基本的な文法を学習しながら平易な会話ができるように学習しま ○声調の組合わせ す。 第5~6回 第1課 「校門で」 ○主語+述語 ○ "是"構文 ○人称代名詞 ○疑問文 【講義概要】 ○トレーニング1 語学力の4分野「聴く、話す、書く、読む」の内、「聴く」、 第7~8回 第2課 「廊下で」! 「話す」(会話)に重点を置きます。 ○動詞述語文 ○疑問詞 ○ "呢"の用法 ○トレーニング2 将来就職してからさらに延長できるように、中国語の「読み、 第9回 中間試験・補充説明 書き、聞き、話す」力の基礎をしっかりと身につけるよう心がけ 第10~11回 第3課 「キャンパスで」 ○指示代名詞 ○連体修飾語 ○形容詞述語文 てください。 ○"吧"の用法 ○トレーニング3 教科書に出てきた単語をしっかり覚えて語彙力の増強に努めて 第12~13回 第4課 携帯を見ながら ください。 ○"有"の用法1 ○反復疑問文 ○数詞 ○数を尋ねる ○トレーニング4 注意 第14~15回 第5課 「学生食堂で」 1)中国語ではまだ文法用語が統一されていない部分があります。 ○場所代名詞 ○ "有"の用法 2 ○副詞"也""都" 先生から説明を受けてください。 ○二重目的語 ○トレーニング5 2) 履修者の理解状況によっては進度を調整することもあります。 テキスト、参考文献 評価方法 喜多山幸子『はじめまして! 中国語』(白水社) 平常の授業への取り組み (予習・復習含む)、中間・期末試験の結 果等に基づき、大学の成績評価基準に基づいて評価する。

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース	中国語(Ib 会話) 中国語Ib (会話)		担当者	各担当教員			
講義目的、講義概要	ī		授業計画					
 発音面では教科書付 ズム、ストレス、イ にしてください。 【講義概要】 ・春学期に引き続き発 ・会話表現力を増やす 注意 	トレ会話力を増強 さの音声をよく ントネーション 音・声調の矯正 ために様々な場	ますることを目標とします。 (聞いて、中国語の自然なリンを伴った表現ができるよう	 (*在"のの曜年7 (*日) 第3~4回 (*日) 第3~4回 (*日) 第2回 (*回) 第5~更多 (*回) 第十十十二 (*回) 第十十二 (*回) 第十十十二 (*回) 第十十二 (*回	■ まず	**で」 **です。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **できる。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でするる。 **でする。 **でする。 **でする。 **でする。 **でするる。 **でする。 **でするる。 **でするる			
テキスト、参考文献	ť		評価方法					
喜多山幸子『はじめま	して! 中国語。	』(白水社)	1 42 -2.14		復習含む)、中間・期末試験の結 準に基づいて評価する。			

08年度以降 総合コース 中国語(I a 会話) 担当者 各担当教員 07年度以前 中国語 Ia (会話) 講義目的、講義概要 授業計画 第1~2回 発音(1) 【講義目標】 ○声調 ○単母音 ○複母音 ○子音 この授業では、中国語を初めて学ぶ学生を対象に、発音の基礎 第3~4回 発音(2) 及びその表記法、簡体字(中国で現在使われている漢字)の書き方、 ○鼻母音 ○半3声 ○声調の変化 ○軽声 ○儿化 基本的な文法を学習しながら平易な会話ができるように学習しま ○声調の組合わせ す。 第5~6回 第1課 「校門で」 ○主語+述語 ○ "是"構文 ○人称代名詞 ○疑問文 【講義概要】 ○トレーニング1 語学力の4分野「聴く、話す、書く、読む」の内、「聴く」、 第7~8回 第2課 「廊下で」! 「話す」(会話)に重点を置きます。 ○動詞述語文 ○疑問詞 ○ "呢"の用法 ○トレーニング2 将来就職してからさらに延長できるように、中国語の「読み、 第9回 中間試験・補充説明 書き、聞き、話す」力の基礎をしっかりと身につけるよう心がけ 第10~11回 第3課 「キャンパスで」 ○指示代名詞 ○連体修飾語 ○形容詞述語文 てください。 ○"吧"の用法 ○トレーニング3 教科書に出てきた単語をしっかり覚えて語彙力の増強に努めて 第12~13回 第4課 携帯を見ながら ください。 ○ "有"の用法1 ○反復疑問文 ○数詞 ○数を尋ねる ○トレーニング4 注意 第14~15回 第5課 「学生食堂で」 1) 中国語ではまだ文法用語が統一されていない部分があります。 ○場所代名詞 ○ "有"の用法 2 ○副詞"也""都" 先生から説明を受けてください。 ○二重目的語 ○トレーニング5 2) 履修者の理解状況によっては進度を調整することもあります。 テキスト、参考文献 評価方法 喜多山幸子『はじめまして! 中国語』(白水社) 平常の授業への取り組み (予習・復習含む)、中間・期末試験の結 果等に基づき、大学の成績評価基準に基づいて評価する。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	中国語(Ib 会話) 中国語 Ib (会話)		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	į		授業計画		
 ・発音面では教科書付 ズム、ストレス、イ にしてください。 【講義概要】 ・春学期に引き続き発 ・会話表現力を増やす 注意 	・し会話力を増強 さの音声をよく ントネーション 音・声調の矯正 ために様々な場	することを目標とします。 聞いて、中国語の自然なリンを伴った表現ができるよう	 (*在"の用法 ○年月日、第3~4回 第3~4回 ○原2回 ○原2回 ○連8回 ○第9回 ○第10~11 ○第2~13表 ○は継書の回 ○ば喜れの回 ○ば書の回 ○は継書の回 ○は継書の回 ○は継書の回 ○は継書の回 ○は本の ○は本の ○は本の ○は本の ○は本の ○はよりに ○はまりに ○	■ は	-で」 "了"・文末の"了" 、レーニング 7 、停で」 『"在" ○ "是"の省略 後に」 『"跟", "给" レーニング 9 「鈴木の一日」 補充説明 「卓球中継を見ながら」 云 ○比較文"比"の用法 トレーニング 1 0 ボィズニーランドで待ち合わせ」 「向補語 ○選択疑問文
テキスト、参考文献			評価方法		
喜多山幸子『はじめま	して! 中国語。](白水社)			復習含む)、中間・期末試験の結構に基づいて評価する。

_			
08 年度以降 総合コース 中国語 (Ia 講読・文法) 07 年度以前 中国語 Ia (講読・文法)	総合コース 中国語 (Ia 講読・文法) 中国語 Ia (講読・文法)		
講義目的、講義概要	授業計画		
 【講義目的】 この授業では、中国語を初めて学ぶ学生を対象に、発音の基礎及びその表記法(ピンイン)、簡体字(中国で現在使われている漢字)の書き方、基本的な文法を学習し、平易な文章の読解ができるようにします。 【講義概要】 ①語学力の4分野「聴く、話す、書く、読む」の内、「書く」、「読む」にやや重点を置きます。 ②表音文字のない中国語ではローマ字を借用して表音しています。特別な発音規則が作られていますのでそれを先ず習得してください。 ③さらに、基本文型を学習し、それを用いた作文練習、易しい文章の読解を学びます。 ④将来就職してからさらに延長できるように、中国語の「読み、書き、聞き、話す」力の基礎をしっかりと身につけるよう心がけてください。 注意 1) 中国語ではまだ文法用語が統一されていない部分があります。先生から説明を受けてください。 2) 履修者の理解状況によっては進度を調整することもあります。 	発音①、ま 第2回 第 単 第 1 単 第 2 回 期 第 2 課 日 第 3 回 子 回 調 第 2 課 日 第 3 回 子 回 詞 日 第 5 ~ 6 是 8 語 中 間 1 の 4 第 7 ~ 主 回 日 本 第 1 1 の 1 の 3 述 名 日 第 1 2 ~ 7 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 第 1 4 ~ 1 5 回 第 1 4 ~ 1 5 回 第 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 3 が 1 4 ~ 1 5 回 1 3 が 1 3	基本段音 日子	 ○子音① 音③ 音の省略 ○声調の変化 音④ 合わせ ○挨拶表現 学生。 "都" ○閲読 ○練習問題 乗り方 ○疑問詞 ○選択疑問文 年多大了 程日 最好吃。 十文 ○反復疑問文 E哪儿?
テキスト、参考文献	評価方法		
内田慶市他 『中国語への道』(金星堂)	F. 1	取り組み(予	習・復習含む)、中間・期末

試験の結果等に基づき、大学の成績評価基準に基づいて評

08 年度以降 07 年度以前	総合コース 中国語(Ib 講読・文法 中国語 Ib (講読・文法)	担当者	各担当教員		
講義目的、講義概要	5	授業計画			
・春学期に続き中国語・中国語の語彙を増や・発音面では教科書作ズム、ストレス、でにさい。 【講義概要】 ①春学期に引き続き発②総合的表現力を増やを用いた作文練習を注意 1) 第16課はシラクよっては学ぶことが容を学します。	ことを目標にして進めます。 その基礎力増強を図ります。 中し会話力を増強することを目標とします。 けきの音声をよく聞いて、中国語の自然なリイントネーションを伴った表現ができるよう を音・声調の矯正をしていきます。 中すために先ず基本的文型を学び、その文型 していきます。 バスでは学習範囲には入りませんが、進度に バできる場合もありますし、2年次にその内 によっては進度を調整することもあります。	○前置詞 ○経懸第3~4回 第1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1 ○ 1	検を表すすのでも、でも、でも、でも、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、<	□国地图。 □動文 ○結果補語 □画地图。 □動文 ○結果補語 □吗? □・義務を表す助動詞 "就"と"才"の用法 故你们汉语? □る文 ○受身表現 □地送到车站。 補語 ○"把"の構文	
テキスト、参考文献	#	評価方法			
内田慶市他 『中国	国語への道』(金星堂)	平常の授業への取り組み (予習・復習含む)、中間・期末 試験の結果等に基づき、大学の成績評価基準に基づいて記			

価する。

価する。

08 年度以降 07 年度以前	基礎コース 中国語(IIa 会話) 中国語 IIa(会話)			担当者	各担当教員		
講義目的、講義概要	5	授業計画					
中国語の運用能力を高 中国語検定3級に合格 指して毎日学習してく 【講義概要】 語学力の4分野「駅 「話す」、「話場面を が上達の最上方法で引き続き、教科書に出 強に努めてください。 注意 1)中国語ではまだ文 先生から説明を受	感く、話す、書く、読む」の内、「聴く」、 ご重点を置きます。 設定してあります、できれば覚えてしまうの つ。 出てきた単語をしっかり覚えて語彙力の増 、 法用語が統一されていない部分があります。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1111111111111111	第第第第第第中第第第第第第第111111111111111111111111	「打電話」 復「復習読み練」 復「復置第四個 後一個 後一個 後一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一	とドリル で法ポイント とドリル で法ポイント とドリル 交通工具」 文法ポイント とドリル 文法ポイント とドリル 文法ポイント とドリル 文法ポイント とドリル 文法ポイント		
テキスト、参考文献	#	評価方法	ţ				
楊凱栄『表現する中	中国語Ⅱ』(白帝社)				習・復習含む)、中間・期末 の成績評価基準に基づいて評		

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	中国語(II b 会話) 中国語 II b (会話)			担当者	各担当教員			
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要				授業計画				
 ・発音面では教科書作 ズム、ストレス、イ にしてください。 【講義概要】 ・春学期に引き続き発 ・会話表現力を増やす 注意 1)第15課はシラノよっては学ぶことが 	ことの ことの さの さの では では 学習 できる 場合も は でも に が で に が で に が に に に に に に に に に に に に に	全ではないでは、 全はすることを目標とします。 は聞いて、中国語の自然なリンを伴った表現ができるよう を伴った表現ができるよう ともしていきます。 最面での会話を学習します。 出には入りませんが、進度に	第 3 年 5 年 5 年 7 年 8 年 7 年 8 年 7 年 8 年 7 年 8 年 7 年 8 年 7 年 7	第8課 第9課 第10課 第10試 第12課 第13課 第13課 第14課	復習読み練習と「復習読み練習と」「復習読み練習と」「復習読みを関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	文法ポイント : ドリル L」2 文法ポイント 引とドリル 「买东西」 文法ポイント 引とドリル オとドリル 文法ポイント に対ける ではポイント に対ける ではポイント に対ける			
テキスト、参考文献			評価方法	去					
楊凱栄『表現する中	『国語Ⅱ』(白	帝社)		店果等に		習・復習含む)、中間・期末の成績評価基準に基づいて評			

08 年度以降 07 年度以前	総合コース 中国語(II a 会話) 中国語 II a (会話)	_		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	5	授業計画	1		
中国語の運用能力を高 中国語検定3級に合格 指して毎日学習してく 【講義概要】 語学力の4分野「駅 「話す」、「書く」 様々な会長上方法でより、 引き続き、教科書に出 強に努めてください。 注意 1)中国語ではまだ文 先生から説明を受	感く、話す、書く、読む」の内、「聴く」、 ご重点を置きます。 設定してあります、できれば覚えてしまうの 一。 出てきた単語をしっかり覚えて語彙力の増 、 法用語が統一されていない部分があります。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1112回回回回回回回回回回回回回	第第第第第第中第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	「有情報」 「復」 「復」 「復」 「復」 「復」 「復」 「復」 「復	とドリル
テキスト、参考文献	†	評価方法	ţ		
楊凱栄『表現する中	中国語Ⅱ』(白帝社)	1 110 45			習・復習含む)、中間・期末 の成績評価基準に基づいて評

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	中国語(Ⅱb 会話) 中国語Ⅱb(会話)			担当者	各担	当教員	
講義目的、講義概要	Ę		授業計画					
 ・発音面では教科書作 ズム、ストレス、イ にしてください。 【講義概要】 ・春学期に引き続き発 ・会話表現力を増やす 注意 1)第15課はシラケ よっては学ぶことが 2)履修者の理解状況 	っし会話力を増強 けきの音声をよく シトネーション き音・声調の矯っ ために様々な場 、スでは学習範囲 できる場合もあまる。 によっては進度	はすることを目標とします。 聞いて、中国語の自然なリンを伴った表現ができるよう を伴った表現ができるよう Eもしていきます。 品面での会話を学習します。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 1 1 2 2 2 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	复習読み練習と「関語の表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	文法ポイン:ドリル _」2 文法ポイン]とドリル 「买东西」 文法]とドリル]とドリル]とドリル 文法ポイント]とドリル	ント	
テキスト、参考文献		14:24	評価方法	*	- 10 VII 7 / -7	777 / - 777	+ BB + +n -+-	
楊凱栄『表現する中	↑ 国部Ⅱ』(日)	节 仁)	1 .14 45			習・復習含む)の成績評価基準	、甲間・期末 単に基づいて評	

08年度以降 総合コース 中国語 (IIa 講読・文法) 担当者 各担当教員 07年度以前 中国語Ⅱa (講読・文法) 講義目的、講義概要 授業計画 【講義目的】 第1回 1年次中国語の復習・確認、履修上の注意 1年次で学習した語彙、文型、文法事項を復習しながらさらに 第2回 第1課「自己紹介」文法 介詞「对」,動詞「来」の用法 ややレベルアップした中国語を学び、総合的な中国語運用能力を 第3回 第1課 復習、練習問題 第2課「私の家族」 身に付けることを目指します。 第4回 第2課 文法 呼応 呼応"除了~还(也)…", このレベルの学習を終われば中国語検定3級に合格する力を付 "不是~就是…" 練習問題 けたことになります。 第5回 第3課「私の一日」 文法 呼応"一边~一边・・・", "先 【講義概要】 ~再・・・",副詞"就"の用法 ①語学力の4分野「聴く、話す、書く、読む」の内、「書く」、 第6回 第3課 復習 練習問題 第4課「買い物」 「読む」にやや重点を置きます。 第7回 第4課 復習 文法 "一种是~,一种是…", "当~时 ②1年次の教材より量的に少し長めの文章を、文法の復習と更な 候,・・・", "~的话"の用法 練習問題 る文法事項を学習しながら、読解力を付けていきます。 第8回 第1課~4課中間試験 説明不足個所補充 ③各課の練習問題をしっかり予習復習することで、学習した文法 第9回 第5課 「中華料理」 文法 介詞、受身表現 事項の定着を図ってください。 「~と呼ぶ」の表現 ④複文を作る様々な呼応を学習し、中国語の表現力を増していき 第10回 第5課 復習と練習問題 第6課 「中国の気候」 第11回 第6課 文法 呼応"虽然~但是…","因为~所以… ⑤会話部分は時間に余裕があるときに学習します。会話の授業に ・"、慣用句"听说~"、練習問題 合わせて自習し、将来延長できるような、中国語の「読み、書 第12回 第7課 「旅行」 文法 呼応"对于~来说,…", "有 き、聞き、話す」力をしっかりと身につけるよう心がけてくだ 的~, 有的…", "越来越…", "每逢~, 就…", さい。 第13回 第7課 練習問題 第8課[夏休みの生活] 文法 注意 呼応"从~开始···", "是~的" 1) 中国語ではまだ文法用語が統一されていない部分があります。 第14回 第8課 復習 練習問題、 先生から説明を受けてください。 第15回 春学期のまとめ 2) 履修者の理解状況によっては進度を調整することもあります。 テキスト、参考文献 評価方法 海村惟一他『中級 サクセス中国語』(郁文堂) 平常の授業への取り組み(予習・復習含む)、中間・期末試験の 結果等に基づき、大学の成績評価基準に基づいて評価する。

08 年度以降 07 年度以前	総合コース	中国語(Ⅱb 講読・ 中国語Ⅱb (講読・			担当者	各担当教員
講義目的、講義概要			授業計	·画		
・春学期に続き中国語 ・中国語の語彙を増や ・中国語の総合的な中す。 【講義概要】 ①春学期に引き続き ②複文を作る様々な阿ていきます。	所の基礎力プラス版 でし読解力を増強で で国語運用能力を引 で書く」、「読む」に で応をさらに学習し	を目標にして進めます。 に用力増強を図ります。 かることを目標とします。 かいではなった。 ないでで重点を置きます。 ないででである。 ないでは進度を調整することでは は、進度を調整することで	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	結第第練第呼第第復第第"第第"第"第第果910習11応112習913~1314根15多1516課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課課	「上習文 「要復文問課「有復文来」「点復のの習 、 トン練子 「関本題中国、習法・・中、習法題中国、 智・・中、習いない。 一、	」 文法"到~为止,···", ル"の用法 第16課 「年越し」 "在~之前",練習と練習問題
テキスト、参考文献	^-	II (Art L. Mr.)	評価方			
海村惟一他『中級	サクセス中国語	』(郁文堂)				復習含む)、中間・期末試験の結構に基づいて評価する。

 08 年度以降
 中国語(IIIa 会話)

 07 年度以前
 中国語 IIIa (会話)

 担当者
 菊池 真純

講義目的、講義概要

受講者は、初級(上)、中級以上の中国語能力を必要とする。目安として、1年以上の中国語学習経験者を対象とし、またすでに、2、3年以上の中国語学習経験者にとっても、本場中国で話されている会話を学ぶ講義としてふさわしい内容を取り上げる。

本講義では、中国人の思想、習慣、文化が反映されている日常生活の各場面から中国語を学ぶことを目的とする。 発音、表現方法を正しく身につけ、会話をすることを第一の目標とする。

会話の講義であるため、毎回の講義における平常点を重視する。

受講者は、毎回課題を日本語に翻訳して講義に臨み、講義の場で理解を深める。

辞書には載っていない複数の時事用語もキーワードとして毎回取り上げ、その背景にある社会や文化、歴史に関して講義で解説する。

講義では、課題を学んだあとに、それぞれのテーマに沿って、受講者が自ら中国語で会話文を考え、話す練習を行う。

毎回、課題で出される会話文は、次回の講義までに暗唱し、 文章がスラスラと口から出るようにする。

授業計画

- 1. イントロダクション:講義の進め方、評価方法、注意事項を紹介
- 2. 自我介绍:中国語で自分の名前の漢字を口頭で説明し、名前の由来、出身地などを表現する
- 3. 健康是第一:健康を保つための運動、食事、休息など生活習慣を取り上げる
- 4. 好东西人人爱吃:中国の飲食習慣、食事の席での作法、習慣 を取り上げる
- 5. 打扮得漂亮一点:衣服、髪型、持ち物などファッションを取り上げる
- 6. 生活中琐碎的事情:家事や家族間での些細な出来事を取り上げる
- 7. 轻松地休息日:休日の過ごし方、リラックスする方法を取り トげる
- 8. 挣钱、花钱:生活のなかの収入と支出に関する話題を取り上げる
- 9. 有话好商量:他人との関わりのなかで生じた揉め事、対立での相談方法、解決方法を取り上げる
- 10. 咨询一下:買い物や旅行などの際に行う問い合わせの方法を 取り上げる
- 11. 享受艺术:映画、音楽、絵画など生活のなかに溢れる芸術の 鑑賞を取り上げる
- 12. 家庭婚姻:結婚、家庭、愛情に関する内容を取り上げる
- 13. 难忘的旅游:中国各地の観光地を取り上げる
- 14. 特別的经历:特別に運が悪かった経験、運が良かった経験、 珍しい経験を取り上げる
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

担当教員・菊池真純が随時作成した課題を配布する。

評価方法

- 平常点:65%(第2週~第14週:各5%)
- ・期末テスト:35%

 08 年度以降
 中国語(IIIIb 会話)

 07 年度以前
 中国語 IIIb (会話)

 担当者
 菊池 真純

講義目的、講義概要

受講者は、初級(上)、中級以上の中国語能力を必要とする。目安として、1年以上の中国語学習経験者を対象とし、またすでに、2、3年以上の中国語学習経験者にとっても、本場中国で話されている会話を学ぶ講義としてふさわしい内容を取り上げる。

本講義では、中国人の思想、習慣、文化が反映されている日常生活の各場面から中国語を学ぶことを目的とする。 発音、表現方法を正しく身につけ、会話をすることを第一の目標とする。

会話の講義であるため、毎回の講義における平常点を重視する。

受講者は、毎回課題を日本語に翻訳して講義に臨み、講義の場で理解を深める。

辞書には載っていない複数の時事用語もキーワードとして毎回取り上げ、その背景にある社会や文化、歴史に関して講義で解説する。

講義では、課題を学んだあとに、それぞれのテーマに沿って、受講者が自ら中国語で会話文を考え、話す練習を行う。

毎回、課題で出される会話文は、次回の講義までに暗唱し、 文章がスラスラと口から出るようにする。

授業計画

- 1. イントロダクション:講義の進め方、評価方法、注意事項を紹介
- 2. 自我介绍:中国語で自分の名前の漢字を口頭で説明し、名前 の由来、出身地などを表現する
- 3. 健康是第一:健康を保つための運動、食事、休息など生活習慣を取り上げる
- 4. 好东西人人爱吃:中国の飲食習慣、食事の席での作法、習慣 を取り上げる
- 5. 打扮得漂亮一点:衣服、髪型、持ち物などファッションを取り上げる
- 6. 生活中琐碎的事情:家事や家族間での些細な出来事を取り上 げる
- 7. 轻松地休息日:休日の過ごし方、リラックスする方法を取り トげる
- 8. 挣钱、花钱:生活のなかの収入と支出に関する話題を取り上げる
- 9. 有话好商量:他人との関わりのなかで生じた揉め事、対立で の相談方法、解決方法を取り上げる
- 10. 咨询一下:買い物や旅行などの際に行う問い合わせの方法を 取り上げる
- 11. 享受艺术:映画、音楽、絵画など生活のなかに溢れる芸術の鑑賞を取り上げる
- 12. 家庭婚姻:結婚、家庭、愛情に関する内容を取り上げる
- 13. 难忘的旅游:中国各地の観光地を取り上げる
- 14. 特別的经历:特別に運が悪かった経験、運が良かった経験、 珍しい経験を取り上げる
- 15. まとめ

テキスト、参考文献

担当教員・菊池真純が随時作成した課題を配布する。

評価方法

- ·平常点:65%(第2週~第14週:各5%)
- ・期末テスト:35%

08年度以降 中国語 (Ⅲa 講読・文法) 担当者 平野 佐和 07年度以前 中国語Ⅲa (購読・文法) 講義目的、講義概要 授業計画 読解・応用練習を通して中国語Ⅰ・Ⅱで学んだ語彙・文 1. 第1課 読解 法事項の定着・発展を図るとともに、中国語の文章を読む 2. 第1課 解読の手がかり のに慣れ、教科書以外の文章も自力で読むのに必要な豊か 3. 第2課 読解 4. 第2課 解読の手がかり な読解力の養成を目指します。 5. 第1、2課 課題復習 読解では、変貌を遂げつつある中国社会を理解する一助 6. 第3課 読解 として新しい社会を反映する新語、流行語を含む時事文を 7. 第3課 解読の手がかり 対象とし、中国語の文の構造に注意をはらい正確に読み取 8. 第4課 読解 る力を養います。 9. 第4課 解読の手がかり 10. 第3、4課 課題復習 他方、「読む」ばかりでなく、自分から「発信する」応 11. 第5課 読解 用力を身につけるため、基礎的な語句と文型の応用練習 12. 第5課 解読の手がかり (解釈・作文)も並行して行います。 13. 第6課 読解 14. 第6課 解読の手がかり 15. 第5、6課 課題復習 テキスト、参考文献 評価方法 テキスト: 『2014 年度版 時事中国語の教科書』 期末試験 60%・平常点 (発表・課題・参加姿勢) 40%によ 朝日出版社 って評価します。

08 年度以降 07 年度以前	中国語(Ⅲb 講読・文法) 中国語Ⅲb(購読・文法)		担当者	平野 佐和
講義目的、講義概要	E C	授業計画		
法事項の定着・発展のに慣れ、教科書以な読解力の養成を目読解では、変貌をとして新しい社会を対象とし、中国語のる力を養います。	と遂げつつある中国社会を理解する一助 と反映する新語、流行語を含む時事文を の文の構造に注意をはらい正確に読み取 かりでなく、自分から「発信する」応用 の、基礎的な語句と文型の応用練習(解	1. 第 8 8 7 9 8 8 8 7 9 9 1 1 0 、 1 1 1 2 2 2 3 3 2 4 3 4 3 5 5 6 6 7 5 8 5 9 5 9 1 1 1 1 2 1 2 1 3 3 1 4 4 5 5 1 4 5 1 5 1 4 5 1 5 1 5 1 5 1	解読解 表解 所 所 所 解 所 解 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所	り り かり かり かり
テキスト、参考文献	†	評価方法		
テキスト: 『2014年	F度版 時事中国語の教科書』 朝日出版社	期末試験 60%・ って評価します。		・課題・参加姿勢)40%によ

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ia 基礎)_月 1 朝鮮語 Ia(基礎)_月 1		担当者	柳 蓮淑
講義目的、講義概要	P	授業計画		
ながら、簡単な日常 国の文化事情を理 K-POP などの視聴 韓国語をはじめた 味のある方、ぜひき	文字の読み書きを基礎から丁寧に学び 常会話ができることを目標とします。韓 解するために、韓国のドラマや映画、 意覚教材も適宜取り入れる予定です。 から学びたい方、韓国語・韓国文化に興 チャレンジしてみてください!同じ漢字 語は日本人にとって学びやすい外国語	1. 講義の概要、 2. ハングルとは 3. ハングルの相 4. ハングルの相 5. ハングルの相 6. ハングルの相 7. ハングルのイモラ 9. 私は日本人で何 10. 日本は何イモリ 11. それは何イモリ 12. 韓国のがおどこ 14. 学校のまと 15. 講義のこと	は 講造 (基本音) は 基本本音 成 の の で あ す チ ま に か か ま す り か ま す り か ま ま も か ま ま か か ま ま か か ま か か ま か か か か	音) 音) 音) ム) 習
テキスト、参考文献		評価方法		
李志暎他『できる韓	韋国語 初級 I 』DEKIRU 出版	/ = //***	, - ,	って評価するが、平常授業に の実績(20%)も評価対象と

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib 基礎)_月 1 朝鮮語 Ib(基礎)_月 1		担当者	柳 蓮淑
講義目的、講義概要	2	授業計画		
や語彙を体系的に当の日常会話ができる文法事項の解説を量一クによる応用練習で復習を積み上に聞くといった四技館韓国の文化事情を理	内な文法や語彙を復習しつつ、基礎文法 さぶことによって、様々な場面での高度 ることを目標とします。 最小にとどめ、発音や聞き取り、ペアワ 習に力を入れます。積極的に発声し、予 ずることによって、読む、書く、話す、 他の向上が実感できるはずです。 理解するために、韓国のドラマや映画、 可覚教材も適宜取り入れる予定です。	1. 講義の概要 2. 週末は何をは 3. そいつはを 5. 雑国のでする 6. 韓国のでする 7. い名的はいる 9. お名ちののは 10. 世報本とにそり 11. 韓本とにそり 12. 日本泉にゼンま 14. プよの 15. 講義ののでは 15. 講義ののでは 16. はいるののでは 17. はいるののでは 18. はいるでは 19. はいるののでは 19. はいるのでは 19. はいるののでは 19. はいるのでは 19. はいるので 19. はいるの 19. はいるので 19. はいる 19. はいる 19. はいる 19. はいる 19. はいる 19. はいる 19. はいる 19. はいる 19.	、ありません かいでする、 たいましたか ましたかました。 さきもくないでするに たいすっでするに たいすでするに たいすでするに たいすでするに たいすでするに たいすでするに たいすでするに たいすでするに たいするに たいするに たいするに たいするに たいずる たいずるに たいずる たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずるに たいずる たいず たいずる たいずる たいずる たいず たいずる たいずる たいずる たいずる たいずる たいずる たいずる	ますか 習 ごか 逗習 けど、かなり違いますね
テキスト、参考文献		評価方法		
李志暎他『できる草	韓国語 初級 I 』DEKIRU 出版	/ = / / *	, - ,	って評価するが、平常授業に の実績(20%)も評価対象と

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ia 基礎)_火 1 朝鮮語 Ia(基礎)_火 1		担当者	柳 蓮淑
講義目的、講義概要	P	授業計画		
ながら、簡単な日常 国の文化事情を理 K-POP などの視聴 韓国語をはじめた 味のある方、ぜひき	文字の読み書きを基礎から丁寧に学び 常会話ができることを目標とします。韓 解するために、韓国のドラマや映画、 意覚教材も適宜取り入れる予定です。 から学びたい方、韓国語・韓国文化に興 チャレンジしてみてください!同じ漢字 語は日本人にとって学びやすい外国語	1. 講義の概要、 2. ハングルとは 3. ハングルの相 4. ハングルの相 5. ハングルの相 6. ハングルの相 7. ハングルの相 8. 韓国のイモラ 9. 私は日本人で何 10. 日本は何で 11. それは何で 12. 韓国があり 14. 学校はまと 15. 講義のまと	は 構造(基本母子) 構造(急の) 構造(合の) はおままますがいますがいますがいますがいますがいますがいますがいますがいますがいます	音) 音) 音) ム) 習
テキスト、参考文献	*	評価方法	(
李志暎他『できる韓	韋国語 初級Ⅰ』DEKIRU 出版			って評価するが、平常授業に の実績(20%)も評価対象と

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib 基礎)_火 1 朝鮮語 Ib(基礎)_火 1		担当者	柳 蓮淑
講義目的、講義概要	2	授業計画		
や語彙を体系的に当の日常会話ができる文法事項の解説を量一クによる応用練習で復習を積み上に聞くといった四技館韓国の文化事情を理	内な文法や語彙を復習しつつ、基礎文法 学ぶことによって、様々な場面での高度 ることを目標とします。 最小にとどめ、発音や聞き取り、ペアワ 習に力を入れます。積極的に発声し、予 げることによって、読む、書く、話す、 他の向上が実感できるはずです。 理解するために、韓国のドラマや映画、 可覚教材も適宜取り入れる予定です。	 講義の概明を表は概要を表している。 4. いつまのではませる。 6. 韓国ので韓前らいる。 7. が名はいる。 10. が名はいる。 11. 韓国本とはいる。 12. 日本泉にせる。 14. プレゼント 15. 講義のませる。 	くありません すかかって3、 チョモしたましたましたませんいです。 ・・を買いてすのです。 ・・を買いてすのです。	ますか 習 さか 夏習 けど、かなり違いますね
テキスト、参考文献 李志暎他『できる草	t 韓国語 初級Ⅰ』DEKIRU 出版	評価方法 定期試験の結果	(80%) によ	って評価するが、平常授業に
		おける会話や復します。	習テストなど	の実績(20%)も評価対象と

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
08 年度以降 07 年度以前 韓国語(I a 基礎) 朝鮮語 I a (基礎)		担当者	金 熙淑
講義目的、講義概要	授業計画		
言語はその国の文化を知る一番の近道である。 ハングル文字の構造は科学的、体系的であり、発音上の多様な表現を可能にする。 本講義では、韓国語の基本的な会話表現を学びながらハングル文字の学習と発音の変化の規則を学ぶ。はじめて出会うハングル文字の読み書きができる楽しさ、初級段階の基本的な文法を知る楽しさ、挨拶や自己紹介などの簡単な会話ができる楽しさを知る。そのためには地道な努力が必要であり、常に復習と予習を繰り返す必要がある。受講生には韓国語を学ぶ目的をもち、授業中には積極的に参加したい ●韓国の代表的な民謡(アリラン)・童謡などの歌を通して日韓の交流をも図る。	8. 発音規則 9. 発音規則 10. 会話(新 11. 名詞+で 12. 会話(大 13. 名詞+~	の 構造 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	パスで)
テキスト、参考文献 崔柄珠『おはよう 韓国語 1』	評価方法 授業への参加	度(20%)。□	中間試験・期末試験(80%)

_				
08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib基礎) 朝鮮語Ib(基礎)		担当者	金 熙淑
講義目的、講義概要	要	講義目的、講義	概要	
前期の韓国語(Ia 基礎)で身についた知識を フル活用する。既に身についたハングルの文字が		1. 春学期の他 2. 会話(図書		

読めるようになれば、一気に楽しくなる。

朝日出版社(2014年)

本講義では、見てわかる、聞いてわかるという 「理解語彙」と、書ける、話せるという「使用語彙」 を増やす学習をめざす。基礎段階で学習すべき文 法も体系的に学び、より豊かな表現力を身につけ、 韓国語ができるという自身感をもてるように工夫 したい。

●「韓国語ができるという」楽しさを知り、実際 のコミュニケーションを楽しむために、授業中に は積極的な参加が求められる。

- 3. 用言+니다体の表現
- 4. 用言+ス 않다の否定文
- 5. 会話 (ウンジの家の前で)
- 6. 요体の表現
- 7. 漢数詞
- 8. 会話(公園で)
- 9. 아요/어요の縮約形
- 10. 固有数詞
- 11. 時刻
- 12. 会話(靴屋で)
- 13. 用言の連体形
- 14. 楽しい買い物・ハングルで作文
- 15. まとめ

テキスト、参考文献 評価方法

崔柄珠『おはよう 韓国語1』朝日出版社(2014年)

授業への参加度(20%)、中間試験・期末試験(80%)

08 年度以降 07 年度以前 韓国語(I a 基礎) 朝鮮語 I a (基礎)		担当者	呉 吉煥
in 期の授業では、韓国語文字(ハングル)の正確な発音と書き方、韓国語文章の構造や作り方、日常会話でよく使う簡単な決まり文句などの習得を目指す。 授業の前半には、テキストの内容に従ってハングルの子音と母音の発音、文字の書き方などを覚える。後半には、教科書の基本文型を中心に文章の構造や作り方などを学習し、自己紹介など簡単な韓国語の作文ができるようにする。また授業中には、朝鮮半島の文化や社会についても随時紹介する。	11回 「~で 12回 自己紹: 13回 漢数詞	ール き方、発音の 3 です」「A は	B ですか?」の表現 」の表現 称など
テキスト、参考文献 テキスト:金京子・喜多恵美子『パランセ韓国語-改訂版-』 初級(朝日出版社、2013年)	評価方法 授業への参加度	:30%、期	末試験:70%

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib基礎) 朝鮮語Ib(基礎)		担当者	呉 吉煥
的な用言の活用法、 で使う基礎的な会話 を目指す。 授業は、テキスト などを説明してから する。そして会話の	前期に学んだことを復習しつつ、基本助詞や数詞の使い方、そして日常生活の表現などを学習し、基礎課程の完成の内容に従い、まず関連する文法事項が、練習問題を通じて学んだことを確認の本文を使って発音を確かめた後、本文また授業中には、朝鮮半島の文化や社	6回 用言の否? 7回 尊敬形の(8回 「ハダ」) 10回 指言詞。 11回 用定詞。 12回 指定詞。 13回 助数詞。	in 方 方 、 方 、 方 、 方 形 り の 言 活 活 活 活 活 活 活 活 活 活 活 活 活 活 法 え 。 の ま 活 法 え ま え た う に の 用 、 た ま 、 の に の れ 、 の 、 を 、 を 、 の 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 の 、 を 、 を	ましょうか」の表現 推量の表現 、「~したい」の表現 ~して下さい」の表現 方 誘の表現
テキスト、参考文献 テキスト:金京子・ 初級(朝日出版社、	· 喜多恵美子『パランセ韓国語−改訂版−』	評価方法 授業への参加度	:30%、期	末試験:70%

08 年度以降 07 年度以前 韓国語(I a 基礎) 朝鮮語 I a (基礎)		担当者	沈 民珪
講義目的、講義概要 本講義は韓国語をはじめて学ぶ人を対象にし、ハングル文字の発音、読み書きと挨拶や自己紹介など単文中心の簡単な表現を学んでいく。さらに、韓国語を学んでいく上に必要な基礎文法や基本文型を学習し、日常会話の基本フレーズを身につけて簡単なコミュニケーションができるように練習していく。そのため、授業中には積極的な参加が求められる。	2基本子音3合成母音4バッチム5発音規則	です	基本母音 韓国語の文法的な仕組み
	10 誰の本です; 11 学校はどこり 12 何をします; 13 どこに行き 14 会話練習(1 15 Review	にありますか か ますか	
テキスト、参考文献 李昌圭『韓国語をはじめよう』朝日出版社、2009 年	評価方法 中間テスト、期末	末テスト、課	題、授業への参加度、

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib基礎) 朝鮮語Ib(基礎)		担当者	沈 民珪
文字の発音、読み 単な表現を学んでい 必要な基礎文法やま ーズを身につけてで	はじめて学ぶ人を対象にし、ハングル書きと挨拶や自己紹介など単文中心の簡いく。さらに、韓国語を学んでいく上に基本文型を学習し、日常会話の基本フレ簡単なコミュニケーションができるよっため、授業中には積極的な参加が	授業計画1前期のはいでのできます。2天今知詞記名4数数詞記名5数数詞記名8ど返末日はにには何何のできまます。10昨年何を食練習11Review しべ習12有会話練習15Review	つですか ですか でいますか しましたか いらっしゃい	ますか
テキスト、参考文献 李昌圭『韓国語をは	吠 よじめよう』朝日出版社、 2009 年	評価方法 中間テスト、期	末テスト、課	題、授業への参加度、

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ia 総合1) 朝鮮語Ia (総合1)	•		各担当教員		
講義目的、講義概要	.	授業計画				
		1ハングルのし	くみ①			
本講義は韓国語の基	基礎的知識を習得することを目標とし、	2ハングルのし	くみ②			
主に「読み」「書き	」に重点を置く。	3ハングルのし	くみ③			
ハングルのしくみた	いらはじめて簡単な挨拶、自己紹介、道	4あいさつ①				
をたずねるなど、方	祭行や日常生活に必要な基本文と共に、	5あいさつ②				
基礎的かつ重要なる	文法をしっかりと身に付けていく。	6名詞文				
よく、「韓国語は日	本語と似ているから習得しやすい」と	7 存在文				
言われるが、そうし	した思い込みは捨ててほしい。 カタカナ	8用言文				
読みの韓国語ではた	なく、「生きた韓国語」に接する機会を	9数詞①				
できるだけ多く提供	共していきたい。	1 0 数詞②				
		11否定形				
		12尊敬形				
		1 3 連用形				
		1 4 해요体				
		15해요体の尊称	敬形			
テキスト、参考文献	*	評価方法				
生越直樹・チョ・と帝社	ニチョル『ことばの架け橋 改訂版』白	中間テスト、期	末テスト			

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib総合1) 朝鮮語Ib(総合1)		担当者	各担当教員		
講義目的、講義概要	要	授業計画				
		1基本事項の確認	認①			
本講義は、春学期に	こ学んだ単語、文法などを活用し、過去	2基本事項の確認	認②			
形、未来形、変則月	用言などを学ぶことにより、韓国語の基	3過去形				
礎を完成させること	とを目的とする。	4連体形①				
		5連体形②				
		6 未来意思形				
		7 己語幹				
		8 ⊏変則用言				
		9 人変則用言				
		10日変則用言				
		11 す変則用言				
			2 三変則用言			
		13変則用言の				
		14まとめと復				
		15まとめと復習②				
テキスト、参考文献	式	評価方法				
	ニチョル『ことばの架け橋 改訂版』白	中間テスト、期	末テスト			
帝社						

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ia総合2) 朝鮮語Ia(総合2)		担当者	各担当教員		
講義目的、講義概要	5	授業計画				
		1ハングルのし	くみ①			
本講義は「韓国語	I (文法・読解1)」で学んだ文法や単	2ハングルのし	くみ②			
語を教室内で実際に	に使用してみることにより、韓国語の実	3ハングルのし	くみ③			
践力を鍛えることに	2重点を置く。	4あいさつ①				
主に「読み・書き」	に力を入れていく。	5あいさつ②				
		6名詞文				
		7 存在文				
		8用言文				
		9 数詞①				
		1 0 数詞②				
		11否定形				
		12尊敬形				
		13連用形				
		1 4 해요体				
		15해요体の尊続	放形			
テキスト、参考文献		評価方法				
生越直樹・チョ・と帝社	:チョル『ことばの架け橋 改訂版』白	中間テスト、期末	末テスト			

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ib総合2) 朝鮮語Ib(総合2)		担当者	各担当教員		
講義目的、講義概要	Ę	授業計画				
		1 基本事項の確認	忍①			
本講義は、春学期に	こ学んだ単語、文法を教室内で使用して	2基本事項の確認	忍②			
みることにより、韓	韓国語の実践力を鍛えることに重点を置	3過去形				
< ∘		4連体形①				
		5連体形②				
		6 未来意思形				
		7 マ語幹				
		8 ⊏変則用言				
		9 入変則用言				
		10日変則用言				
			11 京変則用言			
		12三変則用言	L 1 11			
		13変則用言の				
		14まとめと復行				
		15まとめと復習②				
テキスト、参考文献	#	評価方法				
生越直樹・チョ・ヒ 帝社	・チョル『ことばの架け橋 改訂版』白	中間テスト、期末	末テスト			

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ⅱa講読・会話) 朝鮮語Ⅱa(講読・会話)			担当者	沈	民珪
講義目的、講義概要	E	授業	計画			
		1	基礎文法の	のおさらい1		
韓国語の基礎文法・	・文型の学習を終えた人を対象とする。	2	基礎文法の	のおさらい2		
様々な接続形を学習	習し、短文から複文へと表現力を広げて	3	第1課	サッカーがおめ	子きですか1	
いく。さらに、話せ	せるための種々の重要文型を学び、日常	4	第1課	サッカーがおぬ	好きですか2	
会話力や自己表現力	りの向上を目指す。	5	第2課	明日は何をなる	さいますか1	
		6	第2課	明日は何をなる	さいますか2	
		7	第3課	郵便局に行く!	1	
		8	第3課	郵便局に行く:	2	
		9	第4課『	契茶店にて1		
		10	第4課	喫茶店にて2		
		11	第5課	韓国レストラン	/にて1	
		12	第5課	韓国レストラン	/にて2	
		13	第6課	道を尋ねる1		
		14	第6課	道を尋ねる2		
		15	Review			
テキスト、参考文献		評価				
李昌圭『韓国語中総	及』白帝社、2010年	中間	テスト、期	末テスト、課	題、授業への	参加度

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ⅱb 講読・会話) 朝鮮語Ⅱb (講読・会話)			担当者	沈 民珪
講義目的、講義概要	<u> </u>	授業	計画		
る。様々な接続形を	法・文型の学習を終えた人を対象とす 学習し、短文から複文へと表現力を広 話せるための種々の重要文型を学び、 長現力の向上を目指す。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	第 7 課 第 8 課 第 8 課 第 9 課 第 1 0 課 Review 第 1 1 課 第 1 2 課 第 1 2 課		3 1 3 2 ブをする 1
テキスト、参考文献	*	評価:	方法		
李昌圭『韓国語中総	及』白帝社、2010年	中間	テスト、期ま	末テスト、課	題、授業への参加度

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ⅱa総合1) 朝鮮語Ⅱa(総合1)			担当者	金	熙淑
講義目的、講義概要	5 5	授業	計画			
本講義では「韓国語	I 応用」で学習した内容を復習しつつ、 P語彙を増やすことにより、より高度な	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	1年次の復 1年次の復 第1課 第2課 アクティビ 第3課 復習問題 中間テスト	習 ティ(Kpop [:] ティ(映画鑑		
テキスト、参考文献	#	評価	方法			
『ちょこっとチャレ か	/ンジ!韓国語』金順玉,阪堂千津子ほ	小テ	スト、期末	テスト		

08年度以降	韓国語(Ⅱb総合1)		担当者	金	熙淑
07 年度以前	朝鮮語Ⅱb(総合1)		, 1	317.	ANIZA
	講義目的、講義概要		授業	計画	
	学習した内容を復習しつつ、新しい文法 やすことにより、より高度な韓国語の表 け。	 春学期の復 春学期の復 第7課 第8課 アクテ課 第2問問 中間テスィビ 第10課 第11課 	習 ティ(Kpop :		
テキスト、参考文 献 『ちょこっとチャレ	12. 第12課 13. 復習問題 14-15 まとめ 評価方法 小テスト、期末				

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ⅱa総合2) 朝鮮語Ⅱa(総合2)			金	熙淑
講義目的、講義概要	E	授業計画			
本講義では「韓国語 新しい文法の知識や 韓国語の表現力の登 履修者には韓国語	 1. 1年次の復習 2. 1年次の復習 3. 第1課 4. 第2課 5. アクティビティ (Kpop を聴こう!) 				
ケーションができるように期待したい。6. 第37. 復習8. 中間9. アク10. 第411. 第512. 第613. 復習		 6. 第3課 7. 復習問題 8. 中間テスト 9. アクティビティ (映画鑑賞) 10. 第4課 11. 第5課 12. 第6課 13. 復習問題 14-15 まとめと復習 			
テキスト、参考文献	#	評価方法			
『ちょこっとチャレ か	/ンジ!韓国語』金順玉,阪堂千津子ほ	小テスト、期	末テスト		

08 年度以降 07 年度以前	韓国語(Ⅱb総合2) 朝鮮語Ⅱb(総合2)				熙淑
講義目的、講義概要	· 要	授業計画			
の知識や語彙を増え現力の習得をめざっ	学習した内容を復習しつつ、新しい文法 やすことにより、より高度な韓国語の表 す。 り深いコミュニケーションができるよ	1.春学期の復2.春学期の復3.第7課4.第8課5.アク課6.復習問テティ課8.中間テティ課10.第10 課11.第11 課12.第12 課13.復習14-15まとめ	習 ティ(Kpop [?] ティ(映画鑑		
テキスト、参考文献	t	評価方法			
『ちょこっとチャ! か	ノンジ!韓国語』金順玉,阪堂千津子ほ	小テスト、期末	テスト		

08 年度以降 07 年度以前	外国語(イタリア語 Ia 基礎) イタリア語 Ia			担当者	園田 みどり
講義目的、講義概要	英	授業	計画		
	文法を学ぶ。比較的平易な文章を理解要な基礎的な表現を身につけることを目	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	イタリと記録 名 接 タリ 動 刺 則 則 則 動 動 動 現 現 則 則 動 動 動 動 動 恵 元 規 則 則 動 動 動 恵 元 規 則 則 で で で で で で で 重 重 重 重 重 重 重 重 重 重 重	の発音につい (1) (2) 形容詞 の be 動詞と l 現在形 (1) 現在形 (2) 現在形 (3)	nave 動詞:essere と avere 言う、相手の名前を尋ねる
テキスト、参考文献			ī 方法		
の最初歩【改訂版】	ニ アルダ、藤谷道夫『入門イタリア語 』(三修社)/推薦する辞書:『伊和中 その他に適宜プリントを配布する。	成績	長 (80%) に、		授業内に随時行う小テストの 事情がない限り、あまりにも 認めない。

08 年度以降 07 年度以前	外国語(イタリア語 Ib 基礎) イタリア語 Ib			担当者	園田 みどり	
講義目的、講義概要	2	授業	計画			
春学期に引き続き、	イタリア語の初等文法を学ぶ。比較的	1	会話表現: 🤋	家族構成を話	す	
平易な文章を理解し	、、日常会話に必要な基礎的な表現を身	2	様態動詞(~	~できる、~	しなくてはならない、	
につけることを目指	旨す。		~したい)			
		3	所有形容詞	(1)		
		4	所有形容詞	(2)		
		5	会話表現:信	主んでいる場	所、出身地を話す	
		6	代名動詞(1	_)		
		7	代名動詞(2	2)		
		8	会話表現:	あるものが存	在するかしないかを聞く	
			比較級と最上	上級		
			近過去(1)			
		11 近過去 (2)				
		12 直接・間接目的語代名詞				
			半過去(1)			
		14 半過去 (2)				
		15	まとめ			
テキスト、参考文献	#	評価	 i方法			
の最初歩【改訂版】	- アルダ、藤谷道夫『入門イタリア語』(三修社)/推薦する辞書:『伊和中 その他に適宜プリントを配布する。	成績	も (80%) に		授業内に随時行う小テストの 事情がない限り、あまりにも 認めない。	

08 年度以降 07 年度以前	外国語(イタリア語 I a 基礎) イタリア語 I a		担当者	島津 寛
化、更にはヨーロッことを目標とします(概要)	导、および伊語学習を通じてイタリア文 いパ文化へと考察を広げ、理解を深める け. のための、筆記、口述、聴解各面からの ます.	授業計画 1) ガイダンス ス	介・挨拶の総習(1) 習(2) 習(3) 習(4) 調の練習(1) 調の練習(2) 動詞の練習(3) ・所有形容記 動詞の練習(1) 動詞の練習(1) 動詞の練習(1)	東習(2)) 可のまとめ(1) 可のまとめ(2))
テキスト、参考文献 教科書 東京大学イタリア語教材編集委員会『イタリア語のスタート 文法と練習(CD付)』白水社、2011年.		評価方法 平常点(宿題を に総合的に判断		スト、期末試験の成績をもと

08 年度以降 07 年度以前	外国語 (イタリア語 I b 基礎) イタリア語 I b		担当者	島津	寛
化、更にはヨーロッ ことを目標とします (概要)	导、および伊語学習を通じてイタリア文ッパ文化へと考察を広げ、理解を深めるけ. つための、筆記、口述、聴解各面からの	授業計画 1) 人称代名詞のの2) 人称代名詞のの3) 近過過去形ののの4 近過過去形ののの調査 表形のの過去 表形ののの調査 表別 再帰帰婦 表別 再帰帰 表表形のの11) 半過過去形の約11) 半過過去形の約12) 半過過去表形の約14) 半過過去形の約15) 半過	練習(2) 響(1) 習(2) 習(3) 習(4) 習(5) 習(1) 東習(2) 東習(1) 東習(2) 東習(3) 東習(4)		
	成 番教材編集委員会『イタリア語のスター D付)』白水社、2011 年.	評価方法 平常点(宿題を 的に判断します.		スト、課題提出を	をもとに総合

08 年度以降 07 年度以前	外国語(イタリア語Ⅱa基礎) イタリア語Ⅱa		担当者	島津 寛
化、更にはヨーロッ ことを目標とします (概要) 伊語初級文法習得の 練習が中心となりま の単調さをおぎなる 話テクストの使用も	・ ・ ・ よい伊語学習を通じてイタリア文 ・ パ文化へと考察を広げ、理解を深める	授業計画 1) 過去形・再帰 2) 過去形・再帰 4) 過去形・再帰 5) 過去形・再帰 6) 大過去形・再帰 6) 大過去形・再帰 8) 未来形の練 7) 大過去形の練 10) 条件法の練 11) 条件法の練 11) 条件法の練 12) 条件法形の約 14) 遠過去形の約 15) 遠過去形の約	動詞の復習(記 動詞の復習(記 動詞の復習(記 動詞の復習(記) (2) (1) (2) (2) (2) (3) 東習(1) 東習(2)	2) 3) 4)
	大 野教材編集委員会『イタリア語のスター D付)』白水社、2011 年.	評価方法 平常点(宿題を 的に判断します.		スト、課題提出をもとに総合

08 年度以降 07 年度以前	外国語(イタリア語Ⅱb 基礎) イタリア語Ⅱb		担当者	島津 寛
化、更にはヨーロッ ことを目標とします (概要) 前半は伊語初級文法 からの練習が中心と に応じて、時事的な 画のシナリオなどの	・ 寻、および伊語学習を通じてイタリア文 パ文化へと考察を広げ、理解を深める	授業計画 1) 接続法の練習 2) 接続法の練習 3) 接続法の練習 4) 接続法の練習 5) 接続法の練習 6) 接続法の練習 7) 接続法の練習 8) 講読(1) 9) 講読(2) 10) 講読(3) 11) 講読(4) 12) 講読(6) 14) 講読(7) 15) 映画鑑賞	(2) (3) (4) (5) (6)	
	大 西教材編集委員会『イタリア語のスター D付)』白水社、2011 年.	評価方法 平常点(宿題を 的に判断します.		スト、課題提出をもとに総合

08年度以降	外国語(ポルトガル語Ia総合)		担当者	牧野・真也
07年度以前	ポルトガル語 I a(総合)	ポルトガル語 I a(総合)		(人) 共也
講義目的、講義概要	5	授業計画		
おり、後期のポルト 初級文法を学びます 授業では、教科書の ら、基本的な文法項 す。文法項目は、表 に応じて英語など す。 辞書はぜひ購入する際や教科書以外のな	の対話テキストの理解を出発点としなが 質目と定型表現の確実な習得を目指しま 対科書と補助プリントを用いつつ、必要 と対照させながら説明していく予定で ることをお勧めします。練習問題を行う で章を読むときに必要になります。本邦 パルトガル語辞典』白水社がお勧めです。	01. ガイダンス、 02. 主格人の 03. 名詞動動画 05. 規則動詞詞面 06. 規則動詞詞面 07. 規則動詞詞面 (1) 08. 規則動詞の面 (1) 09. 不対格人、、 11. 再感説法半 12. 直数形	教科書用規と を	(2)、疑問詞、指示詞、曜日名 形(1)、基本前置詞 a, para, por 、不規則動詞の直説法過去形 形(2)と直説法過去形(2) 字数詞(1) 詞、基数詞(2)、序数詞(2)
テキスト、参考文献		評価方法		
テキスト:講師がご辞書:上記を参照0	プリント形式で用意します)こと			+授業への参加度)+最終日)者を合格とします。

08 年度以降 07 年度以前	外国語(ポルトガル語 Ib総合) ポルトガル語 Ib(総合)		担当者	牧野 真也
講義目的、講義概要	5	授業計画		
ル語の初級文法を管 授業では、教科書の ら、基本的な文法項 す。文法項目は、考 に応じて英語など す。	の対話テキストの理解を出発点としなが 質目と定型表現の確実な習得を目指しま 対科書と補助プリントを用いつつ、必要 と対照させながら説明していく予定で うことをお勧めします。練習問題を行う て章を読むときに必要になります。本邦 パルトガル語辞典』白水社がお勧めです。	級 02. 優等比較級、03. 法動詞 poder 04. 受動文、結身 05. 斜格人被 16. 直説法未来 17. 08. 直説法分詞詞 10. 過係代名詞 11. 関係代名詞 12. 接続法現在 11.	道説法大	形、接尾辞-mente、絶対最上 、同等比較級、相対最上級 了不定詞、人称不定詞 動詞の直説法現在形(3) 過去分詞 未来形、気象表現 去過去前未来形、、時間表現(2) o que と quem(2)、指示詞 o ジ容詞 cujo 文(2)、接続法半過去形 形、接続法大過去形
テキスト、参考文献	†	評価方法		

テキスト:講師がプリント形式で用意します

辞書:上記を参照のこと

平常点4割(練習問題の解答+授業への参加度)+最終日

試験点6割とし、60点以上の者を合格とします。

08 年度以降 05 年度以前	外国語 (ポルトガル語 I a 会話) ポルトガル語 I a (会話)		担当者	牧野 真也
講義目的、講義概要	g	授業計画		
を中心に学びますがを中心としてポルト その他、機会があれ介する予定です。 本格的に学習するの		は 各回、以下のトピックを中心に学習する予定です。 01. イントロダクション「挨拶する」「出身地を尋ね 02. 「物の名を尋ねる」「持ち主を尋ねる」 03. 「曜日を尋ねる」「日付を尋ねる」 04. 「健康状態を尋ねる」「場所を尋ねる」 05. 「時間を尋ねる」「約束・待ち合わせをする」 06. 「人を待つ」「物の貸し借りをする」 07. 「聞き返す」「好き嫌いを述べる」 20. 「食事をする」「買い物をする」		ドナる」「出身地を尋ねる」 主を尋ねる」 尋ねる」 所を尋ねる」 待ち合わせをする」 りをする」 述べる」 する」 でる」 「天候を尋ねる」 にでる」「同意する」 経験を述べる」 にでる」「勧誘する」 述べる」「誇張して述べる」
テキスト、参考文献	状	評価方法		
テキスト:講師が7 辞書:上記を参照0	プリント形式で用意します Dこと			+授業への参加度)+最終日)者を合格とします。

08 年度以降 05 年度以前	外国語(ポルトガル語 I b 会話) ポルトガル語 I b (会話)		担当者	牧野 真也
講義目的、講義概要	E	授業計画		
を中心に学びますがを中心としてポルト その他、機会があれ介する予定です。 本格的に学習するの		01. イントロダク 02. 「相互動作を 03. 「感謝する」 04. 「休暇につい 05. 「過去の習慣	「ショオにある」。 ・シ現題ねべば望・ないで、 ・推丁でもしいで、 ・でではいいでである。 ・ででは、 ・でである。 ・ででである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・ででである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・ででである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・ででである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・ででである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でででである。 ・でででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででででしてででででででしてででででしてででででででしてでででででしてでででででしてでででででしてでででででで	過去時を表現する」 上げる」「乗り物の表現」 未遂の事柄を述べる」 過去の状態を述べる」 「喜びを表現する」 べる」 ・を表現する」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
テキスト、参考文献		評価方法		
テキスト:講師がご辞書:上記を参照0	プリント形式で用意します Oこと			+授業への参加度)+最終日 者を合格とします。

08 年度以降 07 年度以前	外国語 (ロシア語 I a 総合) ロシア語 I a (総合)			齊藤 毅
講義目的、講義概要	문	授業計画		
アルファベット (*) 期を含めた一年間ことを目指します。ロシア語は様々なず、大学以外ではたの機会にロシア語の	たロシア語クラスです。 キリル文字)の読み書きから始め、秋学でロシア語文法の初歩をマスターする 分野で重要な言語であるにもかかわらなかなか学ぶ機会がありません。ぜひこり世界へ足を踏み入れてみてください。 「ロシア語 I 会話」とあわせて受講する 単独での履修も可能です。	事項は以下の通り 1-8 アルファベラ 基本的な文型 9-10 名詞の性、 11-12 動詞の現在 13-14 場所の表現 15 予備日 授業では受講者の 春学期はとくに	りです。 ット(キリル 型(平叙文、 形容詞類の3 在変化(1) 現((前置詞、 の皆さの練習に 発音の練習に	名詞の格変化の導入) 一人の練習を中心とします。
テキスト、参考文献	tt	評価方法		
= >1	ア語文法への旅(改訂版)』(大学書林) 受業時に紹介してゆきます。	①期末試験(80(20%)(%はおお		スト・授業態度などの平常点

08 年度以降 07 年度以前	外国語 (ロシア語 I b 総合) ロシア語 I b (総合)			齊藤 毅
講義目的、講義概要	· 要	授業計画		
「ロシア語 Ia 総合」の続きの授業です。「Ia」と同じ教科書をもちいて、引き続きロシア語文法を学んでゆきます。		教科書の第 18 課まで進むことを目標とします。主な学習 事項は以下の通りです。		
		1-2 動詞の現在3 3 動詞の現在変化		
		3 期間の現代変化 (3) 4-5 形容詞の変化		
		6-7 名詞の複数形		
		8-9 名詞の格変化 (1) 生格		
		10-11 名詞の格変化 (2) 対格 12 動詞の過去変化		
		12 動詞の過去変化 13-14 運動の動詞、方向の表現 15 予備日		
	ab			
テキスト、参考文献		評価方法		
黒田龍之助『ロシア語文法への旅(改訂版)』(大学書林) 辞書・参考書等は授業時に紹介してゆきます。		①期末試験(80(20%)(%はおお	, . ,	スト・授業態度などの平常点で)。

08 年度以降 07 年度以前	外国語 (ロシア語 I a 会話) ロシア語 I a (会話)		担当者	小西 昌隆	
講義目的、講義概要	2	授業計画			
このクラスはは	じめてロシア語を学ぶ人を対象として	1. ガイダンス			
います。		2. 文字と発音(1)		
キリル文字とい	われるロシア語アルファベットの文字	3. 文字と発音(2)		
と発音に慣れるとこ	ころから始めて、会話を中心にしながら	4. 文字と発音(3)		
ロシア語の基礎を覚	学習していきます。自己紹介や挨拶、買	5. 名詞の性、代	名詞		
い物、道の訊ね方質	等、日常に必要な表現を習得します。	6. 形容詞の変化			
ロシアは実に多っ	様で奥深い文化的足跡を残してきた国	7. 名詞の複数形			
です。ロシア語学習	習に奥行きをもたせるためにも、授業の	8. 所有代名詞			
なかでおもに映像	によりながらロシアの現在や文化の一	9. 人称代名詞			
端を紹介していきた	といと思います。	10. 動詞の現在形(1)			
		11. 名詞の対格(1)			
		12. 願望の表現			
		13. 命令形の表現			
		14. まとめ			
		15. 映画鑑賞			
		※ その他、授業のなかで随時ロシアの文化を紹介する時			
		間をもちたいと思います。			
テキスト、参考文献	*	評価方法			
	ュシア語へのパスポート』(改訂版、CD		単語テスト、	授業態度などの平常点をもと	
【付き)白水社 【その他 補助数材】	こして適宜プリントを配布します。	に評価します。			
こっつ回、11115月代内で					

08 年度以降 07 年度以前	外国語 (ロシア語 I b 会話) ロシア語 I b (会話)		担当者	小西 昌隆
春学期の復習を行	きの授業になります。 行い、習熟度を深めた上で、ロシア語の またあらたに具体的な状況に即した口語	授業計画 1. 春方時期の復所現場表表の間が表表現現	所有の表現 各と場所の表 (2) O対格 のなかで随	現
付き) 白水社	ぱ コシア語へのパスポート』(改訂版、CD こして適宜プリントを配布します。	評価方法 期末試験および単語テスト、授業態度などの平常点をも に評価します。		

 08 年度以降 07 年度以前
 外国語 (ロシア語 IIa 総合) ロシア語 IIa (総合)
 担当者
 齊藤 毅

講義目的、講義概要

昨年度の「ロシア語 I 総合」の続編の授業です。昨年度と同じ教科書を用いて、引き続きロシア語文法を学んでゆきます。春学期、および秋学期の最初のうちにこの教科書を終え、その後はプリント教材をもちいて新たな文法事項を学んでゆきます。最終的に、秋学期の終わりには、辞書を引きながら自力で簡単なロシア語の文章を読めるだけの力(検定試験 3 級程度)を身につけることを目標にします。

会話を中心とした「ロシア語 Π 会話」とあわせて受講することが原則ですが、単独での履修も可能です。

昨年度「ロシア語 I 総合」を履修していなくても、ロシア語の初歩を勉強したことがある人ならば受講可能です。

授業計画

教科書の第 18 課から始めます。学習事項としては、ロシア語文法のかなめである「格変化」(日本語の助詞に相当)が中心になります。

1-2 運動の動詞、方向の表現

3-4 格変化·生格

5-6 格変化·前置格

7 まとめと応用(数詞)

8-9 格変化· 与格

10-11 状態の表現 (無人称文)

11-12 未来の表現

13-14 格変化・造格

15 予備日

さらにロシア語学習には不可欠なアルファベット筆記体 の書き方、および辞書の引き方を練習し、プリント教材を 用いて簡単なテキストの読解練習も始めます。また、昨年 度に習得した文法事項や語彙の復習にも時間を割きます。

テキスト、参考文献

黒田龍之助『ロシア語文法への旅(改訂版)』(大学書林)辞書・参考書等は授業時に紹介してゆきます。

評価方法

①期末試験(80%)、②小テスト・授業態度などの平常点(20%)(%はおおよその目安です)。

 08 年度以降 07 年度以前
 外国語 (ロシア語 IIb 総合) ロシア語 IIb (総合)
 担当者
 齊藤 毅

講義目的、講義概要

「ロシア語Ⅱa 総合」の続きの授業ですので、詳しくはそ ちらをご覧ください。

授業計画

教科書の残りの課を終えたうえで、プリント教材を用いて、新たな文法事項の習得を行なってゆきます。春学期に引き続き、簡単なテキストの読解練習も行ないます。

1-2 数と名詞

3 まとめと応用(前置詞と格変化)

4-6 動詞の体(不完了体と完了体)

7-8 格変化の総まとめ

9 形容詞短語尾

10 比較級・最上級

11-12 関係代名詞、不定人称文

13 仮定法

14 形動詞、副動詞

15 予備日

テキスト、参考文献

黒田龍之助『ロシア語文法への旅(改訂版)』(大学書林)辞書・参考書等は授業時に紹介してゆきます。

評価方法

①期末試験(80%)、②小テスト・授業態度などの平常点(20%)(%はおおよその目安です)。

08 年度以降 07 年度以前	外国語(ロシア語 IIa 会話) ロシア語 IIa(会話)		担当者	小西 昌隆
講義目的、講義概要	E	授業計画		
の既習者、およびは対象とします。 この授業では学作り上げられるよう	話」の続きの授業ですが、「ロシア語I」ロシア語の初歩を学んだことのある人を んだことを生かして自分なりに文章を うになることを目標にします。 ア語I 会話」で前年度に使用したものを きます。	1. ガスス 2. 名 4. オス 2. 名 4. オス 4. オス 4. 未 7. カス 4. 未 7. カス 4. 東 7. カス 4. 東 7. カス 5. 名 5. カス 5. 名 5. カス	と場所の表明 2) 対格 8と場所の表 と「~の上 弋名詞の対格 のなかで随	現
テキスト、参考文献		評価方法		
付き) 白水社	コシア語へのパスポート』(改訂版、CD として適宜プリントを配布します。	期末試験およびに評価します。	単語テスト、	授業態度などの平常点をもと

08 年度以降 07 年度以前	外国語(ロシア語 IIb 会話) ロシア語 IIb(会話)		担当者	小西 昌隆
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画		
春学期の復習を行	会話」の続きの授業です。 行い、習熟度を深めた上で学習を進め、 的な状況に即した口語表現を身につけ	1. 春学期の復習 2. 名詞の (資格 4. 不完」 (本来) (本来) (本来) (本来) (本来) (本来) (本来) (本来)	と完了体動記 2) 化運動の動記 め 1) 2) と作る (1) と作る (2)	到 (2)
テキスト、参考文献		評価方法		
付き) 白水社	コシア語へのパスポート』(改訂版、CD こして適宜プリントを配布します。	期末試験および に評価します。	単語テスト、	授業態度などの平常点をもと

08 年度以降 07 年度以前	タイ語 (タイ語 I a 会話) タイ語 I a (会話)		担当者	江藤	双恵
子解を守った。 そう で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を	発音練習 2 会話 1 3 会話 2 4 会話 3 5 会話 4 6 会話 5 7 会話 6 8 会話 7 9 会話 8 10 会話 9 11 会話 10 12 会話 11 13 タイ事情	(声調・数字 (挨拶、所在に (ものの性質) (家族)、タイ (家族)、タイ (所有、存在)、 (職業、不存在)、 (可能、不所在、 (動詞を用いた) (類別詞の計算 (形容詞の使 (形容詞の使 (映画 どの)		て書く で書く いて書く いて書く を聞いて書く で書く で書く で間いて書く の鑑賞)
テキスト、参考文 南 プリント	犬	評価方法 定期試験の成績 20 パーセント		ント、課題や小 こ判断する。	テストなどを

08 年度以降 07 年度以前	タイ語 (タイ語 I a 会話) タイ語 I a (会話)			担当者	江藤	双惠
講義目的、講義概要	5	授業詞	計画			
子音や母音の発音な じたタイ語での表す 理する。また、言葉 人の行動様式や考え ディクテーション 運用能力や表現能力 インターネットリ いたり、受講者の希	標準タイ語会話を中心に学ぶ。声調、さどの理解を深め、さまざまな状況に応見例を身につけ、文法事項についても整度の背景にあるタイ文化、社会の特徴、大方などについても理解する。からなる表記練習や、作文練習によってである。 動画や映画などのビジュアル教材を用す望に応じてタイの文化・社会に関するかる。といる。どんどん希望を出してほしい。	11 12 13	会話 2 (会話 3 (会話 5 (会話 5 (会話 6 (会話 7 (会話 8 (会話 9 (会話 10 (会話 11 (会話 12 (タイ事情) げた解説)	日付に関する 時刻の表し方 年月などの表 レストラかな用した 自類別ををかける 受身の表もは表 受りの表と賞また (映画鑑賞また	2)、タイ語を 表現)、タイ語を)、タイ語を聞い)、タイ語を聞い 3)、タイ語を聞い 3)、タイ語を聞い 現)、タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて タイ語を聞いて	を聞いて書く いて書く いて書く いて書く いて書く 引いて書く 引いて書く で書く で書く で書く で書く
テキスト、参考文献	*	評価フ				
プリント				を 80 パーセン して総合的に	ノト、課題や小 に判断する。	テストなどを

08年度以降 外国語 (タイ語 II a 文字の読み書き) 担当者 江藤 双恵 07年度以前 タイ語Ⅱa (文字の読み書き)

講義目的、講義概要

文字の表記と発音を中心に学習し、初級レベルのタイ語 を習得するための基礎固めを行う。初級レベルとは、タイ 語を母語とする人々との間にある程度の意志疎通ができ ることである。そのためには文字が判読でき、正しく発音 できることが大前提となる。また、タイ人の行動様式やも のの考え方などを理解しようとする姿勢も求められる。そ こで本講義では、文字の読み方、発音方法、書き方、表現 手法の習熟にとどまらず、言葉の背景にある文化的・社会 的特徴ないしタイ的な世界観にも触れることをめざす。

具体的には、タイ文字の表記と発音方法についてテキス トを用いた講義を行い、タイ文字の子音、母音、数字およ び各種記号の表記方法、発音方法についてマスターする。 随時、インターネット動画、タイ映画などのビジュアル教 材を通じて生きたタイ語に触れる機会をもち理解を深め

初めてタイ語を学ぶ人は、タイ語会話 Ia を先に履修す る方が望ましいが、復習時間に余裕があれば同時に履修し てもかまわない。 Ⅱa のみを履修したい人は前もって講師 に相談されたい。

授業計画

- 1 導入;今タイ語を学ぶ意義は?社会のタイ語需要
- 2 タイ文字の成立と種類、タイ語の特徴についての概 説、ローマ字表記の方法、数字の発音
- 3 文字の読み書き1 (中子音・高子音)
- 4 文字の読み書き 2 (低子音と長母音)
- 5 文字の読み書き 3 (真正二重子音・平音節・促音節)
- 6 文字の読み書き4 (声調符号、短母音)
- 7 文字の読み書き 5 (低子音の高子音化と中子音化、 擬似二重子音)
- 8 文字の読み書き6 (一字再読字)
- 9 文字の読み書き 7 (タイ数字など)
- 10 文字の読み書き8 (特殊な表記)
- 11 タイ事情 (映画などのビジュアル教材を使う予定)
- 12 タイ事情 (映画などのビジュアル教材)
- 13 講読 1 (読み方、文章のつながり方など)
- 14 講読 2 (読み方、タイ語らしい言い回し)
- 15 全体の復習

テキスト、参考文献

「やさしいタイ語 文字の読み書き」(宇戸清治著大学書 林刊) およびプリント

評価方法

定期試験の成績を80パーセント、課題や小テストなどを 20パーセントとして総合的に判断する。

08年度以降 外国語 (タイ語 II b 文字の読み書き) 担当者 江藤 双恵 07年度以前 タイ語Ⅱb (文字の読み書き)

講義目的、講義概要

Ⅱa で学んだタイ文字の読み書き能力をさらに高め、簡 単な文章を講読しながら背景にあるタイの文化、社会、人 の行動様式や考え方などについても理解する。また、基礎 文法を身につけ、簡単な作文能力や、辞書を用いて公文書 レベルのタイ文を自力で読めるような力をつける。

なお、受講者の関心や進度に応じて講義の内容が変わる 場合もある。タイの政治、宗教、農村開発、ジェンダーな ど、今日的な話題を取りあげて議論を行うこともありえ

授業計画

講読1 (読み方、文章のつながり方など)

(タイの文化・祭り)

- (平易な物語など) 講読2
- 3 文法3 (指示詞の用法)
- 文法 2 (一般動詞の用法) 4
- 文法 3 (形容詞の用法)
- 講読3 (平易な物語など) 文法 4 (類別詞の用法・比較) 7
- 9 講読 5 (首都バンコクについて)
- 10 文法 5 (否定の表現)
- (子どもの夢) 講読 6 11
- 12講読7 (書店)

講読 4

8

- 13 タイ事情 (現代映画の鑑賞)
- 14 タイ事情 (現代映画の鑑賞)
- 15 全体の復習

テキスト、参考文献

「やさしいタイ語 文字の読み書き」(宇戸清治著大学書 林刊) およびプリント

評価方法

定期試験の成績を80パーセント、課題や小テストなどを 20パーセントとして総合的に判断する。

08 年度以降 07 年度以前	外国語(アラビア語 Ia 会話と文化) アラビア語 Ia(会話と文化)		担当者	師岡カリーマ・エルサムニー
のまであり、のはまであり、のまであり、、のは、13億であった。 信をおった。 信をおった。 信で おった は、13億で 界 大 る で まった が、 アラだ は 己 を り ブ と は 己 を り ブ 広 く で まった で と また で と また で い また で こ また で い また で い また で こ ま また で こ また	コが 2 億 8 千万に達するアラブ 21 カ国連公用語の一つでもあります。 啓典『クルアーン (コーラン)』の言葉アラブ以外のイスラーム圏でも広く学習にわかに日本人の関心が高まったイス超える人々に信仰されているにもかかわとも誤解された宗教」と言われて文化圏でしょう。と文化に焦点を絞り、「言いたいことをためのアラビア語を学びます。毎回一つディスカッションを通して「言いたいことアラビア語で言う練習をします。や現代を生きるアラブ人の社会や日常り上げていく計画です。	4. 「ありがとう 5. 「ご機嫌いか 6. 「あなたの名 7. 「私は東京出 8. 「私は学生で 9. 「これは何で 10. 「私は音楽! 11. 「私は映画! 12. 「トイレは 13. 「アレッポ	の基礎 「和を」 挨拶(「かいた」 がですかい。 「おいた」 ががはいます。 「おいた」 ががはいます。 「おいた」 ががいます。 「おいた」 がいます。 「ないた」 がいます。 「ないた」 がいます。 「ないた」 がいます。 「ないます」 がいます。 「ないます。」	です」国籍を述べる
	、を配ります。 アラブ人』(師岡カリーマ・エルサムニ ラビア語単語帳』(師岡カリーマ・エル		債極的にディ	か、期末にレポートを提出しスカッションに参加してもら

08 年度以降 07 年度以前	外国語 (アラビア語 Ib 会話と文化) アラビア語 Ib (会話と文化)		担当者	師岡カリーマ・エルサムニー
講義目的、講義概要	要	授業計画		
を使ったコミュニク ていきます。	会話と文化に焦点を絞って、アラビア語 ケーション・スキルと異文化理解を深め ビア語 IIb 読み書きと文法の基礎」と とができます。	 7. 「アスワンに 8. 「アラビア語 9. 「いくらです 	・しました」 「ア語を勉強」 「フ語を勉強」 「つきたいでする話すことだった。」 「あいますか?」 「この隣にあり 「なぜなら」	しています」 がほしいです」 す」 ができますか?」 いですね」 「銀行ありますか?」 ます」
テキスト、参考文献	就	評価方法		
	アラブ人』(師岡カリーマ・エルサムニ ラビア語単語帳』(師岡カリーマ・エル			す。積極的に質問・発言し、 もらうことを期待します。

08 年度以降 07 年度以前	外国語(アラビア語 IIa 読み書きと文 アラビア語 IIa(読み書きと文法の基礎		担当者	師岡カリーマ・エルサムニー
講義目的、講義概要 アラビア語は総人口の国語であり、国連 また近年は、世界的 が注目され、ドバルビジネスの中心的 は、将来に、大き と基礎的ななに、大き なく、すぐに吸収して 語の論理を吸収して		授業計画1. Introductio2. アラビア文3. アラビア文4. アラビア文5. アラビア文6. アラビア文7. 自分の名介の8. 自己紹介の9. 自己紹介の10. アラビア語11. 定冠詞の使12. 男性形と女	- デキー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディ	(2) 挨拶の言葉 (3) 自己紹介 (4) 「私は日本人です」 (5) アラブの国名 ぶスに乗りたいんです」 注生です」 ・?」「それは誰ですか?」
	トを配ります。 ア語のかたち』(師岡カリーマ・エルサ 『アラビア語単語帳』(師岡カリーマ・	評価方法 授業の中で常時 います。	小テストを行	うほか、期末に筆記試験を行

08 年度以降 07 年度以前	外国語(アラビア語 IIb 読み書きと文 アラビア語 IIb(読み書きと文法の基礎		基礎)	担当者	師岡カリーマ・エルサムニー
に対する理解を深め 本講義では、前期に 法の基礎を学習しま ィアを通じて自然に ています。	度の響きに触れることによって、異文化 かてもらうことを目指しています。 こ引き続き、アラビア語の読み書きと文 ます。歌謡曲やビデオなど、様々なメデ こアラビア語を吸収してほしいと考え ビア語 Ib 会話と文化」と同時に履修	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	前所形容がアア現現現のでで現りでででででででででででででででででででででででででででででで	う「私なたれないで、で、で、不ななで、で、なが、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	うするつもりですか」 アーティストたち」
	トを配ります。 ア語のかたち』(師岡カリーマ・エルサ 『アラビア語単語帳』(師岡カリーマ・			トテストを行	うほか、期末に筆記試験を行

08 年度以降 07 年度以前	外国語(現代ヘブライ語 I a 基礎) 現代ヘブライ語 I a		担当者	阿部 望
カ基・マー・びブー・びブー・びブー・びブー・びブー・びブー・びブー・びブー・でででででででででで	公式言語であり、旧約聖書、タルムード、 申秘主義などの言語であるへブライ語の は、三千年以上のユダヤ人の歴史や思想 て現代に伝えています。現代へブライ語 こュニケーションの手段としてだけでは 本への入口となります。 から発展したアルファベットの歴史を だがどのように生まれたのか、ギリシアどう発展したかの歴史をたどります。 書き方、発音練習を通して、欧米諸語でなり音楽の表題、シャガールの絵画、小一クダンス「マイム・マイム」など幅広 でいたでは、シャガールのはいます。 はれるプリントにそって進められます。 されるプリントにそって進められます。 はいるがら練習問題を解き、それを毎回します。 として、返却および補足解説をおこない	1. 2. 3. 4. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 9. 11. 12. 13. 13. 14. 15. 16. 16. 17. 18. 18. 19.	発音練習・発きにいる。 発記源、日本をできるでは、これでは、このでは、このでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	ユダヤ人の祭 音練習 地名 出するイスラエル企業 ヤハウェ、アドナイ」 ・マイム」
	成 室にてプリントで配布。 イ語入門』改版 日本ヘブライ文化協会	評価方法 授業毎のプリン 筆記試験 (60%)		s)

_					
08 年度以降 07 年度以前	外国語(現代ヘブライ語 I b 基礎) 現代ヘブライ語 I b			担当者	阿部 望
講義目的、講義概要	2	授業	計画		
ーズをがいただった。 りにいている点にでする。 1. イイへ現立は、 2. イイへ現立は、 4. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、ブライ語の正しい位置を把握し、ヘブ と学びます。 こへブライ語の違い。 リスト時代の言語はアラム語か、ヘブラ が死語になったとはどういう意味か。 (語はどのように"復活"したのか。 走っていた各種のユダヤ語とは何か。 ファミリーネームを通して、文化的背	9. 10. 11. 12. 13.	動動動カユユ名名動動動使日のののアートののののののののののののののののののののののののののののののののの	ユダヤユ(2) 注詞(3) 神シファ(リ形形) に 神シファ連な(1) に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人の祭り ダヤ人の祭り 明されたヘブライ数字 ネーム (1) ネーム (2) (本当か、嘘か)
テキスト、参考文献	,	評価	 方法		

授業毎のプリント提出(40%)

授業テキストは教室にてプリントで配布。

参考文献『ヘブライ語入門』改版 日本ヘブライ文化協会 筆記試験 (60%)

08 年度以降	外国語 (トルコ語 Ia 総合)		担当者	M. 加藤
基本的な文法構造が日語のアルファととってといます。 トルコ語話者は、アンマンを、トルコ語話で、トルコ語がである。 トルコアジア人の話者ができる。 このクラスでは、みずないでは、みずないで終合的に学んでは、からないで終合的に学んでは、からないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないで、でいて、といいで、といいで、といいで、といいで、といいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	てトルコ語を学ぶ人を対象に、トル を中心に学んでいきます。また、ト について知る時間も設け、トルコに	授業計画	本 本 本 称変化(肯定 称変化(疑問	文) 文)
テキスト、参考文献	DIZCE ÖĞDENİM CEMİ (*1169 \ 1/-	評価方法		
-	RKÇE ÖĞRENİM SETİ (初級)』(ユィトゥート編)をもとに、適宜補助	期末試験の結果る。	(80%)と課題	の実績(20%)を評価対象とす

08 年度以降	外国語 (トルコ語 Ib 総合)		担当者	M. 加藤
授業はトルコ語の入門 ら進んでいきますが、 化などについても説明 いきます。 テキストは、トルコ国 を教える文化交流機関 ート」が発行するもの のと同様の内容を学ん なお、単独での履修も	コ語 Ia 総合」の続きになります。 を、文法や読み書きを中心にしながトルコの観光地、建築、芸術、食文し、トルコについて総合的に学んで内外においてトルコ語やトルコ文化「ユヌス・エムレ・インスティトゥを使い、トルコに留学して勉強するでいきます。 可能ですが、会話を中心に学ぶ「トわせて受講することを勧めます。	授業計画 1) 前期の復習 2) 過去形別のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	旅変化(肯定 所変化(経歴 所変化(否定 上形 上形 本と肯定 文 既変化(疑問	文) 文)
テキスト、参考文献	Direct SAPENIA CERTICATION E	評価方法		
-	RKÇE ÖĞRENİM SETİ (初級)』(ユィトゥート編)をもとに、適宜補助	期末試験の結果る。	(80%)と課題	の実績(20%)を評価対象とす

08 年度以降	外国語 (トルコ語 Ia 会話)		担当者	M. 加藤
ざまな文明が交錯しままな文明が交錯して、日本な発展を見て、日本な発展へのりの進出が続いては、知知では、知知では、勉強をでは、勉強をはいるをでは、かからないが明明がある。	ロッパの接点として、古くからさました。そのため、世界有数の観光地間者も急増しています。一方で、近げ、ヨーロッパだけでなく、中近東、一トウェイとして、さまざまな企業トルコ語の注目度も増してきていまでトルコ語を学ぶ人を対象に、リスを中心に授業を進めていきます。特つなどの基本表現のほか、実際にト立つ各種の表現を練習します。 すが、リーディングやライティング総合」とあわせて受講することを勧	授業計画1) お2) 基本3) 自出な4) 出な5) 「有数10 体6) 教質4 を 数7) 数3 食板8) 質4 を 数9) 食板2 乗り10) 体3 乗り12) 乗時12 き13) 時14 ま15)15	ねる 「いいえ」 る る	
テキスト、参考文献		評価方法		
-	RKÇE ÖĞRENİM SETİ (初級)』(ユィトゥート編)をもとに、適宜補助	期末試験の結果る。	(80%)と課題	の実績(20%)を評価対象とす

08 年度以降	外国語 (トルコ語 Ib 会話)		担当者	M. 加藤	
授業はリスニングや会れた際、必要な日常会ます。 後期では、定型表現だ自分の状態や考えを相トは、トルコにおいて学付属トルコ語教育セルコで勉強するのと同なお、単独での履修も	コ語 Ia 会話」の続きになります。 話の勉強を中心に行い、トルコを訪話ができるようになることを目指しけでなく、簡単な文章を使いながら、以手に伝える練習も行います。テキストルコ語を教える機関「アンカラ大・ンター」が発行するものを使い、トリ様の内容を学んでいきます。 可能ですが、リーディングやライテ語 Ib 総合」とあわせて受講するこ	授業計画1) 前期2) 名2) 名3) 理自分4) 理自分5) 度6) 友詳説7) 計説8) 考謝7) 計算10) 財产11) 計算12) 確別13) 電話14) まとめ15)15)	える る を伝える 紹介 る		
テキスト、参考文献	テキスト、参考文献		評価方法		
=	RKÇE ÖĞRENİM SETİ (初級)』(ユ ィトゥート編)をもとに、適宜補助	期末試験の結果る。	(80%)を課題	の実績(20%)を評価対象とす	

13 年度以降	外国語(トルコ語 IIa 応用)		担当者	M. 加藤
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
のある人を対象とし トルコ語の文法と名 トルコ語のレベルフ 活躍において中心と 越形の構造を身に みます。 また、トルコの文化 トルコについて総合 テキスる文化交流 ート」が発行するも	トルコ語の基礎的な知識を学習した経験します。 会話を中心に読解と会話の練習を重ね、アップを目指します。トルコ語の動詞のとなる現在進行形、未来形、過去形と超付け会話の中でも使えるように取り組とや歴史などについて知る時間も設け、合的に学んでいきます。 は関「ユヌス・エムレ・オンスティトゥ」のを使います。教科書以外にも毎回のコプリントを配布します。	1) 人称、(2) 指示 (3) 以 (4) 以 (4) 以 (4) 以 (5) 以 (6) 以 (6) 以 (6) 以 (7) 未来来 (7) 来来来 (7) 来来来 (7) 以 (7)	・形のの本定問本定表本定問本定表本・展では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	本の復習問文
テキスト、参考文献	,	評価方法		
=	TÜRKÇE ÖĞRENİM SETİ A2 (初級)』 インスティトゥート編)をもとに、適宜 ます。	期末試験の結果(80%)と課題の	の実績(20%)を評価対象とす

13 年度以降	外国語(トルコ語 IIb 応用)		担当者	M. 加藤	
講義目的、講義概要		授業計画			
中級レベルのトルえる を がな場面の練習を重 なつ会話の練習をで を を で に に に に に で に に に に に に に に に に に に に	こしながら進んでいきますが、トルコの f、食文化などについても説明し、トル	 前期 2)季分に 3)自日常族 5)日常族 6)家家事ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	て話す で訪ねる 話 話 る の会話		
テキスト、参考文献		評価方法			
『YUNUS EMRE TÜRKÇE ÖĞRENİM SETİ A2』(ユヌス/エムレインスティトゥート編)をもとに、適宜補助教材を使用します。		期末試験の結果(80%)と課題の	の実績(20%)を評価対象とす	

08年度以降 日本語(総合 I Aa)/日本語(総合 I Ba)/日本語(総合 I Ca) 担当者 各担当教員 07年度以前 日本語 I a 講義目的、講義概要 授業計画 本コースは、日本語を総合的に学び、大学における専門 読解教材: クラス内で配布、但し変更の可能性もある。 科目の履修に当たって、必要とされる日本語力を養成する 単位数: 3単位 ことを目的とする。教材は、日本社会の現状について理解 月曜日、水曜日、金曜日にそれぞれ1コマ、計3コマをセ を深める内容が中心となり、専門性の高いものになってい ットで履修する る。4技能の高い能力(N1級レベル以上)を身につける 内容にもよるが、1トピックを大体6~8コマで終了し ことが求められるので、予習・復習を十分にして授業に臨 各トピック終了時にテストを行う。 むことが求められる。また、日本語だけでなく、様々な社 会問題にも意識を向け、日常から新聞などに目を通してお くこと。 1. 異文化コミュニケーション 授業内容 2. 少子高齢化 1. プレゼンテーション: 具体的な方法を学んだ後、学期 3. 起業 中、少なくとも2回のプレゼンテーションをする。 4. ポップカルチャー 2. 読解:トピックに関連した内容の記事を様々な本、雑 5. 国際社会 誌、新聞、インターネットなどより収集し、精読、速読、 スキミング、スキャニングなど異なる読解法で学ぶ。 3. 作文:基本的には授業内で作文をする。要約、引用、 レポート作成など、豊かな表現力を身に付ける。 4. 討論・意見交換: 読解内容について互いに自分の意見 や感想を述べ、理解を確認する。 5. 聴解:読解のトピックに関連するテレビレポート、ニ ュースなどを見ながら、聴解力を養うとともに、理解を深 める。 テキスト、参考文献 評価方法 1. テスト結果 60% 1. プリント (クラスで配布) 2. 作文(宿題) 20%

08 年度以降 07 年度以前	日本語(総合 I Ab)/日本語(総合 I Bb)/日本語(総合 I Cb) 日本語 I b	担当者	各担当教員
--------------------	---	-----	-------

講義目的、講義概要

2. 参考文献はクラスで紹介する。

本コースは、日本語を総合的に学び、大学における専門科目の履修に当たって、必要とされる日本語力を養成することを目的とする。教材は、日本社会の現状について理解を深める内容が中心となり、専門性の高いものになっている。4技能の高い能力(N1級レベル以上)を身につけることが求められるので、予習・復習を十分にして授業に臨むことが求められる。また、日本語だけでなく、様々な社会問題にも意識を向け、日常から新聞などに目を通しておくこと。

授業内容

- 1. プレゼンテーション: 具体的な方法を学んだ後、学期中、少なくとも2回のプレゼンテーションをする。
- 2. 読解:トピックに関連した内容の記事を様々な本、雑誌、新聞、インターネットなどより収集し、精読、速読、スキミング、スキャニングなど異なる読解法で学ぶ。
- 3. 作文:基本的には授業内で作文をする。要約、引用、 レポート作成など、豊かな表現力を身に付ける。
- 4. 討論・意見交換: 読解内容について互いに自分の意見 や感想を述べ、理解を確認する。
- 5. 聴解: 読解のトピックに関連するテレビレポート、ニュースなどを見ながら、聴解力を養うとともに、理解を深める。

授業計画

読解教材: クラス内で配布、但し変更の可能性もある。 単位数: 3単位

月曜日、水曜日、金曜日にそれぞれ1コマ、計3コマをセットで履修する

内容にもよるが、1トピックを大体6~8コマで終了し 各トピック終了時にテストを行う。

1. 若者のライフスタイル

3. プレゼンテーション 10%

4. 平常点/ クラスへの参加度*10%

- 2. 医療と健康
- 3. 情報社会
- 4. 就職・企業・人材
- 5. 科学技術

テキスト、参考文献

- 1. プリント (クラスで配布)
- 2. 参考文献はクラスで紹介する。

評価方法

- 1. テスト結果 60% 2. 作文(宿題) 20%
- 3. プレゼンテーション 10%
- 4. 平常点/ クラスへの参加度*10%

317

08 年度以降 07 年度以前	日本語(総合Ⅱa) 日本語Ⅱa			担当者	石田	ゆり子
講義目的、講義概要	2	授業語	計画			
講義目的		1 講	義の進め方	・自己紹介		
外国語としての日本	本語学習を終え、次の段階として学習し	2 新	間記事の読	み方		
た日本語をいかに実	医生活へ応用していくかを課題とする。	3 記	1事の要約			
大学の講義を受ける	るにあたって、「日本語を通じて各自の	4 考	え方のパタ	ーンを掴む	D	
専門性をより深めら	られること」、「自分の意見をまとめ、発	5 問	題提起と結	論		
表できること」を目	目標とする。	6 日	本の課題②)		
		7 日	本の課題③)		
講義内容		8 日本の課題④				
A17 424	雑誌などから選んだテーマを教材とす	9 日本の課題⑤				
る。内容の読解、要	要約、ディスカッション・作文などを行	10 発表について				
	具味あるテーマを持ち寄って行う。	11 自国(留学生の出身国)の課題①				
学生の授業への積極	極的参加を望む。	12 自国(留学生の出身国)の課題②				
		13 自国(留学生の出身国)の課題③				
		14 自国(留学生の出身国)の課題④				
		15	まとめ			
テキスト、参考文献	**	評価に	+ :±			
				つけて細胞の	売り知りめ →	
プリントを配布する	\mathcal{S}_{\circ}			っける課題の と総合的に評	取り組みや、扌 価する。	文未 107 一
		1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2 42 11 11 21 21	Im / W/	

08 年度以降 07 年度以前	日本語(総合Ⅱ b) 日本語Ⅱ b		担当者	福田 紀子
を目的とする。 雑誌記事、新聞記事	要となる高度な読解力を養成すること 「、新書の三つを素材とし、内容を理解 ディスカッションを行う。	3 雑誌記 4 雑誌記 5 雑誌記 6 新聞記 7 新聞聞記 8 新聞聞記 9 新聞聞記 1 0 新書書 1 2 新書 1 2 新書 1 3 新書 6	を読む① まを読む② まを読む③ まのテーマに関 まを読む② まを読む③ まのテーマに関 きむ① きむ① きむ③ きむ③ きむ③ きむ④	するディスカッション
テキスト、参考文献 プリント配布	*	評価方法 期末試験 40% 20%	毎回の小テス	スト 20%、課題 20%、平常点

08 年度以降 07 年度以前	日本語(総合Ⅱa) 日本語Ⅱa		担当者	岩沢 正子
講義目的、講義概要	판	授業計画		
留学生が大学で う、日本語の力を関	専門教育を受けるに当たり、役立つよ	177		人数を知ったうえで、学生
テキスト、参考文献	#	評価方法		
上記内容決定後、技	受業内に通知。	期末試験を中心	こ、授業参加	度を加味する。

08 年度以降 07 年度以前	日本語 (総合 II b) 日本語 II b		担当者	坂谷佳子
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画		
将来日本語でビジネス活動を行って、活躍していこうとしている留学生のための上級レベルの日本語講座です。ビジネス分野で必要とされる様々な実践的会話能力の習得を目指します。ビジネス分野に共通する重要な表現をロールプレイ等の口頭練習によって身に着けていきます。最終的には自分で会話を展開していく能力を養成します。		2. 場面1:会語 場面1:会語 場場面1:会会会 5. 場場直面面1: 6. 場場面面2:会会 7. 場場面面2:話 8. 場実協面面2:会 9. 場場面面面 11. 場面3:会会 12. 場面3:会会	括1 2 括3 & 4 本 五 会 本 五 会 基 五 3 <td>った言い方・クッション言葉 話1~4総合練習 会話テスト・テストの解説 話1~4総合練習 会話テスト・テストの解説 話1~4総合練習 会話テスト・テストの解説 登録テスト</td>	った言い方・クッション言葉 話1~4総合練習 会話テスト・テストの解説 話1~4総合練習 会話テスト・テストの解説 話1~4総合練習 会話テスト・テストの解説 登録テスト
テキスト、参考文献	t	評価方法		
プリント教材を配え ※学生のレベル・近 があります。	所します。 進捗状況により、内容が変更になる場合		質上、授業へ	(35%)による評価はもちろんの参加度などの平常点(30%)ます。

08 年度以降 07 年度以前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		担当者	武田 明子
講義目的、講義概要	Ę.	授業計画		
きちんと書いたり、 念なほどでは、「何がってしまうのか、「 いて解決ではって解決でする。 では、かか、「 が見つけである。」 全体で考えている。 く、相手に多大な過 く、いる。この前提名 しい。 プリントを用意す	話で話せているつもりになっていても、きちんと話したりする段になると、残る本語になってしまうことが多い。」原因であるのか、「どうして」そうなででを」したら解決できるのかなどにつる。互いの失敗に注目することで、解決ように、受講者全員が参加して少しでもことを目指していく。 くので、休むと自分だけの問題ではなとをかける。休まないことを前提としる。 条件をよく自覚したうえで、参加してほけるが、すべて連結しているので、きちゅうとのファイルをもってくること。	 「伝わる」 「伝わっている」 「伝わっている」 「伝わっている」 「書き」と 「気持ちをいる」 「事実」を見る 「公平な立ちます」 「公平な立ちます」 「公平な立ちます」 「ことばの見る 	いる」ことではいる。これではいる。これではいる。これではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい	確認できる方法をみつける(1) 確認できる方法をみつける(2) いを探す るか、話せるか(1) るか、話せるか(2) か(1) か(2) きるか(1) きるか(2)
テキスト、参考文献	洪	評価方法		
毎回プリントを用 忘れずに持参するこ	用意する。毎回すべてのプリントを こと。	期末試験 600		%

08 年度以降 07 年度以前	日本語 (総合Ⅱb) 日本語Ⅱb		担当者	北村	淳子
講義目的、講義概要		授業計画			
づかなかったことや 加え、レポートとし いくつかのテーマ トを書かせます。 指 クラスに報告します 問題点を発見しる	日本語を様々な角度から捕え、今まで気や問題点を発見し、さらに調査・考察をしてまとめる力を養います。 アについては、講師が課題を出しレポー 日名された何人かは、レポートの内容を で。 こうという積極的な姿勢で授業に臨み、 ほしいと思っています。	1. 日本語学習習 2. 日本語学習習 4. 日本本語と歴史 5. デディイイインンケケートトート 7. デアアンポートトート 11. レポートトート 13. レポート 14. よとめ	き(2) セ(1) セ(2) ション(1) ション(3) 西査(1) 関査(2) 関査(3) 比(2) は(2)		
	大 □ 語(上)』岩波書店(岩波新書) □ 語(下)』岩波書店(岩波新書)	評価方法 授業へのレポー の参加度、貢献 基本的に、3分の	度(10%)を	加味して評価す	-る。

08 年度以降 07 年度以前	日本語(総合Ⅱa) 日本語Ⅱa			丸山 具子		
講義目的、講義概要	5	授業計画				
情報処理力や、口頭を がいる。 留学生が少な大きなででは、 ででこの授業では、 でででは、 ででででででででででででででででででででででででででででで	日本語学習は、文字情報のみに力を入れていて、耳からの青報処理力や、口頭表現力を伸ばすことを怠っているため、「読む・聞く・書く・話す」の4技能のバランスを欠く留学生が少なくありません。 そこでこの授業では、時事問題、特に産業界の話題を中心こ、視覚に依存せず情報収集ができるように具体的にはラジオ、テレビのニュースや経済番組、対談番組などが理解できる聴解力の養成し、同時にその中で出てくる語彙、表現、文法も学びます。そして、目や耳から得た情報をまとめて話したり、それに対する自分の意見を他人に分かりやすく伝えられる口頭表現能力の強化も行います。また、関連トピックについて、補足としての読解も行います。		 講義の概要 ディクトグロス① (手話ニュース) ディクトグロス② (一般ニュース) 経済番組のリスニング① ディスカッション 類似トピックの読解 ディクトグロス③ (経済番組) 学習法体験 復習 中間テスト ディクトログロス④ (ニュース) 類似トピックの読解 対談番組のリスニング 待遇表現 学習法体験 ラジオ対談番組のリスニング ディクトグロス⑤ (経済番組) 経済番組のリスニング 			
さまざまな学習法を 毎回、小テストを行 テキスト、参考文 配布プリント	15. まとめ 評価方法 試験結果、小テンクラス参加度(名					

08 年度以降 07 年度以前	日本語(総合Ⅱ b) 日本語Ⅱ b			担当者	福田	紀子	
講義目的、講義概要			授業計画				
大学での学習に必要な聴解力および読解力を養成するこ		1	1 講義の概要				
とを目的とする。			2 ドキュメンタリー(流通)①				
二つのトピックについてのドキュメンタリーを素材とし、			3 ドキュメンタリー (流通) ②				
内容を理解し、要旨をまとめ、ディスカッションを行う。			4 ドキュメンタリー (流通) ③				
関連記事を読み、テーマについてさらに理解を深める。			5 ドキュメンタリー(流通)④				
		6	ドキュメ	ンタリー(商	品開発)①		
		7	ドキュメ	ンタリー(商	品開発)②		
		8	ドキュメ、	ンタリー(商	品開発)③		
		9	ドキュメ	ンタリー(商	品開発) ④		
		1 0		とめ、ディス	カッション		
		1 1	関連記事				
		1 2	関連記事				
		1 3	関連記事				
			関連記事				
		1 5	読解のま	とめ、ディス	カッション		
テキスト、参考文献	†	評価力	評価方法				
			忒験 40%、	毎回の小テス	、ト 20%、課題	20%、平常点	
		20%					

シラバス 全学共通授業科目

2014年4月1日発行 獨協大学教務課

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 電 話 048-946-1661



学	科	学年	氏 名
	学科	年	